

## 日本美術年鑑：平成25年版（2012.1-12）

著者	東京文化財研究所企画情報部 編
出版年月日	2015-03-25
URL	<a href="http://doi.org/10.18953/00005674">http://doi.org/10.18953/00005674</a>



YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

平成 25 年版 (2012. 1—12)

独立行政法人国立文化財機構

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES,  
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO





## 序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の1年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたものです。昭和11(1936)年に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第1冊が刊行されて以来、この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されるなど組織の改組、名称の変更が行なわれた中にあっても変わることなく受けつがれてきました。

平成25年版となる本書は、その第70冊目となり、平成24年(2012年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の4項目に分けて編集しています。

平成24年の美術界を振り返ってみますと、東日本大震災の発生から1年が経ち、未だ災禍による傷は癒えないものの、茨城の五浦六角堂の再建や福島警戒区域での文化財救援活動の開始、また被災地再興のための建築家によるプロジェクトが国際舞台でも評価されるなど、復興に向けて前進する姿勢には勇気づけられるものがあります。また日中国交正常化40周年をむかえ、中国を含めた近隣諸国との美術交流も例年に増して盛んに行われましたが、一方で領土問題をめぐる両国の関係悪化で企画されていた展覧会が中止に追い込まれるなど、美術界も政治とは無縁ではないことを痛感した1年でもありました。

本書では、こうした美術に関する出来事や動向についての諸情報を総覧することができます。平成24年の美術界をうかがうデータブックとしてご活用いただければ幸いです。

末筆となりましたが、この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公私立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成27年2月

独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所

所長 亀井伸雄



## 凡 例

- 1 本年鑑は、平成24(2012)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を記載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。書、写真、漫画、建築はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称を省略した。
- 5 「美術展覧会」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分をこえた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術および近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される公募を原則とする主要な展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録から得られる情報も参照して記載している。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年から翌年にかけて開催された場合は、原則として翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を( )内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、美術文献目録の始めに付した凡例(69頁)を参照されたい。
- 8 刊行物の名称は一部略称とした。略称については、76頁の一覧を参照されたい。
- 9 採録データの原典に付されているルビは、当該文字の直後に[ ]を付して記した。ルビの平仮名、片仮名の別は原典に従った。
- 10 本年鑑は、塩谷純(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、田中淳(当研究所副所長、同部部長、同部文化財アーカイブズ研究室長)、山梨絵美子(同部副部長)、津田徹英(同部文化形成研究室長)、小林達朗(同部主任研究員)、皿井舞(同部主任研究員)、安永拓世(同部研究員)、河合大介(同部アソシエイトフェロー)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については、企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の執筆に当たっては、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、橘川英規(当研究所企画情報部アソシエイトフェロー)、友田正彦(当研究所文化遺産国際協力センター)の協力を得るとともに、荒川正明(学習院大学、当研究所無形文化遺産部客員研究員)、増田玲(東京国立近代美術館)、三上豊(和光大学、当研究所企画情報部客員研究員)、山崎剛(金沢美術工芸大学、当研究所無形文化遺産部客員研究員)の4氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、伊波知秋、田所泰、西川真理子、久野華歩、前田詩織、松本侑子、宮田裕美子の7氏の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

## 目 次

序 .....	i
凡 例 .....	iii
目 次 .....	iv
平成24(2012)年美術界年史 .....	1
美術展覧会 .....	7
企 画 展 .....	7
作 家 展 .....	28
団 体 展 .....	63
美術文献目録 .....	69
凡 例 .....	69
収録定期刊行物誌名 .....	70
定期刊行物所載文献 .....	77
目 次 .....	77
美術展覧会図録所載文献 .....	353
企 画 展 .....	353
作 家 展 .....	381
団 体 展 .....	397
物 故 者 .....	401

# 平成 24 (2012) 年 美術界 年 史

## 1 月

○朝日賞受賞者決定 2011年度朝日賞(主催:朝日新聞文化財団)の受賞者が決定した。美術関係では美術家の横尾忠則が「常に時代と共振する斬新なグラフィックデザイン・絵画の制作」により受賞した。

○毎日芸術賞受賞者決定 芸術文化における優れた業績を顕彰する毎日芸術賞(主催:毎日新聞社)の第53回目の受賞者が発表され、美術関係では、建築家の坂茂(紙による新しい建築の探究と東日本大震災被災地での活用に対して)、画家の菊畑茂久馬(福岡市美術館・長崎県美術館での「菊畑茂久馬回顧展 戦後／絵画」に対して)、書家の石飛博光(「石飛博光書展 2011」に対して)が受賞した。

○「特別展 北京故宮博物院200選」の開催 日中国交正常化40周年・東京国立博物館140周年を記念して、2日より東京国立博物館で「特別展 北京故宮博物院200選」が開催された(2月19日まで)。同展は北京故宮博物院のコレクションから200件を展示、なかでも北宋時代の張拙端による「清明上河図巻」は中国国外での初めての公開となり、注目を集めた。

○VOCA 賞受賞者決定 平面美術の若手作家を奨励するVOCA賞の受賞者が発表され、「絵が見る世界11\_03」を制作した鈴木星亜が受賞した。またVOCA奨励賞は桑久保徹と武居功一郎、佳作賞は大成哲と柏原由佳、大原美術館賞は柏原由佳にそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示するVOCA展2012は3月15日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。

## 2 月

○台北故宮展の日本開催、2014年開催で合意 台北・國立故宮博物院の周功鑫院長が8日、東京国立博物館の島谷弘幸副館長と会談し、同博物院の美術品による展覧会を2014年に東京国立博物館で開催することで基本合意した。同院の美術品の大半は元々北京にあった

ため、日本展開催の場合、中国政府が差し押さえに動く可能性があったが、海外から借り受けた美術品の第三者による差し押さえを禁じる「海外美術品等公開促進法」が2011年9月に施行されたのを受けて、計画が本格的に始動したもの。5月には、東京での開催後に九州国立博物館でも開催することで基本合意した。

○「村山知義の宇宙」展の開催 11日より神奈川県立近代美術館(葉山)で「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」展が開催された(3月25日まで)。大正末期から昭和初期にかけて造形作品やダンスパフォーマンス、舞台装置、建築設計、デザイン、さらに戯曲や小説、評論の執筆などを手がけ、「日本のダ・ヴィンチ」と称された村山知義の多義性を紹介する初めての大規模な個展となった。同展は京都国立近代美術館(4月7日～5月13日)、高松市美術館(5月26日～7月1日)、世田谷美術館(7月14日～9月2日)に巡回した。

○第37回木村伊兵衛写真賞受賞者決定 写真家木村伊兵衛の業績を記念し、優れた新人写真家に贈られる木村伊兵衛写真賞(主催:朝日新聞社、朝日新聞出版)の第37回目の受賞者が18日、田附勝に決定した。受賞対象は写真集『東北』(リトルモア)で、東北の人々の風土に根ざした営みに真摯に向き合う姿勢が高く評価された。

## 3 月

○芸術選奨文部科学大臣賞受賞者決定 文化庁は13日、2011年度の芸術選奨文部科学大臣賞と同新人賞の受賞者を発表した。芸術選奨文部科学大臣賞美術部門では、写真家の畠山直哉(「Natural Stories」展に対して)、建築家の坂茂(東日本大震災被災地で活用された「紙の建築」に対して)、評論等部門では美術史学者の鈴木杜幾子(著作『フランス革命の身体表象 ジェンダーからみた200年の遺産』に対して)、メディア芸術部門では東京藝術大学の佐藤雅彦(テレビ番組「0655」「2355」に対して)が受賞。同新人賞美術部門では、美術家・彫刻家の小谷元彦(「幽体の知覚」展に対して)、芸術振興部門ではせんだいメディアテーク主幹兼企画・活動支援室長の甲斐賢治(震災復興記録事業「3がつ11にちをわ

すれないためにセンター」の活動に対して)、評論等部門では視覚文化研究者の佐藤守弘(著作『トポグラフィの日本近代 江戸泥絵・横浜写真・芸術写真』に対して)、メディア芸術部門ではアニメーション監督の長井龍雪(「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」に対して)が受賞した。

- 日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院(院長:三浦朱門)は16日、2011年度の芸術院賞受賞者を発表した。美術部門で池口史子(洋画、立軸会出品作「深まる秋」に対して)が恩賜賞・日本芸術院賞を、同部門で吉野毅(彫塑、二科展出品作「夏の終り'11」に対して)、宮田亮平(工芸、日展出品作「シュプリング『翔』」に対して)、星弘道(書、日展出品作「李頎詩 贈張旭」)が日本芸術院賞を受賞した。

- 「ボストン美術館 日本美術の至宝」展の開催 20日より東京国立博物館で「ボストン美術館 日本美術の至宝」展が開催された(6月10日まで)。同展ではボストン美術館が所蔵する日本の美術品を展示、在外二大絵巻といわれる「吉備大臣入唐絵巻」「平治物語絵巻」が全巻公開されたほか、同展に向けて当初の模絵の姿に修復された曽我蕭白の「雲龍図」が日本での初公開となった。同展は名古屋ボストン美術館(6月23日～12月9日)、九州国立博物館(2013年1月1日～3月17日)、大阪市立美術館(2013年4月2日～6月16日)に巡回した。

- 第31回土門拳賞受賞者決定 前年に優れた成果を挙げた写真家に贈られる土門拳賞(主催:毎日新聞社)の第31回受賞者が高梨豊に決定した。受賞対象は写真集『IN』(新宿書房)で、撮影対象に深く溶け込む姿勢と、瞬間の光景を通して、ありふれた日常から都市の姿を鋭敏に切り取る感性が高く評価された。

- 「色彩の世界・伊藤若冲 日本花鳥画展1716-1800」の開催 日本から米国の首都ワシントンに3000本の桜が寄贈されてから100年目にあたるのを記念して、30日よりワシントン・ナショナル・ギャラリーで「色彩の世界・伊藤若冲 日本花鳥画展1716-1800」が開催された(4月29日まで)。若冲の代表作である「動植綵絵」全30幅(宮内庁三の丸尚蔵館蔵)と京都相国寺の「釈迦三尊像」が、国外で一室に展示される初めての機会となった。また同時期にアーサー・M. サックラー・ギャラリーで狩野一信の「五百羅漢像」(増上寺蔵)葛飾北斎の「富嶽三十六景」の展覧も行なわれた。

## 4 月

- 東京都美術館のリニューアルオープン 2010年春より大規模改修のため全面休館していた東京都美術館が1日にリニューアルオープンした。1975年に前川國男が

設計した建物は老朽化が進んだため大改修となり、エレベーターやエスカレーターの増設や、企画棟の天井高を高くするなど展示空間の改善を行なった。またリニューアルを機に、とくにアート・コミュニケーション機能を強化、東京藝術大学との共同事業である「とびらプロジェクト」を立ち上げ、同大学の専任スタッフによる鑑賞プログラムやワークショップを展開することとなった。

- 平成24年度文化庁予算決定 平成24年度予算案が5日、成立した。文化庁予算は1074億4700万円(東日本大震災復興交付金18億円を含む)となり前年度より4.2%、43億2000万円の増額となった。Ⅰ. 豊かな文化芸術の創造と人材育成、Ⅱ. かけがえのない文化財の保存、活用及び継承等、Ⅲ. 我が国の多彩な文化芸術の発信と国際文化交流の推進、の3つを柱とし、とくに東日本大震災からの復興特別会計として、Ⅱで「被災文化財の復旧」に37億3900万円、「被災ミュージアム再興事業」に5億700万円が計上、またⅢで「近現代建築資料等の収集・保存」に1億5000万円が計上された。

- 「松本竣介展」の開催 14日より岩手県立美術館で、生誕100年を記念して「松本竣介展」が開催された(5月27日まで)。詩情を湛えた作品で多くの人を魅了する洋画家の松本竣介については、これまで度々回顧展が催されたが、同展では従来の展覧会にもまして資料の紹介に力を注ぎ、制作の背景について具体的な情報を提供する内容となった。同展は神奈川県立近代美術館(葉山)(6月9日～7月22日)、宮城県美術館(8月4日～9月17日)、島根県立美術館(9月29日～11月11日)、世田谷美術館(11月23日～2013年1月14日)に巡回した。

- 五浦六角堂の再建 東日本大震災の津波で流失した岡倉天心ゆかりの茨城大学五浦美術文化研究所六角堂(茨城県北茨城市)の再建工事が完了し、17日に完成式が行われた。再建にあたっては、茨城大学の三輪五十二特命教授の指揮のもと、英国から当時と同じ製法の窓ガラスを取り寄せるなど、1905年の創建当初の忠実な再現につとめた。総工費は約4300万円で、大半は寄付金で賄われた。

- 国宝・重要文化財指定の答申 文化審議会は20日、山形県舟形町の西ノ前遺跡の出土品で、女性をかたどった優美な造形で知られる縄文時代中期の「土偶」と、南宋時代の中国で描かれ日本に伝来した普悦筆「絹本著色阿弥陀三尊像」(京都府・清浄華院蔵)の2件を国宝に、鎌倉時代の仏師快慶作の可能性が高い「木造執金剛神立像・木造深沙大將立像」(和歌山県・金剛峯寺蔵)など46件を重要文化財に指定するよう平野博文文部科学相に答申した。同時に金比羅参りの玄関口となるJR琴平駅本屋(香川県琴平町)など建造物166件と、長野県出身の考古学者・故藤森栄一が集めた「諏訪地

域考古資料」を登録有形文化財として登録するよう答申した。

- 「KORIN展」の開催 21日より根津美術館で特別展「KORIN展 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」」が開催された(5月20日まで)。同展では、尾形光琳の代表作である同館所蔵の「燕子花図屏風」(国宝)とニューヨークのメトロポリタン美術館が所蔵する「八橋図屏風」が、1915(大正4)年の光琳没後二百年を記念する展覧会以来、一堂に展観された。なお同展は前年開催の予定だったが、東日本大震災の発生により延期されていたもの。

- 第5回東山魁夷記念日経日本画大賞決定 日本画家東山魁夷の業績を称え、次代を担う日本画家を表彰するために創設された東山魁夷記念日経日本画大賞の第5回受賞作に、鴻池朋子の「シラー谷の者 野の者」と濱田樹里の「流・転・生I」が選出された。また選考委員特別賞には浅見貴子の「松の木 muison-so」と三瀬夏之助の「山ツツジを探して」が選ばれた。同受賞作を含む入選作による展覧会は、5月19日から6月3日まで上野の森美術館で開催された。

## 5 月

- 読売あをによし賞受賞者決定 保存科学・修復の現場で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰する読売あをによし賞(主催:読売新聞社、特別協力:文化財保存修復学会)の第6回目の受賞者として、本賞に手漉和紙づくりに欠かせない「簀桁」の製作を材料の加工から完成まで一貫して行なう国内唯一の職人である山本忠義、奨励賞に樹木匠として桜の古木が作り出す景観を守ってきた黒坂登、特別賞に明治期の創設以来、数多くの仏像や工芸品の修理を手掛けてきた財団法人美術院が決定した。

- 国宝・重要文化財(建造物)指定の答申 文化審議会は18日、唐招提寺金堂(奈良市)の屋根を飾った“天平の翬”として知られる旧鷗尾2個と、華麗な装飾が特徴の歓喜院聖天堂(埼玉県熊谷市)の2件を国宝に、また全長141メートルの階段状の流水施設である牛伏川本流水路(長野県松本市)など7件を重要文化財に、日光東照宮に向かう街道沿いに発展した栃木県栃木市の嘉右衛門町など5地区を重要伝統的建造物群保存地区にするよう、平野博文文部科学相に答申した。

## 6 月

- 薬師寺東塔の解体修理 奈良市の薬師寺東塔(国宝)では約110年ぶりの解体修理が進められ、4日には相輪

上層部にある宝珠を取り外す法要が営まれて作業が本格化した。瓦、木部、基壇などを全て解体し、地下の発掘調査を行なった後、傷んだ部分を修繕しながら再び組み上げ、平成31年の春に修理が完了する予定である。

- 名勝・史跡指定の答申 文化審議会は15日、大浦天主堂境内(長崎市)や田島弥平旧宅(群馬県伊勢崎市)など7件を史跡に指定し、別府の湯けむり・温泉地景観(大分県別府市)など4件を重要文化的景観に新たに選定するよう平野博文文部科学相に答申した。

- 「マウリッツハイス美術館展」の開催 30日より東京都美術館で「マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝」が開催された(9月17日まで)。同展はオランダのマウリッツハイス美術館が4月から大規模な改修工事のため長期休館するのに伴い、同館が所蔵する17世紀オランダ・フランドル絵画のコレクションを紹介するもので、なかでも人気の高いフェルメールの「真珠の耳飾りの少女」は2000年に大阪市立美術館で展示されて以来の日本公開となった。同展は神戸市立博物館(9月29日～2013年1月6日)に巡回した。

## 7 月

- 第7回西洋美術振興財団賞受賞者決定 西洋美術の理解や研究発表などに貢献した展覧会に携わった個人・団体を顕彰する西洋美術振興財団賞の第7回目の受賞者が決定した。個人に贈られる学術賞は大島徹也・愛知県美術館学芸員(愛知県美術館と東京国立近代美術館で開催の「生誕100年 ジャクソン・ポロック」展に対して)、新見隆・武蔵野美術大学教授(パナソニック汐留ミュージアムで開催の「ウィーン工房1903-1932 モダニズムの装飾的精神」展に対して)が、団体に贈られる文化振興賞はDIC川村記念美術館を運営するDIC(旧、大日本インキ化学工業)が受賞した。

- 人間国宝認定の答申 文化審議会は20日、木工芸で薄板を環状に曲げる挽曲技法に高い技量を持つ灰外達夫、多様な技法で格調高く独創的な作品を生み出している竹工芸の藤沼昇を含む4名を新たに重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう平野博文文部科学相に答申した。

## 8 月

- 福島県、警戒区域での文化財レスキュー開始 東京電力福島第一原発事故の警戒区域内に置き去りになっている文化財のレスキュー活動が1日に始まった。同作業は2012年5月に設置された福島県被災文化財等救援



本部が東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会(文化財レスキュー事業)の支援を受けて行なったもので、8月に梱包作業、9～11月には警戒区域外への搬出・収納作業を実施した。

- ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展での日本館、金獅子賞受賞** イタリアのヴェネツィアで開催された第13回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展の授賞式が29日行われ、国別参加部門で、東日本大震災復興における建築の役割をテーマにした日本館の展示「ここに、建築は、可能か」が最高賞の金獅子賞を受賞した。建築家の伊東豊雄らが被災地である岩手県陸前高田市に建築中の集会所「みんなの家」の設計プロセスを紹介したもの。

## 9 月

- 平等院鳳凰堂の修理** 京都府宇治市の平等院鳳凰堂(国宝)の56年ぶりとなる修理が3日に着工した。今回の修理では平成26年までに瓦を全面的に葺き替え、内部を除く壁面や柱を赤色に塗り直し、屋根上の鳳凰(複製品)と宝珠には金メッキを施す予定。
- 第24回世界文化賞受賞者発表** 世界の優れた芸術家を顕彰する高松宮殿下記念世界文化賞(主催：公益財団法人日本美術協会)の第24回受賞者が12日発表された。美術関係では、絵画部門で蔡國強(中国)、彫刻部門でチェッコ・ボナノッテ(イタリア)、建築部門でヘニング・ラーセン(デンマーク)が受賞した。
- 登録有形文化財登録の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は21日、米国出身の建築家ヴォーリズの設計で1937(昭和12)年に建設された滋賀県豊郷町の旧豊郷小学校、仙台市の旧宣教師住宅であるデフォレスト館、現存する大正期のつり橋である岐阜県白川町の白川橋、熊本県人吉市の人吉温泉の老舗、芳野旅館など155件の建造物を新たに登録有形文化財にするよう平野博文・文部科学相に答申した。
- 「国立デザイン美術館をつくる会」の設立** 日本におけるデザインの重要性を広く伝えるとともに、国立デザイン美術館設立に向けて機運を高めることを目的とした「国立デザイン美術館をつくる会」が、デザイナーの三宅一生と美術史家で国立西洋美術館長の青柳正規によって設立された。11月27日には東京ミッドタウンホールで第1回パブリック・シンポジウム「国立デザイン美術館をつくらう！」が開催された。

## 10 月

- 東京駅丸の内駅舎の復原** 辰野金吾と葛西萬司が設計

した東京都千代田区の東京駅丸の内駅舎(重要文化財)が、1914(大正3)年の竣工当初の形態に復原され、1日に全面開業した。同駅舎は1945(昭和20)年の空襲によりその多くが破壊、焼失し、復興工事により失われたドーム屋根に代わって木造八角形の屋根が載せられるなど、本来とは異なる姿のまま60年余が経過。2007(平成19)年より復原工事を開始し、外壁・南北両ドーム内外の意匠を再現、また新たに地下1・2階を増築して免震装置を設置した。

- 東京ステーションギャラリーのリニューアルオープン** 東京駅丸の内駅舎の復原工事に伴い、2006年より休館していた東京ステーションギャラリーが、駅舎の再開業に合わせ1日にリニューアルオープンした。丸の内北口にほぼ直結する位置に移転し、ホワイトウォールの3階と煉瓦壁による2階の展示室で構成。開館記念展として「始発電車を待ちながら 東京駅と鉄道をめぐる現代アート 9つの物語」(10月1日～2013年2月24日)を開催。
- 「維新の洋画家 川村清雄」展の開催** 8日より東京都江戸東京博物館で特別展「維新の洋画家 川村清雄」が開催された(12月2日まで)。海外で本格的な油彩画技法を学びながら江戸文化に根ざした日本的な洋画を制作した川村清雄の画業を検証する同展は、遺族から同博物館等へ寄贈された膨大な関係資料をもとに構成され、フランス、オルセー美術館が所蔵する「建国」といった在外の川村作品も交えた展覧となった。同展は静岡県立美術館(2013年2月9日～3月27日)に巡回した。
- 日中関係の悪化による美術展の中止** 9月の尖閣諸島国有化により日中関係が悪化する中、東京藝術大学大学美術館で10日より開催が予定されていた東京藝術大学・中央美術学院交流展「東京 北京 現代アート 紙非紙 2012」が、中国側からの作品運搬及び参加作家の訪日が困難となり、中止となった。また23日から北京の中国国家博物館で予定されていた日中の美術関係者による交流展「日中美術展」も開催が中止された。
- 第24回国華賞受賞者決定** 日本・東洋美術に関する優れた研究を対象とする第24回国華賞は、肥田路美・早稲田大学教授の著書『初唐仏教美術の研究』(中央公論美術出版、2011年12月)、塚本磨充・東京国立博物館研究員の論文「皇帝の文物と北宋初期の開封」(『美術研究』404・406号、2011年8月・2012年3月)に贈られることが決定した。
- 重要文化財(建造物)指定の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は19日、昭和初期に整備された旧佐渡鉱山採鉱施設(新潟県佐渡市)など建造物6件を重要文化財に指定し、江戸時代～昭和初期に建てられた町屋が残る富山県高岡市の金屋町地区など4地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう、田中真紀子文部科学相に答申した。

## 12 月

○文化勲章受章者、文化功労者決定 政府は30日、2012年度の文化勲章受章者6名と文化功労者15名を決定した。美術関係では、美術評論家の高階秀爾、日本画家の松尾敏男が文化勲章受章者に、画家・絵本作家の安野光雅、日本画家の中路融人、アニメ映画監督の宮崎駿が文化功労者に選ばれた。

## 11 月

○第34回サントリー学芸賞受賞者決定 第34回サントリー学芸賞(主催:サントリー文化財団)が13日に決定、美術関係では芸術・文化部門で水野千依『イメージの地層』(名古屋大学出版会)が受賞した。

○名勝・史跡指定の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は16日、安珍・清姫伝説の舞台になった道成寺境内(和歌山県日高川町・御坊市)など8件を史跡に、旧関山宝蔵院庭園(新潟県妙高市)など3件を名勝に指定するよう田中真紀子文部科学相に答申した。また瓢箪島(広島県尾道市、愛媛県今治市)など3件を登録記念物に、最上川の流通・往来および左沢町場の景観(山形県大江町)を重要文化的景観にするよう答申した。

○「TOKYO1955-1970:新しい前衛」展の開催 18日よりニューヨーク近代美術館で「TOKYO1955-1970:新しい前衛」展が開催された(2013年2月25日まで)。1960年代を中心とする東京で繰り広げられた前衛的な試みを、多様なメディアの作品を通して紹介する内容で、日本戦後美術史への関心と研究が米国を中心に近年高まりを見せる中での本格的な展覧となった。

○第24回倫雅美術奨励賞受賞者決定 優れた美術評論や美術史の研究を顕彰する倫雅美術奨励賞(主催:公益信託倫雅美術奨励基金)の第24回目の受賞者が発表され、美術史研究部門は蔵屋美香(東京国立近代美術館美術課長)で、「ぬぐ絵画—日本のヌード1880-1945」展の企画と図録論文が評価された。美術評論部門は成相肇(東京ステーションギャラリー学芸員)で、前任の府中市美術館が昨年度に開催した「石子順造の世界美術発・マンガ経由・キッチン行」展の企画と図録論文が評価された。

○芸術院新会員決定 日本芸術院(院長:三浦朱門)は30日、芸術活動に顕著な功績があったとして新たに8名を同院新会員に選出したと発表、美術関係では日本画の山崎隆夫、洋画の池口史子、彫塑の神戸峰男、書の井茂圭洞が選ばれた。12月15日付で田中真紀子文部科学相により発令された。

○VOCA 賞受賞者決定 平面美術の若手作家を奨励するVOCA賞の受賞者は「あの日の眠りは確かに熱を帯びていた」を制作した鈴木紗也香に10日決定した。VOCA奨励賞は柴田麻衣と平子雄一、佳作賞は大崎のぶゆきと吉田晋之介、大原美術館賞は佐藤翠にそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示するVOCA展2013は2013年3月15日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。

○登録有形文化財登録の答申 文化審議会(会長:宮田亮平)は14日、戦後日本の復興と高度経済成長の象徴として親しまれてきた東京タワー(東京都港区)や1933年に建てられたアールデコ風の住宅である旧岡田家住宅母家(北海道旭川市)、1811年完成の浄土真宗寺院である蓮慶寺本堂(愛知県阿久比町)、高さ44mで現役灯台では国内最高の出雲日御碕灯台(島根県出雲市)など126件の建造物を登録有形文化財にするよう田中真紀子文部科学相に答申した。



# 美術展覧会

## 企画展

(ア)

ARCHIZINES OSAKA 9.1—9.17  
中之島デザインミュージアム  
de sign de

AXIS 160 ぼむ企画

Artist Group—風— 1回 10.20—  
10.28 東京都美術館  
新美術新聞 1298 (磯)

Art and Air ～空と飛行機をめぐる、  
芸術と科学の物語 7.21—9.17  
青森県立美術館  
芸術新潮 752 前橋重二

アートと音楽 新たな共感覚をもと  
めて 東京アートミーティング3  
回 10.27—2.3 東京都現代美術  
館

ギャラリー\* 333 名古屋覚  
芸術新潮 758

東京 11.5 長谷川祐子  
東京夕刊 12.5 三沢典丈

アートフェア東京2012 3.30—4.1  
東京国際フォーラム  
芸術新潮 748  
水墨画\* 279

アートプログラム青梅2012 存在を  
超えて 10.20—11.25 青梅市立  
美術館／青梅織物工業協同組合施  
設／吉川英治記念館  
水墨画\* 286

ART RADIO Show 8.20—8.26  
みどり荘  
東京 8.21 宮崎美紀子

アール・デコ 光のエレガンス ル  
ネ・ラリック、ドームを中心に  
7.7—9.23 パナソニック汐留ミ  
ュージアム  
朝日夕刊 9.12 西岡一正  
産経 9.6  
東京 7.6 池田まゆみ／岩井美  
恵子  
東京夕刊 9.3 美輪明宏／三沢  
典丈 聞き手

アール・ブリュット・いわて 6.12  
—9.2 岩手県立美術館

アール・ブリュット・ジャポネ展  
4.7—6.3 高浜市やきものの里か  
わら美術館(高知県立美術館、福  
岡市美術館、アル・サン・ピエ  
ール美術館(パリ))

REAR 28 森田靖久

アール・ブリュット・ジャポネ展  
6.12—9.2 岩手県立美術館(高知  
県立美術館、福岡市美術館、アル  
・サン・ピエール美術館(パリ))  
日経 7.18 宝玉正彦

愛教大の造形展 2.11—2.19 愛知  
県陶磁資料館  
陶説 709 井上隆生

愛知県立芸術大学陶磁専攻鯉江教室  
卒業生展1回 3.13—3.18 愛知  
芸術文化センター

陶説 711 井上隆生

愛知の美術60年—戦後洋画から現  
代美術へ— 6.8—7.8 安城市民  
ギャラリー

会津・漆の芸術祭2012 地の記憶  
未来へ 10.6—11.23 会津若松  
市／喜多方市  
朝日夕刊 11.7 増田愛子  
読売 10.11 高野清見

AINU ART 風のかたりべ 12.4—  
1.20 松浦武二郎記念館(北海道  
立近代美術館)

蒼き海路を統べるもの—古墳時代前  
半の日向海岸部— 日向の古墳1  
4.27—7.8 宮崎県立西都原考古  
博物館

赤羽台古墳群に眠る人々 石と埴輪  
から探る東国古墳文化 10.27—  
12.9 北区飛鳥山博物館

赤松円心・則祐 10.13—12.2 兵  
庫県立歴史博物館

ア!教科書で見たゾ 7.4—11.4  
東洋文庫ミュージアム  
朝日夕刊 9.19 横田麻生子

あさごアートコンペティション  
2012 10.27—12.2 あさご芸術

の森美術館

アジアをつなぐ 境界を生きる女た  
ち 1984—2012 9.1—10.21 福  
岡アジア美術館(沖縄県立博物館  
・美術館、栃木県立美術館、三重  
県立美術館)

芸術新潮 759

新美術新聞 1288 黒田雷児

新美術新聞 1290

新美術新聞 1291 黒田雷児

美術手帖 976 土屋誠一

読売 9.13 白石知子

足利尊氏 その生涯とゆかりの名宝  
10.13—11.25 栃木県立博物館

足利の富士山信仰—隠された立体富  
士曼荼羅— 9.8—10.28 足利市  
立美術館

新美術新聞 1291

足立の仏像—ほとけがつなぐ足立の  
歴史— 区制80周年記念 10.26  
—12.9 足立区立郷土博物館  
東京 10.21 土屋善文

熱海ゆかりの名宝 学校の先生と学  
芸員がつくった展覧会 7.14—  
9.3 MOA美術館  
新美術新聞 1286

蒐めて愉しむ鼻煙壺—沖正一郎コレ  
クション— 1.2—3.25 大倉集  
古館

朝日夕刊 2.29 岩本恵美

ad展 4.23—4.29 ギャラリーム  
サシ  
新美術新聞 1278

あなたに見せたい絵があります。  
ブリヂストン美術館開館60周年  
記念 3.31—6.24 ブリヂストン  
美術館

新美術新聞 1277 貝塚健

読売夕刊 5.12 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班

After the War 隆盛する戦後の欧米  
版画 8.4—9.23 町田市立国際  
版画美術館

日経 9.5 窪田直子

阿武山古墳と牽牛子塚—飛鳥を生き

平成24年美術展覧会(企ア、イ)

た貴人たち—開館1周年記念特別展 3.17—5.13 今城塚古代歴史館  
あやべの横穴式石室 王者の証し 10.6—11.25 綾部市資料館  
アラブ・エクスプレス展：アラブ美術の今を知る 6.16—10.28 森美術館  
ギャラリー\* 326  
ギャラリー\* 330 名古屋覚芸術新潮 752  
美術手帖 973 住友文彦  
朝日夕刊 6.27 大西若人  
東京夕刊 7.27 三沢典丈  
日経 6.29  
日経 8.9 平野啓一郎  
毎日夕刊 7.5 三田晴夫  
読売夕刊 7.4 井上晋治  
アルケオメトリア 考古遺物と美術工芸品を科学の眼で透かし見る 3.3—6.17 東京大学総合研究博物館  
毎日夕刊 4.5 伊藤和史  
阿波の名所と観光 7.28—9.9 徳島市立徳島城博物館  
阿波蜂須賀家の粋 館蔵名品展 9.15—10.21 徳島市立徳島城博物館  
Ange de Noël 7 12.21—12.28  
ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1299  
UNKNOWN ART×CRITICISM 8.20—8.25 藍画廊  
新美術新聞 1288  
(イ)  
EACH ONE vol.9 6.8—6.20 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1281  
生の螺旋 松原遺跡発掘速報 7.27—9.2 となみ散居村ミュージアム民具館  
生きる形 4.20—9.1 東京大学総合研究博物館  
産経 6.25 磨井慎吾  
Arts&Life：生きるための家 次世代建築家による39の提案 東京都美術館リニューアル記念展 7.15—9.30 東京都美術館

新美術新聞 1288 真室佳武  
朝日夕刊 9.12 大西若人  
日経 9.13 平野啓一郎  
読売 7.26  
生きる場所 ボーダーレスの空へ  
熊本市現代美術館開館10周年記念 9.29—12.9 熊本市現代美術館  
美術屋・百兵衛 23  
石空間展 7 8.8—8.14 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1287  
美術の窓 347 武田厚  
石山寺縁起絵巻の全貌 ～重要文化財七巻一挙大公開～ 10.6—11.25 滋賀県立近代美術館  
出雲—聖地の至宝—古事記1300年 出雲大社大遷宮 10.10—11.25 東京国立博物館  
読売 10.18 早川保夫  
出雲国の源流から 意宇の神仏の宝もの 11.17—1.14 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館  
伊豆を守護する仏たち ～忿怒の仏～ 10.28—12.9 上原仏教美術館  
伊丹国際クラフト展2012 11.17—12.24 伊丹市立工芸センター  
陶説 718 外館和子  
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 2012 6.30—8.12 板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館、四日市市立博物館、石川県七尾美術館、長島美術館)  
五浦と岡倉天心の遺産展 五浦六角堂再建記念 5.9—5.28 高島屋(日本橋)(高島屋(京都))  
新美術新聞 1280  
産経 5.10  
読売 5.17  
糸の先へ いのちを紡ぐ手、布に染まる世界 2.4—3.11 福岡県立美術館  
ファウンテン 3 幕内政治  
いのちのうた 生命讃歌 箱根・芦ノ湖・成川美術館所蔵品による 10.20—11.25 唐津市近代図書館  
祈りの器 2.4—3.18 松山市考古館

いばらきデザインフェア2012 11.10—11.18 茨城県陶芸美術館県民ギャラリー(2k540 AKI-OKA ARTISAN)  
陶説 719 外館和子  
今岡紫雲英グループ展30回 11.29—12.2 東京芸術劇場  
美術の窓 353 編集部  
イメージの叫び パワー・オブ・創作木版画 5.19—7.1 府中市美術館  
芸術新潮 751  
版画芸術 156  
朝日夕刊 6.6 増田愛子  
色めく彫刻 よみがえる美意識 9.22—12.2 群馬県立館林美術館  
朝日夕刊 11.14 大西若人  
読売 10.18 井上晋治  
岩崎彌之助のまなざし—古典籍と明治の美術— 静嘉堂文庫創設120周年・美術館開館20周年記念受け継がれる東洋の至宝 PartII 9.22—11.25 静嘉堂文庫美術館  
いわて創作版画の系譜 近現代木版画展 4.21—8.26 萬鉄五郎記念美術館  
新美術新聞 1287  
版画芸術 156  
朝日夕刊 6.6 増田愛子  
印象派の行方 モネ・ルノワールと次世代の画家たち 1.21—7.8 ポーラ美術館  
日経 6.21  
インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル2012 9.27—9.30 国立新美術館(北海道安達学園大通公園ホール、京都国際マンガミュージアム、金沢21世紀美術館)  
朝日 9.26 小原篤  
隠喩としての宇宙 “The Cosmos as Metaphor” 7.20—9.1 タカ・イシイギャラリー京都  
美術手帖 974 大島賛都  
毎日夕刊 8.30 渡辺亮一  
隠喩としての宇宙 “The Cosmos as Metaphor” 7.20—10.7 ホテルアンテルーム京都  
美術手帖 974 大島賛都

毎日夕刊 8.30 渡辺亮一

## (ウ)

上野の森美術館大賞展30回 4.28—5.10 上野の森美術館(京都府京都文化博物館、彫刻の森美術館、福岡県立美術館)

VOCA展2012 現代美術の展望 新しい平面の作家たち 3.15—3.30 上野の森美術館 朝日 3.21

浮世絵猫百景—国芳一門ネコづくし— 6.1—7.26 太田記念美術館 産経 6.13 渋谷和彦 東京 6.15 三沢典丈 毎日夕刊 7.18 高橋咲子

ウキヨエ盆栽園 盆栽デ、明治ヲアソブ 3.24—5.15 大宮盆栽美術館

失われた街 3.11のための模型復元プロジェクト展 6.30—7.15 兵庫県立美術館ギャラリー 朝日夕刊 7.11 大西若人 読売 7.5

うたかた 9.22—10.14 アートラボあいち REAR 29 吉田有里

美しきフォルム 川口の匠 vol.2 10.7—11.15 川口市立アートギャラリー・アトリア 新美術新聞 1292

美しさの新機軸〜日本画過去から未来へ〜 11.1—11.11 東京芸術大学正木記念館

うつせみ 9.22—10.14 常懷荘 REAR 29 吉田有里

うつわのちから くらしを彩るいれものたち 10.19—3.10 アサヒビール大山崎山荘美術館 陶説 718 小吹隆文

「うふっ。どうしちゃったの、これ!」 魅、観、見、実、身、未!!! 障害者アート企画展 12.5—12.9 埼玉県立近代美術館

馬と人々の暮らし 6.16—7.29 一宮市博物館

湖(うみ)を見つめた王 継体大王と琵琶湖 4.21—6.17 滋賀県立安土城考古博物館

海を渡って来た植物 牧野富太郎の植物画コレクション 牧野富太郎生誕150年記念特別展 10.6—12.2 練馬区立牧野記念庭園記念館 読売 10.14

梅野隆の仕事展 7.28—9.23 東御市梅野記念絵画館 新美術新聞 1288

漆—その歴史と文化— 11.24—1.27 千葉市立郷土博物館

漆・うるわしの饗宴 世界の女性作家による漆表現の現在 9.14—10.1 山脇ギャラリー(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、喜多方市美術館) 毎日夕刊 9.25 岸桂子

ウルトラマン・アート! 時代と創造—ウルトラマン&ウルトラセブン— 7.7—9.2 埼玉県立近代美術館(北海道立旭川美術館、岩手県会館、鹿児島市立美術館、福井市美術館、茨城県近代美術館、長崎美術館、高松市美術館) 朝日夕刊 6.30 石飛徳樹/増田愛子 読売 8.16 井上晋治

麗しき女性の美 松園・青邨・契月・麦僊・不矩 4.21—5.27 姫路市立美術館(島根県立美術館) 新美術新聞 1279

麗しのマイセン人形 小早川コレクション 11.23—5.6 岐阜県現代陶芸美術館

雲州松平家の大名行列 お殿様の道中と街道 10.6—12.2 松江歴史館

## (エ)

エヴァンゲリオンと日本刀展 7.14—9.17 備前長船刀剣博物館(三河武士のやかた家康館/岡崎城) EVOLUTION16 10回 1.18—1.24 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))

描き継ぐ日本美—円山派の伝統と発展— 9.15—11.11 宮内庁三の丸尚蔵館

エコ&アートアワード2012作品展

3.4—3.22 コニカミノルタプラザ 産経 3.20

絵師100人展2 4.30—5.6 アキバスクエア 産経 5.1

越後妻有アートトリエンナーレ 2012 大地の芸術祭5回 7.29—

9.17 越後妻有地域(新潟県十日町市/津南町)

AXIS 160 暮沢剛巳 建築雑誌 1637 渡辺斉 朝日 8.14 大西若人 朝日夕刊 8.15 大西若人 毎日夕刊 8.22 岸桂子 読売 8.9 井上晋治

越前 薪窯と土の美 7.21—9.2 福井県陶芸館 陶説 717 新井英之

越境する日本人—工芸家が夢みたアジア 1910s—1945 4.24—7.16 東京国立近代美術館工芸館 新美術新聞 1282 木田拓也 新美術新聞 1286 黒田雷児 陶説 711 木田拓也 朝日夕刊 5.30 増田愛子 毎日夕刊 5.8 岸桂子 読売 6.21 高野清見

えどがわ、アートな日和。 9.22—12.16 しのざき文化プラザ 東京 10.18 村松権主磨

絵解きってなあに? 語り継がれる仏教絵画 10.13—11.25 龍谷大学 龍谷ミュージアム

江戸の粋、印籠 フィンランド・クルスコレクション 12.19—3.10 九州国立博物館

江戸の大名菩提寺 10.27—12.16 港区立港郷土資料館

江戸の旅—たどる道、えがかれる風景— 9.28—11.11 仙台市博物館

江戸の判じ絵 再びこれを判じてごろうじろ 9.15—11.4 たばこと塩の博物館 芸術新潮 755

江戸の風雅 旧きを知り新しきを創った絵師たち 9.15—11.4 群馬県立近代美術館

江戸への旅 年貢米と上乗人

10.13—11.25 大分県先哲史料館  
絵に描いた座右の銘 8.20—9.14  
クリエイションギャラリー G8  
読売夕刊 9.1  
N+N展2012 触れる—感覚のレ  
ス— 6.28—7.8 練馬区立美  
術館  
朝日 7.6 大室一也  
恵比寿映像祭4回 映像のフィジ  
カル 2.10—2.26 東京都写真美  
術館/恵比寿ガーデンプレイスセ  
ンター広場ほか  
読売 2.16  
F氏の絵画コレクション 福沢一郎  
から奈良美智世代 7.28—8.26  
豊橋市美術博物館  
MOA岡田茂吉賞展18回 6.8—7.9  
MOA美術館  
陶説 713 外館和子  
東京夕刊 6.22 中村英樹  
大エルミタージュ美術館展 世紀の  
顔 西欧絵画の400年 4.25—  
7.16 国立新美術館(京都市美術  
館)  
新美術新聞 1281 本橋弥生  
日経 7.5 平野啓一郎  
読売 4.23  
読売 4.23 千足伸行  
読売夕刊 6.2 高野清見  
大エルミタージュ美術館展 世紀の  
顔 西欧絵画の400年 7.28—  
9.3 名古屋市美術館(京都市美術  
館)  
美術屋・百兵衛 22  
絵をよむ言葉 美術批評家 坂崎坦  
・坂崎乙郎のあつめた絵画 5.21  
—7.7 早稲田大学會津八一記念  
博物館  
新美術新聞 1283  
円空大賞展6回 2.10—3.4 岐阜  
県美術館  
REAR 28 熊谷伊佐子  
日経 2.14

(オ)

鷗外のもう一つの顔—美術解剖学—  
6.1—6.10 ギャラリーシビック  
東京 6.8 井上圭子  
黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐

渡の金銀山— 10.6—12.3 山梨  
県立博物館(新潟県立歴史博物館)  
王朝文化の華 陽明文庫名宝 宮廷  
貴族近衛家の一千年 4.17—5.27  
京都国立博物館  
新美術新聞 1280  
王と首長の神まつり—古墳時代の祭  
祀と信仰— 4.28—7.1 大阪府  
立近つ飛鳥博物館  
近江巡礼 祈りの至宝展 滋賀県立  
琵琶湖文化館が守り伝える美  
1.12—2.11 静岡市美術館(仙台  
市博物館、島根県立古代出雲博物  
館)  
水墨画\* 285  
青梅アート・ジャム2012 アートが  
この地に来ること 森から響く  
祈りとくらし All Relationships  
5.19—7.1 青梅市立美術館/吉  
川英治記念館/ゆずの里勝仙閣  
青梅信用金庫コレクション 市制施  
行60周年特別展 3.3—3.25 青  
梅市立美術館  
大倉集古館名品展 豪快なる大倉財  
閥の美術コレクション 10.13—  
11.25 山梨県立美術館  
新美術新聞 1294  
大阪の茶の湯と近代工芸—武者小路  
千家の茶人・三代木津宗詮と大阪  
の職方— 10.24—12.3 大阪歴  
史博物館  
目の眼 435  
大須観音展 古事記1300年 12.1  
—1.14 名古屋市博物館  
大原美術館展 5.19—7.8 北海道  
立近代美術館  
Open Your Eyes 生きる術としての  
アート 11.2—11.14 名古屋芸  
術大学アート&デザインセンター  
REAR 29 笠木日南子  
オールドノリタケのなかの女性たち  
9.14—11.11 八王子市夢美術館  
朝日夕刊 10.17 中村さやか  
岡崎アート&ジャズ2012 11.1—  
12.2 岡崎市内  
REAR 29 能勢陽子  
おかね道中記—旅で使う貨幣—  
11.10—5.12 日本銀行金融研究  
所貨幣博物館

岡本太郎現代芸術賞展15回 2.4—  
4.8 川崎市岡本太郎美術館  
読売夕刊 3.5 (井)  
お札の不思議な模様 彩紋の世界  
12.26—3.3 お札と切手の博物館  
朝日夕刊 12.26  
織田信長と美濃・尾張 9.13—10.  
15 岐阜市歴史博物館  
新美術新聞 1292  
お伽草子 この国は物語にあふれて  
いる 9.19—11.4 サントリー美  
術館  
新美術新聞 1292  
産経 10.14 黒沢綾子  
日経 10.10 宝玉正彦  
おふどうと名乗った家 豪商大木家  
の350年 1.27—3.5 山梨県立  
博物館  
おもしろびじゅつワンダーランド展  
8.8—9.2 サントリー美術館  
毎日夕刊 8.28 岸桂子  
読売夕刊 8.18 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班  
親子で旅する展覧会 作品たちのさ  
さやきを心できき、そしてつづや  
こう 7.14—9.2 府中市美術館  
ギャラリー\* 328  
Olive 1982—2003 雑誌『オリーブ』  
のクリエイティビティ 2.25—  
7.1 金沢21世紀美術館デザイン  
ギャラリー  
尾張氏 志段味古墳群をときあかす  
4.28—6.10 名古屋市博物館  
おん祭と春日信仰の美術 12.8—  
1.20 奈良国立博物館

(カ)

絵画銅鐸の世界 10.6—12.2 辰馬  
考古資料館  
絵画をめぐる7つの迷宮 終わ  
りのない探求 11.17—12.24 損保  
ジャパン東郷青児美術館  
新美術新聞 1298  
美術の窓 351 中島啓子  
読売夕刊 12.8 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班  
開廊50周年記念小品展その1—油  
画・現代アート・版画 10.29—  
11.3 銀座スルガ台画廊



新美術新聞 1294  
 開廊50周年記念小品展その2—日  
 本画 11.26—12.1 銀座スルガ  
 台画廊  
 新美術新聞 1297  
 香りの道具 夢幻境に遊ぶ雅 9.7  
 —10.21 石川県輪島漆芸美術館  
 加賀赤絵展 魅惑の赤、きらめく金  
 彩 11.8—11.26 高島屋(日本  
 橋)(高島屋(京都)、松坂屋美術館、  
 小松市内各所(小松市立博物館/  
 小松市立本陣記念美術館/小松市  
 立錦窯展示館/絵本館ホール十九  
 番館))  
 芸術新潮 757  
 新美術新聞 1296  
 朝日夕刊 11.6 坂下雅子  
 朝日夕刊 11.21 増田愛子  
 毎日夕刊 11.21 岸桂子  
 読売夕刊 11.10  
 輝ける皇妃エリザベート展 8.8—  
 8.20 三越(日本橋)  
 産経 7.22 黒沢綾子  
 産経 8.6  
 学芸員のまなざし Curators×Col-  
 lection 6.9—8.26 兵庫陶芸美  
 術館  
 鶴林寺太子堂 聖徳太子と御法の花  
 のみほとけ 4.14—6.3 兵庫県  
 立歴史博物館  
 火事装束 火事と喧嘩は江戸の華  
 4.28—6.3 一宮市博物館  
 風が吹けば桶屋が儲かる MOT AN-  
 NUAL2012 10.27—2.3 東京都  
 現代美術館  
 美術手帖 977 沢山遼  
 KATAGAMI Style 世界が恋した日本  
 のデザイン 4.6—5.27 三菱一  
 号館美術館(京都国立近代美術館)  
 ジャポニスム研究 32 隠岐由紀  
 子  
 日本美術新聞 5  
 美術手帖 965 島貫泰介  
 目の眼 429  
 朝日夕刊 4.11 西岡一正  
 日経 3.18  
 日経 6.17  
 日経夕刊 4.5  
 日経夕刊 4.16 窪田直子

読売 4.19 前田恭二  
 KATAGAMI Style 世界が恋した日本  
 のデザイン 8.28—10.14 三重  
 県立美術館(京都国立近代美術館)  
 REAR 29 鯨井秀伸  
 日経 8.19  
 日経 9.16  
 楽器は語る 紀州藩主徳川治宝と君  
 子の楽 7.10—9.2 国立歴史民  
 俗博物館  
 読売 7.25 早川保夫  
 勝坂縄文展 12.15—2.7 神奈川県  
 立歴史博物館(相模原市立博物館)  
 金澤八景いま昔 初公開 楠山永雄  
 コレクション 4.12—6.3 神奈  
 川県立金沢文庫  
 CAF ネビュラ展2012 11.7—11.  
 18 埼玉県立近代美術館  
 鎌倉期の宸筆と名筆—皇室の文庫  
 [ふみくら]から 11.23—12.22  
 宮内庁三の丸尚蔵館  
 毎日夕刊 12.20 桐山正寿  
 読売 12.12  
 鎌倉密教—将軍護持の寺と僧—  
 8.3—10.8 神奈川県立金沢文庫  
 鎌倉めぐり「武家の古都 鎌倉」世界  
 遺産登録推進 2.9—4.8 神奈川  
 県立金沢文庫  
 神々への祈り 神の若がえりとここ  
 ろの再生 4.28—6.17 東北歴史  
 博物館  
 「唐入り」の時代—秀吉の大陸出兵と  
 大名たち 10.27—12.2 徳島市  
 立徳島城博物館  
 軽井沢の風展 日本の現代アート  
 1950—現在[いま] 4.27—9.2  
 軽井沢ニューアートミュージアム  
 美術屋・百兵衛 22  
 カルペ・ディエム 花として今日を  
 生きる 6.30—9.23 豊田市美術  
 館  
 美術手帖 975 宮村周子  
 REAR 29 松田愛  
 毎日夕刊 9.20 岸桂子  
 華麗なるインド—インドの細密画と  
 染織の美— 畠中光享コレクション  
 11.3—12.26 新潟市新津美  
 術館(三鷹市美術ギャラリー)  
 読売 12.13

平成24年美術展覧会(企カ、キ)

画廊の系譜—浅川コレクションと  
 1960～80年代日本の美術—  
 11.10—12.24 足利市立美術館  
 朝日夕刊 11.28 青天目恭子  
 読売 12.15  
 画廊の視展 5.26—6.10 みぞえ画  
 廊  
 新美術新聞 1280  
 可愛い考古学 7.21—9.7 滋賀  
 県立安土城考古博物館  
 滋賀県立安土城考古博物館紀要  
 21 阿刀弘史  
 閑輝会展20回記念 12.26—1.6  
 愛知県美術館ギャラリー  
 新美術新聞 1300  
 ガンゴー・ヴィレージと1980年代  
 ・ミャンマーの実験美術 12.13  
 —3.20 福岡アジア美術館  
 新美術新聞 1301 黒田雷児  
 ガンダーラ美術とシルクロードの  
 絵画 3.17—5.20 泉屋博古館  
 日経 4.20  
 GUN 新潟に前衛[アバンギャルド]  
 があった頃 11.3—1.14 新潟県  
 立近代美術館  
 ギャラリー\* 331  
 美術手帖 979 塩田純一  
 朝日夕刊 12.12 大西若人

(キ)

紀伊弥生文化の至宝 9.29—12.2  
 和歌山県立紀伊風土記の丘  
 機械の眼—カメラとレンズ 9.22—  
 11.18 東京都写真美術館  
 亀城公園のひみつ お城から公園へ  
 11.3—12.16 土浦市立博物館  
 北の土偶 縄文の祈りと心 3.6—  
 5.13 北海道開拓記念館  
 北原照久禁断の写真集『和印』出版記  
 念展 1.27—2.7 TOKYO CUL-  
 TUARY by BEAMS  
 芸術新潮 747  
 喫茶の世界—お茶と日本文化—  
 10.19—11.25 大分県立歴史博物  
 館  
 岐阜県ゆかりの人間国宝 美濃陶芸  
 の系譜 8.4—12.24 岐阜県現代  
 陶芸美術館  
 陶説 715 井上隆生



気ままにアートめぐりー印象派、エ  
コールド・パリと20世紀美術  
10.26—12.24 プリヂストン美術  
館  
美術手帖 975 吉田宏子  
KIMONO at 百段階段 9.14—10.  
21 目黒雅叙園  
毎日夕刊 9.24  
嬉遊会コレクションー江戸絵画を中  
心にー 2.4—2.26 千葉市美術  
館  
京都からー新版画集出版記念展  
12.18—12.23 ギャラリーヒルゲ  
ート  
版画芸術 158  
京都守護職拝命150年と新島八重  
9.14—11.4 若松城天守閣郷土博  
物館  
郷土ゆかりの画家たち 10.27—  
12.2 田原市渥美郷土資料館  
京の画塾細見 京都市美術館コレ  
クション展第2期 8.25—11.25  
京都市美術館  
新美術新聞 1290  
共鳴／主張する個性ー現代洋画家  
10人展ー 7.27—9.23 諏訪市  
美術館  
新美術新聞 1288  
行列にみる近世 武士と異国と祭礼  
と 10.16—12.9 国立歴史民俗  
博物館  
朝日夕刊 11.26 小川雪  
巨匠たちの英国水彩画展 マンチェ  
スター大学ウィットワース美術館  
所蔵 4.7—6.24 岡崎市美術館  
博物館(新潟県立万代島美術館)  
美術屋・百兵衛 21  
巨匠たちの英国水彩画展 マンチェ  
スター大学ウィットワース美術館  
所蔵 7.14—9.24 島根県立石見  
美術館(新潟県立万代島美術館)  
新美術新聞 1287  
巨匠たちの英国水彩画展 マンチェ  
スター大学ウィットワース美術館  
所蔵 10.20—12.9 Bunkamura  
ザ・ミュージアム(新潟県立万代  
島美術館)  
朝日夕刊 10.12 木島俊介  
清水六兵衛家 京の華やぎ 陶家の

蒐集と制作 I 1.12—3.24 愛知  
県陶磁資料館  
陶説 720 井上隆生  
清盛とその時代ー兵どもを支えた女  
性たちー 6.2—10.21 海の見え  
る杜美術館  
新美術新聞 1285  
清盛と日宋貿易 4.21—6.24 兵庫  
県立考古博物館  
清盛の生きた時代 10.6—11.25  
神戸市埋蔵文化財センター  
煌めくヴェネチアン・ビーズーアド  
リア海の雫ー 4.20—11.25 箱  
根ガラスの森美術館  
新美術新聞 1279  
記録は可能か。映像をめぐる冒険  
vol.5 12.11—1.27 東京都写真  
美術館  
近現代のブックデザイン考I 書物  
にとっての美 10.22—11.17 武  
蔵野美術大学美術館  
近世の文人たちー自筆資料にみるそ  
のとなりー 5.13—6.10 天理  
ギャラリー(天理大学附属天理図  
書館)  
金属造型の真髄 essence of metal  
sculpture 12.12—12.18 高島屋  
(日本橋)(高島屋(新宿、大阪))  
近代から現代へ 日本画の巨匠たち  
ー名作でたどる日本美術院のあゆ  
みー 8.21—9.23 福岡市美術館  
新美術新聞 1288  
近代日本画の名作 描かれた日本画  
の美 10.13—11.25 豊橋市美術  
博物館  
近代日本画名品展 日本の美を愛し  
た巨匠たちー横山大観から平山郁  
夫までー 1.25—2.6 三越(日本  
橋)  
近代日本美術協会夏季選抜作家展  
7.8—7.14 東京交通会館  
新美術新聞 1285  
近代日本洋画の魅惑の女性像 モネ  
・印象派旗挙げの前後 7.7—  
9.23 泉屋博古館分館  
新美術新聞 1285 川口直宜  
近代の京焼と京都ゆかりの絵画  
4.14—6.17 泉屋博古館分館  
新美術新聞 1280

金鈴塚古墳展 甦る東国古墳文化の  
至宝 11.2—12.24 木更津市郷  
土博物館金のすず

# (ク)

空想動物の世界ー聖なる古代の物語  
ー 7.7—8.19 MIHO MUSEUM  
新美術新聞 1285

具体 ニッポンの前衛 18年の軌跡  
7.4—9.10 国立新美術館  
ギャラリー\* 327  
新美術新聞 1287  
美術手帖 973 加藤瑞穂  
朝日夕刊 7.25 大西若人  
東京夕刊 8.29 平井章一  
日経夕刊 8.7 窪田直子  
読売 8.23 高野清見

久米邦武と能楽展 岩倉具視の能楽  
再興を支えた人物[プレーン]  
6.2—7.22 久米美術館

グラフィカ・コレクション展 no.  
20 11.5—11.24 ガレリアグラ  
フィカ

GRAPHIC TRIAL 2012 おいしい印  
刷 6.1—8.26 印刷博物館 P&P  
ギャラリー(西日本工業大学小倉  
キャンパス、仙台市情報・産業ブ  
ラザネ! ットU)

朝日夕刊 7.18 中村さやか  
毎日夕刊 6.18 永田晶子

くらべ馬 近代競馬150周年記念  
4.28—6.10 馬の博物館

Christmas Art Gift展 12.11—12.  
16 アートラボ・ノクト  
新美術新聞 1299

群馬青年ビエンナーレ2012 7.7—  
8.26 群馬県立近代美術館

# (ケ)

溪山清遠ー中国現代アート・伝統か  
らの再出発 1.2—2.24 福岡ア  
ジア美術館  
水墨画\* 286

芸術家の肖像ー写真で見る19世紀、  
20世紀フランスの芸術家たちー  
4.14—6.24 三鷹市美術ギャラ  
リー  
新美術新聞 1278  
朝日夕刊 5.2 杉森美絵

**芸術館コレクション展** 6.18—7.21  
 京都造形芸術大学 芸術館  
 瓜生通信 56 小木曾愛美  
**解脱上人貞慶 鎌倉仏教の本流 御遠忌800年記念特別展** 4.7—5.27 奈良国立博物館(神奈川県立金沢文庫)  
 新美術新聞 1277  
**蹴鞠** 10.3—12.3 天理大学附属天理参考館  
**源氏物語 遊興の世界** 9.15—12.2 逸翁美術館  
**展覧Ⅳ 元 禅僧と文人** 10.26—10.31 瀬津雅陶堂  
**現代絵画のいま** 10.27—12.24 兵庫県立美術館  
**現代茶陶展5回** 4.14—4.22 セラトピア土岐  
 陶説 712 井上隆生  
**現代の座標—工芸をめぐる11の思考—** 9.15—12.2 東京国立近代美術館工芸館  
 毎日夕刊 10.10 岸桂子  
**現代の造形—Life & ART—ふれる器 Feel Ceramics** 2.4—3.18 東広島市立美術館  
 陶説 711 外館和子  
**現代美術展 ART 田ノ島39** 8.4—8.12 田ノ島39番地  
 REAR 29 石崎尚  
**現代美術展 ART 田ノ島39 豊橋展** 8.5—8.31 ギャラリーサンセリテ  
 REAR 29 石崎尚  
**現代美術展 in とよはし** 1.17—2.19 豊橋市内  
 REAR 28 原舞子  
**現代美術日韓展18回** 8.6—8.11 ギャラリーくぼた  
**建築を彩るテキスタイル展—川島織物の美と技—** 9.6—11.24 LIXIL ギャラリー(LIXIL ギャラリー大阪)  
 産経 9.19 黒沢綾子  
 (コ)  
**高句麗壁画古墳報道写真展** 10.6—12.16 日本新聞博物館  
 読売 10.17

**工芸未来派** 4.28—8.31 金沢21世紀美術館  
 ギャラリー\* 325  
**芸術新潮** 752 橋本麻里  
**新美術新聞** 1281 秋元雄史  
**陶説** 713 井上隆生  
**美術手帖** 975 北澤憲昭  
**美術屋・百兵衛** 22  
**朝日夕刊** 8.1 増田愛子  
**毎日夕刊** 8.22 渡辺亮一  
**読売** 7.19 高野清見  
**高校生国際美術展13回** 6.28—7.8 国立新美術館  
**交差する視点と私たち vol.5** 9.8—9.23 札幌芸術の森美術館(紋別市立博物館、北海道立釧路芸術館)  
 新美術新聞 1290  
**神野御茶屋 殿様の別邸** 9.24—12.1 徴古館  
**国宝紅白梅図屏風 所蔵名品展[絵画・書跡]** 開館30周年記念  
 1.27—3.2 MOA 美術館  
**朝日夕刊** 2.22 宮代栄一  
**公募団体ベストセレクション 美術2012** 5.4—5.27 東京都美術館  
 ギャラリー\* 325  
**主体美術** 92 返町勝治  
**東京夕刊** 5.11 勝田一人  
**毎日夕刊** 5.9 岸桂子  
**読売** 5.17 高野清見  
**高野山麓 祈りのかたち** 10.20—12.2 和歌山県立博物館  
**高麗青磁の精華 心にしみ入る翡色の輝き** 6.9—9.2 高麗美術館  
**陶説** 712  
**KORIN 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」** 4.21—5.20 根津美術館  
 新美術新聞 1279  
**小江戸川越 江戸絵画 職人尽絵と三十六歌仙額** 11.6—12.16 川越市立美術館  
**水墨画\*** 284  
**呼吸する環礁[アートル]: モルディブ・日本現代美術展** 5.24—6.3 スパイラルガーデン  
**美術手帖** 971 高橋瑞木  
**国際水墨芸術大会** 10.23—10.28

平成24年美術展覧会(企ケ、コ)

東京銀座画廊・美術館  
**水墨画\*** 285 沈和年  
**極小の宇宙 手わざの粋—伊勢型紙の歴史と展開—** 8.28—10.14 三重県立美術館  
**古事記の歩んできた道 古事記撰録1300年** 6.16—7.16 奈良国立博物館  
**古代ガラス シルクロードを彩る人工の華** 1.5—3.5 天理大学附属天理参考館  
**後藤家文書 刀装金工の鑑定と記録** 10.1—10.27 東京芸術大学付属図書館  
**コドモのチカラ** 6.15—7.29 AT-ELIER MUJI  
**芸術新潮** 752  
**こども博物館 動物たちのイメージ** 4.14—6.3 徳島市立徳島城博物館  
**個の原点3回** 1.25—1.31 高島屋(大阪)(高島屋(日本橋、名古屋))  
**この素晴らしい世界 アジアの現代美術から見る世界の今** 3.24—5.13 広島市現代美術館  
**新美術新聞** 1277  
**美術手帖** 969 木村絵理子  
**この世界とわたしのどこか 日本の新進作家 vol.11** 12.8—1.27 東京都写真美術館  
**美術手帖** 979 タカザワケンジ  
**東京** 12.4 笠原美智子  
**個の地平6回** 8.22—8.28 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪、名古屋))  
**新美術新聞** 1288  
**美術の窓** 348 編集部  
**古萩 江戸の美意識** 10.20—12.9 山口県立萩美術館・浦上記念館  
**小林一三の愛した近代日本画** 7.7—8.12 逸翁美術館  
**毎日夕刊** 7.30 渡辺亮一  
**古美術優品** 1.4—2.5 石川県立美術館  
**目の眼** 425  
**古筆手鑑 国宝『見努世友』と『藻塩草』** 2.25—3.25 出光美術館  
**朝日夕刊** 2.22 宮代栄一

湖北の観音—信仰文化の底流をさぐる— 9.7—10.14 長浜城歴史博物館

暦と怪異—不安な日々の平安貴族— 10.6—11.11 斎宮歴史博物館

コレクション名作展I メナード美術館開館25周年記念 12.4—2.17 メナード美術館

新美術新聞 1298 村上久美

コレクター鈴木常司 美へのまなざし ポーラ美術館開館10周年記念 第I期ピカソとポーラ美術館の絵画 7.14—10.2 ポーラ美術館

新美術新聞 1288 荒屋鋪透

目の眼 434 編集部

朝日夕刊 8.22 増田愛子

コレクター鈴木常司 美へのまなざし ポーラ美術館開館10周年記念 第II期モネとポーラ美術館の絵画 10.5—2.26 ポーラ美術館

陶説 716 川島公之

読売 9.20 井上晋治

# (サ)

サークル・オブ・アート 11.22—1.20 北海道立近代美術館

災害と文化財—歴史を語る文化財の保全— 4.28—6.3 和歌山県立博物館

歴史学研究 896 下村周太郎

埼玉ゆかりの芸術家—近代・現代の埼玉の芸術家が創造する世界—

4.14—9.2 サトエ記念21世紀美術館

新美術新聞 1280

再発見 日本の書画の美 9.29—11.11 田原市博物館(丹波市立植野記念美術館)

ザ・大阪ベストアート—府&市モダンアートコレクションから 9.15—11.25 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室

新美術新聞 1294

坂田和実の40年 古道具、その行き先 10.3—11.25 渋谷区立松涛美術館

美術手帖 975 白坂ゆり

東京夕刊 11.16 藤田一人

日経夕刊 10.4

佐賀藩 長崎警備のはじまり 5.28—8.4 徴古館

櫻堂薬師1200年 11.3—12.16 瑞浪市陶磁資料館

挿絵が僕らにくれたもの—通俗文化の源流— 6.2—5.20 三鷹の森ジブリ美術館

東京 6.3 高橋知子

佐田岬半島と西日本の裂織 10.6—12.2 愛媛県歴史文化博物館

ザ・タワー—都市と塔のものがたり— 2.21—5.6 江戸東京博物館(大阪歴史博物館)

芸術新潮 748

新美術新聞 1273 岩城紀子

産経 4.19 海老沢類

読売 4.13 高野清見

サッポロ未来展11回 RENEWAL

3.19—3.24 札幌時計台ギャラリー(札幌市立小樽美術館)

美術の窓 344 磯部靖

座の会展1回 座2012 9.1—9.16 なみき画廊

水墨画\* 285

サムライたちの美学 新刀と刀装具にみる粋の心 2.4—3.25 静嘉堂文庫美術館

朝日夕刊 2.15 杉森美絵

3月11日の、あのね。 3.18—3.29 全労済ホール

東京 3.20 中山洋子

三国志の時代—2・3世紀の東アジア— 4.21—6.17 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

3・11—東日本大震災の直後、建築家はどうか対応したか 3.2—3.18 東北大学都市・建築学専攻仮設校舎 KATAHIRA 10

産経 3.7 黒澤綾子

3.11とアーティスト:進行形の記録 10.13—12.9 水戸芸術館現代美術ギャラリー

美術手帖 976 沢山遼

朝日夕刊 10.24 大西若人

東京夕刊 11.5 三沢典丈

日経 11.14 宝玉正彦

毎日夕刊 11.28 岸桂子

読売 11.9 井上晋治

三都画家くらべ 京、大坂をみて江戸を知る 3.17—5.6 府中市美術館

芸術新潮 749

日経 4.11 宝玉正彦

# (シ)

JIDA デザインミュージアムセレクション Vol. 13 3.16—3.20 芝浦工業大学

シェル美術賞 2012 12.12—12.24 国立新美術館

自画像★2012 —9人の美術家による新作自画像と小品展— 10.1—10.20 ギャラリー58

朝日夕刊 10.10

毎日夕刊 10.10 三田晴夫

四季の所蔵作品展 朱夏の章 6.1—8.29 北野美術館

新美術新聞 1282

四季の美 7.17—10.31 トーキョウアートショールーム

新美術新聞 1288

四国へんろの旅 絵図・案内記と道標 2.21—4.8 愛媛県歴史文化博物館

紙上の技法学 筑波大学蔵石井コレクション 1.7—2.19 武蔵野市立吉祥寺美術館

自然と幻想の博物誌 あつめること、みること、そうぞうすること 7.14—8.19 豊橋市美術館

REAR 29 山脇一夫

自然の鉛筆 技法と表現 7.14—9.17 東京都写真美術館

日経 8.8 窪田直子

時代的美 五島美術館・大東急記念文庫の精華 第2部 鎌倉・室町編 11.23—12.24 五島美術館

水墨画\* 284 砂澤祐子

産経 11.25 黒澤綾子

時代を駆けるデザイン 亀倉雄策賞の作家たち 4.27—6.3 新潟県立近代美術館

漆芸 軌跡と未来 東京藝術大学創立125周年記念事業 10.5—10.21 東京芸術大学大学美術館

新美術新聞 1293

漆芸の未来を拓く—一生初の時2012— 5.12—6.24 石川県輪島漆芸美術館  
 実の会2回 美と存在 3.7—3.13 高島屋(日本橋)  
 芝 増上寺—秀忠とお江の寺— 3.27—5.27 江戸東京博物館 読売 5.2  
 WAITING FOR THE FIRST TRAIN  
 始発電車を待ちながら 東京駅復元工事完成記念 10.1—2.24 東京ステーションギャラリー  
 朝日夕刊 12.12 西岡一正  
 産経 10.10 黒沢綾子  
 東京夕刊 10.22 三沢典丈  
 日経 10.3 窪田直子  
 毎日夕刊 10.2 岸桂子  
 読売 11.1 井上晋治  
 重要文化財指定記念—島内地下式横穴墓群出土品1029点— 7.6—9.2 えびの市歴史民俗資料館  
 JAALA 国際交流展18回 2012 8.12—8.19 東京都美術館  
 ギャラリー\* 330 ワシオ・トシヒコ  
 釈尊と親鸞 親鸞編 2.4—3.25 龍谷大学 龍谷ミュージアム  
 写真の可能性と大なる挑戦 11.21—5.19 ホキ美術館  
 新美術新聞 1302  
 美術屋・百兵衛 24  
 写真の現在4 そのときの光、そのさきの風 6.1—7.29 東京国立近代美術館  
 朝日夕刊 7.11 西岡一正  
 毎日夕刊 6.19 手塚さや香  
 読売 7.20 井上晋治  
 十一屋コレクションの名品 野口柿邨をめぐる文人たち 12.15—2.11 山梨県立美術館  
 19世紀ヨーロッパ・アカデミー派絵画展—美しいものの伝統— 3.23—4.21 ギャラリー美術波  
 新美術新聞 1278  
 収蔵作品展拡大版 青年期から—若き日の思索 3.3—5.6 佐久市立近代美術館  
 新美術新聞 1276  
 収蔵作品にみる彫刻—立体造形の足

し算 12.8—2.24 佐久市立近代美術館  
 新美術新聞 1300  
 10年代の終戦 8.15—9.1 eitoeiko  
 美術手帖 975 エイドリアン・ファベル／近藤亮介 訳  
 首里城に魂を! 国内唯一の赤い城〔ぐすく〕20年のストーリー 7.6—1.14 首里城公園管理センター  
 尚意競艶—宋時代の書— 10.2—11.25 台東区立書道博物館／東京国立博物館  
 毎日夕刊 10.18 桐山正寿  
 読売 11.8  
 奨学生美術展21回 9.25—11.4 佐藤美術館  
 ギャラリー\* 331 名古屋覚  
 將軍家献上の鍋島・平戸・唐津—精巧なるやきもの— 10.6—11.25 佐賀県立九州陶磁文化館  
 少女たちの昭和展 9.11—2014.3.31 昭和のくらし博物館  
 産経 10.12  
 正倉院展64回 10.27—11.12 奈良国立博物館  
 新美術新聞 1291  
 読売 8.11  
 読売 9.27  
 読売 10.31 関根俊一  
 肖像画の魅力—歴史[とき]を見つめた眼差し 2.11—3.20 茨城県立歴史館  
 朝日夕刊 2.29 宮代栄一  
 象徴派 夢幻美の使徒たち—世紀末美術の巨匠たち 11.3—12.16 姫路市立美術館(岐阜県美術館、新潟県立近代美術館)  
 新美術新聞 1295 山田真規子  
 象の内・外 2012 9.13—9.19 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1290  
 蕭白ショック!! 曾我蕭白と京の画家たち 4.10—5.20 千葉市美術館(三重県立美術館)  
 新美術新聞 1277  
 産経 4.29 洪沢和彦  
 毎日夕刊 4.24 岸桂子  
 読売 5.4 前田恭二

縄文人展 芸術と科学の融合 4.24—7.1 国立科学博物館  
 美術手帖 971 諏訪敦  
 縄文土器 前期—八ヶ岳山麓の名作 9.15—11.4 長野県立歴史館  
 縄文土器 後期—千曲川流域、土器—万年の旅 11.10—12.16 長野県立歴史館  
 縄文の世界像—八ヶ岳山麓の恵み— 10.25—12.24 大阪市立弥生文化博物館  
 毎日夕刊 12.12 渡辺亮一  
 昭和の名作住宅に暮らす—一次世代に引き継ぐためにできること— 9.21—10.21 ガレリア・アビターレ  
 日経夕刊 10.1 窪田直子  
 書画まつり19回 11.10—11.25 ギャラリー鉄斎堂  
 新美術新聞 1297  
 職人のわざ[技]とカタ[型]—商品の誕生— 10.6—11.18 埼玉県立歴史と民俗の博物館  
 助手展2012 武蔵野美術大学助手研究発表 11.26—12.22 武蔵野美術大学美術館  
 女性美 The Beauties He Loved 1.5—4.15 松岡美術館  
 目の眼 426 黒川裕子  
 [書・築]展 LOCUS DESIGN FORUM 日中韓共同プロジェクト 11.7—11.18 ヒルサイドフォーラム  
 美術手帖 977 竹見洋一郎  
 毎日夕刊 11.8 手塚さや香  
 書のアート展27回 4.18—4.23 東京都美術館  
 産経 4.20  
 女流吉象展 7.30—8.5 ギャラリーームサシ  
 新美術新聞 1287  
 女流陶芸46回 11.21—11.27 京都市美術館  
 陶説 718 森孝一  
 新エコールドパリ浮世・絵展1回 東京本部創立記念 1.27—1.29 CARATO71  
 美術の窓 341 編集部  
 新・輝け! 埼玉作家展2回 11.7

平成24年美術展覧会(企シ〜ソ)

- 11.21 埼玉画廊  
新美術新聞 1296
- 宸翰 天皇の書—御手が織りなす至高の美— 10.13—11.25 京都国立博物館  
読売 11.7 早川保夫
- 震災からよみがえった東北の文化財展 2.2—3.31 都立中央図書館  
毎日 3.7 柳澤一男
- 神社名宝展—参り・祈り・奉る—皇學館大學創立130周年記念・再興50周年記念 4.29—5.26 皇學館大学佐川記念神道博物館
- 新宿クリエイターズ・フェスタ2012〜アートと過ごす夏時間〜 8.24—9.2 新宿区  
産経 8.30
- 新宿区立小学校—受け継がれた学び舎の宝— 2.18—4.15 新宿歴史博物館  
東京 2.20
- 信じられるデザイン展 3.30—6.17 東京ミッドタウン・デザインハブ  
東京 4.6 井上幸一
- 新世紀の顔・貌・KAO —30人の自画像— 最終章 1.16—1.26 高輪画廊(ひろた画廊、アートスペース東山、神田日勝記念美術館)
- ShinPA!!!!!! 東京芸術大学デザイン科描画系 2.18—5.15 おぶせミュージアム・中島千波館  
ギャラリー\* 323
- 神秘のデザイン—中国青銅芸術の粋— 1.7—2.26 泉屋博古館分館  
ギャラリー\* 321
- 新耀展10回記念 6.17—6.23 東京交通会館  
美術の窓 347 編集部
- 親鸞 真宗開顕 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念 10.10—11.28 大谷大学博物館
- 神話のこぼれ ブラジル現代写真展 10.27—12.23 資生堂ギャラリー

(ス)

- 水彩画の現在[いま]〜日本水彩画会創立100周年を迎えて〜開館30周年記念特別展 10.5—2.3 信州新町美術館

- 水彩画の魅力 7.7—9.30 大川美術館  
新美術新聞 1288
- 水滴の世界展 2.18—3.25 とちぎ蔵の街美術館  
目の眼 426
- スーホの白い馬と草原の民 10.6—12.2 馬の博物館
- 数寄屋大工—美を創造する匠— 8.20—9.29 ギャラリーA4(竹中大工道具館、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館)
- 須田悦弘による江戸の美 10.30—12.16 千葉市美術館  
美術手帖 979 関直子  
読売夕刊 12.3 (清)
- ストラスブール美術館展 5.26—7.16 茨城県近代美術館(福井県立美術館、横須賀美術館、愛媛県美術館、静岡市美術館)  
新美術新聞 1283
- 墨絵展2012 今日の墨表現 34回 9.18—9.28 好文画廊  
水墨画\* 285
- 隅田川新名所物語 10.27—11.7 隅田公園  
芸術新潮 757
- 墨と紙が生み出す美の世界展 10.13—12.9 徳島県立近代美術館  
水墨画\* 283 森芳功
- スリップウェアと西洋工芸 1.7—3.25 日本民芸館  
目の眼 427

(セ)

- 清雅なる仏画 白描図像が生み出す美の世界 10.7—11.11 大和文華館  
新美術新聞 1293
- せいしんの美術展 3.15—3.16 学術総合センター  
産経 4.13
- 聖なる銀 アジアの装身具展 6.7—8.25 LIXIL ギャラリー1 (LIXIL ギャラリー(大阪))  
読売 7.4
- 聖夜を想い・初空を仰ぐ 12.5—12.20 埼玉画廊  
新美術新聞 1299

- 世界絵画大賞展8回 8.22—8.30 東京都美術館  
美術の窓 349 磯部靖
- 世界の終わりのものがたり〜もはや逃れられない73の問い 3.10—6.11 日本科学未来館  
産経 5.21 磨井慎吾
- 世界の学生の環境ポスタープロジェクト 環境問題に向けた 5大陸・20大学の学生のまなざし 7.9—8.18 武蔵野美術大学美術館
- 世界ポスタートリエンナーレトヤマ 10回 2012 6.9—9.3 富山県立近代美術館  
朝日夕刊 8.15 増田愛子
- 世情 大阪城天守閣蔵風俗図屏風にみる 3.24—5.6 大阪城天守閣
- 瀬戸市新世紀工芸館 第8期研修生修了作品展・第9期研修生作品展 2.18—3.25 瀬戸市新世紀工芸館  
陶説 710 井上隆生
- ZEN展10回 8.22—8.30 東京都美術館  
新美術新聞 1291 (主)
- 専攻科陶芸展1回 10.2—10.8 岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム  
陶説 717 井上隆生
- 戦国—乗谷の庭園—伝統と革新の庭園デザイン— 8.4—9.17 福井県立—乗谷朝倉氏遺跡資料館
- 戦国大名尼子氏の興亡 10.26—12.24 島根県立古代出雲歴史博物館
- せんだいデザインリーグ 卒業設計日本—決定戦2012 10.21—10.27 AXIS ギャラリー(DSIGN+ART SPACE K3 nord、せんだいメディアテーク)  
読売 10.25
- 千墨会水墨画展17回 国立台湾藝術大学作品展 6.19—6.24 神奈川県民ホール  
水墨画\* 281

(ソ)

- 草原の王朝 契丹 美しき3人の

- プリンセス 7.12—9.17 東京芸術大学大学美術館(九州国立博物館、静岡県立美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1285  
毎日 7.11 三枝奏一  
毎日 7.11 原田一敏 談
- 創作版画の宝宝箱—コレクター 長谷川勝三郎の絵 7.7—9.30 鹿沼市立川上澄生美術館  
版画芸術 156
- 空からの眺め—大江戸八百八町 5.1—5.27 太田記念美術館  
水墨画\* 278  
読売 4.13 前田恭二
- それでも生きる!考古学からみる災害のあと 10.12—12.2 地底の森ミュージアム  
朝日夕刊 11.26 小川雪
- ソニエリュミエール 物質・移動・時間 4.28—11.4 金沢21世紀美術館
- 尊厳の芸術 11.3—12.9 東京芸術大学大学美術館(こむこむ館、せんだいメディアテーク、浦添市美術館、広島県立美術館)  
美術手帖 977 榎木野衣  
朝日 11.21 増田愛子  
日経 11.21 窪田直子
- 存在の美 まなざし・微笑み・憂い 開館1周年記念 11.19—5.20 ホキ美術館  
産経 2.22 中山忠夫

## (タ)

- 大出雲展 古事記1300年・出雲大社大遷宮 7.28—9.9 京都国立博物館(東京国立博物館)  
ギャラリー\* 327
- 大浮世絵展 北斎、広重、そして春画 9.13—12.24 軽井沢ニューアートミュージアム  
芸術新潮 757
- 大英博物館古代エジプト展 7.7—9.17 森アーツセンターギャラリー(福岡市美術館)  
朝日 6.21 増田愛子 構成  
朝日 7.3 増田愛子  
朝日 7.22 兼高かおる

- 大桜島公募展 10.12—11.4 鹿児島市立美術館  
新美術新聞 1294
- 大正から始まった日本のKawaii(カワイイ)展 ファンシーグッズを中心に 4.5—7.1 弥生美術館  
産経 6.20 渋谷和彦
- 大聖寺伊万里展 11.8—11.18 イリス  
目の眼 435
- 大正の記憶 絵葉書の時代 4.5—6.9 学習院大学史料館  
朝日夕刊 5.9 蒔苗沙都子  
読売 5.9
- タイポグラフィ教育1 文字造形を主体とした大町尚友の教育の軌跡 9.10—10.20 武蔵野美術大学美術館
- 日本のこころ 大本山相国寺・金閣・銀閣名宝展 10.12—11.25 富山県水墨美術館
- 大名と藩—天下泰平の立役者たち— 3.20—5.6 埼玉県立歴史と民俗の博物館  
朝日夕刊 4.4 横田麻生子
- 太陽展49回 5.22—6.6 日動画廊  
平清盛 1.2—2.5 江戸東京博物館
- 対話する時間 世田谷美術館コレクションによる現代美術展 9.15—11.11 世田谷美術館  
朝日夕刊 10.10 神谷実里
- 高田本山の宝物と文化財展—信仰とその証— 3.4—4.16 パラミタミュージアム
- たくみのたくらみ きせる・たばこ盆・たばこ入れにみる職人の手技 11.17—1.14 たばこと塩の博物館
- 武豊アニメーションフィルムフェスティバル2012(TAFF' 12) 12.18—12.18 武豊町民会館  
REAR 27 越後谷卓司
- 多治見工業高校専攻科修了制作展 49回 2.17—2.19 多治見市文化会館  
陶説 710 井上隆生
- 多治見市陶磁器意匠研究所卒業制作展 平成23年度 2.17—2.19 セラミックパーク MINO

- 陶説 710 井上隆生
- タッチアート! 2—美術に触れるはじめの一步— 8.11—9.30 川越市立美術館  
新美術新聞 1288
- タツノコプロテン 50周年記念 8.8—8.20 松屋(銀座)(阪神(梅田)、みやぎアートセンター、鶴屋(熊本)、スペースワールド)  
産経 8.15  
産経 8.17 織田淳嗣
- 館林ジャンクション 中央関東の現代美術 4.28—7.1 群馬県立館林美術館  
新美術新聞 1281  
東京夕刊 6.6 三沢典丈
- 七夕の美術 日本の近世・近代の美術工芸にみる 6.23—8.19 静岡市美術館  
新美術新聞 1283 吉田恵理  
水墨画\* 279  
毎日夕刊 7.2 岸桂子  
読売 7.5 井上晋治
- 谷川岳高山植物図鑑 原画展 9.4—9.17 東京芸術大学大学美術館 陳列館
- 旅する仮面 7.14—9.2 沖縄県立博物館・美術館  
新美術新聞 1285
- 多摩美術大学絵画学科 版画専攻卒業制作展 3.5—3.10 文房堂ギャラリー  
版画芸術 155 石川健次
- 多摩美術大学大学院美術研究科 絵画専攻版画修了制作展 3.7—3.12 BankART Studio NYK  
版画芸術 155 石川健次
- 多摩美術大学美術館コレクション展 4.4—5.13 多摩美術大学美術館  
新美術新聞 1279
- 旦那が愛した乙女たち—遠藤家美人画コレクション— 10.8—10.14 神田の家  
東京 10.6 丹治早智子

## (チ)

- 地下の正倉院 平城宮第一次大極殿院のすべて 10.20—12.2 奈良文化財研究所平城宮跡資料館



竹工芸の継承・革新〜早川尚古齋・  
田邊竹雲齋・飯塚琅玕齋・生野祥  
雲齋を中心に〜 9.12—10.8 大  
分芸術会館  
新美術新聞 1290

地平展14回 6.10—6.19 東京都  
美術館  
新美術新聞 1285 (裕)

チャオ! 縄文 先史飛ノ台と古代イ  
タリア 縄文国際コンテンポラリ  
ーアート in ふなばし2012 7.15  
—9.9 船橋市飛ノ台史跡公園博  
物館

茶人井伊直弼と幕末のやきもの  
10.26—11.27 彦根城博物館

茶の湯の現代 用と形 公募展1  
回 4.14—6.24 菊池寛実記念智  
美術館  
毎日夕刊 6.12 岸桂子

Challenge Art in Japan 2012 韓国  
人留学生による現代アート展  
11.6—11.17 韓国文化院

中学生まるびいアートスクール 魔  
法の書道展 9.29—1.14 金沢21  
世紀美術館

中国 王朝の至宝 10.10—12.24  
東京国立博物館(神戸市立博物館、  
名古屋市博物館、九州国立博物館)  
芸術新潮 756  
新美術新聞 1296 松本信之  
産経 10.3  
毎日 10.1 三枝泰一  
毎日 11.23 王毅 談  
毎日夕刊 10.22 稲畑耕一郎

中国近代絵画と日本 1.7—2.26  
京都国立博物館  
水墨画\* 274  
読売 1.19 木村未来

中国山水画の20世紀 中国美術館  
名品選 7.31—8.26 東京国立博  
物館  
芸術新潮 754  
毎日 7.14  
毎日夕刊 8.21 岸桂子

幻のコレクション 中国陶磁名品展  
—イセコレクションの至宝—  
4.22—5.13 石川県立美術館  
芸術新潮 749  
中国陶磁名品展 東京富士美術館所

蔵 9.8—11.25 兵庫陶芸美術館  
中国福建博物院展〜長崎文化の源流  
をたずねて〜 10.6—11.30 長  
崎歴史文化博物館

抽象と形態 何処までも顕れないも  
の 1.14—4.15 川村記念美術館  
ギャラリー\* 323 名古屋覚  
日経 1.24  
日経夕刊 2.2  
毎日夕刊 2.8 三田晴夫

中世人の花会と茶会 6.2—7.16  
根津美術館  
毎日夕刊 6.21 岸桂子

中世の安房と鎌倉一海で結ばれた信  
仰の道—“渚の駅”たてやまオー  
ブン記念特別企画 3.3—4.22  
館山市立博物館

超群島—ライト・オブ・サイレンス  
6.9—7.8 青森県立美術館  
美術手帖 973 榎木野衣  
朝日夕刊 7.4 大西若人  
朝鮮木のもの100選 2.4—3.25  
高麗美術館  
目の眼 426

珍獣? 霊獣? ゾウが来た! 4.21—  
6.10 長崎歴史文化博物館  
ギャラリー\* 325  
芸術新潮 750  
新美術新聞 1278  
珍品ものがたり 7.21—9.2 宮内  
庁三の丸尚蔵館  
芸術新潮 753  
朝日夕刊 8.27 小川雪

## (ツ)

つくる事が生きること 東日本大  
震災復興支援プロジェクト展  
3.11—3.25 アーツ千代田3331  
東京夕刊 2.21 三沢典丈  
日経 3.1  
読売夕刊 3.19 (清)  
ツタンカーメン展 黄金の秘宝と少  
年王の真実 エジプト考古学博物  
館所蔵 3.17—6.3 大阪天保山  
特設ギャラリー  
産経 1.19  
ツタンカーメン展 黄金の秘宝と少  
年王の真実 エジプト考古学博物  
館所蔵 8.4—1.20 上野の森美

術館  
産経 8.5  
産経 11.11 黒沢綾子  
日経 10.8

## (テ)

出合い ルーヴル美術館からのメッ  
セージ 4.27—6.3 岩手県立美  
術館(宮城県美術館)  
新美術新聞 1279 大野正勝  
東京 2.8 (典)  
毎日 5.9 岸桂子  
毎日夕刊 5.8 岸桂子  
読売 5.3 高野清見

出合い ルーヴル美術館からのメッ  
セージ 7.28—9.17 福島県立美  
術館(宮城県美術館)  
東京夕刊 8.16 森村陽子  
東京夕刊 9.11 野村悦芳

帝室博物館総長 森鷗外 生誕150  
周年 7.18—9.9 東京国立博物  
館  
朝日 8.1 小川雪

手紙に見る実篤への思い—岸田劉生  
・長与善郎・千家元麿— 4.28—  
6.3 調布市武者小路実篤記念館  
DESIGNTIDE TOKYO 10.31—11.  
4 東京ミッドタウン・ホール  
産経 10.31

手塚治虫を装丁する 10.15—11.10  
東京電機大学電大ギャラリー  
東京 10.22

鉄道絵葉書の世界 7.4—8.12 天  
理大学附属天理参考館

テマヒマ展 東北の食と住 4.27—  
8.26 21\_21 DESIGN SIGHT  
芸術新潮 752 佐藤卓、深澤直  
人 インタビュー  
美術手帖 973 中山真理  
朝日夕刊 5.23 大西若人  
日経 5.2 窪田直子  
読売夕刊 6.9 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班

出羽国成立1300年 10.13—12.9  
山形県立博物館

天才画家の10代 12.22—3.3 お  
かざき世界子ども美術博物館  
新美術新聞 1301  
天地を巡る日月星宿—七夕・乞巧奠

と夏の大祓— 7.7—8.13 城陽市歴史民俗資料館

(ト)

陶展 土一声の住まう処〔ところ〕

10.6—12.2 山之内町立志賀高原ロマン美術館

陶説 719 外館和子

十果会34回 7.4—7.10 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))

新美術新聞 1284

桃花の会5回 6.13—6.19 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、名古屋、横浜、大阪))

東京駅一よみがえる赤レンガ駅舎— 5.19—6.17 東京都立中央図書館 東京 5.30 井上幸一

東京駅発 6.11—6.17 ギャラリー八重洲・東京 新美術新聞 1281

東京藝術大学卒業・修了作品展60回 1.29—2.3 東京芸術大学／東京芸術大学大学美術館 美術の窓 344 編集部 座談

東京藝大出身の陶芸家たち 菊池コレクションから 7.7—9.23 菊池寛実記念智美術館 新美術新聞 1285 陶説 714 外館和子

東京五美術大学連合卒業・修了制作展35回 多摩美術大学・女子美術大学・東京造形大学・日本大学芸術学部・武蔵野美術大学 2.23—3.4 国立新美術館 ギャラリー\* 324 名古屋覚 美術の窓 344 編集部 座談

東京・自由美術展1回 5.23—5.30 東京都美術館

東京デザイナーズウィーク2012 10.30—11.5 明治神宮外苑絵画館前 毎日夕刊 10.25 永田晶子

TOKYO PHOTO 2012 9.28—10.1 東京ミッドタウンホール 日経 9.13

東工大で益子焼 知る・ふれる・つかう 10.18—10.28 東京工業大学博物館

朝日夕刊 10.15 小川雪

当世具足 大名とその家臣団の備え 2.4—3.25 板橋区立郷土資料館

東美アートフェア2012 10.5—10.7 東京美術倶楽部 新美術新聞 1291

どうぶつ集まれ—ぞうさんの描いた絵と表された動物たち 4.28—6.24 徳島県立近代美術館 新美術新聞 1281

東方水墨画協会展4回 8.24—8.29 朝日ギャラリー 水墨画\* 283

東北学院大学文化財レスキュー展 in 鮎川 8.12—8.14 石巻市牡鹿公民館(せんだいメディアテーク)

東北画は可能か? 1.11—1.29 ニュートロン東京 ギャラリー\* 322 小金沢智 東京夕刊 1.23 三沢典丈

東北芸術工科大学卒業・修了展 東京展 3.3—3.8 東北芸術工科大学外苑キャンパス 陶説 710 外館和子

東北をつなぐ みちのくの恵み 6.9—9.2 もうひとつの美術館 新美術新聞 1286

東洋絵画の精華 1 珠玉の日本絵画コレクション 4.14—5.20 静嘉堂文庫美術館

東洋絵画の精華 2 至高の中国絵画コレクション 5.23—6.24 静嘉堂文庫美術館

東洋陶磁の美 悠久の光彩 大阪市立東洋陶磁美術館コレクション 1.28—4.1 サントリー美術館 朝日 1.27 新谷祐一 日経 3.2

東洋の白いやきもの—純なる世界— 8.4—10.21 出光美術館 新美術新聞 1290 金沢陽 読売 10.4

東洋の美 栗原コレクション受贈記念 4.7—5.20 ふくやま書道美術館 新美術新聞 1277

東洋のやきもの—日本・朝鮮・中国—/南部靖之氏寄贈 古硯と古墨

平成24年美術展覧会(企テ、ト)

4.1—6.30 関西大学博物館 東洋美術学校卒業制作展63回 2.22—3.4 国立新美術館 東嶺園慈 禅画と墨蹟 龍澤寺・齡仙寺と近江の禅寺所蔵作品 10.1—12.15 花園大学歴史博物館(ZEN MUSEUM)

遠き道展—伝統からの飛翔 日本画のゆくえ— 1.2—2.26 茨城県天心記念五浦美術館 茨城県近代美術館だより 91 稲葉睦子

トーキョーワンダーウォール公募 2012入選作品展 5.26—6.17 東京都現代美術館 東京 5.30

土器から陶器へ—民芸の源流に迫る— 古事記編纂1300年企画 7.14—9.23 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館

DOKIDOKI 陶芸の魅力×アートのドキドキ 3.3—7.6 滋賀県立陶芸の森陶芸館(兵庫陶芸美術館、岐阜県現代陶芸美術館) 陶説 710

時のカタチ 間のカタチ Seiko Design Project 2012 12.6—12.12 和光ホール 芸術新潮 758

刻の記憶 龍野アートプロジェクト 2012 11.16—11.25 龍野市 時は旅をする JOURNEY ACROSS THE TIME 2.22—2.28 高島屋(横浜)

美術の窓 342 編集部 土偶・コスモス 9.1—12.9 MIHO MUSEUM ギャラリー\* 329 新美術新聞 1292 陶説 719 井上隆生 産経 7.4

土偶まんだら 7.14—8.19 岩手県立博物館 徳川昭武のヨーロッパ体験 9.29—11.25 松戸市戸定歴史館 朝日夕刊 10.15 小川雪 徳川家康の肖像〔すがた〕 江戸時代の人々の家康観 10.6—11.25 江戸東京博物館



朝日夕刊 10.15 小川雪  
毎日夕刊 10.17  
読売 10.25 前田恭二  
**徳川本の世界—多様性とその魅力**  
9.11—11.4 東京国立博物館  
**館長庵野秀明 特撮博物館 ミニチュア**  
で見る昭和平成の技 7.10—10.8 東京都現代美術館  
芸術新潮 753  
美術手帖 973 パルコキノシタ  
朝日夕刊 6.30 石飛徳樹／増田愛子  
朝日夕刊 7.25 横田麻生子  
産経 5.20  
読売 6.29 近藤孝  
**徳島歴史玉手箱 新収蔵品** 6.9—7.22 徳島市立徳島城博物館  
**鳥坂寺再興** 7.14—9.9 柏原市立歴史資料館(大阪府立中央図書館)  
**都市から郊外へ—1930年代の東京**  
2.11—4.8 世田谷文学館  
朝日夕刊 3.28 大西若人  
**図書館収蔵資料展 國學院大学創立130周年記念** 10.10—10.16 丸善(丸の内)  
**都市を描く—京都と江戸—第I部「洛中洛外図屏風と風俗画」人間文化研究機構連携展示** 3.27—5.6 国立歴史民俗博物館  
歴博 173 大塚活美  
毎日夕刊 4.23 栗原俊雄  
読売 4.1  
**都市を描く—京都と江戸—第II部「江戸名所と風俗画」人間文化研究機構連携展示** 3.28—5.6 国文学研究資料館  
**栃木に生きる—風土・ひと・芸術—**  
4.21—6.17 栃木県立美術館  
**徳利と盃** 1.14—4.8 石洞美術館  
目の眼 425  
**国宝飛青磁花生と国宝油滴天目茶碗—伝世の名品—** 10.27—12.25 大阪市立東洋陶磁美術館  
美術手帖 977 清水穰  
**都美セレクション グループ展公募1回 月火水木金土日……想いを繋ぐ** 8.12—8.18 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 工房集作品展『生きるため**

**の表現』** 9.9—9.16 東京都美術館  
新美術新聞 1290  
**都美セレクション グループ展公募1回 とある雑食美術愛好家T氏コレクションより** 10.13—10.19 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 群龍割拠 猫とドラゴン展** 10.21—10.28 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 未知のまなざし** 11.26—12.2 東京都美術館  
**都美セレクション グループ展公募1回 「版17 特別展—越境する版画表現」オルドジヒ・クルハーネクと現代日本版画** 12.5—12.11 東京都美術館  
新美術新聞 1298  
**都美セレクション グループ展公募1回 ここから見える景色は最高** 12.13—12.20 東京都美術館  
新美術新聞 1299  
**ドビュッシー、音楽と美術 印象派と象徴派のあいだで** 7.14—10.14 プリヂストン美術館  
芸術新潮 754 鈴木淳史  
新美術新聞 1285 新畑泰秀  
産経 8.26 黒沢綾子  
日経 6.30  
日経 7.5  
日経 7.8 窪田直子  
日経 8.19  
日経 9.16  
日経 10.11 平野啓一郎  
**DOMANI・明日展14回** 1.14—2.12 国立新美術館  
新美術新聞 1269 福永治  
東京夕刊 2.3 三沢典丈  
**とよかわの美術家たち 豊川の美術史** 9.18—10.28 豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
**TRANS ARTS TOKYO 神田コミュニティアートセンタープロジェクト** 10.21—11.25 旧東京電機大学校舎11号館ほか  
産経 11.7 渋谷和彦  
東京夕刊 11.13 三沢典丈  
読売夕刊 11.12 (井)

**鳥居龍蔵の見た台湾 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館開館1周年記念企画展** 1.28—3.11 徳島県鳥居龍蔵記念博物館  
**ドローイングとは何か2回 公募入選者展** 1.30—2.11 ギャラリー一志門  
**ドローイング・レッスンズ** 9.20—10.19 ギャラリー・オーブ  
瓜生通信 57 イム・イエヒョン  
**Toiles des Trois 女流三人展** 4.12—4.18 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1277

# (ナ)

**内国勸業博覧会—明治美術の幕開け** 4.21—7.8 宮内庁三の丸尚蔵館  
**長崎街道 世界とつながった道** 10.30—12.27 九州歴史資料館  
**ナカダイ伊香保工場 モノ：ファクトリー×ハラミュージアムアーク** 8.11—8.15 ハラミュージアムアーク回廊  
産経 8.29 渋谷和彦  
**長野県工芸展32回** 9.18—9.22 長野市生涯学習センター  
陶説 716 外館和子  
**那須の縄文社会が変わるころ 縄文時代中期から後期へ** 9.22—11.25 栃木県立なす風土記の丘資料館  
**懐かしうつくし貝細工** 10.7—11.25 大田区立郷土博物館  
**鯨絵とボードレール展 コレクター気谷誠の世界** 6.23—9.9 神奈川県立近代美術館(鎌倉)  
版画芸術 156  
朝日夕刊 8.22 増田愛子  
**寧楽と越—大伴家持のみた万葉の越—** 10.4—12.6 富山県埋蔵文化財センター  
**「奈良町」の考古学 発掘された近世・近代の奈良** 11.1—12.28 奈良市埋蔵文化財調査センター  
**南都大安寺と観音さま 祈りと救いの美** 8.30—10.10 パラミタミュージアム  
**南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎 開館50周年記念「美を**

結ぶ。美をひらく。』IV 4.21—  
6.3 神戸市立博物館(サントリー  
美術館)  
日経 3.18  
南北墨画会有志展 7.8—7.14 東  
京交通会館  
水墨画\* 282

(二)

にいがたの近代建築 明治・大正・  
昭和戦前期の建物 4.21—6.10  
新潟市歴史博物館  
肉筆浮世絵名作展 10.5—11.14  
MOA 美術館  
芸術新潮 755  
新美術新聞 1292  
NIJIRO 展—3・11 いのちと絆  
6.26—7.1 鳩居堂画廊  
毎日夕刊 6.28 桐山正寿  
21世紀展12回 伝統からの創造  
4.23—4.27 東京美術倶楽部(京  
都美術倶楽部、金沢美術倶楽部、  
富山美術倶楽部、大阪美術倶楽部、  
名古屋美術倶楽部)  
新美術新聞 1278  
美術の窓 344 編集部  
21世紀関西女性絵画展 11.28—  
12.2 兵庫県立美術館ギャラリー  
新美術新聞 1297  
21世紀空間思考展 7.25—8.7 三  
越(日本橋)  
新美術新聞 1286  
美術の窓 347 編集部  
20世紀フランス美術の栄光展 9.  
13—11.25 笠間日動美術館  
芸術新潮 755  
二条城展 江戸東京博物館開館20  
周年記念 7.28—9.23 江戸東京  
博物館  
芸術新潮 754  
新美術新聞 1289  
産経 9.13  
読売 7.23  
読売夕刊 8.22 早川保夫  
二条城二の丸御殿と名古屋城本丸御  
殿 将軍の愛した障壁画 10.13  
—11.25 名古屋城天守閣  
二世五姓田芳柳の世界—近代日本洋  
画の先駆け— 3.17—5.6 古河

歴史博物館  
日欧のサムライたち—オーストリア  
と日本の武器武具展— 3.24—  
5.6 大阪歴史博物館  
日動展43回 10.23—11.7 日動画  
廊  
日活映画の100年 日本映画の100  
年 8.14—12.23 東京国立近代  
美術館フィルムセンター  
産経 9.24 堀晃和  
日韓選抜現代美術作家展 第一回日  
本・韓国文化交流(日本開催)  
7.30—8.9 オリエアート・ギャ  
ラリー  
ギャラリー\* 328  
日経日本画大賞展 東山魁夷記念5  
回 5.19—6.3 上野の森美術館  
新美術新聞 1281  
日経 5.19 宝玉正彦  
日経夕刊 5.10  
日光水墨画会作品展19回 9.7—  
9.9 栃木市栃木文化会館  
水墨画\* 283  
日中交流書画展 12.11—12.16 千  
葉市美術館市民ギャラリー  
書道界 278 種谷萬城  
水墨画\* 287  
日中水墨画研究会作品展 4.3—4.8  
日中友好会館  
水墨画\* 279  
日中美術展—東洋美術の未来を探る  
—日本画と工筆画 日中国交正常  
化40周年記念 9.5—9.17 東京  
美術倶楽部(中国国家博物館(北  
京))  
ギャラリー\* 328  
新美術新聞 1281  
新美術新聞 1289 浅木正勝  
水墨画\* 284  
美術の窓 348 編集部  
日経 9.12 宝玉正彦  
日朝交流の軌跡 対馬宗家文書8  
万点の調査を終えて 重要文化財  
新指定記念 7.4—9.9 九州国立  
博物館  
NIPPON DESIGN TRAVEL—47都  
道府県のデザイン旅行 4.26—  
5.28 d47 MUSEUM  
産経 5.21 黒沢綾子

日本美術のことはじめ—まじないか  
ら解体新書まで— 5.9—7.1 九  
州国立博物館  
日本・オブジェ 1920—70年代 断  
章 11.17—1.20 うらわ美術館  
日本絵画—組み合わせの美 4.14—  
6.3 滋賀県立近代美術館  
日本美術新聞 4  
Nihonga・京 7.11—7.17 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1285  
日本画の巨匠たち 名作でたどる日  
本美術院のあゆみ 近代から現代  
へ 8.21—9.23 福岡市美術館  
日本近代美術の名品展—森鷗外と米  
原雲海を中心に— 東京藝大美術  
館所蔵 10.6—11.26 島根県立  
石見美術館  
美術の窓 349 左近充直美  
「日本国」の誕生 古事記が出来たこ  
ろ 10.6—11.25 奈良県立橿原  
考古学研究所付属博物館  
日本水墨画協会展26回 1.30—2.4  
東京交通会館  
水墨画\* 277  
日本赤十字社所蔵アート展 東郷青  
児、梅原龍三郎からピカソまで  
復興への想いをひとつにして  
1.7—2.19 損保ジャパン東郷青  
児美術館  
産経 1.22 黒澤綾子  
日本陶磁協会賞受賞作家展53回  
1.27—2.2 和光ホール  
陶説 709 唐澤昌宏  
日本の映画ポスター芸術 1.7—  
3.31 東京国立近代美術館フィ  
ルムセンター(京都国立近代美術館)  
芸術新潮 747  
産経 2.26 堀晃和  
日本のガラス展'12 9.29—4.10  
黄金崎クリスタルパーク・ガラス  
ミュージアム(石川県能登島ガラ  
スミュージアム、パラミタミュー  
ジウム)  
新美術新聞 1294 佐久間詔代  
日本の陶磁—六古窯を中心に—  
11.16—12.24 MOA 美術館  
新美術新聞 1298  
日本の70年代 1968—1982 9.15

平成24年美術展覧会(企ニ〜ハ)

- 11.11 埼玉県立近代美術館(広島市現代美術館)  
朝日夕刊 10.31 西岡一正  
東京夕刊 10.12 石川翠  
毎日夕刊 10.24 岸桂子
- 日本のわざと美 重要無形文化財とそれを支える人々 10.20—11.25 徳島県立博物館
- 日本橋 描かれたランドマークの400年 江戸東京博物館開館20周年記念 5.26—7.16 江戸東京博物館  
新美術新聞 1280 我妻直美  
朝日夕刊 5.24 柴田亨興
- 日本ファッションの未来性 7.28—10.8 東京都現代美術館  
朝日夕刊 8.16 高橋牧子  
産経 9.12 黒沢綾子  
毎日夕刊 8.21 永田晶子  
読売夕刊 8.29 野倉早奈恵
- 日本・フランス現代美術世界展13回 8.8—8.19 国立新美術館  
美術の窓 349 磯部靖
- 日本油彩画二〇〇年—西欧への挑戦 黒田清輝、佐伯祐三、岸田劉生が求めた日本の絵画— 五〇〇万人が感動したコレクション 6.9—7.22 静岡県立美術館  
新美術新聞 1282  
美術の窓 354 泰井良  
朝日夕刊 6.13 大西若人  
毎日 7.11 岸桂子  
読売 7.12 井上晋治
- 日本六十余州図の世界 池田家文庫 絵図 11.10—11.25 岡山シティミュージアム
- 人間国宝の美と技 2.20—2.26 ホテル・オークラ東京別館  
毎日夕刊 2.20 岸桂子

(ヌ)

- ぬめぬパナパナのぬめぬ2012 5.31—6.4 ラ・ケヤキ  
目の眼 431

(ネ)

- (猫)が気になる 9.8—10.21 北海道立三岸好太郎美術館  
根付 高円宮コレクション 11.1—

- 12.25 東京国立博物館  
読売 11.8
- ねむの木のこどもたちとまり子美術展 10.26—12.25 伊藤忠青山アートスクエア  
美術手帖 975 永峰美佳/宮城まり子

(ノ)

- 信長×信玄 戦国のうねりの中で 10.6—11.11 滋賀県立安土城考古博物館

(ハ)

- Heart Art in TOKYO 2012 エイズチャリティー美術展15回 1.26—2.6 国立新美術館
- パール 海の宝石 7.28—10.14 兵庫県立美術館
- ハイサイ壺屋焼〜ヤチムン大発見!〜 7.21—8.31 那覇市立壺屋焼物博物館
- X4[バイフォー] Final Session 3.21—3.27 ヒルトピアアーツスクエア  
美術の窓 344 高山淳
- 白隠展 HAKUIN 禅画に込めたメッセージ 12.22—2.24 Bunkamura ザ・ミュージアム  
水墨画\* 285 芳澤勝弘
- 博物図譜とデジタルアーカイブ 9.3—10.6 武蔵野美術大学美術館
- 幕末維新—近代世田谷の夜明け— 11.3—12.2 世田谷区立郷土資料館
- はじまりは国芳 江戸スピリットのゆくえ 11.3—1.14 横浜美術館  
水墨画\* 283
- 版画芸術 158 内山淳子  
日経 11.18  
日経 11.28 宝玉正彦  
日経夕刊 10.22 窪田直子  
毎日夕刊 12.19 岸桂子
- 芭蕉 広がる世界、深まる心 9.29—11.11 名古屋市博物館
- 芭蕉の肖像〜描かれた俳聖〜 6.28—12.18 芭蕉記念館  
産経 9.6

- 長谷川等伯と雪舟流 1.20—2.19 岡山県立美術館  
毎日夕刊 2.6 岸桂子
- 畠山重忠—横浜・二俣川に散った武蔵武士— 10.13—11.25 横浜市歴史博物館
- 発掘：戦時下に描かれた絵画 9.8—10.13 原爆の図丸木美術館  
東京 9.19 中里宏
- 花開くコリア・アニメーション 2012 5.12—5.13 愛知芸術文化センター  
REAR 28 尾辻里音
- 花開く都城文化 11.1—12.2 奈良文化財研究所飛鳥資料館
- 華やぐ色彩 ポーラミュージアム アネックス展2012 3.31—4.22 ポーラミュージアム アネックスギャラリー\* 324  
産経 4.18 渋谷和彦
- パラミタ陶芸大賞展7回 6.2—7.11 パラミタミュージアム  
陶説 713 井上隆生
- パラレルワールド冒険譚 9.29—11.4 札幌芸術の森
- パリへ渡った「石橋コレクション」1962年、春 1.7—3.18 プリヂストン美術館  
ギャラリー\* 322  
新美術新聞 1270 田所夏子  
日経 2.1 窪田直子
- はるひ絵画トリエンナーレ 5.3—6.10 清須市はるひ美術館  
新美術新聞 1279
- 版画家群像 大正・昭和のベスト・セレクション 6.23—7.29 町田市立国際版画美術館  
版画芸術 156
- 版画でしょ？ 境界を広げる4人のアーティスト 5.25—7.20 カナダ大使館 高円宮記念ギャラリー—
- 版画家の冒険 ミレー、ドガ、そしてムンクへ 4.14—6.17 町田市立国際版画美術館
- 版の時間/Age of Prints 12.1—12.16 女子美アートミュージアム  
版画芸術 158 栗本寛子

## (ヒ)

ビーズインアフリカ 国立民族学博物館コレクション 8.4—10.21  
 神奈川県立近代美術館(葉山)  
 芸術新潮 754  
 新美術新聞 1287  
 朝日夕刊 9.26  
 日経 8.22 窪田直子  
 東日本の古墳と渡来文化 海を越える人とモノ 10.6—11.25 松戸市立博物館  
 光あれ!—光と闇の表現者たち 7.21—9.17 栃木県立美術館  
 新美術新聞 1287  
 毎日夕刊 8.6 三田晴夫  
 ヒカリエガク 7.28—11.16 SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム  
 朝日夕刊 8.29 西岡一正  
 光と影の芸術—写真の表現と技法—[平成24年度東京都写真美術館コレクション展] 5.12—11.18 東京都写真美術館  
 光と風景 フランス絵画200年 ミレー、コロー、そしてモネ、ルノワールへ 4.12—5.27 香川県立ミュージアム  
 光のアート展—光と遊ぶ超体感型ミュージアム— 7.14—9.2 千葉県立美術館  
 朝日夕刊 8.29 西岡一正  
 光の肖像展 in Tokyo 7.2—7.20 永井画廊  
 新美術新聞 1284  
 光の造形—操作された写真 5.12—7.8 東京都写真美術館  
 「光の鳥」FUKUSHIMA ART プロジェクト 3.1—3.25 ちひろ美術館(東京)  
 東京夕刊 3.7 (典)  
 BEGIN 3人展 10.22—10.27 シロタ画廊  
 新美術新聞 1294  
 美術にぶるっ! ベストセレクション 日本近代美術の100年 10.16—1.14 東京国立近代美術館  
 ギャラリー\* 330  
 美術手帖 977 岡崎乾二郎

美術屋・百兵衛 23  
 朝日夕刊 10.24 西岡一正  
 産経 12.12 渋谷和彦  
 東京夕刊 10.26 中村英樹  
 日経 12.26 窪田直子  
 日経夕刊 10.13  
 毎日夕刊 11.7 岸桂子  
 美術にぶるっ! 第II部 実験場 1950s 10.16—1.14 東京国立近代美術館  
 美術の中のこどもたち 7.28—9.17 平塚市美術館  
 朝日夕刊 8.29 中村さやか  
 美大アートワークス2012 金沢美術工芸大学教員作品2012 10.25—11.4 金沢21世紀美術館  
 飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産— 9.21—10.28 岐阜県博物館  
 ひっくりかえる展—Turning Around— 4.1—7.29 ワタリウム美術館  
 ギャラリー\* 326  
 芸術新潮 751  
 美術手帖 967 ダリル・ウィー  
 朝日夕刊 4.18 西岡一正  
 日経 5.17 平野啓一郎  
 毎日夕刊 5.16 三田晴夫  
 読売 6.28 高野清見  
 秀吉の城 10.6—11.25 大阪城天守閣  
 ひな人形の世界 2.4—4.8 徳島市立徳島城博物館  
 美の宴 東洋の古美術、印象派と古地図が織りなす珠玉の世界 10.14—12.2 和泉市久保惣記念美術館  
 美の再発見 アサヒビール大山崎山荘美術館の名品より 8.1—10.14 アサヒビール大山崎山荘美術館  
 日経 9.16  
 美の予感—2012 陶・New Generation 9.5—9.11 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋、横浜、新宿))  
 陶説 715 唐澤昌宏  
 美のワンダーランド 十五人の京絵師 7.10—9.2 九州国立博物館  
 新美術新聞 1287 畑靖紀

響きあう女性美術家の世界 葦崎大村美術館所蔵 4.28—6.10 茅ヶ崎市美術館  
 新美術新聞 1281  
 姫路皮革物語—歴史と文化— 9.8—10.14 姫路市書写の里・美術工芸館  
 150年目の鷗外—観潮楼からはじまる 11.1—1.20 文京区立森鷗外記念館  
 日経 12.15 宮川匡司  
 百椿図 椿をめぐる文雅の世界 1.7—2.12 根津美術館  
 百花繚乱 女性の情景 生きていく私 9.15—10.21 横須賀美術館  
 新美術新聞 1290  
 Beauty—Flowers in Contemporary Photography 4.7—6.24 東京アートミュージアム  
 ギャラリー\* 324  
 朝日夕刊 6.20 西岡一正  
 病院を変えるデザイン たびキャラと世界中からの贈り物 12.15—12.16 Okarina B  
 東京夕刊 11.30 小林由比  
 渺渺展 6.12—6.17 東京銀座画廊美術館  
 新美術新聞 1282  
 比羅夫がゆく 飛鳥時代の武器・武器・いくさ 4.14—6.3 奈良文化財研究所飛鳥資料館  
 ヒロシマ・オー ヒロシマフクシマ 2.26—3.6 旧日本銀行広島支店  
 琵琶湖をめぐる近江路の神と仏 名宝 9.8—11.25 三井記念美術館  
 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要 29 上野良信  
 新美術新聞 1291  
 紅型 琉球王朝のいろとかたち 沖縄復帰40周年記念 6.13—7.22 サントリー美術館(沖縄県立博物館・美術館、大阪市立美術館、松坂屋美術館)  
 新美術新聞 1284  
 日経 6.20 宝玉正彦  
 毎日夕刊 7.4 永田晶子  
 読売 6.12  
 備後と安芸の刀と鐔—鎌倉から現代まで— 9.15—10.21 広島城

(フ)

ファッション対決!!エジプト展!  
開館3周年特別企画・古代エジプト VS 渋谷センター街の戦い!!  
7.14—11.18 古代エジプト美術館  
朝日夕刊 10.3 青天目恭子  
フィンランドのくらしとデザイン  
ムーミンが住む森の生活 4.7—6.3 青森県立美術館(静岡市美術館、長崎県美術館、兵庫県立美術館)  
読売 4.4  
フィンランドのくらしとデザイン  
ムーミンが住む森の生活 6.10—8.26 宇都宮美術館(静岡市美術館、長崎県美術館、兵庫県立美術館)  
AXIS 159 暮沢剛巳  
朝日夕刊 6.27 岩本恵美  
日経 7.25 窪田直子  
風土展34回 9.17—9.23 東京セントラル美術館  
美術の窓 350 高山淳  
フェアリー・テイル—妖精たちの物語— 1.7—2.19 三鷹市美術館ギャラリー  
フェスティバル FUKUSHIMA!  
2012 8.15—8.26 福島市内  
日経夕刊 8.9  
福岡市美術展46回 3.13—3.25 福岡市美術館  
福島現代美術ビエンナーレ2012  
SORA 8.11—9.23 福島空港ほか  
ギャラリー\* 328  
朝日夕刊 9.5 西岡一正  
東京夕刊 9.5 三沢典文  
読売 8.16 井上晋治  
武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 10.6—12.2 神奈川県立歴史博物館/神奈川県立金沢文庫/鎌倉国宝館  
ふしぎ!たのしい!ゲンダイトーゲイ 親子でめぐるやきもの図鑑  
7.21—9.23 茨城県陶芸美術館  
朝日夕刊 8.1 増田愛子  
富士光彩 12.1—2.24 フジヤマミ

ミュージアム  
新美術新聞 1302  
富士市にまつわる物語絵 10.6—12.24 富士市立博物館  
仏教の来た道 シルクロード探検の旅 4.28—7.16 龍谷大学 龍谷ミュージアム  
仏教美術の名作 開館30周年記念所蔵名品展 9.7—10.3 MOA美術館  
新美術新聞 1289  
ブラティスラヴァ世界絵本原画展  
広がる絵本のかたち 7.14—9.2 うらわ美術館(高浜市やきものの里かわら美術館、足利市立美術館)  
新美術新聞 1287  
FLOWERSCAPES フラワースケープ—画家たちと旅する花の世界  
4.28—7.22 川村記念美術館  
朝日夕刊 6.20 西岡一正  
日経 5.30 窪田直子  
Prints Tokyo 2012 10.5—10.19 東京都美術館  
PRINT Resonance 世界的美術学校の版画集展 9.3—10.6 武蔵野美術大学美術館  
フルーリ展2回 11.15—12.2 成城さくらさくギャラリー  
新美術新聞 1297  
つるが文化財選集 ふるさとの文化財入門 6.21—7.16 敦賀市立博物館  
ふるさと美術展 7.14—7.22 アートギャラリー古屋敷  
新美術新聞 1285  
Friend【フレンド】展 8.30—9.5 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1288  
文化財の保存・修復の半世紀 元興寺文化財研究所創立45周年 10.27—11.18 元興寺総合収蔵庫  
文化人・芸能人の多才な美術展 2012 5.20—5.27 ヒカリエホール(豊橋市美術博物館、霞が関ビルディングプラザホール、岡山シティミュージアム)  
東京 5.17 山岸利行/藤浪繁雄  
文化庁メディア芸術祭受賞作品展 15回 2.22—3.4 国立新美術館

ギャラリー\* 324 名古屋覚  
産経 2.29 溝上健良  
文人画名品展 12.22—1.27 愛媛県美術館  
水墨画\* 285

(ヘ)

平家物語画帖 9.8—10.21 根津美術館  
新美術新聞 1290  
北京故宮博物院200選 日中国交正常化40周年 東京国立博物館140周年 1.2—2.19 東京国立博物館  
新美術新聞 1268 松本伸之  
朝日夕刊 2.8 宮代栄一  
読売 1.19 前田恭二  
別府現代美術フェスティバル2012  
混浴温泉世界 10.6—12.2 大分県別府市内各所  
美術の窓 350 芹沢高志  
ペリーの顔・貌・カオ—「黒船」の使者の虚像と実像— 7.7—8.26 神奈川県立歴史博物館  
朝日夕刊 7.30 小川雪  
ベルサイユのばら展 40周年記念  
9.13—9.24 松屋(銀座)(福岡県立美術館、岡山天満屋、阪急うめだギャラリー、さっぽろ東急百貨店、そごう美術館)  
朝日夕刊 9.11 藤本由香里  
ベルリン国立美術館展 学べるヨーロッパ美術の400年 6.13—9.17 国立西洋美術館  
新美術新聞 1283 高梨光正  
読売 6.12  
ベルリン国立美術館展 学べるヨーロッパ美術の400年 10.9—12.2 九州国立博物館  
新美術新聞 1295  
(ホ)  
豊穣と祈り—縄文女神たちの宴と古墳時代人の想い— 6.30—9.17 山形県立博物館  
法隆寺展 聖徳太子1390年御遠忌記念 3.3—3.20 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪))  
日経夕刊 2.27 岡松卓也

墨画7人展6回 2.20—2.25 地球堂ギャラリー  
水墨画\* 278

法華経の世界 12.7—2.11 神奈川県立金沢文庫

ポコラート全国公募展 vol.3 12.14—1.20 アーツ千代田3331  
東京 12.25 井上幸一

ポジション2012 この場所から見る世界 6.2—7.16 名古屋市美術館

REAR 29 田中由紀子

戊辰戦争—慶応四年 下野の戦場— 4.28—6.10 栃木県立博物館

ボストン美術館 日本美術の至宝 3.20—6.10 東京国立博物館(九州国立博物館、大阪市立美術館) ギャラリー\* 323

芸術新潮 749

水墨画\* 276 救仁郷秀明

日本美術新聞 4

産経 4.29 渋谷和彦

日経 4.25 宝玉正彦

毎日夕刊 4.24 岸桂子

ボストン美術館 日本美術の至宝 6.23—12.9 名古屋市ボストン美術館(九州国立博物館、大阪市立美術館)

新美術新聞 1284 井上瞳

墨華 現代女流水墨画展 7.7—8.26 福光美術館

水墨画\* 283 川端豊次

北海道ロビー絵画展 9.7—9.12 ギャラリー絵夢

新美術新聞 1289

「本の美」装幀と挿絵 10.27—12.2 調布市武者小路実篤記念館  
新美術新聞 1296

## (マ)

マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝 6.30—9.17 東京都美術館(神戸市立博物館)

新美術新聞 1286

朝日 3.22 平野菜穂子

朝日 5.31 朽木ゆり子

朝日 6.17 西岡一正

朝日 6.25

朝日 7.16 姜尚中

朝日 7.31 原田マハ／高橋秀喜  
聞き手

朝日 8.8 有吉玉青、山田五郎、  
茂木健一郎 談

朝日夕刊 7.18 大西若人

馬驍水墨画会・作家展1回2012

11.15—11.30 東京中国文化センター

水墨画\* 286

正岡子規と美術 2.11—4.15 横須賀美術館

朝日夕刊 3.28 中村さやか

政宗見参!—仙台藩伊達家と宇和島藩伊達家— 9.7—10.8 宇和島市立伊達博物館

魔術／美術—幻視の技術と内なる異界— 4.13—6.24 愛知県美術館  
REAR 28 木村絵理子

読売 6.14 高野清見

再[また]び! にゃんとも猫だらけ 1.3—3.31 平木浮世絵美術館

朝日夕刊 1.25 横田麻生子

町田発 輝くアーティストたち—版画工房・アトリエの一般開放利用者による作品展— 町田市立国際版画美術館 開館25周年記念  
4.12—4.22 町田市立国際版画美術館  
産経 4.13

町の記憶 PROJECT 南千住10000枚の記憶展 10.20—10.28 南千住の商店街及び施設7会場  
東京 10.24 井上圭子

松江藩士の江戸時代 雨森・黒澤両家の伝来史料から 12.22—2.11 松江歴史館

祭 MATSURI—遊楽・祭礼・名所日本の美・発見 VII 6.16—7.22 出光美術館  
新美術新聞 1284

マリリン・モンロー歿後50年記念 7.28—8.5 青木画廊  
ギャラリー\* 329 ワシオ・トシヒコ

丸亀京極家—名門大名の江戸時代— 11.3—12.2 香川県立ミュージアム

## (ミ)

みえるもの／みえないもの 1.7—3.25 豊田市美術館

REAR 28 真武真喜子

湖の船が結ぶ絆—天智天皇、信長の大船 そして うみのこ— 7.14—9.2 滋賀県立安土城考古博物館

水と神と仏の近江 写真パネル展「琵琶湖をめぐる近江路の神と仏名宝展」関連事業 9.8—9.23 日本橋三井タワー

水と神と仏の近江 写真パネル展「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展」関連事業 12.23—2.11 静岡市美術館(仙台市博物館、島根県立古代出雲歴史博物館)

水と土の芸術祭2012 開港都市にいがた 7.14—12.24 新潟市全域  
芸術新潮 754

朝日夕刊 8.15 増田愛子

魅せられて、インド。—日本のアーティスト／コレクターの眼 1.21—3.11 福岡アジア美術館

新美術新聞 1269 黒田雷児

みちのく鬼めぐり 10.6—12.2 東北歴史博物館

三井版 日本美術デザイン大辞展 美術の遊びとところV 6.30—8.26 三井記念美術館  
水墨画\* 280

毎日夕刊 8.7 岸桂子

mite! ね・しまね 2.11—3.26 島根県立石見美術館  
新美術新聞 1271 廣田理紗

南九州とヤマト王権—日向・大隅の古墳— 9.29—12.2 大阪府立近つ飛鳥博物館

ミノ・セラミックス・ナウ 2012 MINO 陶芸の気鋭 9.1—11.11 岐阜県現代陶芸美術館  
陶説 716 井上隆生

MIHO GRANDAMA II 母なる方へ 3.10—8.19 MIHO MUSEUM

宮崎の土人形 佐土原人形の世界 10.6—12.2 宮崎県総合博物館  
魅惑の白 天神萬古の世界 10.27



—11.25 朝日町歴史博物館  
魅惑の日本の客船ポスター 10.6—  
11.25 横浜みなと博物館  
民藝展—用の美とこころ— 8.29—  
9.10 高島屋(日本橋)(高島屋(横  
浜、大阪、京都))  
日経 9.4  
民俗の宝庫〈三遠南信〉の発見と発信  
—柳田国男・折口信夫らによる調  
査研究のあゆみ 9.15—10.28  
飯田市美術博物館  
みんなが見たい優品展 パート9  
—中村不折コレクションから—  
1.24—3.25 台東区立書道博物館  
朝日夕刊 2.8 宮代栄一

(ム)

2011年度 武蔵野美術大学大学院  
日本画コース 修了制作展 3.10  
—3.21 佐藤美術館  
産経 3.14  
ムサビのデザインII デザイナー  
カイブ50s—70s 5.14—8.18  
武蔵野美術大学美術館・図書館  
夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化 9.1—  
9.28 神奈川県立歴史博物館

(メ)

明治・大正時代の日本陶磁—産業と  
工芸美術— 7.14—8.26 滋賀県  
立陶芸の森陶芸館(はつかいち美  
術ギャラリー、瀬戸市美術館)  
読売 8.2 木村未来  
明治・大正時代の日本陶磁—産業と  
工芸美術— 10.20—12.9 茨城  
県陶芸美術館(はつかいち美術ギ  
ャラリー、瀬戸市美術館)  
朝日夕刊 11.21 増田愛子  
メグロアドレス—都会に生きる作家  
2.7—4.1 目黒区美術館  
ギャラリー\* 323 小金沢智  
メトロポリタン美術館展 大地、海、  
空—4000年の美への旅 東京都  
美術館リニューアル記念 10.6—  
1.4 東京都美術館  
新美術新聞 1292 中原淳行  
読売 9.27 杉本博司  
読売夕刊 10.9 高野清見  
読売夕刊 10.29

読売夕刊 11.10 ヨミウリ・ジ  
ュニア・プレス取材班  
めばえ2012 京都造形芸術大学 学  
科優秀選抜展 6.20—7.7 ギャ  
ルリ・オーブ  
瓜生通信 56 内田高平

(モ)

毛利家の至宝 大名文化の精粋  
4.14—5.27 サントリー美術館  
水墨画\* 277 石田佳也  
モダンデザインの精華 4.14—6.10  
松本市美術館  
もっと知りたい武者小路実篤 7.21  
—9.2 調布市武者小路実篤記念  
館  
新美術新聞 1287  
物語る身体 身体表現と日本近代美  
術 館蔵品展 5.12—6.17 板橋  
区立美術館  
朝日夕刊 6.6 中村さやか  
読売夕刊 5.26  
もの派の作家たちとその周辺 8.30  
—11.25 楽翠亭美術館  
ギャラリー\* 329  
紅葉山御養蚕所と正倉院裂復元のそ  
の後 皇后陛下喜寿記念 3.3—  
4.8 宮内庁三の丸尚蔵館  
森と湖の国フィンランド・デザイン  
時代を超える生活の中の美 11.  
21—1.20 サントリー美術館(大  
阪市立東洋陶磁美術館、北海道立  
近代美術館)  
朝日 11.20 西岡一正  
モンゴル BIG5展—天を駆ける魂の  
色—ENCORE 12.8—12.15  
Hide Fukasaku Gallery  
新美術新聞 1301 水間敏隆

(ヤ)

やきものの現在 土から成るかたち  
—part IX 2.5—3.20 ギャラ  
リーヴォイス  
陶説 709 井上隆生  
やきものの現在 土から成るかたち  
—part X 6.16—8.5 ギャラ  
リーヴォイス  
陶説 714 井上隆生  
REAR 28 大長智広

野菜の宴—牧野富太郎と江戸明治の  
植物画— 7.7—9.17 練馬区立  
牧野記念庭園記念館  
新美術新聞 1288  
八瀬童子—天皇と里人— 12.5—  
1.14 京都文化博物館  
日経 12.16  
柳宗悦と丹波の古陶 3.10—5.27  
兵庫陶芸美術館  
山口県美術展覧会66回 10.4—10.  
21 山口県立美術館  
陶説 717 外館和子  
やまとの地宝—遺物が語る奈良の歴  
史— 中国陝西歴史博物館「日本  
考古展」帰国記念 2.4—3.20 奈  
良県立美術館  
弥生青銅器に魅せられた人々—その  
製作技術と祭祀の世界— 開館5  
周年記念 3.16—5.16 島根県立  
古代出雲歴史博物館

(ユ)

悠久の美—唐物茶碗から青銅器まで  
— 4.3—6.10 出光美術館  
朝日夕刊 5.28 小川雪  
遊墨会展29回 12.5—12.9 北と  
びあ  
水墨画\* 287  
幽霊・妖怪画大全集 美と恐怖とユ  
ーモア 6.30—9.2 福岡市博物  
館(大阪歴史博物館、そごう美術  
館、山梨県立博物館、名古屋市博  
物館)  
水墨画\* 279  
読売 8.2 白石知子  
雪と氷 『雪華図説』から近現代の美  
術まで 7.21—9.2 群馬県立館  
林美術館  
読売 8.2 高野清見  
ゆく河の流れ 美術と旅と物語  
10.27—12.24 栃木県立美術館  
夢の実現するところ 郵便配達夫シ  
ュヴァルの理想宮 完成100年記  
念展 12.1—2.23 ギャラリー宮  
脇  
新美術新聞 1301

(ヨ)

ヨーロッパ絵画に見る 永遠〔とわ〕

の女性美 3.17—5.27 ニューオー  
ータ美術館  
朝日夕刊 4.18 神谷実里  
国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの  
近代美術 10.5—11.25 井原市  
立田中美術館(島根県立石見美術  
館)  
横河民輔コレクション 中国陶磁名  
品展—東京国立博物館所蔵—  
4.24—9.2 九州国立博物館  
陶説 712  
横浜港と生糸貿易 2.11—4.8 横  
浜みなと博物館  
吉沢コレクションの近代日本画 2  
部 日本画の大正 6.9—7.22  
佐野市立吉沢記念美術館  
水墨画\* 279  
四人展—それぞれの人物像— 9.17  
—9.22 銀座スルガ台画廊  
新美術新聞 1290  
甦る 江戸〜明治の和菓子の世界  
11.1—11.30 虎屋ギャラリー  
芸術新潮 755  
よみがえる飛鳥の技、万葉美の競演  
9.29—11.27 奈良県立万葉文化  
館  
新美術新聞 1291 澤田尚久  
甦る五浦—受け継がれし天心のここ  
ろ— 3.2—4.2 茨城県天心記念  
五浦美術館  
新美術新聞 1274 野内治  
よみがえる古代の煌き 副葬品にみ  
る今城塚古墳の時代 10.6—12.2  
今城塚古代歴史館  
頼朝と重源 東大寺再興を支えた鎌  
倉と奈良の絆 7.21—9.17 奈良  
国立博物館  
四大浮世絵師展 3.17—5.6 尾道  
市立美術館  
新美術新聞 1277  
460人展 5.2—5.6 名古屋市民ギ  
ャラリー  
REAR 28 金井直  
(ラ)  
RADICAL SHOW 2012 京都造形芸  
術大学エマージングアーティスト  
展 9.5—10.2 8/CUBE  
瓜生通信 57 浅見旬

ラビアンローズ—薔薇色の人生—  
4.11—4.17 高島屋(日本橋)(高  
島屋(横浜))  
新美術新聞 1277

(リ)

リアル・ジャパネスク 世界の中の  
日本現代美術 7.10—9.30 国立  
国際美術館  
新美術新聞 1288  
新美術新聞 1292 光田ゆり  
REAR 29 山本和弘

立体力 仏像から人形、フィギュア  
まで 6.2—7.8 札幌芸術の森美  
術館  
毎日夕刊 7.2 岸桂子

リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵  
家の秘宝 10.3—12.23 国立新  
美術館(高知県立美術館、京都市  
美術館)

目の眼 435  
朝日 9.18 大西若人  
朝日 9.25 大西若人  
朝日夕刊 11.15 森洋子  
産経 11.26 黒沢綾子

琉球の紅型 沖縄復帰40年記念  
9.7—11.24 日本民芸館  
毎日夕刊 9.24 岸桂子

RYUGU IS OVER!!—竜宮美術旅館  
は終わります 2.17—3.18 竜宮  
美術旅館

ファウンテン 2 宮津大輔

龍泉窯青磁展 日本人の愛した中国  
陶磁 1.21—3.31 愛知県陶磁資  
料館(山口県立萩美術館・浦上記  
念館)

稜の会4回 8.29—9.4 高島屋  
(日本橋)(高島屋(名古屋))  
新美術新聞 1289

涼のしつらい、夏きもの一透きとお  
る魅力— 6.29—9.5 須坂クラ  
シック美術館  
新美術新聞 1287

Relation 継がれるもの—語りえぬ  
もの 5.14—6.23 武蔵野美術大  
学美術館  
新美術新聞 1281 田中正之

琳派芸術II 10.27—12.16 出光美  
術館

産経 10.28  
産経 11.18 渋谷和彦

(ル)

ルス(呂宋)とよばれたやきもの—近  
世瀬戸の新たな試み— 2.11—  
4.22 瀬戸蔵ミュージアム内蔵特  
別展示室  
芸術新潮 748 青柳恵介  
瑠璃浄土—薬師如来へのいのり—  
2.28—3.25 大分県立歴史博物館

(レ)

歴史の天使 アイ・ラブ・アート  
12 写真展 8.4—11.11 ワタリ  
ウム美術館  
芸術新潮 754  
朝日夕刊 9.12 西岡一正

(ロ)

ろじへん〜すべての路地はアートに  
通ず〜art—Link 上野—谷中2012  
9.22—10.14 上野、根津、谷中、  
千駄木各所  
東京 10.6 竹上順子

Lost & Found Family Photos Swept  
by 3.11 East Japan Tsunami  
1.11—2.11 AKAABA  
芸術新潮 747  
産経 2.1 篠原知存  
産経 2.8 鷲尾和彦

(ワ)

若狭を撮る 井田家所蔵古写真のま  
なざし 9.22—11.25 福井県立  
若狭歴史民俗資料館

早稲田をめぐる画家たちの物語  
9.24—11.10 早稲田大学會津八  
一記念博物館

わたしの句読点2 食いろいろ 東  
京イラストレーターズ・ソサエテ  
ィのメンバーが描く 5.19—7.1  
たばこと塩の博物館  
美術手帖 967 杉瀬由希

What's an Icon of Style? 時代を彩  
るファッション 3.17—5.27 名  
古屋ボストン美術館  
新美術新聞 1275 宮永郁恵  
われらの地平線—いま・新たなる二



紀展からの発信— 9.5—9.11  
三越(日本橋)  
新美術新聞 1289 南畠宏  
美術の窓 348 編集部  
我ら明清親衛隊 大江戸に潜む中国  
ファン達の群像 12.1—1.6 板  
橋区立美術館  
わんの形 4.15—5.27 ギャラリー  
ヴォイス  
陶説 712 井上隆生  
ONE PIECE 展 原画×映像×体感  
のワンピース 3.20—6.17 森ア  
ーツセンター  
読売夕刊 4.28 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班

## 作家展

### (ア)

アンドレ・S・ソリドー写真展(エ  
リオット・アーウィット別人格写  
真展) 11.6—12.2 ギャラリー  
コスモス  
朝日夕刊 11.14 増田愛子  
藍ふさ恵展 9.1—9.8 ギャラリー  
枝香庵  
新美術新聞 1289  
襲嘯 ふたたび虹のかたに 2.4  
—5.6 東京都現代美術館(新潟市  
美術館、広島市現代美術館)  
ギャラリー\* 322  
新美術新聞 1273  
朝日夕刊 3.14 西岡一正  
日経 2.15 小川敦生  
読売 4.12 井上晋治  
相笠昌義 昆虫コレクションとデッ  
サン展 7.25—8.6 高島屋(新  
宿)  
新美術新聞 1287  
相澤愚吞人 水墨・墨彩画作品展  
9.19—9.25 ヒルトピアアートス  
クエア  
新美術新聞 1290  
相澤豊治 日本美術院入選作品展  
11.27—12.2 平塚市美術館市民  
アートギャラリー  
新美術新聞 1297  
相澤なみ子個展 スペイン紀行(風  
と光) 9.17—9.23 ハヤシ画廊

新美術新聞 1290  
会田誠 天才でごめんなさい 11.  
17—3.31 森美術館  
ギャラリー\* 331  
芸術新潮 759  
新美術新聞 1301 光田ゆり  
東京夕刊 12.14 児島やよい  
日経夕刊 11.12 富田律之  
相場るい児展一月に泳ぐ 3.17—  
3.31 ギャラリー顕美子  
陶説 711 井上隆生  
青木野枝 3.1—4.1 gallery 21  
yo-j  
東京夕刊 3.9 中村英樹  
毎日 3.19 岸桂子  
青木野枝 ふりそそぐものたち  
10.13—12.24 豊田市美術館  
芸術新潮 756 西江雅之  
新美術新聞 1294 北谷正雄  
REAR 29 北谷正雄  
REAR 29 角田美奈子  
朝日夕刊 11.7 大西若人  
東京夕刊 11.1 宮川まどか  
毎日夕刊 11.7 三田晴夫  
読売 12.6 井上晋治  
青木野枝 ふりそそぐものたち  
10.20—12.16 名古屋市美術館  
芸術新潮 756 西江雅之  
新美術新聞 1294 北谷正雄  
REAR 29 北谷正雄  
REAR 29 角田美奈子  
朝日夕刊 11.7 大西若人  
東京夕刊 11.1 宮川まどか  
毎日夕刊 11.7 三田晴夫  
読売 12.6 井上晋治  
青山悟展「The Man—Machine (Re-  
prise)」featuring 平石博一 8.29  
—9.29 ミヅマアートギャラリー  
美術手帖 976 飯田高譽  
青山杉雨の眼と書 書の巨星と中国  
書画コレクション 7.18—9.9  
東京国立博物館  
書道界 274 一色白泉  
新美術新聞 1286 富田淳  
新美術新聞 1288 樽本樹郎/高  
木聖雨  
水墨画\* 280  
読売 8.9 菅原教夫  
赤木曠児郎展 パリ素描原画500点

記念 9.12—9.18 大丸(京都)  
(大丸(大阪))  
新美術新聞 1290  
安芸真奈展 7.9—7.21 養清堂画  
廊  
版画芸術 156  
秋田雄峰展16回—墨彩画20年目の  
スタート 4.10—4.15 セントラ  
ル・アートギャラリー  
新美術新聞 1277  
秋野不矩 挿絵展 水上勉著 山の  
暮れに 7.1—7.31 ギャラリー  
鉄斎堂  
新美術新聞 1285  
秋山祐徳太子 “ラッキーア” 7.7—  
8.5 アイショウミウラアーツ  
新美術新聞 1287  
朝井閑右衛門 11.3—12.25 横須  
賀美術館(田辺市立美術館)  
産経 12.9 渋谷和彦  
読売夕刊 12.8  
浅井真理子「聞こえない声は、空に  
溶け拡散する」 5.15—6.3 愛知  
県立芸術大学サテライトギャラリ  
ー  
REAR 29 野中祐美子  
水墨画最前線2012—朝倉隆文 及  
川聡子 大塚怜美— 8.1—8.13  
高島屋(日本橋)  
水墨画\* 283  
吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現  
代郷土作家 9.13—10.21 姫路  
市立美術館  
新美術新聞 1289  
絵画、それを愛と呼ぶことにしよう  
vol.4 浅見貴子 8.4—9.15 ギ  
ャラリーαM  
芸術新潮 754  
水墨画\* 283  
東京夕刊 8.31 古谷利裕  
毎日夕刊 8.28 岸桂子  
読売夕刊 9.1 (井)  
浅見千鶴展 6.25—6.30 銀座スル  
ガ台画廊  
新美術新聞 1283  
朝海陽子展「Chords」 6.9—7.14  
無人島プロダクション  
美術手帖 973 服部浩之  
フランツ・アッカーマン展 Head-

ing East 10.26—11.24 小山登  
美夫ギャラリー京都  
美術手帖 977 飯田志保子  
阿刀一 心 京舞妓油彩展 5.28—  
6.2 文藝春秋画廊  
新美術新聞 1281  
阿部大介展「呼吸」 11.1—12.17  
masayoshi suzuki gallery  
REAR 29 三井知行  
阿部大介展 11.10—11.24 AIN  
SOPH DISPATCH  
REAR 29 三井知行  
阿部典英のすべて 4.7—5.6 北海  
道立近代美術館  
新美術新聞 1278  
洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳  
8.24—9.23 天童市美術館  
天野裕夫 奇想天外彫刻展 5.14—  
5.26 椿近代画廊  
新美術新聞 1280  
綾部好男 くらやみ祭画景展 いに  
しえを明日に伝える 4.20—5.6  
ふるさと府中歴史館  
東京 5.1 高橋知子  
あらいとしこ展7回 風景と花、  
いとしきもの。 9.23—9.29 ギ  
ャラリー琥珀  
新美術新聞 1290  
ARAKAWA+GINS Reversible Des-  
tiny to be continued[荒川修作]  
6.16—7.14 ギャラリー・アート  
アンリミテッド  
読売夕刊 7.7  
荒木経惟 花の写真を 3.1—3.20  
盛岡市民文化ホール(久慈市文化  
会館アンバーホール、石巻市エス  
タ特設ギャラリー)  
産経 3.1 松原英夫  
荒木経惟 花の写真を 4.28—6.17  
いわき市立美術館(久慈市文化  
会館アンバーホール、石巻市エス  
タ特設ギャラリー)  
日経 6.14  
荒木経惟写真集展 アラーキー  
3.11—7.29 IZU PHOTO MUSE-  
UM  
芸術新潮 749  
朝日夕刊 5.23 大西若人  
読売 5.24 井上晋治

荒木経惟「過去・未来 写狂老人日記  
1979年—2040年」 5.25—6.23  
タカ・イシイギャラリー  
芸術新潮 751  
読売 5.24 井上晋治  
荒木経惟 センチメンタルな空  
8.24—10.7 RAT HOLE GALLE-  
RY  
美術手帖 975 榎木野衣  
荒木飛呂彦原画展 ジョジョ展  
7.28—8.14 せんだいメディアテ  
ーク  
毎日夕刊 7.11 内藤麻里子  
荒木飛呂彦原画展 ジョジョ展  
10.6—11.4 森アーツセンターギ  
ャラリー  
美術手帖 975  
荒木由香里個展 Category 12.8—  
12.22 AIN SOPH DISPATCH  
ギャラリー\* 332  
荒谷直之介と水彩画 佐倉・房総ゆ  
かりの作家たち 3.9—4.8 佐倉  
市立美術館  
荒谷直之介展 人へのまなざし  
8.4—9.23 佐倉市立美術館  
新美術新聞 1288  
東京夕刊 9.14 藤田一人  
有賀明文日本画展 9.12—9.18 三  
越(名古屋)  
新美術新聞 1290  
有田泰而 First Born 11.22—12.28  
Gallery916  
芸術新潮 756 タカザワケンジ  
DUALISM展[アルトゥーロ・コリ  
ア・アルタミラノ] 5.30—6.5  
三越(日本橋)  
新美術新聞 1280  
天空へのメッセージ[アーリア・ア  
ルフアルシ] 5.7—5.11 在日オ  
マーン大使館  
産経 5.2  
「マクリヒロゲル、栗津潔の世界」没  
後3年 6.26—7.22 ヒルサイ  
ドフォーラム  
美術手帖 973 ダリル・ウィー  
安千龍個展 4.23—4.28 新井画廊  
新美術新聞 1278  
安藤麻依子展 2.4—2.19 ギャラ  
リー数寄

陶説 709 井上隆生  
安藤正子—おへその庭 ハラドキュ  
メンツ9 7.12—8.19 原美術館  
芸術新潮 753  
美術手帖 974 中村史子  
REAR 29 熊谷伊佐子  
朝日夕刊 8.1 大西若人  
東京夕刊 8.3 児島やよい  
毎日夕刊 8.7 岸桂子  
読売夕刊 8.6 (井)  
安藤陽子展 11.16—12.20 NODA  
CONTEMPORARY  
ギャラリー\* 331  
安野光雅の絵本展 2.25—3.25 板  
橋区立美術館(長崎歴史文化博物  
館、刈谷市美術館、そごう美術館、  
福岡県立美術館、秋田県立近代美  
術館)  
朝日夕刊 3.7 神谷実里  
産経 2.26

(イ)

イ・チャンウォン MAM PROJECT  
017 6.16—10.28 森美術館  
朝日夕刊 6.27 大西若人  
毎日夕刊 7.24 岸桂子  
イ・ブル展：私からあなたへ、私た  
ちだけに 2.4—5.27 森美術館  
芸術新潮 748  
美術手帖 965 秋元康、松任谷  
正隆 対談／山内康宏 構成  
朝日夕刊 2.8 大西若人  
東京夕刊 2.17 岡部あおみ  
日経 3.8 平野啓一郎  
日経 5.1  
読売 4.19 井上晋治  
野に叫ぶ 飯野農夫也と奥久慈版画  
会 戦後復興と地方からの文化発  
信 5.3—5.29 大子・街かど美  
術館  
猪飼節子 11.5—11.17 椿近代画  
廊  
新美術新聞 1295  
DUALISM展[猪飼祐一] 5.30—6.  
5 三越(日本橋)  
新美術新聞 1280  
復興への息吹き 大地の祈り 五十  
嵐二郎・小泉智英 二人展 4.24  
—5.13 須賀川市立博物館

新美術新聞 1278 増賀睦朗  
五十嵐吉彦・水彩スケッチ画展  
11.25—12.1 ギャラリームサシ  
新美術新聞 1297  
生田宏司展 10.20—10.28 鹿嶋神  
社参集殿  
版画芸術 157  
井口通太郎展 10.15—10.20 櫛画  
廊  
ギャラリー\* 330  
新美術新聞 1293  
池島康輔展 因縁 3.23—4.14 成  
山画廊  
芸術新潮 750  
池田龍雄 濱口富治 武内光仁 3  
人の世界 第13回白木谷国際現  
代美術館4周年記念特別企画  
5.3—7.24 白木谷国際現代美術  
館  
ギャラリー\* 326  
福島から広がる視線1 池田龍雄展  
5.26—7.7 原爆の図丸木美術館  
新美術新聞 1282  
新美術新聞 1285 光田ゆり  
読売夕刊 6.3  
池田龍雄展「漂着 épave absolue  
2012」 9.15—10.13 画廊香月  
ギャラリー\* 329  
池田満寿夫の版画 没後15年 6.7  
—7.8 長野県信濃美術館  
ギャラリー\* 326  
池田満寿夫と空想旅行へ! 7.7—  
12.18 池田満寿夫美術館  
新美術新聞 1286  
池田満寿夫ライブラリー 12.22—  
7.23 池田満寿夫美術館  
新美術新聞 1304  
池田光弘 location/dislocation 9.1  
—10.19 SHUGOARTS  
読売夕刊 9.24 (清)  
池田実穂 木版画展—いきものたち  
のしらべ II— 9.26—10.1 ア  
ートデアート・ビュー  
版画芸術 157  
池田宗弘が見た 信濃国善光寺道  
6.11—6.23 ギャラリーせいほう  
新美術新聞 1282  
The 遊子展—墨戯の世界—七回忌  
記念[池田遊子] 10.3—10.28

天門美術館  
目の眼 434  
思索する彫刻家—遊子展[池田遊子]  
10.21—10.30 SHINYA Japanese  
& Design  
目の眼 434  
池西剛(陶)展 黒の新境地 12.2—  
12.15 蔵丘画廊  
新美術新聞 1299  
Family 四人展[石井武夫/石井晴  
子] 4.25—4.30 画廊宮坂  
新美術新聞 1278  
石井武夫—tipsiness— 5.8—5.13  
ギャラリー宇  
新美術新聞 1279  
石井武夫展 10.26—11.25 夢の庭  
画廊  
新美術新聞 1295  
美術の窓 350 小森佳代子  
作家特集展示 石井壬子夫—生誕  
100年を迎えて— 10.5—12.16  
大川美術館  
新美術新聞 1297  
石内都 絹の夢 10.7—1.6 丸亀  
市猪熊弦一郎現代美術館  
芸術新潮 757  
石垣定哉 9.4—9.18 日動画廊(名  
古屋日動画廊)  
新美術新聞 1289  
石川珂旦 美の世界 4.24—5.6  
岩崎博物館  
新美術新聞 1278  
石川珂旦 美の世界 6.20—6.26  
高島屋(玉川)  
新美術新聞 1283  
石川珂旦 美の世界 11.1—11.6  
松屋(銀座)  
新美術新聞 1295  
清水康友企画 星彩展[石川有希]  
3.29—4.4 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1276  
石川順恵展 新作展 7.9—8.4 南  
天子画廊  
ギャラリー\* 328 三田晴夫  
朝日夕刊 8.1 大西若人  
石澤久夫作品展 7.2—7.14 21世  
紀堂「あそびの窓」  
新美術新聞 1284  
それぞれのリアリズム[石田淳一]

6.29—9.2 アートギャラリー呼  
友館  
新美術新聞 1283  
石田尚志 3.31—4.28 タカ・イン  
イギャラリー  
芸術新潮 750  
石田亘・征希・知史 パート・ド・  
ヴェール作品展—やわらかな光・  
永遠に— 9.29—10.9 和光ホー  
ル  
新美術新聞 1291  
石塚桜子展 マイ・ルーツ 11.13  
—12.16 佐藤美術館  
ギャラリー\* 334 ワシオ・トシ  
ヒコ  
日経夕刊 12.6  
いしばしめぐみ展—Fairyland—  
1.10—1.21 ギャラリーせいほう  
ギャラリー\* 321  
石原進日本画展 古希記念—画業  
50年の歩み— 3.30—6.17 ア  
ートギャラリー呼友館  
新美術新聞 1278  
石本正新作展 京への想い 6.5—  
9.30 浜田市立石本正美術館  
新美術新聞 1284  
石本正 我が青春 10.6—12.2 浜  
田市立石本正美術館  
新美術新聞 1295  
石本藤雄展 布と陶—冬— 12.12  
—1.14 スパイラルガーデン  
読売夕刊 11.7  
石元泰博写真展—桂離宮 1953,  
1954— 4.7—6.10 神奈川県立  
近代美術館(鎌倉)  
美術手帖 971 ダリル・ウィー  
朝日夕刊 5.9 西岡一正  
毎日夕刊 5.28 岸桂子  
写真家 石元泰博—時代を超える静  
かなまなざし— 8.4—8.30 今  
治市河野美術館(文化フォーラム  
春日井・ギャラリー、佐世保市博  
物館島瀬美術センター)  
東京夕刊 8.22  
泉田之也 陶展 5.5—5.20 ギャ  
ラリー芽菜  
陶説 713 井上隆生  
泉谷淑夫展 —美しい驚き— 3.21  
—3.27 高島屋(横浜)

美術の窓 342 小池伊欧里  
 伊勢崎晃一朗陶展 10.3—10.9 三越(名古屋)  
 陶説 717 井上隆生  
 伊勢崎淳・陶 大地の聲を聴く 2.29—3.6 三越(日本橋)  
 陶説 710 外館和子  
 伊勢崎満 回顧展 岡山県立美術館「岡山の美術展」特別陳列 12.14—1.27 岡山県立美術館  
 陶説 720 外館和子  
 井芹赫子展 cacuco Exhibition 5.28—6.3 ギャラリー杉野  
 新美術新聞 1281  
 磯野迪子展 LOOKING AT WINDOWS 9.3—9.27 LIXIL ギャラリー  
 磯部廣二 彫刻展 2.13—2.18 ギャラリー杉野  
 読売 2.11  
 井田照一展—土に挑む— 2.21—7.1 岐阜県現代陶芸美術館  
 陶説 711 井上隆生  
 REAR 28 青木正弘  
 井田照一 版の思考・間の思索 京都市美術館コレクション展第1期 4.7—6.17 京都市美術館  
 新美術新聞 1280  
 新美術新聞 1282 尾崎真人  
 REAR 28 青木正弘  
 井田照一の版画 5.22—6.24 京都国立近代美術館  
 REAR 28 青木正弘  
 板垣翠 『珍味』 11.6—11.18 ギャラリーしのざき  
 水墨画\* 286  
 伊丹潤展 手の痕跡 4.17—6.23 TOTO ギャラリー・間  
 毎日夕刊 5.8 永田晶子  
 読売 6.21  
 市川裕司 4.20—7.1 ギャラリーイ&カフェ山猫軒  
 ギャラリー\* 328 小金沢智  
 一木平蔵展 6.21—7.3 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1283  
 ヒラケゴマ 追悼・一原有徳 5.19—7.1 武蔵野市立吉祥寺美術館  
 落石計画 5期 銅版画試論—つく

ること、ゆだねること—[井出創太郎] 8.7—8.11 旧落石無線送信所(現・池田良ニスタジオ)  
 伊東深水 南方風俗スケッチ展 没後40年 市川市収蔵作品より 6.11—7.22 芳澤ガーデンギャラリー  
 新美術新聞 1284  
 伊藤純代 Her Memory TWS—Emerging 184 7.7—7.29 トーキョーワンダーサイト本郷  
 芸術新潮 753  
 東洋+西洋=伊東忠太—よみがえった西本願寺「伝道院」— 6.9—7.8 大阪くらしの今昔館  
 毎日夕刊 4.19 手塚さや香  
 伊藤秀人展—磁器の表現— 4.10—4.21 シルバーシエル  
 陶説 711 花里麻理  
 伊藤誠展 5.21—6.9 ガレリアファイナルテ  
 REAR 28 鈴木俊晴  
 伊藤航展 画廊からの発言 新世代への視点2012 7.23—8.4 ギャラリー58  
 読売夕刊 7.3 (井)  
 糸崎公朗作品展 盆栽×写真VOL.2 10.5—11.28 大宮盆栽美術館  
 稲員頼子展 1.28—2.19 北九州市立美術館  
 稲田峻 日本画展 2.11—3.11 尼信博物館  
 ギャラリー\* 322  
 稲富淳輔展「ツキノ イリエ」 7.11—7.29 ニュートロン東京  
 ギャラリー\* 327  
 井上勝江展 9.11—9.19 京王プラザホテルロビーギャラリー  
 新美術新聞 1290  
 美術の窓 348 大矢頼音  
 井上利哉個展 GENJI・E(LOVE) 11.26—12.1 銀座井上画廊  
 新美術新聞 1297  
 井上雅之「初形より—山」 4.9—4.28 ギャラリー東京ユマニテ  
 ギャラリー\* 325 三田晴夫  
 陶説 714 小吹隆文  
 井上萬二白磁展—名陶無雑—時計塔

80年記念 6.15—6.24 和光ホール  
 新美術新聞 1281  
 井上安治—夭折の風景画家— 3.16—3.20 ぎやらりい思文閣  
 清親と安治—光線画の時代 9.8—10.8 山口県立萩美術館・浦上記念館  
 読売 9.2 白石知子  
 井上有—日々絶筆 書の前衛アート— 9.13—12.24 軽井沢ニューアートミュージアム  
 猪熊佳子日本画展—煌めきの森へ— 5.9—5.15 高島屋(京都)(高島屋(大阪、日本橋、米子))  
 伊庭靖子 Paintings 6.1—7.14 MISA SHIN GALLERY  
 美術手帖 971 清水穰  
 毎日夕刊 6.26 岸桂子  
 今井政之展 文化功労者 時計塔80年記念 3.13—3.21 和光ホール  
 美術の窓 342 高山淳  
 毎日夕刊 3.14 岸桂子  
 今井政之展 文化功労者 10.3—10.9 高島屋(京都)  
 新美術新聞 1292  
 今井政之展 文化功労者 10.31—11.6 高島屋(横浜)  
 美術の窓 350 高山淳  
 十四代今泉今右衛門・深見陶冶展—2011年度日本陶磁協会賞・金賞受賞記念— 10.3—10.11 壺中居  
 陶説 716 唐澤昌宏  
 十三代・十四代今泉今右衛門 色鍋島の粋 10.6—1.6 菊池寛実記念智美術館  
 新美術新聞 1296  
 目の眼 436  
 毎日夕刊 11.21 岸桂子  
 鉄軸 今泉毅展 6.29—7.3 しぶや黒田陶苑  
 陶説 714 唐澤昌宏  
 今川教子—音— 9.27—10.6 純画廊  
 ギャラリー\* 330  
 今田陽子磁器展「爽清」 7.12—7.21 西福

陶説 714 外館和子  
 今津景 SHINIHG REPLACE 7.4  
 —8.3 第一生命南ギャラリー  
 ギャラリー\* 328 名古屋覚  
 伊村俊見展 10.6—10.14 スペー  
 ス大原  
 陶説 717 井上隆生  
 入江一子展 シルクロード色彩自在  
 1.25—1.31 三越(日本橋)(三越  
 (名古屋))  
 新美術新聞 1269 本江邦夫  
 美術の窓 341 磯部靖  
 入江観展 6.27—7.3 三越(日本  
 橋)  
 新美術新聞 1283  
 shiseido art egg vol. 6[入江早耶]  
 3.2—3.25 資生堂ギャラリー  
 毎日夕刊 1.17 岸桂子  
 岩井昌代個展35回 4.26—5.8 ヒ  
 ルトピア・アートスクエア  
 新美術新聞 1278  
 岩城芳子展 Just Another Diamond  
 Day 10.6—11.10 小山登美夫  
 ギャラリー  
 芸術新潮 756  
 燦爛豪華 岩佐又兵衛絵巻 開館  
 30周年記念所蔵名品展 3.3—  
 6.5 MOA美術館  
 産経 3.18 黒沢綾子  
 日経 3.14 宝玉正彦  
 岩崎貴宏「Metaphrase Scenery」  
 8.25—9.29 アラタニウラノ  
 芸術新潮 755  
 ちひろ 27歳の旅立ち ドキュメン  
 タリー映画公開記念展[いわさき  
 ちひろ] 5.23—8.26 ちひろ美  
 術館(東京)  
 毎日 6.23 山崎征克  
 追悼 岩崎巴人 2.10—3.20 富山  
 県水墨美術館  
 新美術新聞 1272 鈴木博喬  
 水墨画\* 275  
 岩立寛回顧展 四季彩々 10.12—  
 10.17 O美術館  
 新美術新聞 1293  
 岩波昭彦展〜SCENE II〜 12.7—  
 12.15 永善堂画廊  
 新美術新聞 1298  
 岩渕華林 5.21—6.4 ギャラリー

椿  
 水墨画\* 281  
 岩本和子展 11.5—11.10 銀座ス  
 ルガ台画廊  
 新美術新聞 1295  
 (ウ)  
 植木金矢展 伝説の劇画師 1.3—  
 4.1 弥生美術館  
 朝日夕刊 1.18 岩本恵美  
 植木蒼悦展 没後30年 孤高にし  
 て洒脱…(河童三昧)の境地。  
 11.17—1.20 北海道立函館美術  
 館  
 植木寛子ヴェネチアンガラス展 フ  
 アッションとアートの出会い  
 10.2—10.9 伊勢丹(新宿)  
 新美術新聞 1292  
 上島鳳山と大阪の日本画 1.14—  
 3.18 笠岡市立竹喬美術館  
 水墨画\* 275  
 植田いつ子舞台衣裳展 5.29—8.5  
 早稲田大学演劇博物館  
 読売 5.26  
 植田正治の写真世界 終生モダンズ  
 ムを貫いた写真家 6.1—8.31  
 FUJIFILM SQUARE 写真歴史博  
 物館  
 ギャラリー\* 326  
 新美術新聞 1283  
 写真展 八雲立つ出雲 植田正治、  
 上田正昭が歩いた神々のふるさと  
 神話博しまね特別展 7.21—10.8  
 島根県立古代出雲歴史博物館  
 六代上田直方茶陶展 襲名記念  
 2.8—2.14 高島屋(京都)(高島屋  
 (日本橋))  
 陶説 710 鈎真一  
 Materia[上田義彦] 2.11—4.10  
 Gallery916  
 芸術新潮 748  
 キギ展 植原亮輔と渡邊良重 5.8  
 —5.30 ギンザ・グラフィック・  
 ギャラリー  
 毎日夕刊 5.15 永田晶子  
 Chiyu Uemae 卒寿を超えて「上前  
 智祐の自画道」 11.3—2.17 BB  
 プラザ美術館  
 版画芸術 158

上村淳之展—作家の眼 6.30—8.19  
 京都市美術館  
 新美術新聞 1284 吉中充代  
 毎日夕刊 8.9 渡辺亮一  
 上村淳之展 傘寿記念 9.12—10.1  
 高島屋(日本橋)(高島屋(横浜、京  
 都))  
 新美術新聞 1291  
 上村松園 大正期の芸術 伝統と革  
 新 迷える時代 5.22—7.8 松  
 伯美術館  
 新美術新聞 1283  
 上村松園と鎗木清方 7.21—9.2  
 平塚市美術館  
 水墨画\* 280  
 上村松篁展 生誕110年記念  
 10.13—11.25 茨城県天心記念五  
 浦美術館(田辺市立美術館)  
 朝日夕刊 10.31 青天目恭子  
 魚谷洋展 5.16—6.15 在日スイス  
 大使館  
 東京 5.3  
 鵜飼義文展「3×3」 10.19—11.2  
 村越画廊  
 新美術新聞 1293  
 牛島義弘回顧展 10.8—10.14 至  
 峰堂画廊(銀座)  
 新美術新聞 1292  
 臼井良平展「PET(Portrait of Encou-  
 ntered Things)」 1.28—3.11  
 無人島プロダクション  
 読売夕刊 2.13 (清)  
 内海聖史—方円の器 10.5—10.21  
 アートフロントギャラリー  
 ギャラリー\* 332 小金沢智  
 内田綱一 —white wall— 2.27—  
 3.10 SILVER SHELL  
 芸術新潮 748  
 奇想天外—鉢合わせ—鯉江良二×内  
 田綱一×小田康平 7.9—7.20  
 山本美術  
 陶説 714 梅田稔  
 内田初音展—わたしのあしあと—  
 11.30—12.15 ギャラリー新居東  
 京  
 ギャラリー\* 332  
 梅崎このみ布絵展 布と遊ぶ 10.1  
 —10.27 池田20世紀美術館画廊  
 レジェ

新美術新聞 1292  
 梅沢和木個展「大地と水と無主物コ  
 ア」 3.2—4.21 CASHI  
 美術手帖 966 石岡良治  
 梅本孝征 與語小津恵 10.20—  
 1.27 瀬戸市新世紀工芸館  
 陶説 720 井上隆生  
 占部史人ワークショップ 時間旅行  
 —ブリキの車にのって 2.17—  
 2.19 水戸芸術館現代美術ギャラ  
 リー  
 REAR 28 石田喜美  
 占部史人個展「浮寝の旅」 3.3—4.8  
 水戸のキワマリ荘  
 REAR 28 石田喜美

(エ)

17代永樂善五郎展 『寿ぎの譜』  
 4.6—4.21 ギャラリー桜の木(銀  
 座)  
 新美術新聞 1276  
 サイモン・エヴェリントン essen-  
 ce 3.27—4.8 楓ギャラリー  
 陶説 711 小吹隆文  
 江川純太 さっき見た新しい世界を  
 忘れて、また見る瞬間の 3.31—  
 4.28 eitoeiko  
 新美術新聞 1276  
 大絵金 極彩の闇 絵師・金蔵生誕  
 200年記念 10.28—12.16 高知  
 県立美術館  
 水墨画\* 283  
 毎日夕刊 11.28 岸桂子  
 読売 11.29 井上晋治  
 江口週一漂流と原形—彫刻/デッサ  
 ン 9.22—12.24 神奈川県立近  
 代美術館(鎌倉)  
 江口康隆 文学的な余りに文学的な  
 8.4—9.29 Gallery HAM  
 ギャラリー\* 328  
 マンガ@紫雲荘 紫雲荘のマンガ家  
 たちの作品展—トキワ荘から紫雲  
 荘へ—[枝作] 2.1—2.29 豊島  
 区民センター  
 東京 2.1 柏崎智子  
 海老原展 5.21—5.26 ガレリア  
 グラフィカ bis  
 ギャラリー\* 325  
 江村正光展 9.30—10.14 ギャラ

リーユニコン  
 新美術新聞 1291  
 エル・グレコ展 10.16—12.24 国  
 立国際美術館(東京都美術館)  
 ギャラリー\* 330  
 芸術新潮 757 横尾忠則  
 美術屋・百兵衛 23  
 読売 11.1 木村未来  
 マックス・エルンスト—フィギュア  
 ×スケープ 4.7—6.24 横浜美  
 術館(宇都宮美術館)  
 新美術新聞 1278  
 朝日夕刊 6.6  
 産経 4.15  
 読売 4.26 前田恭二  
 マックス・エルンスト—フィギュア  
 ×スケープ 7.13—9.9 愛知県  
 美術館(宇都宮美術館)  
 アルカディア 54 村松知明  
 Aloha Amigo! フェデリコ・エレ  
 ロ×関口和之 5.3—3.17 金沢  
 21世紀美術館  
 遠藤利克「空洞説—円環⇄壺」 1.7  
 —2.11 秋山画廊  
 ギャラリー\* 322 三田晴夫  
 毎日夕刊 1.17 岸桂子  
 読売夕刊 1.23 (井)  
 遠藤良太郎「絵/画」 11.1—12.8  
 ベイスギャラリー  
 読売夕刊 11.26 (井)

(オ)

ジャクリヌ・オイエ銅版画展 銅  
 の鏡—映し出された魂 6.15—  
 7.15 ギャラリー宮脇  
 版画芸術 156 セバスチャン・  
 ディズラン/塩谷真由美 訳  
 及川聡子—薄氷/水焰— 3.26—  
 4.7 ギャラリーせいほう  
 水墨画\* 280  
 水墨画最前線2012—朝倉隆文 及  
 川聡子 大塚怜美— 8.1—8.13  
 高島屋(日本橋)  
 水墨画\* 283  
 iwate コンテンポラリーアート 写  
 真家及川修次 故郷へのオマージュ  
 「岩手風土記」 4.21—6.24 萬  
 鉄五郎記念美術館  
 及川正道 イラストレーションの世

界 ヨコスカ—TOKYO—ぴあ  
 9.29—12.16 横須賀美術館  
 朝日夕刊 10.17 西岡一正  
 大内田茂士・大内田敬 二人展 受  
 け継がれる画家のまなざし 4.10  
 —5.13 田川市美術館  
 新美術新聞 1276  
 大江志織展 4.10—4.17 GINZA  
 yy ギャラリー  
 陶説 712 外館和子  
 大岡澄雄 故郷への想い 1.5—2.5  
 田原市博物館  
 大河原愛個展「此処に在る不在」  
 2.15—2.28 高島屋(大阪)  
 ギャラリー\* 322  
 大河原典子日本画展—花さそう—  
 2.14—2.20 そごう(横浜)  
 水墨画\* 277  
 大久保澄子展—実りへの想い—版画  
 ・ミクストメディア・オブジェ  
 11.3—11.25 沼津市庄司美術館  
 新美術新聞 1295  
 美術の窓 350 編集部  
 大小島真木 森の中で 8.7—8.26  
 西武渋谷オルタナティブスペース  
 ギャラリー\* 330 小金沢智  
 人間国宝大坂弘道展 正倉院から蘇  
 った珠玉の木工芸 11.29—2.11  
 練馬区立美術館  
 大杉弘子—書界「口さい」 8.2—  
 8.21 アートフロントギャラリー  
 水墨画\* 282  
 「ダイアグラム教育」展 武蔵野美術  
 大学のデザイン教育アーカイブ  
 太田徹也の教育の軌跡—明日を予  
 測する情報のカタチとデザイン  
 5.14—6.23 武蔵野美術大学美術  
 館  
 アートディレクター太田英茂の仕事  
 9.22—11.4 長野県信濃美術館  
 大谷早苗展 10.2—10.8 ギャラリ  
 —URANO  
 新美術新聞 1292  
 大津英敏展—フランス・オランダ紀  
 行— 11.7—11.13 三越(日本  
 橋)(三越(大阪、福岡))  
 新美術新聞 1295 宝木範義  
 美術の窓 350 小森佳代子  
 ある百笑一家のふんとう記 LIFE 1



日本 南阿蘇[大津耕太] 9.22—10.21 汐花  
東京 9.29 竹上順子  
大塚怜美 個展「現代風俗女性像」  
3.23—3.29 ポスターハリスギャラリー  
水墨画\* 280  
水墨画最前線2012—朝倉隆文 及川聡子 大塚怜美— 8.1—8.13  
高島屋(日本橋)  
水墨画\* 283  
還暦記念大月光動能面展 11.13—11.18 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1296  
大辻清司フォトアーカイブ 写真家と同時代芸術の軌跡 1940—1980  
5.14—6.23 武蔵野美術大学美術館  
大友克洋 Genga 展 4.9—5.30  
アーツ千代田3331  
朝日 4.11 岩本哲生  
毎日夕刊 5.7 内藤麻里子  
読売 4.24 佐藤憲一  
大伴昌司の図解展 奇っ怪紳士！怪獣博士！ 7.6—9.30 弥生美術館  
朝日夕刊 8.25 増田愛子  
大成哲個展 Tets×Glass 3.17—4.10 Bギャラリー  
新美術新聞 1276  
大西博回顧展—幻景— 3.20—4.8  
東京芸術大学大学美術館陳列館  
芸術新潮 749  
齋藤久子×大場吉美 ふたりの造形  
6.13—6.24 金沢21世紀美術館  
美術の窓 345 編集部  
モジもじ文字[大原次郎] 7.28—9.9 武蔵野市立吉祥寺美術館  
大橋年雄「対話の個展」 4.11—4.17  
高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1277  
Summer Show[大船真言] 8.30—10.3 ギャラリー小柳  
水墨画\* 284  
大巻伸嗣 存在の証明 4.8—10.8  
彫刻の森美術館  
朝日夕刊 7.4 伊東絵美  
朝日夕刊 8.15 西岡一正  
東京夕刊 9.21 児島やよい

毎日夕刊 7.31 岸桂子  
読売 9.13 井上晋治  
大宮エリー 思いを伝えるということ展 2.3—2.27 パルコミュージアム(パルコ(札幌)、フォイルギャラリー、せんだいメディアテーク)  
産経 2.8 黒澤綾子  
大森愛展 画廊からの発言 新世代への視点2012 7.23—8.4 ギャラリー川船  
ギャラリー\* 327  
大森暁生個展—torso— 11.20—11.29 画廊  
ギャラリー\* 331  
大森啓絵画展 積木の情景 8.8—8.14 大和(富山)  
新美術新聞 1287  
大森健司陶展—draw an arc— 3.3—3.18 ギャラリー芽菜  
陶説 710 井上隆生  
大森良三・京展 6.12—6.17 川村記念美術館ギャラリー  
新美術新聞 1282  
大藪雅孝—気韻生動—画業50周年 5.23—5.28 山陽百貨店(天満屋(広島)、香川県立ミュージアム、軽井沢ニューアートミュージアム、大丸(博多))  
大和田主税展 10.29—11.3 文藝春秋画廊  
新美術新聞 1294  
岡信孝の世界 9.12—12.11 成川美術館  
新美術新聞 1295  
岡靖知個展 9.28—10.6 飯田美術ギャラリー\* 329  
小笠原森展—陶 時の堆積— 6.8—7.2 LIXIL ガレリアセラミカ  
新美術新聞 1282  
岡田三郎助—まぼろしの名画“裸婦”—特別公開 7.13—9.2 佐賀県立美術館  
読売 8.23  
岡田修二展 10.15—10.27 ギャラリー東京ユマニテ  
読売夕刊 10.22  
岡田忠明 ONOKORO 6.1—6.9  
ぎやらいいサムホーム

新美術新聞 1281  
岡田宏昭喜寿記念展 11.30—12.5  
エル・おおさか  
新美術新聞 1297  
岡田又三郎素描展 6.4—6.9 カフェバー&アーツスペースリパース  
新美術新聞 1281  
岡田美佳刺繍画展 愛しき風景—心♡に春を— 4.3—4.16 伊東屋銀座本店ギャラリー  
新美術新聞 1276  
岡田裕子「No Dress Code」 7.11—8.11 ミヅマアートギャラリー  
毎日夕刊 7.24 岸桂子  
岡野元勝絵画展「八幡野港の朝」伊豆高原アートフェスティバル20周年記念 5.1—5.30 城ヶ崎文化資料館(伊豆高原おもしろ博物館)  
朝日夕刊 5.16 大西若人  
岡本敦生×平戸貢児 vol.2 10.20—11.18 メタル・アート・ミュージアム光の谷  
ギャラリー\* 332 三田晴夫  
switch —岡本光市 遊びのデザイン— 4.27—6.3 ポーラミュージアム アネックス  
産経 5.31  
岡本太郎 迷宮を行く 4.28—7.8  
川崎市岡本太郎美術館  
新美術新聞 1283  
記憶の島 岡本太郎と宮本常一が撮った日本 7.21—10.8 川崎市岡本太郎美術館  
朝日夕刊 9.5 西岡一正  
日経 8.1 宝玉正彦  
岡本真枝展 8.20—8.25 画廊宮坂  
新美術新聞 1288  
小川芋銭展—震災後の眼で、いま— 3.17—5.20 茨城県近代美術館  
新美術新聞 1274 今瀬佐和  
水墨画\* 276  
水墨画\* 278  
朝日夕刊 3.28 西岡一正  
東京夕刊 3.3 三沢典丈  
日経 3.28 宝玉正彦  
読売夕刊 4.2 高野清見  
小川待子展—月の向こう側— 10.10—10.29 高島屋(日本橋)



陶説 718 花里麻理  
 小川洋子個展 9.20—9.26 ギャラリー絵夢  
 ギャラリー\* 329  
 新美術新聞 1291  
 荻太郎展 6.10—8.5 菫崎大村美術館  
 新美術新聞 1283  
 ケン・オキishi (Goodbye to) 2.18—3.31 Take Ninagawa  
 美術手帖 966 熊倉晴子  
 小木曾誠展—巡— 3.28—4.11 日動画廊(福岡日動画廊)  
 新美術新聞 1276  
 沖津信也油絵展 油絵で描く「奥の細道」 6.25—6.30 文藝春秋画廊  
 新美術新聞 1282  
 奥田元宋と戦後の日展日本画 奥田元宋生誕100年記念 4.7—5.13  
 奥田元宋・小由女美術館  
 新美術新聞 1277  
 高山辰雄・奥田元宋 文展から日展へ 12.1—1.27 山種美術館  
 日経 11.18  
 日経夕刊 12.6  
 奥田小由女展 風のうつしみ 4.21—6.17 北九州市立小倉城庭園  
 ギャラリー\* 325  
 新美術新聞 1278  
 奥田良悦展—蟻の世態— 6.11—6.16 ギャラリー惣  
 新美術新聞 1282  
 奥谷博展—日本— HINOMOTO II 4.4—4.10 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、横浜、名古屋、大阪))  
 新美術新聞 1276 大谷省吾  
 美術の窓 343 武田厚  
 奥村徹展 12.4—12.9 ギャラリー彩  
 新美術新聞 1298  
 奥村美佳展 4.24—6.24 スペース・ニオ  
 新美術新聞 1281  
 奥村美佳展 10.22—11.2 ギャラリー和田  
 美術の窓 350  
 人間国宝 奥山峰石 新収蔵品展—日本が誇る匠の技— 9.8—10.20

北区飛鳥山博物館  
 産経 10.12  
 奥山幸子個展 9.10—9.15 光画廊  
 新美術新聞 1290  
 小栗寿賀子 かぜのなか 7.7—7.15 スペース大原  
 陶説 714 井上隆生  
 尾崎愛明展 豊饒の海または津波 9.18—9.30 GALLERY KINGYO  
 新美術新聞 1291  
 尾崎慎石彫展 7.12—7.18 丸栄  
 新美術新聞 1285  
 尾崎嶺展—忘れえぬ風景—神下雄吉展 7.5—7.14 東邦アート  
 新美術新聞 1284  
 小澤清人個展 9.1—9.30 カフェギャラリーあつぷるはうす  
 新美術新聞 1288  
 小沢剛 あなたが誰かを好きのように、誰もが誰かを好き 7.14—8.15 豊田市美術館(福島県立美術館)  
 小沢真弓油絵展 11.15—11.21 東急(渋谷)  
 新美術新聞 1296  
 押江千衣子[みづえ]展 9.16—10.21 美濃加茂市民ミュージアム  
 REAR 29 奥村一郎  
 織田廣喜追悼展 9.15—12.23 東京アートミュージアム  
 ギャラリー\* 329  
 画廊選抜展 越智波留香 畔 2.20—2.25 MUSÉE F  
 水墨画\* 278  
 ジャン＝ミシェル オトニエル：マイ ウェイ 1.7—3.11 原美術館  
 産経 2.12 黒沢綾子  
 読売 2.2 井上晋治  
 乙丸哲延水彩画展 フランス、イタリアを中心に 7.2—7.8 ギャラリー喜久田  
 新美術新聞 1284  
 小野耕石展 9.18—9.29 養清堂画廊  
 新美術新聞 1291  
 小野佐世男—モガ・オン・パレード 10.20—1.14 川崎市岡本太郎美術館

平成24年美術展覧会(作オ、カ)

芸術新潮 756  
 新美術新聞 1298  
 朝日夕刊 11.28 西岡一正  
 毎日夕刊 10.25 内藤麻里子  
 小野月世 水彩展 9.7—9.17 ギャラリー一枚の繪  
 新美術新聞 1289  
 夭折の画家小野元衛 1919—1947  
 9.22—12.24 神奈川県立近代美術館(鎌倉)  
 芸術新潮 756  
 読売 11.8 高野清美  
 オノサト・トシノブ 生誕100年 10.5—12.16 大川美術館  
 新美術新聞 1297  
 折笠勝之油絵展 11.7—11.13 小田急(新宿)  
 新美術新聞 1295  
 心のふるさと 折本美禰子絵画展 27回 10.11—10.17 京王百貨店(聖蹟桜ヶ丘)  
 新美術新聞 1293

(カ)

ミリアム・カーン 私のユダヤ人、原子爆弾、そしてさまざまな作品 3.24—5.12 ワコウ・ワークス・オブ・アート  
 美術手帖 969 片岡真実  
 垣内カツアキ 海と山展 3.20—7.8 伊那アルプス美術館  
 新美術新聞 1278  
 角谷英明 作陶展 8.1—8.7 高島屋(名古屋)  
 陶説 715 井上隆生  
 隠崎隆一展 Una Mistura 5.12—5.26 中長小西  
 芸術新潮 751  
 陶説 712 唐澤昌宏  
 掛井五郎 鞍掛純一の空間 4.7—4.22 プラザ・ギャラリー  
 新美術新聞 1277  
 笠井誠一展 5.30—6.5 三越(日本橋)(三越(高松、札幌、大阪、福岡))  
 新美術新聞 1280 小川潔  
 笠井誠一展 開館40周年記念 10.6—11.4 網走市立美術館  
 美術の窓 350 小道谷朝生

風間サチコ 没落 THIRD FIRE  
12.8—1.19 無人島プロダクション  
芸術新潮 758  
柏健展 11.11—11.25 ギャラリー  
ユニコン  
新美術新聞 1295  
《私》の解体へ：柏原えつとむの場合  
7.7—9.30 国立国際美術館  
新美術新聞 1292 光田ゆり  
美術手帖 974 坂上しのぶ  
kaz Exhibition 3.2—3.13 もみの  
木画廊  
ギャラリー\* 324 小金沢智  
イサム片岡展 5.1—5.6 ギャラリー  
一遊(赤羽)  
新美術新聞 1279  
愛情展[香月泰男] 7.14—11.26  
香月泰男美術館  
ギャラリー\* 328  
北斎 ホノルル美術館所蔵 葛飾北  
斎生誕250周年記念 2.1—3.25  
京都文化博物館(いわき市立美術  
館)  
美術屋・百兵衛 20  
北斎 ホノルル美術館所蔵 葛飾北  
斎生誕250周年記念 4.14—6.17  
三井記念美術館(いわき市立美術  
館)  
産経 4.13  
産経 4.15  
産経 5.3 渋谷和彦  
北斎—風景・美人・奇想— 10.30  
—12.9 大阪市立美術館  
白土の焼結へ—勝野真言の世界—  
11.7—11.18 六本木画廊  
新美術新聞 1296  
カト哲二「むきだし」 6.25—6.30  
銀座井上画廊  
美術の窓 346 編集部  
加藤久仁生展 2.10—3.25 八王子  
市夢美術館(伊丹市立美術館、長  
島美術館、十和田市現代美術館)  
朝日夕刊 2.22 塩見圭  
産経 2.29 堀晃和  
加藤久仁生展 4.21—6.3 刈谷市  
美術館(伊丹市立美術館、長島美  
術館、十和田市現代美術館)  
REAR 28 越後谷卓司

加藤巧 4 days 11.30—12.3 gal-  
lery feel art 0  
陶説 719 井上隆生  
磁器の表現—青・赤・白— 加藤委  
山田晶 和田的 9.1—9.10  
和光ホール  
陶説 715 唐澤昌宏  
加藤唐三郎 作陶展 1.2—1.9 丸  
栄(名古屋)  
陶説 708 井上隆生  
加藤広貴個展—月のはこ— 5.31—  
6.6 ギャラリー絵夢  
ギャラリー\* 326  
新美術新聞 1280  
加藤邦元 日本画展 6.25—7.8  
ギャラリー八重洲・東京  
新美術新聞 1283  
加藤正嘉展 10.13—11.11 なうふ  
現代  
REAR 29 可児光生  
加藤光代個展 7.10—7.15 清月堂  
画廊  
新美術新聞 1285  
加藤力之輔展 11.13—11.25 印象  
社ギャラリー  
新美術新聞 1296  
金井訓志展 5.13—5.27 ギャラリ  
ーユニコン  
新美術新聞 1279  
金井訓志展 10.6—10.27 ギャラ  
リー椿  
新美術新聞 1293  
金井和歌子 6.9—6.14 ギャラリ  
ー島田 deux  
陶説 713 小吹隆文  
悠久の宙 金森良泰展 2.1—2.7  
高島屋(日本橋)  
金森良泰の世界—大和望郷— 8.9  
—9.25 奈良県立万葉文化館  
新美術新聞 1287 南城守  
日本の印象派 金山平三 移りゆく  
時間の中で描く日本の風景 4.7  
—5.20 兵庫県立美術館(ひろし  
ま美術館)  
読売 4.19 木村未来  
鷗亭の眼・鷗亭のこころ 書と陶と  
画と—響き合う美の世界—[金子  
鷗亭] 4.7—5.24 北海道立函館  
美術館

兼子真一「テレポー トーTeleport—」  
9.10—9.15 画廊宮坂  
ギャラリー\* 329  
備前 金重晃介展 4.4—4.10 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 711 井上隆生  
金重有邦 生まれくるもの 1.21—  
3.31 菊池寛実記念智美術館  
陶説 711 外館和子  
目の眼 426  
毎日夕刊 3.12 岸桂子  
1本で複数の木/Protean wood[狩  
野哲郎] 4.7—5.12 YUKA  
TSURUNO GALLERY  
ファウンテン 3 宮津大輔  
加納光於展 8.27—12.14 Fuji  
Xerox Art Space  
狩野裕子展 4.5—4.10 紀伊國屋  
画廊  
新美術新聞 1276  
収蔵品展 清方と舞台[鎌木清方]  
2.7—4.15 鎌木清方記念美術館  
朝日夕刊 3.21 杉森美絵  
上村松園と鎌木清方 7.21—9.2  
平塚市美術館  
水墨画\* 280  
鎌田克慈展 乾漆 5.23—5.31 サ  
ボア・ヴィーブル  
芸術新潮 751  
shiseido art egg vol.6[鎌田友介]  
2.3—2.26 資生堂ギャラリー  
毎日夕刊 1.17 岸桂子  
上條陽子展…2012試行 9.20—9.  
29 ぎやらりいサムホール(深川  
市アートホール東洲館、網走市立  
美術館)  
新美術新聞 1291  
亀井幸一 陶芸展 5.30—6.5 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 713 井上隆生  
亀井洋一郎—Gent-Addition— 5.7  
—5.19 SILVER SHELL  
陶説 712 花里麻理  
亀山知英展 4.2—4.7 養清堂画廊  
新美術新聞 1277  
加守田章二展「灰釉作品」 5.19—  
5.24 銀座黒田陶苑  
陶説 714 花里麻理  
加守田章二展「遠野作品」 6.23—

7.5 銀座黒田陶苑  
陶説 714 花里麻理  
萱原里砂写真展「Appearance」 11.  
3—12.1 SATOSHI KOYAMA  
GALLERY  
産経 11.7  
苅谷昌江「野蛮な宴」 4.21—5.26  
GALLERY TERRA TOKYO  
新美術新聞 1282 光田ゆり  
川合玉堂と東京画壇の画家たち  
5.26—7.16 野間記念館  
水墨画\* 278  
Rinko Kawauchi 川内倫子 照度  
あめつち 影を見る 5.12—7.16  
東京都写真美術館  
芸術新潮 751 鈴木理策  
朝日夕刊 6.6 大西若人  
産経 7.5  
東京夕刊 5.25 児島やよい  
日経 6.14 平野啓一郎  
毎日夕刊 5.22 手塚さや香  
読売 6.14 前田恭二  
川上澄生と棟方志功 日本版ソー  
とゴッホの対決 10.6—1.14 川  
上澄生美術館  
川口軌外の歩み 生誕120年記念  
11.10—1.14 和歌山県立近代美  
術館  
河口龍夫 光あれ! 3.11後の世界  
から 4.3—4.22 いわき市立美  
術館  
新美術新聞 1277  
朝日夕刊 4.11  
河口利衣展 6.4—6.10 ギャラリ  
ー URANO  
版画芸術 156  
川崎鈴彦展—月日は旅・沖縄から松  
島へ— 9.12—9.18 高島屋(日  
本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))  
新美術新聞 1290 川口直宜  
川崎鈴彦 平成のおくのほそ道  
11.3—12.16 市川市東山魁夷記  
念館  
新美術新聞 1296  
川崎普照 彫刻展—ブロンズと木彫  
— 3.21—3.27 三越(日本橋)  
新美術新聞 1275  
川島清 路傍ノート3 11.5—12.

1 ギャラリー東京ユマニテ  
河嶋淳司展 5.22—5.28 そごう  
(横浜)  
新美術新聞 1280  
川島眞佐展 12.13—12.19 上尾市  
民ホール  
新美術新聞 1299  
川瀬忍展 しろ糸 11.22—12.1  
中長小西  
芸術新潮 755  
陶説 719 唐澤昌宏  
川瀬表完(漆)・堀尾泰彦(陶)二人展  
10.10—10.16 高島屋(日本橋)  
川瀬磨士日本画展 12.5—12.11  
三越(日本橋)(三越(名古屋))  
新美術新聞 1298  
河鍋曉斎 生誕180年記念 權舟三  
郎コレクション 3.31—4.20 古  
美術 長野  
川畑絵個展 Un Profil 9.24—10.4  
十一月画廊  
新美術新聞 1291  
川端健太郎 陶 11.24—12.2 楽  
空間祇をん小西  
陶説 719 梅田稔  
龍子の歩んだ四国遍路[川端龍子]  
2.4—3.4 大田区立龍子記念館  
朝日 2.19 斉藤勝寿  
川淵直樹陶展 8.15—8.21 高島屋  
(京都)  
陶説 715 梅田稔  
川邊りえこ KOTOTAMA 7.13—  
8.4 MEGUMI OGITA GALLERY  
芸術新潮 753  
水墨画\* 284  
川俣正 Expand BankART 11.9—  
1.14 BankART Studio NYK  
芸術新潮 757  
美術手帖 979 福住康  
朝日夕刊 12.26 大西若人  
東京夕刊 12.28 中村英樹  
毎日夕刊 12.5 三田晴夫  
川村清雄 維新の洋画家 10.8—  
12.2 江戸東京博物館(静岡県立  
美術館)  
ギャラリー\* 330  
新美術新聞 1293 落合則子  
朝日夕刊 10.31 大西若人  
産経 10.5

日経 10.24 窪田直子  
読売夕刊 10.22 落合則子  
読売夕刊 11.6  
もうひとつの川村清雄展—加島虎吉  
と青木藤作・二つのコレクション  
— 10.20—12.16 目黒区美術館  
ギャラリー\* 330  
芸術新潮 757  
朝日夕刊 10.31 大西若人  
日経 10.24 窪田直子  
川村麻純展 Mirror Portraits 8.1—  
8.10 LIXIL ギャラリー2  
ギャラリー\* 329 小金沢智  
神戸文子展 2.28—3.6 上野の森  
美術館  
神戸峰男彫刻展—パリ: ユネスコ展  
帰朝報告展— 11.20—1.20 加  
藤栄三・東一記念美術館  
新美術新聞 1297

## (キ)

岸宏士展—パリの詩 6.21—6.29  
京王プラザホテルロビーギャラリ  
ー  
新美術新聞 1283  
それぞれのリアリズム[木田詩子]  
6.29—9.2 アートギャラリー呼  
友館  
新美術新聞 1283  
木田安彦 祈りの道 6.28—10.9  
池田20世紀美術館  
新美術新聞 1285  
田中一光と木田安彦 9.21—11.18  
木田安彦美術館  
版画芸術 157  
北井一夫 いつか見た風景 11.24  
—1.27 東京都写真美術館  
朝日夕刊 12.19 西岡一正  
北川民次展 4.11—4.20 さいとう  
画廊  
ギャラリー\* 324  
北川鉄人個展 4.11—4.18 富山県  
民会館美術館  
新美術新聞 1277  
北口夢石と陶芸教室作品展8回  
11.13—11.18 奈良市音声館  
新美術新聞 1296  
北島敬三 ISOLATED PLACES 4.  
6—5.13 RAT HOLE GALLERY

読売夕刊 5.7 (前)  
**BEAT TAKESHI KITANO 絵描き小僧展**[北野武] 4.13—9.2 東京オペラシティアートギャラリー  
 朝日 5.9 大西若人  
 産経 4.12  
 産経 4.22 堀晃和  
 読売夕刊 5.23 市原尚士  
**人間国宝 北村武資「織」を極める** 2.7—4.15 東京国立近代美術館工芸館  
 東京夕刊 3.16 藤田一人  
**北村倫子展** 5.26—5.31 Gallery 風  
 新美術新聞 1280  
**北山善夫「生きること 死ぬることの図」** 3.17—4.15 MEM  
 毎日夕刊 4.3 岸桂子  
**木津文哉展** 7.4—7.10 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1284  
**吉川霊華 近代にうまれた線の探求者** 6.12—7.29 東京国立近代美術館  
 新美術新聞 1283  
 水墨画\* 279 鶴見香織  
 日本美術新聞 5  
 朝日夕刊 7.18 増田愛子  
 日経 6.27 窪田直子  
 毎日夕刊 7.1 岸桂子  
**城戸保 森と畑** 7.10—10.6 See Saw gallery+café  
 美術手帖 973 清水穰  
**鬼頭健吾 carousel** 6.23—8.4 ケンジタキギャラリー(名古屋)  
 美術手帖 973 能勢陽子  
**絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.6** 衣川明子 10.27—11.24 ギャラリーαM  
 芸術新潮 757  
**絹谷香菜子展** 11.5—11.17 靖山画廊  
 新美術新聞 1295  
**絹谷幸二—豊饒なるイメージ— 古事記編纂1300年記念特別展** 10.20—12.16 奈良県立美術館  
 新美術新聞 1294 南城守  
 美術の窓 350 武田厚  
**Reflection 絹谷幸二彫刻展** 10.17

—10.23 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1293  
**祈りの心** 木下晋 4.21—6.10 平塚市美術館(砺波市美術館、足利市立美術館)  
 新美術新聞 1278 土方明司  
 朝日夕刊 5.16 大西若人  
 東京夕刊 5.18 中村英樹  
 毎日夕刊 5.15 岸桂子  
 読売夕刊 5.28 (井)  
**DUALISM 展**[儀保克幸] 5.30—6.5 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1280  
**金憲鎬 イロノヨウナ カタチノヨウナ** 6.30—7.15 gallery feel art 0  
 陶説 714 井上隆生  
**木村太陽「New Works」** 8.31—9.21 nca—日動コンテンポラリーアート  
 ギャラリー\* 330 三田晴夫  
 朝日夕刊 9.19 大西若人  
**アートアクアリウム展&ナイトアクアリウム 2012—江戸・金魚の涼**—[木村英智] 8.17—9.24 日本橋三井ホール  
 東京 9.6 井上幸一  
**カジ・ギヤスディン展** 9.17—9.26 みゆき画廊  
 ギャラリー\* 329 三田晴夫  
**マンガ@紫雲荘 紫雲荘のマンガ家たちの作品展—トキワ荘から紫雲荘へ—**[桐木憲一] 2.1—2.29 豊島区民センター  
 東京 2.1 柏崎智子  
**リアム・ギリック Agreements, McNamara and Lead Times** 3.9—4.7 TARO NASU  
 美術手帖 966 星野太  
**木脇秀子 夢をもとめて** 10.17—10.23 宮崎山形屋  
 美術の窓 349 高山淳  
**金醒石展** 6.18—6.23 地球堂ギャラリー  
 新美術新聞 1282  
**笑う魚 金城次郎 生誕100年** 1.6—2.29 那覇市立壺屋焼物博物館

(ク)

石に描かれた鳥たち ジョン・グールドの鳥類図譜 11.5—3.24 玉川大学教育博物館  
**—花のいのち、壺のこころ—九鬼三郎 油彩画展** 4.18—4.24 大丸(心斎橋)  
 新美術新聞 1277  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 1.7—4.8 国立国際美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 芸術新潮 748  
 新美術新聞 1271 安来正博  
 美術屋・百兵衛 20  
 朝日夕刊 4.1 建昌哲/森本俊司 聞き手  
 読売 2.16 木村未来  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 4.14—5.20 埼玉県立近代美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 朝日夕刊 4.25 大西若人  
 産経 5.2 渋谷和彦  
 毎日夕刊 4.23 岸桂子  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 7.14—11.4 松本市美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 新美術新聞 1291 渋谷見彰  
**草間彌生 永遠の永遠の永遠** 11.14—12.24 新潟市美術館(大分市美術館、高知県立美術館、静岡県立美術館)  
 朝日夕刊 12.12 建昌哲  
**草間彌生 新作絵画** 10.26—12.7 オオタファインアーツ  
 ギャラリー\* 332 名古屋覚  
**ジョンペッド・クスウィダナント On Asphalt** 11.24—12.23 NANZUKA  
 美術手帖 979 ダリル・ウィー/近藤亮介 訳  
**孤高の文人画家 楠瓊州の世界 生誕二百年記念** 4.16—6.30 敦井美術館  
 水墨画\* 278  
 shi・da[guse ars] 8.12—8.22

(ケ)

- 溪斎英泉 5.29—7.8 千葉市美術館  
芸術新潮 752  
新美術新聞 1283  
駄美術20年史 現代美術二等兵活動20周年記念 12.1—12.22 @btf  
朝日夕刊 12.5 大西若人

(コ)

- 鯉江良二 天草：白への往還 4.21—5.13 ギャラリー器館  
美術手帖 967 清水穰  
奇想天外—鉢合わせ—鯉江良二×内田綱一×小田康平 7.9—7.20 山本美術  
陶説 714 梅田稔  
油彩三人展[小池弘恵] 3.6—3.11 東京銀座画廊美術館  
美術の窓 344 高山淳  
小泉癸巳男 昭和震災復興記念 大東京百図絵展 信州新町美術館30周年記念企画展 3.30—5.27 信州新町美術館  
復興への息吹き 大地の祈り 五十嵐二郎・小泉智英 二人展 4.24—5.13 須賀川市立博物館  
新美術新聞 1278 増賀睦朗  
尾崎嶺展〜忘れえぬ風景〜神下雄吉展 7.5—7.14 東邦アート  
新美術新聞 1284  
光嶋裕介ドローイング集出版記念「幻想都市風景」 5.12—6.2 森岡書店  
芸術新潮 751  
陶・神山易久一刻一展 4.4—4.10 高島屋(京都)  
陶説 713 釣真一  
Two Times ふたつの時間 アントニー・ゴームリー彫刻プロジェクト in 葉山 8.18—3.3 神奈川県立近代美術館(葉山)  
東京夕刊 9.28 中村英樹  
毎日夕刊 11.14 岸桂子  
ジャック・ゴールドスタイン 1.25—3.25 RAT HOLE GALLERY  
美術手帖 967 大森俊克

- 栗林隆 WATER > | < WASSER 4.21—9.2 十和田市現代美術館／中心商店街ほか  
美術手帖 971 工藤健志  
栗原一郎展 12.5—12.11 高島屋(名古屋)  
新美術新聞 1298  
クリムト 黄金の騎士をめぐる物語生誕150年[グスタフ・クリムト] 12.21—2.11 愛知県美術館(長崎県立美術館、宇都宮美術館)  
ギャラリー\* 332  
美術屋・百兵衛 24  
黒川英夫新作展 5.7—5.12 文藝春秋画廊  
新美術新聞 1279  
黒国昭 ガラス作品展 8.1—8.7 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1287  
清水康友企画 星彩展[黒木律子] 3.29—4.4 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1276  
近代日本洋画の巨匠 黒田清輝 4.14—5.27 富山県立近代美術館  
Venanzo Crocetti ヴェナンツォ・クロチェッティ 11.3—12.16 いわき市立美術館(彫刻の森美術館)  
新美術新聞 1298  
鍬形蕙斎の世界—絵本と版本— 9.29—10.13 実践女子大学香雪記念資料館展示室  
読売 10.4 井上晋治  
桑久保徹展 11.28—12.17 8/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery  
毎日夕刊 12.5 岸桂子  
ひかり・くかん・じっけんしつ[クワクポリョウタ] 8.14—9.2 NTT インターコミュニケーション・センター  
朝日夕刊 8.29 西岡一正  
桑田三舟 躍動する線と空間の美 9.15—10.28 ふくやま書道美術館  
桑山忠明 HAYAMA 11.3—1.14 神奈川県立近代美術館(葉山)  
朝日夕刊 12.5 大西若人

- 書肆サイコロ  
芸術新潮 754  
国吉康雄 アメリカ美術を変えた日本人 4.28—7.8 横須賀美術館  
久野和洋展 10.17—10.23 高島屋(日本橋)(高島屋(名古屋、大阪、京都、横浜))  
新美術新聞 1294  
美術の窓 349 武田厚  
吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現代郷土作家展 9.13—10.21 姫路市立美術館  
新美術新聞 1289  
久保木桂子展 9.4—9.9 印象社ギャラリー  
水墨画\* 284  
An image[窪田美樹] 7.12—7.29 hgrp GALLERY TOKYO  
芸術新潮 753  
熊谷樞個展—スペインの旅から— 10.5—10.14 熊谷守一美術館  
東京 10.6 柏崎智子  
熊谷守一 小さな画面に無限の世界 1.2—2.12 北九州市立美術館分館(瀬戸内市立美術館、伊丹市立工芸センター)  
ギャラリー\* 321  
スイスの絵本作家 クライドルフの世界[エルンスト・クライドルフ] 6.19—7.29 Bunkamura ザ・ミュージアム(郡山市立美術館、富山県立近代美術館、そごう美術館)  
読売夕刊 6.23  
掛井五郎 鞍掛純一の空間 4.7—4.22 プラザ・ギャラリー  
新美術新聞 1277  
倉田三郎が描いた風景 倉田三郎生誕110年記念展 10.30—12.9 たましん歴史・美術館  
新美術新聞 1296  
倉地比沙支個展—NO CONFIDENCE MAN— 10.5—10.14 万画廊  
新美術新聞 1293  
操上和美—時のポートレイト ノスタルジックな存在になりかけた時間。 9.29—12.2 東京都写真美術館  
朝日夕刊 11.7 神谷実里

シャガールのタピスリー展 二つの才能が織り成すシンフォニー[イヴェット・コキール=フランス] 12.11—1.27 渋谷区立松涛美術館(福井市美術館、松坂屋美術館) 芸術新潮 758  
朝日夕刊 12.19 中村さやか  
ここから 何処かへ[國府理] 7.28—9.9 京都芸術センター REAR 29 石田大祐  
木暮照子作品展 6.23—7.16 古代蓮会館 新美術新聞 1284  
小坂茂展 11.13—11.18 兜屋画廊 新美術新聞 1297  
小島弘 木彫展 8.27—9.8 ギャラリーせいほう 新美術新聞 1288  
MU[無]—ベドロコスタ&ルイシャフェス 12.7—3.10 原美術館 芸術新潮 758  
美術手帖 980 北澤ひろみ  
児玉浩和展 絵の中で暮らすII 10.1—10.6 ギャラリーオカベ 水墨画\* 285  
ゴッホ展 7.29—10.28 ハウステンボス美術館(京都市美術館、宮城県美術館、広島県立美術館) ギャラリー\* 327  
新美術新聞 1287 安田恭子  
読売 8.23 白石知子  
後藤昭夫回顧展 1960年代を中心として 4.10—5.27 関市立篠田桃紅美術空間 REAR 28 高橋綾子  
後藤純男展 1.2—1.25 そごう美術館 ギャラリー\* 321  
新美術新聞 1268 行定俊文  
後藤靖香展「暗号模索」 3.23—4.23 第一生命南ギャラリー 芸術新潮 749  
毎日夕刊 4.3 岸桂子  
読売夕刊 4.9 (清)  
小灘一紀絵画展 神々の微笑 9.5—9.11 高島屋(大阪)(高島屋(日本橋)、境港市民館) 新美術新聞 1289  
美術の窓 348 小灘一紀

絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.5 小西紀行 9.21—10.20 ギャラリーαM 芸術新潮 755  
ひそやかな眼差し 小林且典 8.28—11.25 静岡市美術館  
清親と安治—光線画の時代[小林清親] 9.8—10.8 山口県立萩美術館・浦上記念館 読売 9.2 白石知子  
小林耕平 あなたの口は掃除機であり、ノズルを手で持つことで並べ替え、電源に接続し、吸い込むことで語る。 11.17—12.15 山本現代 東京夕刊 12.7 古谷利裕  
小林冴子展 今日までの日、今日の灯 9.10—9.22 十一月画廊 新美術新聞 1290  
小林正人 LOVE もっとひどい絵を! 美しい絵 愛を口にする以上 2012, spring 3.17—4.28 SHUGOARTS 美術手帖 969 松井みどり  
読売夕刊 4.2 (井)  
ART TODAY2012 弁明の絵画と小林正人 10.6—11.25 セゾン現代美術館  
小林美佐子展—乖離する身体— 7.23—8.4 シロタ画廊 新美術新聞 1286  
小林美佐子展 10.6—10.20 アートギャラリーミューズ 版画芸術 157  
小林理恵 木版画展「横浜夕景」 11.27—12.5 サブウェイギャラリーM 新美術新聞 1298  
小堀四郎 美の生命の永遠 生誕100年 7.28—8.27 茅野市美術館 ギャラリー\* 327  
駒井哲郎1920—1976 福原コレクション 4.28—7.1 世田谷美術館 新美術新聞 1281  
日経 5.23 宝玉正彦  
五味謙二展 3.17—4.1 ギャラリー一教奇 陶説 711 井上隆生

小村雪岱 大正・昭和のグラフィックデザイン 10.6—11.25 ニューオータニ美術館 日経 11.22  
古茂田守介ふたたび、蘇った絵画 7.14—9.2 目黒区美術館 新美術新聞 1288  
塗師 小森邦衛 7.18—7.24 三越(日本橋) 新美術新聞 1286  
小柳吉次 植物画展—野菜の『目のつけどころ』を描く— 5.21—5.27 ギャラリー佳風 新美術新聞 1280  
小山敬三と高橋節郎 文化勲章受章二人展 7.14—8.26 安曇野高橋節郎記念美術館 新美術新聞 1286 三澤新弥  
小山研一展 3.27—4.4 ギャラリーにしかわ 陶説 711 鈎真一  
小山航平—無花果の花— 6.8—6.30 Gallery Suchi ギャラリー\* 326  
コロ—からミロへ 開館記念展[カミーユ・コロ—] 3.31—4.14 NUKAGA GALLERY  
今和次郎 採集講義 1.14—3.25 パナソニック汐留ミュージアム 朝日夕刊 1.25  
日経 1.14 館野真治  
読売 2.23 生井英考  
近藤亜樹「食べる地球」 7.7—8.4 SHUGOARTS 美術手帖 974 天野一夫  
近藤佐智子油彩展 6.12—6.15 松本市美術館 新美術新聞 1282  
近藤幸夫 自然への畏敬 7.6—7.14 画廊岳・ギャラリーコロ— 新美術新聞 1284  
今野朋子展 2.4—2.19 ギャラリー一教奇 陶説 709 井上隆生  
(サ)  
斉藤玄之助展 7.11—7.17 ヒルトピアアートスクエア 新美術新聞 1285



斎藤國靖 〈仮説〉としての絵画  
10.22—11.17 武蔵野美術大学美術館

斉藤蕙子 油絵展 12.6—12.12  
東急(渋谷)  
新美術新聞 1298

齋藤将作品展〜のすたるゆーもあ〜  
4.10—4.16 そごう(横浜)  
新美術新聞 1276

斉藤真一と瞽女 6.23—9.2 上越市立総合博物館  
新美術新聞 1285

斉藤典彦 山水を憶う 7.18—7.30  
高島屋(日本橋)  
水墨画\* 282

齋藤久子×大場吉美 ふたりの造形  
6.13—6.24 金沢21世紀美術館  
美術の窓 345 編集部

斉藤秀雄個展 5.27—6.2 東京交通会館  
新美術新聞 1280

齋藤博之油絵展—静かなる刻—  
5.10—5.19 いつき美術画廊  
ギャラリー\* 325

齋藤洋由起 ENERGY ART EXHIBITION —EXPLOSION— 7.16—7.21 画廊るたん  
新美術新聞 1285

齋藤光晴—水彩画展 4.10—4.15  
ギャラリー遊(赤羽)  
新美術新聞 1276

斎藤芽生 野火賊、夜光族 11.26—12.22 ギャラリー・アートアンリミテッド  
芸術新潮 758  
朝日夕刊 12.5

斎藤義重 1980年代以降を中心に  
9.8—10.21 千葉市美術館

サイトウ良展 11.19—11.24 ギャラリーGK  
新美術新聞 1296

佐伯守美陶芸展 11.21—11.27 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1297

佐伯祐三とパリ ポスターのある街角 4.28—7.16 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室(島根県立美術館、静岡県立美術館、宇都宮美術館、山梨県立美術館)

美術屋・百兵衛 21

十三世坂高麗左衛門展 襲名記念  
6.20—6.26 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪、横浜)、大丸(福岡天神)、一畑百貨店(松江、出雲)、彩陶庵)  
陶説 713 唐澤昌宏

酒井重良 表現と素材の位相 4.15—4.19 上野の森美術館  
新美術新聞 1277

酒井博司展 10.7—11.18 ギャラリーヴォイス  
陶説 717 井上隆生

さかいひろみ展 ジョーカーとちいさなともだち 11.7—11.13 ぎやらりい西利  
新美術新聞 1296

阪井田武志展 芸術から「私」を新しくするために 10.1—10.30 大黒屋  
ギャラリー\* 330

榊莫山展 詩書画が紡ぐ風雅の世界 受贈記念 4.7—5.20 三重県立美術館

榊原紫峰とその仲間たち 生誕125年 8.31—11.30 足立美術館  
水墨画\* 282

坂口恭平 新政府展 11.17—2.3 ワタリウム美術館  
美術手帖 976 河合純枝

油彩三人展[坂口富貴子] 3.6—3.11 東京銀座画廊美術館  
美術の窓 344 高山淳

坂田英三 Année Sabbatique 11.3—11.25 L gallery  
REAR 29 中西園子

坂西清子の絵画展 5.28—5.30 相模大野ギャラリー  
新美術新聞 1280

坂本夏子展 Still Life 10.11—11.10 ケンジタキギャラリー(東京)  
REAR 29 塩津青夏

さきやあきら展 12.5—12.11 三越(日本橋)  
新美術新聞 1298

作間敏宏展 治癒 8.20—9.1 巷房  
読売夕刊 8.27 (井)

櫻田久美油絵展 6.27—7.8 さわ

やかちば県民プラザギャラリー  
新美術新聞 1284

佐光亜紀子洋画展—愛と希望の夢—  
10.16—10.21 名古屋電気文化会館  
新美術新聞 1293  
美術の窓 349 小森佳代子

笹井青依 Quercus 6.5—8.11 アンダーギャラリー  
ギャラリー\* 326  
ギャラリー\* 327 名古屋覚

笹川春舂水墨画展 心のふるさとを描く 6.2—6.10 アートサロン遊心堂  
新美術新聞 1281

佐々木経二日本画展 8.15—8.21 阪急(梅田)  
新美術新聞 1288

佐々木忍—白磁十二支大名行列—  
3.6—4.2 LIXIL ギャラリー  
芸術新潮 749

佐々木忠和洋画展—海・そして遺跡の眩き— 6.1—6.4 加賀市美術館

佐々木文代 ドット 4.5—4.19 KOUGEI  
新美術新聞 1281  
陶説 712 外館和子

佐々木宗實 4.16—4.21 光画廊  
新美術新聞 1277

佐竹龍蔵 GEISAI#16 片桐孝憲章受章 5.24—5.29 Hidari Zingaro  
ギャラリー\* 327 小金沢智

ジャン・マリー・ザッキ来日展  
8.1—8.19 ギャラリー桜の木(軽井沢)  
新美術新聞 1287

COSMIC TRAVELERS—TOWARD THE UNKNOWN[佐藤充] 1.21—5.6 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
美術手帖 965 能勢陽子  
読売夕刊 2.2 (井)

佐藤イチダイ talking about. . .  
10.6—11.17 アルマスギャラリー  
ギャラリー\* 331 小金沢智

佐藤溪 旅立ちのとき 2.3—3.31 湯布院美術館



美術手帖 966 榎木野衣  
**モノミナヒカル 佐藤慶次郎の振動するオブジェ** 11.1—1.14 多摩美術大学美術館  
 新美術新聞 1297  
**佐藤辰作 外房の風3** 6.19—7.21 城西国際大学水田美術館  
 新美術新聞 1283  
**佐藤善勇個展—ヨーロッパ・小樽風景を中心に—** 10.11—10.16 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1293  
**佐藤泰生「マルセル」原画展** 3.13—3.26 日動画廊(東京)(日動画廊(名古屋、福岡))  
 美術の窓 342 武田厚  
 毎日夕刊 3.22 桐山正寿  
**佐藤武造展 没後40年** 10.13—11.4 ギャラリー82  
 新美術新聞 1293  
**彫刻家佐藤忠良展「人間」を探索しつづけた表現者の歩み 生誕100年** 11.23—2.24 宮城県美術館(佐川美術館、北海道立旭川美術館)  
 新美術新聞 1298 三上満良  
**「ブラックジャックによろしく」原画展[佐藤秀峰]** 9.20—10.2 pixiv Zingaro  
 東京夕刊 9.26 岩岡千景  
**2012年 佐藤満展** 4.28—5.6 清月堂画廊  
 新美術新聞 1278  
**佐藤洋子展—大気の中で—** 7.4—7.30 日仏会館エントランスホール  
 新美術新聞 1286  
**佐藤龍生展** 4.6—4.14 ぎやらりい朋  
 新美術新聞 1276  
**佐藤龍人展3回** 5.19—5.26 上野の森美術館  
 新美術新聞 1280  
**佐野未知展** 6.4—6.9 シロタ画廊  
 新美術新聞 1281  
**トマス・サラセーノ クラウド・シティ** 5.26—8.31 メゾンエルメス  
 芸術新潮 752  
 朝日夕刊 8.1 大西若人

読売夕刊 8.13 (清)  
**沢宏毅 湖北の画人 没後30年** 10.18—11.18 長浜城歴史博物館  
**Lineament Hiraki Sawa[さわひらき]** 4.7—6.17 資生堂ギャラリー  
 芸術新潮 750  
 東京夕刊 4.2 岡部あおみ  
**さわひらき「追伸」** 4.10—5.26 オオタファインアーツ  
 毎日夕刊 5.1 岸桂子  
**さわひらき Whirl** 10.23—11.24 神奈川県民ホールギャラリー  
 新美術新聞 1294  
 読売夕刊 11.19 (清)  
**澤村みちる個展—画業50年の刻—** 8.9—8.14 松坂屋(銀座)  
 新美術新聞 1287  
**三條弘敬と5人の画家たち展** 5.10—5.27 成城さくらさくギャラリー  
 新美術新聞 1279  
**AWAKENING[サミ・サンパッキラ]** 6.9—9.9 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
 読売夕刊 8.2 (井)  
**三瓶喜好 油彩展** 5.14—5.20 ギャラリー八重洲・東京  
 新美術新聞 1279

(シ)

**椎名純子 大地の棲家 人はなぜこのように棲むのか** 11.26—12.22 武蔵野美術大学美術館  
**沈崇道個展『毛沢東肖像画』** 9.8—9.29 東京画廊  
 毎日夕刊 9.11 岸桂子  
**塩田千春—存在のあり方** 3.8—4.21 ケンジタキギャラリー(東京)  
 ギャラリー\* 323  
 東京夕刊 3.23 中村英樹  
**塩田千春 私たちの行方** 3.18—7.1 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
 ギャラリー\* 323  
 美術手帖 967 岡部あおみ  
 産経 4.2 黒田綾子  
 毎日夕刊 4.26 手塚さや香

**塩出英雄展 生誕100年** 12.21—1.27 岡山県立美術館  
 新美術新聞 1299  
**COSMIC TRAVELERS—TOWARD THE UNKNOWN[塩保朋子]** 1.21—5.6 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
 美術手帖 965 能勢陽子  
 読売夕刊 2.2 (井)  
**志賀理江子 螺旋海岸** 11.7—1.14 せんだいメディアテーク  
 ギャラリー\* 334 小金沢智  
 芸術新潮 757  
 朝日夕刊 11.14 西岡一正  
 毎日 12.12 手塚さや香  
**Melancholy[重野克明]** 6.12—6.30 MEGUMI OGITA GALLERY  
 芸術新潮 752  
 水墨画\* 282  
**重松あゆみ作陶展** 8.29—9.11 西武(池袋)  
 陶説 715 外館和子  
**Yoko Shigemori Exhibition [重森陽子]** 2.17—2.26 SHINYA  
 陶説 709 梅田稔  
**紫舟+チームラボ「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」** 6.5—6.30 ミヅマアートギャラリー  
 芸術新潮 752  
**設楽知昭 毎日、尻尾を食べていた** 5.12—6.8 STANDING PINE—cube  
 REAR 28 梅津庸一  
**七類堂天路—奕々たるその神彩—** 4.7—6.17 相国寺承天閣美術館  
 新美術新聞 1276  
**篠沢潤子展** 10.22—10.28 Oギャラリー  
 新美術新聞 1294  
**篠田太郎「ホモ・サピエンス・サピエンス」** 10.3—11.2 タカ・イシイギャラリー  
 美術手帖 976 畠中実  
**篠山紀信 写真力** 6.30—9.17 熊本市現代美術館(奥田元宋・小由女美術館、高梁市成羽美術館、新潟県万代島美術館、グランフロント大阪、札幌芸術の森、ミュゼふくおかカメラ館、富岡市立美術館

物館・福沢一郎記念美術館)  
 新美術新聞 1287  
 美術手帖 976 榎木野衣  
 朝日夕刊 7.18 安斎耕一  
**篠山紀信 写真力** 10.3—12.24  
 東京オペラシティアートギャラリー  
 (奥田元宋・小由女美術館、高  
 梁市成羽美術館、新潟県万代島美  
 術館、グランフロント大阪、札幌  
 芸術の森、ミュゼふくおかカメラ  
 館、富岡市立美術博物館・福沢一  
 郎記念美術館)  
 朝日 10.12 大西若人  
 朝日夕刊 10.17 西岡一正  
 日経 12.13 平野啓一郎  
 読売 9.25  
 読売 10.31 篠山紀信 談  
**柴川敏之展 2000年後の化石絵巻**  
 7.2—7.29 秋吉台国際芸術村ギ  
 ャラリー  
 新美術新聞 1285  
**柴田健治 暗黒** 10.13—11.10 タ  
 グチファインアート  
 読売夕刊 10.29 (井)  
**ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・**  
**絵画** 11.1—12.16 根津美術館  
 読売 11.29  
**柴田敏雄—WONDERS—** 4.6—4.  
 28 YOSHIKI INOUE GALLERY  
 ギャラリー\* 324  
**与えられた形象 辰野登恵子／柴田**  
**敏雄** 8.8—10.22 国立新美術館  
 美術手帖 975 光田由里  
 朝日夕刊 9.5 大西若人  
 産経 8.29  
 東京夕刊 10.5 古谷利裕  
 日経 8.29 宝玉正彦  
 毎日夕刊 9.12 三田晴夫  
 読売 9.27 井上晋治  
**柴田昌一版画 ヒロシマ資料より**  
 10.15—10.20 ギャラリー志門  
**渋谷栄一—陶モノクロームモノ**  
**ローグー** 9.6—10.4 LIXILギ  
 ャラリー  
**島崎清海 卒寿記念 リト手彩展**  
 2.28—3.4 うらわ美術館  
 新美術新聞 1280  
**島田章三と島田鮎子 ふたりで歩ん**  
**だ50年** 12.4—2.17 メナード

美術館  
 美術の窓 352 武田厚  
**島津豪亮油絵展—スペインの詩情を**  
**描く** 6.28—7.4 東急(渋谷)  
 新美術新聞 1284  
**島野憲二 心の花絵画展** 6.9—  
 6.15 江戸屋ギャラリー  
 新美術新聞 1282  
**ジミー大西作品 挑戦と革新** 9.5  
 —9.11 三越(銀座)  
 産経 9.6  
 読売 9.6  
**清水晃・吉野辰海 漆黒の彼方／犬**  
**の行方** 2.11—3.25 埼玉県立近  
 代美術館  
 新美術新聞 1272 平野到  
 朝日夕刊 3.14 大西若人  
 毎日夕刊 3.6 岸桂子  
 読売夕刊 2.27 (井)  
**志水児王 Elements** 3.16—4.28  
 MISA SHIN GALLERY  
 美術手帖 967 畠中実  
**清水新也油絵展** 5.2—5.8 西武  
 (池袋)  
 新美術新聞 1279  
**清水操展** 4.25—5.1 高島屋(日本  
 橋)(高島屋(岐阜、米子))  
 新美術新聞 1279  
**清水由朗—風の道—** 5.23—5.29  
 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、横  
 浜、名古屋、京都))  
 新美術新聞 1280  
**志村節子** 5.9—5.15 高島屋(日本  
 橋)  
 新美術新聞 1279  
**150年を遡る幻の古写真「下岡蓮枝**  
**の世界」** 7.31—9.2 JCH フォ  
 トサロン  
 朝日 8.19 佐藤善一  
**マルセル・ジモン彫刻展** 11.5—  
 12.7 武蔵野美術大学図書館  
**ベン・シャーン クロスメディア・**  
**アーティスト—写真、絵画、グラ**  
**フィック・アート—** 6.3—7.16  
 福島県立美術館(神奈川県立近代  
 美術館(葉山)、名古屋市美術館、  
 岡山県立美術館)  
 読売 7.5 高野清見  
**ベン・シャーン 線の魔術師**

11.17—1.14 埼玉県立近代美術  
 館  
 朝日夕刊 12.5 横田麻生子  
**マルク・シャガール 愛をめぐる追**  
**想** 7.13—8.26 岡山県立美術館  
 (岐阜県美術館)  
**マルク・シャガール展 油彩・版画**  
**・タピスリー** 9.8—10.14 松坂  
 屋(名古屋)  
 日経 9.16  
**シャガールのタピスリー展 二つの**  
**才能が織りなすシンフォニー** 12.  
 11—1.27 渋谷区立松涛美術館  
 (福井市美術館)  
 芸術新潮 758  
 朝日夕刊 12.19 中村さやか  
**MU[無]—ペドロコスタ&ルイシャ**  
**フェス** 12.7—3.10 原美術館  
 芸術新潮 758  
 美術手帖 980 北澤ひろみ  
**シャルダン—静寂の巨匠—** 9.8—  
 1.6 三菱一号館美術館  
 新美術新聞 1290  
 朝日夕刊 10.1 西岡一正  
 日経 9.19 窪田直子  
**クワン・シャント 作品全集** 2.25  
 —3.31 YUKA TSURUNO GAL-  
 LERY  
 美術手帖 966 グリル・ウィー  
 /BT 訳  
**ゲルダ・シュタイナー&ヨルク・レ**  
**ンツリンガー—力が生まれるところ**  
**2.11—5.6 水戸芸術館現代**  
**美術ギャラリー**  
 芸術新潮 748  
 美術手帖 967 北出智恵子  
 朝日夕刊 4.4 大西若人  
 東京夕刊 4.2 岡部あおみ  
 毎日 3.13 三田晴夫  
 読売 4.26 高野清見  
**首藤義明展** 10.8—10.14 神田画  
 廊  
 新美術新聞 1292  
**YASUO JOH[城康夫] あるがまま**  
**の彼方に** 10.17—10.23 高島屋  
 (大阪)(高島屋(岐阜、米子、日本  
 橋、京都))  
 新美術新聞 1293  
**白井忠俊—千年螺旋—** 1.7—1.28

LIXIL ギャラリー 2  
東京タ刊 1.2 中村英樹  
番洋・白石眞弓 ふたり展 3.11—  
3.19 京王プラザホテルロビーギ  
ャラリー  
美術の窓 342 磯部靖  
白鳥映雪生誕百年展 9.7—10.21  
市立小諸高原美術館・白鳥映雪館  
新美術新聞 1290 星野保彦  
白藤さえ子 個展 3.19—3.24 ギ  
ャラリー銀座アルトン  
ギャラリー\* 323  
しりあがり寿★ワールド ゆるとび  
あ 6.23—7.8 横浜市民ギャラ  
リーあざみ野  
芸術新潮 752  
寺尾勝広・新木友行・湯元光男 ア  
トリエインカーブ3人展 9.14—  
9.23 東京オペラシティアートギ  
ャラリー  
芸術新潮 755  
朝日タ刊 9.19 大西若人  
東京タ刊 9.12 (森)  
新宮さやか展 8.11—8.26 ギャラ  
リー器館  
陶説 715 小吹隆文  
日本再興[信香] 11.7—11.11 三  
重県立美術館県民ギャラリー  
新美術新聞 1295  
新宅光男 喜寿記念 新作油彩・水  
彩個展 9.5—9.11 大丸(下関)  
新美術新聞 1289  
Beautiful Life 新藤杏子個展 5.19  
—6.9 YUKI-SIS  
ギャラリー\* 325  
神農蔵展—膨胎 10.17—10.23 高  
島屋(名古屋) (高島屋(京都))  
陶説 718 井上隆生

(ス)

ス・ドホ in between 8.4—10.21  
広島市現代美術館  
美術屋・百兵衛 22  
読売 10.4 高野清見  
DO HO SUH PERFECT HOME[ス  
・ドホ] 11.23—3.17 金沢21世  
紀美術館  
芸術新潮 759  
読売 10.4 高野清見

菅木志雄 新作 12.1—1.30 大黒  
屋  
ギャラリー\* 332  
菅原洸人 小品展 3.27—4.1 ギ  
ャラリーダイヤモンド  
新美術新聞 1276  
菅原さちよ展 時の岸辺 10.10—  
10.16 高島屋(日本橋)  
水墨画\* 286  
菅原二郎展 4.28—6.10 現代彫刻  
美術館  
新美術新聞 1281  
杉浦大和展 画廊からの発言 新世  
代への視点2012 7.17—8.4 な  
びす画廊  
東京タ刊 7.13 古谷利裕  
読売タ刊 7.3 (井)  
杉江淳平と回顧展 常滑陶芸作家協  
会作品展 4.3—5.6 とこなめ陶  
の森資料館  
陶説 712 井上隆生  
中日祝祭文化の風情 傳益瑤・杉谷  
隆志・仲裕行 10.22—11.9 東  
京中国文化センター  
水墨画\* 285  
杉戸洋 the orange tree 4.21—6.9  
ケンジタキギャラリー(名古屋)  
REAR 28 千葉真智子  
杉本貞光陶展 喜寿記念 6.27—  
7.3 高島屋(日本橋)  
杉本博司 ハダカから被服へ 3.31  
—7.1 原美術館  
AXIS 158 暮沢剛巳  
ギャラリー\* 325 名古屋覚  
新美術新聞 1279  
朝日タ刊 5.9 大西若人  
東京タ刊 4.6 児島やよい  
毎日タ刊 4.11 三田晴夫  
読売タ刊 5.9 高橋直彦  
ヘンリー杉本とその時代 10.20—  
11.25 和歌山市立博物館  
杉山吉伸作品展 11.14—11.20 三  
越(日本橋)  
新美術新聞 1296  
美術の窓 350 高山淳  
色彩の詩人 マークエステル絵画展  
—古事記1300年記念—[マークエ  
ステル・スキャルシャフィキ]  
6.20—6.26 大丸(東京)

新美術新聞 1283  
鈴木淳夫展 1.23—2.11 ウエスト  
ベスギャラリーコヅカ  
ギャラリー\* 321  
鈴木淳夫展 7.20—8.2 Marie Gal  
lery  
ギャラリー\* 321  
鈴木淳 なにもない、ということも  
ない 21世紀の作家—福岡10回  
1.5—3.25 福岡市美術館  
美術手帖 964 西谷郁  
鈴木公人日本画展 9.18—9.23 ギ  
ャラリー82  
新美術新聞 1290  
ゲンパツイラナイ[スズキコージ]  
9.22—10.21 汐花  
東京 9.29 竹上順子  
鈴木五郎展 五利部 10.27—11.17  
ギャラリー顕美子  
陶説 718 井上隆生  
鈴木竹柏展—気・韻— 2.29—3.6  
高島屋(横浜) (高島屋(日本橋、大  
阪、京都、名古屋))  
新美術新聞 1272 大矢頼音  
美術の窓 342 一井健二  
鈴木千寿展:組香絵の世界 11.1—  
11.8 銀座洋協ホール  
芸術新潮 755  
鈴木力 イタリアの詩 10.11—1.8  
池田20世紀美術館  
新美術新聞 1298  
美術の窓 349 高山淳  
美術の窓 353 高山淳  
鈴木徹 作陶展 5.9—5.19 松坂  
屋(名古屋)  
陶説 713 井上隆生  
鈴木武右衛門 11.5—11.17 ギャ  
ラリーせいほう  
美術の窓 350 高山淳  
鈴木缶羊墨画展 9.25—9.30 鳩居  
堂画廊  
新美術新聞 1291  
鈴木康広 本 の 消息 5.11—7.1  
NADiff a/p/a/r/t  
読売タ刊 6.25 (井)  
鈴木由衣 ゴーザ壺 10.6—10.27  
STANDING PINE  
REAR 29 秋庭史典  
須田貴世子 10.20—11.3 Gallery

SU  
芸術新潮 756

須田国太郎展—光と影の生命[いのち]—没後50年に顧みる 4.7—5.27 神奈川県立近代美術館(葉山)(石川県立美術館、鳥取県立博物館、島根県立美術館)  
朝日夕刊 5.16

須田国太郎展—光と影の生命[いのち]—没後50年に顧みる 7.21—8.26 茨城県近代美術館(石川県立美術館、鳥取県立博物館、島根県立美術館)  
新美術新聞 1287

須田国太郎展—光と影の生命[いのち]—没後50年に顧みる 12.1—2.3 京都市美術館(石川県立美術館、鳥取県立博物館、島根県立美術館)  
日経 12.16

須田国太郎—珠玉の上原コレクション—生誕120年記念 12.5—3.13 上原近代美術館  
ギャラリー\* 333

須田悦弘展 10.30—12.16 千葉市美術館  
朝日夕刊 11.14 西岡一正  
東京夕刊 11.9 児島やよい  
日経 11.7 窪田直子  
毎日夕刊 11.14 岸桂子  
読売夕刊 12.3 (清)

スタジオ・アズーロ展—KATA-RIBE— 9.22—11.4 川崎市市民ミュージアム  
朝日夕刊 10.17 大西若人  
読売 10.11 井上晋治

スタジオ・ムンバイ展 PRAXIS 7.22—9.22 TOTO ギャラリー・間  
朝日夕刊 9.12 大西若人

須藤圭太「ようこそ、注文の多い食器店へ」 10.2—10.7 Antenna Media  
陶説 717 小吹隆文

須藤美保展 11.28—12.4 ヒルトピアアートスクエア  
新美術新聞 1297

角護・遙かなる宇宙 11.23—12.2 川端画廊

美術の窓 351 編集部

澄川喜一彫刻展 東京スカイツリー×そりのあるかたち 4.26—5.7 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、名古屋))  
美術の窓 344 武田厚  
朝日 4.27 黒川和久  
毎日夕刊 5.2 岸桂子  
読売 5.1

澄川喜一展—マスクからそりのあるかたちへ— 6.15—7.5 山口県立美術館  
新美術新聞 1282

澄川喜一彫刻展 そりのあるかたち 10.6—12.24 島根県立石見美術館(あさご芸術の森美術館)  
美術の窓 350 椋木賢治

W. ユージン・スミス作品展 ヒューマニズムに生きた写真家 3.1—5.31 FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館  
新美術新聞 1276

陶山俊一 木版画展 5.17—5.22 ギャラリータマミジウム  
新美術新聞 1279

shiseido art egg vol. 6[three] 1.6—1.29 資生堂ギャラリー  
毎日夕刊 1.17 岸桂子

three is magic number 5 2.14—3.10 MEGUMI OGITA GALLERY  
芸術新潮 748

美術手帖 965 島貫泰介

## (セ)

清宮質文 Seimiya Naobumi 哀しみのむこうに 9.9—10.28 小さな夢美術館  
新美術新聞 1289

Aloha Amigo! フェデリコ・エロ×関口和之 5.3—3.17 金沢21世紀美術館

関口正浩 project N 49 4.13—9.2 東京オペラシティアートギャラリー  
毎日夕刊 7.17 岸桂子

ニョロの森 関野宏子の世界 7.14—9.23 横須賀美術館

セザンヌ パリとプロヴァンス[ポール・セザンヌ] 3.28—6.11

国立新美術館  
東京夕刊 4.13 古谷利裕  
日経 1.22  
日経 2.19  
日経 4.15  
日経 4.26 富田律之  
日経夕刊 3.1

瀬下妙子個展 10.28—11.3 ギャラリーームサシ  
新美術新聞 1294

解剖と変容 アル・ブリュットの極北へ チェコの鬼オルボシュ・プルニーとアンナ・ゼマーンコヴァー 2.4—3.25 兵庫県立美術館(広島市現代美術館)  
ギャラリー\* 322  
芸術新潮 748

宗廣コレクション 芹沢銑介展 手仕事愛でる ある染織家の渾身の蒐集 2.11—3.25 岡崎市美術館  
ギャラリー\* 322

芹沢銑介 宗廣コレクション 4.7—6.3 京都文化博物館  
新美術新聞 1280

千正博—展 4.3—4.13 GINZA ギャラリー・アーチストスペース  
ギャラリー\* 326 ワシオ・トシヒコ  
新美術新聞 1276

(ソ)

曾令富父娘三人画展[曾勤/曾黎] 12.4—12.9 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1298

副島孝治展 11.17—1.14 東御市梅野記念絵画館  
新美術新聞 1297

未ダ明ケズ夢ニ泛ブ[園家誠二] 6.21—7.4 アートギャラリー 閑々居  
芸術新潮 752

(タ)

大雲道人展 画業50周年記念 9.15—10.1 バレア若狭ギャラリー  
新美術新聞 1290

醍醐イサム個展 2.24—2.29 ギャラリーれがろ

水墨画\* 277  
**醍醐イサム個展 流空流光** 12.10—12.22 K's Gallery  
 新美術新聞 1299  
**大楽華雪の世界 書業60年** 11.3—11.11 東京セントラル美術館  
 毎日 11.3 桐山正寿  
 毎日夕刊 11.8 桐山正寿  
**多賀新 線描の魔術師** 11.3—12.16 市川市芳澤ガーデンギャラリー  
 新美術新聞 1296  
 版画芸術 158  
**高井史子展 画廊からの発言 新世代への視線2012** 7.24—8.5 gallery 21 yo-j  
 読売夕刊 7.3 (井)  
**高笠幹個展7回** 4.19—5.1 たましんギャラリー  
 新美術新聞 1277  
**卒寿記念 なつかしい日々の情景 高木栄子 紙わらべ展** 8.22—9.3 松屋(銀座)(大丸ミュージアム KYOTO)  
 朝日夕刊 8.21 津村節子  
 東京夕刊 8.29 森村陽子  
**高木久美 トータル・エンクロージャー：徘徊少女と浮遊の園** 2.10—2.26 十和田市現代美術館  
 ギャラリー\* 322  
**COSMIC TRAVELERS—TOWARD THE UNKNOWN[高木正勝]** 1.21—5.6 エスパス ルイ・ヴィトン東京  
 美術手帖 965 能勢陽子  
 読売夕刊 2.2 (井)  
**高北幸矢インスタレーション《落花の夢》** 10.13—12.16 古川美術館分館爲三郎記念館  
 REAR 29 村田真宏  
**高倉親崖展** 1.11—4.15 大分市美術館  
 水墨画\* 276  
**高砂淳二写真展 そら色の夢** 11.29—12.14 コニカミノルタプラザ  
 東京 11.25 蒲敏哉  
**高島圭史日本画展～ひかりのいろ～** 11.14—11.20 三越(日本橋)

新美術新聞 1296  
**高島賢治展2** 9.17—9.22 ギャラリーミハラヤ  
 新美術新聞 1290  
**高杉學個展12回** 12.2—12.8 ギャラリー白百合  
 新美術新聞 1298  
**高田啓介 油彩展** 5.12—5.18 上野の森美術館  
 新美術新聞 1279  
 美術の窓 344 小池伊欧里  
**高田保雄展** 4.16—4.21 文藝春秋画廊  
 新美術新聞 1277  
**高田保雄展** 8.22—9.12 永井画廊  
 新美術新聞 1288  
**吉左衛門 X 暗闇の音 静寂の光[高谷史郎]** 9.29—4.7 佐川美術館  
 芸術新潮 755  
 美術屋・百兵衛 24  
**鷹野隆大 モノクロ写真** 1.17—2.29 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku  
 美術手帖 966 清水穰  
**鷹野隆大 写真展「立ち上がれキコオ」** 8.24—9.28 ツアイト・フォト・サロン  
 ギャラリー\* 328  
**高橋恭子個展** 10.22—10.27 光画廊  
 新美術新聞 1294  
**小山敬三と高橋節郎 文化勲章受章二人展** 7.14—8.26 安曇野高橋節郎記念美術館  
 新美術新聞 1286 三澤新弥  
**高橋浩規・日本画展** 12.6—12.12 東武(船橋)  
 新美術新聞 1298  
**高橋宏幸回顧展 with チロヌップの子どもたち** 4.19—4.30 佐藤美術館  
 読売夕刊 4.14  
**高橋由一 近代洋画の開拓者** 4.28—6.24 東京芸術大学大学美術館(京都国立近代美術館、山形美術館)  
 新美術新聞 1279 古田亮  
 朝日夕刊 6.6 大西若人  
 産経 5.2 渋谷和彦

日経 5.16 窪田直子  
 毎日夕刊 5.28 岸桂子  
 読売 4.21  
 読売夕刊 5.26 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班  
**高橋由一** 10.27—12.24 栃木県立美術館  
**大正ロマンの画家 高島華宵の世界** 11.24—1.27 高知県立文学館  
 大正イマジュリィ 8 高島澄江  
**落石計画 5期 銅版画試論一つくこと、ゆだねること—[高浜利也]** 8.7—8.11 旧落石無線送信所(現・池田良二スタジオ)  
**高部多恵子 版画 and 陶器展** 11.1—11.7 ギャラリーコンセプト21  
 新美術新聞 1294  
**高見澤文雄 新作展** 12.3—12.22 Hino Gallery  
 ギャラリー\* 333 三田晴夫  
**高嶺格のクールジャパン** 12.22—2.17 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
 ギャラリー\* 334 名古屋覚  
 芸術新潮 759  
 美術手帖 980 ダリル・ウィー／近藤亮介 訳  
**高山辰雄生誕100年記念特別展** 6.2—6.30 角川本社ビル  
 新美術新聞 1281  
 朝日夕刊 6.13 大西若人  
**高山辰雄・奥田元宋 文展から日展へ** 12.1—1.27 山種美術館  
 日経 11.18  
 日経夕刊 12.6  
**高山辰雄展 生誕100年記念** 12.20—2.3 大分市美術館／大分県立芸術会館  
 新美術新聞 1299 小杉小二郎  
**高山辰雄 文藝春秋表紙絵 限りなき時の中に** 12.20—2.3 大分県立芸術会館  
**高山登 ねずみとり+地下動物園+** 3.11—1968年から2012年へー 10.27—12.22 鎌倉画廊  
 ギャラリー\* 331  
**滝沢具幸一地のうた—** 4.27—6.10 飯田市美術博物館

新美術新聞 1281  
**瀧本光國 彫るもの、彫ること** 1.21—2.25 東京画廊 BTAP  
 読売夕刊 2.6 (井)  
**田口雅巳カイコテン アノ世とコノ世と湘南と** 1.7—3.4 茅ヶ崎市美術館  
 東京夕刊 1.27 藤田一人  
**武市齊孝 水墨画・墨彩画・日本画展** 4.11—4.22 浦添市美術館  
 新美術新聞 1277  
**竹内公太 公然の秘密** 3.17—4.1 XYZ collective  
 朝日 3.28 大西若人  
**竹内真吾 陶芸展** 8.22—8.28 松坂屋(名古屋)  
 陶説 716 井上隆生  
**横山大観 VS 竹内栖鳳** 3.1—5.31 足立美術館  
 水墨画\* 276  
**竹内栖鳳—京都画壇の画家たち** 9.29—11.25 山種美術館  
 新美術新聞 1295  
 水墨画\* 283  
 日経 9.16  
 日経夕刊 10.4  
 読売 10.11  
**池田龍雄 濱口富治 武内光仁 3人の世界 第13回白木谷国際現代美術館4周年記念特別企画** 5.3—7.24 白木谷国際現代美術館  
 ギャラリー\* 326  
**竹川宣彰 2001—2012** 6.2—7.14 オオタファインアーツ  
 読売夕刊 7.2 (井)  
**武田史子 銅板画展—伝え継ぐ場所—** 11.15—11.30 東京會館ギャラリー  
 ギャラリー\* 331  
**武田美智子絵画展 LIFE・光にむかって** 11.8—11.20 たましんギャラリー  
 新美術新聞 1295  
**武田陽介個展 キャンセル** 9.22—11.4 3331 Gallery  
 美術手帖 975 清水穰  
**竹原祥司展** 4.17—4.27 銀座柳画廊

新美術新聞 1277  
**竹久夢二と静岡ゆかりの美術** 1.7—3.25 静岡市美術館  
**竹村健 木版画・刻画展14回** 11.28—12.4 松坂屋(静岡)  
 新美術新聞 1297  
**竹村 Bin の世界** 10.3—3.31 ダイヤモンド八ヶ岳美術館ソサエティ  
 新美術新聞 1292  
**武本はる根油彩展** 10.31—11.6 松坂屋(静岡)  
 新美術新聞 1294  
**田澤茂油彩展** 10.22—10.28 画廊楽I  
 新美術新聞 1294  
**田嶋悦子個展 Flowers** 3.31—4.21 イムラアートギャラリー京都  
 陶説 711 梅田稔  
**多田さやか 春と修羅** 5.11—5.16 新宿眼科画廊  
 ギャラリー\* 326  
**多田夏雄展** 6.4—6.16 ギャラリー一福山  
 新美術新聞 1282  
**「玉姫写真館」山谷の男の肖像[多田裕美子]** 6.19—7.8 カフェバー鈴楼  
 東京 6.26 榎本哲也  
**館勝生展** 10.12—11.4 Yoshimi Arts  
 ギャラリー\* 330  
**橋京身展—きざし—** 11.13—11.18 銀座幸伸ギャラリー  
 水墨画\* 287  
**アートフェア東京2012 ギャラリー AYA[橋天敬]** 3.30—4.1 東京国際フォーラム  
 芸術新潮 748  
**与えられた形象 辰野登恵子／柴田敏雄** 8.8—10.22 国立新美術館  
 美術手帖 975 光田由里  
 朝日夕刊 9.5 大西若人  
 産経 8.29  
 東京夕刊 10.5 古谷利裕  
 日経 8.29 宝玉正彦  
 毎日夕刊 9.12 三田晴夫  
 読売 9.27 井上晋治  
**墨×墨[田鶴濱洋一郎]** 4.2—4.7 ギャラリー檜

新美術新聞 1276  
 水墨画\* 279  
**建畠大夢 没後70年** 12.4—2.24 和歌山県立近代美術館  
**田名網敬一個展 新作アニメーションとドローイング** 7.7—8.5 NANZUKA  
 読売夕刊 7.23 (井)  
**田中敦子—アート・オブ・コネクティング** 2.4—5.6 東京都現代美術館  
 ギャラリー\* 322  
 新美術新聞 1273  
 美術手帖 966 岡部あおみ  
 産経 4.26  
 東京夕刊 3.2 岡部あおみ  
 日経 2.15 小川敦生  
 読売 2.23 高野清見  
**DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵作品展 IV 田中一光ポスター1980—2002 没後10周年記念企画** 1.13—2.25 ギンザ・グラフィック・ギャラリー  
 朝日夕刊 2.1 大西若人  
**田中一光と木田安彦展** 9.19—11.22 木田安彦美術館  
 版画芸術 157  
**田中一光とデザインの前後左右** 9.21—1.20 21\_21 DESIGN SIGHT  
 美術手帖 980 原研哉  
 朝日 10.12 大西若人  
 産経 10.28 黒沢綾子  
**田中一村展 琉球弧が開花した美の世界 本土復帰40周年記念** 3.30—5.6 沖縄県立博物館・美術館  
 新美術新聞 1276  
**田中恭吉展 生誕120年記念** 9.1—10.14 和歌山県立近代美術館  
 大正イマジュリイ 8 井上芳子  
 版画芸術 157  
**田中圭介 傾景** 10.6—11.2 山本現代  
 芸術新潮 756  
**田中太賀志** 10.9—10.14 丹沢美術館  
**田中秀穂 VANISHING&EMERGING** 9.3—10.6 武蔵野美術大学美術



館

- 田中靖夫展 吸取り紙 4.17—4.28  
Gallery 福果  
芸術新潮 750
- 田中良太「今日のなまえ」 4.20—  
5.20 ゲルオルタナ  
ギャラリー\* 324
- 棚田康司「たちのぼる。」 9.16—  
11.25 練馬区立美術館(伊丹市立  
美術館)  
AXIS 161 暮沢剛巳  
新美術新聞 1294  
美術手帖 976 O JUN  
朝日夕刊 11.14 西岡一正  
東京夕刊 10.19 三沢典丈  
日経 9.16  
日経 11.18  
日経夕刊 10.4  
読売 10.18 井上晋治
- 谷内薫個展 5.8—5.13 ギャラリー  
一恵風  
陶説 712 小吹隆文
- 谷垣博子絵画展 10.10—10.16 伊  
勢丹(浦和)  
新美術新聞 1293
- 谷川泰宏 日本歳時記 創造へのま  
なざし 12.5—12.11 高島屋(日  
本橋)(高島屋(大阪、横浜、名古屋、  
京都、新宿))
- 谷口仙太郎 〜わたしの旅〜 3.2  
—3.16 RELJINSHA GALLERY  
TOKYO  
ギャラリー\* 323
- 種房ひさ子小品展 6.11—6.17 ギ  
ャラリー・コパンダール  
新美術新聞 1282
- 田淵俊夫展 いのちの煌めき 4.7  
—5.20 名古屋市美術館(富山県  
水墨美術館)  
新美術新聞 1277 神谷浩  
美術の窓 343 編集部  
読売 5.3 井上晋治
- 田淵俊夫展 いのちの煌めき 6.5  
—7.20 渋谷区立松涛美術館(富  
山県水墨美術館)  
水墨画\* 281  
朝日夕刊 6.13 大西若人  
毎日夕刊 6.26 岸桂子
- 田淵俊夫展 いのちの煌めき 10.6

- 11.25 福島県立美術館(富山県  
水墨美術館)  
日経 10.31 宝玉正彦
- 田淵俊夫展 技のひみつ 4.7—  
6.17 メナード美術館  
読売 5.3 井上晋治
- 玉置保夫展 3.7—3.13 高島屋(名  
古屋)  
陶説 710 井上隆生
- 玉虫良次油絵展 2.22—2.28 三越  
(日本橋)  
ギャラリー\* 324 ワシオ・トシ  
ヒコ
- Light of Dreams 田村彰英 夢の光  
7.21—9.23 東京都写真美術館  
朝日夕刊 8.22 西岡一正  
読売 9.6
- 田村公個展 10.8—10.13 画廊る  
たん  
新美術新聞 1292
- 田村憲一 日本画展 7.16—7.28  
十一月画廊  
新美術新聞 1286
- 丹羽シゲユキ展 —Sweet DREA-  
MS— 5.12—5.27 EN 陶 REZ  
陶説 712 梅田稔

(チ)

- チ・トウ 疑問の状態 ジレンマへ  
と向かう7つのパフォーマンス  
7.19—7.28 アートラボ・アキバ  
美術手帖 974 ダリル・ウィー  
崔恩景展一風の中へー 12.10—  
12.22 東邦アート  
新美術新聞 1299
- チェン・ジャン・ホン展 5.26—  
7.1 ギャラリーためなが大阪  
新美術新聞 1280
- Chim ↑ Pom 展 9.22—10.14 パ  
ルコミュージアム  
朝日夕刊 10.3 大西若人

(ツ)

- 司修『ギルガメッシュ王の物語』(ぶ  
ねうま舎刊)原画展 4.10—4.15  
ギャラリーヒルゲート  
新美術新聞 1277
- 津金日人夢作陶展—青瓷— 11.8—  
11.14 東急(渋谷)

- 陶説 718 唐澤昌宏
- 塚原琢哉写真展「続・銀の日記」  
12.17—12.26 ストライプハウス  
ギャラリー  
ギャラリー\* 332
- 月岡芳年 没後120年記念 10.2—  
11.25 太田記念美術館  
版画芸術 157  
産経 10.21 渋谷和彦  
日経夕刊 10.22 窪田直子  
毎日夕刊 10.22 岸桂子
- 継岡リツ展—Scherzo— 10.22—  
10.27 ぎやらりいサムホール  
新美術新聞 1294
- 月形明比古の特選絵画陶芸展 7.5  
—7.10 十字屋(山形)  
新美術新聞 1284
- 津田直写真展: Storm Last Night  
/Earth Rain House 8.20—9.25  
キャノンギャラリーS  
毎日夕刊 9.18 手塚さや香
- 土田ヒロミ写真展 BERLIN 5.9—  
5.22 銀座ニコソロン(大阪ニ  
コソロン)  
毎日夕刊 5.15 手塚さや香
- 土屋公雄展 9.16—10.21 福井県  
立美術館  
REAR 29 野田訓生
- 人間国宝三人 岐阜、染と織の匠た  
ち 山田真、宗廣力三、土屋順紀  
9.21—11.4 岐阜県博物館
- 土屋禮一展—なつかしさを求めて—  
4.28—6.3 大垣市スイトピアセ  
ンターアートギャラリー  
新美術新聞 1278 野地耕一郎
- 土屋禮一展—行雲流水— 5.16—  
5.22 高島屋(日本橋)(高島屋(京  
都、大阪、横浜、岐阜、名古屋))  
新美術新聞 1278 野地耕一郎  
美術の窓 344 高山淳
- 堤敏朗 油彩自選展 9.15—9.19  
守口文化アーツセンター(アスパ  
アカデミーホール)  
美術の窓 348 小森佳代子
- 堤晴子絵画展 10.12—10.14 大府  
市勤労文化会館  
新美術新聞 1293
- 津守愛香展 9.25—9.30 ギャラリー  
一恵風



陶説 718 柴辻政彦  
 鈞谷みよ子日本画展 12.12—12.18  
 ギャラリーダダ  
 新美術新聞 1299  
 鶴丸滯子展「はな、はな、はな」  
 10.24—10.28 海浜館  
 新美術新聞 1294

## (テ)

出口直日 陶芸展 10.4—11.4 瑞  
 浪芸術館  
 陶説 719 井上隆生  
 豊島区ゆかりのマンガ家 Vol. 1 —  
 手塚治虫の世界— 4.2—7.30  
 椎名町駅ギャラリー  
 産経 4.1  
 トーマス・デマンド展—紙でできた  
 世界[リアル]。 5.19—7.8 東  
 京都現代美術館  
 美術の窓 344  
 朝日夕刊 6.2 大西若人  
 産経 5.27  
 毎日夕刊 7.2 手塚さや香  
 読売 6.14 前田恭二  
 読売夕刊 6.9 ヨミウリ・ジュ  
 ニア・プレス取材班  
 寺池静人作陶展 7.25—7.31 三越  
 (日本橋)  
 新美術新聞 1286

寺尾勝広・新木友行・湯元光男 ア  
 トリエインカーブ3人展 9.14  
 —9.23 東京オペラシティアート  
 ギャラリー  
 芸術新潮 755  
 朝日夕刊 9.19 大西若人  
 東京夕刊 9.12 (森)  
 寺久保文宣 新作油彩画展—明日へ  
 の挑戦 9.16—9.23 埼玉画廊  
 新美術新聞 1291

寺坂公雄展 2.22—2.28 三越(日  
 本橋)  
 美術の窓 341 高山淳  
 寺島紫明の素描—画家のまなざし—  
 9.1—9.30 明石市立文化博物館  
 新美術新聞 1289

寺島貞志 青春のリアリズム展  
 12.1—2.3 萬鉄五郎記念美術館  
 ギャラリー\* 332

瀬戸 寺島裕二陶展 珠玉の筥

12.11—12.22 橋本美術  
 陶説 719 井上隆生  
 寺田政明 生誕100年 10.6—11.  
 11 北九州市立美術館分館(豊島  
 区立熊谷守一美術館)  
 それぞれのリアリズム[寺林武洋]  
 6.29—9.2 アートギャラリー呼  
 友館  
 新美術新聞 1283  
 KASAMA 新時代の7人—寺本守と  
 KASAMAの新鋭達 3.3—3.20  
 KOGEI 現代工芸アートフェア  
 ・ギャラリー  
 陶説 711 外館和子  
 ポール・デルヴォー—夢をめぐる旅  
 — 9.12—11.11 府中市美術館  
 (下関市立美術館、埼玉県立近代  
 美術館、岡崎市美術博物館、浜松  
 市美術館、秋田市立千秋美術館)  
 日経 10.7 窪田直子

照山ひさこ個展 5.21—5.26 銀座  
 スルガ台画廊  
 新美術新聞 1280  
 ミヒヤエル・テンゲス「絵画」 8.25  
 —9.29 タグチファインアート  
 芸術新潮 755

天明屋尚「韻」展 10.10—11.10 ミ  
 ズマアートギャラリー  
 芸術新潮 756

## (ト)

マリー・ローランサンと東郷青児  
 4.28—6.24 山梨県立美術館  
 東松照明の写真 11.10—12.16 砺  
 波市美術館  
 美術手帖 979 清水穰

弘田雅代・遠山治代 二人展  
 10.22—11.27 ギャラリー白百合  
 新美術新聞 1294

徳沢守俊展 古希 福岡三越開店  
 15周年記念特別企画 10.30—  
 11.5 三越(福岡)  
 陶説 718 福島健治  
 トザキケイコ展「いつかひとつだっ  
 たもの」 8.27—9.8 十一月画廊  
 新美術新聞 1289

戸嶋靖昌 恩師と友人たち—画家は  
 ひとりでは生まれない— 6.25—  
 7.7 清澄画廊

戸田浩二皿展 2.8—2.14 松屋(銀  
 座)

陶説 709 花里麻理  
 “Living Water”—生ける水—トロン  
 トアートエキスポ2012個展開催  
 帰国展[戸田みどり] 9.17—9.22  
 銀座井上画廊  
 新美術新聞 1289

戸塚直樹水彩画展 11.3—11.9 ギ  
 ャラリー遊(日本橋)  
 新美術新聞 1298

鉄斎—水墨神韻—[富岡鉄斎] 4.3  
 —6.10 鉄斎美術館

ヒロトミザワろう画展—イタリア・  
 マテラにて— 6.7—6.16 四  
 季彩舎  
 ギャラリー\* 326

富田菜摘展—ユートピア— 9.24—  
 10.20 中京大学アートギャラリ  
 ーC・スクエア  
 REAR 29 青木健

富山妙子作品展&講演会「記憶の糸  
 を紡ぐ 震災・戦争・女」 5.8—  
 5.15 慶応義塾大学日吉キャンパ  
 ス 来往舎ギャラリー  
 東京 5.8 佐藤直子

戸谷成雄新作展—連句のIV 11.10  
 —12.22 ケンジタキギャラリー  
 (名古屋)

REAR 29 天野一夫  
 モジもじ文字[鳥海修] 7.28—9.9  
 武蔵野市立吉祥寺美術館  
 ショナ・トレスコット Drawn into  
 the Light 9.11—12.8 ANDO  
 GALLERY  
 新美術新聞 1290

## (ナ)

内藤礼 地上はどんなところだった  
 か 10.13—11.22 ギャラリー小  
 柳

東京夕刊 11.2 岡部あおみ  
 中日祝祭文化の風情 傅益瑤・杉谷  
 隆志・仲裕行 10.22—11.9 東  
 京中国文化センター  
 水墨画\* 285

中井勝郎展 Mixed Media による〈天  
 空への鼓動〉 3.16—3.28 ギャ  
 ラリー絵夢

ギャラリー\* 323  
**中井川由季展**—あいまいな接合—  
 9.10—9.15 ギャラリー志門  
 芸術新潮 755  
 陶説 716 井上隆生  
**中尾郁夫陶展** 愉・喫茶去 2.25—  
 3.10 ギャラリー顕美子  
 陶説 710 井上隆生  
**EXHIBITION NOW** 長尾和典 5.24  
 —6.7 閑茶居  
 水墨画\* 281  
**オルゴール** 長尾玲子展 9.13—  
 9.24 ギャラリー ア・ピアント  
**中上清 新作展** 5.14—6.2 Hino  
 Gallery  
 ギャラリー\* 325  
 ギャラリー\* 326  
 読売夕刊 5.21 (井)  
**長倉洋海写真展**「子どもたちの元気  
 便—震災からの出発」 3.4—3.22  
 コニカミノルタプラザ  
 産経 3.7  
**中畔千嘉個展** 12.17—12.29 ギャ  
 ラリー福山  
 新美術新聞 1299  
**長沢明展** 5.28—6.9 ガレリア・  
 グラフィカ  
 読売夕刊 6.4 (清)  
**中ザワヒデキ個展**「不可視関数の方  
 式と方法(Systems and methods  
 in hidden functions)」 9.10—  
 12.10 ザ・コンテナ  
 ギャラリー\* 332  
 美術手帖 977 ダリル・ウィー  
 /近藤亮介 訳  
**中ザワヒデキ展** 脳で見るアート  
 12.8—2.17 武蔵野市立吉祥寺美  
 術館  
 ギャラリー\* 332  
**長沢秀之展** PAINTING on Painting  
 10.6—11.3 ギャラリーモモ(両  
 国)  
 読売夕刊 10.15 (井)  
**中島和長展** 10.29—11.4 銀座ギ  
 ャラリーあづま  
 新美術新聞 1294  
**中島清彦展** 8回 10.30—11.5 彩  
 波画廊  
 新美術新聞 1295

**中島佳子展** 一地の符— 4.3—4.8  
 ギャラリー彩  
 美術の窓 343 高山淳  
**中島千波展**—宮尾本「平家物語」の挿  
 画と花々の宴— 9.15—11.11  
 ウッドワン美術館  
 新美術新聞 1292  
**中島千波 人物図鑑** 11.15—12.2  
 東京芸術大学大学美術館  
 ギャラリー\* 331  
 毎日夕刊 11.26 岸桂子  
**横浜美術館所蔵作品による中島千波  
 ・清之親子展** 会館20周年記念  
 [中島清之] 10.12—12.11 おぶ  
 セミュージアム・中島千波館  
 ギャラリー\* 331  
 新美術新聞 1294  
**永島千裕展** 8.25—9.14 たけだ美  
 術  
 ギャラリー\* 329  
**中島虎威日本画展** 4.9—4.14 画  
 廊宮坂  
 新美術新聞 1276  
**中島晴美展** 9.2—9.8 八郷・平田  
 邸内目黒陶芸館別館  
 陶説 716 井上隆生  
**中島英樹1992—2012展** 5.19—8.  
 31 大和プレスビューイングルー  
 ム  
 美術手帖 975 猪飼尚司  
**中條秋男油彩展** 11.6—11.11 村  
 岡屋本店ぎやらりー彩(ギャラ  
 リーコンセプト21)  
 新美術新聞 1295  
**中條正義展** 忘れちゃってEASY  
 思い出してCRAZY 6.23—8.12  
 資生堂ギャラリー  
 芸術新潮 752  
 新美術新聞 1283  
 毎日夕刊 8.6 永田晶子  
 読売夕刊 7.9 (井)  
**中田一於陶芸展**—釉裏銀彩の華—  
 2.17—2.23 和光ホール  
 陶説 710 唐澤昌宏  
**中田勝康写真** 旧徳島城表御殿庭園  
 の魅力を探る 4.20—4.30 徳島  
 市立徳島城博物館  
**中田博士陶芸展** 1.11—1.17 松坂  
 屋(名古屋)

陶説 708 井上隆生  
**中田博士作陶展** 真珠光彩 7.4—  
 7.10 高島屋(横浜)  
 陶説 714 唐澤昌宏  
**中田真央展**—melancholic— 7.9—  
 7.21 ガレリアグラフィカ bis  
 ギャラリー\* 327  
**中谷ミチコ—impression—** 5.26—  
 6.16 マキファインアーツ  
 産経 6.11 岸桂子  
**中津川浩章—絵画は記憶に似ている**  
 1.30—2.11 ギャラリーK  
 毎日夕刊 2.6 岸桂子  
**中西繁 デッサン展** 8.1—8.10  
 ギャラリー喜久田  
 新美術新聞 1287  
**水絵への情熱** 中西利雄と蒼原会の  
 画家たち 10.27—12.2 茨城県  
 つくば美術館  
 新美術新聞 1296  
**土方巽+中西夏之「背面」** 5.14—  
 6.15 慶應義塾大学アート・スペ  
 ース  
 ギャラリー\* 327 三田晴夫  
**中西夏之新作展** 6.14—7.8 gal-  
 lery 21 yo-j  
 ギャラリー\* 327 三田晴夫  
**中西夏之 韻** 洗濯バサミは攪拌行  
 動を主張する 擦れ違い/遠のく  
 紫 近づく白斑 10.13—1.14  
 川村記念美術館  
 新美術新聞 1294 赤松祐樹  
 朝日夕刊 11.21 大西若人  
 毎日夕刊 12.12 岸桂子  
**中西洋人「木の器」** 3.23—3.30  
 DEE'S HALL  
 芸術新潮 749  
**長野順子銅版画展** 4.16—4.28 T  
 —BOX  
 新美術新聞 1278  
**中野浩樹—奏—** 7.5—7.17 コー  
 トギャラリー国立  
 新美術新聞 1285  
**中林忠良展**—もう一つの彩月—作品  
 集刊行記念 10.10—10.20 日動  
 画廊(福岡日動画廊)  
 新美術新聞 1293  
**中平卓馬 サーキュレーション—日  
 付、場所、行為** 7.4—7.22 BLD

GALLERY  
朝日夕刊 7.11 大西若人  
中藤益子 芸術の世界展 10.9—  
10.14 SPACE ろさんじ  
新美術新聞 1292  
永峯華月水墨画展 8.5—8.11 東  
京交通会館  
新美術新聞 1287  
料理して妻を待つ 中村研一と日常  
のモチーフ 3.27—5.20 中村  
研一記念小金井市立はけの森美術  
館  
朝日夕刊 4.11 蒔苗沙都子  
産経 4.18  
中村元風 陶芸展 7.18—7.24 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 715 井上隆生  
中村梧郎写真展「枯葉剤とベトナム」  
11.6—11.18 川越市立美術館  
東京 10.7 中里宏  
中村左洲 鯛の画家「三重の画人」企  
画展 9.8—10.21 桑名市美術館  
水墨画\* 282  
中村隆遺作展—cell and relation—  
9.12—9.23 川口市立アートギャ  
ラリー・アトリア  
新美術新聞 1291  
中村直人 彫刻の時代 10.6—11.  
18 佐久市立近代美術館(小杉放  
菴記念日光美術館)  
新美術新聞 1293  
中村正義 日本画壇の風雲児 新た  
なる全貌 2.19—4.1 練馬区立  
美術館(名古屋市美術館)  
朝日夕刊 3.21 西岡一正  
産経 2.19 渋谷和彦  
東京 2.6  
東京夕刊 2.21 中村倫子  
東京夕刊 3.2 池内紀  
毎日夕刊 3.27 岸桂子  
中村正義の《顔》 9.15—10.14 川  
崎市市民ミュージアム  
中谷幸雄展 古希記念 9.3—9.9  
あーとスペース夢玄  
新美術新聞 1289  
報道写真とデザインの父 名取洋之  
助—日本工房と名取学校 4.27—  
6.26 日比谷図書文化館  
日経 6.6 宝玉正彦

毎日夕刊 5.29 手塚さや香  
並木恒延漆芸展—光 彩なす—  
10.31—11.6 三越(日本橋)  
新美術新聞 1295  
『更生保護』表紙絵による並木秀俊作  
品展 9.3—9.16 ナカジマア  
ート  
新美術新聞 1289  
奈良美智 君や僕にちょっと似てい  
る 7.14—9.23 横浜美術館(青  
森県立美術館、熊本市現代美術館)  
芸術新潮 753 奈良美智/町田  
康  
新美術新聞 1287  
朝日 8.14 西岡一正  
東京夕刊 8.17 児島やよい  
読売 7.26 高野清見  
難波田史男の15年 1.14—3.25  
東京オペラシティアートギャラリー  
—  
芸術新潮 747  
産経 1.29 渋谷和彦  
日経 1.25 宝玉正彦

## (ニ)

鳩川誠一展 愛と情熱の画家 9.8  
—10.21 茂原市立美術館・郷土  
資料館  
新美術新聞 1289  
鳩川誠一展 東洋と西洋の融合した  
独特な美の世界 11.14—11.27  
すみだリバーサイドホールギャラ  
リー  
新美術新聞 1297  
西功一作陶展 1.18—1.24 三越  
(名古屋)  
陶説 709 井上隆生  
西尾康之展 EXOTICISM 4.14—  
5.12 山本現代  
美術手帖 969 児島やよい  
読売夕刊 4.23 (井)  
西田俊英 日本画展 翼の海  
11.29—12.5 福屋(広島)  
美術の窓 351 編集部  
輝く街、染まる街 西田真人が描い  
た神戸風景 受贈記念 7.14—  
9.17 神戸ゆかりの美術館  
美術の窓 347 田中梨枝子  
西谷勝輝油彩展 12.12—12.18 ギ

平成24年美術展覧会(作ナ〜ネ)

ギャラリーブラック  
新美術新聞 1298  
西成田洋子展：記憶の領域 2012  
9.17—9.29 コバヤシ画廊  
新美術新聞 1291  
西村富彌 —誰が朝鳥の声を聴いた  
か— 4.9—4.20 NICHE GAL-  
LERY  
ギャラリー\* 327 ワシオ・トシ  
ヒコ  
新美術新聞 1276  
西村紀子展 11.23—11.29 常陽藝  
文センター  
新美術新聞 1297  
彫刻を聞き、土を語らせる 西村陽  
平展 西村陽平が会った子ども  
たち展 4.7—5.27 愛知県陶磁  
資料館  
陶説 712 井上隆生  
REAR 28 鈴木敏春  
西村陽平展20回 10.8—10.13 ギ  
ャラリー飛鳥  
ギャラリー\* 330  
仁平仙之助作品展 4.29—5.5 東  
京交通会館  
新美術新聞 1278  
丹羽章油絵展—米寿記念— 10.25  
—10.30 横浜馬車道アートギャ  
ラリー  
美術の窓 350 高山淳

## (ヌ)

塗師祥一郎展—富士を画く— 6.10  
—6.16 そごう(川口)  
新美術新聞 1282

## (ネ)

墨に遊ぶ 根岸嘉一郎水墨画展 3  
回 5.2—5.8 松坂屋(上野)  
新美術新聞 1279  
根岸英個展25回 4.14—4.22 ギ  
ャラリー・ぐみの舎  
新美術新聞 1277  
根岸芳郎展 10.16—10.27 人形町  
エキジビットスペース・ヴィジョ  
ンズ  
エルネスト・ネト Madness is part  
of Life 9.29—1.6 エスパス  
ルイ・ヴィトン東京

芸術新潮 756  
美術手帖 977 青木淳  
根本忠緒展 10.8—10.13 ギャ  
ラリー志門  
新美術新聞 1292  
Misunderstanding Focus[Nerhol]  
4.10—5.13 limArt  
芸術新潮 750

(ノ)

能島征二彫刻展 爽風の輝き 9.12  
—9.18 三越(日本橋)  
新美術新聞 1290  
野口一将—Synthetic Garden 7.13  
—7.29 アートフロントギャラ  
リー  
新美術新聞 1285  
野口久光—シネマ・グラフィックス  
9.8—10.28 尾道市立美術館(う  
らわ美術館、西宮市大谷記念美術  
館)  
新美術新聞 1291  
野沢春子 油絵展 3.28—4.3 ヒ  
ルトピアアートスクエア  
新美術新聞 1276  
SLASH/07 —できるだけ遠くをみ  
ろー KAYOKOYUKI 企画[野沢裕]  
4.7—4.29 nap gallery  
ギャラリー\* 325 小金沢智  
野田朗子 硝子展—光と影— 8.22  
—8.29 ギャラリー枝香庵  
ギャラリー\* 328  
野田保展 6.18—6.23 アートスペ  
ース羅針盤  
新美術新聞 1282  
野田哲也展 12.3—12.15 ギャラ  
リーゴトウ  
ギャラリー\* 332  
野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿  
1.18—4.2 国立新美術館  
ギャラリー\* 321  
ギャラリー\* 324 名古屋覚  
新美術新聞 1269 福永治  
朝日夕刊 2.22 大西若人  
日経 2.8 宝玉正彦  
毎日夕刊 2.28 岸桂子  
読売夕刊 3.12 (井)  
野並允温個展70回—平家の風景画  
とヒマラヤの山— 9.25—11.23

横倉山自然の森博物館  
新美術新聞 1291  
blue construction 野又穫展 佐賀  
街アーカイブ COLLECTION  
plus, 3 1.19—4.29 アーツ千  
代田3331  
朝日夕刊 4.4  
野見山暁治の墨絵展 5.10—5.23  
ナカジマアート  
水墨画\* 281  
朝日夕刊 5.16 大西若人  
読売夕刊 5.14 (井)  
野見山由美子展 6.29—7.28 夢の  
庭画廊  
新美術新聞 1284  
野村亜紀子個展 10.24—10.28 ギ  
ャラリーTKC  
新美術新聞 1294  
野村定宏展 4.3—4.8 アートライ  
フ・みつはし  
新美術新聞 1276

(ハ)

バーン=ジョーンズ展[エドワード  
・コーリー・バーン=ジョーン  
ズ] 6.23—8.19 三菱一号館美  
術館(兵庫県立美術館、郡山市立  
美術館)  
新美術新聞 1285  
朝日夕刊 6.27 西岡一正  
東京 6.4 河村錠一郎  
東京 6.22 高橋明也／加藤明子  
東京夕刊 6.29 三沢典丈  
袴田京太郎 Hotei and Grapes 6.9  
—7.1 アイショウミウラアーツ  
毎日夕刊 6.26 岸桂子  
アンコールのヴィーナス—BAKU 齊  
藤の視線— 9.8—10.21 女子美  
アートミュージアム  
新美術新聞 1291  
橋詰正英作陶展 10.24—11.6 高  
島屋(日本橋)  
新美術新聞 1294  
橋本倫 孤氷池 6.4—6.16 なび  
す画廊  
読売夕刊 6.11 (清)  
日本画近代化への道 橋本雅邦と門  
人たち〜大観、観山、春草、玉堂  
ほか〜開館40周年記念企画展

1.21—3.4 駿府博物館  
水墨画\* 275  
セイ・ハシモト新作絵画展—パリ、  
多くの細道— 10.24—10.30 伊  
勢丹(新宿)  
新美術新聞 1294  
iwate コンテンポラリーアート 橋  
本尚恣 日常—通過点・到達点—  
9.1—11.11 萬鉄五郎記念美術館  
橋本昌彦陶芸展—塩釉— 8.22—  
8.27 三越(日本橋)  
陶説 715 外館和子  
橋本雅也 殻のない種 7.7—7.25  
ロンドンギャラリー  
芸術新潮 753  
朝日夕刊 7.18 大西若人  
産経 7.19 黒沢綾子  
橋本明治・橋本弘安—親子二人展—  
5.3—7.16 浜田市世界こども美  
術館  
新美術新聞 1282  
長谷川仙展 —イタリアの陽光—  
5.11—5.23 日動画廊(名古屋)  
美術の窓 344 高山淳  
長谷川宏美絵画展—光と風の情景〜  
8.1—8.7 大和(香林坊)  
新美術新聞 1287  
長谷川誠 白い森の足跡 4.28—  
6.10 岩手町立石神の丘美術館  
長谷部貞子日本画展 7.5—7.11  
ギャラリーエスパス  
新美術新聞 1284  
羽田英彦の軌跡展 西宮市民文化賞  
受賞記念 5.1—5.6 西宮市立市  
民ギャラリー  
新美術新聞 1278  
服部篤浩展 8.27—9.1 ガレリア  
・グラフィカ bis  
新美術新聞 1288  
服部峻昇展—漆芸の燦[きらめき]—  
4.7—4.16 和光ホール  
新美術新聞 1276  
花塚愛展 1.7—1.22 ギャラリー  
器館  
陶説 709 小吹隆文  
花田和治の色と形 2.3—3.11 北  
海道立近代美術館  
羽子田長門日本画展 12.16—12.22  
ギャラリー青羅

新美術新聞 1299  
 浜川初江絵画展 8.16—9.14 Sa-  
 cas Art Spot  
 新美術新聞 1288  
 池田龍雄 濱口富治 武内光仁 3  
 人の世界 第13回白木谷国際現  
 代美術館4周年記念特別企画  
 5.3—7.24 白木谷国際現代美術  
 館  
 ギャラリー\* 326  
 濱田樹里展 9.10—9.15 コパヤシ  
 画廊  
 芸術新潮 755  
 新美術新聞 1290  
 浜田昇児日本画展 11.28—12.4  
 大丸(心斎橋)  
 新美術新聞 1297  
 濱田晋作・友緒 陶藝展 8.8—  
 8.14 松坂屋(名古屋)  
 陶説 715 井上隆生  
 浜田泰介の世界 平成のふすま絵師  
 8.4—9.17 畦地梅太郎記念美術  
 館  
 新美術新聞 1289  
 浜田泰介の世界 椿神社障壁画完成  
 記念 11.20—11.26 三越(松山)  
 新美術新聞 1297  
 コレクションViewpoint MADE IN  
 LONDON—英国ポップ・アート  
 の巨匠 R. ハミルトンの版画—  
 [リチャード・ハミルトン] 8.2  
 —9.30 川村記念美術館  
 朝日夕刊 8.22 神谷実里  
 早川栄子展 vol.7 —私の宝石箱—  
 6.16—6.23 ギャラリー枝香庵  
 新美術新聞 1282  
 早川義孝展 青い風 6.24—8.5  
 三浦美術館  
 新美術新聞 1285  
 美術の窓 346  
 早川雅信展 9.17—9.23 ギャラリ  
 ー八重洲・東京  
 新美術新聞 1290  
 きらり、ふわり—想いをのせて—  
 [林剛人丸] 4.22—5.27 川口市  
 立アートギャラリー・アトリア  
 林茂樹 Entertainment Ceramics  
 vol.3 10.20—10.28 スペース  
 大原

陶説 718 井上隆生  
 林正太郎作品展 岐阜県重要無形文  
 化財 9.28—11.4 美農焼伝統産  
 業会館  
 陶説 718 井上隆生  
 林田博子展 11.12—11.17 銀座井  
 上画廊  
 新美術新聞 1296  
 美術の窓 350 高山淳／林田博  
 子  
 速水史朗展—瓦・漆— 10.22—  
 11.2 ギャラリーせいほう  
 美術の窓 350 小森佳代子  
 原憲司—黄瀬戸・志野— 3.17—  
 3.22 黒田陶苑  
 陶説 711 唐澤昌宏  
 原大介 10.15—10.27 椿近代画廊  
 新美術新聞 1293  
 原弘と東京国立近代美術館 デザイ  
 ンワークを通して見えてくるもの  
 2.3—5.6 東京国立近代美術館  
 朝日夕刊 4.25 西岡一正  
 毎日夕刊 4.17 岸桂子  
 原裕治展—かたちとしての奔流と止  
 水— 8.21—9.30 碧南市藤井達  
 吉現代美術館  
 REAR 29 土生和彦  
 原陽子展 11.6—11.16 ギャラリ  
 ー砂翁  
 版画芸術 157  
 原良介—絵画への小径— 9.8—  
 11.4 茅ヶ崎市美術館  
 芸術新潮 755  
 COSMIC TRAVELERS—TOWARD  
 THE UNKNOWN[原口典之] 1.  
 21—5.6 エスパス ルイ・ヴィ  
 トン東京  
 美術手帖 965 能勢陽子  
 読売夕刊 2.2 (井)  
 原口典之 Ship 60's & Work on Pa-  
 per 6.2—7.29 鎌倉画廊  
 ギャラリー\* 326  
 原田圭昌展 4.2—4.7 銀座スルガ  
 台画廊  
 新美術新聞 1276  
 パルコキノシタ 幽霊でもいいから  
 6.8—6.20 新宿眼科画廊  
 美術手帖 971 榎木野衣  
 マーク・パルスフォード Ayahua-

平成24年美術展覧会(作ハ、ヒ)

sca 7.2—7.7 ギャラリーコヅ  
 カ(名古屋)  
 REAR 28 水野勝仁  
 パルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
 レクション2[ジョルジュ・パル  
 ビエ] 4.8—6.3 練馬区立美術  
 館  
 新美術新聞 1278  
 読売 5.24 高野清見  
 春山文典 金属造形のカタチ 6.29  
 —8.21 おぶせミュージアム・中  
 島千波館  
 新美術新聞 1286  
 番洋・白石真弓 ふたり展 3.11—  
 3.19 京王プラザホテルロビーギ  
 ャラリー  
 美術の窓 342 磯部靖

(ヒ)

稗田一穂 春秋日月 10.31—11.6  
 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大  
 阪、名古屋、横浜))  
 新美術新聞 1295  
 輝く生命の色／緑の交響曲[東山魁  
 夷] 6.1—7.16 香川県立東山魁  
 夷せとうち美術館  
 新美術新聞 1283  
 無限の色彩／魁夷モノトーンの世界  
 6.1—7.16 香川県立東山魁夷せ  
 とうち美術館  
 新美術新聞 1283  
 東山魁夷展 7.20—9.9 北海道立  
 近代美術館(宮城県美術館)  
 新美術新聞 1288  
 旅の環—東山魁夷と巡り合う風景—  
 9.15—11.4 香川県立東山魁夷せ  
 とうち美術館  
 新美術新聞 1293  
 東山魁夷展 9.22—11.11 宮城県  
 美術館(北海道立近代美術館)  
 日経 9.16  
 日経 10.21  
 日経夕刊 9.6  
 カミーユ・ピサロと印象派—永遠の  
 近代 3.24—5.27 宇都宮美術館  
 (兵庫県立美術館)  
 新美術新聞 1276  
 朝日夕刊 5.9 大西若人  
 日経 4.18 窪田直子

土方翼+中西夏之「背面」 5.14—  
6.15 慶應義塾大学アート・スペ  
ース  
ギャラリー\* 327 三田晴夫  
一ツ山チエ —大地に、生きる—展  
5.2—5.29 LIXIL ギャラリー  
芸術新潮 751  
日野田崇展 11.5—11.22 ガレリ  
ア・フィナルデ  
陶説 718 井上隆生  
平井智 マジヨリカの華 在イタリ  
ア40周年記念 5.2—5.8 天満  
屋(岡山)  
陶説 712 唐澤昌宏  
平出隆 《FOOTNOTE PHOTOS》—  
葉書でドナルド・エヴァンズに  
5.2—5.6 スパイラルガーデン  
東京夕刊 4.26 (間)  
平川典俊 木漏れ日の向こうに  
4.14—6.10 群馬県立近代美術館  
美術手帖 969 能勢陽子  
朝日夕刊 5.3 大西若人  
東京夕刊 4.27 三沢典丈  
毎日夕刊 6.5 岸桂子  
読売 5.31 高野清見  
平櫛田中とかつしか 5.26—6.17  
葛飾区郷土と天文の博物館  
新美術新聞 1280  
東京 5.26  
平櫛田中展 9.9—10.21 小平市平  
櫛田中彫刻美術館(ふくやま美術  
館、三重県立美術館)  
新美術新聞 1290  
朝日夕刊 10.1 大西若人  
東京 9.8  
毎日夕刊 10.17 岸桂子  
読売 10.18 井上晋治  
平田英子展 9.27—10.6 アトリエ  
スズキ  
新美術新聞 1292  
平塚良一展 10.15—10.27 ギャラ  
リー榎  
ギャラリー\* 331 三田晴夫  
岡本敦生×平戸貢児 vol.2 10.20  
—11.18 メタル・アート・ミュ  
ージアム光の谷  
ギャラリー\* 332 三田晴夫  
平野薫 Re-Dress 6.29—7.28  
SCAI THE BATHHOUSE

美術手帖 973 児島やよい  
朝日夕刊 7.18 大西若人  
モジもじ文字[平野甲賀] 7.28—  
9.9 武蔵野市立吉祥寺美術館  
平野五岳展 没後120年 6.19—  
7.8 大分県立芸術会館  
水墨画\* 279  
平野千里木彫 絢爛極彩主義 10.3  
—10.9 高島屋(日本橋)  
平野正樹 habanneros: cuba, 1992  
—1995 2.7—2.19 ギャラリー  
コスモス  
東京 2.16 野呂法夫  
平野雅子展 5.28—6.2 光画廊  
新美術新聞 1280  
平松礼二展—日本の美を求めて—  
箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵  
10.4—12.2 新見美術館  
師の教えと平山郁夫 3.20—5.21  
平山郁夫美術館  
新美術新聞 1276  
平山郁夫 シルクロードの軌跡—人  
類の遺産にかけた画家の人生—  
4.3—5.27 九州国立博物館  
新美術新聞 1276  
東風西声 九州国立博物館紀要  
8 基信祐爾  
平山郁夫 大唐西域画への道 7.28  
—9.23 秋田県立近代美術館(北  
海道立函館美術館、北海道立釧路  
芸術館、酒田市美術館、金沢21世  
紀美術館、大分県立芸術会館、高  
崎市タワー美術館、富山県水墨美  
術館、新潟市美術館、三越(日本  
橋)、沖縄県立博物館・美術館、  
佐川美術館)  
新美術新聞 1288  
弘田雅代・遠山治代 二人展  
10.22—11.27 ギャラリー白百合  
新美術新聞 1294  
広田稔展 50冊のスケッチブック  
6.20—6.26 高島屋(日本橋)(高  
島屋(大阪、京都、名古屋、新宿、  
横浜))  
新美術新聞 1282  
東京夕刊 6.19 三沢典丈  
日和崎尊夫展 没後20年 7.23—  
8.4 シロタ画廊  
版画芸術 156

(フ)

中日祝祭文化の風情 博益瑤・杉谷  
隆志・仲裕行 10.22—11.9 東  
京中国文化センター  
水墨画\* 285  
手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品  
を中心としたロダンとブールデル  
の彫刻と素描[アントワヌ・ブ  
ールデル] 11.3—1.27 国立西  
洋美術館  
新美術新聞 1298 大屋美那  
笛田亜希展 INOKASHIRA—神田川  
12.7—12.15 村越画廊  
新美術新聞 1298  
ホセ・ルイス・フェリニヤス 終  
焉をめぐって 5.15—5.31 小出  
由紀子事務所  
芸術新潮 751  
深井隆彫刻 気配 11.7—11.13  
高島屋(日本橋)(高島屋(大阪))  
深澤義人展 11.12—11.18 ギャラ  
リー八重洲・東京  
新美術新聞 1296  
深沢軍治展 12.10—12.22 始弘画  
廊  
新美術新聞 1299  
深見まさ子個展 10.2—10.7 Gal-  
lery 美庵  
新美術新聞 1292  
福井爽人展 7.4—11.7 北海道立  
旭川美術館  
新美術新聞 1288 及川昌樹  
福島善三作陶展 9.4—9.10 岩田  
屋三越美術画廊  
陶説 716 福島健治  
福島隆壽 自選展 3.13—3.18 倉  
敷市立美術館  
美術の窓 342 編集部  
マンガ@紫雲荘 紫雲荘のマンガ家  
たちの作品展—トキワ荘から紫雲  
荘へ—[福田健太郎] 2.1—2.29  
豊島区民センター  
東京 2.1 柏崎智子  
福田繁雄大回顧展 ユーモアのすす  
め 9.11—11.11 岩手県立美術  
館(三重県立美術館、川崎市市民  
ミュージアム、いわき市立美術館、  
広島県立美術館、高崎市美術館、



札幌芸術の森美術館)  
美術手帖 974  
福田平八郎と日本画モダン 生誕  
120年 5.26—7.22 山種美術館  
水墨画\* 279  
産経 6.17 渋谷和彦  
日経 7.2 宝玉正彦  
日経夕刊 6.7  
福田玲子展—もういちど— 9.6—  
9.11 紀伊國屋画廊  
新美術新聞 1289  
美術の窓 348 高山淳/福田玲  
子  
芸術家Mの舞台裏 福永一夫が撮  
った『森村泰昌』 4.14—5.24 B  
GALLERY(ビームス阿倍野、ビー  
ムスウエスト)  
読売夕刊 5.12  
福田龍哉 Arch/Pillar 9.10—9.21  
ギャラリー東京ユマニテ  
藤浩志の美術展 セントラルかえる  
ステーション〜なぜこんなにおも  
ちやが集まるのか?〜 7.15—  
9.9 アーツ千代田3331  
産経 8.29 渋谷和彦  
読売夕刊 9.3 (井)  
藤井たてき個展 5.21—5.27 ギャ  
ラリームサン  
新美術新聞 1280  
藤井勉展—生命と大地— 4.14—  
5.6 美郷町学友館  
新美術新聞 1279  
藤井勉 愛する郷土・東北の自然を  
描く 9.29—3.24 サトエ記念21  
世紀美術館  
新美術新聞 1301 江口健  
昭和モダン 藤島武二と新制作初期  
会員たち 1.28—3.20 川崎市立  
美術館  
藤田潤 ガラス新作展 Stream of  
Colors 5.16—5.22 高島屋(横  
浜)(高島屋(高崎))  
新美術新聞 1279  
藤田嗣治と愛書都市パリー花ひらく  
挿絵本の世界— 7.31—9.9 渋  
谷区立松涛美術館(北海道立近代  
美術館)  
日経 8.15 宝玉正彦  
読売 8.3

藤野千鶴子展 10.29—11.3 札幌  
時計台ギャラリー  
美術の窓 350 高山淳  
藤信知子展 花への挑戦状 3.6—  
3.11 ギャラリー恵風  
陶説 710 小吹隆文  
藤牧義夫 生誕100年 1.21—3.25  
神奈川県立近代美術館(鎌倉)(群  
馬県立館林美術館)  
日経 2.29 窪田直子  
藤森兼明洋画展 5.16—5.21 大和  
(富山)  
新美術新聞 1279 若松基  
きらり、ふわり—想いをのせて—  
[藤原洋次郎] 4.22—5.27 川口  
市立アートギャラリー・アトリア  
アーグネス・フス陶展 9.15—9.29  
ギャラリー顕美子  
陶説 717 井上隆生  
舟越桂2012 開館25周年記念 9.15  
—11.25 メナード美術館  
REAR 29 村上久美  
朝日夕刊 10.1 高橋昌宏  
毎日夕刊 10.17 岸桂子  
読売 10.18 井上晋治  
舟越直木展 7.25—8.7 ギャラリ  
ーせいほう  
新美術新聞 1286  
船田玉樹 生誕100年 7.15—9.9  
練馬区立美術館(広島県立美術館)  
芸術新潮 753  
新美術新聞 1286  
水墨画\* 280  
産経 8.12 渋谷和彦  
毎日夕刊 8.28 岸桂子  
舟田潤子展 10.26—11.11 アート  
ゾーン神楽岡  
版画芸術 157  
舟橋全二 HOOK 4.16—4.25 SPA-  
CE YUI  
毎日夕刊 4.24 高橋咲子  
国際アンデルセン賞受賞画家 アン  
ソニー・ブラウン展—ゴリラが好  
きだ— 8.29—11.11 ちひろ美  
術館(東京)  
朝日夕刊 9.12 杉森美絵  
古市明美個展 6.12—6.17 熊本県  
立美術館分館  
新美術新聞 1281

古川あいか壮行展—家族の円環—  
9.14—9.22 DOKA Contempora-  
ry Arts  
新美術新聞 1291  
古川あいか壮行展—夫婦のとぐろ—  
10.2—10.7 HIGURE 17—15cas  
新美術新聞 1291  
同時代の眼I ハミッシュ・フルト  
ン 五つの旅 3.1—4.20 慶應  
義塾大学アート・スペース  
朝日夕刊 3.14 蒔苗沙都子  
解剖と変容 アール・ブリュットの  
極北へ チェコの鬼オルボシュ・  
ブルニーとアンナ・ゼマーンコヴ  
ァー 2.4—3.25 兵庫県立美術  
館(広島市現代美術館)  
ギャラリー\* 322  
芸術新潮 748  
アンドッシュ・ブローデル 楽茶碗  
展 10.30—11.10 橋本美術  
陶説 718 井上隆生

(へ)

フェリーチェ・ベアトの東洋 J・ポ  
ール・ゲティ美術館コレクション  
3.6—5.6 東京都写真美術館  
産経 4.16 堀晃和  
東京 3.5  
読売夕刊 3.24 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班  
AWAKENING[ハンナレーナ・ヘイ  
スカ] 6.9—9.9 エスパス ル  
イ・ヴィトン東京  
読売夕刊 8.2 (井)

(ホ)

ホー・ツニーエン(何子彦) MAM  
PROJECT 016 2.4—5.27 森  
美術館  
美術手帖 965 ダリル・ウィー  
／BT 訳  
法貴信也 1.20—2.25 タカ・イン  
イギャラリー京都  
美術手帖 964 清水穰  
星展 地平線の彼方II 7.6—7.  
17 マキイマサルファインアーツ  
水墨画\* 282  
星澤美喜子 染織作品展 3.28—  
4.3 西武(池袋)



新美術新聞 1276  
**Eikoh Hosoe Photo Exhibition 細江英公写真展** 1.6—5.13 BLDギャラリー  
 日経 2.9 平野啓一郎  
**細川護熙展 陶板・漆・板画など** 3.24—4.1 ぎやらりい思文閣  
**フェリクス・ホフマン絵本原画展 父から子への贈りもの** 7.20—8.26 教文館ウェンライトホール 東京 7.31 小林由比  
**松江藩士の息子画家になる。孫写真家になる。—ニューヨーク、野口英世の親友堀市郎とその父樺山—** 3.20—5.6 松江歴史館  
**堀研展** 9.7—11.5 八千代の丘美術館  
 新美術新聞 1290  
**堀文子 命の不思議** 4.14—5.27 長野県信濃美術館  
**水から生まれる絵 堀井英男の版画と水彩** 11.3—1.20 茨城県近代美術館(八王子市夢美術館)  
**川瀬表完(漆)・堀尾泰彦(陶)二人展** 10.10—10.16 高島屋(日本橋)  
**堀木エリ子展—和紙から生まれる祈り—** 5.10—5.20 スパイラルガーデン  
 産経 5.1 喜多由浩  
**幻のモダニスト 写真家堀野正雄の世界** 3.6—5.6 東京都写真美術館  
 朝日夕刊 3.14 西岡一正  
 日経 4.4 窪田直子  
**ジャクソン・ポロック 生誕100年** 2.10—5.6 東京国立近代美術館(愛知県美術館)  
 AXIS 157 暮沢剛巳  
 新美術新聞 1270 中林和雄  
 美術屋・百兵衛 20  
 朝日夕刊 3.21 大西若人  
 産経 3.25 渋谷和彦  
 東京夕刊 2.24 古谷利裕  
 日経 4.12 平野啓一郎  
 読売 2.9 大島徹也  
 読売 3.15 藤枝晃雄  
 読売夕刊 3.19 石井竜也、真野響子 対談  
 読売夕刊 3.19 中林和雄

読売夕刊 4.14 ヨミウリ・ジュニア・プレス班  
**本郷寛彫刻展 こころとかたち** 9.12—9.18 高島屋(日本橋)  
 美術の窓 348 高山淳  
**本城直季写真展 diorama** 6.5—8.5 写大ギャラリー  
 朝日夕刊 6.2 大西若人  
**本田榮子展** 11.12—11.17 巷房  
 版画芸術 157  
**本田義夫展** 1.28—2.19 北九州市立美術館  
**洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳** 8.24—9.23 天童市美術館

(マ)

**自然線人工線 眞板雅文** 2.5—3.20 美濃加茂市民ミュージアム  
 REAR 28 浅野泰子  
**前田昭博 白瓷譜2012** 7.4—7.10 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1284  
 毎日夕刊 7.5 桐山正寿  
**間島秀徳展「KINESIS—時空の基軸」** 7.5—7.11 キッドアイラックアートホール  
**升たか展** 10.27—11.18 gallery サラ  
 陶説 717 梅田稔  
**絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.7 増田佳江** 12.1—1.12 ギャラリーαM  
 芸術新潮 758  
**増田常德展 不在の表象** 9.13—9.25 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1290  
**増田誠 パリー人生の哀歓** 7.14—9.23 山梨県立美術館  
 新美術新聞 1286  
 東京夕刊 7.2 藤田一人  
**秋げしき 増丸義和作品展** 11.21—11.25 紅椿それいゆ  
 新美術新聞 1297  
**増村益城 人間国宝 漆を極める** 11.17—12.27 千葉県立美術館  
**榎本佳子個展** 4.14—5.13 Gallery Jin  
 読売夕刊 4.21  
**増山修 個展** 2.9—2.14 MAG

南森町アートギャラリー  
 ギャラリー\* 322  
**増山修 個展** 2.20—3.2 木ノ葉画廊  
 ギャラリー\* 322  
**AM倉敷 vol.9 松井えり菜 サンライズえり菜〜大原美術館をおもちゃ箱〜** 1.1—4.8 大原美術館  
 毎日夕刊 3.26 岸桂子  
**松井秋華個展 希望への時** 8.5—8.11 東京交通会館  
 新美術新聞 1287  
**松井妙子染色画展** 5.16—5.22 松坂屋(静岡)  
 新美術新聞 1279  
**松江泰治展 世界・表層・時間** 8.5—12.25 IZU PHOTO MUSEUM  
 朝日夕刊 8.22 西岡一正  
**松岡亮 終るといふ事を知っている** 11.12—12.31 Block House  
 ギャラリー\* 333 小金沢智  
**Animals[ライオン・マギンレー]** 8.31—10.1 8/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery  
 芸術新潮 755  
**Reach Out, I'm Right Here[ライオン・マギンレー]** 9.1—9.29 小山登美夫ギャラリー  
 芸術新潮 755  
**松崎綾子展** 11.5—11.17 十一月画廊  
 新美術新聞 1295  
**松崎健 陶芸展** 12.5—12.11 阪急(梅田)  
 新美術新聞 1298  
**松田隆作 吉川正道展** 7.8—9.23 瀬戸市新世紀工芸館  
 陶説 714 井上隆生  
**松谷武判展 '50年代から今日まで** 7.2—7.14 椿近代画廊  
 ギャラリー\* 327  
 新美術新聞 1284  
**松村公嗣展—四季のきらめき—** 6.10—8.5 奈良県立万葉文化館  
 新美術新聞 1283  
**松村浩之展** 7.5—7.10 紀伊國屋画廊  
 新美術新聞 1284

松村浩之油絵展 12.12—12.18 三越(日本橋)  
新美術新聞 1299

松本竣介 生誕100年 4.14—5.27  
岩手県立美術館(宮城県美術館、島根県立美術館)  
新美術新聞 1279 大野正勝  
毎日夕刊 5.17 岸桂子  
読売 5.3 高野清見

松本竣介 生誕100年 6.9—7.22  
神奈川県立近代美術館(葉山)(宮城県美術館、島根県立美術館)  
朝日夕刊 7.4 増田愛子  
産経 7.8 渋谷和彦  
東京 7.6 児島やよい  
日経 7.6 窪田直子

松本竣介 生誕100年 11.23—1.14  
世田谷美術館(宮城県美術館、島根県立美術館)  
新美術新聞 1299  
朝日夕刊 12.26 牧野祥

白屋夢 松本俊夫の世界 9.8—11.17  
町立久万美術館

松本勝展 11.7—11.13 高島屋(横浜)  
新美術新聞 1296

松本陽子新作品展 1.10—2.4 Hino Gallery  
ギャラリー\* 321

SLASH/07 ーできるだけ遠くをみろー KAYOKOYUKI企画[真部知胤] 4.7—4.29 nap gallery  
ギャラリー\* 325 小金沢智

間部時雄の世界展 6.9—7.22 東御市梅野記念絵画館  
新美術新聞 1283

MAYA MAXX展 神、佛たち 7.7—8.19 何必館京都現代美術館  
新美術新聞 1287

丸木俊 人間を描く 生誕100年 2.11—5.19 原爆の図丸木美術館  
読売 5.1

丸木俊 生誕100年記念 10.6—11.25 一宮市三岸節子記念美術館

丸田隆則油絵展 11.28—2.8 十二銀行昭和通営業部ロビー  
新美術新聞 1301

水彩画家 丸山晚霞 日本水彩画会

創立100周年記念 9.9—10.28  
丸山晚霞記念館

丸山雅秋新作品展 10.22—11.2 ギャラリー川船  
新美術新聞 1294

ジーン・マン展 言葉の彼方 12.4—12.21 小出由紀子事務所  
芸術新潮 758

万代進展 =北の大地・1962年の記憶= 11.12—11.17 シロタ画廊  
新美術新聞 1296

マン・レイの京都2012年 12.4—12.16 ギャラリーマロニエ(京都)

# (ミ)

ヘレン・ファン・ミーネ Dogs and Girls 2.10—3.31 ギャラリー小柳  
芸術新潮 748  
美術手帖 965 林央子

三浦篤正展 11.12—11.24 ウエストベスギャラリーコヅカ(名古屋)  
REAR 29 日沖隆

三浦景生展3回 5.4—5.16 ギャラリー田澤(河原町)  
新美術新聞 1279

三浦裕子展 5.21—5.27 銀座ギャラリーあづま  
新美術新聞 1280  
美術の窓 345 ワシオ・トシヒコ

三上景子展 7.13—7.21 乙画廊  
版画芸術 156

三上誠 我が友 10.6—11.11 浜田市立石正美術館  
新美術新聞 1295

三岸黄太郎展 ふたりのミギシコウタロウと節子と 5.12—6.24 一宮市三岸節子記念美術館(北海道立三好太郎美術館)  
美術屋・百兵衛 21

三岸節子 花展 4.11—4.28 高輪画廊  
新美術新聞 1278

三嶋りつ恵 ドルチェヴィータ 5.14—5.27 ぎやらりい思文閣

ミズテツオ展 50枚のフラッグ

平成24年美術展覧会(作マ、ミ)

7.23—8.25 四季彩舎  
ギャラリー\* 328

みずこしふみ個展—todos días camaleões— 8.6—8.11 gallery Kanon  
ギャラリー\* 328

水野竜生展 vol.8 BEAUTIFUL SUN-RISE —太陽がいっぱい— 10.6—10.20 ギャラリー桜の木(銀座)  
新美術新聞 1292

三瀬夏之介展 空虛五度—open fifth— 5.30—6.11 高島屋(新宿)(高島屋(日本橋))  
新美術新聞 1281  
東京夕刊 6.8 藤田一人

見附正康+和田均展 11.30—12.24 市之倉さかづき美術館・ギャラリー宙  
陶説 719 井上隆生

水戸岡鋭治の鉄道デザイン 駅弁から新幹線まで 7.7—9.30 水戸芸術館  
朝日夕刊 8.15 岩本恵美  
毎日夕刊 8.6 永田晶子  
読売 7.12 井上晋治

港信夫展 はじまりはレブ兰特 11.21—11.27 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1297

ミナペルホネン+百草「つくりの回生II」 4.21—5.6 ギャルリももぐさ  
芸術新潮 750

南野馨展 9.10—9.15 ギャラリー白  
陶説 716 小吹隆文

峯田義郎展 11.19—12.1 ギャラリーせいほう  
美術の窓 350 小森佳代子

三原捷宏 近作展 11.15—11.21 福屋(広島)  
美術の窓 352 道面雅量

三原研の拓器 心を映すやきもの 9.22—11.28 兵庫陶芸美術館  
陶説 717 井上隆生

三原研展 鼓動 10.31—11.6 高島屋(京都) (高島屋(大阪))  
陶説 718 梅田稔

宮迫千鶴 ワクワク描いた人生の午

後 3.31—6.26 池田20世紀美術館  
 宮下善爾彩陶展—時空のいろどり—  
 3.28—4.3 高島屋(京都)  
 陶説 710 梅田稔  
 宮田為義展 7.2—7.30 紅椿それ  
 いゆ  
 新美術新聞 1284  
 宮永愛子 なかそら 10.13—12.24  
 国立国際美術館  
 芸術新潮 757  
 美術手帖 979 朝吹真理子  
 清水康友企画 星彩展[宮西寛人]  
 3.29—4.4 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1276  
 宮原麗子 むつ美 二人展 9.5—  
 9.10 茅野市美術館市民ギャラリー  
 美術の窓 348 ワシオ・トシヒ  
 コ  
 同時代の二人—向井潤吉と宮本三郎  
 4.3—7.29 世田谷美術館分館宮  
 本三郎記念美術館  
 朝日夕刊 6.13 杉森美絵  
 宮本三郎のデッサン教室 12.11—  
 3.20 世田谷美術館分館宮本三郎  
 記念美術館  
 新美術新聞 1302  
 宮脇愛子 50s~70s 6.25—7.7  
 ギャラリーせいほう/とよきの忘れ  
 もの  
 新美術新聞 1284  
 毎日夕刊 7.3 岸桂子  
 越前 三好建太郎作陶展 1.18—  
 1.24 高島屋(京都)  
 陶説 708 梅田稔  
 コローからミロへ 開館記念展[ジ  
 ョアン・ミロ] 3.31—4.14  
 NUKAGA GALLERY  
 三輪美津子「色と重力 Color and  
 Gravity」 7.19—9.23 1223現代  
 絵画  
 東京夕刊 8.1 中村英樹  
 三輪良平回顧展 9.9—12.16 近江  
 商人博物館

(ム)

同時代の二人—向井潤吉と宮本三郎  
 4.3—7.29 世田谷美術館分館宮

本三郎記念美術館  
 朝日夕刊 6.13 杉森美絵  
 向原常美の世界 4.10—4.15 青梅  
 市立美術館(澤乃井ガーデンギャ  
 ラリー)  
 新美術新聞 1277  
 水墨画\* 279  
 毎日 3.15 横井信洋  
 向吉悠睦 木彫展 12.12—12.18  
 三越(日本橋)(三越(大阪))  
 新美術新聞 1299  
 この道より—特集・武者小路実篤—  
 8.1—8.13 ぎやらりい思文閣  
 棟方志功の装幀本 3.20—5.6 熊  
 本国際民芸館  
 目の眼 428  
 東北の工芸と棟方志功 4.3—6.10  
 日本民芸館(豊田市民芸館)  
 目の眼 428  
 日経 5.9 宝玉正彦  
 川上澄生と棟方志功 日本版ルソー  
 とゴッホの対決 10.6—1.14 川  
 上澄生美術館  
 宗國仙嬌 墨彩と素描~Vol. 2  
 11.30—12.11 マキイマサルファ  
 インアーツ  
 水墨画\* 287  
 人間国宝三人 岐阜、染と織の匠た  
 ち 山田貢、宗廣力三、土屋順紀  
 9.21—11.4 岐阜県博物館  
 村井進吾 黒体2011 1.10—1.28  
 ギャラリー東京ユマニテ  
 毎日夕刊 1.17 岸桂子  
 村上綾展 Momentary Landscapes  
 3.25—4.22 ギャラリーM  
 ギャラリー\* 324  
 REAR 28 宮永郁恵  
 村上華岳展 開館30周年記念  
 4.28—6.10 何必館京都現代美術  
 館  
 新美術新聞 1280  
 目の眼 429 梶川芳友  
 村上肥出夫展 6.13—8.31 兜屋画  
 廊  
 新美術新聞 1282  
 遊 村上豊 5.19—5.28 和光ホー  
 ル  
 東京夕刊 4.25  
 村木千里展 9.24—9.29 ギャラリー

ームサン  
 新美術新聞 1291  
 村田林蔵水彩画展 9.11—9.28 孔  
 雀画廊  
 新美術新聞 1290  
 すべての僕が沸騰する 村山知義の  
 宇宙 2.11—3.25 神奈川県立近  
 代美術館(葉山)(京都国立近代美  
 術館、高松市美術館)  
 美術手帖 967 足立元  
 朝日夕刊 2.29 大西若人  
 日経 2.29 窪田直子  
 毎日 3.13 岸桂子  
 読売 3.8 高野清見  
 すべての僕が沸騰する 村山知義の  
 宇宙 7.14—9.2 世田谷美術館  
 (京都国立近代美術館、高松市美  
 術館)  
 新美術新聞 1286  
 文承根 MOON SEUNG-KEUN —  
 終わりなき反復— 6.8—6.28  
 中長小西

(モ)

毛利悠子 サーカス ブルームパー  
 グ・パヴィリオン・プロジェクト  
 第6弾 5.19—6.17 東京都現  
 代美術館  
 美術手帖 971 五所純子  
 iwate コンテンポラリーアート 舞  
 良雅子—素材から見えるもの—  
 11.23—2.24 萬鉄五郎記念美術  
 館  
 世界の切り取り方—縦長か横長か、  
 それが問題だ— コレクション×  
 フォーマットの画家 母袋俊也  
 12.1—1.27 青梅市立美術館  
 東京 12.25  
 本橋成一写真展 屠場[とば] 6.6  
 —6.19 ニコンサロン(銀座)(ニ  
 コンサロン(大阪))  
 東京 6.8  
 毎日夕刊 6.14 手塚さや香  
 本橋成一写真展 屠場[とば] 11.  
 23—1.19 原爆の図丸木美術館  
 (ニコンサロン(大阪))  
 朝日夕刊 12.19 西岡一正  
 ゲンパツイラナイ[本橋成一] 9.22  
 —10.21 汐花

東京 9.29 竹上順子  
 本宮健史 伝達の扉〜実在と夢の往還〜 4.3—4.21 GALLERY エクリュの森  
 ギャラリー\* 324  
 マシュー・モナハン “哀れみの襲来” 11.16—12.22 カイカイキキギャラリー  
 芸術新潮 757  
 粉井基充展 9.1—9.28 NORTON GALLERY  
 新美術新聞 1289  
 守章『終日中継局』 11.11—12.11 代官山 AIT ルーム  
 日経夕刊 11.27 富田律之  
 森正陶展 歓喜する造形・50年の軌跡 7.14—8.26 パラミタミュージアム  
 陶説 714 井上隆生  
 森正陶展 あらたな造形を求めて 10.2—10.13 橋本美術  
 陶説 717 井上隆生  
 森務個展 8.26—9.1 東京交通会館  
 新美術新聞 1288  
 Mion Mori Exhibition Chocolate Cake[守美音] 4.16—4.21 永井画廊  
 産経 4.18 渡沢和彦  
 森井荷十コレクション22 1.8—2.14 練馬区立美術館  
 朝日夕刊 2.1 西岡一正  
 森岡完介版画展—熊野シリーズ— 4.11—4.20 ギャラリー彩  
 REAR 28 村田真宏  
 Family 四人展[森田卓司/森田茉莉] 4.25—4.30 画廊宮坂  
 新美術新聞 1278  
 森田洋美新作油彩画展 7.9—7.20 77gallery  
 新美術新聞 1284  
 森野眞弓展 WATER MARK XIX 12.13—12.25 紀伊国屋画廊  
 版画芸術 158  
 森村泰昌モリエナーレ まねぶ美術史 4.7—6.10 静岡市美術館  
 (岩手県立美術館、北九州市美術館分館、高岡市美術館、高松市美術館)

ギャラリー\* 324  
 美術手帖 965 杉瀬由希  
 芸術家 M の舞台裏 福永一夫が撮った『森村泰昌』 4.14—5.24 B GALLERY(ビームス阿倍野、ビームスウエスト)  
 読売夕刊 5.12  
 森村玲展 10.12—10.21 ザ・トルマンコレクション  
 版画芸術 157  
 森本清彦 異視界展 異色風刺&象世界! 10.18—10.28 LIVE ART GALLERY すとれんじふるうつ  
 東京 10.2 加藤木信夫  
 森本純 日本画展 10.11—10.20 春風洞画廊  
 新美術新聞 1293  
 守屋多々志の世界 生誕100年記念展 9.15—10.21 大垣市サイトピアセンターアートギャラリー/大垣市守屋多々志美術館  
 新美術新聞 1291 古田麻美  
 森脇正人 日本画展 静かなる鼓動 5.30—6.5 松坂屋(名古屋)  
 新美術新聞 1281  
 美術の窓 345 編集部

#### (ヤ)

八木正夫展 7.16—7.22 ギャラリー一八重洲・東京  
 新美術新聞 1285  
 八木マリヨ「The Planet Earth & earth —地球惑星にすれば…」 11.3—12.9 ポーラミュージアム アネックス  
 新美術新聞 1297  
 矢島操×いしいしんじ「巡る春 明日のトビラ」 3.24—4.4 うつわやあ花音  
 陶説 712 釣真一  
 安田佐智種 AERIAL 1.13—2.29 ベイスギャラリー  
 朝日夕刊 1.18 大西若人  
 安村崇「1/1」 5.13—6.10 MISA-KO & ROSEN  
 美術手帖 971 北澤ひろみ  
 毎日夕刊 6.5 岸桂子  
 弥富節子展 12.12—12.18 高島屋

#### 平成24年美術展覧会(作モ、ヤ)

(日本橋)  
 新美術新聞 1299  
 美術の窓 351 編集部  
 柳川貴司彫刻展 5.28—6.9 ギャラリー志門  
 柳幸典 Study for American Art 5.26—6.30 ミヤケファインアート  
 読売夕刊 6.18 (井)  
 悠久の大地 柳沢正人展〜古代文明と大自然のドラマを描く〜 6.13—9.11 成川美術館  
 新美術新聞 1283  
 柳沢正人展 10.13—11.11 佐久市立近代美術館  
 新美術新聞 1294  
 柳原睦夫—開く形— 喜寿記念 4.18—4.24 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))  
 毎日夕刊 4.17 岸桂子  
 簀内佐斗司 彫刻展 5.2—5.8 三越(日本橋)(三越(福岡、仙台))  
 新美術新聞 1279  
 山内滋夫展 9.26—10.2 高島屋(日本橋)(高島屋(名古屋、大阪))  
 ギャラリー\* 329  
 新美術新聞 1292  
 やまうちまさる展 10.20—11.3 なるせ美術座  
 版画芸術 157  
 山内瑠璃子作陶展 11.12—11.18 新井画廊  
 新美術新聞 1296  
 「行きつ戻りつ つくり つくられること」 佐野陽一・久村卓・山極満博 1.12—2.12 NADiff a/p/a/r/t  
 芸術新潮 747  
 山口晃展 望郷 TOKIORE(I) MIX 2.11—5.13 メゾンエルメス  
 美術手帖 969 グリル・ウィー  
 美術の窓 343  
 朝日夕刊 5.2 大西若人  
 産経 3.28 篠原知存  
 読売夕刊 4.16 (清)  
 山口華楊 9.15—10.21 笠岡市立竹喬美術館(京都国立近代美術館)  
 山口長男の世界 11.8—12.24 鹿児島市立美術館

ギャラリー\* 331  
**山口正継油絵展** 12.23—12.29 東京交通会館  
 新美術新聞 1299  
**油彩三人展[山口美佐子]** 3.6—3.11 東京銀座画廊美術館  
 美術の窓 344 高山淳  
**ひかり・くうかん・じっけんしつ**  
**[山口レイコ]** 8.14—9.2 NTT  
 インターコミュニケーション・センター  
 朝日夕刊 8.29 西岡一正  
**山崎幹雄 水彩画展** 4.9—4.12  
 栃木県総合文化センター  
 新美術新聞 1277  
**山下清展 生誕90周年記念** 12.27—1.14 三越(日本橋)  
 読売 12.26 山下浩  
**山下了是 退任記念 染織作品展**  
 報 11.20—12.2 東京芸術大学  
 大学美術館陳列館  
**山城知佳子 MAM PROJECT 018**  
 11.17—3.31 森アーツセンター  
 ギャラリー  
 美術手帖 977 土屋誠一  
**磁器の表現—青・赤・白— 加藤委**  
**山田晶 和田的** 9.1—9.10  
 和光ホール  
 陶説 715 唐澤昌宏  
**山田純嗣展「絵画をめぐる 死んで**  
**いるのか、生きているのか」**  
 11.5—12.8 不忍画廊  
 水墨画\* 287  
 美術手帖 977 藤原えみり  
**三代山田常山—人間国宝、その陶芸**  
**と心** 1.7—2.19 出光美術館  
 陶説 709 外館和子  
 朝日夕刊 2.1  
 日経 1.18 小川敦生  
**山田展也個展** 11.19—11.24 銀座  
 スルガ台画廊  
 美術の窓 350 編集部  
**人間国宝三人 岐阜、染と織の匠たち**  
**山田貢、宗廣力三、土屋順紀**  
 9.21—11.4 岐阜県博物館  
**山田タ香個展 〜PARISの空の下**  
**で〜** 3.6—3.12 プランタン銀座  
 ギャラリー\* 323

**山高登 木版展—鉄道のある風景—**  
 4.12—4.21 瞬生画廊  
 ギャラリー\* 324  
**山寺重子展** 9.28—10.7 Gallery  
 ジ・アース  
 新美術新聞 1292  
**山中現展** 9.10—9.22 シロタ画廊  
 版画芸術 157  
**山根須磨子展—ミクスト・メディア**  
**による—** 9.4—9.9 アートギャ  
 ラリー博宝堂  
 新美術新聞 1289  
**山野千里展 ジングル短編** 12.1—12.22 アートコートギャラ  
 リー  
 陶説 719 小吹隆文  
**山村博男 油彩展** 10.24—10.30  
 松坂屋(名古屋)  
 美術の窓 349 瀧梯三  
**iwate コンテンポラリーアート ラ**  
**ンドスケープアート 大地の語り**  
**部 山本英二—地形は語る TO-**  
**WAの城郭** 6.30—8.26 萬鉄五  
 郎記念美術館  
**山本一恵展** 8.15—8.21 高島屋  
 (横浜)  
 新美術新聞 1288  
**山本圭輔 Brown Sculptures** 11.17—12.15 小山登美夫ギャラ  
 リー  
 芸術新潮 757  
**山本隆博 むりもの** 10.25—10.30  
 ギャラリー日日  
 東京 10.26 野呂法夫  
**山本糾 光・水・電気** 1.7—4.8  
 豊田市美術館  
 ギャラリー\* 321  
 REAR 28 山本和弘  
 朝日夕刊 2.15 西岡一正  
**アートフェア東京2012 日動画廊**  
**[山本大貴]** 3.30—4.1 東京国  
 際フォーラム  
 芸術新潮 748  
**山本文彦展** 11.28—12.4 三越(日  
 本橋)  
 新美術新聞 1298  
 美術の窓 351 高山淳  
**備前 山本雄一作陶展 喜寿記念**  
 8.22—8.28 三越(名古屋) (三  
 越(日本橋))

陶説 716 井上隆生

(ユ)

**劉賢展 画廊からの発言 新世代へ**  
**の視点2012[ユ・ヒョン]** 7.23—8.4 ギャラリーK  
 新美術新聞 1286  
 水墨画\* 282  
**湯川隆展 2006—2012** 4.16—4.28  
 ギャラリーせいほう  
 新美術新聞 1277  
**行近壯之助展—引カー** 9.24—10.4  
 羽黒洞  
 ギャラリー\* 331 ワシオ・トシ  
 ヒコ  
**柚木沙弥郎 村山亜土作『夜の絵』と**  
**ともに** 4.7—6.10 神奈川県立  
 近代美術館(鎌倉別館)  
 芸術新潮 750  
 朝日夕刊 5.16 中村さやか  
 毎日夕刊 5.29 岸桂子  
**夢眠ねむ コズミックメロンソーダ**  
**マジックラブ展** 12.8—12.15  
 BT gallery  
 美術手帖 980 石井芳征  
**寺尾勝彦・新木友行・湯元光男 ア**  
**トリエインカーブ3人展** 9.14—9.23 東京オペラシティアート  
 ギャラリー  
 芸術新潮 755  
 朝日夕刊 9.19 大西若人  
 東京夕刊 9.12 (森)  
**湯山俊久油絵展** 7.25—7.31 三越  
 (日本橋)  
 新美術新聞 1286  
**AWAKENING[ベッカ・ユルハ]**  
 6.9—9.9 エスパス ルイ・ヴィ  
 トン東京  
 読売夕刊 8.2 (井)  
**弓手研平 油絵展〜不器用な個性〜**  
 10.29—11.4 至峰堂画廊(大阪)  
 (至峰堂画廊(銀座))  
 新美術新聞 1294  
 美術の窓 350 編集部  
 (ヨ)  
**姚小全展** 4.18—4.26 タチカワ  
 ラインド銀座スペース オッテ  
 水墨画\* 280

明治時代の錦絵—周延が描いた江戸—[楊洲周延] 2.11—4.15 福生市郷土資料室 東京 2.19

楊洲周延展 明治美人風俗 没後百年 9.1—10.28 平木浮世絵美術館 版画芸術 157

横尾忠則 初のブックデザイン展 11.1—11.27 ギンザ・グラフィック・ギャラリー 芸術新潮 757 東京夕刊 11.19 横尾忠則 談／岩岡千景 構成

横尾忠則 反反復復反復 開館記念展1 11.3—2.17 横尾忠則現代美術館 毎日夕刊 12.5 岸桂子

私の女人源氏と帯アート展[横前裕子] 8.1—8.8 ギャラリー杜 新美術新聞 1287

横山大観 VS 竹内栖鳳 3.1—5.31 足立美術館 水墨画\* 276

横山大観展 開館15周年記念 9.16—10.14 宇都宮美術館 水墨画\* 282 産経 9.16 沢沢和彦

横山隆雄木版画展—朱と緑に魅せられて— 8.29—9.2 はつかいち美術ギャラリー 新美術新聞 1288

吉岡まさみ展「秘密の記憶」 5.7—5.12 steps gallery／ギャラリー 58 ギャラリー\* 325

吉川民仁展「背景としてあるもの」 1.28—3.18 鎌倉画廊 ギャラリー\* 322 ギャラリー\* 323

吉川正道展 4.11—4.17 高島屋(名古屋) 陶説 712 井上隆生

松田隆作 吉川正道展 7.8—9.23 瀬戸市新世紀工芸館 陶説 714 井上隆生

吉崎道治個展 12.5—12.14 せんたあ画廊 新美術新聞 1298

吉田敦彦展 6.25—6.30 シロタ画廊 新美術新聞 1283

吉田淳治展 絵画風景 11.26—12.8 始弘画廊 新美術新聞 1298

吉田多最日本画展 11.1—11.30 沼津御用邸記念公園西附属邸 新美術新聞 1295

吉田美統陶芸展 傘寿 時計塔80周年記念 10.13—10.22 和光ホール 新美術新聞 1292

吉田康弘油彩展 Version IV 北の気流と… 12.3—12.9 ギャラリーミハラヤ 新美術新聞 1298

ハレノ日ノ幸セイロー吉田幸央・吉田るみこ 1.11—1.24 KOGEI 現代工芸アートフェア・ギャラリー 陶説 709 外館和子

吉田喜彦展 12.13—12.19 丸榮(名古屋) 陶説 719 井上隆生

吉野純展 私のロマネスク 10.10—10.20 ギャラリームサン 新美術新聞 1292

清水晃・吉野辰海 漆黒の彼方／犬の行方 2.11—3.25 埼玉県立近代美術館 新美術新聞 1272 平野到 朝日夕刊 3.14 大西若人 毎日夕刊 3.6 岸桂子 毎日夕刊 9.12 三田晴夫 読売夕刊 2.27 (井)

好宮佐知子展 十二ヶ月 10.5—10.14 Kaede Gallery+full moon ギャラリー\* 330

吉村周子絵画展 7.19—7.31 たましんギャラリー 新美術新聞 1286

吉村年代展 7.25—7.31 高島屋(日本橋) 新美術新聞 1286

吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現代郷土作家 9.13—10.21 姫路市立美術館 新美術新聞 1289

平成24年美術展覧会(作ヨ、ラ)

依田洋一朗展 記憶のドラマ 40歳の画家が描くニューヨーク40年の追憶 8.25—10.21 三鷹市美術ギャラリー 新美術新聞 1289 読売夕刊 10.1 (井)

依田洋一朗“Breakfast is Important” 9.3—10.13 南天子画廊 読売夕刊 10.1 (井)

はやくゴミになりたい[淀川テクニク] 6.16—7.8 ARTZONE 瓜生通信 56 李生美

寄神宗美展〜陶〜Twins 9.18—9.30 ギャラリーマロニエ 陶説 716 梅田稔

寄藤文平の夏の一研究 9.3—9.29 ギンザ・グラフィック・ギャラリー 芸術新潮 755

(ラ)

ダム・ダン・ライ Color Explosion —色彩爆発— 6.30—11.4 札幌芸術の森美術館

Storyteller—識る単位—[ロッテ・ライオン] 11.3—12.16 国際芸術センター青森 ギャラリー\* 332

ロッテ・ライオン個展「Drift」 11.24—12.22 青山 | 目黒 ギャラリー\* 332

ロッテ・ライオン 20books 11.27—12.23 NADiff window Gallery ギャラリー\* 332

吉左衛門X 暗闇の音 静寂の光[樂吉左衛門] 9.29—4.7 佐川美術館 芸術新潮 755 美術屋・百兵衛 24

十五代 樂吉左衛門展「フランスでの作陶」—Loubignacの丘で— 12.26—1.8 三越(日本橋) 新美術新聞 1299 陶説 720 唐澤昌宏

楽山正幸展 スペイン・ポルトガルと… 11.4—11.10 ギャラリームサン 新美術新聞 1295

ラッセン展[クリスチャン・リース



・ラッセン] 8.1—8.25 CASHI  
ギャラリー\* 329 名古屋覚  
美術手帖 974 千葉雅也  
バルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
レクション2 [ジャン=エミール  
・ラブルール] 4.8—6.3 練馬  
区立美術館  
新美術新聞 1278  
読売 5.24 高野清見

(リ)

リー・ミンウェイ [李明維] 澄・微  
8.28—10.21 資生堂ギャラリー  
美術手帖 975 岡部あおみ  
朝日夕刊 9.19 西岡一正  
東京夕刊 9.7 岡部あおみ  
毎日夕刊 9.18 岸桂子  
バーナード・リーチ 作陶100年記  
念 6.19—8.26 日本民藝館  
目の眼 431  
朝日夕刊 7.11 神谷実里  
バーナード・リーチ 生誕125年  
東と西の出会い 8.29—9.10 高  
島屋(日本橋)(高島屋(横浜、大阪、  
京都))  
朝日 8.25 乾由明  
産経 8.3  
New Strip Paintings and 8 Glass  
Panels [ゲルハルト・リヒター]  
12.8—1.26 ワコウ・ワークス・  
オブ・アート  
芸術新潮 758  
デヴィット・リンチ展 6.27—7.23  
8/ART GALLERY/Tomio Koyama  
Gallery  
芸術新潮 753  
デヴィット・リンチ展〜暴力と静寂  
に棲むカオス 11.10—12.2 ラ  
フォーレミュージアム原宿  
美術手帖 975 岡澤浩太郎

(ル)

ジョルジュ・ルオー 名画の謎  
4.7—6.24 パナソニック汐留ミ  
ュージアム  
朝日夕刊 4.25 山田絵理佳  
アンリ・ル・シダネル展 薔薇と光  
の画家—フランス ジェルブロー  
ウの風— 4.14—7.1 損保ジャパ

ン東郷青児美術館  
朝日夕刊 5.3 神谷実里  
ルドゥーテの『バラ図譜』展 [ピエー  
ル・ジョセフ・ルドゥーテ] 6.6  
—6.25 上野の森美術館  
新美術新聞 1282  
産経 6.7  
ルドンとその周辺 夢見る世紀末  
グラン・ブーケ収蔵記念 [オディ  
ロン・ルドン] 1.17—3.4 三菱  
一号館美術館  
東京 1.16 安井裕雄  
東京夕刊 1.31 中林忠良  
東京夕刊 2.1 喜多崎親  
日経 2.22 宝玉正彦

(レ)

レーピン ロシア近代絵画の頂点  
国立トレチャコフ美術館所蔵 [イ  
リヤ・レーピン] 8.4—10.8  
Bunkamura ザ・ミュージアム(浜  
松市美術館、姫路市立美術館、神  
奈川県立近代美術館(葉山))  
新美術新聞 1290  
産経 9.9 黒沢綾子  
東京夕刊 8.24 宮下規久朗  
日経 9.26 宝玉正彦  
読売 9.27 高野清見  
レオ・レオニ 絵本のしごと 12.6  
—12.27 美術館「えき」KYOTO  
(Bunkamura ザ・ミュージアム、  
北九州市立美術館分館、刈谷市美  
術館、宇都宮美術館)  
ゲルダ・シュタイナー&ヨルク・レ  
ンツリンガー—力が生まれるところ  
2.11—5.6 水戸芸術館現代  
美術ギャラリー  
芸術新潮 748  
美術手帖 967 北出智恵子  
朝日夕刊 4.4 大西若人  
東京夕刊 4.2 岡部あおみ  
毎日 3.13 三田晴夫  
読売 4.26 高野清見

(ロ)

ディーター・ロート 4.16—7.13  
Fuji Xerox Art Space  
マリー・ローランサンと東郷青児  
4.28—6.24 山梨県立美術館

手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品  
を中心としたロダンとブールデル  
の彫刻と素描 [オーギュスト・ロ  
ダン] 11.3—1.27 国立西洋美  
術館  
新美術新聞 1298 大屋美那  
ユベール・ロベール—時間の庭—  
3.6—5.20 国立西洋美術館(福岡  
市美術館、静岡県立美術館)  
芸術新潮 749  
東京 3.5  
日経 3.21 小川敦生  
読売 4.19 井上晋治

(ワ)

磁器の表現—青・赤・白— 加藤委  
山田晶 和田的 9.1—9.10  
和光ホール  
陶説 715 唐澤昌宏  
見附正康+和田均展 11.30—12.24  
市之倉さかづき美術館・ギャラリ  
ー宙  
陶説 719 井上隆生  
和田雄之助彫刻展 6.19—7.1 ギ  
ャラリー遊(赤羽)  
新美術新聞 1282  
和田義郎 油絵展 5.9—5.15 松  
坂屋(上野)  
新美術新聞 1279  
渡辺おさむ OHARA—DECO 4.10  
—6.17 大原美術館  
産経 4.18 渋谷和彦  
渡辺おさむ お菓子の美術館 清須  
市誕生7周年 7.7—9.30 清須  
市はるひ美術館  
ギャラリー\* 327  
REAR 29 柳沢秀行  
渡辺玄一作品展 5.21—5.26 永井  
画廊  
新美術新聞 1280  
COSMIC TRAVELERS—TOWARD  
THE UNKNOWN [渡辺豪] 1.21  
—5.6 エスパス ルイ・ヴィト  
ン東京  
美術手帖 965 能勢陽子  
読売夕刊 2.2 (井)  
渡邊晃一個展「龍脈」 3.7—3.25  
Zen Foto Gallery  
ギャラリー\* 323



渡邊光彩 装芸画展 6.19—6.24  
石川国際交流サロン  
新美術新聞 1282

渡邊順子展 11.19—11.24 ギャラリー椿  
新美術新聞 1297

渡辺豊重 ドローイング展 6.25—7.7 ギャラリー福山  
新美術新聞 1283

渡邊万莉菜展 Woodrawing marina から NARAMIX に。 6.25—6.30 ギャラリー銀座  
産経 6.21

渡辺三絵子 花の水彩画展 4.18—4.24 小田急(新宿)  
新美術新聞 1277

渡辺好明遺作展 光ではかられた時 12.7—12.24 東京芸術大学大学美術館  
東京 12.8 竹上順子  
読売夕刊 12.17 (清)

キギ展 植原亮輔と渡邊良重 5.8—5.30 ギンザ・グラフィック・ギャラリー  
毎日夕刊 5.15 永田晶子

渡部慶二郎展 9.25—10.7 ギャラリーマロニエ  
新美術新聞 1290

渡部雄吉写真展 Criminal Investigation 6.26—7.8 TAP Gallery  
芸術新潮 752

**団体展**  
(ア行)

アート未来展17回 6.27—7.9 国立新美術館  
新美術新聞 1287 (圭)  
美術の窓 349 磯部靖

アジア創造美術展2012 1.25—2.6 国立新美術館  
新美術新聞 1272 (圭)

亜現展48回[亜細亜美術交友会] 5.23—5.30 東京都美術館  
新美術新聞 1284 (圭)  
美術の窓 346 高山淳

一期展47回 10.3—10.15 国立新美術館  
美術の窓 351 高山淳/磯部靖

一陽展58回 10.3—10.15 国立新美術館  
美術の窓 351 高山淳/磯部靖

一水会展74回 9.19—10.3 東京都美術館(大阪市立美術館、金沢21世紀美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
新美術新聞 1294 (裕)  
美術の窓 350 高山淳

一線美術会展63回 10.21—10.28 東京都美術館(奈良県文化会館、愛知県美術館ギャラリー)  
新美術新聞 1298 (磯)  
美術の窓 351 磯部靖

一創会展34回 10.13—10.19 東京都美術館  
新美術新聞 1297 (窪)

旺玄展78回 5.23—5.30 東京都美術館(愛知県美術館、秋田県立美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1284 (智)

(カ行)

近代水墨展29回 10.12—10.19 東京都美術館  
美術の窓 351 磯部靖

近美展39回[近代日本美術協会] 10.29—11.6 東京都美術館  
新美術新聞 1299 (松)  
美術の窓 352 磯部靖

近代美術協会展49回 8.21—8.30 東京都美術館  
新美術新聞 1291 (裕)  
美術の窓 349 高山淳/小池伊欧里

群炎展51回 11.25—12.2 東京都美術館  
新美術新聞 1301 (窪)

現水展51回 10.21—10.28 東京都美術館  
美術の窓 351 磯部靖

現創展38回 11.26—12.2 東京都美術館  
新美術新聞 1301 (窪)  
美術の窓 352 磯部靖

現代童画展38回 11.8—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1300 (磯)  
美術の窓 352 磯部靖/高山淳

現代バステル協会展24回 8.2—8.10 東京都美術館(尼崎総合文化センター)  
新美術新聞 1290 (智)  
美術の窓 349 磯部靖

現展68回[現代美術家協会] 5.30—6.11 国立新美術館(大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
新美術新聞 1285 (圭)  
美術の窓 347 高山淳/小池伊欧里

元陽展43回 10.30—11.6 東京都美術館(広島県立美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1299 (松)  
美術の窓 352 磯部靖

行動展67回 9.19—10.1 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、福岡市美術館)  
新美術新聞 1293 (智)  
美術の窓 350 高山淳

光風会展98回 4.18—4.30 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館、京都市美術館、富山県民会館美術館)  
新美術新聞 1277  
新美術新聞 1282 (元)  
美術の窓 345 高山淳

光陽展60回 4.8—4.15 東京都美術館(広島県立美術館、京都市美術館)  
新美術新聞 1280 (裕)  
美術の窓 345 高山淳

国画展43回 10.12—10.19 東京都美術館  
美術の窓 351 磯部靖

国展86回 5.2—5.14 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1282 (元)  
美術の窓 346 高山淳/磯部靖

ima展38回[国際現代美術家協会] 12.13—12.20 東京都美術館  
新美術新聞 1303 (和)

国際書画展34回 1.25—2.6 国立新美術館(兵庫県立美術館、愛知県美術館ギャラリー)

国際墨絵展24回 4.25—4.30 東京都美術館

新美術新聞 1282 (洋)  
**日美絵画展13回**[国際文化カレッジ] 8.9—8.18 国立新美術館  
**総合水墨画展17回**[国際文化カレッジ] 8.9—8.18 国立新美術館  
 水墨画\* 283  
**国際墨画会展12回** 6.13—6.25  
 国立新美術館  
 新美術新聞 1286 (元)  
**齢展41回** 12.12—12.20 東京都美術館  
 美術の窓 353 高山淳

(サ行)

**朔日会81回** 6.21—6.27 東京都美術館(茨城県近代美術館、新宿世界堂本店)  
 美術の窓 347 高山淳  
**日仏現代国際美術展16回**[サロン・ブラン美術協会] 4.1—4.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1279 (主)  
 美術の窓 345 高山淳  
**三軌展64回** 5.16—5.28 国立新美術館  
 新美術新聞 1284 (洋)  
 美術の窓 346 高山淳/磯部靖  
**示現会展65回** 4.4—4.16 国立新美術館(兵庫県立美術館王子分館、福岡市美術館、熊本県立美術館分館、北九州市立美術館分館、和歌山市民会館、あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)、福井カルチャーセンター、愛知県美術館ギャラリー、岐阜県立美術館、山形美術館、京都市美術館、石川県立美術館、長岡市美術センター)  
 新美術新聞 1280 (智)  
 美術の窓 345 高山淳  
**写真画壇展40回** 4.1—4.7 上野の森美術館  
 新美術新聞 1276  
 新美術新聞 1279 (元)  
 美術の窓 343 ワシオ・トシヒコ/土方明司  
 美術の窓 346 磯部靖  
**秀彩展5回** 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1302 (和)

**自由美術展76回** 10.3—10.15 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー、福岡県立美術館、広島県立美術館)  
 美術の窓 351 高山淳/磯部靖  
**主体展48回** 9.1—9.16 東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館)  
 主体美術 93 吉田正/中城義裕/裕城智子/毛利惇子/岡本裕介  
 新美術新聞 1293 (洋)  
 美術の窓 350 高山淳/磯部靖  
**朱葉会展91回** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1287 (裕)  
 美術の窓 349 高山淳  
**純展42回**[純具象美術協会] 9.26—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1295 (洋)  
 美術の窓 350 高山淳/磯部靖  
**春陽展89回** 4.18—4.30 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1282 (主)  
 美術の窓 345 高山淳/小池伊欧里  
**女流画家協会展66回** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1287 (智)  
 美術の窓 349 高山淳  
**新槐樹社展56回** 2.8—2.20 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館)  
 新美術新聞 1274 (裕)  
 美術の窓 343 高山淳  
**新協展55回** 10.5—10.11 東京都美術館  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 351 高山淳/磯部靖  
**極美展18回**[新極美術協会] 9.26—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1296 (主)  
**新芸術展37回** 11.16—11.24 東京都美術館(京都市美術館)  
 新美術新聞 1300 (和)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**新興展62回** 5.23—5.30 東京都美術館(京都市美術館)

新美術新聞 1284 (元)  
 美術の窓 346 高山淳  
**新構造展84回** 9.19—9.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1293 (主)  
 美術の窓 350 高山淳  
**新作家展19回** 9.1—9.7 東京都美術館  
 新美術新聞 1293 (元)  
 美術の窓 350 高山淳  
**新樹会日本画展10回** 6.13—6.19 三越(日本橋)(三越(名古屋))  
 新美術新聞 1282 夏目進  
**新象展55回** 6.1—6.9 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、京都市美術館)  
 新美術新聞 1284 (智)  
 美術の窓 347 高山淳  
**新世紀展57回** 5.2—5.10 東京都美術館(岡山県天神文化プラザ、大阪市立美術館、北九州市立美術館、兵庫県立美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1283 (元)  
 美術の窓 346 高山淳  
**新制作展76回** 9.19—10.1 国立新美術館(京都市美術館、愛知県芸術文化センター、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1293 (元)  
 美術の窓 350 高山淳/小森佳代子  
**新美展43回** 4.24—4.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1282 (智)  
 美術の窓 346 小池伊欧里  
**国際公募・新展9回** 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1285 (主)  
**新院展44回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1295 (智)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**新日美展36回** 10.4—10.11 東京都美術館(京都文化博物館)  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 351 磯部靖  
**新美術協会展59回** 6.1—6.9 東京都美術館(大阪市立美術館)

新美術新聞 1284 (裕)  
 美術の窓 347 高山淳  
**新平成美術展10回** 11.8—11.15  
 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (窪)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**新洋画会展34回** 5.12—5.20 東  
 京都美術館  
 新美術新聞 1283 (圭)  
 美術の窓 346 高山淳  
**水彩人展14回** 9.25—10.3 東京  
 都美術館  
 新美術新聞 1294 (洋)  
 美術の窓 350 高山淳  
**水彩連盟展71回** 4.4—4.16 国立  
 新美術館(愛知県美術館ギャラ  
 リー)  
 新美術新聞 1280 (洋)  
 美術の窓 345 高山淳／磯部靖  
**青枢展39回** 10.21—10.28 東京  
 都美術館  
 新美術新聞 1299 (和)  
 美術の窓 351 磯部靖  
**雪舟国際美術協会展19回** 12.12—  
 12.23 国立新美術館  
**全国水墨画展19回** 8.8—8.20 国  
 立新美術館  
**全日本水墨画秀作展39回** 3.7—  
 3.18 国立新美術館  
**全日本アートサロン絵画大賞展21  
 回** 2.9—2.20 国立新美術館(大  
 阪市立美術館)  
**全日肖展59回** 6.29—7.6 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1287 (元)  
 美術の窓 349 高山淳  
**全展50回[全日本美術協会]** 8.21  
 —8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1290 (洋)  
 美術の窓 349 高山淳  
**春季創画展38回** 2.24—3.1 高島  
 屋(日本橋)  
 新美術新聞 1276 (裕)  
**創画展39回** 10.21—10.28 東京  
 都美術館(京都市美術館、愛知県  
 美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1299 (袴)  
 美術の窓 351 高山淳  
**蒼騎展52回** 6.27—7.9 国立新美

術館  
 新美術新聞 1287 (裕)  
 美術の窓 349 高山淳／磯部靖  
**創型展60回** 6.1—6.9 東京都美  
 術館  
 美術の窓 347 高山淳  
**創元展71回** 4.4—4.16 国立新美  
 術館(岡山県天神山文化プラザ、  
 福岡市美術館、兵庫県立美術館、  
 高松市美術館、大阪市立美術館、  
 クリエイト浜松、山梨県立美術館)  
 新美術新聞 1280 (裕)  
 美術の窓 345 高山淳  
**創彩展32回** 10.30—11.6 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1299 (和)  
**創展46回[創作画人協会]** 9.25—  
 10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1295 (元)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**双樹展42回** 9.17—9.24 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1293 (元)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**蒼樹展37回** 10.21—10.28 東京  
 都美術館  
 新美術新聞 1298 (和)  
 美術の窓 351 磯部靖  
**創造展65回** 6.11—6.19 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1285 (智)

(タ行)

**第一美術展83回** 5.30—6.11 国  
 立新美術館(京都市美術館、愛知  
 県美術館、安曇野市豊科近代美術  
 館)  
 新美術新聞 1285 (裕)  
 美術の窓 347 高山淳／磯部靖  
**大潮展74回** 11.26—12.2 東京都  
 美術館  
 美術の窓 352 磯部靖  
**大調和展51回** 6.1—6.9 東京都  
 美術館(広島県立美術館、松本市  
 美術館)  
 新美術新聞 1284 (智)  
 美術の窓 347 高山淳／磯部靖  
**太平洋展108回** 5.16—5.28 国立  
 新美術館(福岡市美術館、愛知県

美術館、千葉県立美術館、横浜  
 市民ギャラリー、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1284 (智)  
 美術の窓 346 高山淳／小池伊  
 欧里  
**大洋展34回** 9.25—10.3 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**太陽美術展38回** 11.16—11.24  
 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (袴)  
 美術の窓 352 磯部靖／高山淳  
**たぶろう展47回** 6.13—6.25 国  
 立新美術館  
 新美術新聞 1286 (智)  
 美術の窓 347 小池伊欧里  
**中美展64回** 10.13—10.19 東京  
 都美術館  
 新美術新聞 1297 (和)  
 美術の窓 351 高山淳／磯部靖  
**等迎展44回** 2.8—2.20 国立新美  
 術館  
 新美術新聞 1274 (圭)  
 美術の窓 343 磯部靖  
**東京展38回** 9.9—9.16 東京都美  
 術館  
 新美術新聞 1293 (圭)  
**都展48回[東京都民美術展運営会]**  
 11.17—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (磯)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**陶芸財団展2012** 6.27—7.8 国立  
 新美術館  
 新美術新聞 1286 (裕)  
**東光展78回** 4.25—5.10 東京都  
 美術館(大阪市立美術館、天神山  
 文化プラザ、鹿児島市立美術館、  
 広島県立美術館、熊本県立美術館、  
 北九州市立美術館)  
 新美術新聞 1283 (智)  
 美術の窓 346 高山淳  
**東方展46回** 2.29—3.8 大田区民  
 ホール(愛知県美術館ギャラリー、  
 京都市美術館)  
 美術の窓 344 高山淳／磯部靖  
**独立美術協会80回記念展 輝け—  
 独立美術** 5.9—5.14 三越(日本  
 橋)

新美術新聞 1279

- 独立展80回** 10.17—10.29 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、愛知県美術館、北海道近代美術館、福岡市美術館)  
新美術新聞 1293 宝木範義  
新美術新聞 1297 (袴)  
美術の窓 351 高山淳／磯部靖  
朝日夕刊 10.24 大西若人
- 土日会展37回** 12.12—12.24 国立新美術館  
新美術新聞 1301 (磯)  
美術の窓 353 高山淳

(ナ行)

- 南画院展65回** 6.29—7.6 東京都美術館  
新美術新聞 1287 (洋)
- 春季二科展2012年** 4.17—4.23 東京都美術館  
新美術新聞 1281 (智)
- 二科会写真部展60回** 9.5—9.17 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、京都市美術館、広島県立美術館、鹿児島県歴史資料センター、福岡市美術館)
- 二科展97回** 9.5—9.17 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、京都市美術館、広島県立美術館、鹿児島県歴史資料センター、福岡市美術館)  
新美術新聞 1292 (裕)  
美術の窓 350 高山淳  
東京 9.7 中山岳
- 二紀展66回** 10.17—10.29 国立新美術館(愛知県美術館、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市美術館、宮崎県立美術館、長崎県美術館、佐賀県立美術館、金沢21世紀美術館)  
新美術新聞 1297 (松)  
美術の窓 351 高山淳
- 二元展51回** 6.11—6.19 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1285 (元)  
美術の窓 347 高山淳
- 21美術展7回** 10.12—10.19 東

京都美術館

美術の窓 351 磯部靖

- 日洋展26回** 5.30—6.11 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市美術館、広島県立美術館県民ギャラリー、せんだいメディアテーク)  
新美術新聞 1285 (元)  
美術の窓 347 高山淳／磯部靖
- 日輝展37回** 11.7—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1300 (袴)
- 日工会展22回** 6.11—6.19 東京都美術館  
新美術新聞 1286 (裕)
- 日春展47回** 3.28—4.2 松屋(銀座)(大丸(心斎橋、福岡天神)、松坂屋美術館)  
新美術新聞 1278 (圭)
- 日展44回** 11.2—12.9 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市美術館、富山県民会館美術館、青森県武道館)  
新美術新聞 1298 (袴)  
新美術新聞 1298 (松)  
新美術新聞 1298 (和)  
美術の窓 352 高山淳  
東京夕刊 11.3 三沢典丈
- 日本画院展72回** 5.12—5.20 東京都美術館  
新美術新聞 1283 (洋)  
美術の窓 346 高山淳
- 日府展59回[日本画府]** 5.22—5.30 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)  
新美術新聞 1284 (裕)  
美術の窓 346 高山淳
- JAG展35回[日本芸術家協会]** 11.16—11.24 東京都美術館  
新美術新聞 1301 (和)  
美術の窓 352 磯部靖
- 日本現代工芸美術展51回** 4.18—4.23 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、金沢21世紀美術館、神奈川県民ホール、身延町なかとみ現代工芸美術館)  
新美術新聞 1280 (裕)

美術の窓 345 高山淳

- 東日本伝統工芸展52回[日本工芸会]** 4.18—4.23 三越(日本橋)(川徳百貨店(盛岡))  
陶説 712 外館和子
- 東海伝統工芸展43回[日本工芸会]** 5.10—5.15 丸栄(名古屋)  
陶説 712 井上隆生
- 日本伝統工芸展59回[日本工芸会]** 9.19—10.1 三越(日本橋)(三越(名古屋栄、大阪、仙台、福岡、松山)、高島屋(京都)、石川県立美術館、岡山県立美術館、島根県立美術館、香川県立ミュージアム、広島県立美術館)  
陶説 717 外館和子  
朝日夕刊 9.18
- 彩美展17回[日本彩美会]** 5.12—5.20 東京都美術館  
新美術新聞 1283 (裕)
- 日本自由画壇展38回** 6.13—6.25 国立新美術館  
新美術新聞 1286 (洋)  
美術の窓 347 高山淳／磯部靖
- 日本新工芸展34回** 5.16—5.27 国立新美術館(松阪屋(名古屋)、京都市美術館、北九州市立美術館市民ギャラリー)  
新美術新聞 1284 (裕)  
美術の窓 346 高山淳
- 日本水彩展100回** 6.1—6.9 東京都美術館(せんだいメディアテーク、愛知県美術館、福屋(広島)、京都市美術館)  
新美術新聞 1284 (裕)  
美術の窓 347 高山淳
- 日本水墨院展27回** 6.27—7.8 国立新美術館  
新美術新聞 1287 (洋)  
美術の窓 349 高山淳
- 日本水墨画展45回** 4.18—4.23 東京都美術館
- 清興展34回[日本清興美術協会]** 11.16—11.24 東京都美術館  
新美術新聞 1300 (袴)  
美術の窓 352 磯部靖
- 国際美術大賞展38回[日本選抜美術家協会]** 11.7—11.15 東京都美術館

新美術新聞 1302 (窪)  
**国際扇面展33回**[日本扇面芸術協会] 4.18—4.23 東京都美術館  
 新美術新聞 1280 (圭)  
**日中水墨画合同展29回**[日本中国水墨交流協会] 2.8—2.20 国立新美術館  
 水墨画\* 277  
**日彫展42回**[日本彫刻会] 4.19—4.30 東京都美術館(富山県民会館美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1282 (智)  
 美術の窓 345 高山淳  
**日本南画院展52回** 3.22—3.30 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)  
 新美術新聞 1278 (洋)  
 美術の窓 344 高山淳  
**板院展62回**[日本板画院] 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1282  
 美術の窓 347 高山淳  
**日本版画会展53回** 11.17—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (松)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**版画展80回**[日本版画協会] 10.5—10.19 東京都美術館(土別市博物館、島田市博物館、庄司博物館)  
 新美術新聞 1296 (洋)  
 美術の窓 351 高山淳/小池伊欧里  
**春の院展67回**[日本美術院] 3.28—4.9 三越(日本橋)(松坂屋美術館、アトリオン、三越(大阪、福岡、松山、新潟、札幌)、高島屋(京都)、天童市美術館、倉敷市立美術館、一畑百貨店(松江))  
 新美術新聞 1278 (裕)  
**院展97回**[日本美術院] 9.1—9.16 東京都美術館(京都市美術館、大丸(心齋橋)、足立美術館、石川県立美術館、松坂屋美術館、そごう美術館、天満屋(岡山)、福屋(広島)、クリエート浜松、茨城県天心記念五浦美術館、北九州市立美術館分館、今井美術館)  
 新美術新聞 1292 (智)

美術の窓 350 高山淳  
**日本アンデパンダン展65回**[日本美術会] 3.22—4.2 国立新美術館(京都市美術館、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1278 (元)  
**日本表現派展56回** 10.13—10.19 東京都美術館(愛知県立美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1297 (和)  
 美術の窓 351 高山淳  
**日象展39回**[日本表象美術協会] 6.27—7.9 国立新美術館  
 新美術新聞 1287 (圭)  
 美術の窓 349 高山淳  
**日本文人画府展41回** 10.20—10.28 東京都美術館  
 美術の窓 351 磯部靖  
**日本遊印アート協会展21回** 4.1—4.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1279 (裕)  
**日本和紙絵画展27回** 11.26—12.2 東京都美術館  
 新美術新聞 1301 (松)  
 (ハ行)  
**白亜展34回** 3.6—3.11 大阪市立美術館  
 美術の窓 344 小池伊欧里  
**白亜展35回** 11.7—11.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1299 (磯)  
 美術の窓 352 磯部靖  
**白士会展48回** 8.22—8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1291 (元)  
 美術の窓 349 高山淳  
**白日会展88回** 3.22—4.2 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、近鉄アート館(大阪)、兵庫県豊岡市伊藤清永美術館)  
 新美術新聞 1278 (智)  
 美術の窓 344 高山淳  
**白日会選抜展「英英紅緑」** 12.19—12.25 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1299  
**汎美展2012** 3.7—3.20 国立新美術館  
**美術文化展72回** 5.12—5.20 東京都美術館(京都市美術館、愛知

県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1283 (圭)  
 美術の窓 346 高山淳  
**風子会展36回** 11.7—11.15 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (袴)  
**平泉展24回** 1.25—2.6 国立新美術館  
 新美術新聞 1272 (圭)

(マ行)

**モダンアート展62回** 4.1—4.15 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1280 (元)  
 美術の窓 345 高山淳

(ヤ行)

**遙玄展39回**[遙玄水墨画協会] 12.13—12.20 東京都美術館  
 新美術新聞 1303 (磯)  
 美術の窓 353 高山淳

(ラ行)

**立軌展64回** 2.8—2.20 国立新美術館  
 新美術新聞 1274 (智)  
 美術の窓 343 高山淳  
**立軌展65回** 10.13—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1297 (袴)  
 美術の窓 351 高山淳  
**流形展62回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1296 (裕)  
 美術の窓 350 磯部靖  
**連展39回** 10.31—11.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1299 (和)  
**ローマン派美術協会展** 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1300 (松)



# 美術文献目録

## 凡 例

- ここに採録した文献は、平成24(2012)年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
- 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている状況に対応して行ったものである。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、「近現代美術」、「古美術」に分類し、両分類に関わる記事については、「総説」、「その他」中の各項目に統合して記載した。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。
- 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更していることがある。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の会場名、文献名、執筆者名の順とし、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に見えるデータにおいては、展覧会名、会場名のみに限った。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄において、展覧会名と図録名が異なる場合、見出しに展覧会名を記載し、その後ろに( )で図録名を補った。
- 号数は主として通巻番号を採用した。なお、757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9.1、3、6は、平成24年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
- 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は末尾に[ ]で示した。
- 欧文の分綴については、スペースの都合上、分綴法に従っていない場合がある。



## 収録定期刊行物誌名

Archives(国立公文書館)	安曇野ちひろ美術館 美術館だより	上原近代美術館だより	大阪文化財研究(大阪文化財センター)
アート・ドキュメンテーション研究	足立区立郷土博物館紀要	浮世絵芸術(国際浮世絵学会)	大阪歴史博物館研究紀要
アート・ドキュメンテーション通信	跡見学園女子大学文学部紀要	浮世絵研究 太田記念美術館紀要	大田区立郷土博物館紀要
ART TRACE PRESS	アプローチ(季刊)	View(熊本県立美術館)	大津市歴史博物館研究紀要
アートペーパー(名古屋市美術館)	アマリリス(静岡県立美術館)	浦添市文化部紀要 よのつち	大妻女子大学紀要
ART LIBRARY(日本彫刻会)	アルカディア(岡崎市美術館)	瓜生通信(京都造形芸術大学)	大津歴博だより
ARTRAMBLE(兵庫県立美術館)	アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース	Ouroboros(東京大学総合研究博物館)	大手前大学論集
ARTLET(慶応義塾大学アート・センター)	あるむぜお(府中市郷土の森博物館)	AAC(愛知芸術文化センター)	おおてみち(滋賀県立安土城考古博物館)
EYES(東京都写真美術館)	飯田市美術館研究紀要	永青文庫	大原幽学記念館報告
あいだ	石川県立美術館だより	エスプラナード(福岡市美術館)	大美和(大神神社)
愛知県史研究	石川県立歴史博物館紀要	江戸東京博物館 NEWS	岡崎市史研究
愛知県美術館研究紀要	石川れきはく	愛媛県美術館年報・研究紀要	岡山県立美術館紀要
愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	出雲弥生の森博物館研究紀要	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	岡山県立美術館ニュース
愛知県立芸術大学紀要	イタリア学会誌	えむえむ 熊田司個人誌	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要
葵(徳川美術館)	一寸	黄檗文華	岡山市立オリエント美術館研究紀要
青森県立郷土館研究紀要	五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所)	大分県立歴史博物館研究紀要	岡山大学文学部紀要
青山史学(青山学院大学史学研究室)	出光美術館館報	おおいた歴博	沖縄県立芸術大学紀要
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要	出光美術館研究紀要	大阪大谷大学博物館報告書	沖縄県立博物館・美術館研究紀要
秋田公立美術工芸短期大学紀要	いとくら(国際仏教学大学院大学)	大阪教育大学紀要	お札と切手の博物館ニュース
秋田美術(秋田県立近代美術館)	茨城県近代美術館だより	大阪城天守閣紀要	小樽市総合博物館紀要
AXIS	茨城県立歴史館報	大阪市立美術館紀要	尾道大学芸術文化学部紀要
アクリラート(別冊)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要	大阪成蹊大学芸術学部紀要	オリエンテ(古代オリエント博物館)
Asiagi(九州国立博物館)	岩手県立博物館研究報告	大阪大学大学院文学研究科紀要	オリエント(日本オリエント学会)
アジア遊学	岩手県立博物館だより	大阪府教育委員会文化財調査事務所年報	海港都市研究(神戸大学大学院人文学研究科海港都市研究センター)
葦火(大阪市文化財協会)	岩手県立博物館年報	大阪府立近つ飛鳥博物館報	海事博物館研究年報
明日の東洋学(東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター)	印度学仏教学研究		香川県文化財年報
	Wave II 新潟美術通信		

香川県埋蔵文化財センター研究紀要	Cultivate(文化環境研究所)	きよらさ(浦添市美術館)	皇学館大学神道研究所所報
香川県立ミュージアムニュース	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	近代(神戸大学)	皇学館論叢
学習院大学史料館紀要	川崎市市民ミュージアム紀要	近代画説(明治美術学会)	考古学雑誌
学習院大学人文科学論集	元興寺文化財研究所研究報告	金鈴塚古墳研究	神戸市立小磯記念美術館だより
学習院大学哲学会会報	関西大学哲学	熊本県立美術館研究紀要	神戸市立博物館だより
学習院大学文学部研究年報	関西大学東西学術研究所紀要	久米美術館館報	高麗美術館館報
学叢(京都国立博物館)	関西大学年史紀要	クロノス(京都橘女子大学女性歴史文化研究所)	公立埋文協会報(全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会)
学鑑	関西大学博物館紀要	群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	郡山市立美術館研究紀要
鹿児島国際大学考古学ミュージアム調査研究報告	神田日勝記念美術館だより	群馬県立近代美術館研究紀要	小金井市立はけの森美術館年報
鹿児島大学総合研究博物館news letter	カンフォロ(愛媛県美術館)	群馬県立女子大学紀要	国学院雑誌
崋山会報	橄欖(瀧口修造研究会)	群馬県立歴史博物館紀要	国学院大学紀要
鹿島美術財団年報・別冊	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告	群馬の森美術館ニュース(群馬県立近代美術館)	国語国文(京都大学文学部国語学国文学研究室)
柏原市立歴史資料館館報	岐阜市歴史博物館博物館だより	慶応義塾大学アート・センター年報	国語と国文学(東京大学国語国文学会)
春日(春日大社)	ギャラリー(月刊)	芸術学(三田芸術学会)	国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇
ガス燈(大川美術館)	九州産業大学芸術学会研究報告	芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科)	国立国際美術館ニュース
かたりべ(豊島区立郷土資料館)	九州歴史資料館研究論集	芸術学研究(明治学院大学芸術学会)	国立国会図書館月報
神奈川県立近代美術館年報	京都国立近代美術館研究論集	芸術研究(広島芸術学研究會)	国立新美術館ニュース
神奈川県立博物館研究報告	京都国立博物館だより	芸術新潮	国立西洋美術館研究紀要
神奈川県立歴史博物館だより	京都嵯峨芸術大学紀要	芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)	国立西洋美術館報
かながわの考古学(かながわ考古学財団)	京都産業大学日本文化研究所紀要	芸叢(筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室)	国立能楽堂調査研究
金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編	京都市美術館ニュース	芸大通信(東京芸術大学)	国立民族学博物館調査報告
金沢大学考古学紀要	京都市美術館年報	華厳	古代オリエント博物館紀要
金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター	京都市立芸術大学芸術資料館年報	研究紀要金沢城研究(石川県金沢城調査研究所)	古代文化(古代学協会)
金沢大学文化資源学研究	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	言語文化	古代文化研究(島根県古代文化センター)
金沢大学歴史言語文化学系論集	京都精華大学紀要	現代の眼(東京国立近代美術館)	国華
金沢美術工芸大学紀要	京都大学総合博物館ニュースレター	建築雑誌(日本建築学会)	国華清話会会報
金沢文庫研究	京都美学美術史学(京都美学美術史学研究會)	建築史学(建築史学会)	五風十雨(姫路市書写の里・美術工芸館)
鎌倉(鎌倉文化研究会)	京都府立総合資料館だより	現童通信	古文化研究(黒川古文化研究所)
鎌倉遺文研究	共立女子大学文芸学部紀要	KENBI LETTER(高知県立美術館)	古文書研究(日本古文書学会)

美術文献目録

コリアナ(韓国国際文化協会)	滋賀県立安土城考古博物館紀要	書芸術研究(筑波大学人間総合科学研究科書研究室)	西洋美術研究
Corridart(横須賀美術館)	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	女子美(女子美術大学)	世界遺産年報
斎宮歴史博物館研究紀要	静岡県立美術館紀要	女子美術大学研究紀要	世田谷美術館紀要
斎宮歴史博物館だより	静岡文化芸術大学研究紀要	書道界	世田谷美術館だより
埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	史迹と美術	書道学論集(大東文化大学大学院書道学専攻院生会)	ゼフュロス(国立西洋美術館)
埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	自然と文化	書道文化(四国大学書道文化学会)	セラミック九州(佐賀県立九州陶磁文化館)
埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	思想	書陵部紀要	泉屋博古館紀要
さいたま市大宮盆栽美術館年報・紀要	実践国文学	資料と研究(山梨県立文学館)	泉石(古河歴史博物館)
埼玉史談(埼玉郷土文化会)	実践女子学園香雪記念資料館館報	史林(京都大学文学部内史学研究会)	ZENBI(全国美術館会議)
採蓮 千葉市美術館研究紀要	実践女子大学美学美術史学	絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)	全文連文化財通信(全国国宝重要文化財所有者連盟)
堺市博物館研究報告	実践女子大学文学部紀要	シルクロード研究(創価大学シルクロード研究センター)	阡陵(関西大学博物館)
佐賀県立博物館・美術館調査研究書	実践女子大学文芸資料研究所年報	塵界(兵庫県立歴史博物館)	崇城大学芸術学部研究紀要
SAZAE 通信(長谷川町子美術館)	島根県立石見美術館研究紀要	真朱(徳島県埋蔵文化財センター)	ソカロ(埼玉県立近代美術館)
札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要	島根県立石見美術館ニューズレター	新美術新聞	大学院諸究(群馬県立女子大学大学院文学研究科)
The Newsletter I. J. S(法政大学国際日本学研究所)	島根県立古代出雲歴史博物館 NEWS	人文(京都大学)	大正イマジユリィ
ザ・ルーフ(郡山市立美術館)	市民と博物館(日上市郷土博物館)	人文学報(京都大学人文科学研究所)	大正大学総合仏教研究所年報
三康文化研究所所報	芸術文化雑誌 紫明	人文社会科学論叢(宮城学院女子大学)	太陽(別冊)
サントリー美術館研究紀要	下関市立美術館研究紀要	人文論究(関西学院大学人文学会)	高槻市文化財年報
サントリー美術館ニュース	ジャポニスム研究	瑞鳳殿だより 経ヶ峯の四季	高梨学術奨励基金年報
三の丸尚蔵館年報・紀要	修士論文・修了作品 研究集録(大東文化大学大学院文学研究科書道学専攻)	水墨画(月刊)	たばこと塩の博物館年報
しいのき(中野区立歴史民俗資料館)	住総研研究論文集	椋山女学園大学研究論集	玉川大学教育博物館紀要
jaic 会報(日本美術情報センター)	聚美	椋山女学園大学文化情報学部紀要	たまのよこやま(東京都埋蔵文化財センター)
史淵(九州大学大学院人文科学研究院)	自由美術(自由美術協会)	朱雀(京都府京都文化博物館)	たまび(多摩美術大学)
史苑(立教大学史学会)	主体美術(主体美術協会)	駿台史学	多摩美術研究
Shiodome Museum REVUE(パナソニック電工汐留ミュージアム)	首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報	生活文化研究所年報	多摩美術大学研究紀要
史学雑誌	純心人文研究(長崎純心大学)	成城美学美術史	淡交
滋賀県文化財保護協会紀要	正倉院紀要	成城文芸	千葉県文書館
	聖徳(法隆寺)	清泉女子大学紀要	千葉県立中央博物館研究報告
	続日本紀研究		千葉県美術館ニュース C'n
			地方史研究
			中国近現代文化研究

- 中尊寺仏教文化研究所論集  
朝鮮学報(朝鮮学会)  
調布の文化財  
潮流(下関市立美術館)  
筑波大学芸術研究報告  
筑波大学先史学・考古学研究  
土浦市立博物館紀要  
壺屋焼物博物館紀要  
津山弥生の里  
敦賀市立博物館研究紀要  
デアルテ(九州芸術学会)  
哲学会誌(学習院大学哲学会)  
帝塚山学院大学研究論集  
帝塚山大学考古学研究所研究報告  
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要  
天開図画(山口県立美術館)  
天台学報  
天理参考館報  
東海大学紀要教養学部  
東海大学国際文化学部紀要  
東京学芸大学紀要  
東京家政大学研究紀要  
東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報  
東京芸術大学大学美術館年報  
東京芸術大学美術学部紀要  
東京芸術大学美術学部論叢  
東京国立近代美術館研究紀要  
東京国立博物館紀要  
東京国立博物館ニュース  
東京造形大学研究報  
東京大学史料編纂所研究紀要
- 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信  
東京都江戸東京博物館紀要  
東京都現代美術館年報・研究紀要  
東京都写真美術館紀要  
刀剣美術  
同志社大学博物館学年報  
陶説  
東風西声 九州国立博物館紀要  
東方学  
東方学報京都(京都大学人文科学研究所)  
同朋大学仏教文化研究所紀要  
東北アジア研究センター叢書  
東北学院大学博物館年報  
東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要  
東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報  
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報  
東北歴史博物館研究紀要  
東洋学報  
東洋陶磁  
東洋陶磁学会会報  
東洋文化研究所紀要  
東洋文庫書報  
どおむ(富山県立近代美術館)  
遠山記念館だより  
徳島県立近代美術館研究紀要  
徳島県立博物館研究報告  
徳島文理大学比較文化研究所年報  
徳島文理大学文学論叢  
栃木県立博物館研究紀要
- とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要  
とつぷらいと(福岡県立美術館)  
富山市篁牛人記念美術館館報  
豊田市美術館紀要  
敦煌写本研究年報  
長崎県美術館研究紀要  
長崎歴史文化博物館研究紀要  
長崎れきぶん(長崎歴史文化博物館)  
長野県信濃美術館紀要  
長野県立歴史館研究紀要  
長野県立歴史館たより  
長浜城歴史博物館 博物館だより  
流山市史研究  
名古屋市博物館だより  
名古屋造形大学紀要  
名古屋大学文学部研究論集  
七隈史学(福岡大学人文学部歴史学科)  
奈良学研究(帝塚山短期大学)  
奈良教育大学紀要  
奈良県立美術館紀要  
奈良国立博物館だより  
奈良市埋蔵文化財調査年報  
奈良美術研究  
奈良文化財研究所紀要  
南都仏教  
新潟県立近代美術館研究紀要  
新潟県立歴史博物館研究紀要  
西アジア考古学  
西宮市大谷記念美術館 NEWS  
日伊文化研究
- 日仏美術学会会報  
日光山輪王寺  
日展ニュース  
日本海域研究  
日本研究(国際日本文化研究センター)  
日本建築学会計画系論文集  
日本史研究  
日本女子大学紀要 人間社会学部  
日本女子大学大学院人間社会研究科紀要  
日本女子大学大学院文学研究科紀要  
日本大学芸術学部紀要  
日本美術新聞(日本美術新聞社(京都))  
日本文化史研究(帝塚山大学奈良学総合文化研究所)  
日本歴史  
人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)  
練馬区立美術館ニュース  
年報非文字資料研究(神奈川大学非文字資料研究センター)  
野田市郷土博物館市民会館年報・紀要  
野村美術館研究紀要  
博物館だより(富士市立博物館)  
馬事文化財団年報  
PATIO(高岡市美術館)  
版画芸術  
阪急文化  
阪急文化研究年報  
bandaly(明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻)  
飯能文化財時報  
美愛眞(調布市武者小路実篤記念館)  
美学

美術文献目録

- 美学芸術学(同志社大学美学芸術学研究室)
- 美学美術史研究論集(名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室)
- 比較文化論叢(札幌大学文学部)
- 美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)
- 東アジア石刻研究(明治大学東アジア石刻文物研究所)
- 東アジア文化交渉研究(関西大学文化交渉学教育研究拠点)
- 彦根城博物館だより
- 美術運動史研究会ニュース
- 美術京都(中信美術奨励基金)
- 美術研究(東京文化財研究所)
- 美術史
- 美術史学(東北大学)
- 美術史研究(早稲田大学美術史学会)
- 美術史論集(神戸大学美術史研究会)
- 美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室)
- 美術手帖
- 美術の窓
- 美術フォーラム21
- 美術屋・百兵衛
- 美のたより(大和文華館)
- 姫路市立美術館研究紀要
- 姫路市立美術館だより
- 姫路美術工芸館紀要
- 非文字資料研究(神奈川大学21世紀 COE プログラム)
- 百万塔(紙の博物館)
- 兵庫県立考古博物館研究紀要
- 兵庫県立考古博物館 NEWS
- 兵庫県立美術館研究紀要
- HILL WIND(三重県立美術館)
- 美連協ニュース(美術館連絡協議会)
- 広島県立美術館研究紀要
- 広島県立歴史博物館研究紀要
- 広島県立歴史博物館ニュース
- 広島市立大学芸術学部紀要
- ファウンテン コンテンポラリー・アート・マガジン
- フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)
- フェリス女学院大学文学部紀要
- 福井県立若狭歴史民俗資料館館報
- 福岡市博物館研究紀要
- ふくやま美術館・ふくやま書道美術館研究紀要
- 藤女子大学紀要
- 府中市美術館研究紀要
- 府中市美術館だより
- ふちゅ〜(静岡市教育委員会)
- 仏教芸術
- 仏教史学研究
- 仏教大学教育学部論集
- 仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要
- 仏教大学総合研究所紀要
- 仏教大学文学部論集
- 仏教大学歴史学部論集
- ブリヂストン美術館・石橋美術館館報
- ふる里なんぶ(南部町歴史研究会)
- 文化学年報(同志社大学文化学会)
- 文学(隔月刊)
- 文化継承学論集(明治大学大学院文学研究科)
- 文化財(月刊)
- 文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)
- 文化財レポート(京都文化財団)
- 文化史学
- 文化資源学
- 文化情報学(同志社大学文化情報学会)
- News letter 噴火湾文化
- 文京ふるさと歴史館年報
- 文星紀要
- 蓬左(名古屋市蓬左文庫)
- 鳳翔学叢(平等院)
- 法政考古学
- 法政史学
- 北斎研究
- 保存科学(東京文化財研究所)
- 北海道開拓記念館研究紀要
- 北海道開拓記念館だより
- 本郷(吉川弘文館)
- 埋蔵文化財ニュース(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター)
- まいぶん津(津市埋蔵文化財センター)
- 埋文にいがた(新潟県埋蔵文化調査事業団)
- マキエ(ポーラ文化研究所)
- 待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)
- 町田市立博物館年報/紀要
- 松江歴史館研究紀要
- 松本市美術館紀要 エクラン
- 万葉古代学研究所年報
- 三重県埋蔵文化財センター研究紀要
- 瑞垣(神社司庁)
- 見世物
- 三田国文
- 三井美術文化史論集(三井記念美術館)
- 密教図像
- 美濃加茂市民ミュージアム紀要
- MIHO MUSEUM 研究紀要
- 宮崎県総合博物館研究紀要
- 宮崎県立西都原考古博物館研究紀要
- 宮崎大学教育文化学部紀要
- MUSEUM(東京国立博物館)
- MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)
- ミュージアム調査研究報告(香川県立ミュージアム)
- ミュージアム発見伝(館山市立博物館)
- ミュージアム・レター(学習院大学史料館)
- MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)
- MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)
- 視る(京都国立近代美術館)
- 美をつくし(大阪市立美術館)
- みんぱく(国立民族学博物館)
- 民博通信(国立民族学博物館)
- 武蔵野(武蔵野文化協会)
- 武蔵野美術大学研究紀要
- ムゼイオン(立教大学学校・社会教育講座)
- 宗吉かわらの里展示館年報
- 明治大学博物館研究報告
- 明治村だより
- 明星大学研究紀要

目の眼	ヨーロッパ文化研究(成城大学大学院文学研究科)	歴史学研究(東北芸術工科大学歴史遺産学科)	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要
森の通信(宮崎県総合博物館)	横浜市歴史博物館紀要	歴史地理教育	早稲田大学大学院文学研究科紀要
八尾市文化財紀要	横浜市歴史博物館調査研究報告	歴史と地理	早稲田大学図書館紀要
八雲立つ風土記の丘(島根県立八雲立つ風土記の丘)	横浜美術館研究紀要	歴史評論(歴史科学協議会)	和洋女子大学紀要
野洲市歴史民俗博物館研究紀要	横浜美術大学 教育・研究紀要	歴博(国立歴史民俗博物館)	朝日
山形県立博物館研究報告	横山大観記念館館報	歴博だより(愛媛県歴史文化博物館)	朝日夕刊
山形大学歴史・地理・人類学論集	REAR	連盟ニュース(日本美術家連盟)	産経
山口県文書館研究紀要	立教大学日本学研究所年報	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	東京
大和文華(大和文華館)	立正史学	碌山美術館報	東京夕刊
山梨県立博物館研究紀要	立正大学文学部研究紀要	六所家総合調査だより	日経
游美(茨城県近代美術館友の会)	龍谷史壇(龍谷大学史学会)	和歌山県文化財センター年報	日経夕刊
雪椿通信(新潟県立近代美術館)	龍谷大学仏教文化研究所紀要	和歌山県立近代美術館ニュース	毎日
ユリイカ	黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)	和歌山県立博物館研究紀要	毎日夕刊
			読売
			読売夕刊

## 美術文献目録

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に＊を付した。

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要

アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要

浮世絵研究 太田記念美術館紀要

浦添市文化部紀要 よのつち

大阪府教育委員会文化財調査事務所年報

沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要

鹿児島国際大学考古学ミュージアム調査研究報告

鹿児島大学総合研究博物館 news letter

金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編

金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター

北九州市立自然史・歴史博物館研究報告

ギャラリー(月刊)

群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇

埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

さいたま市大宮盆栽美術館年報・紀要

採蓮 千葉市美術館研究紀要

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要

首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報

水墨画(月刊)

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報

東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信

東風西声 九州国立博物館紀要

東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要

東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報

とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要

長浜城歴史博物館 博物館だより

日本女子大学大学院人間社会研究科紀要

野田市郷土博物館市民会館年報・紀要

ふくやま美術館・ふくやま書道美術館研究紀要

仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要

ブリヂストン美術館・石橋美術館館報

文学(隔月刊)

文化財(月刊)

News letter 噴火湾文化

鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要

早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

愛知県埋文センター紀要\*

ミュシャ・ミュージアム・ニュース\*

岩手埋文センター紀要\*

浮世絵研究\*

よのつち\*

大阪府教委文化財調査事務所年報\*

沖縄県立博物館美術館 美術館紀要\*

鹿国大考古学ミュージアム報告\*

鹿児島大学総合研究博物館ニュース\*

金沢学院大学紀要\*

フレスコ壁画研究センターニュース\*

北九州自然史歴史博報告\*

ギャラリー\*

群馬県埋文調査団研究紀要\*

国文学研究資料館紀要(ア)\*

埼玉県埋文調査団紀要\*

さいたま市大宮盆栽美術館年報紀要\*

採蓮\*

札幌大谷大学紀要\*

首里城公園管理センター年報\*

水墨画\*

帝塚山大大学院紀要\*

東京芸大保存修復彫刻年報\*

東大画像史料解析センター通信\*

東風西声\*

東北芸工大保存修復センター紀要\*

東北芸工大保存修復センター年報\*

芹沢銈介美術工芸館年報\*

とちぎ埋文センター紀要\*

長浜城歴博だより\*

日本女子大学大学院紀要(人)\*

野田市郷土博物館市民会館年報紀要\*

ふくやま美術館・書道美術館紀要\*

仏教大学宗教文化ミュージアム紀要\*

ブリヂストン・石橋美術館報\*

文学\*

文化財\*

噴火湾文化\*

鹿園雑集\*

早大會津八一記念博紀要\*



# 目 次

## 〔定期刊行物所載文献〕

総 説 .....	78	石 器 .....	151
美 学 .....	78	木 竹 工 .....	151
概 論 .....	79	ガ ラ ス 工 .....	152
日本美術史 .....	85	その他の工芸・民具 .....	152
海外美術史(アジア) .....	87	建 築 .....	152
海外美術史(その他) .....	88	都市・集落 .....	152
保 存 修 復 .....	92	宮殿・官衙 .....	154
情 報 処 理 .....	99	宗教建造物 .....	154
文化財行政 .....	100	城 郭 .....	157
美 術 教 育 .....	105	住 宅 ・ 館 .....	157
古 美 術 .....	108	茶 室 .....	158
絵 画 .....	108	その他の建造物 .....	158
図像 .....	125	庭 園 .....	158
文様 .....	126	墳 墓 .....	158
地図・絵図 .....	126	建築部材など .....	159
彫 塑 .....	126	建築に付随するその他 .....	159
原 始 彫 刻 .....	131	近現代美術 .....	161
面 .....	132	絵 画 .....	161
書 蹟 .....	132	漫画・アニメーション .....	164
古文書・古記録 .....	135	版 画 .....	166
金石文など .....	137	写真・映像 .....	167
工 芸 .....	139	彫刻・空間表現 .....	168
宗教工芸 .....	139	工 芸 .....	169
武具・馬具類 .....	140	デ ザ イ ン .....	172
茶 道 具 .....	140	建 築 .....	173
装身具・化粧具 .....	141	その他のジャンル .....	176
文 房 具 .....	141	作 家 .....	177
陶 磁 .....	141	日 本 .....	177
土 器 .....	145	海 外 .....	282
瓦 .....	146	そ の 他 .....	315
金 工 .....	147	美術関係者 .....	315
鏡 .....	147	書 評 .....	322
青 銅 器 .....	147	時 評 .....	328
刀剣・刀装 .....	148	美術館・博物館・画廊 .....	332
染織・服飾 .....	149	海 外 展 .....	350
漆 工 .....	150		
石 工 .....	151		

# 定期刊行物所載文献

美 学	総 説	ペンヤミンのシュルレアリスム—物たちの「シュルレアリスム的な顔つき」—	山口 裕之	〃	〃
ベネデット・クロウ チュの美学思想にお ける倫理の位置づけ について	國司 航佑 イタリア 学会誌 62	ゴットフリート・ベ ンとアルフレート・ ボイムラー—「占星 術的」芸術観とナチ ズム—	石田 圭子	実践女子 大学美学 美術史学	26
東野芳明の「反芸術」 概念の展開	伊村 靖子 京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要 56	趣味判断と共通感覚	榎本 庸男	人文論究	62-1
インデックス論の再 考—パース、エーコ、 クラウドの交叉点と して—	加藤 隆文 京都美学 美術史学 11	「醜の美学」—ボード レールの《Les Peti- tes Vieilles》	平野 真理	〃	〃
目と手が育む精神	中村 英樹 思 想	哲学と文学の新た な仲違い：プラト ンの詩人論を解釈す るコリンウッド	津上 英輔	成城美学 美術史	17・18
第1章 〈皮膜〉の 両義性	1059	茶の湯と中国文化 茶道の美	関根 宗中	淡 交	820
第2章 無数の手 の痕跡へ	1061	ハーバート・リード におけるアナキズ ムの美学(下)	大森 淳史	帝塚山学 院大学研 究論集	47
第3章 目に潜む 意外な力	1064	指示と強度	大崎 晴地	東京芸術 大学美術 学部論叢	8
抵抗する「フィギュ ール」—思想史のな かのシュルレアリス ム—	鈴木 雅雄 思 想 1062	仮面と物質性：仮面 論の再考に向けて	佐々木重洋	名古屋大 学文学部 研究論集	174
理論の見る夢—オー トマティズムの歴史 —	中田健太郎 〃 〃	生と美学—フーコー の主体論をめぐる—	武田 宙也	美 学	240
アンチ・シュルレア リスム	齊藤 哲也 〃 〃	ヴィーナスとルシフ ァー—ペンヤミンの 仮象概念についての 一考察—	村上 真樹	〃	〃
体験／実験 —役割 の遊戯[ロール・プ レイニング・ゲーム] と言語遊戯—	ジャクリー ヌ・シェニ ウーニジャン ドロシ 鈴木 雅雄 訳	「感性(sensibilité)」 をめぐるベルクソン の思想とその成立の 経緯—なるものと 多なるものとの関係 を軸に—	村上 龍	〃	〃
眼は野生の状態で存 在する	ドミニク ・コンブ 國分 俊宏 訳	サルトル『聖ジュネ』 における不道徳作品 の「善用」	森 功次	〃	〃
エゴ文学、オートフ ィクション、ヘテロ グラフィ	フィリップ ・フォレス ト 國分 俊宏 訳	現実意図主義の瑕疵	河合 大介	〃	241
狂気への愛、狂女への 愛、狂気のなかの愛 —ブルトン、デュラ ス、ラカン—	立木 康介 〃 〃	無意識的記憶から機 械圈へ—ドゥルーズ におけるブルースト —	渡辺 洋平	〃	〃
		第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨		〃	〃

エージェンシーと インデックスの芸術論	加藤 隆文			20世紀後半の日本の パブリックアートに ついて—1960年代以 降の野外彫刻設置事 業に見るパブリック アートのメカニズム—	竹田 直樹	ART LIBRARY	13
アドルノ美学にお ける形象の問題	高安 啓介						
シュスターマンに おける美的経験— 「特別な美的経験」 と「平凡な美的経 験」の意味するも の—	李 恵珍			触覚の美術 「美術 の中のかたち」展を 振り返って	出原 均	ART RAMBLE	37
例会・研究発表会要 旨		〃	〃	3・11以降の芸術 3・11以降の学問	近藤 誠一	ARTLET	38
心理と論理の間— 美学の超越論的位 置づけ	大石 昌史			大地震のあとで 現 地に見る表現者達の 活動	細谷 修平	あいだ	189
「阿部次郎の美学」 再構築—ユーモア の弁証法の基盤の 上に—	岡林 洋			ハマで「ガリ版」にハ マって 「新・港村」 の一隅から『HAM- Art!』奮闘記	稲村 初子 松浦 準 小山田知子 矢吹 昇一 新城 順子	〃	〃
カントの『判断力 批判』におけるボ リフォニー標識	松尾 大			エクスペリメンタ・ デザイン2011レポ ート 「ユースレス」に 込めた意図 新旧の 溝を浮き彫りにした ディスカッション	中島 恭子	A X I S	155
アンリ・マルディ エの美学—絵画に おけるリズム	川瀬 智之						
美のことごと 1	中野 中	美術屋・ 百兵衛	23	from the World		〃	157
個人研究 プラトン におけるアイステー シス論の創出—『パ イドン』を中心とし て—	関村 誠	広島市立 大学芸術 学部紀要	17	アキッレ・カステ イリオーニ財団誕 生	多木 陽介		
否定の美学の試み	村田 誠一	文化学年 報	61	より深い交流を目 指した12年目 「TETSUSON 2012」	今村 玲子		
「東北」日本の美学の ルーツ—被災美学者 阿部次郎の『三太郎 の日記』ほか—	岡林 洋	〃	〃	産学共同の正しいや り方 プロジェクト 24「多摩美術大学と ネスレ」	〃	〃	〃
「近代」における「晴 朗さ」の獲得—ヘー ゲルの芸術哲学にお ける「フモール」概念 についての一考察—	高藤 大樹	〃	〃	特集 ワークショッ プ進化論 クリエイ ターをつなぐ非営利 のメディアラボ オ ランダの「バルタン ・ラボラトリーズ」	中島 恭子	〃	158
破局論3 無の肖像	飯島 洋一	ユリイカ	612	日本のアートの評価 基準	杉本 昌裕	跡見学園 女子大学 文学部紀 要	47
概 論				Report	編 集 部	Wave II	
レビュー 「選別の 欲望の強度(或いは 私は如何にして VO- CA を信ずるに至っ たか)」	永瀬 恭一	ART TRACE PRESS	2	レポート新潟市美 術館問題 連載1 『ふるさと燦々 育まれた作家たち 展〜旧BSN新潟美 術館所蔵品を中心 に〜』展の疑問を 解明する			3
明日を呼ぶ私の記憶	中村 英樹	アートペ ーパー					
解体に潜む生成の 芽 3			88				
過ぎ去って気がつ く 1〜3			89〜91	「水と土の芸術祭 2012」の中間の検 証			6

平成24年定期刊行物所載文献(総／概論)

めぐる卒展、めぐる 想い 2011年度 京 都造形芸術大学 卒 業制作展・論文発表 会		瓜生通信	55	東日本大震災「民 宿屋上へ乗り上げ た観光船はまゆり」 2 示せ！行政の 隣人愛、モニュメ ント化構想正式ス タート		328
扇[あふぎ]	熊田 司	えむえむ	3			
ビデオゲームは芸術 か？	松永 伸司	カリスタ	19	特集 この秋開催さ れる全国のアートイ ベント	〃	330
特集 文化による復興		Cultivate	39			
自然と共生する精 神文化の再構築を	齊藤 恵理			イエイツの夢幻能 『鷹の泉』における能 の本質的要素につい て一心の深層で展開 する想像的芸術を可 能にするもの	佐野 仁志	京都嵯峨 芸術大学 紀要 37
文化による復興は 可能か？	赤坂 憲雄 高橋 信裕 インタビュー アー					
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横		ギャラリー 一*		展覧会・会議報告 「敦煌意象—中国岩 彩画展—」および「敦 煌芸術の伝承と当代 岩彩画創作国際学術 検討会」報告	日本画研究 室・保存修 復研究室	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要 56
No. 16 回顧と展 望—後編— 未曾 有の大災害を見据 えて新たな時代に 挑む	小川 英晴、 三田 晴夫、 ワシオ・ト シヒコ、 名古屋 覚、 小金沢 智 談		321	論考 二つの問い— 芸術作品とは何か/ 「メディア・アート」 とは何か	上崎 千	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報 19
No. 17 現代のア ートに、はたして 「人の心を撃つ」だ けの力があるのだ ろうか(前編)	角川 春樹、 小川 英晴 談		322	World News		芸術新潮
No. 18 五感を通 して生まれたすべ ての芸術作品の根 はひとつ(後編)	〃		323	Liverpool 「不思議 の国のアリス」展 なぜ芸術家たちは ルイス・キャロル の世界をヴィジュ アル化したがるの か	前橋 重二	745
No. 21 表現に賭 け、その一瞬を生 きる(前編)	竹中 直人、 小川 英晴 談		326	Baltimore 「彫刻を 触れる楽しみ ル ネサンス小像の魅 力を調査する」展 どのヌード像が気 持ちいい？ さわ ってナンボの「触 覚美学」探求展	〃	748
No. 22 全身で表 現することの魅力 (後編)	〃		327			
No. 24 現代美術 界に期待するもの (前編)	椿原 弘也、 小川 英晴 談		329	Paris 「発見された 身体」展 タブー どころかけっこう 大胆 アラブ人芸 術家もすなるヌー ド	羽生のり子 取材	751
No. 25 現代美術 の現状(後編)	〃		330			
特集 ART KYOTO 2012	石橋 圭吾 談	〃	324	Oxford 「イングリ ッシュ・ブライズ ウェストモラン ド号の拿捕」展 船ごとぶんどられ たお宝が233年を 経て英国に到着!?	前橋 重二	752
特集 REPORT—福 島 part 1、2 現地に 必要な本当のアート 活動		〃	325、326			
評論の眼	ワシオ・ト シヒコ	〃		Paris 「無秩序の支 配者」展 現代美 術もひれ伏させる シャーマニズムの 異次元パワー	羽生のり子 取材	〃
〈番外誌上展〉創っ て楽しく、食べて 蕩けるスイーツ・ アート 仰天発想、 チョコが花器とオ ブジェになった			325			

London「シェイクスピア 世界を舞台に」展 シェイクスピアの同時代 ネタ発掘!	前橋 重二	753	素描の天才ドガと裸体	1268
New York「ゴースト・イン・ザ・マシーン」展 ユートピア? ディストピア? 機械とアート の行末	由本みどり 取材	〃	動物の美しさ	1277
わたし一人の美術時評	藤田 一人	〃	ドビュッシーと美術	1279
第21回 広報の台頭と批評の衰退		749	フランス美術散歩	1290
第22回 美術団体再考		750	新美術時評	〃
第23回 現状追認の“賞”への不満		751	都の幻影「清明上河図」	島尾 新 1270
第27回 美術家は 大らかにつるむべし!		755	中国関連の話題から	〃 1274
小特集 帰ってきた 股間若衆	木下 直之	〃	美術批評は「芸術」となる、か?	光田 ゆり 1275
特別読物 彫刻と詩のあいだ トボスをめぐる考察	高橋 睦朗	〃	伝統の在りようを明確に	島尾 新 1277
特集 残されしもの、 生かされしもの 第2部 生かされし有象無象 対談 残されしもの、生かされしもの—それはがれきか記念碑か	中谷 礼仁、 頼原 澄子、 話し手	建築雑誌 1631	ワシントンの若冲展から千葉の蕭白展まで	〃 1280
平成23年度研修会 特別講演 倉敷とその 周辺の縄文貝塚	真壁 忠彦	公立埋文協 会報 48	展覧会の入場者数のこと	〃 1286
女性の作品による コレクション展 女性性と 男性性について	加須屋明子	国立国際美術館 ニュース 188	骨董入門または脱線 「古道具、その行き先展」を前にして	光田 ゆり 1289
報告:「Alternating Currents: Japanese Art after March 2011」	橋本 梓	〃 189	プレゼンテーションは パワポ	島尾 新 1290
アートと地域活性化— 伊香保アートプロジェクト 2011	下山 肇	実践女子大学美術学 美術史学 26	日中国交回復40周年の なかで	〃 1293
固有の発信 まちなみ アートフェスティバル— その誕生と展開	中西 薫	紫 明 30	提言	清水 康友 〃
展覧会評『DECO JAPAN: Shaping Art & Culture, 1920-1945』	高波真知子	ジャポニスム研究 32	若い世代の鑑賞眼に 期待	〃 1272
現代中国書法事情 242、247	種谷 萬城	書道界 268、273	海外展—見るから鑑賞するへ	〃 1297
年頭に際して 文化政策の 改革を強く願う	浅木 正勝	新美術新聞 1268	現在通信 From NEW YORK	富井 玲子 〃
PARIS 発	安部 雅延	〃	もの派の矛盾	〃 1276
			フリーズが街にやってきた	〃 1281
			歴史の幽霊?	〃 1289
			非物質化の6年	〃 1295
			「サンディ」以後	〃 1298
			大震災から1年を経て 被災地支援から文化復興支援の活動へ	浅木 正勝 〃 1279
			通信 J to A アジアへ	黒田 雷児 〃
			35 アカルイ マニラ 日本を捨てますか?	〃 1283
			40 関渡ビエンナーレ、 我が道を行く	〃 1297

「芸術表現学会」設立 総会報告—日本文化 の創世—芸術表現の 未来のために	渡辺 健二	新美術新聞	1286	例会発表要旨 第120 回例会：美術批評の 言語—エミール・ゾ ラと「タシュ」の概念 を中心に エミール・ ゾラにおける諸芸術 の混淆—イメージ ・テキスト・音楽の 相関関係をめぐって	林 信蔵	日仏美術 学会会報	31	
オリンピックに沸く ロンドンのアート最新 状況	新谷真紀子	〃	1287					
次世代を担う研究者 育成とその国際交流 促進の場 第10回日本 美術史に関する国際 大学院生会議 (JAWS 10)開催		〃	〃	第43回日展を前にして 特別寄稿 芸術 家の孤独	三浦 朱門	日展ニ ュース	146	
特集 2012 年末回顧 評論家に「目」と「耳」 は無いのか	安井 収蔵	〃	1299	アートイベントにお ける都市部の地区演 出の可能性 あいち トリエンナーレ2010 長者町会場を事例と する	春日 伊藤 堀越	和俊 孝紀 哲美	日本建築 学会計画 系論文集	681
ブロック報告		ZENBI		美術業界の行方(3)	青山 清	日本美術 新聞	3	
東海ブロック 国際 展とその傍らで	天野 一夫		1	「装置」としての表現 活動—ラ・ボル病院、 べてるの家を例とし て—	嶋田 久美	美 学	240	
九州ブロック 地域 の現代芸術祭との 連携による美術館 の活性化	菅 章		3	例会・研究発表会要 旨 人類の誕生とその 進化—人間と動物 の境界をめぐって—	唄 邦弘	〃	〃	
全美フォーラム		〃						
ヨコハマトリエ ンナーレ2011を巡 って	逢坂恵理子		1	複製技術における形 象的なもの—ボール ・リッシュによる身体 の形象化について—	益田 展大	〃	241	
サスティナビ リティのゆくえ	貝塚 健		3	第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 対象と身体との 関係—メルロ＝ポン ティの知覚論とモリス およびセラの彫刻 作品	大前美由希	〃	〃	
アジア交流雑感	黒田 雷児		〃					
最近の近畿圏大学博 物館事情—平成23年 度大学博物館調査か ら—	石立弥生子	阡 陵	64	例会・研究発表会要 旨 ニュートンと画 家たち—科学と芸術 が出会うとき	岡田 温司	〃	〃	
国際ネットワークから 地域文化政策へ— 阿蘇 Genesis 起源 展への考察—	三枝 泰之	デアルテ	28	ニューヨークの大聖 堂で鑑賞する現代美 術	由本みどり	美術運動 史研究会 ニュース	124	
研究報告 アーカイ ヴとコンテナ 動物 の群れ	久保 仁志	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H22年度	資本主義に対抗する カーニバルが始まっ た—「オキュパイ・ ウォールストリート」 運動とアート	後藤 宣代	〃	126	
美術家の被災者支援	樋田 豊郎	陶 説	716					
「フェスティヴァル」 におけるアメリカ的 「公共文化」の系譜と スミソニアン	小長谷英代	東洋文化 研究所紀 要	162	里山アートと地域コ ミュニティー関西圏 のアートイベントから	山崎 明子	〃	132	
位置、距離、知識伝 達と芸術表現	沖 啓介	名古屋造 形大学紀 要	18	WORLD NEWS		美術手帖		
境界線上のアート (記憶のアートへ)	鈴木 敏春	〃	〃	ニューオーリンズ ミシシッピならで はの国際展へ。 第2回「プロスペ クト」展開催	藤森 愛実		962	

デリー インド・ アートの旬到来— アートフェアか らシュコダ・プラ イズまで	黒岩 朋子	965	「暮らしの芸術」と まちづくり 松戸 アートラインプロ ジェクト	寺井 元一	340
SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼ ンツ REAL TIMES GALLERY & INTER- VIEWS THEORY & PRACTICE スーパ ーラットの『種の起 源』をたどる 論考 03 アート・アット ・アウトドア 混沌 から公共性を—美術 の扉の外で	楠見 清	964	2012年新春のNY アートシーン(1、 2)	竹澤 雄三	343、344
			作家手動で進展す る京都の新たなム ーブメント	小吹 隆文	345
			広島 美に触れる旅 へ アート探訪	〃	343
			現代美術の歩き方 異論反論・現代美術	〃	
後美術論	榎木 野衣	〃	アートフェア東京 2012 今年も大規 模に開催 今春最 大のイベント	〃	
第6～8回 次は 溶融だ[メルト・ ダウン・イズ・ネ クスト](1～3)		964、967、 969	「TOKYO SPRING」 のイベント続々開 催 メインイベン トを密着レポート !		344
第9、10回 地獄 と饞餓[ヘルター ・スケルター](前、 中編)		973、976	「つくることが生 きること」開催 東日本大震災復興 支援プロジェクト 展	〃	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 は じめに 芸術の森へ —日本近代美術への いざない	北澤 憲昭	967	第26回バリ国際サロ ン展覧会報告 次回 バリ国際サロンもヴ ォージュ広場で開催 !!	〃	345
SPECIAL FEATURE 大地の芸術祭 越後 妻有アートトリエン ナーレ2012	〃	973	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 ポスト 複製技術時代の芸術 作品: もうひとつの 模写可能性	毛利 嘉孝	349
NEWS 越後妻有 里山現代美術館 [キナーレ]オープ ン!	永峰 美佳 白坂 ゆり		香川文化考 長谷川 栄のミューゼオロジ ィー—本四架橋後の 香川はエコツーリス ムで躍進—	長谷川 栄 美術屋・ 百兵衛	20
地域から世界へ、 国際展に成長した 芸術祭	永峰 美佳		京都・京町家ステイ ・アートプロジェク ト	〃	〃
GTS AWARD Vol. 3 隅田川の兩岸を舞台 にアートが展開	竹見洋一郎	976	東京文化考 アート か? 落書きか? 大 都市のグラフィティ	〃	21
アキバタマビ21特別 展「大学絵画」3つ の美術大学から旬の アーティストが集結 !	〃	〃	この夏新潟でアート を満喫 大地の芸術 祭&水と土の芸術祭	〃	22
INFORMATION EV- ENT 混浴温泉世界 と国東半島アートプ ロジェクト 地熱と 人、不思議なエネル ギーに満ちたアート フェスティバル「混 浴温泉世界」	上條 桂子	〃	六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012	〃	23
			ヨーロッパアート事 情 現代美術の舞台 として活気もどる パリ 様々なプロジ ェクトが進行中	今津 京子 美連協ニ ュース	115
視点	美術の窓				



平成24年定期刊行物所載文献(総／概論)

アメリカアート事情 歴史に残るイヴェン ト	後藤トキ子	美連協ニ ユース	115	修士論文概要 若手 芸術家の〈生涯〉—ア ートプロジェクトに 見る現代美術の文化 生産—	高橋かおり	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	57
現代美術を国力に変 えたイギリスの戦略 —文化大国としての 日本に問われる現実	腰原 慶子 大坂絃一郎 構成	ファウン テン	2	福島 届かない絵 「第五福竜丸」画家の 69点出品中止 米美 術館「原発の状態考 慮」貸し出しの動 きも		朝 日	2.26
特集 コレクターの 存在と役割		〃	3	4「読ん」で知るアー ト		朝日夕刊	
白石正美 (SCAI THE BATHHOU- SE)				画家のパートナー 筆を持たない名画 の作者	千足 伸行		5.2
山本豊津(東京画 廊+BTAP)				食と現代アート 生命倫理費かす時 代を予感	岡部あおみ		6.13
コミュニティ型アー トプロジェクトのそ の後—「小料理喫茶 ワシントン」をめぐ る生活景の再生を中 心に	市川 寛也	文化資源 学	10	海外通信	〃		
試論	宝木 範義	明星大学 研究紀要	20	@パリ「発見さ れた身体」展 ア ラブ美術新たな体 系へ	飯田 真実		5.30
特集 ジョン・ケー ジ 鳴り続ける〈音〉 生誕一〇〇年／没後 二〇年 現代とのリ ユニオン「ジョン ・ケージ以後」とし てのサウンド・アー ト(における「聴くこ と」とテクノロジー)	畠中 実	ユリイカ	617	@昆明(中国) 国 際若手芸術家連合 展 内陸と世界、 自由につながる	多田 麻美		12.26
特集1 批評家はど こにいるのか		R E A R	27	障害者アート著作権 徹底 市場利益本人 自立に	井田香奈子	〃	10.4
座談：沢山遼+野 田吉郎+星野太 美術をめぐる言論 の現在と美術批評 の可能性				語り継ぐ復興文化史 第五部 阪神大震災 と新たな船出3「あ りきたりの日々」を 求めて	伊藤 洋一	産 経	2.2
エッセイ：内から の目／外からの目 —批評する視点	中村 英樹			負けないよ!! 石巻 ・渡波小学校の復興 日記 がれきアート 伊博物館へ		〃	2.5
エッセイ：批評と 制作	山本さつき			金子みすゞの詩 ア ートに 美術や演劇、 舞踏で表現 11日か ら台東 東京芸大生 ら	丹治早智子	東 京	9.8
エッセイ：批評家 を育てていること —美術館学芸員	天野 一夫			3.11後見据え 豪州 で展覧会 共鳴と不 協和音 表現の可能 性追求	橋本 梓	東京夕刊	1.13
批評 観光と現代美 術—ヴェネツィア・ ビエンナーレ第54回 国際美術展	藤川 哲	〃	〃	歴史への冒険 考古 学のいま 心とらえ る老岐の遺跡 素の たたずまいに価値	松本 武彦	〃	12.6
JAA 特集 対談「著 作権を巡る問題」2 創作者の権利と著作 権	大家 重夫 福王寺彦	連盟ニュ ース	442	手十選 1～10	福井 爽人	日 経	1.9、10、 13、16、17、 19、20、23、 24、26
「成都ビエンナーレ」 報告—中国現代美術 の新たな方向—	安永 幸一	〃	〃	C世代駆ける8「ニ ッポン好き」進化 文化を循環、伝統再 発見		〃	1.10

震災で消えた日常、 記憶の風化…忘れない ためのアート 町 語るきっかけに模型 「勇気もらった」を絵 に	窪田 直子	〃	1. 21	時に抗いし者たち— 私の小菩薩峠(5)	大谷 芳久	一寸	49
光十選 1～10	ハービー・ 山口	〃	2. 16、17、 20、21、23、 24、27、28、 3. 1、2	勸業博物館の時代— 明治十年頃の兼六園 をめぐって	森 仁史	〃	〃
想像力の解放十選 1 ～10	馬越 陽子	〃	3. 29、30、 4. 2、3、5、 6、10、12、 13、16	主体と客体との狭間 で—沖縄女性美術研 究(1)—	豊見山 愛	沖縄県立 博物館美 術館博物 館紀要*	2
生誕100年で記念講 演 ケージの音楽輝 き新たに 偶然性重 んじ脱西洋を意識	多田 明	〃	4. 21	美術家コロニーの形 成過程にみる日本美 術家意識の独自性に ついての研究	浅野 智子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
寄り添うデザイン十 選 1～10	橋本 優子	〃	5. 28、29、 31、6. 1、4、 5、7、8、12、 13	資料研究 「恤兵美 術展覧会」について —第一次世界大戦と 美術家たち	高階絵里加	近代画説	21
大正ポスターの女十 選 1～10	田島奈都子	〃	6. 18、19、 21、22、25、 26、28、29、 7. 3、4	研究発表(要約) — 八八〇年代の美術行 政—山高信離を中心 に—	野呂田純一	〃	〃
イスラムの動物十選 1～10	榊屋 友子	〃	7. 16、17、 19、20、23、 24、26、27、 30、31	赤城と美術 猪谷六 合雄と東宮鐵男	谷内 克聡	群馬県立 近代美術 館研究紀 要	7
窓辺の情景十選 1～ 10	篠 雅広	〃	8. 2、3、6、 7、9、10、 13、14、16、 17	三井呉服店における 高橋義雄(簪庵)の美 術館構想と美術鑑賞 教育—欧米留学と日 本美術の発見	田中 裕二	芸術学	15
外資の美術支援独自 の目 国宝など修復 ・市場拡大後押し	富田 律之	〃	8. 4	創刊750号記念大特 集 古事記 日本の 原風景を求めても っと知りたい4 古 事記はどう描かれた のか?	真住 貴子	芸術新潮	750
別府の歴史 絵はが き慕情 明治末期の ものから40年で数万 点、隆盛ぶり一目で	古城 俊秀	〃	8. 6	特集 西洋美術とジ ェンダー—視ること の制度 日本戦後美 術のジェンダーを考 える	中嶋 泉	言語文化	29
音楽と美術の間で 千住明さんに聞く 魂に響く「アート」を 追求	伊奈 久喜	日経夕刊	4. 21	特集1 美術館開館 当時、一九五〇年代 の美術をめぐって 昨日の美術と今日の 美術	野田 吉郎	現代の眼	596
国際展相次ぎ開催 アジア美術 成熟の 自覚	菅原 教夫	読 売	11. 9	『具体』—ニッポン の前衛18年の軌跡 展関連シンポジウム 『具体』再評価の過 去と現在抄録	山田由佳子 編集	国立新美 術館ニュ ース	23
日本美術史				『國華』にみる新来 の中国絵画—近代日 本における中国美術 観の一事例として—	久世夏奈子	国 華	1395
「外地の郷土」を生 きた—黄土坡美術協 会の人びと	田中 益三	あいだ	196				
インスピレーション アート 池袋モンパ ルナスと渋谷ユート ピア	暮沢 剛巳	A X I S	156				
文化創造の図像学 日本の宗教空間と身 体 文化創造の図像 学	阿部 泰郎	アジア遊 学	154				

調査報告 佐賀美術協会出品者一覧—第五十一回展以降—	伊藤 優	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	36	特別寄稿 百年前に生まれた日本画家たちのこと	野地耕一郎		
皇室技芸員関係書類(東京国立博物館保管)概要	横溝 廣子	三の丸尚蔵館年報・紀要	17	特別寄稿 「写真」という前衛	本江 邦夫		
2011年の歴史学界—回顧と展望— 日本		史学雑誌	121-5	九州派作品の社会的主题—交流のあった雑誌の性格から—	鄭 賢娥 美 学	240	
古代 八	高梨 純次			一九三〇年代初頭における展示デザイン—ドイツ工作連盟主催「映画と写真」展の日本巡回を中心として—	江口みなみ	〃	241
中世 六 美術	山本 聡美						
一四 美術	五十嵐公一						
ジョルジュ・ド・トレッサンの室町時代の絵画論—水墨画はどのように評価したか—	南 明日香	ジャポニスム研究	32	平成二十三年度東支部例会 『國華』にみる新来の中国絵画—近代日本における中国美術観の一事例として—	久世夏奈子 美術史	172	
ラフカディオ・ハーンと石仏の美—横浜から熊本までの時—	永田雄次郎	人文論究	61-4				
博覧会における「帝国の緊張」—第五回内国勧業博覧会(1903)における内地観光事業と台湾館出展事業—	阿部純一郎	椋山女学園大学文化情報学部紀要	11	スードの道のり「めぐ絵画 日本のスード1880—1945」展	北澤 憲昭 美術手帖	965	
				SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 CRITICAL POINT		〃	967
ヨーロッパ原理: 男性原理としてのシュルレアリスム—日本におけるシュルレアリスムの受容と変容—	瀬本 阿矢	高梨学術奨励基金年報	H23年度	1 近代美術の先駆者たち 江戸との狭間で—異種混合のエネルギー—	古田 亮		
一九二〇—五〇年代のサブカルチャーにおける美術史叙述—娯楽による公衆への美術史普及—	太田 智己	東京芸術大学美術学部論叢	8	2 絵画表現の屈折点	山梨絵美子		
「MOTコレクション」展開連シンポジウム「現代美術史をいかに語るか—クロニクル/アナクロニクル」採録	藤井 亜紀	東京都現代美術館年報・研究紀要	14	3 彫刻表現の屈折点 生命主義から構築的モニュメンタリティーへ	高橋 幸次		
§ 前文 §				4 モニュメントの日本近代	藤井 素彦		
講演 I 岡崎乾二郎「Populism」としての歴史主義あるいは脱出の方法としてのPop」				5 異貌の作家たち「溜まり」や「際[きわ]」に立ち上がる交混した美意識	天野 一夫		
講演 III 光田由里「トラウマと救済—戦後現代美術のミッション」				6 災害と美術 日本列島をめぐる、事前と渦中の芸術	樫木 野衣		
日仏シンポジウム「見えないものの形—中世美術における日仏比較の試み」	木俣 元一	日仏美術学会会報	31	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 あとがき 果樹の星座	北澤 憲昭	〃	〃
第43回日展を前にして		日展ニュース	146	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! 超絶技巧の絵画史 山下裕二さんが解説!	山下 裕二 談 編集部 文	〃	974
				〈小説〉特別篇 〈小説〉企画とはなんだったのか?	栗原裕一郎	〃	976

PREVIEW 第40回記念 写真画壇展 写真実画壇のレゾン・デートル	ワシオ・トシヒコ	美術の窓	343
特集 まるごと「具体[GUTAI]」!		〃	347
「具体美術協会」とは?			
Interview 平井章一	平井 章一		
「具体美術協会」という現代美術の始まり:日本の固有性を模索する	千葉 成夫		
特集 まるごと「具体[GUTAI]」! 検証欧米における日本戦後美術の受容		〃	〃
「東京1955—1970」展がみせるもの	ドリュンション		
アメリカにおける日本戦後美術受容	富井 玲子		
パリの「前衛芸術の日本」展からクリスティーズの「もうひとつの芸術? ミシェル・タビエをめぐる作家たち」展へ	岡部あおみ		
特集 茶の湯—スキの芸術		美術フォーラム21	25
§ 前文 §	熊倉 功夫 編		
第1部 茶の湯の系譜—近代数寄者論—実業家のネットワーク	齋藤 康彦		
特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景		〃	26
§ 前文 §	西上 実 編		
第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成—橋本コレクションと桑名コレクション	味岡 義人		
砂川闘争と美術家たち	武居 利史	府中市美術館研究紀要	16
講演五 ほんもの・にせもの	森口 隆次	八尾市文化財紀要	17
南蛮美術の光と影—泰西王侯騎馬図屏風の謎—	木崎 孝嘉	歴史学研究	892
米で注目 戦後日本の前衛美術—時代が生んだ解放・爆発	渋沢 和彦	産 経	6.27

那智の滝事件 寄稿 大阪大学名誉教授 神林恒道「聖なるもののへの感覚の欠如」	神林 恒道	〃	8.26
150年ぶり月の松 明治に台風で消失 広重「江戸百景」が復活 上野公園17日除幕	丹治早智子	東京	12.12
目は語る アート逍遙 7月 脚光を浴びる「具体」 今なお鮮烈に響く創造精神	高階 秀爾	毎日夕刊	7.11
前衛運動「GUTAI」再評価 国内外で展示、欧米中心の見方修正へ	高野 清見	読 売	8.23

### 海外美術史(アジア)

アジアの(教養)を考える 日の当たらない処に光を照らしたアジアの考古学・美術史研究	勝木言一郎	アジア遊学	150
中国陶磁器の割れ方二題	金沢 陽	出光美術館報	158
日本オリエント学会だより サライ・アルバムの中国的絵画における道教的要素	劉 晶晶 ヤマンラール水野美奈子	オリエント	54-2
水墨画の歴史を語る第三十回 画面の私たち	島尾 新珠 紫	水墨画*	275
水墨画の風景	〃	〃	
2 中国近代の水墨画			278
3 中国近代の水墨画(続)			281
4 中国絵画展の当たり年			285
趙爾萃『傲徠山房所藏五朝墨迹』試論—私家版墨跡影印集帖という存在—	菅野 智明	中国近現代文化研究	13
日韓共同シンポジウム特輯		美術研究	405
シンポジウム報告(日本会場)	田中 淳		
シンポジウム報告(韓国会場)	稲葉 真以		
特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第3部 中国美術と東アジア 中国近代美術の展開—多角的な視点から見た日本との関係	陸 偉榮	美術フォーラム21	26

目は語る アート道  
遥 1月 中国絵画  
の近代化 筆線に見  
る抽象性への志向 高階 秀爾 毎日夕刊 1.23

## 海外美術史(その他)

あいだのすみっこ不  
定期漫遊連載 稲賀 繁美 あいだ

第86～88回 世界  
美術史の海賊史観  
にむけて(1～3)  
文明の海洋史観を  
超えて(国際会議  
「インド洋、海賊  
と美術史」より)

192～194

第91回 「バッタ  
モン」の再来, Bat-  
tamon Returns —  
翻訳の政治学と全  
球化への抵抗

198

文化創造の図像学  
日本の宗教空間と身  
体 II 森羅万象の図  
像化—食・病・死  
病の図像学的解釈の  
試み—結核とその周  
辺

福田 真人

アジア遊  
学

154

〈予言文学〉の世界 I  
宗教・信仰と〈予言  
文学〉「夢と幻」—ベ  
アトウス写本の「ネ  
ブカドネツアル王の  
巨像の夢」

宮内ふじ乃

〃

159

絨毯研究の方法と今  
後の可能性

鎌田由美子

明日の東  
洋学

28

翻訳「ヨーロッパ  
における素描の歴史  
と技法」(4)

シャルル・  
ド・トルナ  
イ 森田 義之、  
上月 裕子  
訳

五浦論叢

19

研究ノート(原典資  
料研究) サミュエル  
・ファン・ホーホ  
ストラーテン『絵画  
芸術の高き学び舎へ  
の手引き』

深谷 訓子

尾道大学  
芸術文化  
学部紀要

11

日本オリエント学会  
だより

オリエン  
ト

54-2

第55号墓(ラモー  
ゼ墓)における列  
柱前室の改変につ  
いて—エジプト・  
アメンヘテプ3世  
期の大型岩窟墓に  
関する建築的調査  
—

柏木 裕之

テーベ岩窟墓第47  
号墓の発掘調査に  
ついて

近藤 二郎

エジプト西方砂漠  
ハルガ・オアシス  
アル・ザヤーン神  
殿遺跡の調査—神  
殿装飾からのアプ  
ローチー

田澤 恵子

王家の谷・西谷、  
アメンヘテプ3世  
王墓出土の副葬品  
について

河合 望

近代イギリスの中国  
イメージ再考—柳模  
様と Britain's Chine-  
se Eye—

東田 雅博

金沢大学  
歴史言語  
文化学系  
論集

4

研究小話 試論 生  
きつづける古典古代  
—近代美術と神話の  
世界

佐藤 聖子

群馬の森  
美術館ニ  
ュース

1 近代の夜明け  
から第一次世界大  
戦まで

148

2 2つの世界大  
戦のはざままで

149

ガリレオと美術—近  
代天文学の祖におけ  
る科学と美術の関係

金山 弘昌

芸術学

15

大特集 浮世絵 vs.  
世界のエロス 春画  
ワールドカップ

芸術新潮

746

Team Peru 古代ア  
ンデス文明の性と  
死

関 雄二

Team Ancient Gre-  
ece & Rome ファ  
ロスの王国

田中 雅志

World News

前橋 重二

〃

New York「ルネサ  
ンスの肖像 ドナ  
テッロからベッリ  
ーニまで」展 横  
顔から4分の3正  
面観へ 肖像のル  
ネサンス史

〃

New York「ビザン  
ティウムとイスラ  
ム 移行の時代」  
展 キリスト教と  
イスラム教 平和  
的共存の証明

750

Washington, D. C.  
「アフリカの宇宙  
星の芸術」展 手  
をのばせばその先  
に宇宙 アフリカ  
文化を彩る7千年  
のコスモロジー

755

失われたパリの復元

鹿島 茂

〃

II 大改造前史  
ルテキアからパリ  
へ

746

III 続・大改造前史 シャルル五世の城壁			747	連載 再建への意志：図面のなかの都市復興 no.5 ネロの黄金宮とローマ市改造計画	桐敷真次郎	建築雑誌	1632
IV 続々・大改造前史 パリのルネッサンス			748	学界展望 トルコ建築史・都市史	川本 智史	建築史学	58
V 大改造前史終章 太陽王から平等公へ			749	開館30周年記念特別展 あんな話こんな話「南蛮美術の光と影」王侯の剣、人々の祈り	塚原 晃	神戸市立博物館だより	102
VI 大革命後一消滅と出現			750				
VII ナポレオンの甥、ロンドンに亡命してパリ大改造を妄想する			751	古代末期におけるキリスト教と異教の並存の一例—イタリア国ソルマ・ヴェスヴィア—ナ在ローマ時代遺跡	向井 朋生	国立西洋美術館研究紀要	17
VIII これより本編、マルシアル『いにしえのパリ』をひもときながら			752	調査報告 トロス司教座聖堂発掘報告(二〇一一年)		史 苑	187
IX 『従妹ベット』または復讐する女神の地図			753	一建築上の所見を中心に	浦野 聡		
X 『ガンバラ』またはフロワマント一通りの破滅の音楽			754	一聖堂装飾遺物を中心に	田中 咲子		
XI 太陽小路で逢いましょう 老翁ユロ男爵の蜜の家			755	調査報告 トロス司教座聖堂出土碑文の概要(二)二〇一一年度の発掘から	師尾 晶子	" "	" "
XII 去年の雪いまは何処 悪の殿堂パレ・ロワイヤル盛衰史			756	『十三世紀フランス語聖書』(Bible française du XIIIe siècle)彩飾写本研究：オクスフォード、クライスト・チャーチ図書館所蔵《新約聖書》について	駒田亜紀子	実践女子大学美学美術史学	26
活きている洞窟壁画ヘルツォークが撮ったショーヴェの美	港	千尋	"	747			
特別対談 原田マハ×宮下規久朗 ヴェネツィアで展開した「視覚の冒険」	原田 マハ、 宮下規久朗	対談	"	752	特集「島」サルディニア島、ある地中海世界の風景	陣内 秀信 紫 明	31
大特集 永遠のイスタンブール 東西の美と出会う都 第I章 ビザンティンの遺産	益田 朋幸 解説	"	"	753	シンポジウム報告 西洋における中国／日本 17～19世紀のシノワズリーとジャポニスム	藤原 貞朗 ジャポニスム研究	32
特集 西洋美術とジェンダー—視ることの制度		言語文化	29		聚美夏題 影響の連鎖としての美術史	千足 伸行 聚 美	4
貧者のジェンダー—近世イタリアの救貧主義と貧者像の変容	新保 淳乃				オルレアン家詩歌帖の世界 その5 貴婦人とリス 指輪刻印『文法用語をまじえる6行詩』及び図像注解	田桐 正彦 女子美術大学研究紀要	42
教会装飾と女性芸術家—両大戦間期を中心としたフランスにおける宗教、植民地主義、モダニズムとの関わりの中で	味岡 京子				現在通信 From NEW YORK ハブニングの始原	富井 玲子 新美術新聞	1273
					PARIS 発 フォーヴを支えたル・アーヴルの蒐集家	安部 雅延 "	1293

シャルトル大聖堂の ステンドグラス 《Baie48: 聖ヨハネ 伝の窓》—その5—	高野 禎子	清泉女子 大学紀要	60	中世都市ペルーシア の形成	北村紀久子	〃	〃
特集 美術と検閲		西洋美術 研究	16	カベスタニ教会堂テ インパヌムについて —その主題と図像学 的解釈	石井 真理	日仏美術 学会会報	31
座談会 芸術と検 閲 美術・文学・ 音楽	長木 誠司、 野崎 敏、 中村 俊春、 三浦 篤 司会			例会発表要旨 第118 回例会: 中世後期に おける聖書と美術— 越境するテキスト		〃	〃
キリスト教図像の 規範と自由をめぐ る—考察 13世紀 における『詩編』 109編のイニシアル 装飾と「詩編の 三位一体」	木俣 元一			教訓聖書 Bible moralisée の転義 的解釈—《ヤコブ の夢》と「隅の石」 の図像解釈の試み	木田沙弥佳		
ユーゴスラヴィアの 農民による芸術活動 (フレビネ派)—展覧 会報道にみる初期活 動	嶋田 紗千	世田谷美 術館紀要	13	フランス語聖書系 彩飾写本の展開— 十字軍遠征とその 余波	駒田亜紀子		
15世紀の西欧にお ける聖地エルサレム模 造の変化と展開	関根 浩子	崇城大学 芸術学部 研究紀要	5	例会発表要旨 第119 回例会:		〃	〃
ローマ、ヴィッラ・ マダマのロジャ装 飾研究	深田麻里亜	高梨学術 奨励基金 年報	H23年度	カベスタニの親方 —ノートル＝ダム ・デ・ザンジュ教 会所蔵のティンパ ヌムを中心に	石井 真理		
試論: 古代美術から 中世美術へ—テサロ ニキ、アギオス・ゲ オルギオス聖堂(ロ トンダ)の建築・図 像・銘文—	海老原梨江	〃	〃	ジャン・ピュセル 『ジャンヌ・デヴ ルールの時書』の 再検討—「キリス トの復活」と「聖王 ルイの墓」を中心 に	古本 高樹		
西洋中世詩篇の写本 工房に関する研究	辻 絵理子	〃	〃	例会発表要旨 第121 回例会: イタリアの 光 前衛と古典主義 —1910—1920年代の フランスとイタリア における画家たちの 作品と著述	阿部 真弓	〃	〃
聖ベルナルの清貧 思想と比率の形而上 学における光の空間 —聖アウグスティヌ スとル・トロネ修道 院の回廊を中心とし て—	鈴木 元彦	多摩美術 研究	1	ワークショップ 1920～30年代の美術 史家と美術批評家— フランス美術史編纂 の歴史研究試論(3)— フランス中世美術 と美術史編纂の諸問 題	藤原 貞朗 泉 美知子 松岡新一郎	〃	〃
〈母〉の聖性表現につ いての試論	石倉 敏明	多摩美術 大学研究 紀要	26	オスティア・ディオ スクロイの家にお けるヴィーナスを描 いたモザイクの製作過 程に関する復元的考 察 オスティア・ロ ーマ都市研究 I	堀 賀貴	日本建築 学会計画 系論文集	671
シエナ大聖堂下堂壁 画についての記述な らびにその旧約伝場 面に関する考察	小野 迪孝	東海大学 紀要教養 学部	42	ベルギー・ウイにお けるノートル＝ダム 参事会聖堂の建設過 程に関する考察 11 世紀から14世紀にか けてのクリプトと地 上聖堂の形態(その 1)	柘植 雅美	〃	674
ウェヌスとアモルの 王国—ヴィッラ・マ ダマ装飾における教 皇レオ10世の治世の 寓意—	深田麻里亜	東京芸術 大学美術 学部論叢	8				
須磨コレクションの 調査報告書(四)	ヘスス・グ ティエレス ・ブロン 豊田 唯 訳	長崎県美 術館研究 紀要	5				
イタリア王国建国期 の対日本政策 養蚕 外交から美術外交へ	河上 真理	日伊文化 研究	50				



サン・ミゲル・デ・エスカラダ教会堂における円柱使用法について 中世キリスト教建築とイスラム建築における円柱の使用方法に関する研究(1)	伊藤 喜彦	"	675	「縫う女性」の表象—『ゴードイズ・レディズ・ブック』を手がかりに—	平芳 裕子			
ギリシア古代都市メッセネにおける劇場のローマ時代舞台建物の復元試案	岩田 千穂 吉武 隆一 伊藤 重剛	"	678	展覧会評 「天国の宝物：中世ヨーロッパの聖人、聖遺物、信仰」展(大英博物館、2011)	浅野ひとみ	美学美術史研究論集	26	
初期アルメニア正教会堂建築の教会堂主要部構成内部における上部架構の構築方法—アルメニア共和国におけるキリスト教建築の研究3—	藤田 康仁	"	679	若者とアリユバロス—古代ギリシアの運動選手墓碑における「アリユバロス・タイプ」の成立背景—	田中 咲子	美術史	172	
資料翻訳 ローン・キャンベル『ルネサンス・ポートレイト』(1990) 第9章「イタリアと北方」	西 美弥子	bandaly	11	平成二十三年度東支部例会		"	"	
リッポ・ディ・ダルマジオからガイド・レーニヘーカルロ・チェーザレ・マルヴァジアの美術史叙述におけるひとつの系譜とその形成のための要因—	高橋 健一	美 学	240	プロヴァンス地方の装飾祭壇テーブル群(五—十二世紀)—再考と問題提起—	奈良澤由美			
例会・研究発表会要旨		"	"	『十三世紀フランス語聖書』(Bible française du XIIIe siècle) 彩飾写本の展開—西ヨーロッパと聖地、聖俗の狭間で—	駒田亜紀子			
ビザンティン聖堂装飾のアイコンとナラティヴ	益田 朋幸			平成二十三年度西支部例会 十七世紀フィレンツェにおける「展覧会」—サンタン・ニオ・アバーテ・ディ・ノッテ同信会の事例をもとに—	坂本 篤史	"	"	
ロンドン国際シュルレアリスム展(一九三六年)にみる「相隔たるもの同士の並置」をめぐる諸問題	石井 祐子			第六十五回全国大会研究発表要旨 《トラヤヌス帝記念柱》と《マルクス記念柱》浮彫にみられる「馬」の表現	中西 麻澄	"	173	
アフリカ芸術の刷新とフランス植民地行政—ジョルジュ・アルデイの「黒人芸術」論を中心に—	柳沢 史明	"	241	《ディオニュソス》と《ペプロフオロス》—ソンマ・ヴェスヴィアーナ出土の二体の大理石像	芳賀 京子 青柳 正規	美術史学	33	
第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨		"	"	史料翻訳 カーレル・ファン・マンデル『絵画の書』(一六〇四)(一四)	深谷 訓子 尾崎 彰宏	"	"	
森田慶一『建築論』の「全一」概念について—ヴァレリー『エウバリノス』との関わり—	市川 秀和			カッパドキア円柱式聖堂群の装飾プログラムと制作順	菅原 裕文 益田 朋幸	美術史研究	50	
ベルギーの《ガリツィン祭壇画》とフランドル派の《磔刑》との関係—カ・ドーロにあるファン・エイク派の《磔刑》を中心に—	江藤 匠			研究ノート 西洋中近世における像を用いた儀礼をめぐるノート	秋山 聰	美術史論叢	28	

SPECIAL FEATURE  
Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS THEORY & PRACTICE スーパーラットの『種の起源』をたどる 論考 02 シチュエーション・インターナショナルとその遺産 1960年代から Chim ↑ Pom まで

特集 耽美的な世界へようこそ

世紀末芸術の生んだ耽美的世界

「水と女性」の魅力

二十世紀美術断想 1

特集 めくもりの表現 触れたくなる絵画 ④技法講座 VOL.26 西洋の巨匠が描くめくもり

文化遺産の感情形成—20世紀初頭フランスの教会堂保護運動における思想展開

『愛に囚われし心の書』の挿絵について—読む人—

フランスの博物館史素描

風景の虚構化または虚構の風景化(1)—自然風景画と都市風景画について—

「エウロペの誘拐」—文学と絵画—

カナダ北西海岸の先史アート

史料紹介 パルテノン神殿のフリーズ彫刻について

オフリド周辺の「キリスト三態」に関する覚書

《アヴィニョンのピエタ》の寄進者像表現

博士論文概要 11世紀のイベリア半島の装飾写本—“モサラベ美術”からロマネスク美術へ—

松井みどり 美術手帖 964

美術の窓 342

池上 英洋

高宮 利行

栗津 則雄

太田美喜子 談

泉 美知子

田中久美子

臺 由子

北山 研二

高木 昌史

関 俊彦

中村 るい

益田 朋幸

勝谷 祐子

久米 順子

文化資源学 10

文星紀要 23

MUSEUM STUDY 23

ヨーロッパ文化研究 31

立正史学 112

歴史と地理 656

早稲田大学大学院文学研究科紀要 57

〃 〃

美・博ピックアップ 文化育んだ「黒猫」の夜 群馬県立近代美術館「陶酔のバリ・モンマルトル 1880—1910」

海外通信 @ロンドン ラファエル前派緻密な描写、心揺さぶる

南仏の祭壇 時をかける 1000年以上前の物も再利用、15年間で450件調査

入門講座 絵でよむ アダムとイヴ 1〜4 原罪と追放「人間とは何か」凝縮

目は語る アート逍遙 8月 ドビュッシーと文芸 多彩な交友 新時代の息吹

いにしえとの対話 清教徒が墓に刻んだ髑髏

## 保存修復

日本における修復技術の変遷

ICA プリスベン大会及び AICCM における修復ワークショップ

陶磁器における色彩と素材研究

インスピレーション 建築 京大・吉田寮の「動態保存」

活動レポート 東日本大震災による被災文化財等救出状況

文化財レスキュー活動

歴史的な琉球漆器の科学分析と漆工技術

特別展「アルケオメトリア」 巧妙な修復

大分県内に所在する仏画・仏像の彩色に関する科学的調査

天福寺奥院仏像群の放射性炭素年代測定(AMS 測定)

蒔苗沙都子 朝日夕刊 2.1

菅 伸子 〃 10.31

奈良沢由美 日 経 2.8

岡田 温司 日経夕刊 6.7、14、21、28

高階 秀爾 毎日夕刊 8.9

月本 昭男 読売夕刊 2.20

増田 勝彦 Archives 48

中島 郁子 〃 〃

太田 公典 梅本 孝征 佐藤 文子 杉山 豊彦 愛知県立芸術大学紀要 41

ぼむ 企画 A X I S 156

赤沼 英男 岩手県立博物館だより 133

岩手県立博物館年報 H23年度 報

本多 貴之 宮腰 哲雄 宮里 正子 岡本 亜紀 よのつち\* 8

宮尾 亨 Ouroboros 43

石川 優生 平尾 良光 山田 拓伸 大分県立歴史博物館研究紀要 13

綿貫 俊一 株式会社加速器研究所 〃 〃

平成22・23年度美術作品修復報告	美 仲村美奈子	沖縄県立博物館美術館 博物館紀要*	2	紙本墨書「費錫章書」保存修復報告書	上江洲安亨 関地 久治 箭木康一郎	首里城公園管理センター年報*	2
日本オリエント学会だより スーダン共和国における彩色壁画について	関廣 尚世 村治 笙子	オリエン ト	54-2	「黒漆牡丹唐草螺鈿堤重」保存修復報告書	上江洲安亨 室瀬 和美 大西 智洋	〃	〃
南イタリア中世壁画群診断調査プロジェクト 2012年度フィールド調査の実施		プレスコ壁画研究センター ニュース*	4	紙本墨書「中山楽童子向惟新」保存修復報告	上江洲安亨 當間 巧	〃	〃
研究ノート 土器に付着した白色物質の推定に関する予察 その二	加藤 和歳	九州歴史資料館研究論集	37	「馬姓家譜 支流 豊平親雲上」保存修復報告	上江洲安亨 宮城 誠	〃	〃
東日本大震災一文化財レスキュー	宮川 禎一	京都国立博物館だより	173	「馬執宏家御願関係史料」保存修復報告	〃	〃	〃
慶應義塾所蔵作品調査・保存活動		慶応義塾大学アート・センター年報	19	七条織樹皮色袈裟の復元模造	白井 進	正倉院紀要	34
上野の杜の波瀾万丈 第十三回 日本美術の保護 後篇	吉田千鶴子	芸大通信	24	年次報告	成瀬 正和 ほか	〃	〃
法華堂須弥壇修理のその後	今西 良男	華 厳	95	東日本大震災の被災文化財救済・修復からの新たな取り組み	大和 智	絲綢之路	68
特集 残されしもの、生かされしもの 第1部 残されし文化財		建築雑誌	1631	東日本大震災の被災地を行く一陸前高田市からの報告	小宮 浩	〃	〃
地域の文化財建造物にゆっくりと迫る危機	藤川 昌樹			高松塚古墳壁画の今一壁画発見四十年をむかえて一	建石 徹	〃	69
被災した文化財建造物に対する修復理念	武藤 正幸			震災からの完全復興をめざして～五浦からの便り～	三輪五十二	〃	70
「残されし歴史的建造物」の構造修復に向けて	花里 利一			震災から1年余一ベンガラ色鮮やかに、創建時に限りなく近く復旧！ 復興のシンボル五浦「六角堂」再建 竣工式典4月17日開かれる		新美術新聞	1279
特集 広島[ヒロシマ]・長崎[ナガサキ] 第3部 読み直され、継承されるヒロシマ・ナガサキ 広島における被爆建造物の保存運動	石田 雅春	〃	1635	報告 文化財レスキュー事業：東北の美術品・文化財を守る	村上 博哉	ゼフュロス	51
特集4 無形文化財保持者の手によって復元される国宝1号・崇礼門	李坂野 光杓 慎治 訳	コリアナ	19-3	震災対応		ZENBI	1
三重県指定文化財『資経本斎宮女御集』の修復について		斎宮歴史博物館研究紀要	21	気仙沼市における文化財レスキューの状況	川島 秀一		
「春日権現験記絵」の修理 修理状況と調査概要の報告(一)	太田 彩	三の丸尚蔵館年報・紀要	17	全美 陸前高田市立博物館美術作品等救援活動について	浜田 拓志		
				全美事務局の初期活動と石巻レスキュー	村上 博哉		

全美フォーラム04 陸前高田市立田中中 学校で被災した4点 の作品	田中 善明	ZENBI	2		10 バンクオブア メリカ・メリルリ ンチの文化財保護 プログラムの協力 を得て重要文化財 「五龍図巻」の修理 始まる			712
文化財建造物修理現 場だより 国宝 園 城寺新羅善神堂保存 修理工事	菅原 和之	全文連文 化財通信	83		12 被災文化財の 処置はこれからが 本番			714
資料の保存と修復— 東日本大震災の被災 現場に発生から十日 目に入って—	坂本 勇	千葉県の 文書館	17		14 文化遺産を脅 かす危機について 考える(その1)			716
シンポジウム 災害 と歴史資料の保存— 何のため・誰のため に遺すのか—		地方史研 究	359		収蔵作品の修復およ び保護処理報告(2)	山口 孝子	東京都写 真美術館 紀要	11
開催の意義と展望 について	地方史研究 協議会 学 術体制小委 員会				進路としての文化財 保存修復	門脇 豊	同志社大 学博物館 学年報	43
《基調報告》地域・ ふるさと、そして 歴史資料	小田 康徳				I. 展覧会およびそ の調査から展開する 地域文化遺産の保護 活動 白鷹町塩田行 屋の仏像(町指定文 化財および新海宗慶 ・竹太郎作の明治期 諸像)を事例として	岡田 靖 宮本 晶朗	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	2
震災発生後一年、 被災地における資料 保存の現状と課題	本間 宏				II. 地域の文化財に 対する修復と保存処 置 東洋絵画修復室 における掛軸作品の 修復と調査からの考 察	大山 龍顕	〃	〃
歴史資料の調査と 自治体の役割	平井 義人				特集 東日本大震災 被災文化財救済活動 への取り組み	米村 祥央 藤原 徹 岡田 龍顕	〃	3
シンポジウム「災 害と歴史資料の保 存」によせて	澤村 怜薫				大江町所蔵中の畑雷 神社「御戸帳」の保存 修復	半田 正博 大山 龍顕	〃	〃
シンポジウム「災 害と歴史資料の保 存—何のため・誰 のために遺すのか —」について	吉田 優				白鷹町文化交流セン ター主催「白鷹町 の仏像1 中世から 明治の仏像 塩田行 屋の仏たち」展に関 する業務補助	米村 祥央	〃	〃
シンポジウム「災 害と歴史資料の保 存」に参加して	小島 道裕				学芸員ノート 古代 アンデス染織品にお ける赤色染料の同定 (第2報)―使用染料 の変遷についてのま とめ―	井上 則子	遠山記念 館だより	44
東日本大震災におけ る香取市の文化財の 被災状況と復興への 取り組み	川口 康	〃	〃		吾妻古墳の電気探査 結果と石室位置につ いて	中村 享史 辻本 崇夫	とちぎ埋 文センタ ー紀要*	20
考古美術収蔵庫の害 虫調査	飯降 美子	天理参考 館報	25		栃木の発掘調査と理 化学分析(その5)― 樹種同定による建築 構材材の様相(1)―	芹沢 清八	〃	〃
修復研究業績 東京 芸術大学蔵 木造薬 師寺三層裳階付大塔 模型		東京芸大 保存修復 彫刻年報*	2011年度		談山神社の外装塗装 に使用された塗装材 料の研究	赤田 昌倫 高妻 洋成 大林 潤	奈良文化 財研究所 紀要	2012
100年後の未来にバ トタッチ! 保存 と修理情報	神庭 信幸	東京国立 博物館ニ ュース						
9 重要美術品 柳橋水車図屏風の 修理が完了しまし た			711					

木造神像彫刻の非破壊 年輪年代調査—奈良 文化財研究所保管 の木造男神像・女神 像を事例として—	大河内隆之 児島 大輔	〃	〃	染織品の展示と方法 について—「所蔵作 品展 岩崎博染織コ レクション受贈記念 シルクロードをめぐ る布の旅」の場合—	福田 浩子	広島県立 美術館研 究紀要	15
宗像市田熊石畑遺跡 出土武器型青銅器の 保存処理	高妻 洋成 脇谷 草一郎 田村 朋美 辻本 與志一	〃	〃	小特集 重要文化財 大阪府美園古墳出土 埴輪の保存修復		文 化 財*	587
藤原宮木簡の樹種	山本 崇 藤井 裕之	〃	〃	保存修復の経緯と 概要	和田一之輔		
平成の大修理	木暮 道樹	日光山輪 王寺	81	美園古墳出土埴輪 の保存修復	江野 朋子		
寺宝修理報告 木造 日天像 木造閻魔天 像 絹本着色芭蕉翁 像(小川破笠筆)		〃	〃	特集 名勝の保護 名勝の価値を次世代 へと伝えるために— 新類型の発見とその 望ましい保存管理の 在り方—	本中 眞	〃	589
保存修理工事10年経 過時の建物調査と評 価—重要文化財自由 学園明日館の保存再 生 その2—	杉江 夏呼 花里 利一	日本建築 学会計画 系論文集	672	研究報告 武家文化 財調査修復事業につ いて	伊達 元成	噴火湾文 化	6
修復方針決定までの 議論 国際協力によ るボロブドゥール遺 跡修復事業 その2	安田 梢 平賀あまな 斎藤 英俊	〃	677	蛍光撮影法を用いた 材料の識別	城野 誠治	鳳翔学叢	8
讃岐国分寺本堂の昭 和修理	三浦 要一	〃	681	「国宝平等院鳳凰堂 内西面屏絵日想観」 の学術的復元模写に よる保存に関する研 究(二)	荒木 恵信	〃	〃
重要文化財建築物の 動態保存における維 持管理の現状と運営 方策に関する研究	李 榮蘭 齋藤 榮 榊田 佳寛 小西 敏正	〃	682	平等院 ガラス容器 の截金文様復元につ いて—作業報告—	小椋 範彦 松崎 森平	〃	〃
文化財レポート 宮 城県における文化財 レスキュー事業	小谷 竜介	日本歴史	765	平等院鳳凰堂 建築 装飾調査及復原(二)	馬場 良治	〃	〃
例会・研究発表会要 旨 保存・修復にお けるコンテンツボラ ー・アート—チェー ザレ・ブランディの 理論とその「現代的 性」	田口かおり	美 学	240	厳島神社大鳥居修理 のための充填材料評 価試験	早川 典子 ほか	保存科学	51
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 2 ATELIER 神技テク ニックを徹底解剖4 東京藝術大学大学院 文化財保存学 伝統 的な技法を学び、後 世に伝える	永峰 美佳	美術手帖	974	泰西王侯騎馬図屏風 の彩色材料調査	早川 泰弘 城野 誠治	〃	〃
資料紹介 南禅寺本 坊大方丈襖絵のデジ タル手彩色再現制作	原田 平作	美術フオ ーラム21	25	重要文化財元禄およ び天保国絵図に使わ れた彩色材料と色彩 表現に関する考察	吉田 直人 早川 泰弘 村岡ゆかり 杉本 史子	〃	〃
最近の調査成果から (考古資料の非破壊 分析)	岡本 一秀	兵庫県立 考古博物 館研究紀 要	5	霧島神社の塗装部位 から分離された糸状 菌の諸性質	佐藤 嘉則 ほか	〃	〃
水損資料凍結乾燥の 取り組み	〃	〃	〃	ハギア・ソフィア大 聖堂の屋内外環境と 劣化状態	小椋 大輔 ほか	〃	〃
				旧日本郵船小樽支店 の建築部材の劣化と 保存対策	高見 雄三 石崎 武志	〃	〃

石塔に対する履屋の保護効果に関する研究	朽津 信明	保存科学	51	手宮洞窟保存館内の室内温度環境調査	高見 雄三 石崎 武志	〃	〃
日本における近世以前の修理・修復の歴史について	〃	〃	〃	展示収蔵環境で用いられる内装材料の放散ガス試験法	古田嶋智子 呂俊民 佐野 千絵	〃	〃
水・塩分で被災した資料の殺菌燻蒸の注意点：資料中の水分・塩分による副生成物の生成量の調査結果について	木川 ほか りか	〃	〃	フィルム保管庫における酢酸雰囲気改善の試み	佐野 千絵 ほか	〃	〃
津波等で被災した文書等救済法としてのスクウェルチ・ドライイング法の検討	小野寺裕子 ほか	〃	〃	ハギヤソフィア大聖堂における無線式常時環境計測システムの開発	小泉 圭吾 ほか	〃	〃
キトラ古墳から分離された細菌や酵母の修復用高分子材料に対する資化性試験	木川 ほか りか	〃	〃	ハギア・ソフィア大聖堂内壁画の析出塩類の調査	佐々木淑美 ほか	〃	〃
キトラ古墳の微生物調査報告(2011)	〃	〃	〃	こけら屋根に用いた銅板の防腐効果について	藤原 裕子 藤井 義久 木川 りか	〃	〃
日光の歴史的建造物における木材害虫・シバンムシ類の効果的な捕獲方法の検討	木川 ほか りか	〃	〃	展示公開施設の館内環境調査報告—平成22年度—	吉田 直人 林 美木子 佐野 千絵 石崎 武志	〃	〃
日光の歴史的建造物で採取した虫糞調査：シバンムシ科甲虫各種間の虫糞形状比較	小峰 幸夫 ほか	〃	〃	東日本大震災 被災文化財レスキュー		埋蔵文化財ニュース	148
日本の歴史的建造物における捕虫テープに捕獲された甲虫の建物内分布の解析と考察	林 美木子 ほか	〃	〃	岩手県立博物館における海水損資料レスキュー活動の現状と課題	赤沼 英男		
大阪商業大学商学史博物館所蔵「河内國茨田群藤田村文書」絵図の彩色材料調査結果	吉田 直人 早川 泰弘 磯永 和貴	〃	〃	文化財レスキューでの考古学研究者の役割と課題	藤澤 敦		
ガンマ線および穿孔抵抗を用いた木製柱の内部劣化の診断	藤井 義久 ほか	〃	〃	水損文書類の救援活動	澤田 正昭 戸田 有二		
移動が困難な文化財の調査を目的としたX線イメージセンサーの開発	大塚 将英 ほか	〃	〃	東日本大震災への対応と課題～茨城にて～	松井 敏也		
フィルモン音帯の修復方法の開発	中山 俊介 大河原典子 池田 芳妃 安部 倫子	〃	〃	歴史資料の救済と保存科学の接点—宮城資料ネットの活動をととして—	平川 新		
霧島神社における塗装劣化要因の解明とその対策の検討	森井 順之 ほか	〃	〃	兵庫県における水損紙資料レスキュー	岡本 一秀 中村 大介 大谷 輝彦		
				水損文書の救援活動	高妻 洋成		
				東京文書救援隊の文書復旧システム—その考え方と技術	木部 徹		

被災した民俗文化財のレスキュー活動—保存科学者としての関わりから—	日高 真吾			国宝長保寺大門ほか2棟の保存修理	下津健太郎	〃	〃	
海水で被災した紙資料の洗浄と湿熱劣化試験	稲葉 久利	政満 元昭		重要文化財熊野本宮大社第一殿・第二殿ほか2棟の保存修理	御船 達雄	〃	〃	
水、塩水で被災した文化財の殺菌燻蒸計画時の注意点について	木川 ほか	りか		県指定文化財木之本八幡神社本殿の保存修理	多井 忠嗣	〃	〃	
被災文化遺産支援コンソーシアムの活動—復興支援と「防災遺産学」形成—	文化遺産支援コンソーシアム			国史跡旧名手本陣土塀の保存修理	〃	〃	〃	
報告 東京国立博物館所蔵「紺紙金字法華経」の卷子紐の復元	西岡 千鶴	MUSEUM	639	湯浅伝統建造物群保存地区保存修理の技術指導	山本 新平	〃	〃	
東日本大震災における対応と課題—ひたちなか市埋蔵文化財調査センターの場合—	松本 睦史	MUSEOLOGIST	27	登録文化財火伏医院修理の技術指導	御船 達雄	〃	〃	
歴博けんきゅう便		歴 博		重要文化財熊野那智大社第一殿ほか7棟の保存修理(災害復旧)	多井 忠嗣	〃	〃	
第41回 洛中洛外図屏風歴博甲本の復元	小島 道裕		170	CTで古代くつきり立体撮影で遺物削らず詳細解説	中村 俊介 朝 日	2.7		
第44回 東日本大震災へ取り組み	平川 南		175	甲乙閑話 パーミヤン復興 認識にずれ	木村 尚貴	〃	3.14	
技法の現場から		連盟ニュース		鑑真和上像の身代わり制作 奈良・唐招提寺		〃	10.19	
20 紙作品の素材と保存	坂本 雅美		442	飛鳥美人の40年	大脇 和明 朝日夕刊			
21 ベニヤ板と絵画保存	小谷野匡子		443	一 壁画のカビ隠され続けた			3.12	
22 キャンバスを支持体として制作する美術家の方々へ	山領 まり		444	二 重ねた修理「負の連鎖」			3.13	
平成二十二年度 修理文化財(木造)材質調査報告		鹿園雑集*	14	三 原因よそに解体強行			3.14	
平成二十一・二十二年度 修復文化財関係銘文集成		〃	〃	四 「皆の宝一緒に守ろう」			3.15	
重要文化財金剛三昧院客殿及び台所ほか1基の保存修理	結城 啓司	和歌山県文化財センター年報	2011	修復の繊細さ、母国に	香取 啓介	〃	9.21	
				高松塚古墳壁画 続く“治療”輝き戻るか	産 経	3.15		
				平安時代のお姿に 荒川の養福寺 仏像の修復開始	竹上 順子 東京	8.9		
				3・11後を生きる ボランティアのちから 文化伝える資料電子化 陸前高田の被災収蔵品	寺尾 晶子	〃	9.5	



文化財ようやく救出 福島・警戒区域の資料館	東京	9.6	下 名札流され正 体不明に 冠水の 影響予測できず	3.13
東京駅の赤れんが焼 いた ホフマン輪窓 「歴史残そう」 埼玉 ・深谷で修復検討	〃	10.22	日本の分岐点40年前 第7回 高松塚古墳 壁画発見	〃 10.21
コンパス	東京夕刊		歴史好きの国民性 が顕在化 発掘一 辺倒脱する必要	広瀬 和雄 談 伊藤 和史 聞き手
復興と遺跡保護		3.17		
匠の技		12.8		
正倉院100年ぶり修 理 新しい木材で補 強	〃	12.14	壁画劣化問題 カ ビの生息、無知だ った	栗原 俊雄
文化往来	日 経		津波越え古文書次 世代へ 地元で応急 処置 国会図書館で 修復始まる 岩手県 指定文化財「吉田家 文書」	青島 顕 〃 11.5
文化財の模刻に3 D スキャナー活用		4.23		
ポーラ美術館、薬 剤に頼らぬ虫害対 策		8.2		
愛媛の木造小学校 保存活動、米財団 から賞		10.23	検証 高松塚壁画の 劣化原因 保存努力 が裏目に 本来の吸 放湿性失いかび	佐々木泰造 〃 11.21
マヤ遺跡研究 現地 で17年 エルサルバ ドル文化庁課長に、 調査・保存に奔走	柴田 潮音	〃 7.24	さわれる『江西大墓 壁画』 東京芸大 質感そっくりで複製 中	読 売 1.4
千年輝く文字を求め て 奈良時代の「金 泥書」、紙漉きから 手法復元	福島 久幸	〃 7.26	「大仏爆破 悪夢の 日々」 パーミヤン 住民 殺すと脅され 作業	横堀 裕也 〃 1.8
世界いまを刻む 歴 史的建造物の宝庫 街並み保全へ 中・ 東欧が苦心 所有権 複雑、修復費も膨大	赤川 省吾	〃 9.9	パーミヤン遺跡 国 際シンポ 保護と地 域開発 両立が鍵	早川 保夫 〃 1.11
風待ち建築 港町の 語り部 気仙沼のレ トロな商店や旅館、 補強・修理し守る	菅原 千栄	〃 10.12	江西大墓壁画の複製 が完成 東京芸大	〃 3.7
冷泉家調査で科学的 裏付け 文化財土蔵 が守る	松岡 資明	日経夕刊 7.10	飛鳥美人 修復進む 今月21日 発見40年	〃 3.15
広角鋭角 わが町・ わが城3 復元 髪 一本分の精度	〃	11.15	「高松塚」現地保存に 壁	〃 3.28
陸前高田で被災の標 本 600点修復 北九 州の博物館	西嶋 正法	毎 日 1.31	壁画修復後、戻す 技術が課題	清岡 央 辻本 芳孝
キャンパスウオーク これが評判! 被災 者の写真修復 工学 院大作業手順マニ ュアルに	黒田阿紗子	〃 3.7	「取り外し」恥ずか しい	森 浩一 談
続被災文化財を救え	栗原 俊雄	毎日々刊	列島細見 岡山 装 飾古墳 急務の現地 保存策	末膳 悠太 〃 5.4
上 回収と修復準 備進むが疎開先の 負担も大きく		3.12	劣化進む写真フィ ルム 「歴史の記録」 保存・活用を	池田 正一 〃 10.9
			明日香村まるごと博 物館フォーラム 高 松塚古墳 尽きぬロ マン 壁画発見40年 保存・活用考える契 機に	関口 和哉 読売夕刊 7.30

## 情報処理

博物館収蔵品情報の連携とメタデータ—アメリカの動向と日本における可能性—	宮崎 幹子	アート・ドキュメンテーション研究	19	コレクションの画像の保存と活用をめぐって—デジタル完全移行を見据えての共同研究プロジェクト始動	都築千重子		
事例報告 モバイル環境におけるデジタル文化財情報の活用	佐藤 祐介	"	"	撮影側から見たデジタルアーカイブ化へ向けてのトライアルと問題点	大谷 一郎		
「アート・アーカイヴ2：プラットフォームの形成に向けて」参加報告記	成澤みずき	アート・ドキュメンテーション通信	93	考察と今後の課題	室屋 泰三		
				実験の方法と結果	原瀬 裕孝		
写真集として、事典として—『フランス19世紀同時代人ギャラリー』デジタル・アーカイブ公開の成果と意義	打林 俊	"	94	連載 ケンチク脳の活かし方 no.5 多元的デジタルアーカイブは時空を越えて記憶をつなぐ	生田 京子	建築雑誌	1638
武蔵野美術大学造形研究センターシンポジウム 「デザインコレクションとデジタル・アーカイブ」に参加して	鍋木あづさ	"	95	ある好古家のコレクション 根岸武香と眉山文庫—「国立国会図書館デジタル化資料」搭載を契機として—	大沼 宜規	国立国会図書館月報	620
全国美術館会議 情報・研究部会企画ワークショップ 所蔵作品情報の発信—《文化遺産オンライン》による実践	鴨木 年泰	"	"	現代美術における「アーカイヴ」の意義 関係性重視の発想に基づく試論	沼下 桂子	女子美術大学研究紀要	42
所蔵作品情報の発信—《文化遺産オンライン》による実践ワークショップに参加して	植木 啓子	"	"	通信 J to A アジアへ	黒田 雷児	新美術新聞	
イスラーム陶器史研究におけるデータ収集	榊屋 友子	明日の東洋学	28	32 香港のアジア美術アーカイヴ1—未来の資料			1275
日本オリエント学会だより		オリエント	54-2	33 香港のアジア美術アーカイヴ2—未来への協賛			1278
エジプト・ダハシユール北遺跡の地下遺構に対するインターネットを用いた公開方法の検討	吉村 作治 矢澤 健			全美フォーラム01 歴史資料ネットワークについて	江上 ゆか	ZENBI	1
アメンヘテブ3世王墓の埋葬室に描かれた壁画の史料化に向けたデジタル画像化—その2—	菊池 敬夫 犬井 正男 佐藤真知子 吉村 作治			「豊臣期大坂図屏風」デジタルコンテンツの制作について	井浦 崇	阡 陵	64
土方巽アーカイヴ 瀧口修造アーカイヴ ノグチ・ルーム・アーカイヴ 西脇順三郎アーカイヴ	森下、橋本、渡部、本間、記	慶応義塾大学アート・センター年報	19	「中文拓片編目規則」の導入をめぐって—NCR、NACSIS-CATおよび各機関所蔵拓本目録との比較から—	菅野 智明	筑波大学芸術研究報告	59
特集2 美術作品のデジタル記録撮影について		現代の眼	595	研究報告 アーカイヴのコンテナ(リストとカテゴリ)—「藤田嗣治資料作成」を通して	久保 仁志	東京芸術大学美術館年報	H22年度
				日本の美術界における年史編纂物—東京国立近代美術館アートライブラリ所蔵図書にみる	渡邉 美喜	東京国立近代美術館研究紀要	16
				荘園絵図模本データベースと地理情報蓄積システム	井上 聡	東大画像史料解析センター通信*	59

時評	日本美術新聞	4	露美術館の浮世絵 ネット公開 北斎、 歌麿など670点 欧 州最大コレクション	読 売	10.24
グーグル・アート プロジェクトに日 本初参加			ジュニア探検隊 シ ネマ de 文化財 世 界の美バーチャル体 験 コントローラー で自在に	ヨミウリ・ ジュニア・ プレス取材 班	読売夕刊 10.27
ルーヴル美術館と ニンテンドー3 DS					
INFORMATION			文化財行政		
NEWS Google アー トプロジェクトに日 本の美術館が参加	編 集 部	美術手帖 967	あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第89 回 「愛の錠前」に占 拠されたバリの橋一 脱美術館と観衆との 「あいだ」を考える	稲賀 繁美	あいだ 196
「文化遺産オンライ ン構想」成果報告フ ォーラムを開催	高尾 曜	文化財* 582	Report	Wave II	
連載・文化財を活か す(第13回) デジタ ルアーカイブの新しい 試みー超高精細ス ーパーハイビジョン 技術の応用ー	赤司 善彦	” 586	連載2 論説 新潟 市美術館は「改革」 でどう変わったか	編 集 委 員	4
博物館史資料(古書、 古文書・近世文章) に関するレジストレ ーション sd	森 朋久	MUSEUM STUDY 23	連載3 水土のカ ビ事件	編 集 部	5
陸前高田被災資料デ ジタル化プロジェクト の活動について	三田 良美	ムゼイオ ン 58	浦添市の文化財行政 について(4)ー埋蔵 文化財と文化財関係 法律等を視点にー	下地 安広	よのつち* 8
日本史のひろば 画 像にみる日本史教材 ー東京大学史料編纂 所データベースー	西田 友広	歴史と地 理 652	報告 東日本大震災 と文化財レスキュー	岩崎 均史	学習院大 学史料館 紀要 18
狩野派や大観をネッ トで楽しむ グーグ ル・アートプロジェ クトに国内6館	長崎潤一郎	朝 日 6.2	イタリアを展示する ー幻のローマ万博 (1942)跡地エウルの ミュージアム施設ー	サラ・デュ ルト	鹿島美術 財団年報 ・別冊 29
名作も秘宝も独り占 め リヒテンシュタ イン美術館 グーグ ル 東京国立博物館	木村 円 神崎ちひろ	” 10.23	World News Madrid 名物カフェとジョン ・コンスタブル《ザ ・ロック》をめぐつ て 緊縮財政下のヨー ロッパ お寒い美 術館事情	前橋 重二	芸術新潮 753
歴史 遺跡発掘資料 埋もれさせるな 電 子書籍めざし20府県 参加	中村 俊介	朝日夕刊 6.25	特集 残されしもの、 生かされしもの 第 1部 残されし文化 財		建築雑誌 1631
日本の美術品ネット で鑑賞 東京国立博 物館など グーグ ルのサービスに6館参 加		東 京 4.10	過去の災害情報を 受け継ぐ文化財	大和 智	
日本の美、ネットで 鑑賞 グーグル 国 立博物館など6館の 567点 無料で		日 経 4.10	東日本大震災復興 ・復興に向けての 官民協働活動ー文 化財ドクター派遣 事業	永井 康雄	
文化往来 フランス 国立美術館連合が写 真サイト		” 5.15	失われた文化財 その問題点	上野 勝久	
全国美術館での解説 動画閲覧サイト開設 大阪市立大「アート を身近に」	手塚さや香	毎日夕刊 4.19	文化財レスキュー 事業と文化財の救 済	小谷 竜介	
			建築年報2012 建築 歴史・意匠委員会活 動報告 人海戦術に よる被災調査の年	伊藤 毅	” 1636

連載 建築の争点 no.7 顕著な普遍的 価値(OUV)をめぐっ て	佐滝 剛弘	" "		運用実態から見た古 社寺保存金制度の特 質—古社寺保存金制 度の研究その1—	清水 重敦	"	681
〈記念シンポジウム〉 建築史学と災害		建築史学	59	文化財レポート 2010年度前期の史跡 等の指定		日本歴史	766
平成24年度総会記念 講演 埋蔵文化財保 護行政の現状と課題	榊宜田佳男	公立埋文 協会報	49	文化財レポート 2010年度後期の史跡 等の指定(上、下)		"	770,771
特集2 人類の無形 文化遺産の保存と韓 国の役割	韓 敬九 坂野 慎治 訳	コリアナ	19-3	視点		美術の窓	
台風十二号による熊 野那智大社の文化財 の被害状況について	朝日 芳英	絲綢之路	68	海外美術品等への 差押え等の禁止措 置(後編)	北岡 龍也		340
PARIS 発 変貌する フランスの文化政策 (3)	安部 雅延	新美術新 聞	1271	「あ・ら・カルチ ャー渋谷・恵比寿 ・原宿」運営協議 会について	益子 秀博		"
文化財レスキューの 今後に向けて 非常 時こそ、行政の縦割 り超えた MLA 連携 を	栗原 祐司	"	1280	風と土の交響 in 琵琶湖高島	清水 安治		341
平泉の世界文化遺産 としての評価基準を めぐって	入間田宣夫	世界遺産 年報	17	都市とアートのコ ラボレーション： おおさかカンヴァ ス推進事業	寺浦 薫		342
再挑戦—「平泉」の世 界遺産登録の実現	中村 英俊	"	"	「東日本支援クレ ヨンネット」のア ートセラピー活動	末永 蒼生		"
世界文化遺産「平泉」 —これからの取り組 み—	千葉 信胤	"	"	東京文化考 「東京 都文化発信プロジェ クト」 東京の文化 を世界へ		美術屋・ 百兵衛	21
2011年登録の世界遺 産		"	"	特集 世界遺産 平 泉		文化財*	580
第35回世界遺産委員 会ニュース	吉田 正人	"	"	平泉の世界遺産登 録までの道のりを 振り返る	近藤 誠一		
「ル・コルビュジェ の建築作品—近代建 築運動への顕著な貢 献—」の「記載延期」 決議を受けて	山名 善之	"	"	第35回世界遺産委 員会の概要	西 和彦		
全美フォーラム01 博物館法検討委員会 中間報告「美術館基 準(案)」の顛末	酒井 哲朗	ZENBI	2	世界遺産一覧表に 新規記載された文 化遺産の紹介	市原富士夫		
樹脂複製品の抱え る問題と将来の課題 について	和久田優子	同志社大 学博物館 学年報	43	世界遺産条約の現 状と今後	稲葉 信子		
博物館教室「昔のく らし」と市民学芸員 の参画	中川 敦之	"	"	「平泉—仏国土(浄 土)を表す建築・ 庭園及び考古学的 遺跡群—」の評価 ・審査をめぐって	本中 眞		
明治初期の博物館に おける列品分類につ いての基礎的考察— 産業政策と美術政策 の交錯—	高久 彩	東風西声*	7	世界遺産条約40周年 記念事業について	文化庁記念 物課世界文 化遺産室	"	"
文化財保護法制定後 の国宝建造物指定方 針と戦後の「国宝」概 念の形成	青柳 憲昌 岩月 典之 藤岡 洋保	日本建築 学会計画 系論文集	678	新指定の文化財	文化庁文化 財部	"	
				記念物			581
				記念物			588
				建造物			591
				新選定の文化財	"	"	

文化的景観			581	三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例3 福島県における文化財レスキュー事業の取り組み	荒木 隆	
伝統的建造物群			586			
文化的景観			588			
伝統的建造物群			591			
新登録の文化財	文化庁文化財部	文化財*		三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例4 茨城県における文化財レスキュー事業の取り組み	吹野富美男	
記念物			581			
記念物			588			
登録有形文化財(建造物)一覧 第72、73回登録有形文化財(建造物)	"	"	582、588	三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例5 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会による文化財レスキュー活動の取り組み	森井 順之	
特集 東日本大震災から1年を経過して		"	583	四 ブルーシールド国際委員会の取り組み	栗原 祐司	
巻頭言 東日本大震災で再認識された文化財の価値	近藤 誠一			特集 東日本大震災から1年を経過して記念物課の取り組み		" "
総論 被災文化財の保護、この1年の動き	大和 智			一 記念物行政からみた震災復興の兆し	文化庁記念物課企画調整係	
被災状況と復旧対策 文化財被害と復旧にかかる予算措置	文化庁伝統文化課助成係			二 史跡の被災状況と今後の課題	佐藤 和正	
特集 東日本大震災から1年を経過して伝統文化課の取り組み		"	"	三 被災した名勝の次世代への継承・再生のための施策	本中 眞	
一 「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」における被災文化財復旧への取り組み	山口 壮八			五 東日本大震災における埋蔵文化財発掘調査	水ノ江和同	
二 被災文化財の救援と修復のための寄付の呼びかけ	山口 俊浩			特集 東日本大震災から1年を経過して参事官(建築物担当)の取り組み		" "
特集 東日本大震災から1年を経過して美術学芸課の取り組み		"	"	一 国宝・重要文化建造物の被害と復旧計画	田中 禎彦	
一 被災文化財の修理と博物館の復旧に向けて	栗原 祐司			二 登録有形文化財(建造物)の被災状況	武内 正和	
二 文化財レスキュー事業の概要	森下 元文			三 重要伝統的建造物群保存地区の災害復旧	下間久美子	
三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例1 宮城県における文化財レスキュー事業の受け入れまで	小谷 竜介			四 文化財建造物の耐震対策の課題	西川 英佑	
三 文化財レスキュー事業の取り組み 事例2 岩手県における文化財レスキュー事業の取り組み	鎌田 勉			五 文化財ドクター派遣事業	田中 禎彦	
				連載・文化財を活かす		"
				(第10回)町並み保存と登録有形文化財	佐伯 治	"

(第15回)地域の中で 生きる～五斗長 垣内遺跡の保存と 活用～	伊藤 宏幸	588	「美術品補償制度」に ついて	田井 祐子	〃	〃	
(第16回)史跡根城 の広場～復元され た中世城館の活用 事例～	下村 恒彦	589	平成二十四年度海外 展報告 第36回世界 遺産委員会の概要	西 和彦	〃	590	
(第17回)史跡をま ちづくりに活かす ～最新の特別事業 から～	市原富士夫	590	世界遺産は誰のため ?—登録への長い道 のり	黒田 乃生	文化資源 学	10	
特集 選定保存技術 保護の取り組み 選 定保存技術保護の5 年	〃	584	開館40周年記念事業 「北の土偶—縄文の 祈りと心—」と被災 文化財の救援と修復	右代 啓視	北海道開 拓記念館 だより	42-2	
文化財を支える保 存技術の継承	大和 智		東日本大震災 被災 文化財レスキュー		埋蔵文化 財ニュー ス	148	
日本伝統建築技術 保存会の技術伝承 と後継者養成の取 り組み	西澤 政男		宮城県における被 災文化財への対応 に関する現状と課 題	小谷 竜介			
選定保存技術の現 状と保護のあり方	武藤 高之		大規模自然災害時 の歴史資料ネット ワークの資料保全 活動	河野 未央			
特集 選定保存技術 保護の取り組み 選 定保存技術の現状と 課題	〃	〃	山形県における東 日本被災文化遺産 の救済活動 東北 芸術工科大学と山 形県文化遺産防災 ネットワークの連 携	米村 祥央			
工芸技術分野にお ける用具・原材料 の現状と課題—用 具・原材料調査を 踏まえて—	近藤都代子		特集1 大震災から 1年… 東北の古美 術・文化財のいま 座談会 文学と美術 にできること 被災 地からの視点	高橋 克彦、 高橋 雪人	目の眼	427	
文化財修理と手漉 和紙	池田 寿		特集1 大震災から 1年… 東北の古美 術・文化財のいま レポート 現場担当 者にきく		〃	〃	
庭園・石垣の「技」 を後世に伝えるた めに—記念物関係 の選定保存技術—	本中 眞						
文化財建築を護る 「匠のわざ」	武内 正和						
埋蔵文化財関係統計 資料(平成二十三 年度版)の解説と分析	国武 貞克	〃	1 鎌田 勉さん 岩手県の取り組み	鎌田 勉 談			585
新選定物件に関する 寄稿論文	〃	586	2 小谷 竜介さん 宮城県の取り組み	小谷 竜介 談			
北関東の町並み保 全とまちづくり	河東 義之		3 本間 宏さん 福島県での取り組 み	本間 宏 談			
安芸市土居廓中の 保存とまちづくり	中川 亮		5 森下 元文さん 文化庁の取り組み	森下 元文 談			
選定保存技術の選定 ・認定	文化庁文化 財部	〃	時評 歴史資料保全 活動と地域行政—宮 城県岩沼市の震災対 応を事例に—	高橋 陽一	歴史学研 究	890	588
登録美術品による相 続税の物納について	松本 純子	〃					〃
特集 名勝の保護 事例紹介6 文化的 なまちづくりに向け た市内・名勝庭園調	板橋 稔	〃	特集 世界遺産と歴 史学習 〈インタビ ュー〉アンコールワ ット遺跡から世界遺 産を考える	石澤 良昭	歴史地理 教育	791	589

平成24年定期刊行物所載文献(総／行政)

東日本大震災の被災地から9 岩手 岩手県における文化財レスキュー	川合 正裕	歴史地理教育	794	Cool Japan 発信 官民連携で予算減挽回 オタク ヒット探す嗅覚盗め 萌え台北で「絵師100人展」	田中 靖人 産 経	3.4
歴史の眼		歴史評論				
長野県北部震災と文化財保全活動	白水 智		742	古文書の修復支援 電子書籍の収入寄付 継続的にと京極夏彦さん	〃	5.10
東日本大震災と文化財・地域史研究—栃木県在勤者の視点から—	坂本 達彦		748	文化財「返還」要求相次ぐ 朝鮮儀軌引き渡し逆効果	杉本 康士 〃	5.19
文科省科研費の不思議 学界の権威でももらえない 考古学研究大半が手弁当で応募資格は認定機関の所属者だけ	宮代 栄一 石塚 広志	朝 日	2.9	核心 富士山ここから難所 世界文化遺産目指し 国内はクリア	広瀬 和実 東 京	1.30
ニュースがわからん！ 国宝ってどう指定されるんじゃ？	木村 尚貴	〃	5.27	名古屋城本丸に実物 ふうすま絵を 河村市長が指示 市は困惑「劣化」	竹田 佳彦 〃	9.28
文化財救助、広がる対象 虫の標本・子どもの文集まで	小滝ちひろ	〃	6.6	日本発の立体交差、年内解体へ 北九州 JR 折尾駅 市、文化財調査せず「地域に人呼ぶ財産」	中山 洋子 〃	10.7
京都非公開文化財特別公開 いにしえに問いかける	綿矢 りさ 岡田 匠 聞き手	〃	10.31	近代の建築物保護を「国指定」の価値ある	清水 憲一 〃	〃
記者有論 世界遺産40周年 保存・保護を 原点に帰れ	中村 俊介	〃	12.1	平城宮跡舗装は必要？ 国2 億円工事 来春にも「当時再現」 住民団体反発「土中の木簡が傷む」	荒井 六貴 〃	11.25
発展か遺跡保護か アフガニスタン 中国企業の銅山開発地で発掘	中野 渉	〃	12.28	コンパス 無形の文化復興	東京夕刊	1.21
京都非公開文化財特別公開 古都の宝と出会う 今につながる伝統文化の魅力	佐々木丞平 談 久保 智祥 聞き手	朝日夕刊	4.2	復興の風景 上 アートで 結浜プロジェクト 住民と協力者結い生きる力学ぶ場に	三沢 典丈 〃	3.6
原爆展 無念の開催断念 目黒区美術館区の財政悪化…資料集出版へ	増田 愛子	〃	5.2	半世紀ぶりしゃちほこ新調 姫路城で据え付け	〃	6.5
被災地に派遣 文化財ドクター 木造建築の知識不足課題	木村 尚貴	〃	6.11	薬師寺東塔修理 1世紀ぶり解体	〃	〃
城郭の復元、根拠あり 実測図・写真・絵図…資料探し	宮代 栄一 木村 尚真	〃	7.9	パリ 現代美術の今 多国籍 伝統空間に挑む	岡部あおみ 〃	7.11
中国「博物館強国」計画 文化発信へ潤沢予算	小川 雪	〃	7.30	文化庁の若手アニメーター育成が軌道に	日 経	1.26
文化遺産を守る 日本の知恵を世界へ 1～4	大脇 和明	〃	10.1～4	世界 いまを刻む 文化遺産保護 ウイグル自治区風化した石窟、修復進む 日中交流が支え 担い手、日本のノウハウ活用	品田 卓 〃	3.25
京都非公開文化財特別公開 千年後もまた会いたい	菅原 信海 新木 直人 は 佐々木丞平 後藤由美子 講演	〃	10.15	被災地文化支援「続ける」枠組み 連携、国が呼びかけ 郷土芸能やアート復興の力に	内田 洋一 〃	5.5



— 105 —

北京十一学校 中学からカーデザイン習う意義とは	藤本 彰	159	事業報告 所蔵作品データベースを使った鑑賞授業の試み	山根 佳奈 採 蓮*	15
米国デザインインキュベーター最新事情	瀧口 範子	A X I S 160	「夢」は思い描くものではなく、自分の手でつかむもの。大阪芸術大学は、自分の夢をつかみ取る場所だ。	塚本 邦彦 新美術新聞	1286
実践的な知的財産教育に向けて	下尾 邦之	大阪成蹊大学芸術学部紀要 8	躍進! 21世紀の未来を切り拓く大阪芸術大学 広大なキャンパスに充実した施設、プロに徹した教授陣による実戦教育	網谷 幸二 塚本 英邦	〃 〃
ティーチャーズキットを活用した授業の実践	大城 直也	沖縄県立博物館美術館博物館紀要* 2	全美フォーラム02 「博物館における青少年教育」 ドイツ派遣事業に参加して	一条 彰子	ZENBI 3
研究報告 平成22年度特別研究 社会教育における美術大学の役割に関する研究(彫刻からのアプローチ)	石田 陽介	金沢美術工芸大学紀要 56	英国の中等学校における美術科ナショナル・カリキュラムへの対応 イングランド中西部における調査(1994年・2010年)から	直江 俊雄	筑波大学芸術研究報告 59
ホスピタリティアート・プロジェクト	〃	〃	世界遺産教育における教材化と教育実践のあり方―「法隆寺地域の仏教建造物」と「木の文化」の視点から―	祐岡 武志 中澤 静男	奈良教育大学紀要 61-1
―活動と視座―	横山 善正	ギャラリー* 327	子どもと美術	美術手帖	
―ワークショップ・展示〜金沢市立病院における実践から〜その1	三浦 賢治	4	80 思い出の場所	伊部 玉紀	962
特集 多摩美術大学もうひとつの素顔	〃	4	81 サン SUN たくさん てんらんかい	〃	963
研究ノート 20世紀初頭ウィーンにおける美術と美術教育―フランク・チゼックの活動と1908年クンストショウを中心に	川井 遊木	京都国立近代美術館研究論集 4	82 ふれあい広場	〃	964
研究報告 芸術系大学における初年次教育の取り組み(4)―チームによる協働学習の活性化をめざした働きかけ―	真下 知子 横田 博幸	京都市立芸術大学美術学部研究紀要 56	83 凸凹絵画	〃	965
マンガ教育の国際化に向けて―海外版ワークショップ〈マンガの描き方教室〉の実施報告	小川 剛	京都精華大学紀要 41	84 しょうてんがいの人たち	石井 芳征	966
連載 ケンチク脳の育て方	〃	建築雑誌	85 図工の王様のお気に入り	伊部 玉紀	967
no.1 フィールドワーク	饗庭 初田 仲 香成	1628	86 中学校編 行きたくなる美術館をつくろう!	多田 智美	969
no.2 離島や中山間との応答―農山漁村インターン	田口 太郎	1631	87 中学校編 だから、みんなで描く	伊部 玉紀	971
no.3 環境をとらえる	一ノ瀬雅之	1633	88 つちとなかよし	〃	973
no.4 シャレットワークショップの育て方	高橋 潤	1636	89 墨と筆と私の世界	〃	974
no.5 手に触れる。	今本 啓一	1638			

90 かぼっとひたる	〃		975
91 おさんぽでみつけたよ!	〃		976
視点 国立美術館の鑑賞教育のための指導者研修を終えて	三澤 一実	美術の窓	350
第3回高校生学芸員展を終えて	本丸 生野	姫路市立美術館研究紀要	12
子どもの教育支援について—笑顔あふれる「ふるさとの館」	亀田 正司	姫路美術工芸館紀要	8
指定研究		広島市立大学芸術学部紀要	17
「文化財学、保存修復に関する研究、教育プログラム導入に関する調査・研究」報告	若山 裕昭、 北田 克己 報告		
「デザイン学生起業家と市大ブランドの創出をめざしたデザインの研究」報告	服部 等作、 吉田 幸弘、 大塚 智嗣 報告		
生涯美術社会との接点を意図した美術科教育の展開	竹内 晋平	仏教大学教育学部論集	23
美術史方法論を踏まえた美術鑑賞の実践	石川千佳子	宮崎大学教育文化学部紀要	25・26
世界的美術教育事情 韓国的美術教育の問題点と方向に対してもう一度考えてみる	趙 香椒	連盟ニュース	442
異分野から見た美術教育		〃	
シリーズ第1回 美術への憧憬	大村 智		443
シリーズ第2回 高橋コレクションの原則	高橋龍太郎		444
チェコ共和国の子どもによる図形の見立て—図形の面に色彩を塗った場合—	島田由紀子	和洋女子大学紀要	52
多摩美大、東大と共同開発 芸術衛星飛ばそ もっと身近に利用描く	福岡 範行	東京	7.6
ぶら〜りキャンパス コンテンツ・マーケティング アートでビジネス	竹上 順子	〃	11.5

古 美 術							
総 記							
日 本							
毛利家の至宝 大名文化の精粹 由緒正しき毛利家の宝	柴原 直樹 談 内海 陽子 インタビュー、構成	サントリ ー美術館 ニュース	239	呂紀画風とその伝播 —「四季花鳥図」(東京国立博物館)を中心に—	竹 浪 遠	古文化研究	11
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 考古資料	文化庁文化財部	文 化 財*	585	南宋宮廷絵画における文人意識—画院画家の二つの画風について—	宮 崎 法子	実践女子大学美学美術史学	26
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 歴史資料	"	"	"	八大山人の甲戌(1694)年	"	泉屋博古館紀要	28
新登録の文化財 登録有形文化財(美術工芸品)	"	"	"	住友コレクションにみる中国絵画鑑賞と収集の歴史【本文編】(上)	実 方 葉子	"	"
日本の仏教美術 欧州の收藏状況初めて総合調査	中 沢 義則	日 経	10. 13	中国陝北・河西の漢魏晋十六国墓にみる瑞祥図の研究—『山海経』の瑞馬・瑞魚を中心に—	松 浦 史子	高梨学術奨励基金年報	H23年度
絵 画							
中 国							
異域と異界—陝北地域出土漢代画像石に見られる神話的図像の地域的特徴をめぐっての考察—	友 田 真理	鹿島美術財団年報・別冊	29	明末福建莆田出身の画家達、曾鯨・呉彬・趙珣—日本との関係を中心に—	近 藤 秀實	多摩美術大学研究紀要	26
大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画ワールドカップ Team China のぞいてみよう、となりのくにの悦楽園	張 競	芸術新潮	746	『桃花扇』と藍瑛	口 井 知子	"	"
小特集「北京故宫博物院200選」展から書画の至宝10点を選ぶ!	板 倉 聖哲	"	"	バゼッヘ族初期岸裡大社首長一族「潘士興」の肖像画—修復過程で判明した新たな事実—	吉 田 裕彦	天理参考館報	25
南京博物院蔵 徐渭《雑花図巻》の基礎的記述	荒 井 雄三	芸 叢	27	国際研究集会「比較研究:『抗倭図巻』と『倭寇図巻』」報告		東京大学史料編纂所研究紀要	22
毛倫筆 柳牛図	海老根聡郎	国 華	1395	『倭寇図巻』再考	須 田 牧子		
特輯 京都国立博物館 上野コレクション		"	1404	「明人抗倭図巻」を解説する「倭寇図巻」との関連をかねて	朱 敏		
郭昇筆 幽篁枯木図	呉 孟晋			功績の記録と事実の記録: 明人「抗倭図巻」研究	陳 履生		
王翬筆 傲趙大年江村平遠図	西 上 実			プロジェクト報告 『倭寇図巻』研究の現在	須 田 牧子	東大画像史料解析センター通信*	59
王原祁筆 傲元四大家山水図	呉 孟晋			コレクション紹介 長崎に伝えられた中国美術『武陵桃源図』	深瀬公一郎	長崎れきぶん	24
惲寿平筆 花鴨夕陽図	西 上 実			敦煌莫高窟第148窟の薬師経変について	濱 田 瑞美	奈良美術研究	12
滅びの美か「清明上河図巻」	島 尾 新	国華清話会会報	19	漢代美術における自然現象の擬人化とその表現をめぐって諸問題—風伯図像、雨師図像を中心に—	友 田 真理	"	"
				奈良美術研究会 活動報告2011年度 漢—唐宋の「半開の扉」について	牟 文華	"	13

所蔵資料から伝梁楷「松下琴客図」	福島さとみ	美 愛 眞	22	特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第3部 中国美術と東アジア					
日本中世の古記録から見る中国画人・絵画の記載	寿 舒舒	東アジア文化交渉研究	5	唐絵としての渡来仏画	井手誠之輔				
日韓共同シンポジウム特輯 石濤、近代における「個性」という評価の視線	文喜多恵子 貞姫 訳	美術研究	405	中国美術と東アジア 中国版本の請来と日本美術	内田 啓一				
皇帝の文物と北宋初期の開封(下)—啓聖禪院、大相国寺、宮廷をめぐる文物とその意味について—	塚本 麿充		406	近世・近代日本における中国絵画鑑賞と画家像の変容—王建章の場合	板倉 聖哲				
漢代画像解説法試論—「撈鼎図」を例として—	邢山 義田 満照 訳		407	明清の美術展によせて 仇英筆「桃李園金谷園図」と中国の庭園文化	植松 瑞希	美のたより	179		
平成23年度西支部例会		美術史	172	敦煌莫高窟初唐窟についての一考察	八木 春生	仏教芸術	321		
北齊徐頴(徐頴秀)墓壁画の造形的特徴—北朝人物画様式の一典型—	河野 道房			西北科学考察団発掘の敦煌翟宗盈画像磚墓について	殷北村 光明 永 訳		322		
趙孟頫「水村図」に関する基礎的考察	西尾 歩			敦煌莫高窟第220窟に関する一考察	八木 春生		324		
中央チベット・ラトウの大仏塔壁画にみられる様式について	大羽 恵美		173	山岳表現考—古代中国から法隆寺の玉虫厨子へ—	長谷川智治	仏教大学総合研究所紀要	19		
第65回全国大会研究発表要旨				新指定の文化財 美術工芸品 国宝の指定 絵画	文化庁文化財部	文化財*	585		
牧溪筆「観音猿鶴図」の制作背景に見る「康国」と「鎮魂」	田中 伝			一枚のウイグル文印刷仏典扉絵	西脇 常記	文化史学	68		
南宋時代の水陸画について—水陸儀軌の変遷を手掛かりに—	高志 緑			マニ降誕図特輯		大和文華	124		
日本における中国絵画史研究の動向とその展望—宋元時代を中心に改訂増補版(下)—	小川 裕充	美術史学	33	マニの降誕図について	吉田 豊				
クムトラ石窟第75窟の壁画主題について—ウイグル期亀茲仏教の一側面—	森 美智代	美術史研究	50	マニ降誕図試論—元代マニ教絵画における位置づけを中心に—	古川 攝一				
特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成		美術フォーラム21	26	史料紹介 明末清初の江南における中国書画の蒐集と鑑賞—日本所在の名品に記された題跋と印章を中心に—	井上 充幸	歴史と地理	651		
私達の祖先文化に想いを馳せる—藤井善助コレクションに寄せて—	藤井善三郎			日本大徳寺伝来五百羅漢図銘文と南宋明州士人社会	近藤 一成	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57		
矢代幸雄と大和文華館の中国書画コレクション	植松 瑞希			清明上河図に「世相批判」説 中国・故宫博物院の研究者	宮代 栄一	朝 日	1.16		
				美の履歴書236 この絵のすこみの源流は「水村図巻」趙孟頫		朝日夕刊	1.11		

欧人異聞 清朝の宮  
廷画家カステリオー  
ーネ 樺山 紘一 日 経 10.14

日 本

近世初期風俗画と箱  
庭遊び 成澤 勝嗣 葵 83

青森県の船絵馬 昆 政明 青森県立  
郷土館研  
究紀要 36

資料紹介 平尾魯仙  
『画訣』と魯仙の作画  
態度 本多 伸 " "

東アジアの王権と宗  
教「桃鳩」イメージの  
変容—王権の表象か  
ら平和の象徴へ[田  
中一光] 板倉 聖哲 アジア遊  
学 151

文化創造の図像学  
日本の宗教空間と身  
体 I 中世宗教図像  
学の探求—説話と象  
徴図像 " 154

四天王寺をめぐる  
聖徳太子伝と絵伝  
—霊地を創る太子 阿部 泰郎

聖徳太子絵伝の制  
作拠点に関する一  
考察—四天王寺と  
法隆寺を中心に 村松加奈子

『菅田宗廟縁起絵  
巻』の伝来につい  
ての一考察 メラニー・  
トレーデ

『箱根権現縁起絵  
巻』の再創造—描  
かれた霊地 阿部 美香

雪舟絵画に見られ  
る典型的山のモチ  
ーフとその意味—  
平らな「関型」の山  
と傾いた山型 アグネセ葩  
島

文化創造の図像学  
日本の宗教空間と身  
体 II 森羅万象の図  
像化—食・病・死 " "

擬人化され、可視  
化される植物・食  
物—室町から江戸  
時代を中心に 伊藤 信博

食物と疫病の合戦  
を描く錦絵につい  
て—食養生の観点  
から 畑 有紀

最期のお名残狂言  
—歌舞伎役者の行  
方を描く死絵の豊  
かな世界 ジュリアン  
・フォーリ

文化創造の図像学  
日本の宗教空間と身  
体 III 物語・説話・  
和歌と図像の織り成  
す所位相 " "

十二類歌合絵と詞  
書の(もどき)表現 高橋 亨

絵巻が語るものと  
楽器が語ること—  
フリーア本『地藏  
菩薩靈驗記絵』第  
4話をめぐって 猪瀬 千尋

子どもの和歌再説  
—草子地への着目  
から 青木 慎一

文化創造の図像学  
日本の宗教空間と身  
体 IV 越境する図像  
と文化受容 キリス  
ト教宣教の諸相—16  
・17世紀日本におけ  
る表象と信仰 水戸 博之 " 154

もう一つの古典知  
前近代日本の知の可  
能性 " 155

コラム 絵本・絵  
巻に見る古典知 石川 透

雑纂という形式—  
近世真宗における  
絵解き本と図会物 塩谷 菊美

古典知としての近  
世観相学—この不  
思議なる身体の解  
釈学 青山 英正

〈予言文学〉の世界  
III 物語・芸能の〈予  
言文学〉 " 159

類書・雑書の言説  
と説教—絵巻『を  
くり』を起点に 衆 沙里

『福富草紙』の予言  
・予祝 吉橋さやか

富貴への予言と福  
神・貧乏神—打出  
の小槌と柿帷子 塩川 和広

新出の村越其栄・向  
栄作品の紹介—千住  
河原町柏屋星野家旧  
蔵作品から— 真田 尊光 足立区立  
郷土博物  
館紀要 33

狩野永岳《富士三保  
松原図》 福士 雄也 アマリリス 105

研究ノート 京都国  
立博物館蔵《柳橋水  
車図屏風》について 大原由佳子 " 106

眼の極楽2 人の姿  
かたちを描く 榊原 悟 アルカデ  
ィア 51

伊那谷にのこる釈迦  
三尊十六善神図—瑞  
璃寺本・元善光寺本  
・玉川本の紹介— 織田 顕行 飯田市美  
術博物館  
研究紀要 22

所蔵品紹介221 石川  
県指定文化財 石川 慎  
繪図 石川県立  
美術館だ  
より 339

絵馬研究の歩みと考古学—絵馬の起源論を中心にして—	戸潤 幹夫	石川県立歴史博物館紀要	24	吉原細見データベースと Attribute としての紋を用いた文政期における英泉筆遊女絵開板時期の特定—契情道中双縁見立吉原五十三対を例として—	日比谷孟悟 佐藤内田 保廣	浮世絵芸術	163
銅・石版画遺聞44、45、47	森 登 一 寸			高津屋伊助と鳥居清長—錦絵の黄金時代を先導した版元と絵師	田辺 昌子	〃	〃
唐物店丸福の『判元』帖から(3)三点の保居《富士川眺望図》			49	幕末錦絵の摺刷に関する一考察—「これが江戸 錦絵合」から	大久保純一	〃	〃
亜欧堂田善『医範提綱内象銅版図』メモ			50	『小柴垣草紙』の変遷	井黒佳穂子	〃	〃
銅版画と浮世絵版画 江漢の場合			52	資料紹介 初代豊国「役者舞台之姿絵」、更なる新出の1点	ポール・グリフィス 岩田 秀行 訳	〃	〃
近代日本画の構図決定格子(12)～(14)	金子 一夫	〃	50～52	『小倉擬百人一首』と天保の改革	廣岡由佳理	〃	164
あおぞら	丹尾 安典	〃	51	資料紹介 葛飾北斎「風流源氏うたがうた」2種	佐藤 悟	〃	〃
田能村竹田の印章に関する一考察—「田舎児」印の検討—	宗像 晋作	出光美術館報	158	浮世絵師と地方のつながり—浮世絵師の署名がある「地方出版物」について—	桑山 童奈	浮世絵研究*	2
伝 俵屋宗達筆「月に秋草図屏風」について	西本 周子	〃	160	八代目市川团十郎と死絵	木村 涼	〃	3
仙厓画雑感5、— <sup>8</sup> 死に損ない、を笑うな!—	黒田 泰三	〃	〃	国貞の風景表現とその時代的変遷—人物と名所を組み合わせた揃物を中心に—	渡邊 晃	〃	〃
長谷川等伯の草花表現	〃	出光美術館研究紀要	17	研究の散歩道 描写年代の謎解き—日光東照宮参詣図屏風	小澤 弘	江戸東京博物館NEWS	79
狩野常信筆「波濤図屏風」—探幽、長谷川派との関連をめぐって	宗像 晋作	〃	〃	松山藩絵師・遠藤広実研究(1)	長井 健	愛媛県美術館年報・研究紀要	11
物語絵の往還—近世初期の源氏絵と伊勢絵を中心に	廣海 伸彦	〃	〃	呉春《松に芭蕉図画稿》	熊田 司	えむえむ	3
池大雅による光の描写と黄檗美術—黄檗山萬寿院蔵「書画禅冊葉」の体験	出光佐千子	〃	〃	鉄眼版大蔵經の出版とその利用	内山 純子	黄檗文華	131
仙厓交友録(1)良寛と豪潮—仙厓筆「牡丹画賛」、豪潮筆「十六羅漢画賛」をめぐって	八波 浩一	〃	〃	新出 金龍山浅草寺所蔵・木庵性瑠賛「靈照女図」について	藤元 裕二	〃	〃
いわて文化ノート 絵師川口月嶺のこと	齋藤 里香	岩手県立博物館だより	135	伊藤若冲筆《動植綵絵 老松白鳳図》における「もう一羽の鳥」—関古鳥と諫鼓鳥—	中野 晶子	〃	〃
両頭愛染曼荼羅の成立に関する一考察—金胎不二の図像的表現を中心に—	鍵和田聖子	印度学仏教学研究	126	「木庵伽羅笠」(名古屋市千種区紫磨山長福寺所蔵)と神農図に描かれた蓑について	三浦 重徳	〃	〃
『華嚴宗祖師絵伝』「義湘絵」の制作意図に関する一試論	愛宕 邦康	〃	〃				
曼荼羅と經典の金銀泥表現	真鍋 俊照	〃	〃				
長松日扇筆曼荼羅本尊の一考察—讃文を視点として—	武田 悟一	〃	128				



平成24年定期刊行物所載文献(古／絵画)

平成21年度大阪城天守閣新収蔵資料紹介	松尾北川宮本跡部	信裕央裕次信	大阪城天守閣紀要	39	草創期の歌舞伎表現を探究—絵画史研究と芸能史研究の複合的アプローチ	池田 芙美	〃	〃	
資料紹介 円山派と四條派による寄合描き「秋七草図」について	岩佐 伸一		大阪歴史博物館研究紀要	10	「騎馬図巻」の図像学的考察	金子 岳史	〃	〃	
江戸時代の山王祭について(上)—『日吉山王祭礼交屏風』の図解を中心として—	和田 光生		大阪市歴史博物館研究紀要	18	二十四孝図研究—押絵貼形式を手がかりに—	茨木 恵美	〃	〃	
学芸員のノートから当館で紹介した作品が市指定文化財になります	〃		大津歴博だより	86	中村芳中の扇面画の調査研究	福井 麻純	〃	〃	
浮世絵における「子ども絵」—天保期を中心に—	伊藤 千尋		学習院大学人文科学論集	21	光琳作品における古典主題	江村 知子	〃	〃	
模本と下絵—絵画史への寄与について—	武田 恒夫	学 叢		34	近世における「長恨歌図」の調査研究—版本との関係を中心に—	村木 桂子	〃	〃	
狩野山雪筆聖賢図押絵貼屏風について	山下 善也	〃		〃	宗達派草花図の展開に関する研究—喜多川相説筆「秋草図屏風」を基軸として—	岡田 梓	〃	〃	
元照系「観経十六観変相図」解釈に関する一試論—第一観から第七観を中心に—	三島 貴雄	〃		〃	資料紹介 宝生寺所蔵の二種の羅漢図について	梅沢 恵	神奈川県立博物館研究報告	38	
円山応挙筆 芙蓉飛雁・寒菊水禽図	水谷 亜希	〃		〃	ペリーの顔・貌・カオ—「黒船」の使者の虚像と実像—天によせて	嶋村 元宏	神奈川県立歴史博物館だより	190	
梶子に鶴鶴図 雲谷等顔筆	山本 英男	〃		〃	特別陳列「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」	梅沢 恵	〃	〃	
素材への視線—仏画の絵絹	泉 武夫	〃		〃	龍華寺本『三国祖師影』について—新たな中世写本の発見—	西岡 芳文 向坂 卓也	金沢文庫研究	328	
絵がとり結ぶ崋山と大蔵永常との縁	有蘭正一郎	崋山会報	28		称名寺蔵仏涅槃図考	藤元 裕二	〃	329	
画家渡辺崋山の心象	鈴木 利昌	〃	〃		鎌倉の至宝(12)重要文化財—之庵通貫像自賛 元弘3年 一幅 帰源院蔵	高橋 真作	鎌 倉	112	
渡辺崋山『毛武游記』5、6	加藤 克己	〃	28、29		近世近代の日本絵画における美術交渉	中谷 伸生	関西大学東西学術研究所紀要	45	
田原市博物館収蔵品から 渡辺崋山筆『客坐掌記(天保九年)』6、7		〃	〃		平成23(2011)年度日本東洋美術史の調査研究報告 資料紹介		関西大学博物館紀要	18	
崋山の田原行(13)	柴田 雅芳	〃	29		伝狩野永岳《楼閣山水図》	中谷 伸生			
東アジアの観点から見た「信貴山縁起絵巻」の研究	伊藤 大輔	鹿島美術財団年報・別冊	29		大野蘭窓齋筆《大岡春ト筆「八嶋合戦図絵馬」下絵》模本(個人蔵)	石田 智子			
岩佐又兵衛の故事人物図に関する研究	飯島沙耶子	〃	〃		館蔵資料紹介 諸国瀧廻り 美濃ノ国 養老の滝		岐阜市歴史博物館博物館だより	81	
15—17世紀における玄宗楊貴妃図の諸問題—制作目的と中国画受容を中心に—	福田 訓子	〃	〃		新連載 聚美名宝鑑 今月の名宝鑑賞 雪村周継「布袋図」	小川 知二	ギャラリ一*	322	
鎌倉時代における涅槃図の展開	鯨井 清隆	〃	〃						

連載 聚美名宝鑑 今月の名宝鑑賞		〃			大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画 ワールドカップ Team Japan 鹿島茂、 UTAMARO を見に行 く	鹿島 山本 浦上	茂 ゆかり 満	芸術新潮	746
(第4回)岡本秋暉 「四季花鳥図・秋 の七草図双幅」	小林	忠	325						
(第5回)長沢芦雪 「遠望松鶴図」	岡田	秀之	326		特集 美女と幽霊			〃	752
(第6回)最終回 木米「秋景山水図」	小林	優子	327		幽霊画とは何か？ 何処から来て、何 処へ行くのか？	安村	敏信		
絵蠟燭の描かれた見 立て絵・2—子供遊絵 「子供遊宝能当物」・ 「子供遊端午の気生」 ・「子供遊お山の太 せう」を考える—	内藤	郁夫	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	43	クセ者ぞろい 幽 霊画キャラクター 名鑑	安村	敏信 解説		
伊東尾四郎文書本『筑 前国続風土記附録』 について	一瀬	智	九州歴史 資料館研 究論集	37	芝居気たっぶり、 浮世絵の幽霊たち	奥田	敦子		
南蛮屏風と阪神大震 災	鬼原	俊枝	京都国立 博物館だ より	174	小特集 松井冬子、 九州で九相図を観る 死への想像力—九相 図がつなぐ、過去と 現在	山本 解説	聡美	〃	754
赤星家旧蔵の祭礼小 絵巻とその模本につ いて	泉	万里	京都産業 大学日本 文化研究 所紀要	17	小野通女と公家との 交流について—「人 麿図」等の和歌を伴 う書画を中心に	中村	玲	芸 叢	27
近世土佐家文書	松尾	芳樹	京都市立 芸術大学 芸術資料 館年報	21	研究ノート			建築史学	59
東アジア(胎蔵曼荼 羅)最外院に受容さ れたインドの図像— 九曜と七母天につい て—	天野	歩	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	56	洛中洛外図屏風か らみた京町屋の構 造	清水	擴		
ニース・シュレ美術 館所蔵「北斎漫画」に ついての調査報告	柏木加代子 飯倉 洋一	〃	〃	〃	国宝浄瑠璃寺三重 塔の初層内部装飾 について	多田 森	牧央 正和		
春画からみる江戸の 習俗について—張形 の表象を中心に—	鈴木	堅弘	京都精華 大学紀要	40	收藏品紹介 壬生水 石 狩野洞春	村山	望	KENBI LETTER	76
聖衆来迎寺蔵「六道 絵」閻魔王庁幅と焰 魔天図像	山本	聡美	共立女子 大学文芸 学部紀要	58	絵金 絵師金蔵、六 つの顔を知る	〃	〃	〃	78
資料紹介 兵庫県宍 粟市「西蓮寺縁起」— もう一つの教信沙弥 伝—	木下	資一	近 代	106	喜三二の黄表紙と夢 の趣向	植木	智広	国学院雑 誌	1264
『扶桑名画伝』の編纂 と堀直格の文芸活動	佐藤	温	近代画説	21	研究ノート 寛永文 化の共同幻想—『百 椿図』の衝撃—	中村	啓信	〃	1265
研究小話 谷文晁・ 田崎草雲・小室翠雲 —関東南画の系譜—	野田	麻美	群馬の森 美術館ニ ューズ	147	伊勢物語絵の表現— 国学院大学図書館所 蔵『伊勢物語絵巻』二 九段を中心として—	針本	正行	〃	1266
鶴の表象の変遷をめ ぐって 地域社会に おける妖怪観の形成 の視点から	市川	寛也	芸術学研 究(筑波)	17	本の森を歩く 第9 回 英国を魅了した 日本	大塚奈奈絵		国立国会 図書館月 報	613
					新出資料『古狂言後 素帖』について	西野	春雄	国立能楽 堂調査研 究	6
					行列にみる近世の 「異国人」認識	久留島	浩	国立民族 学博物館 調査報告	104
					江戸庶民がみる異国 ／自国の形象	川添	裕	〃	〃

平成24年定期刊行物所載文献(古／絵画)

「石見銀山絵巻」上野家本について(1)―文字情報からの作者の特定―	鳥谷 芳雄	古代文化研究	20	新出「絵因果経断簡」試論―東京芸術大学本との関連―	関口 正之	〃	1402
平治物語絵巻 六波羅合戦巻断簡	松島 仁	国 華	1395	伝周文筆 四季山水図屏風	城市真理子	〃	〃
伝狩野元信筆 四季耕作図屏風	島尾 新	〃	〃	細井平洲筆 奥海偃舟詩画卷	小野 重仔	〃	〃
葛飾北斎筆 傾城図	小林 忠	〃	〃	伊藤若冲筆 六歌仙図	馬淵 美帆	〃	〃
研究資料 江戸前期狩野派の歌絵について―狩野探信守政筆「井手玉川図屏風」を中心に―	薄田 大輔	〃	〃	研究資料 狩野探幽とオランダ東インド会社	タイモン・スクリーチ 松島 仁 訳	〃	〃
伝狩野元信原画「猷尽図屏風模本」と狩野派の動物画	門脇むつみ	〃	1396	光悦書宗達画「蓮下絵百人一首和歌巻」の伝来と復元に関する一考察―新出断簡の紹介をかねて―	玉蟲 敏子	〃	1403
地獄草紙断簡	佐野みどり	〃	〃	不及老人像	泉 武夫	〃	〃
熙春龍喜賛 毛利元就像	荏開津通彦	〃	〃	与謝蕪村筆 田家飼馬図	河野 元昭	〃	〃
谷文晁筆 楼閣山水図	河野 元昭	〃	〃	特輯 京都国立博物館 上野コレクション	〃	〃	1404
特輯 女性画家	〃	〃	1397	法華経冊子	赤尾 栄慶 佐野みどり	〃	〃
「女性画家」特輯に当って	河野 元昭	〃	〃	山越阿弥陀図	大原 嘉豊	〃	〃
描いた女性たち―平安時代から江戸時代を中心に―	仲町 啓子	〃	〃	与謝蕪村筆 竹溪訪隠図	山下 善也	〃	〃
清原雪信筆 菊慈童図	大平有希野	〃	〃	新出八曲一隻洛中洛外図屏風について	マシュー・フィリップ・マッケルウェイ	〃	1405
池玉瀾筆 風竹図扇面	小林 忠	〃	〃	渡辺始興筆 木蓮棕櫚図	河野 元昭	〃	〃
谷文晁筆 江村晩晴図 谷幹々筆 雪景楊柳図	河野 元昭	〃	〃	鶴亭筆 墨梅図	成澤 勝嗣	〃	〃
江馬細香筆 蘭画	太田 佳鈴	〃	〃	沖一峨筆 江戸風景図額	山下真由美	〃	〃
林珮芳筆 山水図巻	仲町 啓子	〃	〃	特輯 ギッター・コレクション	〃	〃	1406
梁川紅蘭筆 秋卉舞蝶図	三戸 信恵	〃	〃	土佐大掾元庸筆 洛中洛外図屏風	小澤 弘	〃	〃
尹大納言絵巻断簡	佐野みどり	〃	1398	東山婦女遊楽図屏風	山本ゆかり	〃	〃
円山応挙筆 白狐図	河野 元昭	〃	〃	池大雅筆 太秦牛祭図	小林 忠	〃	〃
蠣崎波響筆 釈迦涅槃図	岡本 祐美	〃	〃	与謝蕪村筆 夏景山水図	河野 元昭	〃	〃
研究資料 二河白道図―テキストとイメージの源流を探索(上)、(下)―	仙海 義之	〃	1398、1399	浦上玉堂筆 火伏金生図	佐藤 康宏	〃	〃
狩野長信の一側面―釈迦四面像厨子屏絵をめぐって―	小野真由美	〃	1399	谷文晁筆 山水図屏風	松島 仁	〃	〃
曾我直庵筆 鷹図屏風	稲畑ルミ子	〃	〃	立原杏所筆 文人作画図	森 道彦	〃	〃
円山応挙筆 龍門図	水谷 亜希	〃	〃				

酒井抱一筆 朝陽に四季草花図	前田麻衣子			狩野尚信と絵馬	〃	〃	823
鑑賞の勘どころ(11) 一料紙装飾一	佐野みどり	国華清話 会会報	19	飛雲閣を探して3 洛中洛外図に描かれ た飛雲閣	加藤 繁生	〃	828
画のなかの文字(4) 一白隠「隻履芦葉達磨図」	島尾 新	〃	〃	江馬細香の初期と前期における画風展開—「蘭図」を中心に、落款と印章の検証を含めて—	太田 佳鈴	実践女子 学園香雪 記念資料 館館報	9
逸品紹介 宮川長春筆 緑台美人図	山本ゆかり	〃	20	武内小鸞「海棠孔雀図」について	佐藤 美子	〃	〃
武将たちの群像一家康・信玄・謙信家臣図一	松原 仁	〃	〃	伊藤若冲における初期絵画制作について—宝暦年間の制作を中心に—	〃	実践女子 大学美学 美術史学	26
蛍光X線分析による日本近世絵画の色材調査—黒川古文化研究所の収蔵品を中心に—	杉本 廣川 欣久 守	古文化研 究	11	吉原特集 吉原と浮世絵に関するプレ国際シンポジウム		実践女子 大学文芸 資料研究 所年報	別冊13
研究ノート 紺紙金字経と隠れた墨書・墨印—古写経の史料の相対化に向けた近赤外線デジタルカメラ撮影技術の利用—	橋村 愛子	古文書研 究	73	柳亭種彦の吉原研究	佐藤 悟		
日本古文書学会 第44回学術大会要旨 失われた国宝『信貴山縁起絵巻』『山崎長者巻』第一段詞書—立正大学図書館所蔵模本の意味—	佐多 芳彦	〃	〃	一次史料に基づく妓楼和泉屋の歴史研究	日比谷孟俊		
溪斎英泉の画業展開について	田辺 昌子	採 蓮*	15	吉原文化と浮世絵学	酒井 雁高		
勉強会報告 キルヘル・ケンペル・シーボルトが描く日本の仏像	ジョセフ・キブルツ 報告 鈴村 裕輔 執筆	The Newslet- ter I. J. S.	16	パネル討論：吉原研究における浮世絵の意義	クリストフ・マルケ 司会、 佐藤 悟 日比谷孟俊		
近世初期狩野派と「南蛮屏風」をめぐる考察	石田 佳也	サントリ ー美術館 研究紀要	1	コラム 益田の殿様、療養顛末記—文化財の修理について—	川西 由里	島根県立 石見美術 館ニュー ズレター	16
近世京都・大阪画壇における芸術家交流—「棲鸞園画帖」を中心に	池田 芙美	〃	〃	口絵裏解説「竹生島祭礼図」東京国立博物館蔵	村重 寧 紫 明		31
「鳥獣人物戯画」甲巻の見物衆表現—その類型モチーフと機能について	上野 友愛	〃	〃	日本絵図に描かれた“島”	木村 重圭	〃	〃
御伽草子 この国は物語にあふれている	徳田 和夫	サントリ ー美術館 ニュース	241	例会・国際シンポジウム報告 鍛形慈斎の画本芸術—江戸からパリへ—	クリストフ・マルケ	ジャポニ スム研究	32
「春日権現験記絵」の修理 修理状況と調査概要の報告(1)	太田 彩	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17	特集 雪舟と室町水墨画 雪舟の中華文化への憧憬と受容		聚 美	2
服部永錫菟集の書画帖—《縮地妙詮帖》とその周辺—	福士 雄也	静岡県立 美術館紀 要	27	室町水墨画の表現—その特質と雪舟の位置—	島尾 新		
女絵師清原雪信と狩野雪姫	寺本 健三	史迹と美術	821	聚美滴滴 第2回雪舟の留学	杉本秀太郎		
				雪舟の心境をめぐる前提 人生の節目と選択	畑 靖紀		

平成24年定期刊行物所載文献(古／絵画)

雪舟は近世への道を拓いたか 江戸時代初期の画家たちと雪舟との関わり	荏開津通彦				探幽晩年、渾身の大作 興正寺蔵「雲龍図」	樋口 一貴	〃	〃	
特集 狩野派の誕生と興隆 正信・元信・之信・永徳・探幽		聚 美 3			最新科学で書を鑑定する vol.4 伝世尊寺経朝筆「玉津切」(蜻蛉日記絵巻詞書)	池田 和臣	〃	〃	
狩野派の誕生と興隆 正信・元信・永徳	辻 惟雄				徳川將軍家伝来の白描徳川家康像について	松島 仁	〃	5	
狩野派絵画と天下人 障壁画と肖像画を中心に	松島 仁				失われた法隆寺壁画の再現研究(続編1～4)	松田 真平 聖 徳		211～214	
狩野之信の花鳥図屏風 謎の画家狩野之信の実像を解明	松木 寛				稀れに見る讃文の聖徳太子画像	小松 光江	〃	212	
狩野探幽の素顔 もうひとりの探幽像	加藤 弘子				多々羅発祥の地に祀られた太子像	〃	〃	214	
聚美名宝鑑		〃			天川弁財天曼荼羅における蛇頭人身弁財天像について	中島 彩花	女子美術大学研究紀要	42	
雪村周継「布袋図」と「山水図」	小川 知二	2			特集 北京故宮がやってきた 現代中国巧芸事情68 絵巻物の楽しみ―「北京故宮博物院200選」参観記―	仲 佑樹 書 道 界		267	
長沢芦雪 遠望松鶴図	岡田 秀之	3			瘦蘭斎楽事異聞第104話 浦上玉堂雄感1	坂田 進一	〃	277	
仙嶽宗洞賛 四季花鳥図押絵貼屏風	辻 惟雄	〃			資料紹介 書陵部所蔵「狭衣物語」について―奈良絵本制作事情の一端―	田代 圭一	書陵部紀要	63	
木米「秋景山水図」	小林 優子	4			河野一作「文化十西句帖」翻刻	高室 有子	資料と研究	17	
「秀松」印扇面貼交屏風	並木 誠士	〃			山本素軒の歌仙御手鑑	五十嵐公一 塵 界		23	
宮川一笑「楼上遊興図」	稲嶋 朋子	5			清楚寺本「地獄極楽変相図」について	小栗栖健治	〃	〃	
紙の万華鏡	増田 勝彦	〃			水墨再見 技 与謝蕪村《鶻鴒図》のうち《鴉図》	沈 和年 水 墨 画*		274	
Vol.3 鳥獣戯画の料紙と相剥ぎ		3			水墨画の歴史を語る 第29回 水墨の美	島尾 新珠	〃	〃	
Vol.4 錦絵と唐絵 一紙と摺り一		4			河野元昭が選ぶ水墨画50選	河野 元昭	〃		
世界に誇る日本美術の精華! ポストン美術館所蔵「日本美術の至宝」里帰り展	河野 元昭	〃	3		画面空間の中に解き放たれた牛 俵屋宗達「牛図」			〃	
特集 浮世絵の粋と美		〃	4		竹林を押しわけ、一株の梅から希望に満ちた息吹を感じる 尾形光琳《竹梅図屏風》			275	
江戸文化の華 浮世絵の誕生と展開	小林 忠				水墨再見 技 酒井抱一《紅梅図》	沈 和年	〃	〃	
粋の美術 浮世絵の名作を観る	浅野 秀剛								
絵画における服飾表現 その実態と活用の可能性について	長崎 巖								
浮世絵と美人 リアリズムとファンタジー	藤澤 紫								

熊野観心十界曼荼羅とそのルーツ(VIII)―階層的クラスター分析による小栗栖の分類枠の検証―	宮川 充司	嵯山女学園大学研究論集	43	比嘉朝健「琉球歴代画家譜」の校異について(2)	川島喜納倉成輝 淳大郎 多作郎 志	壺屋焼物博物館紀要	13
藤崎宮祭礼絵巻「永青文庫甲本」の制作年代及び制作者に関する一考察	松田咲也子	崇城大学芸術学部研究紀要	5	「男衾三郎絵巻」再考―望ましき当主像をめぐって―	岡部恵理子	哲学会誌	36
歌川国芳艶本目録	白倉 敬彦 編	太陽(別冊)	国芳の春画	山口県立美術館所蔵重要文化財 雪舟筆「牧牛図」二幅の修理について	岩井 共二	天開図画	9
与謝蕪村 画俳ふたつの道の達人		〃	202	修理報告書 紙本淡彩牧牛図〔牧童〕雪舟筆(仿李唐)1幅及び紙本淡彩牧牛図〔渡河〕雪舟筆(仿李唐)1幅	株式会社岡墨光堂	〃	〃
夜色楼台図、峨嵋露頂図巻、富嶽列松図	岡田 秀之			近藤清石著雪舟関係記事紹介	影山 純夫	〃	〃
雅俗融合の詩情―「新緑杜鵑図」	辻 惟雄			『等伯画説』の一節から	荏開津通彦	〃	〃
「灯火」―画俳ふたつの道の天分を見る 灯火に寄せる情を名句に詠じる	藤田 真一			総合文化展見どころ案内2012年2月・3月 気になるこの部屋・この作品		東京国立博物館ニユース	711
「灯火」―画俳ふたつの道の天分を見る 灯火を映し出し、光の表現に心を寄せる	岡田 秀之			重文 山水図	救仁郷秀明		
遅咲きの偉才―画俳ふたつの道を行く	藤田 真一			重文 竹梅図屏風	松嶋 雅人		
遅咲きの偉才―画俳ふたつの道を行く 遊歴処どころ江戸と関東遊歴僧形となつての旅と画俳の修行	清登 典子			総合文化展見どころ案内2012年4月・5月 気になるこの部屋・この作品 重文天狗草紙(東寺・醍醐寺巻)	土屋 貴裕	〃	712
遅咲きの偉才―画俳ふたつの道を行く 遊歴処どころ讃岐 東へ西へ、ゆったりと画師の旅	塩崎 俊彦			総合文化展見どころ案内2012年6月・7月 気になるこの部屋・この作品		〃	713
蕪村の俳句の趣―俳諧もの達人 蕪村の俳句の趣―俳諧もの達人	藤田 真一			重文 伝名和長年像	松嶋 雅人		
多彩な画境に挑んだ絵師―画風の変貌と創造 独学の絵師―その軌跡	岡田 秀之			子宝五節遊・七夕	田沢 裕賀		
館蔵浮世絵版画「蝶鵜山崎踊」にみる興行の周辺事情について	西田 亜未	たばこと塩の博物館年報	27	総合文化展見どころ案内2012年8月・9月 気になるこの部屋・この作品		〃	714
引用の自由	島尾 新	多摩美術研究	1	国宝 華嚴宗祖師絵伝元曉絵巻下	土屋 貴裕		
蕭白ショック!! 曾我蕭白と京の画家たち 群仙図屏風再考―「蕭白ショック!!」展に関連して	伊藤 紫織	千葉市美術館ニユース C'n	62	国宝 納涼図屏風	松嶋 雅人		
				見返り美人図	金井 裕子		
				総合文化展見どころ案内2012年10月・11月 気になるこの部屋・この作品		〃	715
				重文 如意輪観音図	救仁郷秀明		
				国宝 観楓図屏風	金井 裕子		
				白狐	松嶋 雅人		

平成24年定期刊行物所載文献(古／絵画)

総合文化展見どころ 案内2012年12月・ 2013年1月 気になる この部屋・この特 集 国宝 普賢菩薩 像	沖松健次郎	東京国立 博物館ニ ュース	716	仏教美術の金色表現	磯貝 誠	奈良美術 研究	13
史料紹介と研究 延 慶3年実遍書写本 『覚禅鈔』管見	藤原 重雄	東大画像 史料解析 センター 通信*	59	シンポジウム報告 2011年10月1日開催 「文化財の解析と保 存への新しいアプロ ーチ VIII」南北朝時 代の彩色木彫像のX 線分析—早稲田大学 會津八一記念博物館 所蔵・森靖氏寄贈三 十三応化身像—	小野 佳代	〃	〃
館蔵「日光東照宮参 詣図屏風」について	小澤 弘	東京都江 戸東京博 物館紀要	2	大乘院四季真景図の 世界一新出絵画資料 の紹介を兼ねて—	児島 大輔	奈良文化 財研究所 紀要	2012
両眉を握る慧思像— 福祥寺天台四祖像中 の南岳大師像につい て—	森井 友之	同志社大 学博物館 学年報	43	酒造図絵馬の研究 (4)—新潟県外の事 例について3—	野堀 正雄	新潟県立 歴史博物 館研究紀 要	13
蓮月と冷泉為恭 3 〜11 西田直義と為 恭	佐藤 節夫	陶 説	706, 708 〜715	狩野探幽筆「釈迦三 尊像」(日光山輪王寺 蔵)について	松島 仁	日光山輪 王寺	81
対馬の天神信仰と天 神縁起絵巻	松川 博一	東風西声	7	絵巻の文法序説— 『後三年合戦絵詞』を 手掛かりに—	楊 曉捷	日本研究	46
解説 東本願寺親鸞 550回御遠忌画図	青木 馨	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	31	近世後期京都におけ る絵師の郊外居住に ついて	安 道永	日本建築 学会計画 系論文集	678
東洋文庫蔵『書物袋 絵外題集』について	岡崎 礼奈	東洋文庫 書報	43	扇流し図屏風の源流 試論—扇面絵画論序 説—	安達 啓子	日本女子 大学紀要 人間社会 学部	22
『滑稽富士詣』におけ る挿絵の役割—初編 から三編まで—	王 学鵬	徳島文理 大学文学 論叢	29	鹿苑寺大書院の若冲 障壁画の制作意義に ついて—印章を手が かりとして—	森下 佳菜	日本女子 大学大学 院紀要 (人)*	18
長崎唐通事の肖像画	錦織 亮介	長崎歴史 文化博物 館研究紀 要	6	鉄心斎文庫蔵『勢語 図抄』の装束図彩色 に関する小考	森田 直美	日本女子 大学大学 院文学研 究科紀要	18
七兵衛と八兵衛—し ちびようえとはちび ようえ—	山本 祐子	名古屋市 博物館だ より	200	日本美術随想 モノ の心・形の心		日本美術 新聞	3
甚目寺参詣曼茶羅— 三重塔と愛染明王像 の謎—	山田 伸彦	〃	201	珍幅発見、描かれ た秘密 小野広隆 うなぎ化生画幅			
名古屋市秀吉清正記 念館蔵《高台院(お ね)画像》に関する考 察ノート	池田 洋子	名古屋造 形大学紀 要	18	頭山満の三幅対・ 机			
『栄山寺八角堂内陣 装飾画』に関する新 知見ほか	大山 明彦	奈良教育 大学紀要	61-1	口絵		日本歴史	
日本美術に息づく虫 たち	稲畑ルミ子	奈良県立 美術館紀 要	26	朱印船交趾渡航図 巻	藤田 励夫		768
名品展のみどころ		奈良国立 博物館だ より		世界及日本図—双 八曲屏風	地主 智彦		771
重要文化財 生駒 宮曼茶羅	谷口 耕生		80	土佐家伝来の伝足利 義政像について	落合 謙暁	〃	772
刺繍釈迦阿弥陀二 尊像	内藤 栄		81	『輿車図考』の書写に ついて—早稲田大学 図書館所蔵本を中心 に—	京樂真帆子	人間文化	32

表象される乳房—中世絵巻における差別される身体—	内藤 久義	年報非文字資料研究	8	京の狩野派と袁派—幕末期における東アジアの絵画考—	中谷 伸生	〃	東アジア文化研究科開設記念号
江戸人の視覚文化—売茶翁を中心として—	古郡紗弥香	野村美術館研究紀要	21	狩野探幽筆《桐鳳凰図屏風》と鳳凰図様の伝播について	石田 智子	〃	〃
主な新収蔵資料の紹介		馬事文化財団年報	33	《誠忠義士肖像》にみる国芳の「写真」—近世日本、中国、朝鮮における肖像画を巡って—	中山 創太	〃	〃
東海道五十三駅 安田雷洲 14枚				浮世絵版画における中国民間版画の影響—鈴木春信を中心に—	清川 敦子	〃	〃
井伊の赤備え図屏風 小山栄達 6曲 1双				『平安画家評判記』について	田島 達也	美術京都	43
源平合戦絵巻 狩野探信 2巻				日韓共同シンポジウム特輯		美術研究	405
騎射図屏風 2曲 1双				山水長巻考—雪舟の再評価にむけて—	綿田 稔		
溪斎英泉 幕末の個性派—その実像に迫る	田辺 昌子	版画芸術	156	江戸時代初期風俗画の表現世界	江村 知子		
はじまりは国芳 歌川国芳と近代の美術	内山 淳子	〃	158	永享七年の竹庵大縁をめぐる画事より—松岡美術館の周文画とケルン東洋美術館の靈照女図—	綿田 稔	〃	407
VIEW〈美術〉		阪急文化		平成23年度東支部例会		美術史	172
天下人の御用絵師、狩野光信—「豊臣秀吉像画稿」をめぐって—	石田 佳也		2	孔雀明王画像の研究—東京芸術大学大学美術館本を中心に—	原 瑛莉子		
書き継がれた源氏絵	龍澤 彩		3	中世の兜率天弥勒—もうひとつの浄土信仰—	泉 武夫		
表紙解説		〃		平成23年度西支部例会		〃	〃
豊臣秀吉像画稿 狩野光信筆(桃山時代)			2	鶴亭の画業における時代区分—その作風展開の特質について—	平井 啓修		
源氏物語 花宴図 狩野探信筆(江戸時代)			3	物語の絵画化の—様相について—『釈迦堂縁起絵巻』の場合—	井面 舞		
摺物様式の役者絵	北川 博子	阪急文化研究年報	1	鍛冶橋狩野家七代目 狩野探信守道にみる江戸狩野派と風俗画	薄田 大輔	〃	173
資料紹介 逸翁美術館蔵 地蔵菩薩十王図(重要美術品)	仙海 義之	〃	〃	「絵本」出現の一背景—『絵本宝鑑』及び『大友興廃記』著者、橘宗重の出自解明を通して—	市川 廣太	〃	〃
絵金の芝居絵屏風と上方の芝居絵の影響関係についての再論考	小出久美子	bandaly	11				
円山応挙の写生と絵空事—登龍門図をもとに—	水谷 亜希	美学芸術学	27				
「彦根屏風」の成立に関する一試論—図様の転用をめぐって—	林 茂郎	美学論究	27				
浮世絵師にみる絵手本利用の一考察—中国画譜を源流とする歌川派の作品を中心に—	中山 創太	東アジア文化交渉研究	5				



平成24年定期刊行物所載文献(古／絵画)

茶会と雪舟—将軍の権威を基盤とした雪舟評価の形成過程とその背景—	和田 千春	美術史	173	「玄奘三蔵絵」について—絵巻に見られる風俗—	謝 亜宏		
第65回全国大会研究発表要旨		〃	〃	京狩野研究—旧天祥院障壁画の再検討—	松岡 礼菜		
尾形光琳筆「中村内蔵助像」再興—元禄期京都町人の視点—	加藤 祥平			横断する龍—曾我蕭白「雲龍図」	佐藤 康宏	美術史論叢	28
曾我蕭白の朝田寺杉戸絵—「猿図」を中心に—	ミウオシュ・ヴォズニ			幕末期における東アジア絵画コレクションの史的位置—谷文晁の視点から—	板倉 聖哲	〃	〃
再出現の雪村筆《法常牧溪和尚八景中軸》(永禄6年作)について	吉田 智美			研究ノート 16世紀日本の都市図—宋代の都市図との関係	佐藤 康宏	〃	〃
久隅守景の四季耕作図に関する考察—東京国立博物館蔵「耕作図屏風」の図像と主題を中心に—	帯刀 菜緒			Loeil 美は語る		美術の窓	
「当麻曼茶羅縁起絵巻」の制作意図をめぐり—試論—	成原 有貴			10 国芳 江戸っ子の美学のミラクル・ワールド	岩切友里子インタビュー		340
明恵上人樹上坐禅像における型と制作背景	伊藤 久美			12 曾我蕭白 画を望まば我に乞ふべし	伊藤 紫織インタビュー		343
細川林谷伝の検討—旅と盆栽趣味を中心に—	久保佐知恵			丹青閑話 第13話～第16話、第20話	島尾 新	〃	343～346、350
田能村竹田筆《煙霞帖》について—その青年期画業における位置づけ—	宗像 晋作			日本美術のスズメ 今月の逸品		〃	
“浮世又兵衛”の虚像と実像—岩佐又兵衛をめぐり伝承の実態—	畠山 浩一	美術史学	33	洛中洛外図屏風	浅利 尚民		342
定家詠十二ヶ月和歌花鳥図の展開における探幽図様の意義について—和歌論を背景として—	柴橋 大典	〃	〃	狩野尚信「富士見西行・大原御幸図屏風」	佐々木英理子		344
伊藤若冲の歌仙絵を読み解く	新江 京子	美術史研究	50	曾我蕭白「月夜山水図」	畑 靖紀		346
曾我蕭白筆「月夜山水図屏風」再考—西湖・廬山のイメージ—	松岡まり江	〃	〃	「洛中洛外図屏風」	齋藤 慎一		347
作品紹介 宗達画・素庵書「芥子図・拾遺愚草和歌扇面」「叢林図・瀛奎律髓詩扇面」双幅	林 進	美術史論集	12	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 葛飾北斎を解剖する！ 水飛沫と貝	秋田 達也	〃	350
円形式北斗曼茶羅考—高山寺蔵「宿曜占文抄」をめぐって—	宇代 貴文	〃	〃	特集 第2部茶の湯の表現11 一幅の牧谿画に魅せられた人々	堀家 広子	美術フォーラム21	25
論文要旨《修土》		〃	〃	資料紹介I 新出の木村兼葭堂《名花十二客画帖》と青木木米	近藤 壮	〃	26
				相国寺承天閣美術館名品紹介 探意《耳川合戦図屏風》	鈴木 景雲	〃	〃
				画聖・雪舟の横顔16～19	島尾 新	美術屋・百兵衛	20～23
				美術の窓119、121、122	浅野 秀剛	美のたより	177、179、180
				書的美術展によせて—一字一仏の思想—大和文華館所蔵「一字蓮台法華経」の特色について—	古川 攝一	〃	177

花の美術展によせて 田能村竹田筆「翰墨 隨身帖」の山茶花図 について	宮崎 もも	〃	〃	根津美術館蔵大日金 輪・如意輪観音厨子 について一文観房弘 真と制作背景	内田 啓一	〃	〃
研究ノート 田能村 竹田の草花図・花鳥 図に見られる呉派の 影響—魯治筆「百花 図巻」との類似に注 目して—	〃	〃	179	榎原本八幡の本地 (下)—影印、翻刻—	黒田 彰 坪井 直子 筒井 大祐	仏教大学 文学部論 集	96
清雅なる仏画展によ せて 玄証本図像再 考—自筆本をめぐっ て—	古川 攝一	〃	180	江戸派は覇気多し— 田能村竹田「山中人 饒舌」が語る絵画の 基準—	太田 孝彦	文化学年 報	61
桃山・江戸前期の美 術展によせて 伝依 屋宗達筆「耕作図屏 風」をめぐって	中部 義隆	〃	〃	『梁塵秘抄』法華經二 十八品歌と釈教歌、 経旨絵(その1)	植木 朝子	〃	〃
研究調査報告『日本 近世生活絵引』南島 編纂共同研究 八 重山蔵元絵画稿	得能 壽美	非文字資 料研究	28	北斎『東遊』画賛考	鈴木 淳	文 学*	13-2
2011年度海外研修報 告 曾我蕭白と蕭白 周辺画師についての 研究(ボストン・ニ ューヨーク)	道田 美貴	美連協ニ ュース	115	清水浜臣主催泊酒舎 扇合—扇と歌の傾向 について	田代 一葉	〃	13-3
追憶の巨椋池—茶山 と波響	井上研一郎	広島県立 歴史博物 館研究紀 要	14	16世紀やまと絵様式 の転換	高岸 輝	〃	13-5
伝周文筆 四季山水 図屏風(東京国立博 物館蔵)について	城市真理子	広島市立 大学芸術 学部紀要	17	17世紀前後のメディ ア革命に関する一考 察—『扇の草子』・ 「月次風俗図屏風」・ 要法寺版嵯峨本をめ ぐって—	安原 眞琴	〃	〃
福井県立若狭歴史民 俗資料館所蔵「世界 及日本図(八曲屏風)」 の制作年代と伝来に ついて—屏風の表と 裏から—	有馬 香織	福井県立 若狭歴史 民俗資料 館館報	H23年度	出版と儀礼—『帝鑑 図説』をめぐって	太田 昌子 大西 廣	〃	13-6
京都国立博物館所蔵 の高野山水屏風につ いて	泉 万里	仏教芸術	320	口絵解説 銅版画東 都名所図のうち東都 名所全図	朝賀 浩	文 化 財*	585
室生寺蔵真言八祖画 像について—室生寺 中興空智房忍空との 関係から—	内田 啓一	〃	〃	新指定の文化財 美 術工芸品 重要文化 財の指定 絵画	文化庁文化 財部	〃	〃
作品紹介 浅草寺所 蔵「准胝観音像」	藤元 裕二	〃	〃	特集 名勝の保護 事例紹介2『領内名 勝図巻』に描かれた 名勝地の調査	坂井田端志 郎 丸山 伸治	〃	589
海住山寺五重塔扉絵 と宅間派	林 温	〃	322	上野記念館所蔵 山 本梅逸筆「花鳥図画 帖」について	大澤 慶子	文星紀要	23
鎌倉時代における涅槃 変相図の展開につ いて—自性院・安養 院本と『四座講式』の 関連を中心に—	鯨井 清隆	〃	323	表紙 近世怪談霜夜 星	蓬 左	84	
法隆寺金堂における 荘嚴の意義	三田 覚之	〃	324	口絵解説 祐天開眼 山越阿弥陀図	神居 文彰	鳳翔学叢	8
宅間俊賀論—真言八 祖像、金輪頂像そ して華嚴縁起義湘絵 —	林 温	〃	〃	新出の建築部材(天 井裏板)について— 付白描図、及び復元 図—	大山 明彦 山田 真澄 池田 藍子	〃	〃
				北斎「奥州松島八景 図」出版広告	岩切友里子	北斎研究	49
				北斎「詩歌写真鏡」画 題小考	〃	〃	〃
				「富嶽三十六景 神 奈川沖浪裏」波の成 立の一考察	山際 真穂	〃	〃

富田文庫における葛飾北斎とその一門の狂歌本について(2) 叢春朗画『狂歌聯合女品定』の出版背景および喜多川歌麿画「開帳宝納狂歌美人合」との関係	奥田 敦子	北斎研究	49	『黄葉亭記』の原本と写本—岡山藩主池田家旧蔵資料の構造分析を踏まえて—	浅利 尚民	〃	641
翻刻 葛飾北斎画「六玉川」	根岸 美佳	〃	〃	作品紹介	〃	〃	〃
葛飾北斎肉筆鑑賞(77)「六歌仙図」絹本一幅	永田 生慈	〃	〃	伝狩野孝信筆「酒天童子絵巻」の特色	小野真由美	〃	〃
影印『絵画叢誌』北斎関連記事—附『東洋絵画叢誌』	〃	〃	50	狩野探幽筆、玉室宗珀・沢庵宗彭・江月宗玩賛「堀直寄像」	門脇むつみ	〃	〃
北海道開拓記念館所蔵『蝦夷島奇観』写本をめぐって—平沢屏山筆絵画との関係—	山際 晶子	北海道開拓記念館研究紀要	40	根香寺総合調査報告 根香寺の書画調査	松岡 明子	ミュージアム調査研究報告	4
筑前国の「好古家」江藤正澄と松浦武一郎—江藤正澄『遺憾録』を中心に—	三浦 泰之命	〃	〃	研究ノート 大阪市立美術館所蔵『九曜秘暦』覚書	米沢 玲	美をつくし	178
ミュージアム・コレクション 描かれた神々の世界	伊藤 克江	本 郷	101	初期から全盛期の黄表紙挿絵に見る天狗像と文字情報—諸芸の流行と団十郎人気との関わり—	鶴岡 明美	武蔵野美術大学研究紀要	42
河鍋暁斎筆「地獄極楽めぐり図」と勝田家菩提寺	曾田めぐみ	待兼山論叢	46	ささやかな日常感覚から見た古美術 その8、最終回	山中 理	目の眼	424、435
館蔵麻疹絵について	畠山 豊	町田市立博物館年報／紀要	2010年度	特集1 禅画を読み解く おかしみの中の真理 ひもとけば楽しい禅画の世界	浅井 京子	〃	428
聖徳大学所蔵『伊勢物語』絵巻について	辻 英子	三田国文	55	物に執して(160)	鈴木 皓詞	〃	433
狩野探幽筆「新図十二品」補遺	樋口 一貴	三井美術文化史論集	5	北斎が描いた甲斐の国	井澤英理子 宮澤富美恵	山梨県立博物館研究紀要	6
新出の立川流聖教について—翻刻と解題—	内田 啓一	密教図像	31	資料紹介「中鉄地神講掛軸」について	羽毛田智幸	横浜市歴史博物館紀要	16
禅林寺所蔵のいわゆる「十王図」の制作背景	釋 真弥	〃	〃	浮世絵における人物の写貌—役者絵・美人画・相撲絵の比較を通じて—	大久保範子	横浜美術大学 教育・研究紀要	2
MIHO MUSEUM所蔵の「蒔絵浄土図断片」について	桑原 康郎	MIHO MUSEUM 研究紀要	12	歴博甲本の主人公と注文主そして制作年—初期洛中洛外図屏風の読み方(1)—	黒田日出男	立正大学文学部研究紀要	28
長沢芦雪の署名と印章について—作品年代推定の手掛かりとして—	岡田 秀之	〃	〃	黎明館企画展—一生誕333年—薩摩の絵師木村探元の魅力	黎 明	〃	115
神護寺山水屏風の秋—七夕と網代—	泉 万里	MUSEUM	638	将軍家「奥」における絵画稽古と御筆画の贈答	木下はるか	歴史評論	747
江戸初期鷺鳥図における「雁と鶴」についての考察—塩鶴屏風をてがかりに—	小野真由美	〃	〃	風説と怪異・妖怪—流行病と予言獣	常光 徹	歴 博	170
				特集 都市『江戸』の表象	〃	〃	171
				江戸名所の心理学	井田 太郎	〃	〃
				異国人と江戸の表象—朝鮮通信使の点描を中心に—	ロナルド・トビ	〃	〃

特集 歴史・民俗に みる「老人」たち 北 斎と老境	大久保純一	〃	172	261 なぜ水に浮い ているのか 作者 不詳「江戸名所図 屏風」	〃	7.4
れきはく井戸端会議 展示室Q & A[東山 名所図屏風]	小島 道裕	〃	174	264 誰を描いたの か 作者不詳「北 垂墨利加人物ベル リ像」	〃	7.25
野呂介石の画風変遷 —その山水表現を中 心に—	安永 拓世	和歌山県 立博物館 研究紀要	18	269 なぜこの松は 違うのか 二条城 二の丸御殿 大広 間四の間 狩野山 楽または探幽「松 鷹図」	〃	8.29
東嶺円慈の行状と作 品	浅井 京子	早大會津 八一記念 博紀要*	13	285 ちぐはぐさに 浮かぶのは 戸田 忠翰「白鸚鵡図」	〃	12.19
細川林谷筆「探梅巻」 (会津八一コレクシ ョン)にみる旅と交 友の記録	久保佐知恵	〃	〃	絵巻満開 傑作相次 ぎ公開 紙芝居や実 録風の味わい 文楽 を楽しむような感覚	西岡 一正	〃 4.4
仏画における生身性 について—五色糸と 髪緒	内田 啓一	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	57	4「読ん」で知るア ート 江戸絵画	小林 忠	〃 4.4、11、 18、25
放浪の文人・細川林 谷筆「西国巡礼詩画 帖」について	久保佐知恵	〃	〃	歴史 絵巻物の政治 性を議論 美の裏に 「権力の誇示」	小川 雪	〃 4.23
修士論文概要「又兵 衛風遊楽図」につい て—野外遊楽図を中 心に—	森 瑤子	〃	〃	奇想天外 蕭白全開 展覧会首都圏で続々 「超越感」に心スッキ リ[曾我蕭白]	大西 若人	〃 4.25
ニュースがわからん ! 高松塚古墳壁画 の修復は進んでる?	渡 義人	朝 日	3.22	美の季想 不在の美 学 花から浮かぶ物 語	高階 秀爾	〃 5.9
ボストン美術館 日本 美術の至宝 おか えり美の遺産 力強い 筆遣いよみがえった	アン・ニシ ムラ・モー ス	〃	4.5	「源頼朝像=直義」説 に新視点 足利氏の 「二頭政治」聖像化 黒田日出男氏「危機 回避願ひ奉納」	村山 正司	〃 6.25
日本橋 描かれた 400年 2～9	我妻 直美	〃	4.10、17、 24、5.8、 22、29、 6.5	4「読ん」で知るア ート 妖怪のからだ	小松 和彦	〃 7.25、8.1、 8、15
古都ナビ 宝物編 東大寺	小滝ちひろ	〃	5.13、27	「源頼朝像=直義」説 に新研究 東北大教 授「絵絹は14世紀、 日本製」	村山 正司	〃 10.29
将軍の顔、下絵はリ アル 徳川宗家に伝 来、研究進む	宮代 栄一 小川 雪	〃	8.8	絵絹は14世紀の日本 製 源頼朝像「別人 説」後押し 東北大 大学院教授が新研究	磨井 慎吾 産 経	12.6
光琳、絵の下全面に 金箔 八橋図屏風	〃	〃	10.31	熱気球[親鸞・絵伝 ・善照寺]	東 京	1.28
美の履歴書	朝日夕刊	〃	〃	カジュアル美術館 国宝 東京国立博物 館 渡辺崋山 鷹見 泉石像 鬼気迫る顔 崋山の心?	三沢 典丈	〃 6.17
243 応挙が模写し たわけは「鳥類真 写図巻」(部分)渡 辺始興	西田 健作	〃	2.29	ぶらーりキャンパス お宝編 国学院大 奈良絵本「平家物語」 筆運び、絵に特異性 [国学院大学]	小形 佳奈	〃 10.1
253 魚に重ねた思 いとは「遊魚図」渡 辺崋山	西岡 一正	〃	5.9			
259 女の体に潜む ものは 溪斎英泉 「雲龍打掛の花魁」	増田 愛子	〃	6.20			

平成24年定期刊行物所載文献(古／絵画)

光琳金箔に描く「八橋図屏風」を電波透視で判明		東	京	10.31	世の中五用心 生活規範面白く説く [錦朝楼・歌川芳虎]	石山 秀和		7.20
歌川国芳展 没後150年	宮川 匡司	日	経	1.21	里すゞめねぐらの仮宿 雀の姿で遊ぶ女生き生き [歌川国芳]	西村 直子		8.24
ワシントン伊藤若冲展 精緻極まる若冲の傑作「動植綵絵」米で一堂に	〃	〃	〃	3.17	近世商売尽狂歌合「稲荷鮓」屋台庶民に人気 [石塚豊芥子]	吉田奈緒子		10.26
美の美 与謝蕪村―無限のポエジー 1～4	〃	〃	〃	6.10、17、24、7.1	十二月之内師走餅つき 女衆の会話聴こえそう [三代歌川豊国]	丸山はるか		11.30
文化往来 興福寺中金堂に祖師ら描く「法相柱」再興へ	〃	〃	〃	7.24	新板浮絵忠臣蔵 第十一段目 吉良家の家臣最期の奮戦 [葛飾北斎]	小山 周子		12.7
美の美 文人って何だ? 池大雅 上	〃	〃	〃	11.11	古美術 里帰りの春国内所蔵も展示会	前田 恭二	〃	4.5
あの「源頼朝」は別人? 「足利直義」説以来議論百出	岸 桂子	毎	日	10.31	強右衛門の背旗 由緒判明	早川 保夫	〃	5.23
美・コレクション「収蔵と展覧の運動」を行く 宋紫石「牡丹小禽図」	〃	〃	〃	11.14	「血曼荼羅」伝承の始原 軸木内の頭髮忠盛、清盛か 平家2代、高野山への深い帰依	高橋 昌明	〃	7.4
科学調査も異なる結果 求められる多角的考察 光琳の国宝「紅白梅図屏風」金銀箔使用で「確定」	〃	毎日夕刊	〃	1.12	家康の最晩年 リアルに 徳川記念財団所蔵画 供養用の肖像下絵か	〃	〃	8.8
目は語る アート逍遥5月 光琳の燕子花図 人物と橋を消した美意識	高階 秀爾	〃	〃	5.7	神護寺の「源頼朝」像は誰「足利尊氏の弟」説推す新著	早川 保夫	〃	8.29
広重は東海道を旅したのか 否定説の再考促す見解[歌川広重]	井上 晋治	読	売	1.4	小笠原諸島の歴史資料公開 江戸東京博物館	〃	〃	9.12
江戸博蔵めぐり	〃	〃	〃	〃	被災の衡立 修復し公開 仙台市博物館 [司馬江漢]	〃	〃	10.31
十二支見立職人づくし 笑い誘う仕事ぶり[歌川国芳]	橋本由起子	〃	〃	1.13	いきいき江戸の狂言画帖見つかる 舞台に女性 胡弓・三味線も	読売夕刊	〃	3.31
忠臣蔵見立人形 目を凝らすとゆかりの品々[歌川貞房]	丸山はるか	〃	〃	1.20	ぎやらりいモール	〃	〃	〃
鎮西八郎為朝大明神両国ニテ御開帳子供御逆之図 疱瘡除け願う大行列[歌川国芳]	吉田奈緒子	〃	〃	4.20	そごう美術館「京都細見美術館展 琳派・若冲と雅の世界」から 伊藤若冲「雪中雄鶏図」	舟串 彩	〃	6.12
東海道五拾三次之内 日本橋朝之景旅の起点 斬新な視点[歌川広重]	我妻 直美	〃	〃	5.25	太田記念美術館「浮世絵猫百景―国芳一門ネコづくし」から 歌川国芳「猫の当字 かつを」	赤木 美智	〃	7.3
市川団十郎口演 清醒丸引札 歌舞伎役者広告に一役[歌川国貞]	丸山はるか	〃	〃	6.1				

千秋文庫「雪舟とその流れ—佐竹家狩野派模写絵展」から 雪舟(模者不詳)「天橋立図(模写)」	金森	陽	7.17						
千葉市美術館「どうぶつ大行進」から 森一鳳「象図屏風」	松尾	知子	8.7						
板橋区立美術館「我ら明清親衛隊」から 戸田忠翰「白鸚鵡図」	佐々木英理子		12.11						
二条城展から	早川	保夫	"						
四季花木図 狩野光信筆 優美な城の原点			8.15						
竹林群虎図 狩野甚之丞筆 登城の大名を威圧			8.16						
<b>朝 鮮</b>									
企画展「朝鮮の屏風—暮らしを彩る絵画演出」高麗美術館の朝鮮屏風—修復の現場から	馬場	秀雄	93						
伝閑倩筆 葡萄図	橋本	慎司	1403						
アート・レビュー 記録と芸術の名手たち 朝鮮画員の世界を垣間見る	高金	美錫	19-1						
顔輝の画いた仙人像—《蝦蟇鉄拐図》(京都・智恩寺蔵)の主題をめぐって—	森橋	なつみ	28						
亀倉コレクションの朝鮮民画と古典図鑑本について	高	晟垓	11						
日韓共同シンポジウム特輯			405						
国史形美術史の栄辱—朝鮮後期絵画の解釈と評価の問題—	洪中尾	善杓							
愛情の誤謬—鄭澈に対する評価と叙述の問題—	張石附	辰城							
朝鮮国王に贈呈された「楊貴妃図屏風」—己酉条約と「金屏風五対」をめぐって—	朴	美姫	172						
<b>そ の 他</b>									
キジル石窟涅槃図にみられる仏教的特質	大門	浩子	128						
大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画ワールドカップ Team India『カーマ・スートラ』の国からカジュラーホーインド式エロティシズム	森	雅秀	746						
伴大納言絵巻のおもしろさ	黒田	泰三	70						
研究報告 東京芸術大学西域画模本拾遺	芹生	春菜	H22年度						
火焰を背にしたオエ—ショーニシヴァ—アフガニスタン北部出土のクシヤン朝絵画と、密教図像の—源流—	安元	剛	31						
ヴァスダーラー(Vasudhārā)女尊の図像とその典拠について	スダン・シヤキヤ	"	"						
胎藏五仏の成立について—『大日経』の先行経典としての『文殊師利根本儀軌経』—	田中	公明	"						
ぎやらりいモール根津美術館「平家物語画帖—諸行無常のミニアチュール」から「平家物語画帖・上帖『弓流しの事』」	松原	茂	10.2						
<b>図 像</b>									
<b>中 国</b>									
論文要旨《博士》熾盛光仏図像の研究	蘇	佳瑩	12						
コラム 招聘レポート 崇鳳習俗の日中比較	趙	李娜	28						
<b>日 本</b>									
あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第85回 日本美術のなかの「龍」旧暦「辰」年にちなみ	稲賀	繁美	190						
琉球漆器における葡萄栗鼠の図像について—浦添市美術館所蔵作品を中心に—	森根	涼子	よのつち* 8						
アジア図像探検96 権力と美術14	杉原	たく哉	266						

平成24年定期刊行物所載文献(古／図像、文様、地図・絵図、彫塑)

ユーラシアの天地をめぐる「黄金」デザイン—慶州・国立博物館蔵・新羅の金製装飾の表象考	鶴岡 真弓	多摩美術大学研究紀要	26	連載 再建への意志：図面のなかの都市復興 no. 11 明暦江戸大絵図	小林 信也	建築雑誌	1638
妙見信仰と真武信仰における文化交渉	二階堂善弘	東アジア文化交渉研究	5	中城御殿御普請板図の翻刻	新垣 裕之 伊良部一史 上江洲安享 新里 涼子	首里城公園管理センター年報	2
妖怪文化の脈動 江戸時代と近代の広がり	湯本 豪一	見世物	5	シンポジウム「歴史のなかの地図Ⅴ 江戸と江戸城」画像のなかの江戸城—版本江戸絵図を中心に—	千葉 正樹	東京大学史料編纂所研究紀要	22
弥生時代にきた龍	金関 恕	みんぱく	412				
そ の 他				浜村新潟の都市空間に関する復元的研究 古新潟之図の歴史地理学的考察	水田 恒樹	日本建築学会計画系論文集	672
四獣頭(四獣、四聖獣)の形成と伝播について	朴 亨國	密教図像	31				
文 様				越前大野城下における土地管理と景観—「渡り地浮地絵図」の考察から—	渡邊 秀一	仏教大学歴史学部論集	2
日 本				資料紹介 天明改正細見京絵図—「い」文字送り火があった時代の京都—	鋤柄 俊夫	文化情報学	8
調査研究ノート vol. 12 京極家の家紋のナゾ	御厨 義道	香川県立ミュージアムニュース	18	松江藩領全域をおおう「輪切絵図」—安定的な年貢確保を目的に—	上杉 大矢 大矢 幸雄 石倉 舞美	松江歴史館研究紀要	2
華光大帝の変容	二階堂善弘	東アジア文化交渉研究		宮崎の歴史情報 九州測量200年	(中竹)	森の通信	53
資料紹介 正倉院宝飾鏡の鳳凰文様について—定性分析からの観点—	安藤真理子	文化情報学	8	研究ノート 萩藩絵図方関係年表(図版編)	山田 稔	山口県文書館研究紀要	39
隼人の楯の文様についての一考察(2)	崎田 一郎	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	8	特集展示 元禄の堺大絵図—巨大都市図を歩く—	藤田 裕嗣	歴 博	175
地図・絵図				彫 塑			
日 本				中 国			
NOTE 伊能忠敬 in 府中	馬場 治子	あるむぜお	99	西域北道出土塑像の基礎的研究—ベルリン・アジア美術館所蔵品データベースの作成と調査・記録手法の確立に向けて—	森 美智代	高梨学術奨励基金年報	H23年度
資料紹介 新発見資料「西山御山家絵図」「梅里先生碑陰銘」について	永井 博	茨城県立歴史館報	39	不空奏上の文殊上座と最澄提唱の僧形文殊	柴田 憲良	天台学報	54
ライデン大学所蔵の因幡国絵図・伯耆国絵図をめぐる	倉地 克直	岡山大学文学部紀要	57	北京・雍和宮の諸仏塔と伝承	松木 民雄	東海大学国際文化学部紀要	4
小樽地方図の変遷—江戸期の小樽地方—	白濱 和彦	小樽市総合博物館紀要	25	奈良美術研究会 活動報告2011年度 唐代における千仏像の展開—蓮華表現を伴う例について—	小野 英二	奈良美術研究	13
鎌倉ゆかりの「社寺明細帳図」—合祀された神社—	山地 純	鎌倉	113				
高崎藩主松平(大河内)氏家臣団の動向—『享保高崎絵図』の注釈2—	中山 剛志	群馬県立歴史博物館紀要	33				

調査報告 中国山西・河北地域における北朝隋唐時代仏教石刻資料の実地調査報告	手島 一真	東アジア石刻研究	4	九州西側の石造仏とその特質	井形 進	鹿島美術財団年報・別冊	29
平成23年度西部例会 山西省芸術博物院大雲寺涅槃變碑像の図像と銘文に関する考察	田中 健一	美術史	172	東国所在の運慶の造像の研究—静岡・願成就院諸像を中心に—	高橋沙矢佳	〃	〃
遊牧民族の座法が五涼の仏座像に及ぼした影響に関する研究(1)—科研「ヒマラヤを越え河西回廊に伝わった密教的造形と表現に関する研究」から—	服部 等作	広島市立大学芸術学部紀要	17	近世彫刻史における羅漢彫像の研究	桑野 梓	〃	〃
蒲州大雲寺涅槃變碑像に関する考察	田中 健一	仏教芸術	325	称名寺所蔵観音・勢至菩薩立像について	明珍 素也 森 美穂	金沢文庫研究	328
中国墓葬における人面・獣面鎮墓獣と鎮墓武士俑の成立	吉村 菖子	MUSEUM	638	鎌倉の至宝(13)重要文化財 寿福寺蔵薬師如来坐像	和澄 浩介	鎌 倉	113
中国における初期の「邑義」について(下)—北魏における女性の集団造像—	佐藤 智水	龍谷大学仏教文化研究所紀要	51	海を越える伽藍神—日中五山の伽藍神の比定—	二階堂善弘	関西大学東西学術研究所紀要	45
日 本				城下町における都市計画と基軸の設定—飯田を事例として—	松本 幸一	〃	〃
建造物および山車にみる風神雷神の彫刻について	水野 耕嗣	飯田市美術館研究紀要	22	愛知県岡崎市和志取神社蔵女神像について—近代式内論社と文化財—	長谷 洋一	関西大学博物館紀要	18
天福寺奥院仏像群について	高宮なつ美	大分県立歴史博物館研究紀要	13	塙仏にみる調整痕の違いについて—夏見廃寺出土塙仏を例に—	中東 洋行	〃	〃
大津市内所在彫刻調査報告1 一木造阿弥陀如来及び両脇侍像 三軀 西教寺蔵1	寺島 典人	大津市歴史博物館研究紀要	18	獅子窟寺蔵薬師如来坐像に関する一考察	西木 政統	芸 術 学	15
法然上人没後800年記念・親鸞聖人没後750年記念企画展 阿弥陀さま—極楽浄土への誓い—		大津歴博だより	88	特輯 武蔵の仏像		国 華	1401
三輪山セミナー講演録 大御輪寺の仏像と神像	鈴木 喜博	大 美 和	123	「武蔵の仏像」特輯に当って	田邊三郎助		
岡崎市の円空仏	小島 梯次	岡崎市史研究	32	武蔵の仏像	林 宏一		
文化財の指定等 新指定の文化財(県指定文化財)[法然寺]		香川県文化財年報	H22年度	清岩院蔵 銅造菩薩立像	稲木 吉一		
新出の清水隆慶作品—近世彫刻の諸相4—	浅湊 毅	学 叢	34	桂木寺蔵 木造伝釈迦如来坐像	岩佐 光晴		
清水隆慶作「髑髏」の経穴	猪飼 祥夫	〃	〃	五社神社蔵 木造蔵王権現立像及び菩薩形坐像	副島 弘道		
				金剛寺蔵 木造不動明王及び二童子像	奥 健夫		
				法恩寺蔵 木造大日如来坐像	林 宏一		
				慈光寺蔵 木造観音菩薩及び勢至菩薩坐像	副島 弘道		
				慈光寺蔵 木造阿弥陀如来坐像	奥 健夫		
				地藏院蔵 木造不動明王立像	山本 勉		
				法台寺蔵 木造他阿真教上人坐像	津田 徹英		



## 平成24年定期刊行物所載文献(古／彫塑)

木造菩薩坐像	井上 大樹 国 華	1403	美作の狛犬(3)	田淵千香子	津山弥生の里	19
富士山をめぐる女神信仰の系譜	畠堀 操八	国華清話会会報	資料紹介 刀根区気比神社釈迦堂の仏像	高早 恵美	敦賀市立博物館研究紀要	26
平成24年度特別展「安倍晴明公坐像」		斎宮歴史博物館だより	女神像の服制・髪型について	池本 ゆい	帝塚山大学院紀要*	14
歴史のしおり 鉄のほとけさま	内山美代子	埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	丹波・丹後地方の麻呂子親王伝説にまつわる七仏薬師像—法界定印に薬壺をもつ薬師如来像の事例紹介を兼ねて—	刀棚 都未	" "	" "
伊奈氏が造立した地藏尊—紹介と予察—	赤石 光資	埼玉史談	修復研究実績		東京芸大保存修復彫刻年報*	2011年度
口絵写真解説 坂戸永源寺の什物—「嶋田重次墓誌」と「降誕釈尊仏」—		" "	茨城県桜川市真壁町田山口地区蔵木造虚空蔵菩薩坐像			
資料紹介 滋賀・小槻神社木造男神坐像について	山下 立	滋賀県立安土城考古博物館紀要	茨城県桜川市真壁町田山口地区蔵木造虚空蔵菩薩坐像	岩佐 光晴		
神像彫刻史における奈良・玉龍寺木造女神坐像の位相—美術史学・年輪年代学からの報告—	大河内隆之 山下	" "	茨城県小山寺蔵木造毘沙門天立像			
黄檗信仰史77	江口 正尊	史迹と美術	東京都個人蔵 木造阿弥陀如来立像			
「大出雲展」只今準備中	的野 克之	島根県立古代出雲歴史博物館NEWS	奈良県室生寺蔵 木造地藏菩薩立像 附厨子および木造不動明王立像		" "	" "
万年大夫夫婦坐像の畳	笹岡 明	市民と博物館	制作研究実績			
口絵写真解説 重要文化財《童子型神像》 大將軍八神社蔵	田中 恵	紫 明	静岡県願成就院蔵 木造毘沙門天立像 縮尺模刻制作			
連載 歴史と美の探訪	大橋 信弥	" "	木造地藏菩薩立像制作			
10 弥勒菩薩の渡来—秦河勝と葛野秦寺の造宮—			調査研究記録		" "	" "
11 弥勒菩薩の伝流			静岡県願成就院蔵 運慶作木造毘沙門天立像			
江戸に下った太子像	小松 光江 聖 徳	211	東京国立博物館蔵 木心乾漆造日光菩薩半跏像			
グラビア解説		" "	東京芸術大学蔵 木心乾漆造月光菩薩坐像(蔵品番号彫刻1)			
救世観音菩薩立像 [法隆寺夢殿]	岩田 茂樹	" "	奈良県長岳寺蔵 阿弥陀如来及び両脇侍像のうち阿弥陀如来坐像			
観音菩薩立像 夢殿安置	山口 隆介	212	大阪府道明寺蔵 木造十一面観音菩薩立像			
行信僧都坐像[法隆寺]	岩田 茂樹	213	愛知県豊高院蔵 木造玄道上人坐像			
道詮律師坐像[法隆寺]	岩井 共二	214				
稲毛薬師の太子像	小松 光江	" "				
新指定の文化財 木造阿弥陀如来坐像		調布の文化財				

福井県清雲寺蔵 毘沙門天三尊像の うち吉祥天立像及 び善財童子立像				後白河院と如意輪観 音信仰の関わりをめ ぐる一試論	清水 紀枝	奈良美術 研究	12
茨城県桜川市真壁 町田山口地区蔵 木造虚空蔵菩薩坐 像・光背・台座				仏塔装飾小考—飛鳥 白鳳期の作例を中心 に—	片岡 直樹	〃	13
日本木彫史概説	簗内佐斗司	〃	〃	シンポジウム報告 2011年10月1日開催 「文化財の解析と保 存への新しいアプロ ーチ VIII」		〃	〃
総合文化展見どころ 案内2012年2月・3 月 気になるこの部 屋・この作品 帝釈 天立像と不動明王立 像	丸山 士郎	東京国立 博物館ニ ュース	711	薬師寺の金銅製品 のX線分析—薬 師三尊像・東塔伏 鉢を中心に—	櫻庭 裕介		
総合文化展見どころ 案内2012年4月・5 月 気になるこの部 屋・この作品 重文 金銅聖観音懸仏	伊藤 信二	〃	712	平城京遷都期にお ける造仏工・造寺 工の系譜	大橋 一章		
総合文化展見どころ 案内2012年6月・7 月 気になるこの部 屋・この作品 銅造 菩薩半跏蔵	浅見 龍介	〃	713	奈良美術研究会 活 動報告2011年度 野 中寺弥勒菩薩半跏像 について	竹田 滋子	〃	〃
東近江市徳昌寺の厨 子入弁才天十五童子 像について	佐々木 進	同志社大 学博物館 学年報	43	東大寺南大門仁王像 の仏師編制について	鈴木 喜博	南都仏教	97
長崎市・興福寺所蔵 媽祖倚像および侍女 立像—九州所在本彫 像基礎資料4—	楠井 隆志 鳥越 俊行	東風西声* 7		古代の造寺と社会	竹内 亮	日本史研 究	595
解説 聖徳太子南無 仏二歳立像	小山 正文	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	31	2011年度日本史研究 会大会報告批判 共 同研究報告 竹内報 告を聞いて	古市 晃	〃	596
聖徳太子信仰と三国 仏教史観(中)—一幅 本三国菩薩・高僧・ 先徳・太子連坐像の 成立構想に即して—	早島 有毅	〃	〃	日本美術随想 モノ の心・形の心 銅造 獅子水滴	森川 潤一	日本美術 新聞	4
修士論文要旨 鎌倉 時代の「三尺阿弥陀 如来立像」の作風展 開について	石原 俊樹	徳島文理 大学文学 論叢	29	生駒宝山寺湛海の仏 舎利信仰	赤田 光男	日本文化 史研究	43
神像吒尼天騎狐像 —日光山の神々との 習合—	北口 英雄	栃木県立 博物館研 究紀要	29	中世真宗の祖師先徳 彫像の制作をめぐつ て	津田 徹英	美術研究	406
さくら市龍光寺蔵木 造喜連川恵氏坐像に ついて	本田 論	〃	〃	平成23年度西支部例 会 十二神将像の図 像的系譜に関する一 試論	一本 崇之	美術史	172
話題 六波羅蜜寺 伝平清盛像、その像 主をめぐって	岩田 茂樹	奈良国立 博物館だ より	80	平成23年度東支部大 会 鎌倉時代の阿弥 陀造像—救済と霊験 の視点から—	武笠 朗	〃	〃
名品展のみどころ		〃		第65回全国大会研究 発表要旨 円応寺初 江王坐像再考	森田 龍磨	〃	173
特別公開 定朝様 の丈六阿弥陀像 阿弥陀如来坐像	岩田 茂樹		82	浄瑠璃寺薬師如来像 と平安後期の南山城 の宗教空間	深沢麻亜沙	美術史学	33
如来立像	岩井 共二		83	平山郁夫シルクロ ード美術館コレクシ ョン87、88	平山美知子	美術の窓	341、342
				日本美術のススメ 今月の逸品		〃	
				十一面観音立像	岩田 茂樹		343

平成24年定期刊行物所載文献(古／彫塑)

快慶 木造大日如来坐像	清水 眞澄		348	伊豆山権現立像				
				個人蔵 男女神像				
愛知・瀧山寺聖観音・梵天・帝釈天像の付属莊嚴具—莊嚴形式も踏まえた三尊像の理解のために—	三本 周作	フィロカリア	29	玉龍寺 女神坐像				
				常行堂宝冠阿弥陀如来像の典拠図像と造像背景—鎌倉時代を中心に—	古幡 昇子	密教図像	31	
福岡・恵光院燈籠堂の石造十一面観音像—南末彫刻の可能性と図像の検討—	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	22	園城寺の新出不動明王	伊東 史朗	MIHO MUSEUM 研究紀要	12	
平成22年度 新指定文化財 木造阿弥陀如来立像 絹本着色 亀年禪像	横田 泰之	ふちゅ〜る	20	信楽・来迎寺の院快・院静・院禅作木造阿弥陀三尊像について	岩田 茂樹	MUSEUM	640	
鑑真和上像の着衣・唐式偏衫について—竹下蘭子氏の批判に答えて—	吉村 怜	仏教芸術	321	研究ノート 東京国立博物館・静嘉堂文庫美術館分蔵十二神将像の伝来と作者—京都・浄瑠璃寺からの流出と運慶銘発見記事—	神野 祐太	"	"	
興福寺蔵旧山田寺仏頭再考—当初の安置堂宇と尊名の再検討を中心に—	原 浩史	"	322	根香寺総合調査報告 根香寺の彫刻調査	三好 賢子	ミュージアム調査研究報告	4	
東大寺法華堂不空絹索観音像と『華嚴経』	濱田 恒志	"	"	中世都市鎌倉の大災害—大仏殿倒壊を中心に—	八幡 義信	武蔵野	351	
金剛峯寺執金剛神・深沙大將立像と快慶の造形—銘記発見報告と作風理解を中心に—	友鳴 利英	"	323	京都・三時知恩寺の善導大師像	萩原明珍	哉素也	武蔵野美術大学研究紀要	42
芝薬師(大興寺)の十二神将巳神将午神将像—鎌倉時代末院派仏師の一活動—	伊東 史朗	"	"	講演1 半跏思惟像と聖徳太子信仰	藤岡 穰	八尾市文化財紀要	17	
笙ノ窟の不動明王像について	田邊三郎助	"	"	浄音寺十一面観音像をめぐる	清水 眞澄	八雲立つ風土記の丘	212	
湛慶様式の形成と展開をめぐる試論—湛慶周辺作例における造形的志向性への視座—	植村 拓哉	仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	8	いわゆる春日地藏について(下)	鈴木 喜博	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	14	
異形の尊像—神変相としての異形性—	熊谷 貴史	仏教大学総合研究所紀要	19	東大寺大仏左脇侍と如意輪観音信仰	清水 紀枝	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57	
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 彫刻	文化庁文化財部	文化財*	585	修士論文概要 宝誌和尚像考—観音化身論序説—	神野 祐太	"	"	
京都府指定文化財の紹介 木造阿弥陀如来立像	中野 慎之	文化財レポート	25	古都ナビ 宝物編 東大寺	小滝ちひろ	朝 日	5.13、27	
展覧会報告 妖婉×廉潔—弁才天信仰と青砥藤綱—	田中 正流	鳳翔学叢	8	文化の扉 歴史編 じゃあどんな顔? 足利尊氏 さん切り髪 武者/実は穏やかな垂れ目	村山 正司	"	10.1	
マイクロフォーカスX線CTを用いた木造神像彫刻の非破壊年輪年代調査(1)	大河内隆之 児島 編	埋蔵文化財ニュース	147	飛鳥大仏、ほぼ飛鳥時代のまま 早大チーム、銅の比率分析	渡辺 延志	朝日夕刊	9.21	
與喜天満神社 神像群				美の履歴書274 なぜ口元を隠すのか「女神坐像」	大西 若人	"	10.3	
大宝神社 男神像								

決断の日本史131 1003年4月「因幡葉 師」京都に飛来 受 領・橘行平の眞官運 動?	渡部 裕明 産 経	7. 10	仏像光背の変遷とそ の表現形式について —焔肩の図像表現を 中心に—	内藤 善之 "	128
生きる 仏像鑑賞の ために 下 彫刻の もつ三次元性 空間 を共有する醍醐味	伊東 史朗 東 京	11. 17	兵士、あるいは運動 選手?—アルカイッ ク時代のアッティカ 墓碑における裸体像 解釈—	田中 咲子 オリエン ト	54—2
仏像内部に将軍の遺 髪? X線撮影 尊氏 か義詮か 大津・三 井寺		東京夕刊 11. 10	バンコク国立博物館 所蔵の如来坐像(グ ラヒム)の製作年代 に関する覚書	浅湊 毅 学 叢	34
美の美 東大寺法華 堂の秘密 上～下	竹田 博志 日 経	2. 26、3. 4、 11	ガンダーラ美術の図 像学的研究(8) 釈尊 の納棺と葬法—梵・ パーリ本『大般涅槃 經』の叙述と仏伝浮 彫の図像をめぐって —	田辺 勝美 古代オリ エント博 物館紀要	32
らいふプラス 最大 の木喰仏を尋ねて 村人の尊敬・信仰一 身に	本田 寛成 "	4. 25	カニシカ王の弥勒仏 陀コイン	小山 満 シルクロ ード研究	7
蟹満寺の謎 金銅仏 を調査 X線分析 鋳造後に顔修正判明	早川 保夫 読 売	2. 8	スリランカにおける 密教とガルヴィハー ラ寺院の芸術(下)	チャンドラ ・ウィック ラマガマゲ ー 楠元香代子 訳 崇城大学 芸術学部 研究紀要	5
北条泰時 極楽往生 の願い 鎌倉・常楽 寺 阿弥陀像造らせ る? 死の3日前の墨 書		" 2. 18	ガンダーラ仏教彫刻 における酒宴図、舞 楽図、性愛図の新解 釈—ザール・デリー 出土の従三十三天降 下図浮彫を中心に—	田辺 理 仏教芸術	323
「十二神将立像」運慶 の作か 明治期の新聞 に具体的記述	早川 保夫 "	11. 14	スワート地方とペシ ャワル盆地における ガンダーラ美術様 式の年代	内記 理 "	325
ぎやらりいモール 神奈川県立金沢文庫 「解脱上人貞慶—鎌 倉仏教の本流」から 「持国天立像(四天王 立像のうち)」	瀬谷 貴之 読売夕刊	7. 10	アフガニスタンの仏 教遺跡群 メセ・ア イナク	岩井 俊平 前田 耕作 序 "	"
朝 鮮					
シンポジウム報告 2011年10月1日開催 「文化財の解析と保 存への新しいアプロ ーチ VIII」三国時代 金銅仏の復元的考察 —6—7世紀東アジ アの金銅仏形式の共 有様相を中心に—	郭金 東錫 奈良美術 志虎 研究	13	ぎやらりいモール 大倉集古館「インド への道—美術が繋い だ日本と印度」から 「バイラヴァ立像」	田中知佐子 読売夕刊	11. 27
原 始 彫 刻					
中 国					
根津美術館蔵石造浮 屠の四天王像につい て—いわゆる兜跋毘 沙門天を中心に—	陸 載和 武蔵野美術 大学研究 紀要	42	一品鑑照 vol. 19 緑 褐釉臥人	川島 公之 陶 説	709
日 本					
燃灯仏に見られる焔 肩と『六度集經』につ いて	村上 東俊 印度学仏 教学研究	126	東北地方・縄文晩期 の土偶(3)—「土偶 とその情報」研究会 集成資料(3): 補遺 —	金子 昭彦 岩手埋文 センター 紀要*	31
そ の 他					

資料紹介 大園遺跡出土埴輪の概要	三好 玄	大阪府教委文化財調査事務所年報	16	講演4 美園古墳出土の家形埴輪の語るもの—高床式家形埴輪を中心に—	白石 太一郎	八尾市文化財紀要	17
大和川今池遺跡の家形埴輪について	市村 慎太郎	大阪府立近つ飛鳥博物館報	16	所蔵品紹介 女性土偶	後藤 恒	エスプラナード	169
一須賀古墳群出土脚付壺の基礎的検討	飯田 浩光	〃	〃	文化の扉 はじめての土偶 想像かき立てる謎の造形美	木村 尚貴	朝 日	9.17
八つ塚古墳出土埴輪—円筒埴輪と形象埴輪の一例—	長谷川 一英	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要	4	面 日 本			
玉手山10号墳の楕円筒—南河内の前期埴輪—	河内 一浩	柏原市立歴史資料館館報	24	縄文時代土面集成(下)	永野 仁	大阪文化財研究	40
資料紹介		神奈川県立博物館研究報告	38	能『石橋』と「獅子口」の面	田邊三郎助	国 華	1398
神奈川県立歴史博物館所蔵の土偶・人面把手	千葉 毅			制作研究実績 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館「崑崙」復元模造事業		東京芸大保存修復彫刻年報*	2011年度
横須賀市蛭畑(ひるばたけ)遺跡出土の人面付土器について	近野 正幸			総合文化展見どころ案内2012年10月・11月 気になるこの部屋・この作品 重文能面大天神	浅見 龍介	東京国立博物館ニユース	715
人形と祓物—土製人形の系譜と祓の性格を中心に—	笹生 衛	国学院雑誌	1267	仮面と物質性：仮面論の再考に向けて	佐々木重洋	名古屋大学文学部研究論集	174
図版解説 出雲所在の石屋古墳出土埴輪の再整理	椿 真治	古代文化	590	橋岡一路氏よりの新規寄贈品について	清水 実	三井美術文化史論集	5
滋賀県竜王町堤ヶ谷遺跡出土の土偶形容器と石器について	中村 健二	滋賀県文化財保護協会紀要	25	法隆寺の面? ドイツで発見 法大チーム 廃仏毀釈で流出か	渡辺 延志	朝日夕刊	11.10
人物埴輪の製作技法からみた古墳時代後期の常陸	大村 冬樹	筑波大学先史学・考古学研究	23	書 蹟 東 ア ジ ア			
総合文化展見どころ案内2012年4月・5月 気になるこの部屋・この作品 重文埴輪 船	望月 幹夫	東京国立博物館ニユース	712	東アジア仏教世界をつなぐ—敦煌写本・海印寺写本・奈良平安写本—	落合 俊典	いとくら	8
一品鑑照 vol.22 土偶頭部	川島 公之	陶 説	712	中 国			
興野コレクションの土偶—糠塚貝塚—	佐藤 憲幸	東北歴史博物館研究紀要	13	法帖所収の趙孟頫書法の編年研究『宝雪斎趙帖』を中心に	陳 建志	芸術学研究(筑波)	17
新潟県の縄文時代中期土偶	宮尾 亨 寺崎 裕助	新潟県立歴史博物館研究紀要	13	特輯 京都国立博物館 上野コレクション		国 華	1404
表紙解説 国宝 土偶(山形県西ノ前遺跡出土)	原田 昌幸	文 化 財*	585	上野理一の手紙—有竹斎中国書画コレクションの形成と特色	西上 実		
口絵解説 大阪府八尾市美園古墳出土埴輪	和田一之輔	〃	587	漢書楊雄伝第五十七	赤尾 栄慶		
				王勃集第二十八	〃		

王羲之 十七帖 (宋拓)	〃				図版解説 寛弘2年 7月29日 散位藤原 為賢公驗紛失状	小林 昌二	古代文化	588
王羲之 集王書大 唐三藏聖教序(宋 拓)	〃				特輯 京都国立博物 館 上野コレクション 古今和歌集巻下 (寂恵本)	羽田 聡	国 華	1404
修士論文概要・修了 作品 楷書の審美研 究一唐代の書人を中 心に一	藤森 大雅	修了論文 ・修了作 品 研究 集録	H22年度		特輯 ギッター・コ レクション 白隠慧 鶴筆「恵」	島尾 新	〃	1406
特別寄稿 名筆観瀾 北京・故宮博物院藏 宋元書跡の諸相	富田 淳	書 道 界	266		鑑賞の勘どころ(12) 書を楽しむための第 一步	〃	国華清話 会会報	20
新出の行瑠『内典随 函音疏』に関する小 注	高田 時雄	敦煌写本 研究年報	6		日本古文書学会 第 44回学術大会要旨 新出の織田信長黒印 状の紹介	竹本 千鶴	古文書研 究	73
敦煌発現の宮廷写経 について	大西磨希子	〃	〃		三重県指定文化財 『資経本斎宮女御集』 の修復について		斎宮歴史 博物館研 究紀要	21
敦煌写本中の『法苑 珠林』と『諸経要集』	本井 牧子	〃	〃					
日 本								
「あがた切」に関する 考察(補遺)	別府 節子	出光美術 館研究紀 要	17		歴史のしおり 東西 を旅した仏典	根ヶ山泰史	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	19
古写経紹介・その8 国弘本『摩訶止観 巻第一』について	廣坂 直子 金水 敏	いとくら	8		定家本系『紫式部集』 と定家筆断簡一実践 女子大学本の現状報 告・2一	横井 孝	実践女子 大学文芸 資料研究 所年報	31
写経の定規	藤本 孝一	〃	〃		聚美名宝鑑 一休一 行書(双幅)	島谷 弘幸	聚 美	2
調査日記 ルーヴェ ン大学図書館	上杉 智英	〃	〃		最新科学で書を鑑定 する vol. 2、3、5		〃	2、3、5
新収蔵品紹介 加藤 清正自筆書状 一幅	山田 貴司	View	142		紙の万華鏡 Vol. 5 紫紙・紺紙金泥経の 輝き	増田 勝彦	〃	5
研究の散歩道 往来 物としての「百人一 首」一坂川鳴谷書『百 林百人一首』を素材 に一	石山 秀和	江戸東京 博物館 NEWS	77		修士論文概要・修了 作品		修了論文 ・修了作 品 研究 集録	H22年度
愛媛県西予市宇和街 神久寺所蔵の大般若 経について	土居 聡朋	愛媛県歴 史文化博 物館研究 紀要	17		最澄の書について 一天台教学からの 一側面一	池田 憲亮		
資料紹介 滝山寺三 門の扁額と明治36年 の看板	篠永 昌幸 河合 仁志	岡崎市史 研究	32		藤原定家自筆本の 研究	成田ますみ		
藤原定家の書写活動 と『有房中将集』	岸本 理恵	尾道大学 芸術文化 学部紀要	11		一山一寧の墨蹟に ついての一考察	高津久仁枝		
円覚寺智真「夢記」と 「仏日庵公物目録」	古川 元也	神奈川県 立博物館 研究報告	38		「香紙切」の書美に おける一考察	川元美恵子		
研究ノート本能寺の 変後の織田信孝の花 押	土山 公仁	岐阜市歴 史博物館 博物館だ より	82		傳山研究一書跡『齋 廬妙翰』を中心に一	亀山 麻理		
連載(第2回)聚美名 宝鑑 今月の名宝鑑 賞 一休一行書(双 幅)	島谷 弘幸	ギャラリ ー*	323		米芾研究『海岳名 言』を中心に	伊藤 夕姫		
					簡牘文字字体に関 する一考察	吉田 崇		
					高野切第一種系統 古筆に見る相違	野中 直之		

博士論文概要 金文書法研究	西周	角田 健一	修了論文・修了作品研究 集録	H23年度	三跡	水田至摩子 金子 馨		
聖語藏經卷「神護景雲二年御願經」について		飯田 剛彦	正倉院紀要	34	名品紹介 平安時代前期	峯岸 佳葉		
藤原伊房筆とされる一群の書跡について		中村裕美子	書芸術研究	5	名品紹介 平安時代中期	橋本 貴朗		
趙孟頫書(三清殿記)と(三門記)二稿の流伝史をめぐって		陳 建志	〃	〃	女手の完成と古筆	森岡 隆		
陳鴻壽隸書の編年と系統について		武井 志歩	〃	〃	名品紹介 平安時代後期	金子 馨		
ランダム・ハウス書の美術 一字一仏の思想について		古川 攝一	書道界	266	『和漢朗詠集』の写本	山本まり子		
特集 北京故宮がやってきた			〃	267	装飾経の世界	橋本 貴朗		
四明本西嶽華山廟碑の小宇宙		伊藤 滋			「源氏物語絵巻」の詞書	名児耶 明		
宋・元書法鑑賞記		田中 鳳柳			鎌倉時代	金子 馨		
大東文化大学所蔵日本書跡解題 沢庵宗彭書状(9月12日付牧野内匠頭宛)		高田 智仁	書道学論集	9	墨跡	峯岸 佳葉		
筆勢の美—運筆速度の緩急遅速を中心に—魏晉から唐代までの書論—		陳 柏攸	〃	〃	書論書	福井 淳哉		
漢末魏晉南北朝時代の書法教育		丁 成東	〃	〃	名品紹介 鎌倉時代	田村 麗恵 佐々木佑記		
高野切第一種と同筆同系統古筆の字形比較		野中 直之	〃	〃	南北朝時代	福井 淳哉		
水墨画の歴史を語る第31回 水墨のたのしみ		島尾 紫 新珠	水墨画*	276	名品紹介 南北朝時代	佐々木佑記		
日本の書 古代から江戸時代まで			太陽(別冊)	191	室町時代	橋本 貴朗		
日本の書 麗しき世界		名児耶 明			名品紹介 室町時代	六人部克典		
弥生・古墳時代		橋本 貴朗			茶掛けの流行 墨跡から和歌書へ	峯岸 佳葉		
飛鳥時代		鈴木 晴彦			安土桃山時代	水田至摩子		
名品紹介 飛鳥時代		六人部克典			名品紹介 安土桃山時代	福井 淳哉 佐々木佑記		
奈良時代		森岡 隆			江戸時代	鈴木 晴彦		
名品紹介 奈良時代		佐々木佑記			江戸庶民の文字「勘亭流文字」	〃		
天平に花開いた写経		名児耶 明			寛永の三筆の書	柳田さやか 峯岸 佳葉		
平安時代		森岡 隆			名品紹介 江戸時代前期	福井 淳哉 佐々木佑記		
三筆・三跡の書		金子 馨			書画一体の美を味わう道標	笠嶋 忠幸		
三筆		山本まり子 柳田さやか			名品紹介 江戸時代中期	尾川 明穂 佐々木佑記		
					名品紹介 江戸時代後期	名児耶 明 柳田さやか 金 貴粉		
					江戸の文字遊び—文字絵・絵文字—	金 貴粉		
					与謝蕪村 画俳ふたつの道の達人 蕪村の書—創意工夫による自在の書 目をみはる多様な書風—俗を用い俗を離れた書	鈴木 洋保	〃	202

日・中・韓の紙料に関する科学的考察	高橋 裕次	東京国立博物館紀要	47	中世における佐跡の評価について	高橋 哲也	ふくやま美術館・書道美術館紀要*	6
総合文化展見どころ案内2012年6月・7月 気になるこの部屋・この作品 国宝法華経巻六(色紙)	田良島 哲	東京国立博物館ニュース	713	『夜の寝覚』末尾欠巻部と伝後光厳天皇筆不明物語切の新出断簡一寝覚上は二度死に返る一	池田 和臣	文学*	13-2
総合文化展見どころ案内2012年10月・11月 気になるこの部屋・この作品 国宝寛平御時妃宮歌合十巻本歌合	恵美千鶴子	"	715	新指定の文化財 美術工芸品 国法の指定 書跡・典籍	文化庁文化財部	文化財*	585
新収資料 高松木兎子コレクション	山本 祐子	名古屋市博物館だより	202	万葉文化館蔵「伝江南院龍霄筆切」について	小倉久美子 井上さやか	万葉古代学研究所年報	10
中世末期における満盛院文書の保存・管理について一成巻文書の旧状復元を手掛かりとして一	吉原 弘道	七隈史学	14	紀美野町神野市場・満福寺所蔵の大般若経について	竹中 康彦	和歌山県立博物館研究紀要	18
名品展のみどころ		奈良国立博物館だより		日本の書 古代篇 1、3	手島 泰六	産 経	10.6、12.1
重要文化財 法華経(色紙経)	斎木 涼子		80	書の美	島谷 弘幸	毎 日	2.5、4.15
万昆嶋主解	野尻 忠		82	歴史迷宮解 古筆の年代測定 上～下	佐々木泰造	"	3.28、4.25、5.23
東大寺收藏経巻調査報告(6)	東大寺図書館	南都仏教	97	書2012 後白河法皇へのこだわり	菅原 教夫	読 売	7.12
口絵		日本歴史		1300年前の毛筆跡「古事記」編さん 太安万侶の墓誌に		"	10.5
古今和歌集(元永本)	高橋 裕次		764	奈良時代初期「長屋王願経」古書市で発見 国内最古級の写経	辻本 芳孝	読売夕刊	8.25
古談抄	小倉 慈司		765	古文書・古記録			
明月記断簡 建暦3年(建保元年)5月28日条(後欠)	中村 一紀		767	中 国			
庭訓往来 至徳3年霜月3日豊前守朝英書写奥書2巻(上巻巻頭)	横内 裕人		773	6世紀のソグド系響銅一和泉市久保惣記念美術館所蔵品の調査から	岡村 秀典 廣川 守佑 向井 佑介	史 林	493
資料紹介 大燈国師墨蹟「白雲偈」小考	宮武 慶之	野村美術館研究紀要	21	日 本			
第65回全国大会研究発表要旨 料紙装飾における唐紙の意匠に関する考察一瓜文様の系譜一	高橋 静香	美術史	173	研究ノート 近世における花押使用の実態について一田原藩主三宅康雄の事例をもとに一	平野 仁也	愛知県史研究	16
慶安元年跋刊『本朝名公墨宝』(素庵巻)(4巻4冊のうち)について一影印と釈文、(附載)同『本朝名公墨宝』中巻所収の「本阿弥光悦」一	林 進	美術史論集	12	覚鑑の『舍利供養式』をめぐる	赤塚 祐道	印度学仏教学研究	128
丹青閑話 第21話 伝源順「梅尾切」	島尾 新	美術の窓	351	新出の法然上人二十五霊場巡拝の道中記	山本 博子	"	"
				湛容著『随意抄』について	道津 綾乃	"	"
				『絵本日蓮大士御一代記』の書誌学的考察	堀部 正円	"	"



平成24年定期刊行物所載文献(古／書蹟)

史料紹介『南海流浪記』洲崎寺本	高橋 徳 安藤 みどり 佐藤 竜馬	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	8	研究余瀛『白河院宸記』の逸文について	石田 実洋	〃	〃
平成25年度春の特別展「道中記」を持って一江戸時代のかながわを旅しよう一(仮)	桑山 童奈	神奈川県立歴史博物館だより	192	古文書めぐり 愛媛県立歴史文化博物館収蔵の中世文書	山内 治朋	〃	〃
速成就院伝来『長谷寺密奏記』と奥砂子平法	横田 隆志	金沢文庫研究	329	口絵解説 足利尊氏奉納松尾社法楽和歌	横内 裕人	〃	〃
資料紹介 金沢文庫の中世神道資料『日本得名』一翻刻・解題一	高橋 悠介	〃	〃	南光坊天海発給古文書一覽(月日順)	宇高 良哲	三康文化研究所報	47
史料紹介 いわゆる『年代記(十三代要略、歴代秘録)』紙背文書の校訂	大澤 泉 築地 貴久 桃崎 有一郎	鎌倉遺文研究	29	中世寺院資料をめぐる2、3の問題一伝領墨署名慶舜・泉涌寺版『四分律含注戒本疏行宗記』の底本一	牧野 和夫	実践国文学	82
資料紹介		北九州自然史歴史博報告*	9	渤海の対日本外交文書について一六国史と『類聚国史』の写本調査から一	廣瀬 憲雄	続日本紀研究	398
山口県文書館所蔵「譜録」にみえる九州関係新出文書の紹介	有川 宜博			那覇市歴史博物館所蔵「歴代宝案」に関する史料学的考察一生成・来歴・目録記述に焦点をあてて一	川島 淳	壺屋焼物博物館紀要	13
福岡県立図書館所蔵「黒崎駅鎮座烏野春日宮国祖黒田宮御由緒略記」の紹介	守友 隆			史料紹介 イェール大学所蔵『元徳二年後宇多院七回忌曼荼羅供記』について	西田 友広	東京大学史料編纂所研究紀要	22
金光図書館所蔵白川家資料	山口 剛史	皇学館大学神道研究所所報	82	史料紹介 帝塚山大学図書館蔵『奈良大乗院院家南院家資料』について(2)	田中 香織	奈良学研究	14
塩津・起請文木簡の古文書学的考察	千々和 到	国学院雑誌	1262	研究余祿 大字木簡	榎 英一	日本歴史	774
『長谷寺験記』論	川上 知里	国語国文	937	特集 第1部茶の湯の系譜		美術フォーラム21	25
漢字文化圏に於ける典籍の集積、国際的伝播及び其の伝承一高山寺本の場合を例として一	石塚 晴通	国語と国文学	1059	2 武野紹鴎の茶道具一南蛮物の「目聞」について	宇野千代子		
今月の1冊 ひなあそび 江戸時代の小さな本	上田由紀美	国立国会図書館月報	611	3 名物記と道具帳	矢野 環		
『萩藩譜録』所収島根県関係中世史料目録	佐伯 徳哉 西田 友広 飯分 徹	古代文化研究	20	日本古代における五方龍関係出土文字資料の史的背景	門田 誠一	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要	8
資料調査 出雲国風土記写本の調査(9)	野々村安浩	〃	〃	新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 古文書	文化庁文化財部	文化財*	585
研究ノート		古文書研究	73	棟札の中の仏教色2一近世出雲国の神仏分離	鳥谷 芳雄	八雲立つ風土記の丘	208
足利義維の御内書について	岡田 謙一			特集1 富士山東泉院の秘宝一六所家総合調査速報展2一富士山東泉院と六所家旧蔵史料の概要	大高 康正	六所家総合調査だより	10
戦国期東国領主の起請文に関する基礎的考察一佐竹氏と後北条氏の比較検討を中心に一	月井 剛			荘官の家と説話一「国寛系図」の世界一	坂本 亮太	和歌山県立博物館研究紀要	18

米ホノルル美術館の  
和本群 江戸文学研  
究に追い風 多様な  
版、九大の調査で判  
明 出版系譜たどる  
材料に

郷原 伸之 日 経 3.31

江戸博蔵めぐり 椿  
説弓張月 海が舞台  
の冒険活劇

吉田奈緒子 読 売 2.3

## 金石文など

### 中 国

研究ノート 祔軍墓  
誌の出現とその意義

荊木 美行 皇学館論 264

表紙解説 移ろいゆ  
く四山一IV 百峰山  
最新情報1 白駒谷  
題字

日守菜穂子 書 道 界 269

表紙・新シリーズ解  
題 鄭道昭摩崖碑  
移ろいゆく四山 IV  
百峰山最新情報

” ” ” ”

現代中国書法事情  
243、245、246

種谷 萬城 ” 269、271、  
272

丁亥印社リレー投稿

” ”

1、2

雅 輯 院 269、270

3 幻想としての  
篆刻

益憚丁庵 271

4 続・幻想とし  
ての篆刻

希 夷 斎 272

表紙解説

日守菜穂子 ” ”

移ろいゆく四山一  
IV 百峰山最新情  
報2 遊樂題字

” 270

表紙解説 鄭書の  
憂鬱一鄭義下碑翻  
刻3本一 1～5

” 272～276

表紙・新シリーズ解  
題 鄭書の憂鬱一鄭  
義下碑翻刻3本

日守菜穂子 ” 272

修士論文概要 碑文  
の研究一漢時代の碑  
を中心に一

永見 薫平 書道文化 8

特集：弘農(華陰)楊  
氏をめぐる総合的研  
究 資料・調査篇

駿台史学 144

北朝隋代弘農楊氏  
墓誌目録

梶山 智史 ” ”

唐代弘農楊氏墓誌  
目録

石野 智大 ” ”

特集：弘農(華陰)楊  
氏をめぐる総合的研  
究 研究・考察篇

” ” ” ”

北周宗室の婚姻動  
向一「楊文慈墓誌」  
を手がかりとして

会田 大輔 訳 ” ”

「北魏・楊鈞墓誌」  
の訳注と考察

堀井 裕之 ” ”

元至元9年「皇太子  
燕王嗣香碑」をめぐ  
って

櫻井 智美 姚 永霞 ” ”

北朝石刻資料選注  
(2)

「北朝石刻資料研  
究」班 東方学報 87  
京都

唐の太原挙兵と山西  
ソグド軍府一「唐・  
曹怡墓誌」を手がかりに

山下 将司 東洋学報 93-4

新発見の流出唐代墓  
誌と唐史研究一唐懿  
宗期の宰相楊収墓誌  
を中心として一

毛 陽光 東アジア 4  
高瀬奈津子 石刻研究

調査報告

” ”

福州における宗教  
文化と海域文化に  
ついての実地調査

石黒ひさ子 ” ”

四川省灌県靈岩山  
石経の拓本調査

肥田 路美 ” ”

『故宮博物院藏历代  
墓志汇编』故宮博物  
院編一あわせて「所  
載資料目録」の紹介

氣賀澤保規 ” ”

『汾陽市博物館藏墓  
誌選編』王仲璋主編

小島 浩之 ” ”

学会報告 2011「新出  
土唐墓誌と唐史研究」  
国際シンポジウムの  
報告

氣賀澤保規 ” ”

学会報告 国際シン  
ポジウム「新発見百  
済人「祔氏(でいし)  
墓誌」と7世紀東ア  
ジアと「日本」の実  
施報告

” ” ” ”

報告要旨 第3回中  
国石刻合同研究会

” ” ” ”

西安碑林博物館藏  
「荔非明達等四面  
造像題名」考

石野 智大 ” ”

ソグド人墓誌と北  
朝末期の華北

石見 清裕 ” ”

石碑の装飾意匠の  
変遷一穿に注目し  
て一

徳泉 さち ” ”

顔真卿撰書「八閩  
齋会報徳記」につ  
いて一伝世石刻の  
変化と享受の一例

宮崎 洋一 ” ”

近年の五胡一北魏  
初期の墓誌史料に  
関する研究動向

兼平 充明 ” ”

買地券と墓誌の間

中村 圭爾 ” ”

平成24年定期刊行物所載文献(古／書蹟)

新発見石刻「円仁法王寺舍利藏誌」の紹介とその意義	氣賀澤保規			年不詳阿弥陀三尊板碑 鴻巣市下忍千手院	四 方 田	309
報告要旨 第4回中国石刻合同研究会		東アジア 石刻研究	4	寛文9年板碑型庚申塔 日高市高萩神明神社	鳩 山	311
北朝の東清河崔氏に関する石刻史料	梶山 智史			口絵写真解説 鴻巣・龍昌寺の板碑群	〃	〃
北魏龍門造像記における書様式の生成について	橋本 栄一			新規購入資料 常陸国風土記(版本)	久保田一郎	島根県立古代出雲歴史博物館NEWS 25
新見流散唐代墓誌与唐史研究—以唐懿宗宰相楊収墓誌为中心—	毛 阳光			漢代埴文の書法について—篆書系有紀年埴の変遷を中心に—	安生 成美	書芸術研究 5
唐・南遷ウイグル抗争関連墓誌とその情況について	村井 恭子			表紙解説 移ろいゆく四山—IV百峰山最新情報3 解易老題字	日守菜穂子	書 道 界 271
仏教石刻よりみた契丹燕京地方の塩政と商業	古松 崇志			西周金文における正統的字体試論	角田 健一	書道学論集 9
東北大学附属図書館蔵 常磐大定旧蔵拓本について	渡辺 健哉			篠崎四郎拓本史料の研究	斎木 勝	千葉県立中央博物館研究報告 25
大阪大学所蔵石濱純太郎収集拓本の整理状況	堤 一昭			史料紹介と研究 金光図書館所蔵『初拓好太王碑』と「水谷旧蔵精拓本」	稲田奈津子	東大画像史料解析センター通信* 58
中国洛陽新出景教經幢の紹介と史料的価値	森部 豊	東アジア 文化交渉 研究	5	資料紹介「源政行」銘板碑(雄島海底採集の板碑)		東北学院大学博物館年報 2010年度
第65回全国大会研究発表要旨 北斉碑刻書法にみられる復古主義について	徳泉 さち	美 術 史	173	東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(9)—大名・藩主とその家の蔵書印—	中善寺 慎	東洋文庫書報 43
長楽馮氏に関する諸問題	窪添 慶文	立正史学	111	報告要旨 第4回中国石刻合同研究会 日本古代の墓誌	小笠原好彦	東アジア 石刻研究 4
山西綿山雲峰寺所蔵拓本『魏故曇鸞祖師造像記』の検討	手島 一真	〃	〃	資料目録 内藤家伝来印章資料目録	明治大学博物館	明治大学博物館研究報告 17
美の履歴書248 なぜ名品が多いのか 作者不詳「牛轍造像記」	宮代 栄一	朝日夕刊	4.4			
日 本						
歴史資料課の窓から「四天王寺印」—矢野家写真資料から—		京都府立総合資料館だより	171	朝 鮮		
不埒物語翻刻	咲本 英恵 本多 亜紀 内田 保廣	共立女子大学文芸学部紀要	58	論文 朝鮮三国時代の新羅書法について—丹陽赤城碑を中心に—	太田 剛	書道文化 8
紹介 深見玄岱伝記資料「高府君久富孺人双髮齒墓誌銘」の紹介	中澤 伸弘	皇学館論叢	269	広開土王碑「原石拓本」欠損部分の研究	武田 幸男	朝鮮学報 225
『聖徳太子御憲法玄恵註抄』林宗二編者説統紹—清家の学問と南都の学問の交叉をめぐって—	野上 潤一	国語と国文学	1061	報告要旨 第3回中国石刻合同研究会 高麗朝鮮の墓碑と墓誌、その文体の歴史的な特徴	沈 慶昊	東アジア 石刻研究 4
表紙写真解説		埼玉史談		高句麗王陵の築造思想にみる儒教と仏教—追孝から追福へ—	門田 誠一	仏教大学歴史学部論集 2

広開土王碑「山形大学本(第Ⅲ面)」調査概報	武田 幸男	山形大学歴史・地理・人類学論集	13	平家納経とその経箱 吳越国、宋、契丹の仏塔に納められた法華経と日本より	橋村 愛子	美学美術史研究論集	26
百済人の墓誌に「日本」最古の国号か 東方を指す言葉か	早川 保夫	読 売	3.7	平成23年度西支部例会 吳越国における阿育王塔の造塔と信仰について	瀧 朝子	美術史	172
そ の 他				草原の国「契丹」の財一文様鮮やかに	増田 愛子	朝日夕刊	2.22
レプリカ・セム法によるインダス式印章の観察—岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介—	小茄子川歩	岡山市立オリエント美術館研究紀要	26	美の履歴書254 天使はちよんまげなのか「舍利容器」作者不詳	中村 俊介	〃	5.16
オリエント美術館所蔵西アジア印章のSEM観察	須藤 寛史	〃	〃	日 本			
研究ノート 先インダス文明期の印章に関する基礎的研究—クナール遺跡出土印章の検討を中心として—	小茄子川歩	オリエント	55—1	青森県津軽地方における地藏信仰の変容について	小山 隆秀	青森県立郷土館研究紀要	36
工 芸				文化創造の図像学 日本の宗教空間と身体 IV 越境する図像と文化受容 布教のために使用された西洋美術—渡来から日本美術に及ぼした影響まで	ブイヴェ・エレン	アジア遊学	154
中 国				地名からみた南信州の経塚の実態	岡田 正彦	飯田市美術博物館研究紀要	22
論文要旨《博士》東アジアにおける工芸を中心とした文物の様相とその交流—10世紀の吳越国をめぐる—	瀧 朝子	美術史論集	12	平成22年度博士論文(課程)要旨 飛鳥時代における仏教荘嚴美術の研究—天寿国繡帳と金銅灌頂幡を中心として—	三田 覚之	大阪大学大学院文学研究科紀要	52
日 本				高山寺経函の年代測定と石水院の旧形復原	永井 規男 光谷 拓実 菅澤 茂	関西大学博物館紀要	18
江戸時代の火縄銃および管打銃の裝飾金銀と銃床に使用された材料の分析	田中眞奈子 北田 正弘	東京芸術大学美術学部論叢	8	館蔵資料紹介 木造獅子頭		岐阜市歴史博物館だより	80
新指定の文化財 美術工芸品 重要文化財の指定 工芸品	文化庁文化財部	文化財*	585	鰐口の銘文(16)	愛甲 昇寛	史迹と美術	822
宗 教 工 芸				徳川霊廟奉獻銅燈籠の鋳物師、渡辺銅意法橋正駿と鳥居権左正信	石塚 雄三	〃	825
東 ア ジ ア				紀州東照宮、石清水八幡宮金燈籠の鋳物師	〃	〃	828
胡牀の形態とその座法について(1)	服部 等作	広島市立大学芸術学部紀要	17	個人研究 祐天と光寿院—十八檀林に残された位牌をめぐる—	石川 達也	大正大学総合仏教研究所年報	34
中 国				調査概報 大樟神社経塚について	川村 俊彦	敦賀市立博物館研究紀要	26
大谷光瑞「国家の前途」を考える 第2部 大谷光瑞とアジア—帝国の拡がりとともに コラム スパシ出土舍利容器と信仰の姿—大谷探検隊の将来品と汎アジア世界の宗教	服部 等作	アジア遊学	156	法隆寺の仏前供養具—中・近世の遺品を中心に—(3)	関根 俊一	奈良学研究	14

平成24年定期刊行物所載文献(古／工芸)

奈良美術研究会 活動報告2011年度 玉虫厨子の宮殿部分について	稲葉 秀朗	奈良美術研究	13
「仏具絵図」について	関根 俊一	日本文化史研究	43
日本美術のススメ 今月の逸品 平家納経 金銀荘雲龍文銅製経箱	向田 裕始	美術の窓	340
三重県指定有形文化財 漆経塚出土品	石淵 誠人	まいぶん津	10
江戸博蔵めぐり 台徳院霊廟奉納 銅製燈籠1対 徳川の権勢語る輝き	斎藤 慎一	読 売	4. 27

朝鮮

朝鮮の美術展によせて 三国—高麗時代の荘厳具	瀧 朝子	美のたより	179
------------------------	------	-------	-----

武具・馬具類

中国

春秋時代における獣面型短剣の編年研究	八木 聡	金沢大学考古学紀要	33
漢代における武器生産と流通 II—漢長安城遺址出土資料を中心として—	内田 宏美	高梨学術奨励基金年報	H23年度

日本

松平定信による盛岡藩領内の古鎧調査	齋藤 里香	岩手県立博物館研究報告	29
襟付短甲の副葬様相	森本 徹	大阪府立近つ飛鳥博物館報	15
特集 国宝赤糸威の大鎧(梅鶯飾)修復なる 赤糸威鎧(梅鶯金物)の修理について	池田 宏	春日	88
特集 国宝赤糸威の大鎧(梅鶯飾)修復なる 赤糸威鎧(梅鶯金物)の見所	宮崎 隆旨	〃	〃
馬具製作における規格性の変質—楕円・心葉形・鐘形・花形・棘葉形鏡板付轡と杏葉を対象に—	田中 由里	元興寺文化財研究所研究報告	2011
古代轡の変遷とその意義	津野 仁	考古学雑誌	96—3
今月の1冊 山路の雫 尾張藩の古武具研究	大沼 宜規	国立国会図書館月報	610

小桜黄返威鎧	池田 宏	国 華	1396
七観古墳の三環鈴—堺市博物館寄託資料の紹介—	橋本 達也	堺市博物館研究報告	31
相模川から発見された鉄製舌長鎧	栗山 雄揮	自然と文化	35
野木町野渡出土の銀杏葉—古河歴史博物館所蔵の銀杏葉と古河市の古墳—	及川 謙作	泉 石	10
報告 館蔵の大名家伝来美術工芸品調査について	千田 康治	高槻市文化財年報	H21・22年度
史料紹介と研究 落合家所蔵の旗指物と「落合左平次道次背旗」	金子 拓	東大画像史料解析センター通信*	56
『国家珍宝帳』に見える武器武具と太元帥法	米田 雄介	日本歴史	766
益子天王塚古墳出土遺物の調査(5)—挂甲—	山田 琴子	早大會津八一記念博物館研究紀要	13
文化 徳川の甲冑 追っ手は仏人 オランダ国王への贈呈品、文献ひもとき発見	マーク・タナバリス	日 経	11. 30
鎌倉の鎧「1着」出土花や鳥の飾り金具		読売夕刊	10. 13

茶道具

中国

美の履歴書244 葉脈が伝える思いとは「木葉天目茶碗」作者不詳	秋山 亮太	朝日夕刊	3. 7
---------------------------------	-------	------	------

日本

『永享九年室町殿行幸御傍記』について	千 宗屋	葵	84
収蔵資料紹介 観音寺城出土 茶臼		おおてみち	81
特別読物 千家名物とその周辺—利休・少庵・宗旦の茶道具	谷端 昭夫	淡 交	812
今月の表紙より 菊蒔絵茶杓 五代宗哲造	中村 宗哲	〃	820
特別読物 茶杓を知る—利休以前の姿から	池田 瓢阿	〃	821

三井記念美術館「茶会への招待—三井家の茶道具」展に寄せて	赤沼 多佳	陶 説	708
国宝茶碗に見える日本文化の矛盾と相克	彭 丹	日本研究	45
連載 高麗茶盃の名手 森田統・十雨の茶盃(1)、(2)	青山 清	日本美術新聞	4、5
茶杓からみた茶の湯の芸態—茶杓の数量的データによる分析の試み—	廣田 吉崇	野村美術館研究紀要	21
研究ノート 美術史・民具学・考古学における茶臼研究—研究史と課題—	桐山 秀穂	〃	〃
調査報告 野村得庵と竹の茶道具—その2 茶杓—	池田 瓢阿	〃	〃
物に執して(158)、(161)	鈴木 皓詞	目の眼	431、434

## 朝鮮

高麗茶碗つればな	谷 晃	淡 交	812~814
----------	-----	-----	---------

## 装身具・化粧具

## 日本

弥生・古墳移行期の玉生産について	廣瀬 時習	大阪府立近つ飛鳥博物館報	15
竪櫛と横櫛—古墳時代におけるふたつの櫛—	関本優美子	〃	〃
一須賀古墳群出土耳環の自然科学的調査	渡辺智恵美	〃	16
根付の意匠(57)~(最終回)	吉田ゆかり	目の眼	424、426、428、432

## 朝鮮

特集「特別展 朝鮮王朝の意匠と装身具」朝鮮王朝の装身具	李 須恵	高麗美術館報	93
表紙について ノリゲ	(須)	〃	〃
館蔵「新羅古墳資料」の冠・冠帽と飾履—その伝来と製作技術を中心として—	河野 一隆	東風西声*	7

## 文房具

## 中国

丹青閑話 第12話「程奕銘木管対筆・蔣開文銘竹管筆」	島尾 新	美術の窓	342
----------------------------	------	------	-----

書斎の王者 硯	藤巻 秀樹	日 経	11.8
---------	-------	-----	------

## 日本

江戸時代の角筆—見えない文字で書く—	松本百合子	葦 火	161
文房四宝のおはなし 3、4	永田 真紀	水墨画*	274、275
平城京の陶硯	三好 美穂	奈良市埋蔵文化財調査年報	H21年度

## 朝鮮

物に執して(159)	鈴木 皓詞	目の眼	432
------------	-------	-----	-----

## 陶磁

## 中国

中国陶磁器の割れ方二題	金沢 陽	出光美術館報	158
明代前期海禁政策下の陶磁器輸出	劉金沢 訳註	森陽	〃 161
磁州窯系陶器の施文技法に関する試論	守屋 雅史	大阪市立美術館紀要	12
中国福建省・閩江流域における陶磁器研究—宋元時代の黒裕	徳留 森栗	大輔達也 建安	鹿島美術財団年報・別冊 29
平成版 中国陶磁見聞録	弓場 紀知	紫 明	
(21)契丹国のやきもの			30
(22)南京・揚州再訪			31
新出・曜変天目		聚 美	5
杭州新発見の曜変天目について	方福田 訳	億 伸男	
南宋古都杭州出土の曜変天目	水上 和則		
特別展 中国絵画—住友コレクションの白眉(泉屋博古館分館)への誘い	板倉 聖哲	〃	〃
表紙図版解説 重要文化財 青磁貼花牡丹唐草文深鉢(太鼓胴水指)龍泉窯	森 達也	陶 説	707
巡回展「日本人の愛した中国陶磁 龍泉窯青磁展」開催に寄せて 龍泉窯青磁の展開	〃	〃	〃
一品鑑照 vol. 17、18、20、23~27	川島 公之	〃	707、708、710、713~716
表紙図版解説		〃	

唐物肩衝茶入 銘 遅桜	赤沼 多佳	708	新発見の杭州出土 曜変天目茶碗	小林 仁	〃	716
石川県立美術館 「幻」のコレクション 中国陶磁名品展 イセコレクションの至宝より 青花花果文稜花盤	川島 公之	709	大阪市立東洋陶磁美 術館「国宝 飛青磁 花生と国宝 油滴天 目茶碗—伝世の名 品」展に寄せて	重富 滋子	〃	717
根津美術館「コレ クション展 中世 人の花会と茶会」 より 茶壺 銘 四国猿 名物	西田 宏子	711	一品鑑照 vol. 27 三 彩象頭形角杯	川島 公之	〃	〃
出光美術館「東洋 の白いやきもの— 純なる世界」より 青白磁獅子鈕蓋水 注	金沢 陽	713	館蔵 明代・華南三 彩陶についての紹介 と一考察	遠藤 啓介	東風西声*	7
第16回やきもの文化 講座「日本人が愛し たやきもの 第3回 唐物茶陶—その変遷 と賞玩」より 唐物 というもの	林屋 晴三 陶 説	708	中国陶磁と日本中世 陶器—壺・甕類にお ける相違点を中心に —	関口 広次	東洋陶磁	41
石川県立美術館「幻 のコレクション 中 国陶磁名品展 イセ コレクションの至宝」 に寄せて	川島 公之	709	宋代建盞の光彩の研 究	長江 福嶋 惣吉 喜章	〃	〃
出光美術館「悠久の 美—唐物茶陶から青 銅器まで」展に寄 せて	八波 浩一	〃	邢窯出土唐三彩の調 査	森川 実	奈良文化 財研究所 紀要	2012
サンリツ服部美術館 コレクション展「中 国陶磁の一千年 大 陸を彩った器の美」 展に寄せて	鈴木しおり	711	平山郁夫シルクロ ード美術館コレク ション86 白陶龍耳瓶	平山美知子	美術の窓	340
「常盤山文庫名品展 特集 米色青磁」展 に寄せて	佐藤サアラ	〃	日本美術のススめ 今月の逸品 油滴天 目茶碗	重富 滋子	〃	351
巡回展「日本人の愛 した中国陶磁 龍泉 窯青磁展」に寄せて 龍泉窯青磁の新たな 発見	徳留 大輔	712	古越磁に現れる有翼 の獅子について	矢島 律子	町田市立 博物館年 報／紀要	2010年度
色の白いは	中澤富士雄	713	特集1 竜の意匠 アジアを護る神獣の 造形 中国編1 王 朝の変遷と竜の進化 をたどる	川島 公之	目の眼	424
出光美術館「やきも のに親しむ IX 東洋 の白いやきもの—純 なる世界」に寄せて	金沢 陽	〃	ささやかな日常感覚 から見た古美術「竜 、天馬の飛翔と嘶き」 その3、5～7、9、 10	山中 理	〃	427、429 ～433
龍泉窯青瓷雄感(1) (2)、(4)、(5)	森 達也	713、714、 716、717	白磁の粋永遠の美	増田 愛子	朝日夕刊	9.26
「哥窯」についての一 考察	門田 敏郎	713	文化往来 南宋官窯 で制作、黄褐色の「米 色青磁」展示	日 経	6.18	
兵庫陶芸美術館 特 別展「日中国交正常 化40周年記念 東京 富士美術館所蔵 中 国陶磁名品展」に寄 せて	長谷川 眞	714	日 本			
			研究ノート 中世常 滑窯における焼成器 種とその形態的分類 について	青木 修	愛知県史 研究	16
			佐賀藩蔵屋敷出土の 梅干壺	市川 創 葦 火		159
			食卓の文明化—19世 紀の大阪とヨーロッ パ産陶器—	小田木富慈 美	〃	161
			橘山窯跡出土資料に ついて	山下 誠一	飯田市美 術博物館 研究紀要	22

所蔵品紹介226 色絵 鶉草花図平鉢		石川県立 美術館だ より	345	特集 古九谷 珠玉 の色絵磁器		〃	5
鷺浦遺跡出土の陶磁 器	西尾 克己	出雲弥生 の森博物 館研究紀 要	2	加賀文化に育まれ た古九谷の美—古 九谷と石川県立美 術館—	嶋崎 丞		
オランダ船と陶磁器 貿易の変遷—17世紀 初頭から明清兵革ま で—	加藤 榮一	出光美術 館館報	158	古九谷大皿の造形 とその背景—祝祭 のうつわ—	荒川 正明		
明初の龍泉窯青磁— 出光美術館の“官窯” 様式の青磁について	金沢 陽	出光美術 館研究紀 要	17	「古九谷」と中国陶 磁—日本における 色絵磁器の模倣と 創造—	今井 敦		
収蔵品紹介 伝紅染 寺跡発見の尾張産陶 器壺	吉水 眞彦	大津歴博 だより	88	発掘資料にみる有 田の古九谷—色絵 大皿の生産動向を 中心として—	村上 伸之		
岡山市内における志 野・織部焼に関する 一考察	河田 健司	岡山市理 蔵文化財 センター 研究紀要	4	聚美名宝鑑 「色絵 亀甲文大皿 古九谷」	梶山 博史	〃	〃
近世初期肥前陶磁に 見られる鶴の意匠— 朝鮮陶磁との交流を 中心に—	金 東均	学習院大 学哲学会 会報	25	ヨーロッパの肥前陶 磁器を訪ねて9 パ リ肥前磁器コレクシ ョン	田中 恵子	セラミッ ク九州	49
御室仁清窯跡出土陶 片の基礎的研究—茶 入—	尾野 善裕 佐藤平 尾畑中	学 叢 政幸 英二	34	やきもの見聞録 4 備前焼(岡山県)太閤 が愛したやきもの	熊 博毅	阡 陵	64
連載(第3回)聚美名 宝鑑 今月の名宝鑑 賞 色絵亀甲文四方 隅切皿(古九谷様 式)	荒川 正明	ギャラリ ー*	324	上田家伝来陶磁器を 通して見た高浜焼 (後編)	福原 透	崇城大学 芸術学部 研究紀要	5
うらんだーのやちむ ん「金埴瑯」	尾野 善裕	京都国立 博物館だ より	176	続大江戸掘りもの帖 1	(内野)	たまのよ こやま	88
安来市新宮堂館跡出 土の陶磁器	西尾 克己 舟木守 岡	古代文化 研究	20	総合文化展見どころ 案内2012年2月・3 月 気になるこの部 屋・この作品 重文 黄釉牡丹唐草文広口 壺	今井 敦	東京国立 博物館ニ ュース	711
研究ノート 斎宮跡 で出土する瓦鉢類に ついて—斎宮におけ る仏教的要素への視 点の形成—	大川 勝宏	斎宮歴史 博物館研 究紀要	21	明暦3年1月被災 江戸城跡出土の伊万 里磁器 鍋島藩贈呈 作品類(2)～(6)— 初期伊万里、古九谷 様式、松ヶ谷—	小木 一良	陶 説	706～710
サントリー美術館蔵 「色絵石楠花文皿」と 「色絵紅葉狩文皿」の 比較	安河内幸絵	サントリ ー美術館 研究紀要	1	鼠志野茶碗「峯紅葉」	武内 範男	〃	707
悠久の光彩 東洋陶 磁の美 時を超え、 生き続ける美	出川 哲朗 談 内海 陽子 インタビュー、構成	サントリ ー美術館 ニュース	238	「畠山即翁の茶会— 光悦雪峯茶碗を中心 に—」展に寄せて	水田至摩子	〃	〃
弥生時代前期—中期 の土器観察書き— 針江浜遺跡と長命寺 湖底遺跡出土の弥生 土器—	小竹森直子	滋賀県文 化財保護 協会紀要	25	表紙図版解説		〃	
聚美名宝鑑 色絵亀 甲文四方隅切皿— 古九谷	荒川 正明	聚 美	3	徳川美術館「豪商 のたしなみ—岡谷 コレクション—」 展より 重要文化 財「織部筒茶碗 銘 冬枯」	徳川美術館		710
				佐賀県立九州陶磁 文化館「將軍家献 上の鍋島・平戸・ 唐津 精巧なるや きもの」展より 色絵梅流水文大皿	大橋 康二		715



戸栗美術館「古九谷名品展—躍動する色絵磁器—」より「色絵葡萄鳥文輪花皿」	杉谷香代子		716	特集1 意匠 アジアを護る神獣の 造形 日本編1 伊 万里の龍	宇治 章 目の眼	424
徳川美術館「豪商の たしなみ—岡谷コレ クション—」展に寄 せて	志賀 太郎	陶 説	710	企画展「土器から陶 器へ—民芸の源流に 迫る—」	本間恵美子	八雲立つ 風土記の 丘 210
根津美術館「コレク ション展 中世人の 花会と茶会」に寄せ て	西田 宏子	〃	711	歴史の証人 写真に よる収蔵品紹介 第 4展示室新構築に向 けて 壺屋焼関連資 料の収集と展示につ いて	青木 隆治	歴 博 175
佐賀県立九州陶磁文 化館「将軍家献上の 鍋島・平戸・唐津 精巧なるやきもの」 展によせて 将軍家 献上の鍋島・平戸・ 唐津	大橋 康二	〃	715	4「読ん」で知るアー ト 焼き物	中島誠之助	朝日夕刊 10.17、24、 31、11.7
徳川美術館「徳川将 軍の御成」展によせ て	原 史彦	〃	〃	美博ピックアップ 伊万里焼の酒器 栗 田美術館	神谷 実里	〃 12.12
加賀藩邸への御成と 陶磁器	堀内 秀樹	〃	〃	ぎやらりいモール 戸栗美術館「祝福の うつわ—伊万里・鍋 島名品撰」から「色絵 毘沙門亀甲文皿」	杉谷香代子	読売夕刊 1.31
龍泉窯青瓷雑感(3) 筒形香炉について	森 達也	〃	〃	朝 鮮		
「菊水伝説」と青手古 九谷の大皿	荒川 正明	〃	716	第282回水曜講演会 高麗・朝鮮時代の白 いやきもの	片山 まび	出光美術 館館報 161
戸栗美術館「古九谷 名品展—躍動する色 絵磁器—」に寄せて	杉谷香代子	〃	〃	コレクション名品展 「高麗青磁の精華」に 寄せて 高麗青磁一 心にしみ入る翡色の 輝き	山本 俊介	高麗美術 館館報 92
山口県立萩美術館・ 浦上記念館「古萩— 江戸の美意識—」展 に寄せて	石崎 泰之	〃	〃	表紙について 青磁 象嵌雲鶴文碗	(山)	〃 〃
MOA美術館開館30 周年記念所蔵名品展 「日本の陶磁—六古 窯を中心に—」展に 寄せて	米井 善明	〃	717	高麗茶碗つれづれば なし	谷 晃 淡 交	815~821、 823、824
飛鳥・藤原京跡出土 鉛釉陶器に対する化 学分析	降幡 順子 玉田 芳英 齋藤 努	東洋陶磁	41	韓国陶磁つれづれ私 記(53)~(64)	吉良 文男	陶 説 706~717
名品展のみどころ 重要文化財 青磁碗 ・皿	吉澤 悟	奈良国立 博物館だ より	81	一品鑑照 vol.21 青 磁象嵌菊花文合子	川島 公之	〃 711
初期施釉陶器の文様 と産地—飛鳥地域出 土の2例について—	西口 壽生	奈良文化 財研究所 紀要	2012	大阪市立東洋陶磁美 術館「白磁を飾る青 —朝鮮王朝の青花」 に寄せて 朝鮮王朝 の青花磁器の特質— 前期における王室儀 礼との関連を中心に	鄭 銀珍	〃 713
坂田寺跡出土の三彩	玉田 芳英	〃	〃	第18回やきもの文化 「日本人が愛したや きもの 第5回 粉青 沙器」より 粉青 沙器	片山 まび	〃 717
逸翁美術館 名品の 旅 今回の名品 志 野柑子口花入 桃山 時代 解説	宮井 肖佳	阪急文化	2	平成23年度第3回研 究会 近世初期肥前 陶磁に見られる鶴の 意匠—朝鮮陶磁との 関係を中心に—	金 東均	東洋陶磁 学会会報 76
研究余録 金亀玉鶴 井伊直弼と楽焼	奥田 晶子	彦根城博 物館だよ り	98	韓国出土唐三彩の調 査	小田 裕樹	奈良文化 財研究所 紀要 2012
16・17世紀における 備前焼茶入の諸相	下村奈穂子	MUSEUM	640			

丹青閑話 第10話  
「鉄砂雲龍文壺」 島尾 新 美術の窓 340

研究ノート 高麗時  
代の工芸文様につい  
て—自然の描写— 瀧 朝子 美のたよ  
り 180

歴史迷宮解 海越え  
た近江系土器 韓国  
南部で初の出土 佐々木泰造 毎 日 1.25

## そ の 他

タイ陶磁器の編年研  
究 向井 互 金沢大学  
文化資源  
学研究 5

ラオス・カンボジア  
陶磁器調査の旅 中野 光将 陶 説 711

サマルカンドの花嫁  
—ウズベキスタンに  
中国の染付をもとめ  
て— 弓場 紀知 〃 717

## 土 器

### 中 国

殷代の土器紋様に関  
する研究 松村 亮太 高梨学術  
奨励基金  
年報 H23年度

渤海から女真(金・  
東夏)における日本  
海沿岸交流に関する  
考古学的研究 中澤 寛将 〃 〃

### 日 本

江南市音楽寺遺跡出  
土の美濃須衛窯型瓦  
塔 永井 邦仁 愛知県埋  
蔵文化財  
センター  
研究紀要 13

神戸川流域における  
暗文土師器—矢野遺  
跡の事例を中心に— 高橋 周 出雲弥生  
の森博物  
館研究紀  
要 2

いわて文化ノート  
岩手県域で出土する  
鎌倉時代の東北地方  
陶器 羽柴 直人 岩手県立  
博物館だ  
より 134

前期難波宮整地層の  
土器の暦年代をめぐ  
って 白石 太一郎 大阪府立  
近つ飛鳥  
博物館館  
報 16

方形周溝墓出土土器  
の穿孔方法—東京都  
大田区久ヶ原遺跡に  
おける穿孔具共伴事  
例から— 古屋 紀之 大田区立  
郷土博物  
館紀要 19

脚付直口壺小考—足  
守川流域の集落遺跡  
出土例を中心に— 寒川 史也 岡山市埋  
蔵文化財  
センター  
研究紀要 4

厄除けの呪符かわら  
け—“まじない”の考  
古学—豊島の遺跡第  
8回 (橋口) かたりべ 104

墓制と領域—胸肩君  
一族の足跡— 小嶋 篤 九州歴史  
資料館研  
究論集 37

研究ノート いわゆ  
る葉壺形短頸壺の基  
礎的検討—福岡平野  
を中心に— 下原 幸裕 〃 〃

太田市西長岡宿遺跡  
出土の縄紋早期沈線  
紋土器—「久保ノ坂  
式」・V字状押引紋  
土器の検討— 橋本 淳 群馬県埋  
文調査団  
研究紀要\* 30

松江市島田1号墳出  
土遺物の再整理(上) 椿 仁木 真治 聡 古代文化  
研究 20

弥生時代前期—中期  
の土器観察覚書き—  
針江浜遺跡と長命寺  
湖底遺跡出土の弥生  
土器—古墳時代前期  
の土器が納められた  
井戸跡について 鈴木 孝之 埼玉県埋  
文調査団  
紀要\* 26

安行式片口注口土器  
の成り立ちと変遷 阿部 芳郎 駿台史学 146

平安時代における須  
恵器の生産と供給—  
陶色窯を中心に— 木村 理恵 高梨学術  
奨励基金  
年報 H23年度

資料紹介 新治窯跡  
群の新資料 黒澤 春彦 土浦市立  
博物館紀  
要 22

福岡県久山町中久原  
出土の埋蔵銭大甕の  
X線CT分析 進村 真之 東風西声\* 7

藤原宮東面内濠SD  
2300出土土器(1)第  
24次調査から 高橋 透 奈良文化  
財研究所  
紀要 2012

学芸員が選ぶ、私の  
イチオシ館蔵品「則  
天文字」の書かれた  
土器—篠山市西木之  
部遺跡— 藤間 温子 兵庫県立  
考古博物  
館NEWS 9

兵庫県出土瓦器碗の  
胎土分析 中井 淳 史純 渉 兵庫県立  
考古博物  
館研究紀  
要 5

姫路市市之郷遺跡出  
土韓式系軟質土器の  
胎土分析 白石 福井 山田 純 優 朝 〃 〃

資料紹介 相国寺旧  
境内出土の一括廃棄  
土師器皿一個体数推  
定の検討について— 吹田 裕幸 文化情報  
学 8

埋文コラム 須恵器  
横瓶の作り方 埋文にい  
がた 78

県内の遺跡・遺物79  
滝寺窯跡群・大貫窯  
跡群出土品1,012展 〃 81

古墳時代開始期における伊勢湾西岸地域の四国北東部地域系土器	川部 浩司	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	21		瓦				
玉城町中楽の考古資料—古墳群出土資料を中心に—	相場さやか	〃	〃		中国	中国秦における瓦の受容と変遷	中村亜希子	高梨学術奨励基金年報	H23年度
松阪市嬉野天花寺町周辺の考古資料—寄贈資料の紹介—	西村 美幸	〃	〃		日本				
西都原171号墳出土蓋形埴輪の再検討—立ち飾り部の製作技法を中心として—	犬木 近藤 努 麻美	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	8		瓦で読み解く阿倍寺の創建	谷崎 仁美 華 火	160		
瓦谷窯跡表採須恵器について	垣見奈緒子 渡部 明夫	宗吉かわらの里展示館年報	1		資料紹介 信太郡諏訪廃寺跡の瓦	川又 清明	茨城県立歴史館報	39	
須恵器と渡来文化	定森 秀夫	八雲立つ風土記の丘	211		元興寺旧境内出土の鬼瓦	狭川 真一	元興寺文化財研究所研究報告	2011	
最古の平仮名「いろは歌」三重の斎宮跡女官が練習か 推定11世紀末—12世紀前半 墨書された皿出土		東京	1.18		大野寺土塔出土「司解」銘瓦をめぐって	溝口 優樹	国学院雑誌	1258	
縄文の製塩 霞ヶ浦以外でも「集中」覆す新説 東京湾岸など自前の専用土器	辻本 芳孝	読 売	5.23		慈光寺採集の古瓦	富田 靖雄	埼玉史談	308	
朝鮮					徳島城下町出土三巴紋軒丸瓦の分類と編年	栗林 誠治 真 朱	10		
楽浪土器の成立と拡散—花盆形土器を中心として—	宮本 一夫	史 淵	149		帝塚山大学大学院所蔵の軒瓦	安達 奈央	帝塚山大学大学院紀要	14	
韓半島産陶器の考古学的研究—高麗時代から朝鮮時代への変化様相—	主税 英徳	高梨学術奨励基金年報	H23年度		飛鳥時代の瓦の系譜とその変遷—いわゆる「船橋廃寺式」軒丸瓦について—	清水 昭博	帝塚山大学考古学研究所研究報告	14	
一品鑑照 vol.16 水注形土器	川島 公之	陶 説	706		鎌倉再建期の東大寺瓦の検討—帝塚山大学附属博物館新所蔵瓦の紹介—	木村 友紀	〃	〃	
その他					研究随想 瓦に見る末法思想の輝き	甲斐 弓子	〃	〃	
収蔵品紹介 アンフロア	長谷川修一	オリエンテ	44		藤原宮と尾張国勝川廃寺の同範軒瓦について	安達 奈央	奈良学研究	14	
研究ノート イラン北部、青銅器時代における暗色磨研土器群の「出現」過程—テペ・ホセナバード出土土器に関する一試論—	大津 忠彦 有松 唯	オリエンテ	54—2		藤原宮運河SD1901A出土の瓦—第20次調査から	石田由紀子	奈良文化財研究所紀要	2012	
資料紹介：シリア出土人物注口土器	石田 恵子	古代オリエンテ博物館紀要	32		資料紹介 福岡市博物館所蔵の「古瓦類雑考」掲載資料	赤坂 亨	福岡市博物館研究紀要	22	
いわゆるシリア＝キリキアグループと暗色磨研土器の地域性—ルージュ盆地の調査成果からみた一考察—	小高 敬寛	西アジア考古学	13		宗吉瓦窯跡採集粘土について	宮武 尚美	宗吉かわらの里展示館年報	1	
					北山廃寺・北山三嶋遺跡の出土遺物整理	丹野 拓	和歌山県文化財センター年報	2011	
					信長の金箔瓦 岐阜の居館跡 城郭で最古か		東京	11.27	
					平安の楼閣 瓦片出土「白虎楼」の存在裏付け		読売夕刊	8.29	

朝鮮	李金沢	炳鎬志虎	奈良美術研究	13	学芸員が選ぶ、私のイチオシ館藏品 壊された中国製の鏡—朝来市向山2号墳—	中村 弘	兵庫県立考古博物館NEWS	10
金 工					漢代画像にみる聖帝像とその機能—館蔵三段式神仙鏡を起点として—	檜山 満照	早大津八二記念博紀要*	13
中 国					日本			
ささやかな日常感覚から見た古美術「竜、天馬の飛翔と嘶き」その4、10	山中	理 目 の 眼	428、434		ベトナムにおける日本系銅鏡	久保 智康	学 叢	34
美の履歴書279 何を表現しているのか「金製仮面」作者不詳	宮代	栄一	朝日夕刊	11.7	本山コレクション所蔵鏡片と津堂城山古墳出土鏡の接合—100年を経て接合した鏡の紹介とその意義—	徳田 誠志	関西大学博物館紀要	18
日 本								
自在龍	原田	一敏	国 華	1398	資料紹介 破鏡に見られる工具痕—福岡県みやま市藤の尾垣添遺跡出土破鏡の観察から—	大庭 孝夫	九州歴史資料館研究論集	37
古墳時代の初期金工生産に関する予察—福岡県月岡古墳出土品の調査成果から—	諫早鈴木	直人 勉	奈良文化財研究所紀要	2012	金鈴塚古墳出土鏡と古墳時代後期の東国社会	上野 祥史	金鈴塚古墳研究	1
新年特集 学び直す日本史の常識 Q2 富本銭と和同開珎の関係を教えて下さい。	仁藤	敦史	日本歴史	764	資料紹介 兵庫県たつの市で確認された三角縁神獣鏡の新資料	岸本 直文	考古学雑誌	96—3
ささやかな日常感覚から見た古美術「竜、天馬の飛翔と嘶き」その1、2	山中	理 目 の 眼	425、426		覚書 東大寺献物帳(16)、(17)—正倉院宝物の原簿—	米田 雄介	古代文化	589、590
物に執して(155)、(157)	鈴木	皓詞	〃	428、430	弥勒寺蔵 三角縁吾作銘二神二獣鏡について	鐘方 正樹	奈良市埋蔵文化財調査年報	H21年度
江戸幕府が貿易専用銀貨 徳川質の梅木さん解明	辻本	芳孝	読 売	11.14	主な新収蔵資料の紹介 早馳明神御正体1面		馬事文化財団年報	33
天平のライフスタイル 下 金銅八曲長杯 瑠璃杯 犀角杯 多彩な酒器粋な味			読売夕刊	10.24	須玖岡本遺跡D地点出土鏡片の再検討(2)	赤坂 亨	福岡市博物館研究紀要	22
そ の 他					青 銅 器			
イラン北部、鉄器時代後期における精製土器齊一化現象の実態	有松	唯	西アジア考古学	13	中国			
鏡					燕山地域の北方青銅器文化墓の編年	小田木治太郎	考古学雑誌	96—2
中 国					三星堆祭祀坑銅獣面と良渚玉器神人獣面文—長江文明の系譜的つながり—	曾布川 寛	泉屋博物館紀要	28
漢三国西晋紀年鏡銘における干支と作鏡年月日の研究	光武	英樹	東方学報京都	87	名品展のみどころ 銅鼓	岩戸 晶子	奈良国立博物館だより	83
漢三国西晋紀年鏡銘集釈	「中国古鏡の研究」班	〃	〃	〃				
華西系鏡群と五斗米道	森下 章司	〃	〃	〃				

日 本				総合文化展見どころ 案内2012年2月・3月 月 気になるこの部屋・この作品 黒漆打刀(国宝 太刀 銘 助真の拵)			
北九州市岡田神社蔵三環鈴について	宮元 香織	北九州自然史歴史博報告*	9	池田 宏	東京国立博物館ニュース	711	
例会報告 長野県中野市柳沢遺跡の発掘調査—東日本で初例となる青銅器埋納坑の調査—	廣田 和穂	考古学雑誌	96-3	酒井 元樹	〃	714	
銅鐸の音色違い発見 弥生人に迫る手がかり	小川 雪	朝日夕刊	8.27	名刀鑑賞	刀剣美術		
刀剣・刀装				重要刀剣 刀 銘 備前国住長船清光作之天文二十三年八月日	檜山 正則	660	
日 本				特別重要刀剣 太刀 銘 是友(古青江)	石井 彰	661	
尾張徳川家の名物刀剣—物吉貞宗	渡邊 妙子	葵	81	特別重要刀剣 刀 無銘 伝栗田口国吉	檜山 正則	662	
平成23年度企画展 赤羽刀—よみがえった名刀—	(平川)	おおいた歴博	33	重要美術品 刀銘 慶長八年八月日 国広 林伝右衛門尉時行所持之	〃	663	
『装剣奇賞』の成立と展開について	内藤 直子	大阪歴史博物館研究紀要	10	重要文化財 脇差 銘 宇都宮大明神八幡大菩薩相模 国住人広光 文和五年卯月日	石井 彰	664	
神奈川県内出土装飾付大刀にみる象嵌等の製作技術の研究	林 雅恵	かながわの考古学	17	重要文化財 太刀 銘 信房作	檜山 正則	666	
南河内の瓦質祠—大正期の記録と現状—	角南聡一郎	元興寺文化財研究所研究報告	2011	特別重要刀剣 刀 無名 伝正宗	〃	667	
研究ノート 二代兼定の初期銘について	三山 らさ	岐阜市歴史博物館博物館だより	81	重要美術品 薙刀 直し脇指 銘 真利	石井 彰	668	
東大寺金堂鎮壇具を見直す		考古学雑誌	96-2	重要美術品 太刀 銘 康暦元年八月日包吉	〃	669	
(1)—陰劔・陽劔の発見とその考古学的意義—	橋本 英将			重要美術品 短刀 銘 相模守藤原政常	檜山 正則	670	
(2)—出土地点と正倉院宝物「除物」をめぐる—	奥村 秀雄			刀 銘 津田越前守助広延宝七年二月日	〃	671	
特輯 東北アジアの武器形石器 日本列島における青銅製武器模倣石器の出現過程	寺前 直人	古代文化	588	粟穂図鑑 銘 一斎 東明(花押)	飯田 俊久	〃	660
横谷宗珉の実像—刀装具「町彫」成立の背景—	川見 典久	古文化研究	11	肥前刀雑記(34)～(37)	横山 学	〃	660、662、665、668
日本刀の美?	椋木 賢治	島根県立石見美術館ニューズレター	15	刀装・刀装具初学教室(201)～(208)	福士 繁雄	〃	660～667
資料館 瑞鳳殿資料館所蔵品の紹介 No.09 黒漆九曜三引両紋蒔絵糸巻太刀		瑞鳳殿だより	9	刀装具の画題(201) 緋革 緋	〃	〃	660
				龍の落とし子図目貫 無銘 三角	久保 恭子	〃	661

「毛抜形太刀」考—野 剣・衛府太刀につい て	宮崎 政久	〃	〃	特集1 竜の意匠 アジアを護る神獣の 造形 日本編2 日 本刀を装う龍	善財 一 目の眼	424
郷土刀工紹介 截断 銘のある角元興につ いて	古宮 隆司 渡部 昇一	〃	〃	日本刀 五ヶ伝の旅 山城物の作風とその 展開 7～13 栗田口 派(続2)	田野辺道宏	424～426、 428、429、 431、434
本部定例鑑賞会正月 ～11月		〃	661～667、 669～671	装剣小道具の世界 127～136	善財 一	425～433、 435
重要刀装具		〃		物に執して(153)	鈴木 皓詞	426
樊噲図鐔 銘 龍 雨齋大森英秀(花 押)明和庚寅6月 吉日	飯田 俊久		662	特集『装剣小道具の 世界(連載136)』特 別版 古金工の刀装 具 武士の武士たる 美意識をあらわす筈 と鐔	〃	434
鷲図鐔 無銘 初 代甚五	黒滝 哲哉		663	特輯 東北アジアの 武器形石器 朝鮮半 島の銅剣模倣石剣	孫 暎 暎 矢 古代文化	588
鞍馬山図縁頭 銘 白峯亭 岩本昆寛 (花押)	久保 恭子		664	蝦夷征討 海路中継 地の権勢 十五郎穴 横穴墓群 正倉院宝 物に類似の刀	辻本 芳孝 読 売	10.24
投桐透鐔 無銘 西垣勘四郎	黒滝 哲哉		666	染織・服飾		
猛虎図縁頭 銘 柳川直政(花押)	飯田 俊久		667	中 国		
猛虎図鐔 銘 安 親図 岩本昆寛(花 押)	久保 恭子		668	匈奴・サルマタイ時 代のユーラシア草原 西部の帯飾板につい て		
葦に白鷺図縁頭 銘 春曙堂昆寛(花 押)	飯田 俊久		669	中国の帯飾板におけ る瀕死の鹿形怪獣紋	柳生 俊樹	〃
梅樹透鐔 無銘 林又七	黒滝 哲哉		671	中国における合糸・ 撚糸の装置の展開一 絹の紡車を中心に—	吉田 雅子	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要
放射化分析を用いた 日本刀鉄産地の特定	出島 宏一	〃	662	口絵 九条袈裟 条 葉小石畳文錦	小林 彩子	日本歴史 775
津軽弘前藩郷土刀工 史(上)、(下)	富岡 昭	〃	663、664	日 本		
仙台藩刀匠考(19)、 (20)	佐藤 一典	〃	667、670	江戸時代の服飾品に 使用される金属糸に 関する自然科学的・ 服飾史的研究	吉田 山 濤 代 山川 曉 学 叢 早川 泰弘	34
金象嵌截断銘の特徴 と掟—山野家を中心 として—	井本 悠紀	〃	669	琉球王国時代から現 代に於ける沖縄(琉 球)の芸能祭祀と紅 型—紅型の衣裳と幕 について—	兒玉絵里子	鹿島美術 財団年報 ・別冊
『解粉記』の著者黒庵 に就いて	奈良原和夫	〃	670	江戸期製作小倉織の 技術的検証	上野 晶子 大和 恵子	北九州自 然史歴史 博報告* 9
下野刀工覚書(その 7)—海を渡った、 宝刀、65年ぶりに故 郷へ	松本 劍童	〃	〃	研究小話 布をめぐ る随想1 衣類とま じない	定松 晶子	群馬の森 美術館ニ ユース 150
鎌倉時代の焼入れに ついて	渡邊 繁平	〃	671			
郷土刀紹介 加州家 平「刀」の銘文を読み 解く—系統の流れと 作域を検討する	小浦宗五郎	〃	〃			
宮崎県持田古墳群出 土三葉環頭大刀につ いて	甲斐 貴充	宮崎県立 西都原考 古博物館 研究紀要	8			

能装束の着装の変化に関する一私見—小袖物能装束の寸法の変化から—	田中 淑江	国立能楽堂調査研究	6	東京国立博物館所蔵「白紫段練織地葵紋散模様陣羽織」について—制作時期と形態の再検討を中心に—	福島 雅子	美術史	173
紅紋縮緬地東ね熨斗模様振袖	長崎 巖 国 華		1402				
白練織地松藤揚羽蝶梅丸紋散模様縫箔呂号	〃	〃	1405	丹青閑話 第11話「能装束 茶萌葱段枝垂柳小葵模様唐織」	島尾 新	美術の窓	341
沖縄復帰40周年記念紅型 BINGATA—琉球王朝のいろとかたち—	與那嶺一子	サントリ—美術館ニュース	240	三井文庫所蔵『染代覚帳』の考察(下)—染色および加工名称について—	沢尾 絵	MUSEUM	636
衣裳に纏わることば今昔 第2回～第4回	長崎 巖 聚 美		2,3,5	法隆寺伝来 續仏裂の分類と基礎的考察	三田 寛之	〃	637
古裂と仕覆	吉岡 明美	〃		特集 染織コレクションの形成		歴 博	174
四大茶人ゆかりの袋 唐物肩衝茶入銘「松屋」の仕覆			4	呉服商・百貨店の染織品コレクションについて—千總・丸紅・松坂屋コレクション—	林 智子		
信長が好んだ龍文の裂 珠光綴子の裂			5				
犀円文錦の研究	尾形 充彦	正倉院紀要	34	私立美術館の能装束コレクション—能を愛した実業家たち—	正田 夏子		
史料にみえる表具裂の選定者	高田 智仁	書道学論集	9				
日本に舶載された欧州輸出用の中国染織品—刺繍ビロード6作例の意匠と技法を中心に—	吉田 雅子	人文学報	102	美の履歴書262 なぜ和の意匠なのか「黄色地松皮菱に菊藤流水菖蒲模様衣裳」作者不詳	西岡 一正	朝日夕刊	7.11
総合文化展見どころ案内2012年12月・2013年1月 気になるこの部屋・この特集 重文 直垂縹麻地鶴亀松竹模様	小山弓弦葉	東京国立博物館ニュース	716	そ の 他			
史料紹介と研究 インド更紗とヨーロッパ更紗—長崎オランダ商館へ渡された「一八一四年用注文書」をめぐる—	石田 千尋	東大画像史料解析センター通信*	56	所蔵品紹介 ヴェツサンタラ太子物語文様緯壁掛	岩永 悦子	エスプラナード	166
18—19世紀の山形県庄内地方にみられる被衣の変遷—芹沢銈介コレクションより—	奈良 綾	芹沢銈介美術工芸館年報*	3	貿易品としての南インド産絨毯—京都祇園祭と長浜曳山祭の絨毯を中心に—	鎌田由美子	美術史	173
下古館遺跡出土の烏帽子について(1)	田代 隆	とちぎ埋文センター紀要*	20	漆 工			
資料紹介 梅ヶ谷津倍楽園所蔵 伝木下逸雲「描絵四季耕作図小袖」	植松 有希	長崎歴史文化博物館研究紀要	6	日 本			
賀茂別雷神社の役大工と儀式における装束について	中西日向	日本建築学会計画系論文集	677	講演録「漆下遺跡の出土品から見た縄文文化」	藤沼 邦彦	秋田県埋蔵文化財センター研究紀要	26
				大神神社の美術工芸—漆工品—	高橋 隆博	大 美 和	122
				表紙の言葉		きよらさ	
				「潤塗花鳥密陀絵盆」			67
				「朱漆瓜花蝶箔絵密陀絵輪花形合子」	(當山)		68

研究資料 ローマ・ウェネツィア宮国立博物館蔵「花鳥獅子蒔絵螺鈿書簞笥」とドーリア・パンフィーリ家手稿資料	小山眞由美	国 華	1399	川口市赤井円通寺年不詳阿弥陀三尊板碑	四方田	308
赤漆文櫨木御厨子と(赤漆櫨木厨子)	西川 明彦	正倉院紀要	34	嘉暦3年阿弥陀三尊板碑断片 川越市菅間円光寺	鳩 山	310
今月の表紙より	中村 宗哲	淡 交		史料紹介と研究 宝治2年銘石造宝篋印塔(京都国立博物館蔵)について	村山 卓紀弘	58
五重盃 賽付 七代宗哲造			812	流山石工・行徳屋孫七について	小林 將	21
手桶水指 利休形初代宗哲造			814	中世・草戸千軒探検26 一祈る(信仰)一	鈴木 康之	91
春秋七草茶箱 玄々斎好 八代宗哲造			815	表紙写真説明 恵海上人五輪塔		6
猿尻菓子椀 四代宗哲造			821	松江藩で利用された花崗岩類	朽津 信明 西尾 克己 稲田 信	2
手燭一對利休形六代宗哲造			824	石造物の諸相—山形県に於ける中世石造物素描—	山口 博之	30
総合文化展見どころ案内2012年6月・7月 気になるこの部屋・この作品 国宝舟橋蒔絵硯箱	竹内奈美子	東京国立博物館ニュース	713	古事記のうんちく 8 稲羽の白ウサギサメを信仰した弥生人	小畑 三秋	産 経 11.8
蒔絵研究から見る光琳資料—「梅花蒔絵箱下絵」再考—	土井久美子	美をつくし	177	朝鮮		
芭蕉の箱旧家に伝わる 名古屋で公開へ弟子ら受け継ぎ		東 京	9.24	資料 佐野美術館蔵の楽善君神道碑について	川西 裕也	朝鮮学報 224
天平のライフスタイル 中 螺鈿紫檀琵琶 心和ます唐楽の合奏		読売夕刊	10.23	朝鮮時代の胎室加封碑に関する予備的考察	篠原 啓方	東アジア文化交渉研究 5
朝鮮				石器		
今月の表紙より 玉絵碁笥 八代宗哲造	中村 宗哲	淡 交	813	日本		
その他				常設展示のみどころ 44 薩摩川内市馬立遺跡の木葉形尖頭器	中原 一成	黎 明 116
ベトナム螺鈿の器物資料に関する知見	猪熊 兼樹	東風西声*	7	木竹工		
石 工				東アジア		
中国				唐代の琵琶とその遡源	高橋 照彦	待兼山論叢 46
日本				日本		
最近の発掘調査 中世の古道に立つ板碑の発掘	西野 善勝	あるむぜお	100	矢野遺跡出土の檜扇について	原 俊二	出雲弥生の森博物館研究紀要 2
燈籠百話 8、9 表紙写真解説	伊吹 順章	春日 埼玉史談	87,88	明日香藤原地域出土の木製食器	木村 理恵	奈良文化財研究所紀要 2012



古墳時代準構造船の復元	中村 弘	兵庫県立考古博物館研究紀要	5	近世視きからくりは何を見せたか、その1—カラクリを覗く—	坂井 美香	年報非文字資料研究	8
井辺遺跡出土の「屋根形木製品」	田中 元浩	和歌山県文化財センター年報	2011	特集怪異・妖怪文化妖怪と玩具	香川 雅信	歴 博	170
天平のライフスタイル 上 木画紫檀六局 庶民も熱中魅惑の盤		読売夕刊	10.22	家康の時計は「最高傑作」静岡・久能山保管 大英博物館の研究者鑑定		東 京	5.18
<b>朝 鮮</b>				<b>そ の 他</b>			
コレクション名品展「朝鮮 木のもの100選」によせて	松浦 萌子	高麗美術館館報	91	中国伝来の技法に新説 イスラム初の紙古布から製造?	小橋 弘之	日経夕刊	6.18
「朝鮮 木のもの100選」トピック 朝鮮の奠雁礼[てんがんれい]について	片山真理子	〃	〃	<b>建 築</b>			
物に執して(151)	鈴木 皓詞	目の眼	424	<b>中 国</b>			
<b>ガラス工</b>				東アジアの王権と宗教 漢代の郊祀と都城の空間	佐川 英治	アジア遊学	151
<b>日 本</b>				<b>日 本</b>			
難波宮東方地域のガラス玉生産	大庭 重信	葦 火	158	加賀藩の大工史料の信頼性に関する考察(上)—清水文庫・渡部家文書を中心に—	正見 泰	研究紀要金沢城研究	10
埼玉県反町遺跡出土のガラス小玉とガラス小玉鋳型について	上野真由美 田村 朋美	埼玉県埋文調査団紀要*	26	滋賀県大津市国分所在礎石「へそ石」の周辺	小松 葉子	滋賀県文化財保護協会紀要	25
時評 帝政ローマの重層ガラス玉、京都の古墳で国内初発見		日本美術新聞	5	古代掘立柱建物遺構における身舎外周柱の上部構造	箱崎 和久	奈良文化財研究所紀要	2012
平等院本尊阿彌陀如来坐像台座華盤納入品のガラス片の調査と容器の復元制作	藤原信幸 海藤博 井上 曉子	鳳翔学叢	8	聚楽第・伏見城・豊国廟遺構説の萌芽	加藤 悠希	日本建築学会計画系論文集	675
平等院本尊阿彌陀如来坐像台座華盤納入品のガラス片についての化学分析	中井白瀧 井上 泉 白瀧 暁子	〃	〃	<b>そ の 他</b>			
<b>そ の 他</b>				学界展望 東南アジアの建築史・都市史	大田 省一	建築史学	59
メトロポリタン美術館展から 15センチ優美な跳ね馬 馬形の取っ手	高野 清見	読 売	10.9	<b>都市・集落</b>			
<b>その他の工芸・民具</b>				<b>中 国</b>			
<b>日 本</b>				曹魏洛陽の九條をめぐる近年の議論	向井 佑介	史 林	491
近世大坂の骨細工業—双六駒の製作—	清水 和明	葦 火	161	シンポジウム「歴史のなかの地図Ⅴ 江戸と江戸城」清代の北京と紫禁城—武人と文人、旗人と民人—	杉山 清彦	東京大学史料編纂所研究紀要	22
市内の郷土芸能 玉川文楽と写し絵	赤城 高志	調布の文化財	46	河南竜山・二里頭・殷周都市の特質—2011年、中国古代都市遺跡調査報告—	江村 治樹	名古屋大学文学部研究論集	173

南京市における城壁空間の変遷と類型に関する研究	王 出口 箕浦坂井	成康 敦子猛	日本建築 学会計画 系論文	672	シンポジウム「歴史 のなかの地図Ⅴ 江 戸と江戸城」		東京大学 史料編纂 所研究紀 要	22
六朝建康城の研究— 発掘と復元	張小 尾 沢	学鋒 孝夫	山形大学 歴史・地 理・人類 学論集	13	都市空間のなかの 江戸城	杉本 史子		
日本					家光政権期江戸城 と江戸の防衛—城 門警衛と消防制度 の成立—	松尾美恵子		
乙金地区遺跡群—薬 師の森遺跡第10次・ 第20次調査報告書—	林上田 三辻中村、 編集	潤也 龍児一林	大阪大谷 大学博物 館報告書	58	左京二条三坊・東二 坊大路の調査—第168 —8次	庄田 慎 木村 理 高橋 恵 渡辺 透 山崎 丈 彦 健	奈良文化 財研究所 紀要	2012
研究ノート 江戸時 代大坂城周辺の武家 地について	宮本 裕次	大阪城天 守閣紀要	39	水落遺跡の調査—第 165次(西区)	黒坂 貴 清野 裕 孝之	〃	〃	
道からみた豊臣初期 大坂城下町	大澤 研一	大阪歴史 博物館研 究紀要	10	東院地区の調査—第 481次	鈴木 智 青木 大 石田 敬 芝 由紀 康次郎	〃	〃	
慶長3年における大 坂城下の改造をめぐ って—『西笑和尚文 案』所収史料を中心 に—	豆谷 浩之	〃	〃	平城宮北方遺跡の調 査—第480次	浅野 啓 青木 介 敬	〃	〃	
群馬県玉村町福島飯 玉遺跡における中世 掘立柱建物の検討— 斉田竹之内遺跡北・ 南館の再評価を兼ね て—	飯森 康広	群馬県埋 文調査団 研究紀要*	30	左京三条一坊一・二 坪の調査—第478・ 486・488次	大林 潤 神野 恵 諫早 直 海野 人 小池 聡 伸彦	〃	〃	
恭仁京の復元—泉津 の下津道を起点とし た都市計画—	岩井 照芳	古代文化	588	右京三条一坊十坪の 調査—第484次	森川 実	〃	〃	
図版解説 宮町遺跡 (史跡紫香楽宮跡 宮町地区)第40次調 査概要	渡部圭一郎	〃	589	『洛中絵図』に「町屋」 と記された洛中農村 の百姓居宅と、江戸 時代の同地史料にみ る町屋の意味	丸山 俊明	日本建築 学会計画 系論文	676	
平安京「西京」の形成	久米 舞子	〃	590	平安宮内裏の土庇と 雨儀—平安宮内裏の 空間構成と儀式に関 する歴史的研究2—	満田さおり	〃	677	
平成24年度の斎宮跡 発掘調査	新名 強	斎宮歴史 博物館だ より	69	「加賀越中御旅屋等 之義御尋」に見られ る御旅屋、御宿につ いて—金沢藩、富山 藩の武士宿泊施設の 研究(その5)	岡田 悟 永井 康雄	〃	682	
堺幕府はどこにあっ たのか—中世都市の 空間構造—	吉田 豊	堺市博物 館研究報 告	31	書評 橋本義則著『古 代宮都の内裏構造』	吉田 歙	日本史研 究	598	
安土城に見る統治景 観—聖地と城郭—	大沼 芳幸	滋賀県立 安土城考 古博物館 紀要	20	新年特集 学び直す 日本史の常識 Q1 平城京にはなぜ外京 が作られたのでしょ うか?	馬場 基	日本歴史	764	
研究ノート 都城と 市—日唐坊制・時刻 制の比較より見る東 西市—	宮川 麻紀	続日本紀 研究	401	研究ノート 西浜千 軒遺跡調査概報—琵琶 湖湖底遺跡の調査 —	中川 永	人間文化	31	
「藤原京の成立」遺構 解釈の一例	深澤 芳樹	史 林	491	古代飛鳥の国際性と 文化交渉—広域的都 市計画と要塞化—	高橋 誠一	東アジア 文化交渉 研究	5	
平安京の変容	上村 和直	帝塚山学 校考古学 研究所研 究報告	14					

平成24年定期刊行物所載文献(古/建築)

平成24年度発掘調査遺跡の紹介 狐屋敷遺跡	佐藤 友子	埋文にいがた	79	回廊基準尺の検討—第1次大極殿院の復原研究5—	井上 麻香	奈良文化財研究所紀要	2012
文化 琵琶湖の湖底遺跡を探れ 学生と伝承頼りに、地震で沈んだ村の痕跡つかむ	林 博道	日 経	7.6	南門の復原研究—第1次大極殿院の復原研究6—	北山 夏希	〃	〃
そ の 他				門の位置と東・西楼の屋根構造の検討—第1次大極殿院の復原研究7—	中川 二美	〃	〃
トルコ共和国カイセリ県遺跡調査プロジェクト(KAYAP)第4次調査(2011年)概報	紺谷 亮一 須藤 寛史 山口 雄治 早川 裕式 F・クラック オウル	岡山市立オリエン ト美術館 研究紀要	26	朝堂院朝庭の調査—第169次	高橋知奈 廣瀬 健 山崎 訓也 桑田 一貴 森先	〃	〃
クラン・コー遺跡調査—中世カンボジア墓葬遺跡の調査—	佐藤 由似	奈良文化財研究所紀要	2012	東方官衙北地区の調査—第168—1次	石橋 茂登	〃	〃
宮殿・宮衙				東面中門・東面大垣の調査—第168—2次	森先 一貴 玉田 芳英 山崎 健	〃	〃
日 本				東方官衙北竹の調査—第168—5・6・7次	森先 一貴 木村 理恵	〃	〃
前期難波宮東方官衙の「楼閣風建物」をめぐる復元的考察	李 陽浩	大阪歴史博物館研究紀要	10	朝堂院朝庭、右京六条二・三坊の自然科学分析—第163・167次調査から	山崎 健 金原 正子 金原 奈美 杉山 真二 奥野 絵美	〃	〃
讃岐国の位置と国府の立地を考える	住谷 善慎 十河 裕之 佐藤 竜馬	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	8	近世期の越中国における加賀藩御蔵所の空間構成に関する研究	相模 誓雄	日本建築学会計画系論文集	676
讃岐国府周辺における土地利用形態—発掘調査成果からの素描—	佐藤 竜馬	〃	〃	近世期の能登国における加賀藩御蔵所の空間構成に関する研究	〃	〃	682
特輯 古代国府の成立をめぐる諸問題(下)		古代文化	587	滋賀・宮町遺跡 紫香楽宮に“内裏正殿跡”左右対称 恭仁宮跡に類似		産 経	1.19
宮都と国府の成立	青木 敬			そ の 他			
伯耆国府の成立	眞田 廣幸			阮朝フエ王宮における隆徳殿の当初材について	白井 裕泰 中川 武	日本建築学会計画系論文集	671
出雲国風土記と国府の成立	平石 充			宗教建造物			
大宰府と西海道国府の成立	杉原 敏之			中 国			
筑後国府の成立	神保 公久			大谷光瑞「国家の前途」を考える 第2部 大谷光瑞とアジア—帝国の拡がりとともに コラム 大谷探検隊とモンゴル最古のチベット仏教寺院エルデニ・ゾー—第2次探検隊、橘・野村調査日記から	村岡 倫	アジア遊学	156
国司制と国府の成立	中村 順昭						
古代駅路と国府の成立	大本 雅康						
覚書 東大寺献物帳(15)—正倉院宝物の原簿—	米田 雄介	〃	〃				
図版解説 平安京右京三条一坊六町(藤原良相西三条第)の調査	丸川 義広	〃	588				
史跡西北部における奈良時代掘立柱建物の再検討	泉 雄二	斎宮歴史博物館研究紀要	21				

日 本							
幻の中世寺院 三宝寺	大庭 重信	葦 火	156	世界遺産・中尊寺遺跡発掘の軌跡1953—2011		中尊寺仏教文化研究所論集	3
阿倍寺が幻でなくなる日	谷崎 仁美	〃	158	中尊寺境内の遺跡調査	及川 司		
資料紹介 万松寺本堂の棟札について	河合 仁志 山口 遥介	岡崎市史研究	32	中尊寺境内関伽堂跡地区の発掘調査	國生 尚		
史跡 元興寺極楽坊境内発掘調査報告—トイレ建設に伴う発掘調査—	考古学研究室	元興寺文化財研究所研究報告	2011	中尊寺境内法泉院地区の発掘調査	〃		
モノづくりの観点からみた敷瓦に関する考察	二村 盛寧	京都産業大学日本文化研究所紀要	17	新指定の文化財 虎豹神社本殿		調布の文化財	48
創刊750号記念大特集 古事記 日本の原風景を求めて—もっと知りたい2—出雲大社巨大本殿の源流	黒田 龍二	芸術新潮	750	史料に見える泰安寺境内の変遷	乾 貴子	津山弥生の里	19
修復トビックス		建築史学	58	内裏野地区の変遷—甲賀寺から近江国分寺へ—	小谷 徳彦	帝塚山大学考古学研究所研究報告	14
清水寺子安塔について—沿革と建築的特徴	奈良 裕美			修復研究業績 東京芸術大学蔵 木造薬師寺三層裳階付大塔模型		東京芸大保存修復彫刻年報*	2011年度
重要文化財長勝寺庫裏の復原平面と民家間取りの関連性について	松本 優			伊勢地域における古代寺院の選地	梶原 義実	名古屋大学文学部研究論集	173
15世紀後期—17世紀の北野天満宮における建築工匠の系譜と活動形態について	浜島 一成	〃	59	阿弥陀堂と寝殿造	三宮 千佳	奈良美術研究	13
奈良時代前後の神社修造の実情について	加瀬 直弥	国学院雑誌	1267	奈良美術研究会 活動報告2011年度 前方後円墳から寺院へ	持田 大輔	〃	〃
伊勢の遷宮について	中西 正幸	〃	〃	比叡山延暦寺建造物にみる意匠の特殊性と古材利用	海野 聡	奈良文化財研究所紀要	2012
比良山系の山寺—大津市歓喜寺遺跡について—	小林 裕季	滋賀県文化財保護協会紀要	25	檜隈寺周辺の調査—第172次	渡辺 丈彦 黒坂 貴裕 木村 理恵 小田 裕樹	〃	〃
日本の塔百選(序)～(10)	中西 亨	史迹と美術	821～830	薬師寺境内の調査—第476次	芝 康次郎	〃	〃
飛雲閣を探して1、2、4、5	加藤 繁生	〃	825～827、829、930	興福寺北円堂院の調査—第483次	大林 潤 山本 祥隆 今井 晃樹 芝 康次郎	〃	〃
口絵写真解説 最上地区の石鳥居	中西 亨	〃	827	平等院鳳凰堂の発願と法華寺阿弥陀浄土院	三宮 千佳	南都仏教	97
海上社殿が彩なす中世の巖島神話	松井 輝昭	紫 明	31	石川県の史跡末松庵寺跡における塔心礎の岩石学的性質—塔心礎に使われている岩石は戸室石か?—	酒寄 淳史	日本海城研究	43
文化財建造物修理現場だより		全文連文化財通信		木割書に記述される柱—組物—垂木の関連について—木割の方法に関する研究(その1)—	山岸 吉弘	日本建築学会計画系論文集	671
賀茂御祖神社預り屋ほか19棟の保存修理について	村田 典彦		85				
輪王寺本堂ほか2棟の保存修理について	原田 正彦		86				

木造三重塔の構造特性に関する実験的考察—第3報 軒の衝撃的な振動性状に関する縮小規模型実験	西川西澤	英祐英和	日本建築学会論文集	671	安芸、厳島における新発見の祭祀遺跡—弥山の中腹で発見された岩塊群の検討—	妹尾 周三	MUSEUM	639	
亀居山大乗寺客殿の天明・寛政期における再建と修繕過程に関する研究 障壁画注文及び製作年との関連性も含めて	木下	知威	〃	672	那古寺多宝塔の再建と江戸出開帳		ミュージアム発見伝	86	
賀茂別雷神社の役大工と儀式における祝儀について	中西日向	大輔進	〃	674	元慶2年の地震と武蔵国分寺	坂詰 秀一	武蔵野	351	
多宝塔の上重総間設計手法について	青田溝口	和也明則	〃	677	講演3 寺内町の中核としての真宗寺院—顕証寺を中心として—	櫻井 敏雄	八尾市文化財紀要	17	
天真院客殿と梁間規制に関する試論 保存修理工事に伴う調査と放射性炭素年代測定を用いた黄檗宗塔頭の再評価	丸山中尾	俊明七重	〃	〃	奈良国立博物館における国際研究集会(2010年6月)における研究報告 大交流時代の建築	ナンシー・スタインハルト	鹿園雑集*	14	
鏝阿寺本堂の部材の年代測定について	上野中尾	勝久七重	〃	678	根来寺遺跡の発掘調査(旧県会議事堂移転予定地)	佐伯 和也	和歌山県文化財センター年報	2011	
承久度鷲尾神社本殿	山口	佳巳	〃	679	根来寺遺跡の発掘調査(京奈和自動車道)	井石 好裕	〃	〃	
讃岐国分寺本堂の昭和修理	三浦	要一	〃	681	金剛三昧院客殿及び台所の当初小屋組について	結城 啓司	〃	〃	
近世社寺建築調査報告書集成にみえる棟持柱をもつ建築遺構の特質	滝澤土本	秀人俊和	〃	682	遷宮、刷新で得る永遠 伊勢神宮 出雲大社 2013年、同時に	河野 孝	日 経	11.17	
平成23年度東支部大会 滅罪の場としての庭園—平等院の意味を再考する—	長岡	龍作	美術史	172	寺社の装飾彫刻に光写真集 全国111か所700点 仏像の脇役、建造物扱い…	辻本 芳孝	読 売	2.1	
日本美術のススメ 今月の逸品 宇豆柱	池田	宏	美術の窓	349	ぎやらりいモール 東京国立博物館本館「出雲—聖地の至宝」から「重要文化財宇豆柱」	池田 宏	読売夕刊	11.6	
新指定文化財 国宝指定 久能山東照宮本殿、石の間、拝殿	多々良	ふちゅ〜る		20	朝 鮮				
双建築の再検討	海野	聡	仏教芸術	320	百済寺院の展開過程と日本の初期寺院	李井上訳	炳鎬主税	帝塚山大学考古学研究所報告	14
東大寺法華堂(正堂)ならびに八角二重壇の年輪年代調査	光谷児島	拓実大輔	〃	321	そ の 他				
近代初頭における天龍寺境内地の景観とその変化	小林	善仁	仏教大学歴史学部論集	2	ダルヴェルジンテパ 仏教寺院址2006—2007出土土器・遺物一覧	創価大学シルクロード研究センター編	シルクロード研究	7	
歓喜院聖天堂—近世の装飾的建築の到達と転換—	大河	直躬	文化財*	586	西トップ遺跡の調査と修復	杉山 洋	奈良文化財研究所紀要	2012	
新指定の文化財 建造物	文化庁文化財部	〃	〃	〃	ベン・メアレア寺院の伽藍寸法計画に関する推定考察 クメル建築の造営尺度と設計技術に関する研究(6)	溝口中川佐藤下田百瀬	明則武桂一太純哉	日本建築学会計画系論文集	671
表紙解説 歓喜院聖天堂	長尾	充	〃	〃					
8世紀初頭以前の神仏関係に関する予察—豊前の仏寺関連の遺物・遺構の検討を中心にして—	内藤	亮	法政考古学	38					

修復方針決定までの  
議論 国際協力による  
ボロボロドゥール遺  
跡修復事業 その2

安田 梢  
平賀あまな  
斎藤 英俊

677

## 城 郭

## 中 国

宋代明州城の復元図  
作成にむけて

山崎 覚士

海港都市  
研究

7

## 日 本

後期清州城本丸考—  
臼杵市立臼杵図書館  
所蔵絵図を中心に—

鈴木 正貴

愛知県埋  
蔵文化財  
センター  
研究紀要

13

松山城の大手口・大  
手門—柚山俊夫氏の  
説に触発されて—

内田九州男

愛媛県歴  
史文化博  
物館研究  
紀要

17

屋久島・口永良部島  
の城の調査

三木 靖

鹿国大考  
古学ミュ  
ージアム  
報告

9

戦国期城郭としての  
筑前益富城

岡寺 良

九州歴史  
資料館研  
究論集

37

研究ノート 金沢城  
跡の変遷

田中 徳英

建築史学

59

学界展望 城郭研究  
—「縄張り研究」の独  
自性を如何に構築す  
るか—

木島 孝之

677

修復トビックス 国  
宝姫路城大天守保存  
修理工事において判  
明した最上階隅の間  
の当初計画について

加藤 修治

677

報告 高槻城跡  
(2009—1)の調査に  
ついて

今西 泰宏

高槻市文  
化財年報

H21・22  
年度

シンポジウム「歴史  
のなかの地図Ⅴ 江  
戸と江戸城」境界と  
しての江戸城大手三  
門—門番の職務と実  
態—

岩淵 令治

東京大学  
史料編纂  
所研究紀  
要

22

大野城の築城年代再  
考 太宰府口城門出  
土木柱の年輪年代の  
測定から

赤司 善彦  
光谷 拓実

東風西声\*

7

昭和解体修理工事資  
料に基づく松江城天  
守の再検討

西山由香里  
田中綾乃  
川村 摩理

日本建築  
学会計画  
系論文集

673

享保期から万延期に  
至る江戸城本丸御殿  
大御殿殿向の座敷飾  
による各殿舎の格

服部佐智子

675

文化財レポート 三  
木城跡と付城跡群の  
調査について

廣井 愛邦

日本歴史

764

古城をゆく

中井 均 本 郷

100、101

新名爪に残る城郭遺  
構について

福田 泰典

宮崎県立  
西都原考  
古博物館  
研究紀要

8

和歌山城跡の発掘調  
査

森原 聖

和歌山県  
文化財セ  
ンター年  
報

2011

## 朝 鮮

講演録 古代朝鮮の  
都城—東アジアの都  
城制のなかで—

山田 隆文

龍谷史壇

135・136

## そ の 他

2011年度 ロシア・  
クラスキノ土城発掘  
調査概要報告

クラスキノ  
土城発掘調  
査団

青山史学

30

## 住 宅 ・ 館

## 日 本

高松藩大阪蔵屋敷跡  
の発掘調査

松本百合子 葦 火

159

遺跡にみる諸行無常  
—長原遺跡東南地区  
にみる土地のうつろ  
い—

赤松 佳奈

677

大原幽学「旧宅」研究

薄井 温子

大原幽学  
記念館報  
告

1

神奈川の中世城館  
(4)

中世研究プ  
ロジェクト  
チーム

かながわ  
の考古学

17

近世初期の幕府関係  
居城における小広間  
(白書院)と黒書院の  
住宅様式

鈴木 亘

建築史学

58

研究ノート

安田 徹也

677

礎石建ての意味

677

天保9年の巡見使が  
休泊に利用した熊本  
藩の御茶屋について  
「御料御巡見衆御休  
泊所絵図」の研究(そ  
の5)

岡田 悟

日本建築  
学会計画  
系論文集

673

近世京都における町  
家の軒役の変動 間  
口長さ3間との関係  
を考える材料として

丸山 俊明

674

近世近衛家の屋敷に  
ついて—近世公家住  
宅の復古に関する研  
究2—

藤田 勝也

675

金沢藩の滑川の御旅屋と桐沢家について 金沢藩、富山藩の武士 休泊施設の研究 (その4)	岡田 永井	悟 康雄	日本建築 学会計画 系論文集	677
今出川殿における検 非違使別当邸庁始の 儀式と空間	梶	暁美	"	682
史料散歩 大名屋敷 図にみる中奥について	畑	尚子	日本歴史	765
口絵 明治初年の旧 大名屋敷(東京)	保谷	徹	"	769
国指定史跡「聖寿寺 館跡」の調査成果— 平成19—23年度の調 査から—	永井	治	ふる里な んぶ	6
徳川園80周年特別企 画 尾張徳川家大曾 根邸と徳川園	原	史彦	蓬 左	85
ライトアップ[聚楽 第本丸石垣]			東京夕刊	12. 22

## 茶 室

## 日 本

特集 第2部 茶の 湯の表現13「写し」の 茶室—もう一つの茶 室の美学	中村	利則	美術フォ ーラム21	25
---	----	----	---------------	----

## その他の建造物

## 中 国

鷹島沖で発見された 蒙古軍船	松木	哲	海事博物 館研究年 報	39
-------------------	----	---	-------------------	----

## 日 本

江戸における巨大仮 設能劇場に関する幕 府の対応—寛延3年、 文化13年、天保2年、 弘化5年の一世一代 勅進能興行の事例か ら—	丸山	奈巳	日本建築 学会計画 系論文集	674
飯田・下伊那地域の 農村舞台	金澤	雄記	"	682
研究余録 金亀玉鶴 彦根城表御殿能舞台 建設の歴史的意味	渡辺	恒一	彦根城博 物館だよ り	96

## 庭 園

## 日 本

平城宮北方における 苑池—「松林苑」と 「南苑」に関する一考 察—	本村	充保	古代文化	588
--	----	----	------	-----

鎌倉時代庭園の研究	青木	達司	奈良文化 財研究所 紀要	2012
室内からの鑑賞にみ る枯山水庭園の構成	真木 藤中	利江 愛美	日本建築 学会計画 系論文集	681
滋賀県の考古学20 名勝 朽木池ノ沢庭 園の日本庭園史にお ける位置付け—遺水 と流れの庭園意匠か ら—	宮崎	雅充	人間文化	31
表紙解説 毛越寺庭 園	佐藤	嘉広	文 化 財*	580
特集 名勝の保護 事例紹介1「津和野 百景図」と城下町の 庭園群の保護	中井	將胤	"	589
美しき信長庭園 岐 阜の居館跡で発見 フロイス「日本史」と 一致			東京夕刊	11. 17
金沢城 玉泉院丸庭 園 独創設計の滝 発掘調査 背景に石 垣、前田家ならではの	早川	保夫	読 売	5. 23

## 墳 墓

## 中 国

中国甘肅省武威市磨 嘴子遺跡漢墓群の概 況と日中合同発掘調 査について	谷地	薫	秋田県埋 蔵文化財 センター 研究紀要	26
周惇頤の墓—その歴 史と現状	吾妻	重二	東アジア 文化交渉 研究	東アジア 文化研究 科開設記 念号

## 日 本

室町時代の墳墓堂跡 を発見!	平田	洋司	葦 火	158
グスク時代における 支配者の墓の考察	武部	拓磨	よのつち*	8
牽牛子塚古墳と岩屋 山古墳—考古学から みた斉明陵—	白石	太一郎	大阪府立 近つ飛鳥 博物館館 報	15
仁徳天皇陵古墳前方 部の埋葬施設につい て	白神	典之	"	"
シシヨツカ古墳の喪 葬儀礼	森本	徹	"	16
福島県谷地久保古墳 の埋葬施設について	関本	優美子	"	"
第8回三輪山セミナ ーイン東京講演録 東国の出現期古墳と 大和政権	大塚	初重	大 美 和	122

上道氏と下道氏の相克—石棺の分布が示す地方の分断施策—	草原 孝典	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要	4	調査・研究報告 チョット変だよ! 富士市の古墳	志村 博	博物館だより(富士市博)	59
創刊750号記念大特集 古事記 日本の原風景を求めて もっと知りたい1 推古天皇が母と夫に捧げた陵墓	森 浩一	芸術新潮	750	歴史の眼		歴史評論	
建王の今城谷墓と酒船石遺跡	西本 昌弘	続日本紀研究	396	初めての天皇陵立ち入り観察—磐田山古墳(宮内庁呼称応神天皇恵我藻伏崗陵)内堤表面観察調査の報告と意義—	森岡 秀人		749
研究ノート 桓武天皇陵と仁明天皇陵の所在地—両陵の位置関係から—	渡里 恒信	"	398	2011年度の陵墓立会調査見学	白谷 朋世		752
福井県西塚古墳出土遺物の来歴調査について	清喜 裕二	書陵部紀要	63	弾圧逃れたキリシタン墓地 大分・臼杵市 16—17世紀 墓標54基や埋葬施設出土	早川 保夫	読 売	7.18
五十狭城入彦皇子墓の墳丘外形調査	徳田 誠志 清喜 裕二	"	"	4世紀の古墳に副葬品 大和政権 新潟まで影響	深谷 浩隆	"	10.2
景行天皇皇后播磨稲日大郎姫命 日岡陵の墳丘外形調査	清喜 裕二 横田 真吾	"	"	愛知・東之宮古墳 39年ぶり発掘 畿内に匹敵 丁寧な築造 前方後方墳 分かれる評価	早川 保夫	"	11.14
平成22年度 陵墓関係調査報告	陵墓調査室	"	"	朝鮮			
津田湾・津田川古墳群の検討	大久保徹也	徳島文理大学比較文化研究所年報	28	朝鮮民族の先祖崇拝、先祖供養の起源について—高句麗古墳の形式と壁画を中心に—	ラブチェフ・セルゲイ	MIHO MUSEUM 研究紀要	12
阿波東部・吉野川下流域の前期古墳築造状況	栗林 誠治	"	"	建築部材など			
南四国における前・中期古墳の展開	清家 章	"	"	日 本			
高縄半島における前期古墳の景観と瀬戸内海	柴田 昌児	"	"	二条城展から 二の丸御殿飾金具 黒書院 花熨斗形釘隠 金色 ぜいたくな装飾	早川 保夫	読売夕刊	8.18
「古墳時代前期の四国島」研究会 2日目に参加して	澤田 秀美	"	"	建築に付随するその他			
伊予における前期前方後円墳築造契機と他地域との関連について	富田 尚夫	"	"	中 国			
墳墓と集落—研究会「古墳時代前期の四国島」のコメントに代えて—	信里 芳紀	"	"	宋代以前の正史災異史料に見られる一般的な建物用語の変遷	塚本明日香	日本建築学会計画系論文集	674
前方後円墳築造基盤の変化—高松平野における古墳時代前期の様相から—	乗松 真也	"	"	日 本			
垣内・潜伏キリシタン長墓墓群	大石 一久	長崎歴史文化博物館研究紀要	6	前期難波宮に釘を刺す!!	李 陽浩	草 火	160
キトラ古墳の調査—第170次	若杉 智宏 廣瀬 宏覚	奈良文化財研究所紀要	2012	木奥家所蔵大工道具調査	番 光	奈良文化財研究所紀要	2012
				賀茂別雷神社の役大工と儀式について	中西 日向	日本建築学会計画系論文集	671



平成24年定期刊行物所載文献(古／建築)

萩藩の屋敷方「被仰出条々」制定の経緯とその背景	妻木曾我橋本	宣嗣友良孝成	日本建築学会計画系論文集	672
賀茂別雷神社の役大工と日常の活動について	中西日向	大輔進	〃	〃
賀茂別雷神社の役大工と営業権について	〃		〃	673
留先法による二軒繁垂木の検証と変容過程 中世軒規矩術の研究 その2	大上西澤望月谷	直樹正浩義伸直樹	〃	676
引込垂木の変容—『独稽古隅矩雛形』と現代軒規矩術法—近世軒規矩術の研究 その3	〃		〃	〃

## 近 現 代 美 術

## 絵 画

## 一 般

からんどりえ「暦」	熊田 司	えむえむ	2
水墨画の風景1 はじめにあたって	島尾 紫	新 珠	水 墨 画* 277
《空箱+油彩=空箱 絵画》—絵画の新様式、新形体の研究と開発—	阿部 端	大学院諸 究	8・9
科学者によるサイエンスイラストレーション作成の実態	田中佐代子 小林麻巳人 三輪 佳宏	筑波大学 芸術研究 報告	59
コラム 招聘レポート 日本初の風刺雑誌—横浜の「名物」	Sonia Hotwagner	非文字資 料研究	28
発信し続ける『南京』—文学に刻まれる記憶	関根 謙	東京夕刊	4.5
世界の絵本作家が寄稿 震災チャリティでカレンダー	中村 陽子	〃	10.24
母と子父と子十選1～10	太田 治子	日 経	1.27、31、 2.2～4、6、 7、9、10、 14
世界驚かした江戸の絵本 単純な線で本質を描く蕙斎の「略画式」を伝て復刻出版	クリストフ・マルケ	〃	7.3
日本美術と影十選1～10	蔵屋 美香	〃	9.25、27、 28、10.1、 2、4、5、8、 9、11
パリに咲いた夢 ルソーを巡る画家たち十選1～10	原田 マハ	〃	10.12、16、 18、19、22、 23、25、26、 29、30
美の美 文人って何だ? 中 夏目漱石	宮川 匡司	〃	11.18
乗り物絵本、収集と郷愁	関田 克孝	〃	11.23
幻の花影十選1～10	志村 節子	〃	11.29、30、 12.3～7、 11、13、14
いま風 水曜日 絵本 出会い直せる奥深さ	広松由希子	読売夕刊	6.6

## 日 本

資料・絵葉書「浅草」	山田 俊幸	一 寸	50
明治・大正期を中心とする近代京都洋画壇の研究	石井 香絵	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29

「新具象の時代」	米山 将治	神田日勝 記念美術 館だより	30
資料紹介 東京国立博物館蔵『日隅薩巡回採摘品集覧圖』	小瀨亜由美	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	43
昭和大嘗会屏風の史的位置	中野 慎之	京都美学 美術史学	11
水曜会と『黎明』—明治三十年代後半の京都日本画の一動向	田中 修二	近代画説	21
研究発表(要約)	〃	〃	〃
「有翼の天女図」再考—失われた「羽衣」像	龍野 有子		
植民地美術と「旅行」—台湾における作品をめぐる	蔡 家丘		
明治から戦後初期の石膏デッサン—様式の変容—	瀬谷 裕美		
熊本の後美術史・研究ノート「熊本の画家12人」	井上 正敏	熊本県立 美術館研 究紀要	12
所蔵作品展特集 大下藤次郎から中西利雄へ—揺さぶられる水彩画	都築千重子	現代の眼	593
特別展 自らを見つめる—画家と自画像	辻 智美	神戸市立 小磯記念 美術館だ より	37
「四つ目牡丹園」をえがく—浮世絵版画・小説・俳句—	田口 文哉	さいたま 市大宮盆 裁美術館 年報紀要*	2
大正～昭和前期佐賀県中等学校図画教員一覧および図画教員の「佐賀美術協会展」への出品歴について	野中 耕介	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	36
学芸員通信 こよみ—当館所蔵資料のご紹介—	久保田一郎	島根県立 古代出雲 歴史博物 館 NEWS	25
錦絵摘物「東京自慢名物会」「見立模様」の研究—見立意匠にみる「江戸」「東京」の交差—	大久保尚子	人文社会 科学論叢	21
特集 横浜・異国趣味のイマジリイ「日本人離れ」の美学—谷崎潤一郎をめぐる	谷川 渥	大正イマ ジュリイ	7

平成24年定期刊行物所載文献(近/絵)

発表要旨 第二十三回研究会 バレエ・リュスの紹介と受容—大正期のグラフィック・デザイン界を中心に—	田島奈都子	大正イマジュリイ	7	大正の記憶—絵葉書の時代—特集号		ミュージアム・レター	19
文人画再発見!—西谷コレクションを中心に—	伊藤 紫織	千葉市美術館ニュース C'n	65	I 出来事はどのように伝えられたか「瓦版」から「新聞」へ	鎌田 純子		
国絵図復元—巨大絵図制作の技術—	荒井 経 染谷 香理 平 論一郎 中村裕美子 杉本 史子	東京芸術大学美術学部紀要	50	II 絵葉書の誕生	長佐古美奈子		
戦中から戦後へ作家をたどる 4、5 関連美術団体(その1、2)	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	124, 125	IV 写された大正時代	長谷川 怜		
「池袋モンパルナス展」から—三つの視点	小沢 節子	〃	126	鷺塚隆氏寄贈街頭紙芝居コレクションについて	刈田 均	横浜市歴史博物館調査報告	8
美人画を研究することの意義とその課題(上、下)—再興院展の出品作を事例としながら	角田 拓朗	〃	131, 132	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 江戸景観図—近代の『江戸』表象(歴史画)によせて	岩淵 令治	歴 博	171
秋元酒汀と明治の日本画(二)	塩谷 純	美術研究	407	日本橋 描かれた400年	我妻 直美	朝 日	
第六十五回全国大会研究発表要旨 朝鮮美術展覧会研究序論—日本帝国占領下の朝鮮における、日本人画家および作品の検討—	日比野民蓉	美術史	173	1 定点観測 交通の要衝 名所絵の工夫			4.3
INFORMATION JOURNAL 「日本画」賞に変化の兆し? 第5回東山魁夷記念日経日本画大賞 「日本画」の行く末を日経日本画賞に見る	小金沢 智	美術手帖	971	6 高札場と人力車 明治の幕開け 象徴する姿			5.15
特集 画材大百科 定番から新製品まで! 日本画 絵画用膠の転換期を考える	北田 克己	美術の窓	343	11 交通の変遷 最新の乗り物行き交う要所			6.19
IV 所蔵資料目録 松岡家資料目録		文京ふるさと歴史館年報	15	12 都市・東京 天災・繁栄社会映した名所			6.26
寄稿 ポスターモデルにおける、時代の美人像 明治の広告における美人像	田島奈都子	マ キ エ	32	「炭都」夕張 絵に残す 小中学生の教材に		東 京	1.10
島根県初の私立和洋画学校「方園学舎」入門者一覧	西島 太郎	松江歴史館研究紀要	2	絵がつなぐ旧制高の誇り 卒業生の美術展「白線展」、全国行事の最後の砦に	細川 邦三	日 経	3.23
明治四十四年東京帝室博物館特別展覧会における模写—「小袖図」等服飾品模写図を中心に—	佐々木佳美	MUSEUM	636	模倣からの創造 近世と近代の日本美術 十選 1~10	野田 哲也	〃	5.8、10、11、14、15、17、18、21、24、25
				美の美 証言する絵画—戦争の時代1、2、4	宝玉 正彦	〃	8.12、19、9.2
				美の美 「コドモノクニ」とモダンニッポン 上・下	関 優子	〃	10.14、21
				美の美 歴史を描く 明治国家と美術 上・中・下	松岡 資明	〃	12.2、9、16
				生誕百年のつむじ曲がり十選 1~10	野地耕一郎	〃	9.6、7、11、13、14、17、18、20、21、24

海外					
ヴェネツィア絵画の系譜	クレメント・グリーンバーグ 森田 義之、 筒井 宏樹 翻訳・解説	愛知県立芸術大学 紀要	41	連載 再建への意志 ：図面のなかの都市 復興 no.6 クスコ 1650年地震被害と地 震守護聖人の誕生	メンドサ島 田オルガ恵 子 建築雑誌 1633
15世紀フランドル絵 画の絵画技法(2)	カトリース ・ペリエミ ディエトラ ン 森田 義之、 吉野 斉志 訳	〃	〃	「印象」と筆触	六人部昭典 実践女子 大学美学 美術史学 26
地誌的な指標として の都市の表象—16世 紀後半のアントウェ ルペンにおける都市 景観を伴う田園風景 の展開—	廣川 暁生	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29	特集 美術と検閲	西洋美術 研究 16
ブファリーニ礼拝堂 壁画とカラファ礼拝 堂壁画におけるフラン チェスコ会とドメ ニコ会の競合をめぐ って	荒木 文果	〃	〃	場違い	ジャン＝ク ロード・レ ーベンシュ ティン 水野 千依 訳
Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第4回 近 代中国の書画	梶川 強	ギャラリー 一*	326	国民芸術か、退廃 芸術か ドイツ表 現主義美術の運命	大森 淳史
ゾラの美術批評と印 象派—1879年と80年 の「印象派批判」を中 心に—	吉田 典子	近代	106	研究ノート 初期 近世ドイツ美術に おける検閲をめぐ るノート	秋山 聡
なにもない空間—サ ーレンレダムの境界内 観画が示すもの	齊藤 栄一	芸術学研 究(明学)	22	研究ノート 絵画 を模倣する裸体展 示 タブロー・ヴ ィヴァンから額縁 ショウへ	京谷 啓徳
大特集 浮世絵 vs. 世界のエロス 春画 ワールドカップ		芸術新潮	746	展覧会評 「ファン ・エイクからデュー ラーまで：初期ネー デルラント絵画の画 家たちと中央ヨーロ ッパ 1430～1530年」 展	平川 佳世 〃 〃
Team Turkey 君よ 知るや、愛のチュ ーリップ時代	ジラルデッ リ青木美由 紀			ルネッサンス期ヴェ ネツィアにおける画 家工房の制作形態に 関する調査研究	佐々木千佳 高梨学術 奨励基金 年報 H23年度
Team The Euro- pean All-Stars ヌード大好き！ ヨーロッパの羞恥 と偽善	田中 雅志			17世紀のオランダ風 景画にみる気候変動 の影響	西崎 紀衣 豊田市美 術館紀要 5
大特集 永遠のイス タンブール 東西の 美と出会う都 第IV 章 アッラーに捧げ る書、スルタンが愛 でた細密画 オスマ ンの都の美に酔う	ジラルデッ リ青木美由 紀	〃	753	リソルジメントとマ ッキアイオーリの画 家たち リアリズム の問題について	谷藤 史彦 日伊文化 研究 50
World News London 「ラファエル前派 ヴィクトリア朝の前 衛」展 19世紀美術 の反逆者 ラファエル 前派の美意識革命	前橋 重二	〃	755	第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 エクリチュール としての絵画—アル ペール・オーリエの 象徴主義—	伊藤 亜紗 美 学 241

北インド丘陵地域における絵画工房の新展開——七三〇年制作『ギータ・ゴーヴィンダ』組絵を中心に——

池田 篤史 美術史 172

ヴェッキオ宮殿、「公妃の間」四室の図像解釈—フィレンツェ公妃エレオノーラ・ディ・トレドの活動とその表象—

太田 智子 // //

平成二十三年度東支部例会

// //

メディチ版『聖アントニウスの生涯』(Medic. Palat. 143)と教会政治

茅根 紀子

フスト・マイスターとグーテンベルク聖書—装飾から読み解く画家とマインツ印刷所との関わり—

池田 真弓

プファリーニ礼拝堂とカラファ礼拝堂——一四八〇年代にローマで制作された両礼拝堂壁画におけるフランチェスコ会とドメニコ会の競合をめぐって——

荒木 文果 // 173

第六十五回全国大会研究発表要旨

// //

フスト・マイスターとカスパー・ラードハイマー——十五世紀マインツとハイデルベルクにおける装飾本研究再考——

池田 真弓

亡国のパトス、喪のトポス—共和国滅亡後のシエナ絵画における都市表象—

松原 知生

マグダラのマリア図像におけるオイルランプの象徴的意味について

秋元 優季

特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成 辛亥革命と京都国立博物館の中国絵画—上野コレクションと須磨コレクションについて

呉 孟晋 美術フォーラム21 26

チベット絵画における異種のブラウナーデュマルゲシェの混色理論—

小野田俊蔵

仏教大学宗教文化ミュージアム紀要\* 8

海外通信 「パリのシュールレアリスム」展 隠れた真実探す表現

里信 邦子

朝日夕刊 1.25

4〔読ん〕で知るアート 宗教画

中野 京子

//

「受胎告知」の多様な表現

8.22

「洗礼」の必須4点セット

8.29

「最後の晩餐」 遠近法でリアル

9.5

「磔刑図」 人間イエスへ

9.12

美の季想 神秘的な冬景色 輝く白に流れる祖国愛

高階 秀爾

//

11.28

美の美

日 経

フレスコに息づく夢 1~3

宝玉 正彦

1.8、15、22

マドンナの系譜 1、2、4

窪田 直子

5.13、20、6.3

中南米のヒロイン十選 1~10

田村さと子

//

3.12、13、15、16、19、20、22、23、26、27

ヨーロッパ宮廷の女性たち十選 1~10

石井美樹子

//

11.5、6、8、9、13、15、16、19、20、22

江戸博蔵めぐり

読 売

PARIS—La Tour Eiffel「世界最高」の興奮 伝える

岩城 紀子

3.2

FRANK LESLIE'S ILLUSTRATED NEWSPAPER サムライ 米紙にぎわす

真下 祥幸

4.13

素描4点 鑑定ようやく 旧松方コレクション 国立西洋美術館 立ち遅れる研究、未調査多数

井上 晋治

//

8.30

## 漫画・アニメーション

### 一般

アニメの不在性と観客性に関する理論的考察—クリスチャン・メッツ『映画と精神分析：創造的シニフィアン』の「アニメ理論」への翻案—

宮本 裕子

bandaly 11

例会・研究発表会要旨「作画崩壊」とは何か?	松野 敬文	美 学	241	BLの多様な歓喜 貴腐人、もしくは 汚超腐人の密かな 愉しみ	千田 有紀		
異聞逸聞 マンガ文化は永遠か	庄司 博史	みんぱく	422	BLの多様な歓喜 純愛の証人としての BL—BLにハマ ったある男の物語	サンキュー タツオ		
海外まんがフェスタ 初開催 作家、愛好 家ら国際交流		産 経	12.6	BLの多様な歓喜 マンガ表現学の視 点から見たやおい	守 如子		
少女漫画「本場」パリ で展示へ		毎 日	1.29	BLのとなりで 成熟と自由—遠い 隣人から省みるや おい・BLの現在	石田 美紀		
「クールジャパン」を 追いかけて 日本の 漫画、アニメ、ゲー ムなどの研究雑誌 『メカデミア』北米で 刊行6年	内藤麻里子	毎日夕刊	8.16	「マンガ大賞」候補の 6作品決まる		朝 日	2.20
夫婦・家族間の悩み 目立つ 第14回広島 国際アニメフェスを 終えて	小野 耕世	〃	9.18	第16回手塚治虫文化 賞 特別賞「あの 少年ジャンプ」被 災の子どもを笑顔に	宮本 茂頼	〃	4.23
漫画家、ファンが交 流 18日に国際フェ スタ	内藤麻里子	〃	11.12	コミック 僕らの漫 画「僕らの漫画」制 作委員会(作) 27人 によるチャリティー 短編集	南 信長	〃	6.3
本よみうり堂 コミ ック館		読売夕刊		タブーに挑む格闘マ ンガ	小沢 一敬	〃	7.16
日本のマンガ 仏 で人気 催事や専 門店花盛り	待田 晋哉		4.23	復刻マンガ、書店で も ネット会社が渋 谷に開店	上原 佳久	〃	10.2
アジアに広がるマ ンガ文化 日本の ノウハウ「輸出」	小間井藍子		9.24	秋の読書特集 大河 長編 尽きぬ過去と の対話	鈴木 繁	〃	10.27
日 本				勝ち負けだけが野球 じゃない「年俸」軸 に人間模様・観客席 が主役 ひとひねり したマンガ人気 ファンのマニア化を反 映	宮本 茂頼	朝日夕刊	1.21
アニメ聖地巡礼者の 研究(1)—2つの欲 望のベクトルに着目 して—	谷村 要	大手前大 学論集	12	みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエ スト集計 愛情と熱 意ひしひしと	吉村 和真	〃	2.9
所のうち・そと 第 一次世界大戦と二つ の日本漫画	高階絵里加	人 文	59	アニメロボット、日 産デザイン 女性ら しい曲線美に特色	草下 健夫	産 経	1.24
日本のマンガにおけ る「食」とはなにか	堅田 陽子	多摩美術 大学研究 紀要	26	宇宙戦艦ヤマト 38 年ぶりリメイク 初 代に魅了された世代 で製作	鶴野 光博	〃	3.31
書評 『私は利休』 原作／早川光 漫画 ／連打一人 監修・ 協力／木村宗慎 集 英社二〇一三		日本美術 新聞	4	戦後漫画史に足跡 「ガロ」「COM」を語 る 27日		東 京	1.21
社会人に便利な新ク ラス開設! 代々木 アニメーション学院	杉瀬 由希	美術手帖	971	サザエさん家 間取 り拝見 マンガや文 芸作品の舞台、図面 に100軒以上再現	影山 明仁	日 経	5.14
戌も歩けば beau(ボ ー)に当たる 第三 十三回「はたちの りんかく」	竹田 博志	美術の窓	346				
特集 BL[ボーイズ ラブ]オン・ザ・ラン !		ユリイカ	620				

文化往来 人形アニメ中心のミニシアター誕生へ		日 経	6.4		上海調査報告 テクストの読まれ方、創作と社会—村上春樹、ライトノベル、アニメ・マンガについて	姚 瑤 齊 遙 訳		
東京を彩る 漫画家の卵 全国から集え「トキワ荘」のあった街 地元ぐるみで街おこし		"	11.23		北京調査報告 都市の若者文化とキャラクター—北京におけるアニメ・マンガ、「軽小説」、同人活動の観察	趙 楠 千 拓 政		
絵の具一筋、アニメに命 アトム、ガンダム、トトロ…色を変えず半世紀	妻倉 一郎	"	12.4		台湾調査報告 台湾におけるライトノベル、マンガ、および同人活動の広がりについて	陳 柏青 張 文 訳		
漫画家WEBが登竜門に 多彩な才能に出版社注目	諸岡 良宣	日経タ刊	5.14		香港調査報告 香港における村上春樹とサブカルチャー—アニメ、マンガ、ライトノベル	黄 微子 依 菜津子 田 訳		
入門講座 少女漫画のヒロインたち1～5	藤本由香里	"	11.1、8、15、22、29		シンガポール調査報告 ライトノベル、アニメ、同人活動について	陳 宇昕、 楊 静慧、 潘 惠盈 原 信 訳		
記者の目 「アートアニメ」に市民権をベルリン国際映画祭で銀熊賞 短編は多種多彩 採算性がネック	勝田 友巳	毎 日	3.2		業界リーダー 韓国アニメーション発展の主役たち	金 益煥 坂 慎治 野 訳	コリアナ	19-1
本よみうり堂 コミック館		読売タ刊			版 画			
「花のズボラ飯」原作の久住昌之さん 食いしん坊主婦の食卓	佐藤 憲一		1.30		一 般			
京都の恋の物語がお勧め 乙女心くすぐる原風景	"		2.27		木製リトルプレス機—アトリエ MMG からの贈り物	神谷 佳男	金沢美術 工芸大学 紀要	56
大震災被災地のルポマンガ 鉄道や駅弁業者の奮闘記	"		3.26		Art Report in Asia フランスでも、日本でも版画工房が消えていく時代に中国・上海でリトグラフの技術を温存する 上海紅坊祇園版画工房		ギャラリ 一*	321
名作マンガ次々復活 「タッチ」の26年後など	小間井藍子		5.28		版画技法入門講座 リトグラフを作ろう 第2回 カラー・リトグラフ	佐竹 邦子 講師	版画芸術	155
「喪女マンガ」に熱い視線 「モテない主人公」に共感	佐藤 憲一		6.25		日 本			
歌舞伎マンガ花盛り 豪華けんらん別世界	小間井藍子		7.30		もうひとつの古典知 前近代日本の知の可能性 幕末明治のかわら版と公共性	山田 俊治	アジア遊 学	155
人気の輪広がる「自転車マンガ」 シンプルで奥が深い	佐藤 憲一		10.29		「初摺り・後摺り」から 銅・石版画遺聞 46	森 登 一 寸		51
海 外					浮世絵商今昔 京都の浮世絵商について	山尾 剛 談	浮世絵芸 術	164
東アジアのサブカルチャーと若者のこころ		アジア遊 学	149		新出大阪版おもちゃ絵の歌謡資料紹介	小野 恭靖	大阪教育 大学紀要	60-2
東アジア諸都市のサブカルチャー志向と若者の心	千野 拓政							

近代教育錦絵における 絵師選定—《文部 省発行錦繪》及び《教 草》をめぐって	井上 素子 芸 叢	27
日清戦争を描いた雄 誌『日清戦争記』と 『日清戦争図絵』のビ ジュアル表現	岡村志嘉子 国立国会 図書館月 報	611
ちりめん本『竹筧太 郎』に表れる「踊る 猫」	小林光一郎 年報非文 字資料研 究	8
メディアとしての近 代版画史 最終回メ ディアとしての口絵 版画—出版と提携し た明治の美しき版画 群・口絵の様々	岩切信一郎 版画芸術	155
Editor's Eye	松山 龍雄 //	
生きている「創作 版画」		156
「日本の現代版画」 とは		158
特集 「創作版画」の 潮流 自画・自刻・ 自摺の世界	//	156
「創作版画」自画・ 自刻・自摺からの 出発		
「創作版画」戦後の 躍進と展開		
創作版画の表現力 の強さ	志賀 秀孝	
特集 日本の現代版 画 1968—1992「現 代版画」の光と影	松山 龍雄 //	158
店前〔たなさき〕の戦 争—日清・日露戦争 錦絵と絵草紙屋(二)	向後恵里子 美術運動 史研究会 ニュース	125
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 2 ATELIER 神技テク ニックを徹底解剖5 アダチ版画研究所 伝統木版技法で現代 の浮世絵を創出	内田 伸一 美術手帖	974
東京文化考II 職人 粹で鱈背な江戸の技 アダチ版画研究所	美術屋・ 百兵衛	22
紙・豆知識 ことば から紙を知ろう! (十三)『出雲の神 より恵比寿の紙』	平野 祐子 百万塔	141

海 外

台湾伝統版画研究の 歩みと現状	楊 永智 天理参考 館報	25
天公燈座と七娘媽亭	中尾 徳仁 //	//
Editor's Eye モード がアートになるとき	松山 龍雄 版画芸術	155

バロック絵画研究に おける、フランスの 新世代の研究者たち	木村 三郎 美術史論 集	12
租界とメディア研究 会「中国の煙草とカ レンダー広告が伝え るもの」	孫 安石 非文字資 料研究	27
4〔読ん〕で知るアー ト 挿絵 一点一点 に「人間」の刻印	鹿島 茂 朝日夕刊	10.3

写真・映像

一 般

「人間家族」展(1955 年)の冷戦後の復元 による再解釈—1956 年の日本巡回展との 比較において—	土山 陽子 鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
国立国際美術館の写 真コレクションにつ いて	竹内万里子 国立国際 美術館ニ ュース	189
シンポジウム「写真 の誘惑—視線の行方」 を振り返って	// //	192
新美術時評 私性と 写真のゆくえ—変容 する「作品」の輪郭	光田 ゆり 新美術新 聞	1271
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 1 Critique 1 デジタ ル写真、この未知の 領域	清水 穰 美術手帖	971
INFORMATION JOURNAL 慰安婦問 題と表現の自由 厳 重警戒下での“元「慰 安婦」”写真展	タカザワケ ンジ //	973
映像作品の展示に関 する考察	松永真太郎 横浜美術 館研究紀 要	13
文化の扉 はじめて の銀塩写真 暗室か ら生まれる豊かな表 現	西岡 一正 朝 日	10.29
海外通信 @ニュー ヨーク 「作りもの —フォトショップ以 前の写真操作」展 「詐術」も芸術表現の 一つ	富井 玲子 朝日夕刊	11.28

日 本

映像メディア表現に 関する一考察—ルネ サンス—京都・映像 ・メディアアート展 の開催を通して	二瓶 晃 大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	8
史料解題 近代神戸 の風景—レファート 写真コレクション—	吉原 大志 海港都市 研究	7



明治期における写真概念と「写真的なもの」—写真の視覚性とメディア性コンセプトを中心に—	脇田 美央	鹿島美術財団年報・別冊	29	この1年 写真表現意欲をどう保つか	飯沢耕太郎	〃	12.5
近代画説と写真	木下 直之	近代画説	21	ぎやらりいモール 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館「つかこうへいの70年代」から「劇団暫公演『郵便屋さんちよっと』舞台写真」	星野 高	読売夕刊	5.8
嘗百社と写真—統合された写真史に向けて	福岡 真紀	〃	〃	「加藤隼戦闘隊」絵コンテ発見 戦時下 高い特撮技術	〃	〃	5.9
特集2 写真の現在 4 そのときの光、そのさきの風		現代の眼	594				
反復の空間—一九七〇年代以降の自主ギャラリー	富山由紀子			海外			
「写真作家」たちの自主ギャラリー	タカザワケンジ			『人間家族』展再考	犬伏 雅一	芸術文化研究	16
「明治三十三年 小金井遠乗集合写真」—作品紹介及び資料的価値の考察	松谷 芙美	三の丸尚蔵館年報・紀要	17	彫刻・空間表現			
日本の芸術写真—写真史における位置をめぐって—特別講演録—	金子光田 隆一 隆一 由里 典子 宜雄	東京都写真美術館 紀要	11	一般			
リアリズムとプロパガンダ	金子 隆一	〃	〃	裸体像はアートか	大西 若人	国華清話会会報	19
第17回学生 CG コンテスト受賞作品決定！ 伝えたい気持ち、直球勝負！	永峰 美佳	美術手帖	962	塑像作品におけるFRPを補強材としたセメント成形技法とその可能性についての考察	森田 一成	崇城大学芸術学部研究紀要	5
明治二八年の写真術—『京名所写真図絵』に見る観光のまなざし	岸 文和	文化学年報	61	美術解剖学を体験 骨格学ひ彫刻に生かす		読売夕刊	6.23
レビュー 第16回アートフィルム・フェスティバル	酒井 健宏	R E A R	28	日本			
「見えない」部分に魅せられる 東京都写真美術館で「日本の新進作家」展	新谷 祐一	朝日夕刊	1.25	日本彫刻考(2)	芝山 昌也	秋田公立美術工芸短期大学 紀要	16
近代化の礎となった御聖徳 明治天皇崩御100年 新潮社が「明治天皇大葬儀写真」復刻	竹田 恒泰	産 経	7.30	忘れられた記憶—前田慶寧像について	森 仁史	一寸	50
写真が切り開く新たな歴史研究 時代の生活や日常風景「誰が」「いつ」特定で証言者に	松岡 資明	日 経	1.7	忘れられたもうひとつの銅像—横山隆興像	〃	〃	51
路上から 日本の近現代写真十選 1~10	大竹 昭子	〃	4.17、19、20、23、24、26、27、30、5.1、3	近代日本彫刻と石膏師—宮島—を中心に	吉田 朝子	近代画説	21
連続個展とシンボで「写真と大震災」考える	岸 桂子	毎日夕刊	2.20	研究発表(要約) 銅像か建築か—京都の創建神社と明治前期の「モニュメント」概念	清水 重敦	〃	〃
				彫塑表現における素材と形態について 明治以降の具象表現を中心として	酒井 恒太	芸術学研究(筑波)	17
				街角アート 寅さんの故郷の「龍」	星野 清一	新美術新聞	1268
				答礼人形「ミス徳島」に関する米国ノースウェスト芸術文化博物館所蔵資料	大原 賢二 長谷川 賢二	徳島県立博物館研究報告	22
				明治の彫塑—塑造対木彫という観点から	山本 成子	PATIO	29

さまよう銅像—四天王寺に設置された二銅像についての事例研究—	森山 貴之	文化学年報	61
「股間若衆」が話題 男性裸体彫刻の「受難史」	黒沢 綾子	産 経	6.20
「大空の女神」に思い再燃 戦時中戦闘機事故 根絶願い投身作家と元韓国軍大佐胸像安置計画 「遺志を伝え鎮魂してもらいたい」	今仲 信博	〃	8.15
交遊抄 期待するも奇態	宮脇 修	日 経	8.8

## 海 外

ヴィンチェンツォ・ダンティあるいは彫刻家の生態誌—《ネプトゥヌスの噴水》から《虚偽に勝利する名誉》へ—	森 雅彦	鹿島美術財団年報・別冊	29
「時はめぐりぬ」(Les temps revient!)—ボッジョ・ア・カイアーノ山荘のフリーズ装飾と15世紀イタリアの君主観—	石黒 盛久	金沢大学歴史言語文化学系論集	4
貧民の路地がアートの辻に変わる—プラハのアールヌーヴォー・タウン—	田中 充子	京都精華大学紀要	41
World News Tivoli 「アンティノウス 美の誘惑」展 ハドリヌスも首ったけ! “きみはやっぱ美しい”	高橋 恵理	芸術新潮	750
アメリカアート事情 ニューヨークの野外彫刻群 都市の中に作品を解放	後藤トキ子	美連協ニュース	113

## 工 芸

## 一 般

特集1 越境する日本人 高麗青磁の「復興」—三和高麗焼から日本陶磁の海外進出を考える—	岡本 隆志	現代の眼	593
特集2 「現代の座標—工芸をめぐる11の思考—」について その定式の発見と解体	関島 寿子	〃	596
サントリート美術館所蔵のカット・切り作品の調査報告	土田ルリ子	サントリート美術館研究紀要	1

1878年パリ万博の舞台裏—セーヴル製作所と日本—	今井 祐子	日仏美術学会会報	31
みんなく 私の逸品 蓋付菱形香炉の置物	ヨーゼフ・クライナー	みんなく	422
4「読ん」で知るアート 民芸の美	尾久 彰三	朝日夕刊	
日常にみる究極の造形			11.14
市井の職人が生む美			11.21
美は人間の肉体に通じる			11.28
平凡なものほど最高である			12.5
織物 手仕事の技は多彩 世界には四角形以外に輪状・枝状…、異形が存在	吉本 忍	日 経	9.5

## 日 本

匠のかたち 「組子」	石黒 知子	A X I S	159
大阪と漆工	土井久美子	大阪市立美術館紀要	12
沖縄の伝統色に関する調査研究—沖縄の色とは、その産業化を目指して—	北村 義典 名護 朝和 大城 亮一 亘保 秀一	沖縄県立芸術大学紀要	20
近代日本の陶芸家と古陶磁—昭和戦前期における受容と研究の状況から—	花井 久徳	鹿島美術財団年報・別冊	29
日本の金箔製造における澄打紙に関する研究	山崎 達文	金沢学院大学紀要*	10
特集:「近代日本工芸 1900—1930 —伝統と変革のはざまに」展記念国際シンポジウム「東西文化の磁場」		京都国立近代美術館研究論集	4

パリ日本文化会館におけるシンポジウム「東西文化の磁場」について

山野 英嗣

パリで開催された2つの万国博覧会と近代日本工芸 1900—1930年

松原 龍一

明治・大正期の陶芸作家による、伝統と革新のはざまでの中国古陶磁器の倣製品の制作について

出川 哲朗

装飾における日本的なもの

加藤 哲弘

表紙の言葉 黒漆苦 瓜堆錦文庫	(又吉)	きよらさ	69
研究発表(要約)		近代画説	21
起立工商会社の輸 出工芸品製造事業 に関する考察	安永 幸史		
工芸指導所と竹工 芸一三〇年代モダ ニズムから五〇年 代ジャパニーズ・ モダンをめぐるシ ンボリズムー	村上 敬		
特別レポート「工 芸」はどこへ向かう のか 前編 表現と しての工芸	橋本 麻里	芸術新潮	752
早わかりニッポン 近代工芸史			
日本人の世界観は 工芸に宿る			
「使ってなんぼ」の 工芸未来派茶会			
特別レポート「工 芸」はどこへ向かう のか 後編 産業と しての工芸 危機に 直面する伝統的工芸 品産業 輪島のいま、 これから	〃	〃	753
日本の紙を守る「紙 守」の北見音丸氏に 聞く	小林 忠 聞き手	国華清話 会会報	20
館蔵の紅型型紙につ いて	丹羽理恵子	サントリ ー美術館 研究紀要	1
明治期の出雲焼―出 雲・布志名焼の輸出 陶器の変化について ―	河野 克彦	島根県立 石見美術 館研究紀 要	6
旧東宮御所(迎賓館 赤坂離宮)の室内意 匠及び家具調度品の 研究	小泉 和子	住総研研 究論文集	40
新見漆レポート	白澤 陽治 中嶋 莉恵 永井 律子	東京芸大 保存修復 彫刻年報*	2011年度
資料紹介 明治の刀 剣会	新井 重熙	刀剣美術	667
二〇一一年の極私的 ベスト5	井上 隆生	陶 説	707
抹茶碗の魅力	鈴木 皓詞	〃	708
分館 爲三郎記念館 特別展 作家たちの 古今二十年の歩み ―	唐澤 昌宏	〃	709
関東大震災とやきも の	小松 久人	〃	713

東日本大震災 被災 窯業地からの報告 後篇 被災報告 大 堀相馬焼	編集部 陶 説	〃	
第43回日展を前にし て 特別寄稿 五十 九歳なる我が妄想を 楽しめば、	尾崎 眞人	日展ニュー ス	146
逸翁美術館 名品の 旅 今回の名品 色 絵人物花果貼付飾壺 ドイツ 十九世紀 逸翁好みの西洋磁器 ヨーロッパからの舶 来品	竹田 梨紗	阪急文化	3
近現代における染織 文化財の価値形成に ついて	河上 繁樹	美学論究	27
第六十五回全国大会 研究発表要旨 近代 産業振興政策下にお ける輸出刺繍の美術 史的考察―贈答品・ 美術品・輸出品とし て―	松原 史	美術史	173
起立工商会社の輸出 工芸品製造事業に関 する考察	安永 幸史	美術史論 集	12
特集 茶の湯―スキ の芸術 第2部 茶 の湯の表現 和物茶 碗と近代の茶の湯	岡 佳子	美術フォー ラム21	25
香川文化考 受け継 がれる伝統の技 香 川の漆芸		美術屋・ 百兵衛	20
東京文化考II 職人 粹で鯉背な江戸の技		〃	22
東京カットグラス 工業協同組合 篠原風鈴本舗			
佐賀文化考 やきも の王国・佐賀県(唐 津焼・有田焼)		〃	23
松村辰昌書翰にみる 姫路永世舎	山本 和人	姫路美術 工芸館紀 要	8
播磨木工芸の系譜 補遺	岡崎 美穂	〃	〃
一般研究 「漆の復 興と保存活動―第1 期計画―」報告	大塚 智嗣、 新宅 智也、 桐原 絵梨子 報告	広島市立 大学芸術 学部紀要	17
細線細工小考	林 志瑛	文化財学 報	30
研究ノート 伝統工 芸有田焼の商品開発 動向―歴史的前提か ら第2次大戦後・現 代まで―	外山 徹	明治大学 博物館研 究報告	17

特別講義抄録 和食器専門店から見た伝統工芸の今	「伝統的工芸品の経営とマーケティング」プロジェクト推進部会	〃	〃	手まり模様美に胸弾む「草木染の糸で作る「讃岐かがり」の技法保存	荒木 永子	〃	6.14
特集1 知られざるやきもの黄金期 明治―大正の日本陶磁のスターたち		目 の 眼	430	江戸の伝統工芸に脚光 夏の節電 涼求める すだれ マンションで需要 扇子出荷、例年の3割増		〃	6.19
世界を相手に戦った近代陶芸の作り手たち	服部 文隆 大槻 規子 花井 久穂 山田 博規			阿波藍の伝統 色あせず 栽培から一貫生産の19代目、本物守り続け60余年	佐藤 昭人	〃	8.20
輸出陶磁を追いかけ続けることは謎を解き続けること	田邊 哲人			展覧会や産地巡り専門誌登場 こけしポップ薫る	窪田 直子	日経夕刊	2.28
特集 ニッポンの赤絵 九谷焼最前線 新しいKUTANIのかたち	編 集 部	〃	435	京友禅、紅型…伝統の職人技を手軽に体験 自分の色に染める楽しさ	山田 和馬	〃	12.1
作品紹介 小富士焼―池田コレクション―	行俊 勉	野洲市歴史民俗博物館研究紀要	16	ひと「戦争柄の着物」を収集し、研究する 乾淑子さん	上杉 恵子	毎 日	11.3
特集2 現代陶芸と造形 バイオモルフ陶芸の有機的抽象表現	渡部 誠一	R E A R	27	染める・織る 高い伝統技術 昭和30～40年代の映像集		読 売	10.12
特集 共同研究 歴史表象の形成と消費文化 民芸運動と産地―佐久間藤太郎と益子―	濱田 琢司	歴 博	173	ぎやらしいモール 八王子市夢美術館「オールドノリタケのなかの女性たち」から「グリーンアイシリーズより通称『デイジー』」	川俣 高人	読売夕刊	10.9
歴史の証人 写真による収蔵品紹介 ヤクスギ工芸品	柴崎 茂光	〃	174	海 外			
「根付」価値を再発見 高円宮妃久子さま	北野 隆一	朝 日	9.12	あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第90回 東アジアの陶藝はどこにゆくのかわ	稲賀 繁美	あいだ	197
被災地の織物守る 東北の伝統工芸打撃南青山 販売会で職人鼓舞		東京夕刊	9.24	World News Birmingham 「ルック・オヴ・ラヴ スカイヤー・コレクションの眼のミニチュール」展 恋人を見張る？ 見守る？ 恐るべき「眼ちから」コレクション	前橋 重二	芸術新潮	749
笠間焼作家再興へ結束 銀座で31人作品展 「震災後も元気」アピール	成田 陽子	〃	11.7	綺想のバロック的東洋趣味―リヒテンシュタイン侯爵家コレクション所蔵「ムガル大帝」連作タペストリー	森川もなみ	国立新美術館ニュース	24
200年企業 187 ―成長と持続の条件 仏師の誇り、鎌倉彫に刻む 博古堂、花瓶・照明にも挑戦	竹田 忍	日 経	2.6	聚美滴滴 デイジヨンの水差	杉本秀太郎	聚 美	5
暮らし支えた窯守り 抜く 仙台で2度の大地震乗り越え、堤焼きの歴史伝承	渋谷セツコ	〃	2.17	カネボウコレクションのコプト染織品蒐集とその来歴	石井 美恵	女子美術大学研究紀要	42
飾り陶磁器 瀬戸の熱き日 窯業の都のノベルティ、最盛期300メーカーひしめく	中村 儀朋	〃	4.5	17―18世紀にヨーロッパで造られた刀の微細構造	北田 正弘	東京芸術大学美術学部紀要	50

ルックウッド・ポタ  
リーのジャポニズム 五味 良子 東洋陶磁 41

批評 東南アジアの  
陶芸家たちと中国の  
陶芸村構想 村山 閑 R E A R 28

アール・デコ 光の  
エレガンス 2 国立  
セーブル製陶所 天  
井灯 「産業」を「ア  
ート」で装飾 フランソワ  
ーズ・モレ シャン 東京タ刊 7.18

ぎやらしいモール 読売タ刊

大倉集古館「蒐め  
て愉しむ鼻煙壺」  
から「雪片ガラ  
ス三彩壽字唐草文  
鼻煙壺」 田中知佐子 3.13

パナソニック 汐  
留ミュージアム  
「アール・デコ  
光のエレガンス」  
から「天井灯」  
国立セーブル製陶  
所 岩井美恵子 8.28

## デザイン

### 一般

平山英三訳「カンニ  
ツツ氏紋様論摘訳」  
について 天貝 義教 秋田公立  
美術工芸  
短期大学  
紀要 16

from the World オート  
デスクが考える5  
つのトレンド 瀧口 範子 A X I S 158

産学共同の正しいや  
り方 プロジェクト  
26「東京工芸大学と  
トヨーキッチンス  
タイル」 今村 玲子 159

デザイン専門誌「工  
芸ニュース」をめぐ  
って1~4 柏木 博 学 鑑 109-1~  
109-4

正方形2×2—芸術  
工学的「正方形」研究  
II— 井上 貢一 九州産業  
大学芸術  
学会研究  
報告 43

INCLUSIVE DESIGN  
NOW 2011 開催報  
告 塩瀬 隆之 京都大学  
総合博物  
館ニュー  
スレター 26

ユニバーサルデザイ  
ンの地域への浸透方  
策に関する研究 その2 古瀬 敏 静岡文化  
根本 敏行 芸術大学  
三好 泉 研究紀要 12  
坂本 鐵司

子どものためのデザ  
イン—キッズサイズ  
デザイン概論 II— 春日 明夫 東京造形  
大学研究  
報 別冊11

プロダクトデザインの  
活動指針(ガイド  
ライン)の提案 (文  
bun・美 bi・構 kou  
・進 shin・感 kan) 戸谷 一雄 名古屋造  
形大学紀  
要 18

美・博ピックアップ  
個性際だつ「用の美」  
印刷博物館「世界の  
ブックデザイン」 杉田 裕美 朝日タ刊 1.4

ものづくりの力海外  
へ 日本の産地支援  
活動に外国人デザイ  
ナー協力 モダンな  
南部鉄器など、国際  
見本市で注目 永田 晶子 毎日タ刊 5.28

デザイン季評 情報  
「拡散」興じる若者 生井 英考 読 売 11.29

### 日本

インスピレーション  
グラフィック 遺伝  
子情報による企業ア  
イデンティティの試  
み—「DNA ID」 深沢 慶太 A X I S 159

東京ミッドタウンア  
ワード 2012 デザイ  
ンコンペ 160

丹青社「シェルフ  
プロジェクト」 今村 玲子 11

第7回金の卵オール  
スターデザインショ  
ーケース 11

ショーウィンドウの  
中の造り物—金沢に  
おける店頭装飾の近  
代史— 大門 哲 石川県立  
歴史博物  
館紀要 24

書架のあいだから  
1960年代・美術とデ  
ザインの間 伊村 靖子 国立新美  
術館ニュ  
ース 24

表紙解説《型紙  
波濤》 馬淵 明子 ジャポニ  
スム研究 32

駐日大使館建築の基  
礎的・実証的研究—  
建築史料、外交文書、  
ならびに旧華族への  
聞き取り調査に基づ  
く検討— 奈良岡聰智  
主査 小川原正道、  
川田 敬一、住総研  
土田 宏成、究論文  
梶原 克彦、集 39  
水野 京子

研究の窓 日本で初  
めて 小鳥の声をラ  
ジオ中継 ポスター  
「新緑と小鳥と戸隠」 原 明芳 長野県立  
歴史館た  
より 71

明治末期から大正初  
期の日本における工  
業意匠概念について  
—明治四十二年  
(1909)意匠法を中心  
に— 天貝 義教 美 学 240

特集 最新! ミュージアムグッズ案内 デザインプロセスにも工夫 地域アートプロジェクトのオリジナルグッズ	桑原 康介	美術の窓	351						
本の舞台裏 装丁家の意気込み	上原 佳久	朝 日	10.21						
葉袋に見る時代の変遷 「売葉さん」の置き葉、庶民的な絵柄が魅力	高橋 善丸	日 経	1.16						
若手デザイナーすくすく 台東区の創業支援施設 ものづくり・経営学び「卒業」区内で開業、活性化に役		"	11.20						
らいふプラス 若手デザイナー作品集めたセレクト店 こだわり派に魅惑の一点物	小野由香子	"	12.8						
「地域とデザイン」問う動き 文化や歴史製品群に息づく	井上 晋治	読 売	9.6						
江戸博蔵めぐり 映画「ふるさと」ポスター トーキョー作品の夜明け	沓沢 博行	"	9.28						
海 外									
技術とクリエイションの交流を促す「デンマーク木製家具職人展」という活動	上條 昌宏 編 集 部	A X I S	155						
高齢者と若者が集う場、シニアデザインファクトリー	鴨澤 章子	"	157						
from the World		"							
グラフィックの今を伝える「ナウ・イン・プロダクション」展	吉田 実香		159						
“華の都”をデザインで彩る、2つのイベント	上條 昌宏		160						
インスピレーション インテリア 21世紀のパウハウスが向かうところ	土田 貴宏	"	"						
メディア・ラボ「キッチン・ブダペスト」の生み出す世界	中島 恭子	"	"						
World News New York 「児童の世紀」展 子供のおもちゃで見る20世紀デザイン史	由本みどり 取材	芸術新潮	754						
時代を超える生活の中の美 森と湖の国 フィンランド・デザイン	土田ルリ子 談 内海 陽子 インタビュー・構成	サントリ ー美術館 ニュース	242						
資料紹介 旧東ドイツ芸術研究者蒐集の中国ポスター—1953年代京劇ポスターから1960年代文革ポスターまで—	磯部 彰	東北アジア研究センター叢書	49						
香港トップクリエイターのダニー・ヨン氏来日 香港デザイナーズウィーク		美術の窓	346						
『クワドロード・ブラット』—1950年代～1970年代オランダ、エディトリアル・デザインの実験と実践—	西村 美香	明星大学研究紀要	20						
ヒトとモノ(4)	徳川 家広	目の眼	425						
建 築									
一 般									
これからの都市住宅を考える—東京とチューリッヒの建築家たちのまなざし	鴨澤 章子	A X I S	158						
連載 建築の争点									
no.1 モダニズム建築って何?	大田 省一		1628						
no.4 「コンパクトシティ」と「間にある都市」	村山 顕人		1632						
no.5 反・脱コンクリート—コンクリートは再び滅亡するのか?	野口 貴文		1633						
no.6 オープン(ソース)デザインの胎動と、建築的知のゆくえ	田中 浩也		1634						
no.8 環境共生—共に生きるとは	林 昭男		1637						
no.9 アルゴリズムと構造デザイン	斎藤 公男		1638						
no.10 幼保一体の環境ギャップ—大人と子どもが育ちあう保育建築を	佐藤 将之		1639						
聚美秋題 ヴェルサイユ宮殿と東照宮、または日本のバロック	千足 伸行	聚 美	5						
WAVE.1		日 経	5.1						
高さが知らせてくれること	安部健太郎								

空が近づく高揚感 アーケード(東京) とガレリア(イタ リア)	大谷 真幸					コラム 伝統と近代 化の狭間で一庄内に 残る木造建築が伝え る東北の流儀	志村 直愛	建築雑誌	1626
縞のダブルスタン ダード	柳下 朋子	日 経	6.14			コラム 日本近代建 築と宮城天然スレー ト	後藤 治	" "	
人と環境 関係回復 の模索	高野 清見	読 売	1.5			連載 建築の争点 no.2 サステイナブル ・デザインとは何か。 —3.11以降の建 築家	難波 和彦	" "	1629
建築季評	中川 理	"				連載 地域いろいろ ・多様な日本		"	
縮退化見据えた役 割模索				9.27					
「記念性」問われた 一年				12.27					
日 本									
国指定名勝『旧池田 氏庭園・洋館』の研 究 I	澤田 享	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16			no.2 北九州の近 代化遺産—さまざ まな保存と活用例、 まちの魅力	市原 猛師	"	
インスピレーション 建築	ぼむ企画	A X I S				no.3 小さな町の 廃校舎が変身—徳 島・上勝町	杉本真理子		1631
復興のベースとな る「場」をつくる				155		特集 広島[ヒロシ マ]・長崎[ナガサ キ]		"	1635
東京スカイツリー を見る、2つの建 築				158		第1部 座談会 建築家は広島にど う向き合ったか— (集住体)としての 基町高層アパート と原爆スラム	千葉 桂司、 藤本 昌也、 矢野 正和、 砂本 文彦、 初田 香成、 青井 哲人 聞き手		
大谷光瑞「国家の前 途」を考える 第三 部 大谷光瑞とその 時代—人間光瑞に迫 る		アジア遊 学	156			第2部 「ヒロシ マ」から考える持 続的都市論	杉本 俊多		1635
大谷光瑞とその生 涯に関わる建築に ついて	菅澤 茂					茨城県「五浦六角堂」 復興プロジェクト進 む 流失から13ヶ月 —来る4月17日に竣 工式を予定		新美術新 聞	1272
コラム 上海別院 —幻の大仏塔	足立 沙織					特集 横浜・異国趣 味のイマジュリイ 赤煉瓦の大正と現代	天内 大樹	大正イマ ジュリイ	7
近代建築 ディテ ールの美 近代洋風建 築はどう再生されて きたか	石田潤一郎	アプロー チ*	200			資料紹介 スタイル ブックとしての『建 築写真類聚』	中村 裕太	" "	
れきはくトリヴィア 軍部金沢の面影—歴 史博物館石引分室—		石川れき はく	103			日本初の回転展望台 京山八方閣の意匠と 岡山電気軌道	白井敬太郎	多摩美術 研究	1
細川家の建築	藤森 照信	永青文庫				旧日光市に於ける華 族等の別邸について	安生 信夫	日光山輪 王寺	81
4 赤倉の別荘				77		日本庭園の癒し評価 スケールにおける特 徴—西洋庭園との比 較を含めて—	松本 洸	日本大学 芸術学部 紀要	55
5 湯河原の不東 庵				78					
6 四つ御廟				79					
7 御祠堂				80					
旧大阪府庁舎跡出土 煉瓦補遺	市村慎太郎	大阪文化 財研究	41			歴史手帖 明治期の 神社建築と装飾彫刻 —葺不合神社本殿の 装飾彫刻と彫刻大工 —	河東 義之	日本歴史	772
研究発表(要約) 六 角堂の被災と再建計 画	金子 一夫	近代画説	21						

報告「モダン都市 京城の巡礼 鍾路・ 本町」巡回展報告	富井 正憲	年報非文 字資料研 究	8	リレーエッセイ7 新しい劇場をつく る	上栗 陽子			
VIEW(建築)「雅谷 山荘」の建築的魅力 ～小林一三の想いを 伝える佇まい～	松隈 章	阪急文化	3	創造する劇場へ	清水 裕之			
視点 3・11以降の 建築の動向を海外に 伝える	五十嵐太郎	美術の窓	344	地域の劇場文化を 日本の顔に	永井 聡子			
特集 茶の湯―スキ の芸術 第2部 茶 の湯の表現 現代建 築家による茶室	藤森 照信	美術フォ ーラム21	25	メタポリズムの未来 都市展 ―戦後日本 ・今甦る復興の夢と ビジョン―	佐藤 美弥	歴史学研 究	892	
淀屋橋・大江橋の意 匠設計図案懸賞競技 の意義―橋梁による 都市景観構築につい ての一考察―	清瀬みさを	文化学年 報	61	甲乙閑話 際立つ日 本の建築家	大西 若人 朝	日	9.17	
口絵解説		文 化 財*		木造モダニズム幸せ の空間 愛媛・日土 小の校舎、国の重文 に	"	"	10.31	
新上五島町北魚目 の文化的景観	鈴木 地平		581	銀座で時を刻み80年 和光時計塔記念ライ トアップ		産 経	6.7	
名勝平和記念公園 (広島県広島市)	江崎 一博		589	消えた偉人・物語 高尾亮一と昭和の名 匠たち 新宮殿造営 の偉業	占部 賢志	"	8.25	
連載・文化財を活か す		"		歴史ある洋館で結婚 式 広がる「改修で 式場」文化財保護 にも一役		"	9.7	
第9回 町並みと ともに「活きる」― 高山市三町・下二 之町大森町伝統的 建造物群保存地区 ―	岩田 崇		582	浅草のシンボル「凌 雲閣」復活へ 六区 最後の映画館跡地 地元歓迎「歴史再現 される」	村松権主磨 東	京	10.23	
第12回 旧山形県 庁舎及び県会議事 堂―復原された「文 翔館」の活用―	折原 弘一		585	神田の銅板建築 来 月取り壊し 惜別 薄緑色の家 図面保 存など学生協力	井上 幸一	東京夕刊	9.4	
第14回 東京都の 庭園を活かす	高田 賢一	"	587	赤れんがものがたり 東京駅復元 技尽く し先人に迫る 上 困難極めた工事	末松 茂永	"	10.2	
特集 名勝の保護	中島 義晴	"	589	京都会館改築計画を 問う 「美と調和」の 破壊 建築遺産より 機能優先	松隈 洋	"	10.9	
近代の庭園・公園 等に関する調査研 究について				どこでも探検隊 旧 白洲邸「武相荘」(東 京・町田) 和洋の 美求めた夫妻の足跡		日 経	3.20	
県内の民家調査につ いて2 ―五ヶ瀬町 の茅葺き屋根の葺き 替え聞き取り調査―	小山 博	宮崎県総 合博物館 研究紀要	32	時代が育てる迷宮 渋谷駅 近代化の変遷、 模型製作し解き明か す	田村 圭介	"	4.12	
A La Meiji―mura 明治のタイムカプセ ル		明治村だ より	70	WAVE.1 通天閣の 謎 天に通じる街の シンボル	大谷 真幸	"	5.1	
特集【劇場はだれの もの?】		R E A R	28	交遊抄 城下町の友	杉本 和行	"	8.10	
日本における「劇 場」の概念	大月 淳			日本のモダンホテル 十選 1～10	米山 勇	"	8.20、21、 23、24、27、 28、30、31、 9.3、4	
劇場の可能性?	港 大尋							



復興祈った装飾は残った 関東大震災後に急増「テラコッタ」の歴史ひもとく	後藤 泰男	日 経	9.7	ウィーン、シュテファン大聖堂の《鷲門図》と《天蓋図》—ゴシック末期における設計図・見本帳・理想図の展開—	岩谷 秋美	東京芸術大学美術学部論叢	8
ニュースクール 東京駅を復元、なぜ?		〃	9.29				
東京駅 創建時の姿で開業 赤れんが威容再びさらに 都心に活気		日経夕刊	10.1	旧レイランド邸食堂「孔雀の間」I	藤田 啓子	富山市箕牛人記念美術館館報	19
建築	五十嵐太郎	毎日夕刊		近代植民地文化遺産の保存に関する研究 旧朝鮮総督府撤去過程を中心に	白 孝卿	日本建築学会計画系論文集	671
3.11以降の建築をめぐる展覧会「震災後」世界も注目			3.29	アーキテクチュラル・アソシエーション創設時における建築教育の理念と内容 1847年から1859年を中心に	渡邊 研司	〃	677
東京スカイツリー 独自性を追求 ハイテク和風の塔			7.31				
都市に豊かな陰影よみがえった東京駅	鈴木 博之	毎日夕刊	10.17	内部架構構成からみたトルコ共和国東部チェンギリ・キリセの特質	藤田 康仁	〃	682
日土小にモダニズム賞 愛媛・八幡浜 50年代の校舎を再生	手塚さや香	〃	〃	例会・研究発表会要旨		美 学	
この1年 建築 誕生・復興…東京のシンボル	鈴木 博之	〃	12.12	工芸美術館の建築デザイン—イタリ	足立 純子		240
本よみうり堂 文・写真倉方俊輔「ドコノモン」	(清)	読 売	2.26	建築の受容と逸脱			
建築季評 震災 負の遺産をどう保存	中川 理	〃	3.29	オスマン帝国ドーム式大モスクにおける装飾と空間	瀧川 美生		241
くまもとアートポリス事業 25年の節目なお続く試み	白石 知子	〃	12.13	生まれ続けるバロック建築 ウィーンの街、時を超え うねる造形湧き起こる好奇心	大西 若人	朝日夕刊	12.5
東京駅丸の内駅舎が完成 100年前のドーム屋根復元		読売夕刊	10.6	文学の英国庭園巡り作家の想像力かきたて、作品の重要な要素と知る	安藤 聡	日 経	1.13
海外				欧人異聞 エッフェル、都市の冠としての高塔	樺山 紘一	〃	5.27
from the World 新しいタイプの映画館/ミュージアム「EYE」	樋口 歩	A X I S	159	建築 建設ラッシュ進むドバイ 場所性なき人工都市に個性的ビル	五十嵐太郎	毎日夕刊	9.25
大特集 永遠のイスタンブール 東西の美と出会う都 第II章 二つの宮殿ものがたり トプカプ・サライとドルマバフチェ・サライ	ジラルデッリ青木美由紀	芸術新潮	753	その他のジャンル			
韓国の近代文化遺産	金 晶東 趙 祥恩 訳	コリアナ		一般			
ソウル駅の衣替え			19-1	学芸員の視点 記念講演会:アール・ブリュットの現在	服部 正 編	ART RAMBLE	34
韓国銀行 韓国貨幣の総本山			19-2				
アート・レビュー 韓屋端面の進化	宋 寅豪 金 明順 訳	〃	19-3				

《FLUXUS Now》2  
(フルクサス) 実践  
するインターメディア  
小野寺奈津 あ い だ 191

大野一雄の1980年—  
国際的な言説の運動  
とパフォーマンス—  
武藤 大祐 群馬県立  
女子大学 33  
紀要

光と運動の造形 森下 明彦 国立国際  
美術館ニ 188  
ュース

時代と広告のまわり 仲畑 貴志 日 経 7.15

## 日 本

生人形と博物館展示 本田代志子 鹿島美術  
財団年報 29  
・別冊

公葬のメディア表象  
の形成と共同体にお  
けるその受容と継承  
—伊藤博文国葬にお  
けるその新聞・雑誌  
・絵葉書・写真帖を  
中心に—  
研谷 紀夫 共立女子  
大学文芸 58  
学部紀要

近代の盆栽愛好—皇  
室・政界・財界—  
依田 徹 さいたま  
市大宮盆 2  
栽美術館  
年報紀要\*

フェルトメイキング  
—海外研修からの展  
開—  
大塚 有里 東京家政  
大学研究 52  
紀要

第43回日展を前にし  
て 特別寄稿 少し  
特別な年に  
高橋 利郎 日展ニュ  
ース 146

レビュー 第5回  
AAC サウンドパフ  
ォーマンス道場公演  
北條 知子 R E A R 27

「江戸折形」礼の心包  
む 金品や草花、贈  
り物に合う約束事  
半世紀近く研究  
有馬 霞水 日 経 11.21

書の世界 「現代の  
書 新春展 今いき  
づく墨の華」 今日  
性と芸術性の模索  
桐山 正寿 毎日夕刊 12.27

## 海 外

マッテオ・コラツ  
ィオ 「バドヴァの  
聖アントニウス教会  
のコーロの透視画礼  
讃」翻訳と解説  
上田 恒夫 金沢美術  
工芸大学 56  
紀要

World News 芸術新潮 748

Los Angeles 「不思  
議の国にて メキ  
シコとアメリカ合  
衆国の女性アーテ  
ィストによるシュ  
ルレアリストの冒  
険」展 美人で創  
造的でちょっとヘ  
ン 女性シュルレ  
アリスト達の私探  
シアートの旅  
前橋 重二

New York 「よみが  
えるハブニング  
ニューヨーク、  
1958～1963」展  
未発表写真でよみ  
がえる「ハブニン  
グ」に満ちた時代  
由本みどり  
取材

講演会の記録 欧米  
における14世紀葬儀  
人形から現代蠟人形  
への系譜  
川井 ゆう 見世物 5

サラダボウル in  
the U.S.A ゲリ ラ 堀山 明子 毎日夕刊 7.30  
アート

## 作 家

## 日 本

## (ア)

話題の展覧会より  
感覚への挑戦 蠶嘯  
蠶嘯と版画  
西川美穂子 版画芸術 155

戌も歩けば beau[ボ  
ー]に当たる 第三  
十回 虹の遊行者  
蠶嘯  
竹田 博志 美術の窓 343

目は語る アート道  
遥 2月 蠶嘯と田  
中敦子 感覚呼び覚  
ました前衛芸術  
高階 秀爾 毎日夕刊 2.23

「版画対談」深澤幸雄  
米寿記念特別企画  
深澤幸雄 vs 相笠昌  
義 「人間嫌い」の画  
家が「人間」を描く  
深澤 幸雄 版画芸術 157  
相笠 昌義

INFORMATION PRI  
ZE 会田誠が審査員  
賞を受賞! アジア  
太平洋最大規模の現  
代芸術「APB」受賞者  
決定 第2回APB 基  
金芸術賞  
桑島 千春 美術手帖 963

SPECIAL FEATURE  
東京アートガイド  
2012 INTERVIEW  
私の東京アートめぐ  
り03 会田誠×浅草  
橋天才算数塾  
石井 芳征 〃 966

WORLD NEWS キエフ 東欧最大の公立美術館の設立を目指すウクライナ発、ビエンナーレが開幕! [会田誠]	かないみき	美術手帖	971	新たな「青木繁像」を求めて	山野 英嗣	視 る	454
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にまづは驚く [会田誠]	山下 裕二	談	974	ARTIST INTERVIEW 青木野枝	家村 珠代 聞き手	美術手帖	976
視点 愚直な天才: 会田誠	木谷 節子	美術の窓	351	「PAO—包む」 シート素材による折り込み組み立てを反復できる筐体の新構造研究開発—新構造発見による造形デザイン—	青木 雄作	名古屋造形大学紀要	18
大波小波 文筆も達者な美術家 [会田誠]		東京夕刊	2.18	獲物は嵐 カメラハンター 逃げ足速い自然現象、雷は怖い時間がとの闘い	青木 豊	日 経	12.11
交遊抄 昭和40年会	会田 誠	日 経	6.30	報告 ワークショップ「顔が顔に会うための顔をつくる」 [青木陵子]	藤吉 祐子	国立国際美術館ニュース	190
新しい芸術発信 自然のアトリエ [藍原ユキ]	横山 就平	読 売	10.14	ARTIST INTERVIEW 青木陵子	福永 信 聞き手	美術手帖	964
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 076 鑑光 眼のある風景	大谷 省吾	美術手帖	967	展覧会時評 ex-chamber museum— offline 第2回 「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻 [青木陵子]	幕内 政治	ファウンテン	2
クリエイターズワーク&ソウル AUN 2 H4		A X I S	159	ART+ 子どもの言葉と響き合う [青木陵子]	(清)	読売夕刊	1.30
素材と表現 (陶磁)	青木 克世	多摩美術大学研究紀要	26	震災がれきアートに再生 仙台の美術家「記憶を世界へ発信」 [青野文昭]		東京夕刊	12.27
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にまづは驚く [青木克世]	山下 裕二	美術手帖	974	学びのふるさと「やりたいことをやったらいい」美術の先生、部活を辞めたときにもらった自信、人生の支えに 漫画家 青山剛昌さん	木寺もも子 聞き手	日経夕刊	8.24
旅の途中で 青木九仁博/服部美樹		美術屋・百兵衛	20	丹青閑話 第十九話 青山杉雨「萬方鮮」	島尾 新	美術の窓	349
平成二十三(二〇一一年)年度日本及び東洋美術の調査研究報告 資料紹介 『青木繁畫集』—明治の洋画家 青木繁の畫集—	高橋 沙希	関西大学博物館紀要	18	PREVIEW 青木繁の世界展 鯉に託す画家の心	磯部 靖	読 売	345
美人画 再見 [青木繁]		日本美術新聞	3	スーヴォー切り絵 蒼山日菜著		日 経	10.21
青木繁の構想画に見る日欧の美術潮流—壁画的性格をめぐって—	高橋 沙希	東アジア文化交渉研究	5	本よみうり堂 蒼山日菜 「スーヴォー切り絵」	(祥)	読 売	10.21
青木繁のデッサン—海外の美術作品との交流をめぐって—	〃	〃	東アジア文化研究科開設記念号	インタビュー 石膏技術について 赤木喜三郎氏に聞く	武井 敏	礪山美術館報	32
第六十五回全国大会研究発表要旨 青木繁の《旧約聖書物語挿絵》に関する一考察	〃	美術史	173	特集 耽美的な世界へようこそ 秘技法講座 赤木範陸 蜜蝋と亜麻布で生み出される美女	赤木 範陸	美術の窓	342
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 006 青木繁 海の幸	市川 政憲	美術手帖	967				

昭和40年代に切り込んだ目 ひとすら興味に向かい理論化めざす	赤瀬川原平	朝日夕刊	1.25	
自作再見 赤瀬川原平「宇宙の缶詰」何でも梱包した果てに	赤瀬川原平 西岡 一正 聞き手	〃	8.22	
いま風 火曜日 赤瀬川原平 作家	赤瀬川原平	読売夕刊		
国旗のマナー			1.10	
温泉のマナー			2.7	
自己流のマナー			3.6	
コミック ファイナルフェーズ 朱戸アオ(作) 大規模感染リアルに展開	南 信長 朝	日	2.12	
映画タイトル一筆入魂 四十数年で500本手がける、物語を字体で表現	赤松陽構造	日 経	5.4	
この人 知的障害のある画家の長男と二人三脚 木下昭さん名前の通り幸せにしてみせる[AKI]	早川 昌幸 東	京	5.27	
視線 DOMA 秋岡芳夫 モノへの思想と関係のデザイン 目黒区美術館編	大西 若人 朝	日	4.15	
天まで届け 上 下町ツリー見ようぜ 両さんも現場作業 漫画家 秋本治さん	秋本 治 談	読売夕刊	4.19	
神宮名品解説「伊勢の小工」[秋山信子]	本多 久子 瑞	垣	221	
視点 ヨーロッパに骨を埋めた彫刻家秋山礼巳	竹沢 雄三	美術の窓	346	
特集 画廊とアーティストの繋がり アイショウミウラアーツ×秋山祐徳太子		ギャラリー*	331	
美・コレクション 選挙運動も「箱」の中に 秋山祐徳太子《東京都知事選立候補ポスター》	岸 桂子 毎	日	3.14	
展覧会時評 ex-chamber museum-offline 第2回「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻[秋吉風人]	幕内 政治	ファウンテン	2	
コミック ゼクレートル 神マンガ戦記 1 戸塚たくす(原作) 阿久井真(作画) メタ構造 ラブコメが一変	南 信長 朝	日	12.2	

聚美滴滴 III 浅井忠の水彩画『秋林』	杉本秀太郎	聚 美	3	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 005 浅井忠 冬木立	角田 拓朗	美術手帖	967	
浅井忠こそ日本近代洋画の父	太田 治子	美連協ニュース	115	
回想:「銀色の葉影」	浅岡 慶子	橄 欖	2	
導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(1)―「美術リテラシー」に関するアンケート―	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 滋 浅川 正樹 武井 文	横浜美術大学・研究紀要	2	
街角アート 日常的光景の中で[朝倉響子]	星野 清一	新美術新聞	1273	
コミック 春山町サーパンツ1 朝倉世界一(作)「ここで生きていく」心地よさ	ササキバラ・ゴウ	朝 日	8.5	
水墨の最前線11 水墨の増殖感、イメージの軽快感 朝倉隆文	野地耕一郎	水墨画*	281	
特集 拡大・縮小美術館 絵画編 朝倉隆文 水墨で生み出す密度と重厚感		美術の窓	350	
パブリック・アート散歩 〈シリーズ No.1〉熊本市/高橋公園と千葉城公園の彫刻[朝倉文夫]	古家 良一	View	142	
第43回日展を前にして 特別寄稿 日展の彫刻―佐藤慶太郎と朝倉文夫	齊藤 泰嘉	日展ニュース	146	
Tokyo のわがふるさと 大分県1 日本彫塑界の巨人、朝倉文夫 谷中で夢育みかなえる	朽木 直文	東 京	10.7	
After 3.11	浅田 政志	産 経		
18 宮城県気仙沼市 このカメラたちの代わりに			1.18	
22 宮城県南三陸町 何を願い、誓い、叫んだのだろう			3.21	
28 岩手県野田村 写真を探す人たちと			6.13	
34 宮城県山元町 予想もしなかった贈り物			9.5	

平成24年定期刊行物所載文献(近/作ア)

青春プレイバック 造形美術家浅野修 故郷・十勝で夢膨ら む食アート構想	窪田 元彦	新美術新 聞	1276	東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究 IX [安宅安五 郎]	佐藤 一郎 木島 康 桐野 文 土屋 良 中恵 裕 右里子 間美智 金 子 鐘旭	東京芸術 大学美術 学部紀要	50
浅野弥衛と伊勢型紙 の周辺	衣斐 弘行	HILLWIND	31				
わたしの宝もの88 試みの蓄積	浅見 貴子	新美術新 聞	1292	レポート墨 足立正 平展 おとづれ一境 —		水墨画*	277
レポート墨 第5回 日経日本画大賞決ま る 大賞の鴻池朋子 氏はじめ水墨画三作 品が受賞[浅見貴子]				新人賞展 龍輪恵子 さんの作品を視て	足立 龍男	自由美術	2012
美術評 浅見貴子展 反転のプロセスが生 むリズム	古谷 利裕	東京タ刊	8.31	名作マンガ再始動 20年後が舞台 キー トン/タッチ あだ ち充	岩本 哲生	朝日夕刊	5.19
本づくし「感性に 直接訴えるメッセー ジ」『エデナの世界』 メビウス著/原 正人訳	安次富 隆	A X I S	155	第25回奨学者のレポ ート 私とダヴィデ	厚地 朋子	アクリラ ート(別 冊)	2012
足助恒《村娘》につい て	山田 直子	女子美術 大学研究 紀要	42	カバーインタビュー アトリエ・ワン	瀧口 範子 インタビュ ー・文	A X I S	158
わたしの宝もの85 筆	遊馬 賢一	新美術新 聞	1284	香川文化考 書家・ 穴吹放牛		美術屋・ 百兵衛	20
INFORMATION 何 もかもが挑戦的、前 代未聞の東信による 花本 東信『2009— 2011 flowers』	宮村 周子	美術手帖	963	戦中から戦後へ作家 をたどる 7 井上長 三郎、鶴岡政男、安 孫子真人	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	127
植物図鑑 東信、椎 木俊介著		日 経	9.2	特集 中国と東アジ ア—近代のコレクシ ョン形成と研究の背 景 第2部 コレク ション形成の背景 油谷達と博文堂—そ のコロタイプ美術出 版について	西上 実	美術フォ ーラム21	26
山の版画家 畦地梅 太郎一生きている山 の発見から—	岸田 恵理	長野県信 濃美術館 紀要	6	先覚者の命運—碧海 阿部甚十郎の場合[阿 部碧海]	森 仁史	一 寸	52
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 ある群像 3 124 麻 生三郎	原田 光	美術手帖	967	水墨の最前線 4 人 物表現を深める墨 大河原典子・阿部清 子	立島 恵	水墨画*	274
特集 アートの力を 考える! PART 1 麻生三郎 戦後の家 族像		美術の窓	348	作家通信 墨色の旅	阿部 清子	〃	279
Go! Artists Go! 50 麻生志保	編 集 部	美術手帖	971	特集 むくもりの表 現 触れなくなる絵 画 (秘)技法講座 VOL. 26 CASE 3 阿部千鶴 金箔と絵 具で生み出す柔らか な空間	阿部 千鶴	美術の窓	345
本よみうり堂 コミ ック館「そこをなん とか」麻生みこと 弁護士の奮闘 リア ルに	小間井藍子	読売夕刊	11.26	戦中から戦後へ作家 をたどる 11 阿部展 也	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	132
学芸員ノート「復興」 を描いた漫画家 麻生豊	佐藤 美弥	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	20	特集 ワークショッ プ進化論 世に新し い問題を投げかける ように 阿部雅世の ワークショップ設計 術	阿部 雅世	A X I S	158

作品 「ホコリとほこり」	阿部由布子	秋田公立美術工芸短期大学 紀要	16	SPECIAL FEATURE 奈良美智 SPECIAL-TALK 対談：荒木経惟×奈良美智 少女から、闊達なパンクロック少年へ!?	宮村 周子	美術手帖	973
街角アート 裸像であって裸婦でなく [雨宮敬子]	星野 清一	新美術新聞	1298	東京文化考II アラーキーのTOKYO 写真家・荒木経惟インタビュー		美術屋・百兵衛	22
神宮名品解説 彫塑「清心」[雨宮敬子]	中村 潔	瑞 垣	222	こちら100歳 トヨさん、アラーキーと競演 アラーキー柴田トヨさんと写真デート[荒木経惟]	松原 英夫	産 経	1.9
時の余白に 「形あるものは滅びます」 [荒井寛方]	芥川 喜好	読 売	10.27	本よみうり堂 荒木経惟写真集 「愛のバルコニー」	小泉今日子	読 売	8.12
座談会「第四十四回 日展審査を終えて一魅力ある日展に向けて一」	中山 忠彦、寺坂 公雄、奥田小由女、岩倉 祥一郎、塗師 緑郎、市村 光風、新井 森協司会	日展ニュース	147	SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌一謎めく美しき世界		美術手帖	975
学芸ノート 新井完「猫」とカ相壁		姫路市立美術館だより	116	HISTORY 『ジョジョの奇妙な冒険』とはなにか?—25年にわたる物語の軌跡をたどるヒストリー	暮沢 剛巳		
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	新井富美子	自由美術	2012	REPORT 西尾康之さんと行く!! 荒木飛呂彦原画展「ジョジョ展 in S市杜王町」	編 集 部		
特集 耽美的な世界へようこそ 特別対談 京極夏彦×荒井良	京極 夏彦、荒井 良	美術の窓	342	Essay ジョジョと美術戦鬼	西尾 康之		
「芸術」の解体と新しい劇場 「荒川医&サージ・チェレブニン」展	松井みどり	美術手帖	965	SPECIAL TALK 対談：伊藤剛×泉信行 『ジョジョの奇妙な冒険』はどこへ向かっているのか?	伊藤 剛、泉 信行、対談 岡澤浩太郎 構成		
WORLD NEWS ワルシャワ グローバルなマーケットに連動し成長中! ワルシャワのアートシーン [荒川医]	藤高 晃右	”	971	ANALYSIS 荒木飛呂彦「スタンド」論—ネオプラトニズムの小さな神々	斎藤 環		
荒川修作・M.ギンズ著『意味のメカニズム』を読む(1)—視覚言語体系の確立のために	森田 恒之、藤井 真希、須貝 旭	愛知県立芸術大学 紀要	41	SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌一謎めく美しき世界 MESSAGE アーティストが語るジョジョ		”	”
作品研究 影と遠近法—荒川修作と高松次郎	蔵屋 美香	現代の眼	594	01 金氏徹平	金氏 徹平		
茶話マンガ 農家の現実コミカルに[荒川弘]	伊藤 剛	朝日夕刊	4.21	02 エリイ (Chim ↑ Pom)	エ リ イ		
いしかわ式 今日の漫画 銀の匙[荒川弘]	いしかわじゅん	毎 日	3.7	03 奥村雄樹	奥村 雄樹		
荒川弘さん『銀の匙』第4巻初版100万部に		毎日夕刊	7.19	04 横山裕一	横山 裕一		
山下裕二の今月の隠し球93、94 荒木愛混ぜない岩絵具、その美しいきらめき(上、下)	山下 裕二	美術の窓	348,349				

## SPECIAL FEATURE

荒木飛呂彦 人間賛歌—謎めく美しき世界 CRITIQUE 様々な視点から見る『ジョジョの奇妙な冒険』

美術手帖 975

西洋美術：肉体のアラベスクが奏でるディストーション狂奏曲

藤原えりみ

バンド・デシネ：その独特なフォーマットで荒木はどう描いたのか？

原 正人

ファッション：トランスジェンダー化するキャラクター像

成実 弘至

モダンホラー：『ジョジョ』における、ホラー映画の恩恵

尾之上浩司

文化の扉 はじめてのジョジョの奇妙な冒険 先祖の因縁受け継ぐ「血の神話」[荒木飛呂彦]

神庭 亮介 朝 日 7.16

「ジョジョ」一気の25周年企画 テレビアニメ・外伝風小説・原画展 奇妙な世界に世相反映 セリフ涌くまま書く 荒木飛呂彦さん

浅川 貴道 読 売 10.12

「工芸な人」に聞く 第十四回 「人形作家」 荒木富佐子さん

八橋 知美 五風十雨 67

2012年日本建築学会各賞(作品) 真壁伝承館[新谷真人]

建築雑誌 1635

2012年日本建築学会作品選奨 小布施町立図書館 まちとしょテラス[新谷真人]

" "

富士塚案内 お任せあれ 江戸時代からの信仰対象、ツアー企画・アート制作

有坂 蓉子 日 経 1.30

有島 ペン画に旅の記憶 著作集の挿絵 東京で発見 北海道の記念館に寄贈へ [有島武郎]

東京 5.31

コミック さらば、やさしいゆうづる 有永イネ(作) 不思議な設定で日常を探る

ササキバラ・ゴウ 朝 日 4.15

作品とその周辺

有元 容子 実践女子大学美学美術史学 26

特集 BL[ボーイズラブ] オン・ザ・ラン! とにかくなにか話を考えていたい

A R U K U 川原 和子 ユリイカ 620

読書日和 注目です! いかつい猛男がキュートな漫画[アルコ]

内藤麻里子 毎日夕刊 5.29

境界なき世界へ 栗津潔図録刊行

西岡 一正 朝日夕刊 12.5

街に出たモンロー

安齋 重男 国立国際美術館ニュース 191

時の回廊 安西水丸「青の時代」一発勝負描き方の原典

山田 優 朝日夕刊 6.26

ミニシアターの応援団 安西水丸さん

大木 隆士 読売夕刊 11.10

作品 「ここに、いる」

安藤 郁子 秋田公立美術工芸短期大学紀要 16

お手本画&秀作集 其ノ十二 安藤華舟《山茶花》

安藤 華舟 水墨画\* 277

フォーカス・アイ 安藤真司 鮮やかに描かれた「生」

栗本 寛子 版画芸術 157

WORLD NEWS セントルイス「空間の魔術師」シボニー×安藤建築で煌めくビューリッツァー・コレクション[安藤忠雄]

藤森 愛実 美術手帖 971

特集 まるごと「具体[GUTAI]」! 特別対談 安藤忠雄×吉見俊哉

安藤 忠雄 美術の窓 347

復興 官民の総力を「人間力」養う教育が必要 基調講演

安藤 忠雄 日 経 3.15

喪友記 森稔さんを悼む 世界都市東京の夢

" " 3.16

文化往来 安藤忠雄が上海で1万人を前に講演

" " 3.22

津波の記憶 町に残す 建築家ら、住民と模索 気仙沼「鎮魂の森」構想 女川災害遺構を保存[安藤忠雄]

窪田 直子 " 6.9

辛言直言 学生の内向き どう打開 入試改革で創造力刺激を

安藤 忠雄 " 11.22

ひと言の余韻5 建築が世の中を変えることはない 人の営為見つめる安藤忠雄

後藤 正治 " 12.2

駅 夏模様 3 京阪中之島線・なにわ橋駅 文化の要衝 大学と催し[安藤忠雄]	前田 利親	読 売	8.3	話の肖像画 絵を描く理由 上、中、下 渡部 裕明	〃	3.6~8
「直島 再生の物語 伝えたい」 安藤忠雄氏の美術館 来春オープン 「地中美術館」設計図など展示 築100年の古民家活用		読売夕刊	11.26	写生する安野さん 寄稿 杉本秀太郎 (仏文学者) 「京都に住み、絵で知る京の花紅葉」	杉本秀太郎	〃 3.15
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にまずは驚く[安藤正子]	山下 裕二 談	美術手帖	974	わが友の旅立ちの日に 安野光雅著	日 経	12.9
特集2 現代陶芸と造形 レポート:対談「作家の見た小川待子」李禹煥×小川待子 『二つのはじめの一步』	安藤 雅信	R E A R	27	喜び感謝実る秋 文化功労者 安野光雅さん 絵本に独自の世界開く	日経夕刊	10.30
作品 「銅水差し」	安藤 康裕	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16	文化功労者 安野光雅さん 絵本作家「だまし絵」大人も魅了	読売夕刊	10.30
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 3 HISTORY 倉本美津留さんと行く! 超絶技巧の聖地巡礼 MUSEUM TOUR 1 清水三年坂美術館 超絶技巧のルーツ! 明治工芸の宝庫[安藤緑山]	倉本美津留、山下 裕二 談 集 部 編 文	美術手帖	974	安野モヨコ作品における労働の問題系	富山由紀子	早稲田大学大学院文学研究科紀要 57
「時間を伴った絵画」としてのアニメーション—庵野秀明総監督『エヴァンゲリオン新劇場版:破』(2009)にみる作画表現—	松野 敬文	人文論究	61-4	(イ)		
特集 いわさきちひろ Love, Love, Love ちひろを語る 独学の尊さ	安野 光雅	芸術新潮	751	寒流 飯島幸永著	日 経	12.9
特集 北京故宮がやってきた 「清明上河図」の前に立ったこと	〃	書 道 界	267	砂川闘争の本質に迫る 55年前の版画立川で公開 作者・飯島さんの知人が寄贈 [飯島善太郎]	大平 樹 東 京	2.19
森鷗外 近代文学界の傑人 生誕一五〇年記念 鷗外という鉅脈 『独逸日記』より 原田直次郎のこと	〃	太陽(別冊)	193	探訪 洋画家飯泉俊夫先生を訪ねて 塗削が生む色彩美の極致	游 美	69
思い出す本忘れない本 歴史認識は公平と思った 坂の上の雲 司馬遼太郎(著)	安野 光雅 大上 構成	朝 日	5.13	学芸ノート 飯田俊良について	高瀬 晴之	姫路市立美術館だより 114
安野光雅が描く 洛中洛外 9~16	安野 光雅	産 経	1.8,2.5,3.4,4.1,5.6,6.3,7.1,8.5,	特集 制作の現場から…「自作を語る」・I 偶然と神秘	飯田 春之	自由美術 2012
				青春プレイバック 飯高和子 「黒縁友誼」…書は結ぶ心の絆	宗像 克元	新美術新聞 1268
				《FLUXUS Now》1 インタビュー 〈フルクサス〉往還 イルム・メイキングとの交差のなかで	飯村 隆彦 小野寺奈津 聞き手	あいだ 190
				特集 アートの力を考える! PART 2 きずな—再生美術の力 五百住乙人 通奏低音	高山 淳	美術の窓 348
				自著を語る 修験の世界ここにあり 『山をはしる 1200日間山伏の旅』	井賀 孝	東京夕刊 6.26



あとがきのあと 「山をはしる」 井賀孝氏 全国で厳しい修行を体験	日 経	5.27	池田満寿夫の1960年代—デビューとその背景—	足立 圭	長野県信濃美術館 紀要	6
特集 画廊とアーティストの繋がり 椿近代画廊×猪飼節子	ギャラリー	331	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にま ずは驚く[池田学]	山下 裕二 談	美術手帖	974
ネパール社会で人間の本質を追う 10年通い伊ヶ崎さん写真集 [伊ヶ崎忍]	朝 日	5.8	特集 拡大・縮小美術館 スペシャルインタビュー 池田学の緻密で広大な世界	池田 学	美術の窓	350
お手本画&秀作集 其ノ九 五十嵐玉俊《雪晴れる山麓》	五十嵐玉俊	水墨画*	身体が保たない 池田亮司「datamatics[ver. 2.0]」	太田 景子	瓜生通信	57
時が流れる風景1、4、7	〃	〃	みんなのマンガ学「青春の一冊」リクエスト編5 ペルサイユのぼら 強くて華麗な女性たちに夢中 [池田理代子]	猪俣 紀子	朝日夕刊	2.2
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 五十嵐玉俊 養老の滝	〃	〃	ベルばら タブーに挑み40年 少女マンガ界で歴史物開拓作者・池田理代子に聞く	吉村 千彰	〃	9.8
なぜ私は建築を選んだか no.1 建築に導かれて。	五十嵐 淳	建築雑誌	東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 IX[池部鈞]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鐘旭	東京芸術大学美術学部紀要	50
連載 デザインと彫刻とぼくのクロニクル その22~24	五十嵐威暢	芸術新潮	特集 いわさきちひろ Love, Love, Loveちひろを語る 無意識の伏線	イクムラレイコ	芸術新潮	751
五十嵐威暢 つち、いろ、かたち うごめく体育館	〃	〃	批評 アーティストトーク:イクムラレイコ×松本透 イクムラレイコ うつりゆくもの	イクムラレイコ 松本 透	R E A R	27
コミック トーチソング・エコロジー1 いくえみ綾(作) 生と死をめぐる問い優しく	ササキバラ・ゴウ	朝 日	ひと言の余韻2 呼んでくれるものを待っている 空白の半世紀生きた画家[石井一男]	後藤 正治	日 経	11.11
作家との対話 生田丹代子—ガラスによって形を創り、周囲の空間に緊張感をもたらす。工芸家であるというよりは彫刻家であり、その透き通った煌めきのある世界は、伸び伸びとした伸展性と積み重ねられた重みを見せるが、それはさらなる展開を見せるか。	原田 平作	美術フォーラム21	こころの玉手箱 ノンフィクション作家 後藤正治 5 石井一男氏の女神像 清貧貫く画家の慎ましき自画像	〃	日経夕刊	1.27
特集 セザンヌにはどう視えているか 感覚の氾濫 セザンヌの中間地帯	池田 剛介	ユリイカ	第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 日展出品と自身の彫刻について	石井 沙知	日展ニュース	144
特集1 美術館開館当時、一九五〇年代の美術をめぐるわたしにとっての五〇年代美術	池田 龍雄	現代の眼	近代美術の眼 戒厳状態 ひりひりする緊張感漂う[石井茂雄]	榊田 倫広	読 売	12.14
佐賀文化考 84歳の現役アーティスト 池田龍雄 あそびとたたかい	〃	美術屋・百兵衛				
ことば 池田龍雄さん(画家)	大西 若人	朝 日				

ぎやらりいモール 印刷博物館「印刷都 市東京と近代日本」 から「玉堂富貴〔ぎょ くどうふうき〕」 大蔵省紙幣局(東京) 〔石井鼎湖〕	川井昌太郎	読売夕刊	12.4	いしかわ式 今日の 漫画 銀の匙	いしかわじ ゆん	毎 日	3.7
受賞学生インタビュー 第7回 イセカル チュラルファンデー ション 第7回「美術 学生展 in NY 2011」 デビッド・ソロ賞	石井 亨	芸大通信	24	読書日和 いしかわ じゆんさん 吉祥寺 キャットウォーク第 1巻 さらっと濃く 絡む人間関係を漫画 に 大震災で、目が 覚めた	内藤麻里子	毎日夕刊	9.11
特集 制作の現場から …「自作を語る」・ II 自作を語る	石井 則雄	自由美術	2012	水俣 時を超えて写 す 悲劇伝えた写真 家しのび、三十年 越しの再訪	石川 武史	日 経	11.2
丸ごと一冊いしいひ さいち 「うけいな こと、たくさん」	小川 雪 朝	日	7.4	津田直+石川直樹 「幸せ」だけじゃない プータンを撮る		芸術新潮	747
父のこと〔石井壬子 夫〕	石井 克	ガス 燈	95	創刊750号記念大特 集 古事記 日本の 原風景を求めて 下 飯島の夜	石川 直樹	〃	750
祖国に響けヒバクの 現実 米国人監督 北米の写真展、反応 を撮影〔石内都〕	田玉 恵美 朝	日	8.15	写真の秘密 ロジェ ・グルニエ著 宮下 志朗訳 老作家が綴 る言葉のアルバム	〃	朝 日	2.19
ピンと張った背の軸 石岡瑛子さんを悼む	小池 一子	〃	1.31	写真の読み方 初期 から現代までの世界 の大家写真家67人 イ アン・ジェフリー (著) 挑発的に響き 合う 熱い含意	〃	〃	3.11
追悼 アートデザイ ナー 石岡瑛子さん 厳格さの裏に底なし のやさしさ	坂田栄一郎	産 経	2.2	視線 世界を見に行 く。 石川直樹著	北澤 憲昭	〃	4.1
石岡瑛子さん死去 衣装でアカデミー賞 受賞 73歳		日経夕刊	1.27	ぎやらりいモール 武蔵野市立吉祥寺美 術館「石川梵写真展 THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶」 から 石川梵	菅沼万里絵	読売夕刊	4.24
追想録 石岡瑛子さ ん(デザイナー) 変 身続けた「美の求道 者」	小林 明	〃	3.23	沖縄に生きる人々見 つめ 石川真生の写 真展		朝日夕刊	2.8
国際的アートデザイ ナー 石岡瑛子さん 死去		毎日夕刊	1.27	茶話マンガ とぼけ た日常、小粋に〔石 黒正数〕	伊藤 剛	〃	7.21
新作ふすま絵 32面 生き生き 京都・妙 法院公開〔石踊達哉〕		東京夕刊	10.31	特集 アートの力を 考える! PART 2 きずな—再生美術の 力 石阪春生 無限 運動	高山 淳	美術の窓	348
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 050 石垣栄太郎 腕	土方 明司	美術手帖	967	民俗 明治期の四国 遍路絵馬〔石崎嘉吉〕	今村 賢司	歴博だよ り	68
言葉の「信」喪失、信 頼崩れる 手書き減 り人間関係にも影響 書家 石川九楊さん	富田 律之	日経夕刊	5.2	一葉の世界生きる人 形 ゆかりの東京下 町に工房、資料頼り に忠実に再現	石崎真葵政	日 経	5.15
特集 アートの力を 考える! PART 3 石川茂 輝く地球、 そして日本人として	石川 茂	美術の窓	348	レビュー ツボ・ミ ソ・ヘソ—取り合わ せの妙— 押忍! 手 芸部と豊嶋秀樹『自 画大絶賛(仮)』〔石 澤彰一〕	大橋 広子	R E A R	28
コミック 吉祥寺キ ャットウォーク1 いしかわじゆん(作) ギャグの絵柄に叙情 を託す	南 信長 朝	日	9.2				

[illegible]

特集 拡大・縮小美術館 立体編 伊多呂 一木作りのユーモラスなミニカー		美術の窓	350						上級者に贈る 創作への道9 池に溺没することなく大海を自由に泳ぎ回る	星野 鈴	東京造形大学研究報	13
お手本画&秀作集 其ノ十 市川皓《白雪淨浄》	市川 皓	水墨画*	275						新聞をよむ女たちの図像を追って—伊藤小坡「つづきもの」を中心に	星野 鈴	東京造形大学研究報	13
日本マンガ学会第11回大会における研究発表	市毛 史朗	大阪成蹊大学芸術学部紀要	8						Go! Artists Go! 51 伊藤純代	編集 部	美術手帖	976
市島 桜魚 2010年作品の解説	市島 桜魚	金沢学院大学紀要*	10						表紙 館蔵品紹介 《Picnic》伊藤存	中井 康之	国立国際美術館ニユース	190
一條成美考	岩切信一郎	一寸	50						報告 ワークショップ「顔が顔に会うための顔をつくる」[伊藤存]	藤吉 祐子	「	「
「顔ハメ」にハマリ500体 観光地の撮影用パネル、間抜けな風情・味を撮る	いちぢひろゆき	日 経	5.16						正直な画家[伊藤大仁]	太田 治子	ギャラリー一*	324
実験と求道の画家 一原有徳 無垢な実験制作・偶然は必然	平賀 麻子	版画芸術	156						東日本大震災 被災窯業地からの報告 前篇 被災報告 益子より	伊藤 丈浩	陶 説	713
BEAUTIFUL DAYS 市原織江著		日 経	2.12						現代美術の歩き方 異論反論・現代美術第13回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展 コミッショナーは伊東豊雄氏に決定		美術の窓	340
座談会「第四十四回日展審査を終えて—魅力ある日展に向けて—」	中山 忠彦、寺坂 公雄、奥田小由女、岩倉 祥一郎、塗師 緑郎、市村 光風、新井 森協司会	日展ニュース	147						前衛と伝統ひとつに建築家・菊竹清訓さんを悼む	伊東 豊雄	朝 日	1.9
コミック 同人少女JB1 一本木蛮(作) オタク文化は夜明けでも熱い	南 信長	朝 日	1.22						被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示に評価[伊東豊雄]	大西 若人	「	8.30
視点 落石[おちいし]計画第五期について[井出創太郎]	高浜 利也	美術の窓	347						ひと ベネチアの建築展で日本館を最高賞に導いた 伊東豊雄さん	「	「	8.31
第25回奨学者のレポート 回帰現象	伊東 遠平	アクリラート(別冊)	2012						被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞の「みんなの家」 地元の提案も取り入れ 展示とのバランス評価[伊東豊雄]	「	「	9.3
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 080 伊藤久三郎 合歓の木	天野 一夫	美術手帖	967						「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[伊東豊雄]	「	「	12.11
この人 鎮魂をテーマに福島で陶芸展 伊藤慶二さん 社会との関係を作品に残したい	畑間 香織	東京	10.1						思潮 あれから1年「みんな」のための建築 伊東豊雄 被災地の住宅提案 街や自然とのかかわり求め	「	朝日夕刊	3.7
研究ノート 伊藤慶之助の東京時代—「風景」(1923年作)受贈を契機に	内村 周	西宮市大谷記念美術館 NEWS	25						被災地から建築のあり方問う ベネチア国際展、明日開幕 [伊東豊雄]	「	「	8.28
収蔵作品から 伊藤公象《木の肉・土の刃》	若松 基	ど お む	119									
作家通信 個展を開いて	伊藤 昌	水墨画*	274									

追悼 建築家 菊竹清訓氏 大胆な発想にいつも希望 天才型の衝撃デザイン 伊東 豊雄 産 経 1.11

仮説住宅の集会所、上棟式 陸前高田に「みんなの家」[伊東豊雄] 〃 8.23

3・11後の表現 2 建築「みんなで」集い作る[伊東豊雄] 窪田 直子 日 経 3.7

あとがきのあと「あの日からの建築」伊東豊雄氏 震災後の活動を振り返る 〃 10.28

菊竹清訓氏を悼む 60年代の建築 今も輝く 伊東 豊雄 読 売 1.10

建築季評 社会から発想する設計[伊東豊雄] 中川 理 〃 6.28

「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[伊東豊雄] 高野 清見 〃 12.20

日々好日 『古事記』逍遙 伊藤 裕司 新美術新聞 1282

追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 先生の心を感じる作品「落葉」 伊藤 彰耳 〃 1277

洋画家・伊東美砂代 美術屋・百兵衛 22

クリエイターズワーク&ソウル SOL style[伊藤裕] A X I S 156

第16回手塚治虫文化賞 新生賞「シュートヘル」伊藤悠さん 少年と女戦士「文字」守る旅 宮本 茂頼 朝 日 4.23

秋の読書特集 マンガ 時代も国も超え 辺境の異民族に心寄せて「シュートヘル」伊藤悠さん 星野 構成 学 〃 10.27

近代美術の眼 imagery72 850007 72コマ 常識に挑む[伊藤義彦] 増田 玲 読 売 7.13

お手本画&秀作集 其ノ十一 稲垣三郎《Beyond Landscape 11 山揺れる》 稲垣 三郎 水墨画\* 276

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 024 稲垣仲静 鶏頭 天野 一夫 美術手帖 967

「伊勢神宮の桜」写真展—ワシントンDCにて— 稲田 美織 瑞 垣 222

教員は語る 芸大への期待・抱負・提言 第16回 菅 乾 英三子 久美子 芸大通信 24

被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示に評価[乾久美子] 大西 若人 朝 日 8.30

被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞の「みんなの家」地元 〃 〃 9.3

「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[乾久美子] 〃 〃 12.11

「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[乾久美子] 高野 清見 読 売 12.20

アメリカアート事情 20世紀前半の米国で肖像画に高い評価 犬飼恭平の回想録 後藤トキ子 美連協ニュース 116

震災前のくらし伝えたい 仙台ですすむ取り組み 子ども発がれきでオブジェ [犬飼とも] 朝 日 10.12

がれきオブジェ石巻で常設展示へ カケラのチカラ 目標2万点 子どもが制作 [犬飼とも] 東 京 5.9

INFORMATION 岡本太郎生誕100年記念。アートピース第2集と太郎像が登場! 『岡本太郎アートピースコレクション第2集』約1/140スケール岡本太郎像 伊野 孝行 美術手帖 962

INFORMATION 巨匠たちのポートレート集『画家の肖像』著者・伊野孝行による紹介文 〃 〃 971

版画に摺り出す少年の心 棟方志功に共鳴、医療少年院で創作を半世紀指導 井上 勝江 日 経 6.13

売れてる本 中国嫁日記(一・二) 井上純一(著) オタクが他者と出会うとき 斎藤 環 朝 日 4.29

日中友好を越えて 中 オタクが変えるかも 井上 純一 安藤 淳 東 京 9.29

対談 写真芸術の新しい可能性	梅原 猛 井上 隆雄	美術京都	43	作品 「だらしねえなあ」	猪瀬 季里	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にま ずは驚く[井上雄彦]	山下 裕二 談	美術手帖	974	お手本画&秀作集 其ノ十二 猪俣須美 《ロンド》	猪俣 須美	水墨画*	277
みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエ スト編 1 SLAMDU- NK 選手たちの感覚 生々しく[井上雄彦]	伊藤 遊	朝日夕刊	1.5	時が流れる風景 3、 6、9	〃	〃	279、282、 285
井上雄彦 『pepita』 刊行	道丸 麻耶	産 経	3.1	追悼特集 織田廣喜 氏の偲ぶ 二科の一 番の宝物を失った思 い	伊庭新太郎	新美術新聞	1285
お手本画&秀作集 其ノ十二 井上千里 《滔滔》	井上 千里	水墨画*	277	追悼 織田廣喜先生 を悼む	〃	連盟ニュー ース	444
戦中から戦後作家 をたどる 7 井上長 三郎、鶴岡政男、安 孫子真人	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	127	写真化学研究所第1 回作品『ほろよひ人 生』と伊原宇三郎《ト ーキー撮影風景》	矢野 進	世田谷美 術館紀要	13
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 093 井上長三郎 東 京裁判	原田 光	美術手帖	967	山下裕二の今月の隠 し球95、96 井原信 次 フェルメールが 描いた冷蔵庫(上、 下)		美術の窓	350、351
戦後の巨匠18[井上 長三郎]	林 紀一郎	美術屋・ 百兵衛	22	くせ字の味は人柄の 味 18歳から500人 以上収集、まねて理 解深める	井原奈津子	日 経	10.31
美の美 証言する絵 画—戦争の時代3 [井上長三郎]	宝玉 正彦	日 経	8.26	今井兼次共同研究報 告II	岸本 章	多摩美術 大学研究 紀要	26
追悼 井上博道さん 司馬遼太郎記念館 上村洋行館長 仏師 の心も読み取れる写 真家	坂下 芳樹 上村 洋行 談	産 経	12.20	美の美 日本のガウ ディ・今井兼次 上、 下	古賀 重樹	日 経	7.8、15
現代作家紹介 井上 廣子—「森」に向かっ て	小勝 禮子	美術フォ ーラム21	25	制作ノート いまま でとこれから	今井 俊介	武蔵野美 術大学研 究紀要	42
数寄の文化誌 デタ ラメ書き[井上有一]	熊倉 功夫	聚 美	4	第80回記念独立展 80回展を迎える独立	今井 信吾	新美術新 聞	1293
お手本画&秀作集 其ノ十四 井上和泉 《田舎(里帰り)》	井上 和泉	水墨画*	279	文化功労者 今井政 之氏を祝して	編 集 部	陶 説	708
館蔵品紹介 7 今来 て見られる この逸 品 猪熊弦一郎「ニ ースの女」		香川県立 ミュージ アムニュー ース	18	赤絵師の矜持と責任 十四代今泉今右衛門 さん	鳥居 明雄	〃	714
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 117 猪熊弦一郎 Snake Line	三田 晴夫	美術手帖	967	十四代今泉今右衛門 氏の陶芸	鈴田由紀夫	〃	〃
視点 猪熊さんとの 思い出[猪熊弦一郎]	速水 史朗	美術の窓	343	「十三代・十四代今 泉今右衛門一色鍋島 の粹」展に寄せて	島崎 慶子	〃	〃
美の履歴書270 なぜ 顔ばかりなのか 「顔80」 猪熊弦一郎	西岡 一正	朝日夕刊	9.5	ぎやらりいモール 智美術館「十三代・ 十四代今泉今右衛門 一色鍋島の粹」から 「色絵薄墨墨はじき 石榴文蓋付瓶」 十 四代今右衛門	〃	読売夕刊	12.18
				作家通信 元気のヒ ミツ 自然の中に住 む	今岡紫雲英	水墨画*	274

クリエイターズワーク&ソウル 今津康夫		A X I S	156	ぎやらりいモール 笠間日動美術館「やきものの里のネコ 岩合光昭写真展」から「茨城県笠間市」岩合光昭	亀山 浩一	読売夕刊	5.15
受賞学生インタビュー第7回 富山水辺の映画祭2011 グランプリ	今林 由佳	芸大通信	24	パブリック・アート散歩 (シリーズ No.1) 熊本市/高橋公園と千葉城公園の彫刻[岩越末雄]	古家 良一	V i e w	142
ろう者の心 ろう者が撮る ドキュメンタリー映画通じ現状を多くの人に	今村 彩子	日 経	2.23	ちひろを訪ねる旅44~47[いわさきちひろ]	竹迫 祐子	安曇野ちひろ美術館 美術館だより	69~72
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 017 今村紫紅 熱国巻	古田 亮	美術手帖	967	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love		芸術新潮	751
明治・大正におけるバンカラ旅行の系譜—大観・観山・紫紅・未醒の東海道五十三次旅行(大正4年)の背景として[今村紫紅]	佐藤 志乃	横山大観記念館館報	28	人生篇 女として、母として、人として 愛し、生きた人生	橋本 麻里		
遙かなもの	入江 観	新美術新聞	1280	思い出を訪ねて	編集 部 文		
古色大和路 入江泰吉記念奈良市写真美術館編		日 経	11.18	秘められた強さに迫る 初のドキュメンタリー映画	"		
SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS THEORY & PRACTICE スーパーラットの『種の起源』をたどる 論考01 アーティヴィズム・ナウ! たのしいアクティヴィズムと野生のアート	イルコモンズ、成田 圭祐 編著	美術手帖	964	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love 作品篇 美術史から読み直す いわさきちひろ試論		" "	
いま風 水曜日 モビール 楽しく揺れる[いろけん]	宮木 優美	読売夕刊	3.14	「紫陽花いろ」の画家 日本近代絵画史のなかのいわさきちひろ	北澤 憲昭		
クリエイターズワーク&ソウル 色部義昭		A X I S	160	「にじみ」が語る こと いわさきちひろと宗達	仲町 啓子		
第16回手塚治虫文化賞 マンガ大賞 「ヒストリエ」 岩明均さん 異文化の交わり鮮やかに	宮本 茂頼 朝	日	4.23	「女」たちの場所 ちひろとローランサン	天野 知香		
あきらめずに、やりぬく。その一心だった。[岩岡ヒサエ]	立古 和智	女子美	173	特集 いわさきちひろ Love, Love, Love ちひろを語る		" "	
座談会「第四十四回 日展審査を終えて一魅力ある日展に向けて」	中山 忠彦、寺坂 公雄、奥田小由女、岩倉 寿、塗師祥一郎、市村 緑郎、新井 光風、森脇 正人 司会	日展ニュース	147	独学の尊さ	安野 光雅		
				私たちの時代	堀 文子		
				母との時間	松本 猛		
				無意識の伏線	イケムラレイコ		
				東京どんぶらこ 527 石神井 ちひろ平和への願い[いわさきちひろ]	早乙女勝元	東京	6.2
				事務室のいわさきちひろ 未発表のバステル原画だった! 長野・塩尻		読売夕刊	12.19

「リョーマの休日」酷似彫刻家作品と高知県ポスター[岩崎祐司]			読	売	5.5															特集 未来のスターを探せ！ 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 上田葉介	宮下規久朗	美術の窓	344		
神は、楕円を創造するのか！	岩澤	有徑	新美術新聞		1284																				
本よみうり堂 岩瀬禎之著 岩瀬禎之写真集 海女の群像	星野	博美	読	売	9.9															REVIEW とり結ばれ、発揮された力[上田義彦]	諏訪	敦	美術手帖	971	
特集 未来のスターを探せ！ 新人大図鑑2012 次世代トップアーティスト インタビュー 岩田壮平	岩田	壮平	美術の窓		344															本よみうり堂 佐藤卓・総合企画 上田義彦・写真「JO-MONESE」	(井)		読	売	6.24
山下裕二の今月の隠し球87、88 岩田俊彦 漆のインテリアが震災を癒す(上、下)	山下	裕二	〃		342、343															特集 模写から学ぶ絵画の技法 第三研究室座談会 古典の模写から学ぶものの	窪井 裕美 繭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高		美術の窓	349	
特集 アートの力を考える！ PART 2 きずな一再生美術の力 岩永勝彦 めくもり	高山	淳	〃		348															幕末の写真師 激動みつめたレンズ「上野彦馬の世界」出版	小川	雪	朝日夕刊	9.10	
展覧会時評 ex-chamber museum-offline 第2回「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻 [岩永忠すけ]	幕内	政治	ファウンテン		2															インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち			ギャラリー*	332	
																				特別編 上前智祐 世界へ					
	(ウ)																			No.5 上前智祐					
植木金矢の“似顔絵”活劇天下御免			芸術新潮		747															視点 BB プラザ美術館開館三周年記念—卒寿を超えて—「上前智祐の自画像」	坂上義太郎		美術の窓	350	
銀幕の名優 劇画で競演 「風雲鞍馬秘帖」ヒットから半世紀、今も新作描く	植木	金矢	日	経	1.23															父の教え 日本画家上村淳之さん 人生、3度壁に当たって乗り越える	山上	直子	産	経	12.12
ぎやらいいモール 弥生美術館「伝説の劇画師 植木金矢展」から 「風雲鞍馬秘帖」 植木金矢	松本	品子	読売夕刊		3.6															こころの玉手箱 日本画家 上村淳之 1～5	上村	淳之	日経夕刊	5.14～18	
手から手へ 池井昌樹〈詩〉 植田正治〈写真〉			朝	日	10.21															特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 上村篁月韻	上村	篁月	水墨画*	282	
近代美術の眼 パパとママと子供たち 家族写真に構図の妙 [植田正治]	増田	玲	読	売	10.12															作家通信 元気のヒミツ 篁月青春まつり 只中！更なるこれから展	〃		〃		283
本よみうり堂 詩・池井昌樹 写真・植田正治 企画と構成・山本純司 「手から、手へ」	(金)		〃		11.4															上村松園の作品における落款について	中村	麗子	東京国立近代美術館研究紀要	16	
あすから「第31回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」平面作品部門 秀作賞 上田とも子氏「昼下がりの街角」札幌の「見えない風景」	上田とも子	産	経		3.2															SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 091 上村松園 晩秋	加藤	弘子	美術手帖	967	
																				父の教え 日本画家上村淳之さん 人生、3度壁に当たって乗り越える「上村松園」	山上	直子	産	経	12.12



## SPECIAL FEATURE

Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS 世界各国の22組が登場! スーパーラットな表現者たち ARTIST INTERVIEW 宇川直宏 ファイナルメディア DOMMUNE とは何か?

三田 格、エリイ、林靖高、聞き手阿部謙一構成 美術手帖 964

REVIEWS01 榎木野衣 月評第50回 アナーキズムのサーカス「FREEDOM-MUNE 0 (ZERO) A NEW ZERO 2012」 [宇川直宏]

榎木 野衣 " 974

茶話マンガ 侵される大人との境界[うさくん]

伊藤 剛 朝日夕刊 2.25

宇佐美圭司インタビュー

林 道郎 ART 松浦 寿夫 TRACE 岡崎乾二郎 PRESS 2

ことば 宇佐美圭司さん(画家)

白石 明彦 朝 日 3.28

描くこと最期まで手放さず 画家・宇佐美圭司さんを偲ぶ会

大西 若人 朝日夕刊 12.26

追想録 理知と柔軟な感受性 宇佐美圭司さん(現代美術家)

宝玉 正彦 東京夕刊 12.7

梅を知り、梅を描き、梅に学ぶ

宇佐美江中 水墨画\* 274

作家通信 玉堂・江中師弟展に思う

" " 276

新収蔵品紹介 牛島義弘《化石の磁場》

井上 正敏 View 140

「お接待小屋」89ヶ所めざす 四国霊場巡るお遍路さんに、地元の人々と憩いの場

歌 一陽 日 経 5.28

江戸博蔵めぐり 東京名勝図会 ホテル館庭上の図「和」取り込んだ西洋建築 [歌川広重(三代)]

小山 周子 読 売 5.11

江戸博蔵めぐり 七福人宝の入船 幸多き年へ 願い込めて [歌川房重]

吉田奈緒子 " 12.21

北川民次の絵画技法(2)一名古屋市美術館所蔵作品の自然科学的調査—

白河 宗利 歌田 眞介 森田 恒之 森田 隆康 増田 義之 山田 直人 田中 元論 鈴鴨 富士子 杉原 朱美 愛知県立芸術大学 紀要 41

第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 彫刻への思い

内 ゆき 日展ニュース 144

特集 アートの力を考える! PART 3 内田青虹 英雄哀歌

高山 淳 美術の窓 348

照明デザイナー 内原智史さん 街も心も幸せ色に照らす

鈴木 康浩 日 経 12.15

平成23年度 内間安理作品等調査報告

大城 仁美 沖縄県立博物館美術館 博物館紀要\* 2

霧・霞・雲煙の表現を極める

打矢 恵 水墨画\* 276

特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 打矢恵 大雪山

" " 282

論点スペシャル サッカーと日本人 ツイ海外で成長 都宮徹老 写真家・ジャーナリスト

鶴原 徹也 読 売 10.10

特集 耽美な世界へようこそ 対談 宇野亜喜良×沢渡朔 モチーフとしての少女、絵と写真からのアプローチ

宇野亜喜良、沢渡朔 対談 美術の窓 342

あの日の大阪閉じ込めた 江戸川 宇野マサシさん 個展「西成、飛田界隈」

丹治早智子 東 京 11.5

思い出す本忘れない 本 授業中にこっそり読んだ COJI—COJI 1~4 さくらもこく作

梅 佳代 談 加来 由子 朝 日 9.23

本よみうり堂 ビタミンBOOK 日常の情景に胸熱くなる [梅佳代]

益田 ミリ 読 売 3.11

総特集 永野護『ファイブスター物語 [ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴディックメード』の衝撃「アモルマニア」へ至る道 神はデザインする 永野護をめぐるトラフィクス

武井 宏之 西島 大介 梅沢 和木 ユリイカ 619

タマミの御霊—模図かずお『赤んぼ少女』、鎮魂をめぐる諸問題

高橋 明彦 金沢美術工芸大学 紀要 56

若手育成事業「アニメミライ」の提案「ベテランに学ぶ」へ 帰帰を [梅田俊作]

三沢 典丈 東京夕刊 2.29

大庭大介連載対談 「ペインティングの 可能性」第3回 大野智史 梅津庸一	ファウン テン	3	榎倉康二の写真作品 について	熊谷伊佐子	明星大学 研究紀要	20
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 087 梅原龍三郎 北 京秋天	田中 淳	美術手帖 967	特集 耽美な世界へ ようこそ 現代のフ ァム・ファタル[魔 性の女] 江畑芳	江畑 芳	美術の窓	342
特集 未来のスター を探せ! 新人大図 鑑2012 評論家・ジ ャーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト10 梅村圭	ワシオ・ト シヒコ	美術の窓 344	ながさわたかひろの 「に・褒められたく て」Vol.22「蛭子能 収に褒められたく て」	ながさわた かひろ	美術手帖	966
美術学部教員展図録 陶磁	梅本 孝征	愛知県立 芸術大学 紀要	そして、水の波紋の 裏側からそっと(イ ンスタレーション)	海老塚耕一	多摩美術 大学研究 紀要	26
メビウスさんを悼む 常に新しかったその 線	浦沢 直樹	毎日夕刊 4.5	視覚障害者に対する 芸術鑑賞の方法	〃	〃	〃
(エ)						
瑛九《失題》	熊田 司	えむえむ 2	小津安二郎、東郷青 児らの寄せ書き屏風 映画「新しき土」上映 にあわせ展示[海老 原喜之助]	山根 聡	産 経	4.5
瑛九のリトグラフ 再現制作に基づく分 版の仕組みの分析	城山 萌々	芸術学研 究(筑波)	自由席 小杉勇と芸 術家の交遊屏風[海 老原喜之助]	(古)	日経夕刊	4.18
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 108 瑛九 ながれー れいめい	田中 淳	美術手帖 967	画集刊行記念 移ろ いの象形 江本智美 日々の歌のように	高山 淳	美術の窓	344
クリエイターズワー ク&ソウル h.o		A X I S 159	話題の人 巻頭イン タビュー 江里康慧 さん(仏師)	江里 康慧 談 集 部	目 の 眼	427
第25回奨学者のレポ ート 300の手紙	江川 純太	アクリラ ート(別 冊)	SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛 歌一謎めく美しき世 界 MESSAGE アー ティストが語るジョ ジョ02 エリイ (Chim ↑ Pom)	エ リ イ	美術手帖	975
自作再見 栄久庵憲 司「キッコーマン しょうゆ卓上瓶」 モノや美の民主化目 指した	大西 若人 聞き手	朝日夕刊 11.7	セザンヌからの多く の発見	遠藤 彰子	新美術新 聞	1280
彫刻家の現場から 87 江口週	武田 厚	美術の窓 347	読んでみて! 列島 にマイクロバスで描 いた軌跡[遠藤一郎]	洪沢 和彦	産 経	2.8
2012年日本建築学会 作品選奨 長崎市子 育ての駅「てくてく」 十千秋が原南公園十 信濃川桜づつみ遊歩 道[江尻憲泰]		建築雑誌 1635	被災地に力 美術家 の試み 「東北画」理 解と励まし[遠藤一 郎]	小川 敦生	日経夕刊	1.23
茶話マンガ セカイ 系からさらに先へ [えすのサカエ]	伊藤 剛	朝日夕刊 1.21	特集 アートの力を 考える! PART 3 遠藤賢太郎 自然の 深い眼差し	高山 淳	美術の窓	348
作家訪問429 ガラス 作家 江波富士子さ ん	編 集 部	目 の 眼 431	連載 ケンチク脳の 活かし方 ツバルに 学び、先進国のライ フスタイルを革新す る	遠藤 秀一	建築雑誌	1633
全美フォーラム04 もっと野生を「榎 忠展 美術館を野生 化する」	池上 司	ZENBI 1	評 建築 福良港津 波防災ステーション /淡路人形座 津波 を想定した曲面壁 [遠藤秀平]	五十嵐太郎	毎日夕刊	10.18

幕末明治初期住吉派における復古派としての遠藤廣宗、遠藤貫周と住吉廣賢	梶岡 秀一	愛媛県美術館年報・研究紀要	11	特集 アートの力を考える! PART 3 大久保正子 姫島盆踊り	〃	〃	〃
彫刻家の現場から 91 遠藤幹彦	武田 厚	美術の窓	351	追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ 織田廣喜先生に感謝を込めて	大隈 武夫	新美術新聞	1285
(オ)				天才外科医 波乱の青春 ブラックジャック、来年で40周年 医学生時代を描き「継承」[大熊ゆうご]	岩本 哲生	朝日夕刊	12.1
水墨の最前線 6 水にまつわる表現を深めて 及川聡子	立島 恵	水墨画*	276	アクリリックス・ワールド69 大小島真木	石井 芳征	美術手帖	966
新人賞展 及川裕介さんの作品について	田中シンタロウ	自由美術	2012	ざらりいモール 練馬区立美術館「人間国宝大坂弘道展」から「黒柿蘇芳染宝相華文嵌荘花形盒子」 大坂弘道	加藤 陽介	読売夕刊	12.25
青春ブレイバック 大井錦亭 余韻となつて表われる空間の筆意	宗像 克元	新美術新聞	1295	研究ノート 「世に隠れた超一流画家列伝2 大沢三之助」	上山 陽子	練馬区立美術館ニユース	16
特集 アートの力を考える! PART 3 大石久美江「絆II」世界を一つに!	大石久美江	美術の窓	348	水彩画家の足取りをたどって〜大下藤次郎がめぐる福島〜	中川原有紀	郡山市立美術館研究紀要	7
時代の証言者 写真で伝える 大石芳野 1〜28	永井 一顕	読 売	1.4、5、7、9〜12、14、16〜19、21、23〜26、28、30〜2.2、4、6〜9、11	資料紹介 島根県立石見美術館所蔵 大下藤次郎日記(第5回・最終回)	川西 由里	島根県立石見美術館研究紀要	6
記憶の地層を掘る 「大浦一志―自然と人間―雲仙普賢岳との20年」に寄せて	中村 誠	ソ カ ロ	58	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 007 大下藤次郎 秋の雲	田中 淳	美術手帖	967
作家訪問426 陶芸家 大江志織さん	編 集 部	目の眼	428	近代美術の眼 穂高山の麓 自然との交感 繊細に[大下藤次郎]	都築千重子	読 売	5.18
特集 アートの力を考える! PART 3 大河原隆則 再生を導く意思	小池伊欧里	美術の窓	348	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files 大島成己 無数の視線が織り込まれたありふれた風景	タカザワケンジ	美術手帖	971
水墨の最前線 4 人物表現を深める墨 大河原典子・阿部清子	立島 恵	水墨画*	274	月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.19、20 現代美術の展望(前・後編)	小川 英晴、ギャラリ O JUN 談	324、325	
作家通信 墨の奏でる音	大河原典子	〃	285	REVIEWS 棚田康司の矛と盾	O JUN	美術手帖	976
表紙解説 「坪内逍遙肖像」大木豊平画 制作年不明 ©大木興二		早稲田大学図書館紀要	59	平成23年度 大城皓也作品および資料調査報告	吉田 祥子	沖縄県立博物館美術館博物館紀要*	2
美博なう 太郎の色と形に浸る夜? 岡本太郎記念館[大口遼]		朝日夕刊	9.26				
フォーカス・アイ 大久保澄子 色彩の豊饒の海	松山 龍雄	版画芸術	157				
特集 アートの力を考える! PART 2 きずな―再生美術の力 大久保澄子 心の源泉	高山 淳	美術の窓	348				

東京美術学校西洋画 科卒業制作作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究 IX[太田喜二 郎]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鐘旭	東京芸術 大学美術 学部紀要	50	この世界とわたしの どこか 日本の新進 作家 VOL. 11 下 大塚千野 過去と現 在の自分、一枚に	笠原美智子 東京夕刊	12.13
マチエールから探る 日本画とその表現の 可能性—表面型・浸 透型・裏面型の3タ イプをもとにして—	太田 圭	筑波大学 芸術研究 報告	59	野の花図鑑24~26	大月 紅石 水墨画*	274~276
新収蔵品紹介 太田 三郎	廣瀬 就久	岡山県立 美術館ニ ュース	96	お手本画&秀作集 其ノ十 大月紅石 《静春》	" "	275
コラム 大高正人と 福島三春の街づくり	二瓶 博厚	建築雑誌	1626	コツをおさえて描く 花の水墨画速習帖3、 6、9	" "	279、282、 285
お手本画&秀作集 其ノ十七 大滝美芳 《爽涼》	大滝 美芳	水墨画*	284	作家通信 東日本の 被災地へ 墨彩の絵 うちわを贈る	" "	283
art news 1980年、 ニューヨーク 大竹 昭子の熟成写真		芸術新潮	755	美の履歴書256 異世 界がのぞくわけ 「陳列窓」 大辻清司	西岡 一正 朝日夕刊	5.30
ニューヨーク1980 大竹昭子著		日 経	12.2	大特集 大友克洋の 衝撃	芸術新潮	748
SPECIAL REVIEW 大竹伸朗《モン・シ ェリ:スクラップ小 屋としての自画像》 コラージュ、脱出と 抵抗	藪前 知子	美術手帖	976	ロング・インタヴ ュー 大友克洋を つくったものと大 友克洋がつくった もの	中条 省平 聞き手	
特集 秋の制作シー ズに贈る18作家の 水墨世界 大竹卓 介	大竹 卓	水墨画*	282	マンガ篇 マンガ 史を呑み込む「空 白」	村上 和彦	
特集 広島[ヒロシ マ]・長崎[ナガサ キ] 第1部 イン タビュー 建築家は 平和に、広島にどう 向き合ったか—平和 都市建設の思想	大谷 幸夫 初田 香成、 砂本 文彦 聞き手	建築雑誌	1635	ただいま新作製作 中! アトリエ+ スタジオ訪問記	編集部	
お手本画&秀作集 其ノ十一 大谷南柁 《菜の花》	大谷 南柁	水墨画*	276	映像篇 なめらか なる映像世界 (全て)を見る演出 の視線	柳下毅一郎	
作家通信 元気のヒ ミツ 趣味の野菜作 り	"	"	284	USAレポート 海 を越える『AKIRA ショック』	バトリック ・マシアス 文 町山 智浩 訳・構成	
セザンヌの静物画	大津 英敏	新美術新 聞	1280	絵画篇 近代美術 史を包括する絵画 性	榎木 野衣	
追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ 輝ける織 田廣喜先生の画業	"	"	1285	大特集 大友克洋の 衝撃 私が見る大友 克洋	" "	
トビックス 大津英 敏、初のバリ個展開 催	小森佳代子	美術の窓	340	1 1979年の大友 克洋	山本 直樹	
水墨の最前線5 淡 い墨のグラデーショ ンの下に「毒」を潜め る 大塚怜美	野地耕一郎	水墨画*	275	2 日本人には作 れなかった距離感	中島 哲也	
				3 いきなりアシ スタントですか?	高寺 彰彦	
				SPECIAL FEATURE 大友克洋 Genga 展	美術手帖	967
				『AKIRA』全ページ と原画3000点公開 !	内田 伸一	
				名和晃平が見る Genga 展	名和 晃平	

マンガが内破される瞬間	高橋 瑞木				日々好日 NiHOn-gA?	大野 廣子	新美術新聞	1275
マンガの地平広がった メビウスさんを悼む	大友 克洋	朝 日	4.4		茶話マンガ 幼いころの夢と不安と[大庭賢哉]	伊藤 剛	朝日夕刊	5.26
大友克洋の原画一挙 3000枚展示 壮大な想像世界「震災復興の糧に」	富田 律之	日経夕刊	4.23		日々好日 深夜の愉しみ	大場 再生	新美術新聞	1272
わたしの宝もの81 料理—遊び—芸術	大成 哲	新美術新聞	1273		追悼抄 漆芸家(人間国宝) 大場松魚(本名・勝雄)さん「職人」称し作業に没頭	三歩一真希	読売夕刊	8.25
インタビュー 豊福知徳氏に聞く	建畠大成 開き手	哲、浩	連盟ニュース	442	大庭大介連載対談「ペインティングの可能性」		ファウンテン	
九段下ビルの壁画保存へ 仏芸術家復興願い描く 解体業者も協力 最後の住人「美術館に」[大西信之]	小国 智宏	東 京	2.1		第2回 川上幸之介			2
「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[大西麻貴]	高野 清見	読 売	12.20		第3回 大野智史 梅津庸一			3
Limited Nature(テキスタイル)	大野 亜紀	多摩美術大学研究紀要	26		逆境から跳んだ虎の画家 孤高の巨匠、大橋翠石の生涯たどり再評価	村田 隆志	日 経	4.23
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 福王寺法林先生を偲ぶ	大野 逸男	新美術新聞	1277		フェイス21世紀155 大原央聡 重圧や重力から少し解放されたかたち	窪田 元彦	新美術新聞	1268
大野一雄の手の動き—『O氏の肖像』と『ラ・アルヘンチーナ頌』の映像分析—	藤田 明史	人文論究	62—3		大樋長左衛門 2010—2011年 作品の解説	大樋長左衛門	金沢学院大学紀要*	10
舞踏における「重力」—土方巽と大野一雄による身体表現の共通点と差異—	〃	美学論究	27		大樋十二景	〃	淡 交	812~824
大庭大介連載対談「ペインティングの可能性」第3回 大野智史 梅津庸一		ファウンテン	3		文化勲章受章 大樋長左衛門氏に聞く	十代大樋長左衛門 孝一 森 聞き手	陶 説	707
アトリエ訪問 大野俊明—人物から風景へ、古典との対話を進めながら、洋風リアリズムと論理的な空間構成を意識しつつ達した、鮮やかな色彩としなやかな線、そしてゆったりとした構成。それは現代日本画のひとつの形態と思われる	原田 平作	美術フォーラム21	25		日々好日 旅	大見 伸	新美術新聞	1280
『大日本魚類画集』の「解説」の再録Ⅱ[大野麥風]	田島奈都子	姫路市立美術館研究紀要	12		INFORMATION VOICE 3.11後の写真表現を問う 写真家は東北で何を見たのか?(上、下)	大森 克己	美術手帖	962,963
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 129 大野淑嵩 華巖	天野 一夫	美術手帖	967		大森克己写真展「すべて初めて起こる」ものを「見る」行為を疑って		産 経	1.12
					本よみうり堂 文・千葉惣次、写真・大屋孝雄「東北の伝承切り紙」	湯本香樹実	読 売	10.14
					青春ブレイバック 日本画家大藪雅孝 善通寺での原体験、仏神への強い意識	窪田 元彦	新美術新聞	1292
					香川文化考 風土が育んだ美術家たち 大藪雅孝/木村素子/藤澤珠玉		美術屋・百兵衛	20

特集 ジョン・ケー ジ 鳴り続ける〈音 生誕一〇〇年/没後 二〇年 音楽のアス テリズム ☆チェス ときのこは☆顔見知 りの挨拶を交わす	大山エンリ コイサム	ユリイカ	617	宇佐見圭司インタビ ュー	林 道郎 松浦 寿夫 岡崎乾二郎	〃	〃	
特集 横尾忠則 ア ンファンテリブルの みる夢 天地縦横無 辺のフィギュール	横尾 忠則 大山エンリ コイサム 聞き手	〃	618	ジャクソン・ポロッ ク再考	岡崎乾二郎 松浦 寿夫	〃	〃	
批評 レター・レイ サーズーラメルジー と武装文字の空気力 学	大山エンリ コイサム	R E A R	28	特集一九〇〇年パ リ万国博覧会出品作 (四) 紹美栄祐「嵐 山宇治川図花瓶」な らびに岡崎雪聲「田 村磨置物」について	五味 聖	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17	
特集 アートの力を 考える! PART 3 大山和子 それで、 オブティミスト	大山 和子	美術の窓	348	S&O DESIGN のコ ンティニュアスデザ イン[岡田栄造]	土田 貴宏	A X I S	159	
研究報告 岡鹿之助 《セーヌ河畔》、1927 年のパリ風景	貝塚 健	ブリヂス トン・石 橋美術館 報*	60	岡田三郎助《水浴の 前》—「理想画」にお ける花の象徴性—	高山 百合	美術史	172	
王宮の四季を日本画 で表現 ソウルで展 覧会[岡信孝]		朝 日	10.11	佐賀文化考 日本女 性の美を描いた色彩 の画家 岡田三郎助		美術屋・ 百兵衛	23	
特集 蛭川実花 映 画『ヘルタースケル ター』の世界 〈女 優〉の表象		ユリイカ	612	特集 染織コレクシ ョンの形成 コラム 岡田三郎助の染織品 コレクション	水上嘉代子	歴 博	174	
下題上[ヘルター スケルター] 岡 崎京子と蛭川実花 をめぐる、二つの 「ヘルタースケル ター」と五人の女 優	榎木 野衣			愛知県立芸術大学芸 術資料館蔵品紹介 (36)	岡田 修二	愛知県立 芸術大学 紀要	41	
岡崎京子から蛭川 実花へと受け継が れるもの 映画 『ヘルタースケル ター』にみる岡崎京 子の世界	杉本 章吾			懐かしい童謡・唱歌 の世界を絵にする	岡田 潤	水墨画*	275	
思い出す本忘れない 本 みんな主役でみ んなワキ役 カトゥ ーンズ 岡崎京子 (著)	しまおまほ	朝 日	6.3	お手本画&秀作集 其ノ十二 岡田潤 《Kenji》	〃	〃	277	
活字の海で 漫画家 ・岡崎京子の軌跡 再評価試みる書籍相 次ぐ	諸岡 良宣	日 経	9.2	特集 デッサン力を 磨く ⑧技法講座 VOL. 25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 岡田高弘 形を とらえる:水彩・パ ステルで動きのある デッサンを	岡田 高弘 談	美術の窓	340	
トピック 岡崎京子 輝き増す現代性 映 画化、関連書籍の刊 行相次ぐ	待田 晋哉	読 売	7.20	武田薬品研修所の全 体景と石庭—九山八 海の庭—	岡田 憲久	名古屋造 形大学紀 要	18	
特集1 石子順造 座談会 キッチュと は何か、あるいは 〈価値真空状態〉の芸 術—石子順造を読む	成相 肇 岡崎乾二郎 林 道郎 松浦 寿夫	ART TRACE PRESS	2	自邸は曼荼羅、増殖 中「ウルトラパロ ック」に着想、タイ ルで異文化融合	尾形 優	日 経	12.3	
				歌舞伎を絵本にしち やいました[岡田嘉 夫]	橋本 治	芸術新潮	751	
				うどんのうーやん 岡田よしとか・作 ストーリーは波瀾万 丈	篠原 知存	産 経	11.11	
				マンガ最前線 岡田 屋鉄蔵著『ひらひら 国芳一門浮世譚』 はつらつ浮世絵師列 伝	細萱 敦	東京夕刊	6.5	

平成24年定期刊行物所載文献(近/作オ)

江戸博蔵めぐり 日本一ノ画噺[えばなし] モダンな絵、はやりの装丁[岡野栄]	楯石もも子	読 売	9.7	新美術時評 岡本太郎生誕百年を見送る	光田 ゆり	新美術新聞	1268
本の舞台裏 認知症の母との時間[岡野雄一]	高橋美佐子	朝 日	9.22	岡本太郎の「光琳論」―「前衛」の流行と展開―	志賀 祐紀	美術史論集	12
作家通信 元気のヒミツ 無事は貴人	岡原 大峯	水墨画*	279	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 070 岡本太郎 傷ましき腕	仲野 泰生	美術手帖	967
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 岡原大峯 秋日和	"	"	282	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術渋谷駅設置から3年半 岡本太郎「明日の神話」保全作業		美術の窓	345
森ニイマス 美術と教育一ふたつのアート・プロジェクト	岡部 昌生	札幌大谷大学紀要*	42	東京文化考Ⅱ 東京のパブリックアートとランドマーク[岡本太郎]		美術屋・百兵衛	22
洋画家・岡村泰成		美術屋・百兵衛	22	美の履歴書272 海獣が意味するものは「森の掟」 岡本太郎	西岡 一正	朝日夕刊	9.19
わたしたちの教室へようこそ	小林 東雲 岡村 南紅	水墨画*	275	1年分の大掃除 岡本太郎氏の巨大壁画		産 経	10.28
ようこそ、新しい先生 06 岡村寛生	岡村 寛生	瓜生通信	55	こどもの城 15年3月末閉館 どうなるのこどもの樹 岡本太郎さん作「大衆」と行政に問う	小杉 佳奈	東京	10.22
本よみうり堂 ビタミンBOOK 不完全だからこそ損しない[岡村泰之]	益田 ミリ	読 売	10.14	熱気球[岡本太郎]		"	10.28
岡本一平による思想の集大成としての漫俳運動	角田 晴美	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	2	足あと「かの子擦乱」 岡本家の私の部屋	瀬戸内寂聴	東京夕刊	12.12
岡本一平「新水や空俳優の部」―出版物と早稲田大学坪内博士記念博物館所蔵の原画	菊地 由花	美濃加茂市民ミュージアム 紀要	11	入門講座「東北」への誘い 4 岡本太郎が見た生命力 鎮魂と供養のために	赤坂 憲雄	日経夕刊	3.22
コミック 山賊ダイアリー1 岡本健太郎(作) リアル猟師奮闘記 普通に暮らし鳥獣を食べる	南 信長	朝 日	1.8	美・コレクション「祭」後も「地道に鮮烈」 岡本太郎「装える戦士」	岸 桂子	毎日	6.13
茶話マンガ 楽しくておいしい狩猟[岡本健太郎]	伊藤 剛	朝日夕刊	12.1	江戸博蔵めぐり 太陽の塔絵はがき よみがえる「黄金の顔」[岡本太郎]	松井かおる	読 売	2.17
座談会「唐津焼の未来」を語る	岡本 梶原 鈴木 由紀夫、中里 自然坊、中里 太郎右衛門 森 孝一 司会	陶 説	706	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 051 岡本唐貴 争議団の工場襲撃	喜多 孝臣	美術手帖	967
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫上[岡本神草]	小川 敦生	日 経	4.22	写真の流通とジャンルの横断―岡本東洋の「美術資料写真」「生態写真」「観光宣伝写真」に注目して	高橋 千晶	大正イマジユリイ	7
岡本太郎と宮本常一の写真と文章からみるオシラサマ観についての考察	中野 泰生	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	2	薩摩藩のガラス技法書について(7)	岡本 文一	明星大学研究紀要	20

野見山暁治 絵とことば きょうも描いて、あしたも描いて、90年。90年のはなし 描きつづけるエトランゼのあゆみ	野見山暁治 小川 格 聞き手	ユリイカ	613	小木曾登 2010-2011 金箔上のアクリル絵具およびメディウムの定着追求	小木曾 登	金沢学院 大学紀要*	10
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 034 小川芋銭 夕風	足立 元	美術手帖	967	特集 模写から学ぶ 絵画の技法 CASE 3 小木曾誠 大学院での模写の授業実践を例に	"	美術の窓	349
茨城県近代美術館所蔵作品から 小川芋銭「野狐禪」	舟木 力英	遊 美	69	コミック ジジゴク 1 沖田次雄(作) 老極道の衰えない反骨精神	南 信長	朝 日	4.8
芋銭の顔 隠し絵か山の部分 鼻・口に		読売夕刊	10.5	コミック 毎日やらかしてます。 沖田×華(作) 発達障害の日常カラッと	山脇 麻生	"	6.10
小川一眞の「光筆画」—美術品複製の極み	岡塚 章子	近代画説	21	点描画「奥の細道」時空旅 芭蕉の足跡たどり、荘厳な光景を光の点で	沖津 信也	日 経	6.22
小川一眞印刷・発行による『日露戦役写真帖』『日露戦役海軍写真帖』について	"	東京都江戸東京博物館紀要	2	荻原守衛の「生命の芸術」	武井 敏	ART LIBRARY	13
小川幸治さん文京で絵画展 三匹獅子舞に魅せられて 庶民が守る芸能「自由で面白い」	竹上 順子	東 京	12.23	100年後の未来にバトンタッチ! 保存と修理情報11 荻原守衛作「女」のブロンズ像公開	神庭 信幸	東京国立博物館ニユース	713
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち01 小川真治「ありうるかもしれない」世界の現出	平芳 幸浩	美術手帖	974	荻原守衛《女》におけるミケランジェロの影響	丸尾 リサ	美術運動史研究会ニユース	128
特集 模写から学ぶ 絵画の技法 もうひとつの「模写」—世界の断片としての絵画	小川 信治	美術の窓	349	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 012 荻原守衛 女	千田 敬一	美術手帖	967
コツをおさえて描く花の水墨画速習帖2、5、8	小川 夕星	水墨画*	278、281、284	荻原守衛・青春日記(十・最終回)『つくまのなべ』—新注釈つき—	榊原 好恭	碌山美術館報	32
第25回奨学者のレポート 裏山から月へ	小川 直樹	アクリラート(別冊)	2012	美術講座 ストーブを囲んで《北條虎吉像》を語る[荻原守衛]	柳沢 武井	廣 敏	" "
茶話マンガ 少年の心を繊細に描写[小川麻衣子]	伊藤 剛	朝日夕刊	8.25	荻原守衛の未発表書簡 翻刻と注釈	武井 敏	"	"
特集2 現代陶芸と造形		R E A R	27	高山辰雄と奥田元宋生誕100年 ふたりの日本画家に思う—自然と人間を起点に良きライバルとして	野地耕一郎	新美術新聞	1299
レポート: 対談「作家の見た小川待子」李禹煥×小川待子 『二つのはじめの一步』	安藤 雅信			座談会「第四十四回 日展審査を終えて—魅力ある日展に向けて—」	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 奥田小由女、 岩倉 寿、 塗師 祥一郎、 市村 緑郎、 新井 光風、 森協 正人	日展ニユース	147
《連載》戦時下日本の美術家たち 第48、49回 小川原脩(1、2)	飯野 正仁	あいだ	189、190				



樹木の一年写真で凝縮 北海道に自生する150種、輝く命をカラージュに

奥田 實 日 経 2.28

エクス=アン=プロヴァンスのアトリエ

奥谷 博 新美術新聞 1280

11・6-8 国立京都国際会館 世界遺産条約採択40周年記念最終会合が開催 奥谷博氏の世界遺産作品が展示される 奥谷博画伯と世界遺産

松浦晃一郎 " 1297

特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 奥谷博

高山 淳 美術の窓 348

綴じ込み カイカイキキギャラリー「A Nightmare Is A Dream Come True: Anime Expressionist Painting」展を開催! 参加作家による座談会 カオス\*ラウンジの後、僕はどこをを目指すのか

S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr. 美術手帖 967

特輯 女性画家 図版七 奥原晴湖筆 春色嬌艶図

児島 薫 国 華 1397

奥原晴湖画室「繡水草堂」復元模型

加藤 誠洋 泉 石 10

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 086 奥村土牛 遅日

古田 亮 美術手帖 967

水墨の最前線12 墨の効果で生み出された桃源郷の世界 奥村美佳

立島 恵 水墨画\* 282

特集 デッサン力を磨く 秘技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 実践編 人気作家が教えるデッサンのコツ 奥村美佳 画面の奥行きを意識した風景スケッチ

奥村 美佳 美術の窓 340

評論の眼 奥村雄樹「ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー」(「東京藝術大学大学院美術研究科博士審査展2011」より)

小金沢 智 ギャラリー 321

WORLD NEWS ワルシャワ グローバルなマーケットに連動し成長中! ワルシャワのアートシーン [奥村雄樹]

藤高 晃右 美術手帖 971

SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌—謎めく美しき世界 MESSAGE アーティストが語るジョジョ03 奥村雄樹

奥村 雄樹 " 975

レビュー 奥村雄樹《ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー》上映会+トーク

石崎 尚 R E A R 28

特集3 所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」—工芸館の漆工コレクションから— 天然漆の特性と表現—《乾漆割貝蒔絵飾箱 半夏生》について—

小椋 範彦 現代の眼 597

絶滅危惧種かもしれない画家として 白川昌生とイルコモンズの対談を読んで

尾崎 愛明 あいだ 189

INFORMATION EVENT 日本発の油絵展を浅草寺境内に再現 よってらっしゃいみてらっしゃい! 浅草寺でお茶を飲みながら油絵を油絵茶屋再現 [小沢剛]

福住 廉 美術手帖 962

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術日本で初めて油絵展示が行われた場を再現「油絵茶屋再現」東京・浅草寺で盛況 [小沢剛]

美術の窓 340

4 [読ん]で知るアート 食と現代アート 食が生み出す「関係性の美学」[小沢剛]

岡部あおみ 朝日夕刊 5.30

3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[小沢剛]

小川 敦生 日 経 3.10

磁器に関する「表現技法」を求めて スイス、ニヨン磁器の歴史博物館での展示より

小塩 薫 名古屋造形大学紀要 18

フェイス21世紀166 押元一敏 研ぎ澄むフォルム 際立つ造形の美

和田 圭介 新美術新聞 1298

特集 拡大・縮小美術館 インタビュー 切り絵師・尾関幹人 紙とカッターで作出す「身体[BODY]」

尾関 幹人 美術の窓 350

文化の扉 はじめての ONE PIECE 「友情・努力・勝利」王道を行く 年重ねて分かる良さも[尾田栄一郎]

中村真理子 朝 日 1.30

ONE PIECE 止まらぬ快進撃[尾田栄一郎]

溝上 健良 産 経 4.5

作家訪問427 九谷焼作家 織田恵美さん

編 集 部 目 の 眼 429

A La Meiji - mura 板戸の絵に注目[織田杏斎]

明治村だより 67

追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ

長谷川徳七 大津英敏 鷹山ひばり 有江俊哉 林修 田中良 伊庭新太郎 大隈武夫 吉野毅 月館れい 末光利夫 須藤愛子

新美術新聞 1285

追悼 織田廣喜先生を悼む

伊庭新太郎 連盟ニュース 444

お手本画&秀作集 其ノ十一 小田柿寿郎《通りの商店》

小田柿寿郎 水墨画\* 276

ブロック報告 四国ブロック 芸術祭以後の四国・瀬戸内[小谷元彦]

中田 耕市 ZENBI 1

INFORMATION MOVIE Cocco×塚本晋也新作映画 親愛なる内なるストーカー「KOTOKO」

小谷 元彦 美術手帖 967

特集2 「現代の座標—工芸をめぐる11の思考—」について 満たされた光—ガラスを通して見えてくるもの—

小田橋昌代 現代の眼 596

新聞錦絵の絵画的表現—恵斎芳幾による「東京日日新聞」を中心に—[落合芳幾]

原山 詠子 美学論究 27

資料報告 仮名垣魯文・文 落合芳幾・画 心学身之要慎

小川祐貴子 明治大学博物館研究報告 17

日々好日 饅頭茶漬

小堤 良一 新美術新聞 1293

特集 拡大・縮小美術館 立体編 小野耕石 版画の技法から立体を生み出す

美術の窓 350

あすから「第31回 損保ジャパン美術財団 選抜奨励展」 平面作品部門 損保ジャパン美術賞 小野さおり氏「ハジマリノザワザワ」 大きな存在の自然と一緒に

小野さおり 産 経 3.2

小野佐世男書誌掲載リスト

吉田 成志 川崎市岡本太郎美術館研究紀要 2

わたしの宝もの89 故郷のキオク

小野 仁良 新美術新聞 1295

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 063 小野忠重 瓦斯工場

滝沢 恭司 美術手帖 967

特集 模写から学ぶ 絵画の技法 CASE 4 小野月世 水彩画の模写

小野 月世 美術の窓 349

総特集 永野護『ファイブスター物語 [ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴディックメード』の衝撃 エフェメラルに、エターナルに 肩、袖、腰… ラインが語り出す物語

蘆田 裕史 小野 原誠 ユリイカ 619

ブロック報告 中国ブロック 広島から発信する、オノ・ヨーコの新作メッセージ

神谷 幸江 ZENBI 1

特集 ジョン・ケージ 鳴り続ける〈音〉 生誕一〇〇年/没後二〇年 ジャパン・ミックス 沈黙と真空 ジョン・ケージを批判するオノ・ヨーコ

木村 覚 ユリイカ 617

「書」の販売で震災孤児支援 オノ・ヨーコさん

産 経 2.12

震災遺児に「夢」を オノ・ヨーコさんの書販売

毎日夕刊 2.13

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 084 オノサト・トシノブ 黒白の丸

横山 勝彦 美術手帖 967

佳作賞展 自由美術 佳作賞展を観て

小野田志津代 自由美術 2012

あすから「第31回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」立体作品部門 新作優秀賞 小野寺英克氏「空に溶け込む動物2」ネズミをモチーフに

小野寺英克 産 経 3.2

みんなのマンガ学 こどものおもちゃ 子どもの気持ちに寄り添う[小花美穂]

倉持佳代子 朝日夕刊 2.23

『寛海魚譜』について 小濱亜由美

鹿児島大学総合研究博物館 ニュース\* 31

特集 模写から学ぶ 絵画の技法 CASE 2 小尾修 ルーヴル美術館でのレンブラント模写

小尾 修 美術の窓 349

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 060 小茂田青樹 虫魚画巻(部分)「夜霧」

野地耕一郎 美術手帖 967

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 112 小山田二郎 鳥女

原田 光 " "

横尾忠則 ラッピング電車 故郷を走る 横尾忠則ほか著[織作峰子]

日 経 12.16

第14回岡本太郎賞受賞 オル太 インタビュー

内田 伸一 たまび 57

特集 大正時代の版画誌『月映[つくはえ]』の青春 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎

版画芸術 157

『月映』前史一回覧 雑誌『密室』から私輯『月映』まで

公刊『月映』の木版画

『月映』その後

『月映』という宇宙 井上 芳子

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 019 恩地孝四郎 あかるい時

西山 純子 美術手帖 967

詩と版画の融合試み 抽象絵画の意義主張 現代美術のパイオニア 恩地孝四郎

桑原 規子 東京夕刊 10.31

近代美術の眼 あるヴァイオリニストの印象(諏訪根自子像) 大胆に「天才」を表現[恩地孝四郎]

保坂健二朗 読 売 6.15

# (カ)

惜別 海道園男さんを偲んで

森田 六男 主体美術 92

第六十五回全国大会 研究発表要旨 大正期におけるレオナルド・ダ・ヴィンチの受容の側面—甲斐庄楠音を中心に—

富田真理子 美術史 173

美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 中[甲斐庄楠音]

小川 敦生 日 経 4.29

加賀屋武 1953-2012 の仕事 60年に及ぶ 創作活動の記録第1〜3回

ギャラリー 330〜332

昭和初期に出品された同時代女性像の成立背景の考察—鍋木清方門下の作品を中心に—[柿内青葉]

矢頭英理子 鹿島美術財団年報・別冊 29

特集 アートの力を考える! PART 3 垣内宣子 愛する風景

刃刀 知子 美術の窓 348

マネキンに意匠着せる 時代の息吹を反映、300体を超える原型制作

欠田 誠 日 経 2.3

夢二と彦乃の作品同時寄贈 金沢へ肉筆画など150点[笠井彦乃]

田嶋 豊 東京夕刊 1.21

フォーカス・アイ 笠井正博 「光」に満ちた静謐なブルー

栗本 寛子 版画芸術 156

キュレトリアル・スタディーズ04 笠原恵実子—inside/outside—新収蔵品を中心に

牧口 千夏 京都国立近代美術館研究論集 4

水墨の最前線13 夜の水面そのものになるまで墨を塗りこむ 梶岡俊幸

野地耕一郎 水墨画\* 283

特集 耽美な世界へようこそ 檜木知子

檜木 知子 美術の窓 342

フランス寓話と浮世絵 P.バルブトの挿絵本たち[梶田半古]

高山 晶 国立国会図書館月報 612

資料研究 梶田半古筆「釈迦帰郷」について

浦木 賢治 埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要 6

座談会「唐津焼の未来」を語る	岡本 作礼、梶原靖元、坂本直樹、鈴木由紀夫、中川自然坊、中里太郎右衛門 孝一 森司会	陶 説	706	思うままに クライスバーグの芸術 自然破壊を告発[加藤昭男]	梅原 猛	東京夕刊	2. 27
見ること、描くことの諸相 山本大貴と柏本龍太		芸術新潮	755	展覧会時評 ex-chamber museum-offline 第2回 「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻[加藤泉]	幕内 政治	ファウンテン	2
THIS IS A FILM 一 柏原えつとむの映像作品一	森下 明彦	国立国際美術館ニュース	193	丁亥印社リレー投稿 8 売印生活のスヌ	加藤 雨人	書道界	276
「社会化された女性像」の記号化 一梶原緋佐子の大正期作品にみられる「口を開く女」から「老いへ」	尾崎 真人	京都市美術館年報	H22年度	陶と花	加藤 清之	陶 説	711
追悼・片岡伸介氏 片岡伸介抄	中山 忠彦	新美術新聞	1279	ミロが絶賛した加藤重高作の花瓶	鶴 勲	"	713
義足を越える私の存在 若手発掘のアート展グランプリ・片山さん[片山真理]	大西 若人	朝 日	5. 22	お手本画&秀作集 其ノ十一 嘉藤大峻 《堀川遊覧》	嘉藤 大峻	水墨画*	276
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 088 香月泰男 水鏡	牧野研一郎	美術手帖	967	青春プレイバック 彫刻家加藤豊 彫刻家への階段を一步一步	窪田 元彦	新美術新聞	1287
ぎやらいいモール ちひろ美術館・東京「ちひろと香月泰男」から「父と子」 香月泰男	松方 路子	読売夕刊	4. 3	加藤芳信の3. 11ジャポニスム曼荼羅 第1〜6回		ギャラリー一*	322〜327
味わいのある作風に光 漫画家・故勝又進氏の2作品集	(間)	東京夕刊	3. 1	文人清遊 香取秀真と入山辺	細萱 禮子	松本市美術館紀要 エクラン	3
所蔵品紹介224 鋭角からの円-Ring Sun 勝本富士雄		石川県立美術館だより	343	第43回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 日展に入選、そこで見えたもの	金井 大輔	日展ニュース	144
特集 拡大・縮小美術館 絵画編 桂典子 ほとばしる生命の集合体		美術の窓	350	内田百閒特集		実践女子大学文芸資料研究所年報	別冊13
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 071 桂ゆき 作品	光田 由里	美術手帖	967	画本『冥途』について	金井田英津子		
お手本画&秀作集 其ノ十五 門紀美子 《佳き日》	門 紀美子	水墨画*	280	座談会「ことばと映像、そして内田百閒の文学のことなど」	金井田英津子 栗原 敦、河野 龍也 聞き手		
照明器具デザイン一 あかりの提案一	小井土 満 谷 浩二 角 文平	武蔵野美術大学研究紀要	42	特別企画「百閒先生の思い出」一新資料・第二十一回 摩阿陀会録音テープ翻刻一	金井田英津子、多田 杉彦、多田 毅、栗原 敦、河野 龍也 聞き手		
				お手本画&秀作集 其ノ十四 金澤徹 《播州秋祭り》	金澤 徹	水墨画*	279
				神戸ビエンナーレ アート イン コンテナ国際展奨励賞受賞作品「Polyphonic Jump!」における芸術表現構造としてのファンタジー性 制作ノート	金澤麻由子	横浜美術大学 教育・研究紀要	2

インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.4 金丸悠児		ギャラリー一*	331	ひと「石垣焼」の世界進出を目指す陶芸家 金子晴彦さん	竹谷 俊之 朝 日	1.7
フェイス21世紀158 金丸悠児 古代の記憶がつむぎ奏でる生命の讃歌	和田 圭介	新美術新聞	1276	東京都写真美術館寄贈の金坂健二写真作品・写真資料、映像作品および関係資料について	遠藤みゆき 金子隆一 田坂博子	東京都写真美術館 紀要 11
日々好日 悠久の宙	金森 良泰	"	1298	金重有邦 ひいきのひきたおし	中野 徹 陶 説	708
学芸員の視点 金山平三のひとと芸術—今後のために—	西田 桐子 相良 周作	ART RAMBLE	35	菊池寛実記念智美術館「金重有邦 生まれてくるもの」展に寄せて 金重有邦作陶概観—十年の創意	花里 麻理	" "
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 IX[金山平三]	佐藤 一郎 木島隆康 桐野文良 土屋裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鐘旭	東京芸術大学美術学部紀要	50	戌も歩けば beau(ボー)に当たる 第二十九回 土の行者 [金重有邦]	竹田 博志	美術の窓 342
中特集 心の風景 金山平三 原風景		美術の窓	349	交遊抄 ラスクの縁 [金田石城]	原田 義人 日 経	5.15
文化往来 金山平三、風景画以外の魅力も紹介		日 経	5.10	あすから「第31回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」 立体作品部門 新作秀作賞 金巻芳俊氏「刻・廻ディレクマ」人間の迷い、感情表現	金巻 芳俊 産 経	3.2
収蔵作品から 金山康喜《食前の祈り》	杉野 秀樹	ど お む	118	第25回奨学者のレポート 描く事、旗越え	鹿野震一郎	アクリラート(別冊) 2012
戦中から戦後へ作家をたどる 9 高田博厚、木内克および金山康喜、野見山暁治	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	129	特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 鹿野震一郎	清水 敏男	美術の窓 344
SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛歌—謎めく美しき世界 MESSAGE アーティストが語るジョジョ01 金氏徹平	金氏 徹平	美術手帖	975	わたしたちの教室へようこそ	狩野 紘信 高橋 英男	水墨画* 276
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 037 金子九平次 C嬢の像	田中 修二	"	967	狩野晴阜研究 序	関根 佳織	下関市立美術館研究紀要 13
吉田初三郎・金子常光の鳥瞰図等について—平成23年度購入資料の紹介—	佐藤 良宣	青森県立郷土館研究紀要	36	フランス寓話と浮世絵 P.バルブトの挿絵本たち[狩野友信]	高山 晶	国立国会図書館月報 612
江戸博蔵めぐり 東京山手急行電鉄線路図 幻の第2「山手線」計画[金子常光]	沓沢 博行	読 売	6.8	狩野芳崖の後期作品とフェノロサ	石田 智子	東アジア文化交渉研究 5
スペインの初等美術教育—現地調査をもとにして—	金子 亨 佐藤みちる	東京学芸大学紀要	64	美の美 マドンナの系譜3 [狩野芳崖]	窪田 直子 日 経	5.27
素描に関する一考察—リアリズム絵画を中心に—	金子 亨 速水敬一郎 西川 正恒 村辺奈々恵 佐藤みちる	" "	" "	近代美術の眼 仁王捉鬼図 西洋の色彩 新たな日本画[狩野芳崖]	鶴見 香織	読 売 11.9
作家通信 ガロン第2回展「日本背景」	金子 朋樹	水墨画*	278	鍋木清方の「社会画」をめぐって—美人画家えがく麗しき文明批評	篠原 聡	美術運動史研究会 ニュース 130

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 056 楠木清方 三遊亭円朝像	角田 拓朗	美術手帖	967	作家通信 玉堂・江中師弟展に思う[川合玉堂]	宇佐美江中	水墨画*	276
ひとえきがたり 仏生山駅 整備士気質写真に刻む[GABOMI]	辻村 碧	朝日夕刊	11.6	丁亥印社リレー投稿7 資料紹介 河井荃蘆「背臨鏡盤名」について	川内 伯豊	書道界	275
車両再生工場の営み写真集に GABOMI さん『こととん』	手塚さや香	毎日夕刊	10.18	震災モチーフ大賞に受賞の2人「いま描かないと」都美術館と上野の森美術館[川井雅樹]	川崎 宏三	東京	5.9
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 秋田の院展にお伴して	鎌倉 秀雄	新美術新聞	1277	川内倫子 照度 あめつち 影を見る	石田 哲郎 聞き手	EYES	73
国際野外制作会(ロシア)—シベリアの大地に立って—	鎌田 俊夫	連盟ニュース	444	川内倫子が見た丹波やきものと布、めぐる命	川内 倫子	芸術新潮	749
香川文化考 水墨画家・釜野みわ(芝映)		美術屋・百兵衛	20	川内倫子 写真を生きたる	鈴木 理策	〃	751
カバーインタビュー／トラフ建築設計事務所[禿真哉]	谷口真佐子、 編集 集部 インタビュー・文	A X I S	155	ARTIST INTERVIEW 川内倫子	能勢 陽子	美術手帖	971
〈亀井家伝来資料〉の概要と意義[亀井至一]	中山 恵理	郡山市立美術館研究紀要	7	SPECIAL FEATURE 奈良美智 SPECIAL PHOTO SESSION	川内 倫子	〃	973
特集 耽美的な世界へようこそ 濃密な時間 亀井徹	亀井 徹	美術の窓	342	視線 照度あめつち 影をみる 川内倫子 著	保坂健二朗	朝日	6.3
制作ノート 地震後美術	亀井 佑二	武蔵野美術大学研究紀要	42	特集 人物をいかして生き生きした風景画を制作する	川浦みさき	水墨画*	283
AFRIKA WAR JOURNAL 亀山亮	(存)	産経	11.24	大庭大介連載対談「ペインティングの可能性」第2回 川上幸之介		ファウンテン	2
所蔵品紹介227 ETUDE(A) 鴨居玲		石川県立美術館だより	347	新・旧刊案内[川上冬崖]	青木 茂	一寸	
新人賞展 深谷榮樹氏の作品について	嘉屋重順子	自由美術	2012	49 いわゆる「黄遵憲事件」と冬崖の死			49
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 121 加山又造 春秋波瀾	勝山 滋	美術手帖	967	50 陸軍省の冬崖・川上寛			50
みんなのマンガ学 怪奇版画男 すべて版画、真摯な情熱[唐沢なをき]	表 智之	朝日夕刊	3.29	51 二万分之一迅速図と冬崖の死			51
コミック 強風記 カラスヤサトシ(作) 三文文士の笑い泣きの人生	南 信長	朝日	9.16	pop style vol.324 石本藤雄 自然と想像の融合 デザイナーが語る作品の魅力	市原 尚士 皆川 元美	読売夕刊	11.7
学生企画 芸術とかかわって暮らす こだわらない、というコンセプトを持つ	かわこうせい 談	瓜生通信	55	川喜田煉七郎の「型」の概念と「科学」「技術」—家具の標準化から—	敷田 弘子	美学	240
祝 画業二十五周年 絵師 河合絵一		美術屋・百兵衛	21	海外通信 @パリ 時を越え異邦人が競演 バレンシアガ展 コム・デ・ギャルソン展[川久保玲]	飯田 真美	朝日夕刊	9.26

「おもちゃ絵」本物の  
芸術 洒落な筆、ナ  
ニワの趣味人・川崎  
巨泉の実像追う

森田 俊雄 日 経 4.4

交遊抄 若者の道し  
るべ[川島猛]

平井 卓也 " 6.28

SPECIAL FEATURE  
奈良美智 MESSAGE  
1 奈良美智の魅力  
恩師・友人が語る！  
川島秀明

岡澤浩太郎 美術手帖 973  
構成

川島理一郎の東アジ  
ア旅行と「旅人の眼」

蔡 家丘 近代画説 21

砧が一番！

川瀬 忍 陶 説 707

学芸員ノート 川瀬  
巴水と埼玉

浦木 賢治 埼玉県立  
歴史と民俗の博物  
館だより 18

美の履歴書283 水を  
描いた理由は「木  
場の夕暮」(「東京十  
二題」より) 川瀬巴  
水

増田 愛子 朝日夕刊 12.5

美の美 川瀬巴水—  
詩情の風景 上、中、  
下

吉田 俊宏 日 経 9.23、30、  
10.7

江戸博蔵めぐり 日  
本橋(夜明) 清澄な  
朝 すっきり美しく  
[川瀬巴水]

我妻 直美 読 売 6.22

時が流れる風景2、  
5、8

川添 早苗 水墨画\* 278、281、  
284

お手本画&秀作集  
其ノ十六 川添早苗  
《幽玄》

" " 281

第六十五回全国大会  
研究発表要旨 河鍋  
曉斎筆「地獄極楽め  
ぐり図」に見る転換  
期の追善供養—法隆  
寺天保出開帳、極楽  
行き列車、そして五  
代目尾上菊五郎—

曾田めぐみ 美術史 173

美の美 マドンナの  
系譜3 [河鍋曉斎]

窪田 直子 日 経 5.27

フランス寓話と浮世  
絵 P.バルブトーの  
挿絵本たち[河鍋曉  
翠]

高山 晶 国立国会  
図書館月報 612

〈川西英コレクション〉  
に見る、川西英と  
竹久夢二

山野 英嗣 京都国立  
近代美術館研究論  
集 4

川西英コレクション  
を調査して

金井 紀子 視 る 457

特集—一九〇〇年パ  
リ万国博覧会出品作  
(四) 川端玉章「四  
時ノ名勝」について  
—当初の屏風形式か  
ら探る制作意図—

斉藤 全人 三の丸尚  
蔵館年報・紀要 17

パーツから学ぶ 水  
墨画風景画独習帖  
第四〜六回

川端 豊次 水墨画\* 274〜276

作家通信 墨華—現  
代女流水墨画展—

" " 283

赤とんぼに異変感じ  
る

川幡 瑞穂 東京 10.16

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル！日本近  
代美術の傑作150  
057 川端龍子 草炎

加藤 弘子 美術手帖 967

お手本画&秀作集  
其ノ十五 川瀬水豊  
《路傍の譜》

川淵 水豊 水墨画\* 280

特輯 女性画家 図  
版十 河邊青蘭筆  
青緑松蔭楼観図

宮崎 法子 国 華 1397

川俣正「通路」—変転  
する制作と普遍的批  
評性—

山口 祥平 カリスタ 19

アートは問いかけか  
ら 世界中で制作、  
現地の人巻き込む  
美術家 川俣正さん

川俣 正 日経夕刊 11.21  
吉田 俊宏 聞き手

トピック タワーが  
時代を創る 隅田川  
から[川俣正]

読 売 4.13

特集 制作の現場か  
ら…「自作を語る」・  
II 自作を語る

川村 晃夫 自由美術 2012

心華雄録(一)[川村  
清雄]

丹尾 安典 一 寸 52

“油絵師”川村清雄の  
品格

芸術新潮 755

今月の一冊 国立国  
会図書館の蔵書から  
川村清雄 作品と其  
人物 画家への傾倒  
が書かせた本

藤田 壮介 国立国会  
図書館月報 613

川村清雄氏揮毫油絵  
展覧会日誌 ～資料  
の翻刻と解説～

落合 則子 東京都江  
戸東京博物  
館紀要 2

目は語る アート道  
遥 10月 在野の画  
家 川村清雄 激動  
の近代史照らし出す

高階 秀爾 毎日夕刊 10.25

江戸博蔵めぐり[川  
村清雄]

読 売

江戸城明渡の帰途  
(勝海舟江戸開城  
図) 背後狙う将  
官 生々しく

落合 則子 10.19

ジャポニスム欧州  
で流行 川村清雄  
宛マルティン・リ  
ーコ書簡

田中 裕二 11.16

川村清雄宛徳川家  
達書簡「兄」の恋  
に興味津々

落合 則子 11.23

二条城展から 徳川  
慶喜像 川村清雄画  
將軍の苦悩映す

早川 保夫 読売夕刊 8.22

昭和残る町 小菅  
魅力を語る 写真家  
の川村さん あす葛  
飾で講演「残した  
い光景を紹介」[川村  
容一]

村松権主磨 東京 9.7

「三国志」の人形一同  
に 川本喜八郎ギャ  
ラリー

毎日夕刊 6.19

美術学部教員展図録  
彫刻

神田 毎美 愛知県立  
芸術大学  
紀要 41

『風景と造形—素材  
・感動・想像・創造』

〃 〃 〃

「十勝の美術クロニ  
クル」展と日勝、お  
よびその周辺—雑感  
—[神田日勝]

藺部 容子 神田日勝  
記念美術  
館だより 29

寄稿文 神田日勝  
永遠の生命

吉田宏太郎 〃 30

作品「GRAPHIC  
WORKS 2011」

官能 右泰 秋田公立  
美術工芸  
短期大学  
紀要 16

特集 制作の現場か  
ら…「自作を語る」・  
II 自作を語る《ひ  
と》に夢中…

神庭 明 自由美術 2012

レポート墨 神戸智  
行イノセント・ワー  
ルド 太宰府天満宮  
アートプログラム  
vol.7

水墨画\* 277

# (キ)

コラム 菊竹清訓と  
盛岡

若松 信行 建築雑誌 1626

INFORMATION ME-  
MORIAL 追悼・菊竹  
清訓

藤村 龍至 美術手帖 965

前衛と伝統ひとつに  
建築家・菊竹清訓さ  
んを悼む

伊東 豊雄 朝 日 1.9

惜別 建築家 菊竹  
清訓 高度成長と歩  
み、都市の「新陳代  
謝」提唱

大西 若人 朝日夕刊 2.25

追悼 建築家 菊竹  
清訓氏 大胆な発想  
にいつも希望 天才  
型の衝撃デザイン

伊東 豊雄 産 経 1.11

内なる炎、論理で律  
す 建築家・菊竹清  
訓さんをしのぶ

内藤 廣 東京夕刊 1.16

菊竹清訓さんを悼む  
並外れた感性の人

伊東 豊雄 毎日夕刊 1.17

菊竹清訓氏を悼む  
60年代の建築 今も  
輝く

〃 読 売 1.10

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル!日本近  
代美術の傑作150  
052 菊池契月 桜

尾崎 眞人 美術手帖 967

この世界とわたしの  
どこか 日本の新進  
作家VOL.11 上  
菊池智子 葛藤、悩  
みに寄り添い描く

笠原美智子 東京夕刊 12.11

市がよい1~7

菊池 信義 目の眼 429~435

平成二十三(二〇一  
一)年度日本及び東  
洋美術の調査研究報  
告 論文 福井月斎  
縮図《容斎歴史畫譜》  
[菊池容斎]

中山 創太 関西大学  
博物館紀  
要 18

お手本画&秀作集  
其ノ十二 菊地喜三  
《松川浦風景》

菊地 喜三 水墨画\* 277

3・11後の創造力  
上 漫画「あったこ  
とを描くしかない」  
[喜国雅彦]

森本 昌彦 産 経 3.9

毎日芸術賞53回 画  
家 菊畑茂久馬

〃 1.12

第53回毎日芸術賞  
受賞者7人の業績  
画家 菊畑茂久馬さ  
ん 無類の新境地示  
す

三田 晴夫 毎 日 1.1

被災地支援広めたい  
毎日芸術賞 坂さん  
が抱負語る[菊畑茂  
久馬]

鈴木 英生 〃 1.26

毎日芸術賞の人々  
上 菊畑茂久馬さん  
堂々たる叙情をつか  
む

米本 浩二 毎日夕刊 1.10

アール・デコ 光の  
エレガンス 4 アマ  
ルリック・ワルター  
花文パフューム・ラ  
ンプ 子守唄のよう  
な懐かしさ

岸田 夏子 東京夕刊 7.20

《斎藤与里氏像》と岸  
田劉生の1913年

浅野 徹 愛知県美  
術館研究  
紀要 18

美人画 再見[岸田  
劉生]

日本美術  
新聞 5

第六十五回全国大会  
研究発表要旨 岸田  
劉生《童女舞姿》—造  
形と「画因」をめぐつ  
て—

田中純一朗 美術史 173



## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150  
020 岸田劉生 道路と土手と塀(切通之写生)

篠 雅廣 美術手帖 967

特集 アートの力を考える! PART 2  
きずな—再生美術の力 岸田劉生

美術の窓 348

東京文化考 岸田劉生 銀座生まれの銀座育ち

美術屋・百兵衛 21

中国通信 「満鉄總裁邸の庭」劉生、どこ描いた?

多田 俊明 美連協ニュース 116

岸田劉生の作品 51年ぶりに確認

朝日夕刊 3.28

岸田劉生の油彩 51年ぶりに発見

産 経 3.22

東京どんぶらこ 522 代々木 起伏が生んだ名画、名曲[岸田劉生]

山下 柚実 東 京 4.28

続・百年の手紙 20世紀の日本を生きた人々30 才能ある弟子への心遣い[岸田劉生]

梯 久美子 〃 8.27

予想上回る3600万円で落札[岸田劉生]

日 経 3.25

美の美 文人って何だ? 下 岸田劉生

宮川 匡司 〃 11.25

51年ぶりに発見の岸田作品高額落札

毎 日 3.25

日々好日 雪の向こうに

岸野 圭作 新美術新聞 1270

特集 アートの力を考える! PART 2  
きずな—再生美術の力 岸野圭作 安曇野

高山 淳 美術の窓 348

北川民次の絵画技法(2)—名古屋美術館所蔵作品の自然科学的調査—

白河歌田森田木島森田増田山田中鈴鴨富士杉原 宗利眞介恒之隆義之直人論元偉士朱美 愛知県立芸術大学紀要 41

今井兼次共同研究報告II

岸本 章 多摩美術大学研究紀要 26

ナルト親と過ごす幸せ 「NARUTO」原作者 岸本斉史 映画9作目を初主演 連載クライマックスへ

岩本 哲生 朝日夕刊 6.23

特集 アートの力を考える! PART 2  
きずな—再生美術の力 北久美子 花鳥曼荼羅

高山 淳 美術の窓 348

Book 木版画を卒業した木田安彦の集大成 一刀の無限 木田安彦版画集成

芸術新潮 752

一刀の無限 木田安彦木版画集成 木田安彦著

(け) 毎 日 9.9

本よみうり堂 木田安彦木版画集成「一刀の無限」

(未) 読 売 7.29

北川民次の絵画技法(2)—名古屋美術館所蔵作品の自然科学的調査—

白河歌田森田木島森田増田山田中鈴鴨富士杉原 宗利眞介恒之隆義之直人論元偉士朱美

愛知県立芸術大学紀要 41

この1点 北川民次《女の肖像》

NT Corridart 9

北園克衛発橋本平八書簡2 1931年から1935年まで

野田 尚稔 世田谷美術館紀要 13

特集 画材大百科 定番から新製品まで! 日本画 絵画用膠の転換期を考える

北田 克己 美術の窓 343

写真の飛躍 日本の新進作家展 VOL.10 中 34人分の眼力重ねる[北野謙]

丹羽 晴美 東京夕刊 1.17

questions 8 北野武

日 経 7.5

pop style vol. 300 北野武 鑑賞者試す仕掛け

村上 隆 読売夕刊 5.23

レポート墨 第15回岡本太郎現代美術賞展に北村章氏の巨大墨画が入選

水墨画\* 278

この人 女性として初めて大型ねぶたを制作 北村麻子さん色づかい 100%自分のカラーを出せた

中田 良太 東 京 8.2

特集3「織」を極める 北村武資—経錦

今井 陽子 現代の眼 592

現代の職匠 北村武資

小笠原小枝 視 る 456

SPECIAL FEATURE 超絶技巧!![北村辰夫]

美術手帖 974



特集 デッサン力を磨く ④技法講座  
VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 木原和敏 黒と木炭、鉛筆で女性の物思う雰囲気を出す

時代の証言者 人間を写す 田沼武能 [木村伊兵衛]

6 「雲上人」に弟子入り

7 会話30分 表情が自然に

8 2台のライカ 勝負は歴然

9 工場撮影 何でもやった

22 心の支え 木村先生逝く

第25回奨学者のレポート 自己を放す

第43回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一そして、これから

追憶の風景 反逆の書家[木村三山]

木村清兵衛と益田鈍翁による二席の燈心亭写し茶室一諦聴寺「花雲」と旧久邇宮別邸「花雲亭」について一

21世紀のアーティスト 木村太陽

館蔵品紹介 8 今来て見られる この逸品 木村忠太「ヴァンス Vence」

銚 KODAMA 木村肇 著

2012年日本建築学会作品選奨 長崎市子育ての駅「てくてく」+千秋が原南公園+信濃川桜づつみ遊歩道[木村博幸]

作家通信 個展「どうすこい」

《阿房劫火》は木村武山の代表作か?

特輯 岡倉天心生誕百五十年記念 木村武山 祇王祇女

木原 和敏 美術の窓 340

池田 正一 読 売

7.18

7.19

7.21

7.23

8.9

きむらかおり アクリラート(別冊) 2012

木村 好一 日展ニュース 144

福島 泰樹 東京 3.3

中村 琢巳 建築史学 58

ギャラリー一\* 328

香川県立ミュージアムニュース 19

日 経 11.4

建築雑誌 1635

木村 浩之 水墨画\* 277

中田 智則 茨城県近代美術館だより 91

高階絵里加 国 華 1400

香川文化考 風土が育んだ美術家たち 大蔵雅孝/木村素子/藤澤珠玉

卒業生に聞く。連載第三回 自前のメディアで作品を発表七年以上続く「センネン画報」

評論の眼 清塚紀子の常設館 迫力みなぎる鑄造の新作群

第一回聖徳太子奉賛記念展と五代目清水六兵衛作《大礼磁仙果文花瓶》(1926)一純粹芸術としての陶磁器制作

アクリリックス・ワールド67 極並佑

特集 アートの力を考える! PART 3 金登美 静かに輝く色彩

金城次郎作品論にむけて ~個人蔵「緑釉掛牡丹文搔落瓶」について~

美術屋・百兵衛 20

今日マチ子 芸大通信 24

三田 晴夫 ギャラリー一\* 324

後藤結美子 京都市美術館年報 H22年度

小吹 隆文 美術手帖 962

高山 淳 美術の窓 348

倉成 多郎 壺屋焼物博物館紀要 13

## (ク)

第25回奨学者のレポート 集積されたもの

明治期視覚文化から読み解く「横浜写真」の女性表象一金兵衛写真を中心に[日下部金兵衛]

わたし一人の美術時評 第24回 いまの草間彌生は本当にスゴイのか?

「草間彌生 永遠の永遠の永遠」展によせて

ブロック報告 北信越ブロック 一走るアート・クサマヤヨイ《水玉乱舞》号の底力

戦中から戦後へ作家をたどる 10 草間彌生

SPECIAL FEATURE 草間彌生

INTERVIEW 草間彌生インタビュー

久後 育大 アクリラート(別冊) 2012

脇田 美央 近代画説 21

藤田 一人 芸術新潮 752

樋口ヒロユキ 国立国際美術館ニュース 189

不動 美里 ZENBI 3

笹木 繁男 美術運動史研究会ニュース 130

美術手帖 965

建島 哲 聞き手 編集部 構成

CRITIQUE 草間彌生論 オブセッションを飲み込んだ人類最初の芸術家	長谷川祐子				
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 1 テート・モダン「YAYOI KUSAMA」開幕		"	"		
フランス・モリス/グレン・スコット・ライト インタビュー	伊東 豊子 聞き手・構成			\$ 前文 \$	福住 簾 文 中島 水緒 年譜作成
草間彌生 in ロンドン リポート	伊東 豊子			小説の展開 文学界における評価	福住 簾
				当時のテキストから知る 4 70~80年代のメディアと草間批評	"
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1929-1956 渡米前。松本での作家活動		"	"	SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1989-1999 ヴェネチア・ビエンナーレと国際的再評価	" "
\$ 前文 \$	福住 簾 文 中島 水緒 年譜作成			\$ 前文 \$	福住 簾 文 中島 水緒 年譜作成
当時のテキストから知る 1 西丸四方、瀧口修造との出会い	澁田 見彰			Curator Interview リン・ゼレヴァンスキー 再評価を導いたキュレーターに聞く	藤森 愛実
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1957-1965 ニューヨーク初期。代表作「無限の網」の誕生		"	"	Cross talk デミアン・ハーストが聞く、草間彌生の作家観	伊東 豊子
\$ 前文 \$	福住 簾 文 中島 水緒 年譜作成			当時のテキストから知る 5 再評価の契機となった展覧会	由本みどり
Report from NY ニューヨークアート界と草間彌生	藤森 愛実			SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 2000- パブリック・アートと野外彫刻の展開	" "
当時のテキストから知る 2 ニューヨークを「無限の網」で圧巻する	由本みどり			\$ 前文 \$	福住 簾 文 中島 水緒 年譜作成
SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 2 草間彌生ドキュメント 1966-1972 パフォーマンス・アートからファッションへの展開		"	"	Gallerist Interview 太田秀則 オオタファインアーツ代表に聞く	内田 伸一 聞き手・文
\$ 前文 \$	福住 簾 文 中島 水緒 年譜作成			Market Report 海外マーケットにおける草間作品の評価とは	藤森 愛実
当時のテキストから知る 3 ハブニングとファッション	由本みどり			SPECIAL FEATURE 草間彌生 PART 3 草間彌生の現在	" "
				スタジオ訪問	永峰 美佳
				「草間彌生 永遠の永遠の永遠」わが永遠の魂	澁田 見彰

ルイ・ヴィトン×草間彌生	編集部					読解絵画鑑賞講座16 [鯨井洪]	ワシオ・ト シヒコ	美術屋・ 百兵衛	20
WORLD NEWS キエフ 東欧最大の公立美術館の設立を目指すウクライナ発、ピエンナーレが開幕！ [草間彌生]	かないみき	美術手帖	971			お手本画&秀作集 其ノ十三 楠泰雲 《静か》	楠 泰雲	水墨画*	278
SPECIAL FEATURE 奈良美智 LETTERS 草間彌生と奈良美智の往復書簡			973			丁亥印社リレー投稿 5 粋人・数奇者 楠瀬日年 上、下	抱蘭室主人	書道界	273,274
INFORMATION 草間彌生とルイ・ヴィトン、最強のコラボ	児島やよい					工藤哲巳入門4～9	島 敦彦	国立国際 美術館ニ ュース	188～193
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 六本木アートナイト 2012 六本木のあち こちに、草間の作品 が出現、クサマカフ ェも登場！		美術の窓	342			東京スカイツリー UNDER CONSTRU- CTION 工藤政志著		日 経	5.20
特集 横尾忠則 Discours, figure YOKOO avec KU- SAMA	松本 卓也	ユリイカ	618			LA で開花した大胆 かつ繊細な画家 工 藤村正		美術屋・ 百兵衛	20
ニューヨークのアートシーン2「ここより永遠に一ホイト ニー美術館の草間彌 生展」	日影 眩	連盟ニ ュース	444			3・11後の創造力 上 漫画「あったこ とを描くしかない」 [国樹由香]	森本 昌彦	産 経	3.9
水玉×LV[草間彌生]		朝 日	7.21			国沢新九郎の帰朝後 の活動に関する研究	安永 幸史	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
10メートルヤヨイちゃん 六本木にお目 見え 24・25日「アート・ナイト」[草間彌 生]	大室 一也	朝日夕刊	3.23			特集 アートの力を 考える！ PART 3 国安瑠子 柔らかな 光	高山 淳	美術の窓	348
海外通信 @ニュー ヨーク 草間彌生回 顧展 時代が追い付 き、魅力全開	富井 玲子		7.25			インスタレーション ：課程と考察	國安 孝昌	筑波大学 芸術研究 報告	59
ファッションってな に？ 愛と平和をも たらすもの 前衛芸 術家 草間彌生	高橋 牧子		8.2			SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 092 国吉康雄 跳び 上がろうとする頭 のない馬	廣瀬 就久	美術手帖	967
83歳の創作意欲[草 間彌生]	木村 正人	産 経	3.28			視点 日本近代美術 を超える国吉康雄	鐸木 道剛	美術の窓	344
大波小波 パワー全 開の草間彌生	(蝶)	東京夕刊	5.21			美の履歴書252 故 国の節句を描いたわけ 「鯉のぼり」 国吉 康雄	西田 健作	朝日夕刊	5.2
草間彌生 82歳・新 たな挑戦 ほとぼし る創作意欲	田村 広済	日経夕刊	1.4			教育実践報告 プ ランディングデザイ ンの学習における実践 一地域アンテナシ ョップをプランディ ングする一	久保 洋子	横浜美術 大学 教 育・研究 紀要	2
草間彌生展 内外の 主要美術館制覇 果 敢な戦いの軌跡見 せる	建畠 哲	毎日夕刊	3.1			特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研 究室座談会 古典の 模写から学び取るも の	窪井 裕美 繭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓	349
草間彌生さん 世界 で日本で 回顧展 4か国巡回 痛みを 創作に昇華	三木あき子	読 売	2.16			特集 未来のスター を探せ！ 新人大図 鑑2012 評論家・ジ ャーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト10 久保木桂子	立島 惠		344
前衛芸術家 草間彌 生さん 芸術も服も 同じ表現	竹之内知宣	読売夕刊	9.5			あらゆるビットがか たちになる：情報形 態可逆変換法	久保田晃弘	多摩美術 大学研究 紀要	26

ロシアの親日家散逸 危機救う「幻の染 め物」故久保田一 竹コレクション 来 月から「恩返し」の全 国巡回展		東 京	4. 25	美の履歴書238 アゲ ハが浮かぶわけ 「鬼百合に揚羽蝶」 熊谷守一	西 正之	朝日夕刊	1. 25
中特集 久保田勝巳 詩人的画家のヒュー マニズムという道程	高山 淳	美術の窓	341	フロントライン 豪 の現代文学傑作選を 刊行 昆虫や植物の 画集[熊田千佳慕]		日 経	4. 15
ビデオ・アーティ スト 久保田成子に ついての調査ノート	濱田真由美	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	11	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II「自作を語る」	隈部 直臣	自由美術	2012
2011年度海外研修報 告「ビデオ・アー ティスト 久保田 成子」展(仮)のため のアメリカ調査	〃	美連協ニ ュース	115	不明作品との邂逅 久米桂一郎「夕潮」		久米美術 館館報	29
染色画家・久保田す み子		美術屋・ 百兵衛	21	Book これであなた も嘶家萌え? ドタ バタ落語入門マンガ 雲田はるこ 昭和元 禄落語心中		芸術新潮	756
当館所蔵 久保田忠 和の彫刻 彫刻にお ける具象と抽象につ いて	深谷 聡	奈良県立 美術館紀 要	26	特集 BL[ボーイズ ラブ]オン・ザ・ラ ン! すべての男性 は受けである!?一く もはる流 BL スタデ ィーズのススめ	雲田はるこ 金田 淳子 聞き手	ユリイカ	620
特集 アートの力を 考える! PART 3 久保田洋子 モニユ マン	高山 淳 久保田洋子	美術の窓	348	新人賞展 2012新人 賞展	公文 淳子	自由美術	2012
特集 東日本大震災 1周年 リジエント ・ソサエティ 第1 部 リジエント・ソ サエティとは 座談 会 リジエント・ソ サエティー東日本大 震災を踏まえて	隈 研 吾 佐土原 聡 中島 正愛 藤井 聡 布野 修司	建築雑誌	1629	作家通信 篆刻作家 とコラボレーション	久山 一枝	水墨画*	281
2012年日本建築学会 作品選奨 下関市川 棚温泉交流センター [隈研吾]		〃	1635	特集 秋の制作シー ズに贈る18作家の 水墨世界 久山一枝 牡丹	〃	〃	282
建築 隈研吾「浅草 文化観光センター」 家型パターンで伝統 を表現	五十嵐太郎	毎日夕刊	4. 26	特集 アートの力を 考える! PART 2 きずな一再生美術の 力 倉敷和文 よい 日	倉敷 和文	美術の窓	348
「みんなの家」被災地 に続々 復興語り合 う思いの場 建築家 の思い広がる[隈研 吾]	高野 清見	読 売	12. 20	研究ノート 蔵田周 忠と民俗学—1920~ 30年代における民家 研究と民俗博物館と の関わりめぐって—	丸山 泰明	年報非文 字資料研 究	8
作品「変塗蒔絵螺 鈿箱「かたくり」」 「変塗蒔絵螺鈿箱」	熊谷 晃	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16	思い出す本忘れない 本 曹操の實在感に ひかれた 三国志 吉川英治(著)	倉田真由美 鈴木 繁 構成	朝 日	7. 15
作品「ゆるやかな 活動」(甕)	熊谷 峻	〃	〃	私だけのふるさと 青い空白い雲 一家 で歩いた海 倉田真 由美さん	穴戸 護 聞き手	毎日夕刊	4. 5
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 118 熊谷守一 あか んぼを	岡崎乾二郎	美術手帖	967	美術学部教員展図録 油画	倉地比沙支	愛知県立 芸術大学 紀要	41
				「版画アートコレク ション」の作家 倉 地比沙支 イメージ の皮膚感覚	松山 龍雄	版画芸術	157
				クリエイターズワー ク&ソウル 倉本仁		A X I S	157

交遊抄 AOSのテー  
プ 久里 洋二 日 経 1.3

あとがきのあと「ボ  
クのつぶやき自伝」  
久里洋二氏 短編ア  
ニメと歩んだ生涯 〃 4.1

21世紀のアーティス  
ト 栗林隆 ギャラリ  
ー\* 325

「せんぐう館」の設計  
にかかわって 栗生 明 瑞 垣 223

みんなのマンガ学  
聖闘士星矢 聖闘士、  
女性読者も魅了[車  
田正美] 伊藤 遊 朝日夕刊 3.22

黒川紀章代表作、さ  
いたまへ 大西 若人 朝 日 1.17

黒川さんの「中銀カ  
プセルタワービル」 東京夕刊 1.16

黒川紀章氏の作品引  
っ越し カプセル構  
造のビルー室 東京  
→埼玉の公園に設置 日経夕刊 1.16

2012年日本建築学会  
作品選奨 3331 Arts  
Chiyoda[黒川泰孝] 建築雑誌 1635

江戸博蔵めぐり 東  
京名所両国川開き之  
光景 はじまりは「鎮  
魂の花火」[黒木半之  
助] 橋本由起子 読 売 7.27

特集 横尾忠則  
Operation ARTs デ  
ータベースと死の絵  
画の意味 黒瀬 陽平 ユリイカ 618

After 3.11 黒田 光一 産 経

20 宮城県気仙沼  
市 そこに散在す  
る希望 2.29

26 福島県広野町  
生きものの記録 5.23

32 福島県飯舘村  
途方に暮れるため  
の装置 8.8

38 福島県川内村  
本当に知ることは  
少ない 10.31

ボン・タヴェン派残  
党遺聞[黒田重太郎] 丹尾 安典 近代画説 21

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
031 黒田重太郎 一  
修道僧の像 林 洋子 美術手帖 967

黒田清輝筆《昔語り》  
と京都 植田彩芳子 朱 雀 24

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
003 黒田清輝 大磯  
鳴立庵

山梨絵美子 美術手帖 967

浅井忠こそ日本近代  
洋画の父[黒田清輝] 太田 治子 美連協ニ  
ュース 115

被災地に力 美術家  
の試み「東北画」理  
解と励まし[黒田征  
太郎] 小川 敦生 日経夕刊 1.23

特集 制作の現場か  
ら…「自作を語る」・  
II 自作を語る 黒田 孝 自由美術 2012

特集 アートの力を  
考える! PART 3  
黒田真由美 声明の  
ように 高山 淳 美術の窓 348

フェイス21世紀157  
桑久保徹「絵画は  
身体の痕跡」ニュー  
アンスの豊かさに魅力 松崎 祐子 新美術新  
聞 1273

お手本画&秀作集  
其ノ十三 桑原逸安 桑原 逸安 水墨画\* 278

(ケ)

クリエイターズワー  
ク&ソウル SOL  
style[剣持良美] A X I S 156

(コ)

上級者に贈る 創作  
への道3 知識、技  
術頼みで創造力は生  
まれぬ 呉 斉旺 水墨画\* 279

特集 秋の制作シー  
ズンに贈る18作家の  
水墨世界 呉斉旺 〃 〃 282

中村彝・曾宮一念・  
小泉清 會津八一と  
早稲田中学の画家た  
ちー早稲田中学・高  
等学校所蔵作品を中  
心にー 大島 幸代 早大會津  
町田つかさ 八一記念  
博紀要\* 13

研究資料 早稲田大  
学時代の會津八一・  
小泉清・安藤更生一  
落穂ひろいの資料紹  
介ー 丹尾 安典 〃 〃

秋田の美術によせて  
7 一 小泉淳作画伯  
(1)ー 河野 元昭 秋田美術 48

追悼 小泉淳作先生  
「中札内村で龍は生  
まれた」 小田 豊 新美術新  
聞 1272

喪友記 小泉淳作さ  
んを悼む 銘を残さ  
ぬ巨匠 上野 道善 日 経 1.12

追想録 小泉淳作さん(日本画家) 繊細と大胆 絵筆に乗せ	中沢 義則	日経夕刊	3. 2	中沢啓治さん死去 73歳 漫画「はだしのゲン」 原爆の悲惨さ訴え[この時代]	読売夕刊	12. 25
Atlas(インスタレーション)	小泉 俊己	多摩美術大学研究紀要	26			
バングラの現代美術国際展 小泉さんが最優秀賞[小泉明郎]		東京夕刊	12. 15	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 021 河野通勢 裾花川の河柳	田中 淳 美術手帖	967
Topics 小窓		神戸市立小磯記念美術館だより		レポート墨 第5回 日経日本画大賞決まる 大賞の鴻池朋子氏はじめ水墨画三作品が受賞	水墨画*	280
「開館20周年 記念生誕100年 小磯良平の世界展」に よせて 小磯良平が暮らしたパリ	辻 智美		36	3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[鴻池朋子]	小川 敦生 富田 律之 日 経	3. 10
小磯良平と神戸の 版画家たち	金井 紀子		37			
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 038 小出楯重 蔬菜 静物	原田 光	美術手帖	967	第5回東山魁夷記念 日経日本画大賞 壮大な幻想 濃密な色彩 鴻池朋子「シラ一谷の者 野の者」	宝玉 正彦 //	4. 30
美の履歴書255 逆光に浮かぶものは「屋根の都」 小糸源太郎	大西 若人	朝日夕刊	5. 23	コミック 博士の白衣女子攻略論1 香日ゆら(作) 理系の生態 フツーの目線で	南 信長 朝 日	11. 11
照明器具デザイン—あかりの提案—	小井土 満 谷 浩二 角 文平	武蔵野美術大学研究紀要	42	特集 制作の現場から…「自作を語る」・I デューラーに心躍らせて	光山 茂 自由美術	2012
大杉栄らの「近代思想」挿絵は日本初のアニメ作家[幸内純一]	宮代 栄一	朝日夕刊	9. 24	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 053 古賀春江 海	大谷 省吾 美術手帖	967
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 常に近くて遠い存在だった。	郷倉 和子	新美術新聞	1277	一九二〇年代のシュルレアリスム受容と川端康成—『弱き器』『火に行く彼女』『鋸と出産』ほか[古賀春江]	川勝 麻里 立教大学 日本学研究所年報	9
被災地に力 美術家の試み「東北画」理解と励まし[鴻崎正武]	小川 敦生	日経夕刊	1. 23	主題の表出に適した 描画行程についての 詳述	児島新太郎 金沢学院 大学紀要*	10
トーマス・デマンドのバルブ・ノンフィクション写真術	光嶋 裕介 聞き手	芸術新潮	751	今月の読書 児島善三郎・レゾネ画集の監修を終えて	志賀 秀孝 新美術新聞	1280
みんなのマンガ学 世直し源さん ステテコ姿の総理大臣[業田良家]	吉村 和真	朝日夕刊	2. 16	お手本画&秀作集 其ノ十三 児島貞次郎《赤城閑村》	児島貞次郎 水墨画*	278
コミック ぼおるペン古事記 一 天の巻 こうの史代(作) 豊潤なイメージ まさに神業	南 信長 朝 日		6. 17	「米寿記念 古谷蒼韻展」に寄せて 古谷蒼韻・心境を凝視する墨線	小嶋 悠司 新美術新聞	1292
こうの史代が漫画化 ボールペン 古事記に親和	瀬崎久見子	日経夕刊	10. 16			



明治・大正における パンカラ旅行の系譜 一大観・観山・紫紅 ・未醒の東海道五十 三次旅行(大正4年) の背景として[小杉 放菴]	佐藤 志乃	横山大観 記念館館 報	28	特集 アートの力を 考える! PART3 小沼和喜子 輝くよ うに	高山 淳	美術の窓	348	
作品紹介 近年の五 姓田派コレクション の拡充について[五 姓田義松]	角田 拓朗	神奈川県 立歴史博 物館だよ り	191	お手本画&秀作集 其ノ十五 小島堯 《早春》	小島 堯	水墨画*	280	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 001 五姓田義松 五 姓田一家之図	〃	美術手帖	967	交遊抄 写真で元気 を	小林 紀晴	日 経	3.17	
小瀬村真美 トーク &作品上映 東京都 現代美術館		水墨画*	284	お手本画&秀作集 其ノ十八 小林紀美 子《薔薇》	小林紀美子	水墨画*	285	
特集 拡大・縮小美 術館 絵画編 児玉 香織 食べ物の輪郭 から作られる形		美術の窓	350	美術評 小林耕平個 展 死を疑似体験さ せる装置	古谷 利裕	東京夕刊	12.7	
児玉康兵 《知多の とろけ石》、《知多の 波塔》	児玉 康兵	尾道大学 芸術文化 学部紀要	11	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 030 小林古径 出湯	中村 麗子	美術手帖	967	
特集 耽美な世界へ ようこそ 物語の中 の世界 後藤温子	後藤 温子	美術の窓	342	いま風 水曜日 粋 ナビゲーター 和紙 デザイナー 小林順 子さん 和紙が織り なすやさしい光	矢子 奈穂	読売夕刊	9.12	
追悼特集 福王寺法 林氏を偲ぶ 福王寺 法林先生のこと	後藤 純男	新美術新 聞	1277	江戸博蔵めぐり 日 本一ノ画嘶[えばな し] モダンな絵、 はやりの装丁[小林 鍾吉]	楯石もも子	読 売	9.7	
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る〜冷 たい白と温かい白〜	後藤 拓哉	自由美術	2012	特集 未来のスター を探せ! 新人大図 鑑2012 評論家・ジ ャーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト10 小林千紗	武田 厚	美術の窓	344	
作品 「青と嘯く」	後藤 岬	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16	わたしたちの教室へ ようこそ	小林 岡村	東雲 南紅	水墨画*	275
レポート墨		水墨画*		小林徳三郎一生涯と 芸術に関する研究ノ ートー	平泉 千枝	芸術研究	25	
後藤靖香「床書き 原寸」大阪カン ヴァスプロジェク ト			275	小林徳三郎の日記・ 書簡資料紹介 ―昭 和17年から昭和22年 までの画家のくらし ー	〃	ふくやま 美術館・ 書道美術 館紀要*	6	
第4回絹谷幸二賞 に後藤靖香氏			279	第24回「京都美術文 化賞」受賞者のこと ば	小林 尚美	美術京都	43	
第4回絹谷幸二賞贈 呈式 力強さと緻密 さ、前途に期待 絹 谷幸二賞 後藤靖香 さん	後藤 靖香 談	毎日夕刊	3.26	調査研究ノート vol.13 75年前の小 林萬吾一野見山曉治 氏(画家 国の文化 功労者)にお話をう かがいました。	窪美西嘉子	香川県立 ミュージ アムニュ ース	19	
茶話マンガ うつと 青春正面から[琴葉 とこ]	伊藤 剛	朝日夕刊	10.27	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 「自作について」	小林 美穂	自由美術	2012	
制作ノート RT OF THE WIND、TL OF THE WINDについて	小西 俊也	武蔵野美 術大学研 究紀要	42	お手本画&秀作集 其ノ十三 小林萌 《鎮魂》	小林 萌	水墨画*	278	
なぜ私は建築を選ん だか no.4 一番身 近な仕事に	小西 泰孝	建築雑誌	1637					

受け継がれる江戸切子の伝統—小林淑郎氏に聞く	町田市立博物館年報/紀要	2010年度	コミック シリウスと繭1 小森羊仔(作) ささいな出来事眩しく	山脇 麻生 朝 日	7.15
湯浅譲二と駒井哲郎—オートスライド「レスピュグ」をめぐる—	永山多貴子 ザ・ルーフ	39	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 小柳景義 何が描かれているかを探して楽しむ	美術の窓	350
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 106 駒井哲郎 樹	林 洋子 美術手帖	967	特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	小山 雅子 自由美術	2012
福原コレクション 駒井哲郎1920—1976	東京夕刊		作品 「乾漆輪花盛器「木通の花」	金 千鶴 秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
上 束の間の幻影 読み取れる自然の気配	馬場 駿吉	5.10	現代美術の歩き方 今月の一品 今義典 「父と息子」	東谷 隆司 美術の窓	351
中 花 強靱な圧力の芸術	山本 容子	5.12	所蔵品紹介228 秋宵紺谷光俊	石川県立美術館だより	348
下 星座 神秘と豊穡の宇宙	清水 真砂	5.14	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち07 近藤智美 元「マンバ」の描くニュー・ポップ	岡澤浩太郎 美術手帖	974
実験工房から60年 駒井哲郎と歩んだ日々 魅せられた連作イメージ	湯浅 譲二 //	5.25	園遊会之図について 2~4 [近藤樵仙]	三宅 秀和 永青文庫	77,78,80
作家通信 一本の枯れ草に	小松 欽 水墨画*	280	視点 京都・京町家ステイ・アートプロジェクト Vol.1 —アートと暮らす出会う京町家2012	近藤 高弘 美術の窓	341
石彫における「むしり仕上げ」に関する一考察 黒御影石を用いた制作を軸として	小松 俊介 芸術学研究(筑波)	17	東北一命のウツワプロジェクト	// 目の眼	427
百兵衛インタビュー 小松美羽 信州の風や匂いを、アートの世界に届けたい	美術屋・百兵衛	23	洋画家・近藤伸子	美術屋・百兵衛	21
神宮名品解説 工芸「江戸小紋着尺『二ツ割竹縞』」[小宮康助]	本多 久子 瑞 垣	223	浮上する風景(油彩画)	今野 治 多摩美術大学研究紀要	26
学芸員ノート 長板中形を極める—小宮康正氏の世界—	水上嘉代子 遠山記念館だより	43	(サ)		
お手本画&秀作集 其ノ十六 小村欣也《艶》	小村 欣也 水墨画*	281	日中連携型デザインビジネスの生成と展開—青島海高設計製造公司(QHG)の設立・運営をめぐる—	黒田 宏治 磯村 克郎 伊坂 正人 佐井 国夫 迫木 秀樹 木下 理郎	静岡文化芸術大学研究紀要 12
雪岱デザイン[小村雪岱]	山田 俊幸 一寸	52	ランプの肖像 第1~9回	雑賀 雄二 芸術新潮	748~756
作品 「蜃気楼—mirage—」	小牟禮尊人 秋田公立美術工芸短期大学紀要	16	斎藤佳三研究—1910年~1930年の資料における「芸術」概念—	島津 京 鹿島美術財団年報・別冊	29
蔵出し 水墨画の逸品7 小室翠雲《青山白雲・虞山溪嵐図》	青木 忍 水墨画*	283			
青春プレイバック 彫刻家能島征二 彫刻家の生きざま 森邦夫との出会い	袴田 智彦 新美術新聞	1289			

特集 模写から学ぶ  
絵画の技法 武蔵野  
美術大学造形学部油  
絵学科・絵画組成室  
の試み 斎藤國靖教  
授インタビュー

斎藤 國靖 美術の窓 349

カラヴァッジョ・闇  
のなりたち

〃 武蔵野美術大学研究紀要 42

第80回記念独立展  
崖に眼を描いた画家

斎藤 研 新美術新聞 1293

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
054 斎藤素巖 荷重

森 仁史 美術手帖 967

作家通信 勢至堂に  
て

斎藤 隆 水墨画\* 277

歳・月・人 齋藤隆  
モノクロームの中の  
真実

〃 〃 278

ゴルゴ13 人気の秘  
密は… 累計2億部  
/10人の脚本家集団  
あきらめない緻密で  
徹底な取材[さいと  
うたかを]

岡本 耕治 産 経 1.16

特集 アートの力を  
考える! PART 3  
齋藤俊子 曼荼羅

高山 淳 美術の窓 348

斎藤義重 1980年代  
以降を中心に 斎藤  
義重氏をめぐる思い  
出

藁科 英也 千葉市美術館ニュース C'n 63

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
113 斎藤義重 WORK

小清水 漸 美術手帖 967

人生相談 あすへの  
ヒント うるさい隣  
人のせいで体調崩し  
た 回答者・柴門ふ  
み

柴門 ふみ 産 経 12.1

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
046 佐伯祐三 新聞  
屋

林 洋子 美術手帖 967

作家訪問431 木工作  
家 さかいあつしさん

編集部 目の眼 433

美の季想 雪国の想  
い出 囲炉裏を囲む  
静寂[酒井三良]

高階 秀爾 朝日夕刊 2.15

お手本画&秀作集  
其ノ十五 酒井勝風  
《霧の中の沐浴》

酒井 勝風 水墨画\* 280

物に執して156[榊莫  
山]

鈴木 皓詞 目の眼 429

INFORMATION EX-  
HIBITION 坂口恭平  
がベルリンフェステ  
イバルに参加「0  
円ハウス」「モバイル  
ハウス」を提唱する  
坂口恭平の展覧会が  
開催!

河合 純枝 美術手帖 976

ドキュメンタリー映  
画「モバイルハウスの  
つくりかた」「動く  
家」で探る住の可  
能性[坂口恭平]

黒沢 綾子 産 経 7.4

あとがきのあと「独  
立国家のつくりかた」  
坂口恭平氏「新しい  
生き方」を提示

日 経 7.8

「0円」で社会問い直  
す『独立国家のつ  
くりかた』著者で建  
築家 坂口恭平さん

手塚さや香 毎日夕刊 6.18

建築季評 社会から  
発想する設計[坂口  
恭平]

中川 理 読 売 6.28

日々好日 色と形に  
ついて

坂口 國男 新美術新聞 1269

クリエイターズワー  
ク&ソウル OSA[坂  
田泉]

A X I S 160

追悼 アートデザイ  
ナー 石岡瑛子さん  
厳格さの裏に底なし  
のやさしさ

坂田栄一郎 産 経 2.2

人と作品 坂田一男  
—生涯前衛にして  
前衛は無位無冠—

妹尾 克己 紫 明 30

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
039 坂田一男 キュ  
ビズムの人物像

速水 豊 美術手帖 967

特集 めくもりの表  
現 触れなくなる絵  
画 秘技法講座  
VOL. 26 CASE 6  
坂本藍子 優しい陽  
の光

坂本 藍子 美術の窓 345

2012年日本建築学会  
作品選奨 加古川の  
オフィス[坂本昭]

建築雑誌 1635

パブリック・アート  
散歩 (シリーズNo.  
2)山鹿市/坂本善  
三の壁画と細川護立  
の書—温泉プラザ山  
鹿界限

古家 良一 View 143

展覧会時評 ex-cham-  
ber museum—offline  
第2回 「絵画の庭」  
を今更ながら振り返  
ってみる、の巻[坂本  
夏子]

幕内 政治 ファウン  
テン 2

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 047 坂本繁二郎 放水路の雲	田中 淳	美術手帖	967	手塚治虫先生と会津 そして笹川ひろし先生のこと	白井 祥隆	ザ・ルー	40
野見山曉治 絵とことば きょうも描いて、あしたも描いて、90年。野見山青年と坂本画伯の西欧絵画談義 フランスの絵から何を学ぶべきか	坂本繁二郎 野見山曉治	ユリイカ	613	特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	佐々木三枝子	自由美術	2012
美の履歴書251 馬を通して見たものは「放牧三馬」 坂本繁二郎	増田 愛子	朝日夕刊	4. 25	インタビュー 中根寛氏に聞く 画家は70代80代が勝負	佐々木 豊 聞き手	連盟ニュース	444
坂本万七による美術・工芸分野の写真について——一九三〇—五〇年代を中心に	白政 晶子	近代画説	21	文化庁芸術家海外研修と高島屋個展を終えて その所感	佐々木里加	女子美術大学研究紀要	42
作家通信 自分自身への「檄」	坂元 洋介	水墨画*	281	現代美術の歩き方 今月の一品 「un-ei」笹口数	天野 太郎	美術の窓	348
視覚像と残像—「美術における『見えないもの』」—	作間 敏宏	明星大学研究紀要	20	街角アート 写実がもつ強さ[笹戸千津子]	星野 清一	新美術新聞	1289
東京都写真美術館寄贈の佐久間兵衛写真資料および関係資料について	藤村 里美 高瀬 八一	東京都写真美術館紀要	11	本だな 家族のきずなが深まる『お父さん、牛になる』[ささめやゆき]		読売夕刊	6. 23
思い出す本忘れない 本 授業中にこっそり読んだ COJI—COJI 1~4 さくらももこ(作)	梅 佳代 談 加来 由子 構成	朝 日	9. 23	著者に会いたい 笹本恒子さん 好奇心ガール、いま97歳 転んでも起きてまたやる	西 秀治 朝 日		12. 4
山形美術館所蔵 桜井浜江「象」の保存修復	森 直義 大場詩野子	東北芸工大保存修復センター年報*	3	特集 耽美な世界へようこそ 魅惑的な少女 笹本正明	笹本 正明	美術の窓	342
セザンヌ展を見て	桜井 寛	新美術新聞	1280	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 対談 指田菜穂子×山下裕二 事象を描く—「総合性」という方法論	指田菜穂子 山下 裕二	”	350
視線 FISHING 笹岡啓子著	大西 若人	朝 日	11. 18	茶話マンガ 現代音楽こちよく[さそうあきら]	伊藤 剛	朝日夕刊	6. 23
After 3. 11	笹岡 啓子	産 経		特集 拡大・縮小美術館 絵画編 佐藤明日香 奇妙な生き物だらけの世界地図		美術の窓	350
25 福島県飯館村山里に残された犬の合唱			5. 9	日々好日 萬鉄五郎の自画像	佐藤 一郎	新美術新聞	1294
31 福島県南相馬市小高区 せめて自分ちの布団で寝たい			7. 25	軒下はアートだらけ 商品陳列、農家の裏口…、美をジオラマで再現	佐藤 英治	日 経	4. 16
37 東京都三宅島 自然の業とともに			10. 17	学びのふるさと「うまくなくていい、大きく描こう」 小学校の図工の“ピカソ”から助言 アートディレクター 佐藤可士和さん	鱈 正人 聞き手	日経夕刊	5. 11
この世界とわたしのどこか 日本の新進作家 VOL. 11 中 笹岡啓子 清冽さ際立つ理想の風景	笠原美智子	東京夕刊	12. 12	現代美術の印象を絵に 個展鑑賞後に挑戦[佐藤可士和]	高村 眞生	読売夕刊	2. 25
作家通信 地方都市でぜいたくな水墨画の祭典	笹川 春舄	水墨画*	279	視線 東京—天空樹 佐藤信太郎著	大西 若人 朝 日		2. 5

## 頁 | 天空樹 佐藤 日 経

— 220 —

コミック 春はあけ  
ぼの月もなう空もな  
お サメマチオ(作)  
枕草子 今の生活感  
覚で再現

南 信長 朝 日 10.7

ARTIST INTERVIEW  
さわひらき

小池 一子  
聞き手 美術手帖 969

視線 これ、わたし  
さわだともこ著

森村 泰昌 朝 日 4.8

不在の建築/建築の  
不在—喪失へのまな  
ざしと縁の設計

澤田 航 ファウン  
テン 3

特集 耽美な世界へ  
ようこそ 対談 宇  
野亜喜良×沢渡朔  
モチーフとしての少  
女、絵と写真からの  
アプローチ

宇野亜喜良、  
沢渡朔 美術の窓 342

特集 耽美な世界へ  
ようこそ 夢想 三  
田尚弘

三田 尚弘 " "

## (シ)

植物図鑑 東信、椎  
木俊介著

日 経 9.2

綴じ込み カイカイ  
キキギャラリー  
「A Nightmare Is A  
Dream Come True  
: Anime Expres-  
sionist Painting」展  
を開催! 参加作家  
による座談会 カオ  
ス\*ラウンジの後、  
僕らはどこを目指す  
のか

S T A G  
J N T H E D  
N a B a B a  
お ぐ ち  
Mr. 美術手帖 967

所蔵品紹介223 乾漆  
蓋物「輪々」 塩多慶  
四郎

石川県立  
美術館だ  
より 341

アートフェアに塩田  
千春さん新作 アー  
トの中に住んでみる  
!?

黒沢 綾子 産 経 2.22

見る人とつながる感  
覚 作品は記憶を呼  
び起こす媒介に 美  
術家 塩田千春さん

田村 広済  
聞き手 日経夕刊 4.25

—DOMANI・明日展  
に寄せて—「私の写  
実絵画とは?」—問  
われた1年

塩谷 亮 新美術新  
聞 1269

特集 模写から学ぶ  
絵画の技法 CASE1  
塩谷亮 イタリアル  
ネサンス絵画の模写

" 美術の窓 349

模写によるヴェロッ  
キオ工房作「キリス  
トの洗礼」の研究—  
イタリアルネサンス  
絵画技法の変遷と空  
間構造の変化の考察  
—

" 武蔵野美  
術大学研  
究紀要 42

先輩を訪ねて「塩野  
麻理先生」

東京芸大  
保存修復  
彫刻年報\* 2011年度

歳・月・人 潮見沖  
天 出会いあつてこ  
その人生

潮見 冲天 水墨画\* 279

特集 秋の制作シー  
ズに贈る18作家の  
水墨世界 潮見冲天  
霧立ち昇る図

" " 282

学生企画 ちよっと  
だけマンガでできて  
いる スペシャルイ  
ンタビュー マンガ  
×志賀公江

志賀 公江 瓜生通信 56

《インタビュー》Be-  
fore and After the  
Deluge 1、2

志賀理江子 あ い だ 194、195

美の美 伊丹万作と  
仲間たち 中 重松  
鶴之助

古賀 重樹 日 経 2.12

お手本画&秀作集  
其ノ十七 重村紀子  
《旅のスケッチ》

重村 紀子 水墨画\* 284

日本庭園の革命児  
生涯たどる展覧会  
神宮前 重森三玲、  
代表作の庭再現

菅野みゆき 朝 日 2.16

重森三玲の目指した  
美を堪能 昭和の作  
庭家

渋谷 和彦 産 経 2.15

「庭園は地上の絵画」  
東京で重森三玲展

永田 晶子 毎 日 2.8

穴戸清孝 Home 美  
しき故郷よ

(存) 産 経 3.31

特集 アートの力を  
考える! PART3  
志田誠信 希望への  
翼

高山 淳 美術の窓 348

SPECIAL FEATURE  
超絶技巧!! ARTIST  
FILE まだまだいる  
! 注目超絶技巧作家  
たち03 篠田教夫  
鉛筆と消しゴムで描  
く、色彩豊かな異次  
元世界

降旗千賀子 美術手帖 974

特集 拡大・縮小美  
術館 絵画編 篠田  
教夫 顕微鏡を覗い  
たような世界

美術の窓 350

現在通信 From  
NEW YORK 篠原ボ  
ップス! [篠原有司  
男]

富井 玲子 新美術新  
聞 1292

「実験するから面白い」篠原有司男、NYの美術館で個展	大西 若人	朝日夕刊	12. 12	美術学部教員展図録 デザイン	柴崎 幸次	愛知県立 芸術大学 紀要	41
篠原有司男 前衛の 半世紀 米での評価 確立へ回顧展	池上 裕子	読売夕刊	10. 18	柴田是真一粋に隠さ れた超絶技巧	安村 敏信	淡 交	819
作家通信 ヴェネツ ィアで個展	篠原 貴之	水墨画*	280	展覧会とアーティスト 2「ドローイング とは何か」展 大賞 柴田高志 僕のもの であって、僕のもの ではない感覚		ギャラリー 一*	321
上級者に贈る 創作 への道6 創作の源 泉は対象と自己との 間にある物語	〃	〃	282	マイ・フェイバリッ ツ 私の好きな作品 辰野登恵子×柴田敏 雄	南 雄介	国立新美 術館ニュ ース	24
大特集 篠山紀信		芸術新潮	754	2011年毎日デザイン 賞 受賞者の横顔 多くの人に小さな幸 せ 柴田文江さん	永田 晶子	毎日夕刊	4. 11
「写真力」ってなん だ!?	篠山 紀信			お手本画&秀作集 其ノ十七 澁谷玉麗 《巳年のバングル》	澁谷 玉麗	水墨画*	284
破格の写真家篠山 紀信	タカザワケ ンジ			作品 「黒い旋律 I, II」	渋谷 重弘	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16
写真力の50年				特集 アートの力を 考える! PART 3 島榮里子 連帯	高山 淳	美術の窓	348
新美術時評 肖像と 時間 2点の《モナ・ リザ》と篠山紀信	光田 ゆり	新美術新 聞	1295	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 040 島成園 上海に て	天野 一夫	美術手帖	967
篠山紀信による2冊 の写真集『THE SIXTIES by KISHI- N』『ATOKATA』	北川フラム	美術手帖	962	コミック アルキヘ ンロズカン(上・下) しまたけひと(作) 仕事と人生への葛藤 切実に	南 信長	朝 日	7. 22
東京 JAZZ 2012 写 真もジャズも即興ア ートだから、相性が いい インタビュー Part 1 篠山紀信 小曽根真		日経夕刊	7. 4	思い出す本忘れない 本 みんな主役でみ んなワキ役 カトゥ ーンス 岡崎京子 (著)	しまおまほ	〃	6. 3
中村勘三郎さんを悼 む 各界から悼む声 歌舞伎を広く伝え	篠山 紀信	毎日夕刊	12. 6	ここに玉手箱 女 優 真野響子 1 島 岡達三作の湯飲み 父の思い出重なる青 色	真野 響子	日経夕刊	7. 30
本よみうり堂 「THE SIXTIES by KISHIN」[篠山紀信]	(前)	読 売	2. 19	特集 アートの力を 考える! PART 2 きずな一再生美術の 力 嶋田明子 世界 全体と一隅	高山 淳	美術の窓	348
本人が語る 上、中、 下 篠山紀信展 写真 真力	篠山 紀信 談	〃	10. 30、31、 11. 2	自作再見 島田章三 「はなかたちひとか たち」 常識を捨て 「かたち」に挑んだ	増田 愛子	朝日夕刊	9. 19
篠山紀信 勘九郎の 写真集 襲名までの 苦闘 汗粒まで	塩崎淳一郎	読売夕刊	5. 7	お手本画&秀作集 其ノ十五 清水恵峰 《白いファンタジー》	清水 恵峰	水墨画*	280
pop style vol. 309 中西美帆 篠山紀信 撮影	市原 尚士	〃	7. 25				
ぎやらいいモール 東京オペラシティ アートギャラリー 「篠山紀信展 写真 力」から「歌舞伎役者 曼茶羅」 篠山紀信	福士 理	〃	11. 13				
作家通信 元気のヒ ミツ いつも好奇心 を 水墨画以外に趣 味を	芝 龍郎	水墨画*	276				

美の履歴書284 暗闇 にうごめくのは 「ニューヨーク、夜 のチャイナタウン」 清水登之	西岡 一正	朝日夕刊	12.12	美の履歴書237 のぼ る炎に込めたのは 「火の祈り」 莊司福	新谷 祐一	朝日夕刊	1.18
S&O DESIGNのコン ティニューアスデザイ ン[清水久和]	土田 貴宏	A X I S	159	特集——九〇〇年パ リ万国博覧会出品作 (四) 紹美栄祐「嵐 山宇治川図花瓶」な らびに岡崎雪聲「田 村鷹置物」について	五味 聖	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	17
幻の花影十選 1~10	志村 節子	日 経	11.29,30, 12.3~7, 11,13,14	アシュラ 作品貫く 普遍的な力強さ[ジ ョージ秋山]	(鈴) (金) (広) (勝) (渡)	毎日夕刊	9.28
作家訪問432 花月寮 志村睦彦さん・宮岡 麻衣子さん	編 集 部	目の眼	434	コラム 白井晟一の 秋田の建築	安原 盛彦	建築雑誌	1626
自宅を人形ギャラリ ーに 日の出の作家 ・下川さん 大病き っかけに決意[下川 明子]	横井 信洋	毎日夕刊	7.12	美術館としての原爆 堂に関する覚え書— 丸木位里・俊夫妻と 白井晟一の交流につ いて—	石崎 尚	武蔵野美 術大学研 究紀要	42
新収蔵品紹介 下田 梯三郎《TO-MO- ROW 2009》	井上 正敏	V i e w	143	白髪一雄のフット・ ペインティングの変 遷 1955—1964	出原 均	兵庫県立 美術館研 究紀要	6
特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 下村 観山 嗣信最新	清水 緑	国 華	1400	歳・月・人 白澤恵 舟 予期しない人生 は出会いから	白澤 恵舟	水墨画*	282
第六十五回全国大会 研究発表要旨 下村 観山筆「魔障図」をめ ぐる考察	椎野 晃史	美術史	173	作家通信 「秋田県 墨絵芸術協会第四十 回記念展」開催	〃	〃	284
明治・大正における バンカラ旅行の系譜 —大観・観山・紫紅 ・未醒の東海道五十 三次旅行(大正4年) の背景として	佐藤 志乃	横山大観 記念館館 報	28	死を恐れず、冒険者 であれ しりあがり 寿「オーイ♥メメン トモリ」 生のはか なさと悦び表現	伊佐 恭子	朝 日	9.18
作家通信 大自然阿 蘇の草原に咲く花	下村 朱杏	水墨画*	285	みんなのマンガ学 あの日からのマンガ 震災以後 混迷の時 代を描く[しりあが り寿]	伊藤 遊	朝日夕刊	3.1
INFORMATION BOOK junaida の作 品集が発売に クリ スマスに大切な誰か と読みたいくなるビ ジュアルブック[ジュ ナイダ]	小吹 隆文	美術手帖	976	水墨の最前線15 古 典に学んで個性が出 るまで墨と向き合う 新恵美佐子	野地耕一郎	水墨画*	285
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART3 HISTORY 倉本美津 留さんと行く! 超絶 技巧の聖地巡礼 MUSEUM TOUR 1 清水三年坂美術館 超絶技巧のルーツ! 明治工芸の宝庫[正 阿弥勝義]	倉本美津留、 山下 裕二 談	〃	974	山形美術館蔵 新海 竹蔵作「トルソー(メ ディチのヴィーナス )」の保存修復処 置	藤原 徹	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	3
特集 アートの力を 考える! PART3 城ヶ崎 悟 「印」と 「絆」	城ヶ崎 悟	美術の窓	348	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 081 新海竹蔵 砧	榊田 倫広	美術手帖	967
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る	庄司多津男	自由美術	2012	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 009 新海竹太郎 ゆ あみ	児島 薫	〃	〃
				思うままに クライ スバークの芸術 自 然破壊を告発[新宮 晋]	梅原 猛	東京夕刊	2.27



造形作家・新宮晋、被災地で共作 復興へ「元気のぼり」子どもの創作力満開	吉田 俊宏	日経タ刊	5.2	
新しい芸術発信 自然のアトリエ[陣崎草子]	横山 就平	読 売	10.14	
本よみうり堂	辛酸なめ子	〃		
妖怪萬画 vol.1〜2 和田京子編			6.24	
図説 死因百科 マイケル・ラルゴ 著			8.12	
万引きの文化史 レイチェル・シュタイア 著	〃	〃	11.11	
田村セツコ 内田静枝編	〃	〃	12.9	
特集 耽美な世界へようこそ 魅惑的な少女 真条彩華	真条 彩華	美術の窓	342	
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 2		美術手帖	971	
Special Edition 新津保建秀『風景』	池上 高志			
Critique 2 情報/欲望のアレンジメント[新津保建秀]	星野 太			
アクリリックス・ワールド71 新藤杏子	石井 芳征	〃	973	

## (ス)

作家通信 三上登先生を偲ぶ	翠 酒湖	水墨画*	281	
連載(87、88) 近代美術資料 吹田草牧『渡欧日記』(続)	吹田 草牧	視 る	454、456	
所蔵品紹介229 天窓の上の獅子座 末政哲夫		石川県立美術館だより	349	
戦中から戦後へ作家をたどる 6 関連美術団体(その3)および末松正樹	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	126	
追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ 織田廣喜先生を偲ぶ	末光 利夫	新美術新聞	1285	
中特集 心の風景 菅久 懐かしさ	高山 淳	美術の窓	349	
写真がもっと好きになる。写真を見る編。写真の本質 思い起こさせる[菅原一剛]	竹内 薫	日経タ刊	5.23	
彫刻家の現場から 81 菅原二郎	武田 厚	美術の窓	341	

作家通信 バリ個展を終えて	菅原 健彦	水墨画*	282	
話題の人 巻頭インタビュー 杉浦康平さん(グラフィック・デザイナー)	杉浦 康平 談 集 部	目の眼	424	
REVIEWS01 榎木野衣 月評第44回 描かれた甲殻類 杉浦千里「博物画に観るエビとカニの美」展	榎木 野衣	美術手帖	965	
本よみうり堂 美しきエビとカニの世界 杉浦千里画 朝倉彰解説	畠山 重篤	読 売	7.1	
愛媛県美術館所蔵杉浦非水コレクション—整理・分類に関する報告と資料紹介—	鳴原 悠 長井 健	愛媛県美術館年報・研究紀要	11	
Report 杉浦非水作品資料調査	鳴原 悠	カンフオロ	43	
江戸博蔵めぐり 日本一ノ画断[えばなし] モダンな絵、はやりの装丁[杉浦非水]	楯石もも子	読 売	9.7	
インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.2 杉澤友佳	杉澤 友佳 談	ギャラリー*	329	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 058 杉田禾堂 用途を指示せぬ美の創案 原始期・過渡期・完成期	藤井 素彦	美術手帖	967	
日々の思い出を託す—ことばをそえて9、11、12	杉谷 隆志	水墨画*	274~276	
作家通信 東京都美術館での墨美展	〃	〃	279	
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 杉戸洋	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	
寄稿 私の書学研究と書画の揮毫—第二回寄菴杉村邦彦書画展ギャラリートークをもとにして—	杉村 邦彦	書道文化	8	
茶話マンガ クイズ 研の熱い青春[杉基イクラ]	伊藤 剛	朝日タ刊	9.29	
現代美術激戦区に口を開いた異次元への通路、彼岸へ誘う杉本博司のNY喫茶室	橋本 麻里	芸術新潮	745	

Movie 売れっ子現代 美術家が素顔チラ見 せ仕事を語る[杉本 博司]		"	748	小津安二郎、東郷青 児らの寄せ書き屏風 映画「新しき土」上映 にあわせ展示[鈴木 信太郎]	山根 聡 産 経	4.5
大特集 縄文の歩き 方 エッセイ 縄文 と私3 縄文の魂	杉本 博司	"	755	自由席 小杉勇と芸 術家の交遊屏風[鈴 木信太郎]	(古) 日経夕刊	4.18
ブロック報告 四国 ブロック 芸術祭以 後の四国・瀬戸内 [杉本博司]	中田 耕市	ZENBI	1	展覧会とアーティス ト2 VOCA 展2012 現代美術の展望—新 しい平面の画家たち VOCA 賞鈴木星亜 何かを描くことより も、描くこと自体が テーマ	ギャラリー 一*	323
INFORMATION MO- VIE 作品制作のド キュメンタリー 見 えない精神を物質化 する、杉本博司の舞 台裏 映画『はじま りの記憶 杉本博司』	丹羽 晴美	美術手帖	964	作家訪問428 陶芸家 鈴木隆さん	編 集 部 目 の 眼	430
人間の起源をアート でたどる 自然との 一体感 未来開く 現代美術作家 杉本 博司さん	富田 律之 聞き手	日経夕刊	4.4	追悼特集 福王寺法 林氏を偲ぶ 類を見 ない大胆な山の作品	鈴木 竹柏 新美術新 聞	1277
メトロポリタン美術 館展 大地、海、空 —4000年の美への旅 人類史 自然との歩 み 源泉の感情	杉本 博司	読 売	9.27	特集 アートの力を 考える! PART2 きずな—再生美術の 力 鈴木竹柏	高山 淳 美術の窓	348
下町の陰影描き出す 消えゆく木造家屋の 美しさ、細密なペン 画に	杉山 八郎	日 経	6.7	作品 「さくら1104 K」	鈴木 司 秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 109 杉山寧 仮象	天野 一夫	美術手帖	967	土が描く森羅万象 和紙を埋め100日、 掘り出すと生命力帯 びた作品に	鈴木寅二啓 之 日 経	8.27
守り、伝え、遺す— 《点音[おとだて] in 白川公園》のその後 [鈴木昭男]	清家 三智	アートペ ーパー	91	絵本「しごとば 東 京スカイツリー」作 者 鈴木のりたけさ ん(36) 現場の熱意 を伝えたい	産 経	5.31
特集 アートの力を 考える! PART3 鈴木英子 ユニーク な仲間達	高山 淳	美術の窓	348	特集 クリストファ ー・ノーラン『メ メント』から『インセ プション』、そして 『ダークナイトライ ジング』へ 遠近法 の曲がり角 クリス トファー・ノーラン とグリッド	鈴木 一誌 ユリイカ	614
茶碗に思う	鈴木 藏	陶 説	710	作家通信 和紙・墨 ・筆に感謝	鈴木 墨章 水墨画*	284
座談会 現代陶芸の 在り方を問う	乾 鈴木 中島 森野 森司 会	由明 藏宏 泰明 孝一	" "	女川 佐々木写真館 鈴木麻弓著	日 経	3.18
小林一三の愛した画 家・鈴木華邨	宮井 肖佳	阪急文化 研究年報	1	益子焼破片でカラフル 砂利 震災がれき ヒント 陶器再利用 栃木の陶芸家 町の 復興にも一役[鈴木 稔]	内田 淳二 東京夕刊	8.7
日本画家・鈴木國男		美術屋・ 百兵衛	22	まばたきの記憶 第 10~15回	鈴木 康広 A X I S	155~160
作家通信 中国水墨 画交流展・上海	鈴木 昇岳	水墨画*	275	制作ノート 脚を描 く	鈴木 泰裕 武蔵野美 術大学研 究紀要	42

SEE-SEA-SAW 3つのS(映像)	鈴木 余位	多摩美術 大学研究 紀要	26	綴じ込み カイカイ キキギャラリー 「A Nightmare Is A Dream Come True : Anime Expression- ist Painting」展を開 催! 参加作家によ る座談会 カオス* ラウンジの後、僕ら はどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr.	美術手帖	967
川内倫子 写真を生 きる	鈴木 理策	芸術新潮	751	追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ “いつも いる”	須藤 愛子	新美術新 聞	1285
鈴木理策の写真集に おける編集の手法に ついて—『KUMA- NO』と『PILES OF TIME』を中心に	FROGER Lilian	芸 叢	27	特集 アートの力を 考える! PART 3 須藤愛子 命のダイ ナミズム	高山 淳	美術の窓	348
特集 セザンヌには どう視えているか Etude 記憶に依らず に見ること	鈴木 理策	ユリイカ	609	21世紀のアーティ スト 須藤由希子		ギャラリ ー*	327
コダック破綻、とう とう来たか やわら かい色調好きだった [鈴木理策]		朝 日	1.25	あすから「第31回損 保ジャパン美術財団 選抜奨励展」平面 作品部門 秀作賞 須藤由希子氏(仙川 の畑—斜面) 鉛筆 で描く独特の質感	須藤由希子	産 経	3.2
カバーインタビュー ／トラフ建築設計事 務所[鈴野浩一]	谷口真佐子、 編集 部 インタビュー 一・文	A X I S	155	アイヌ・アートの現 在—その豊かさを共 有するために[砂澤 ビッキ]	池田 忍	美術運動 史研究会 ニュース	129
企画展 Topics 須田 国太郎展—没後50年 に顧みる—		石川県立 美術館だ より	345	彫刻家が求めた理想 の村 北海道、音威 子府村へ移住した砂 澤ビッキ、創作で地 域に活力	河上 實	日 経	4.2
Focus 須田国太郎展 没後50年に顧みる	尾崎 眞人	京都市美 術館ニュ ース	204	美・コレクション 風雪という襲に委ね て 砂澤ビッキ「四 つの風」	岸 桂子	毎 日	8.15
作品研究 須田国太 郎が《書斎》の影に込 めた想いとは?	大谷 省吾	現代の眼	593	「音」テーマに街おこ し 芸術家と市民連 携イベント 千住で 10—12月「スプツニ 子!」		産 経	10.3
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 074 須田国太郎 書 斎	榊田 倫広	美術手帖	967	インスピレーション グラフィック 生活 を可視化するグラフ ィックの試み—「ラ イフストライブ」 [SPREAD]	深沢 慶太	A X I S	156
戌も歩けば beau[ボ ー]に当たる 第三 十二回 底光り[須 田国太郎]	武田 厚	美術の窓	345	空に泳ぐ 澄毅著		日 経	10.7
「愚茶」へのいざない [須田剋太]	鈴木 皓詞	陶 説	716	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる ! 注目超絶技巧作家 たち02 鷺見磨 正 確無比であり、コン セプチュアルな絵画	福住 廉	美術手帖	974
物に執して(最終回) [須田剋太]	〃	目 の 眼	435	不思議なそりのある かたち	澄川 喜一	絲綢之路	68
須田悦弘の木彫—そ の制作プロセスに迫 る	水沼 啓和	千葉市美 術館ニュ ース C'n	64				
特集 拡大・縮小美 術館 立体編 対談 須田悦弘×水沼啓和 近づいて見る? 遠く から見る? 「空間」 と融合するアート	須田 悦弘 水沼 啓和	美術の窓	350				

東京スカイツリー® ×そりのあるかたち 澄川喜一彫刻展	新美術新聞	1279
特別対談 東京スカイツリーに見る江戸と東京の不思議	澄川 喜一 竹内 誠	
日本の美と技術を世界に向けて情報発信	中村 光男	
「澄川喜一彫刻展」開催に寄せて	根津 嘉澄	
そりのあるかたちと東京スカイツリー	逢坂恵理子	

都市再生—とうきょうスカイツリー駅オープンと東京電機大学千住キャンパス開設 澄川喜一「TO THE SKY」墨田区と宮田亮平「飛躍」北千住 足立 4月20日、2地域で記念式典と彫刻作品除幕が同時披露	〃	1280
---	---	------

転機。話そう、話しましょう 56 彫刻家澄川喜一さん 好きなことを続ければ夢かなう 少年時代に見た橋の美をスカイツリーに	渋谷 和彦 産 経	3.17
--	-----------	------

東京新聞フォーラム 匠の技の先端と伝統 東京スカイツリー 基調講演 澄川喜一氏 彫刻家・元東京芸術大学学長 世界に誇る芸術品	澄川 喜一 東 京	2.18
--	-----------	------

スカイツリーの「不思議」な魅力 デザイン監修者澄川喜一さんに聞く そりが生み出す美 天候で変化する白	三沢 典丈 東京夕刊	5.1
--	------------	-----

学びのふるさと「絵が上手だね」小学校の恩師、余白の似顔絵見て 彫刻家 澄川喜一さん	森田 省吾 聞き手 日経夕刊	5.25
---	----------------	------

幕末明治初期住吉派における復古派としての遠藤廣宗、遠藤貫周と住吉廣賢	梶岡 秀一 愛媛県美術館年報・研究紀要	11
------------------------------------	---------------------	----

4〔読ん〕で知るアート 食と現代アート一粒に込めた愛の形 [three]	岡部あおみ 朝日夕刊	6.20
--------------------------------------	------------	------

絵画は“渴望”を刻む 一高橋由一の新発見 肖像画	諏訪 敦 芸術新潮	749
--------------------------	-----------	-----

SPECIAL FEATURE 松井冬子 諏訪敦インタビュー 絵描きによる絵描きの肖像画	福住 廉 美術手帖	963
REVIEW とり結ばれ、発揮された力	諏訪 敦 〃	971
特集 耽美な世界へようこそ インタビュー 諏訪敦	諏訪 敦 談 美術の窓	342
HEADLINE 09 アーティスト22名による精緻な作品群を展示—蠱惑〜巧術其之参 [諏訪敦]	ファウンテン	3

## (セ)

近代美術の眼 さまよう蝶 画面構成が浮遊感生む[清宮質文]	榊田 倫広 読 売	3.16
-------------------------------	-----------	------

日々好日 「くつつく」	関 出 新美術新聞	1279
-------------	-----------	------

文房四宝のおはなし 4 文房四宝に欠かせない素材 膠[関出]	永田 真紀 水墨画*	275
--------------------------------	------------	-----

批評 1937年の長谷川利行 一人称絵画、光りてすべる水すまし	関 智生 R E A R	28
---------------------------------	--------------	----

制作ノート 「見る」という行為について	関 ひとみ 武蔵野美術大学研究紀要	42
---------------------	-------------------	----

都市蝶 関洋著	日 経	7.1
---------	-----	-----

作品 「vitro flos 03 vita」	関 由美 秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
-------------------------	---------------------	----

フェイス21世紀160 関口光太郎 天衝く素朴の塔 観るものの肝を抜く	和田 圭介 新美術新聞	1281
-------------------------------------	-------------	------

COMPETITION TARO 賞決定! 第15回岡本太郎現代芸術賞[関口光太郎]	石井 芳征 美術手帖	965
--	------------	-----

岡本太郎現代芸術賞受賞作決まる 太郎賞には新座の関口さん 敏子賞には厚木の千葉さん	山本 哲正 東 京	2.4
---	-----------	-----

この人 新聞紙を素材にする現代アートの造形作家 関口光太郎さん 身近なものを使えば美術の敷居下がります	椎谷 哲夫 〃	8.17
---	---------	------

「図工」の喜び 天まで届け 古新聞貼って貼って巨大オブジェ[関口光太郎]

富田 律之 日経タ刊 4.2

特集 アートの力を考える! PART 3 関口聖子 生まれいずるもの

高山 淳 美術の窓 348

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 025 関根正二 信仰の悲しみ

蔵屋 美香 美術手帖 967

「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[妹島和世]

大西 若人 朝 日 12.11

ルーブル分館お披露目 日本人が設計、来月開館[妹島和世]

三井 美奈 読 売 11.1

「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[妹島和世]

高野 清見 〃 12.20

日々好日 匂い

瀬戸 剛 新美術新聞 1291

佐藤春夫の新聞小説「極楽から来た」における芹沢銈介作挿絵の図様改変について—芹沢銈介宛 小川龍彦師書簡を通して—

福地佳代子 芹沢銈介 美術工芸館年報\* 3

町工場の町 息づくモダン 東京・蒲田、時代の先端追い求める心引き継がれ[芹沢銈介]

鍋谷 孝 日 経 3.26

特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 仙石裕美

本江 邦夫 美術の窓 344

中特集 絵画のある旅を楽しもう 軽井沢千住博美術館と南軽井沢アートスポット 自然の息吹に耳を傾けることができる空間

千住 博 水墨画\* 280

ボナノッテさん、千住博さんと対談 創作を語る 表現したいのは「人の内面」

産 経 10.31

メトロポリタン美術館展—私の1点 乱開発 危機感伝わる

千住 博 読 売 11.9

仙田満氏 復興に子どものアイデアを

〃 3.8

お手本画&秀作集 其ノ十六 仙洞田文彦[近江寺境内]

仙洞田文彦 水墨画\* 281

作家通信 写生への思い

〃 〃 284

# (ソ)

創刊750号記念大特集 古事記 日本の原風景を求めて なぜ古事記?

五月女ケイ子 芸術新潮 750

第25回奨学者のレポート 結露

s o k a m i アクリラート(別冊) 2012

サグラダ・ファミリア「生誕の門」日本人彫刻家が扉を制作へ[外尾悦郎]

産 経 9.24

サグラダ・ファミリアの扉を外尾悦郎さん製作へ「生誕の門」に取り付け

毎日タ刊 9.24

邦人彫刻家 世界遺産の扉制作 サグラダ・ファミリアで2015年完成見込み [外尾悦郎]

読 売 9.20

水墨の最前線8 墨と水、そして、こころのおきどころ 園家誠二

立島 恵 水墨画\* 278

中村彝・曾宮一念・小泉清 曾津八一と早稲田中学の画家たち—早稲田中学・高等学校所蔵作品を中心に—

大島 幸代 早大曾津八一記念博紀要\* 13

# (タ)

佳作賞展 「公募団体ベストセレクション美術2012」展

醍醐イサム 自由美術 2012

作家通信 近況 2012.5.9

〃 水墨画\* 279

3・11後を生きる 非核×芸術案内 市民が描く原爆への怒り[大道あや]

岡村 幸宣 東 京 7.26

東京タワーで似顔絵 半世紀で10万枚、子供なら大きな瞳に少し“お化粧”

平 二郎 日 経 5.3

写真そっくり 超絶技巧 平久弥展

大西 若人 朝日タ刊 2.15

フェイス21世紀159 平良美樹 書と人形で息づく日本の昔話

松崎 裕子 新美術新聞 1279

第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— これからの制作	高井 将行	日展ニュース	144	評伝 高橋秀(2) —イタリアと日本の間で—	谷藤 史彦	ふくやま美術館・書道美術館紀要*	6
作家通信 ほろりほろりこてん	高岡 暁	水墨画*	284	「大津絵」の魂色あせず 文明開化で途絶の危機救った曾祖父、庶民の民画継承	高橋 松山	日 経	1.31
高岡典男「SUMMIT」	谷 哲夫	Wave II	4	2011 P01(シルクスクリン)	高橋 正	多摩美術大学研究紀要	26
第25回奨学者のレポート 作る風景	高岡 美岐	アクリラート(別冊)	2012	特集 耽美な世界へようこそ 高橋天山	高橋 天山	美術の窓	342
高岡陽 《おのみちしぐさ》、《Thinktionary》、《妃—kisasi シリーズ「白の雫」》、《おのみち朝挽ぎいちじく》	高岡 陽	尾道大学芸術文化学部紀要	11	作家通信 第二十回記念展と出版と	高橋 英男	水墨画*	274
特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 注目の若手日本画家 高木優子インタビュー	高木 優子	美術の窓	344	わたしたちの教室へようこそ	狩野 紘信 高橋 英男	"	276
特集 耽美な世界へようこそ 物語の中の世界 高島圭史	高島 圭史	"	342	本づくし 「未来を考えるための起点として」『平成24年度版 食糧・農業・農村白書 —東日本大震災からの復興1年—』農林水産省編	高橋 正実	A X I S	160
河村コレクション 「欧州交友名刺帖」をめぐって—高島北海によってフランス滞在中に収集された名刺を中心に	鶴飼 敦子	下関市立美術館研究紀要	13	彫刻家の現場から 89 高橋耕旺	武田 厚	美術の窓	349
高島北海とアメリカ	"	潮流	109	のんびんだらりの記 [高橋由一]	丹尾 安典	一寸	50
第25回奨学者のレポート 風景	高田 理美	アクリラート(別冊)	2012	長谷川竹葉の錦絵—高橋由一や山形・日光の名所風景をめぐって—	岩切信一郎	"	51
戦中から戦後へ作家をたどる 9 高田博厚、木内克および金山康喜、野見山暁治	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	129	荒縄と尾鰭の話—高橋由一《鮭》をめぐって	歌田 眞介	近代画説	21
高田冬彦 バカラッチのように「EMERGING/MASTER 1 会田誠 『美術であろうとなかろうと』展より		芸術新潮	745	絵画は「渴望」を刻む—高橋由一の新発見肖像画	諏訪 敦	芸術新潮	749
土門拳賞に高梨豊さん		読 売	4.5	美人画 再見[高橋由一]		日本美術新聞	4
交遊抄 富士山と猫 [高波壮太郎]	佐藤 公明	日 経	7.27	論文要旨《修士》『画遊席珍』について [高橋由一]	大西 晶子	美術史論集	12
特集 デッサン力を磨く ⑧技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 高野卯港のデッサン 執拗に描きつづられた生活の匂い	岸野 裕人	美術の窓	340	L'oeil 美は語る13 高橋由一 実を求め続けた日本近代洋画のバイオニア インタビュー 古田亮	古田 亮 談	美術の窓	344
追憶の風景 せんべい雲[鷹野ゆき子]	福島 泰樹	東 京	11.17	欧人異聞 ガリバルディと西郷どん[高橋由一]	樺山 紘一	日 経	6.10
特集 アートの力を考える! PART 2 きずな—再生美術の力 高橋英生 星空を見るように	高山 淳	美術の窓	348	目は語る アート逍遥 6月 高橋由一の油彩画 優れた手業と鋭い知的精神	高階 秀爾	毎日々刊	6.6

近代洋画の開拓者 高橋由一展 甲冑図 (武具配列図)=1877 年、靖国神社遊就館 蔵 古い時代脱ぎ捨 てて新境地	河原 啓子	読 売	6.10						近代美術の眼 No. 273(影) 視覚 を幻惑 想像ふくら む[高松次郎]	蔵屋 美香	読 売	9.14
「高橋由一」展		読売夕刊							SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 044 高村光太郎 鯨	榊田 倫広	美術手帖	967
渾身のミスマッチ 「花魁」	前田 恭二		5.1						高村光太郎《裸婦坐 像》	仁科 惇	碌山美術 館報	32
武具への鎮魂歌 「百万塔と鎧袖[が いしゅう]図(鎧袖 塔)」	〃		5.2						水墨の最前線14 緊 張感に貫かれた墨に よる刺青の表現 高 村総次郎	立島 恵	水墨画*	284
身や皮に質感 「鮭」	高野 清見		5.8						SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 045 高村豊周 挿花 のための構成	横溝 廣子	美術手帖	967
難事業雄々しく 「栗子山隧道」	〃		5.9						高山辰雄と奥田元生 誕生100年 ふたり の日本画家に思う一 自然と人間を起点に 向きライバルとして	野地耕一郎	新美術新 聞	1299
ぎやらいいモール 東京芸術大学大学美 術館「近代洋画の開 拓者 高橋由一」か ら「甲冑図(武具配 列図)」 高橋由一	古田 亮	読売夕刊	5.22						SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近 代美術の傑作150 126 高山辰雄 食べ る	〃	美術手帖	967
論点スペシャル サ ッカーと日本人 現 実が「翼」追いつく 高橋陽一氏 漫画家	大塚 隆一 聞き手	読 売	10.10						特集 アートの力を 考える！ PART 1 高山辰雄 生きる力 と謎		美術の窓	348
「見る」超えたアート 語る・聞く 全盲の 芸術家と学生、対話 し制作 触る・かぐ 香りつき・大きさ違 う粒で「スナエ」[高 橋りく]	小川 雪	朝日夕刊	1.30						野見山暁治 絵とこ とば きょうも描い て、あしたも描いて、 90年。 絵筆とペン 野見山暁治の思い出	高山 登	ユリイカ	613
発表要旨 第八回全 国大会・第二十二回 研究会 高島華宵の 子ども絵—アリスと の同質性をめぐって	高島 麻子	大正イマ ジュリイ	7						思うままに クライ スバーグの芸術 自 然破壊を告発[高山 登]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
視点 落石[おちい し]計画第五期につ いて	高浜 利也	美術の窓	347						「失業すれば元のの らいぬ」…除隊後の 「のらくろ」復刻[田 河水泡]	宮本 茂頼 朝 日	5.9	
2012年日本建築学会 作品選奨 小布施町 立図書館 まちとし ょテラス[高間三郎]		建築雑誌	1635						本づくし 「創造性 の放棄か、新たな建 築のあり方か。3.11 後の建築」『建築の 大転換』伊東豊雄、 中沢新一著	多木 陽介	A X I S	158
高松次郎 形／原始 No. 1382	神田 直子	WaveⅡ	3									
作品研究 影と遠近 法—荒川修作と高松 次郎	蔵屋 美香	現代の眼	594									2.14～16、 18、20～ 23、25、27 ～3.1、3、 5～8、10、 13～15、 17、19～ 21
所蔵品から 高松次 郎《No. 297(“Photog rapher”)》	神山 亮子	府中市美 術館だよ り	35						時代の証言者 寺を 建てる 瀧川昭雄 1～26	河合 敦	読 売	
特集1 批評家はど こにいるのか 高松 次郎と「影」の論争— 予備的スケッチ (Ver. 1.5)	土屋 誠一	R E A R	27						瀧口修造とマルセル ・デュシャン	水沼 啓和	千葉市美 術館ニュ ース C'n	61

対照的な2人の交流 瀧口修造とマルセル・デュシャン展	大西 若人	朝日夕刊	1.18	総特集 永野護 『ファイブスター物語[ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴティックメード』の衝撃「アモルマニア」へ至る道 神はデザインする 永野護をめぐるトラフィックス	武井 宏之 西島 大介 梅沢 和木	ユリイカ	619
美術評 瀧口修造とマルセル・デュシャン レンズとしてのレディメイド	古谷 利裕	東京夕刊	1.24				
規制の潮流を超越 「瀧口修造とマルセル・デュシャン」展	宝玉 正彦	日 経	1.12	旧李王家東京邸内の武石弘三郎作大理石浮彫について	高 晟竣	新潟県立近代美術館研究紀要	11
人が自由に悲しみを表現できる場所に、興味があった 瀧澤明子個展「Over the Parched Field」	大坂絢一郎	ファウンテン	2	第六十五回全国大会研究発表要旨 明治期後半の竹内栖鳳の活動—高島屋の海外万国博覧会への染織作品に注目して—	廣田 孝	美術史	173
現代美術の歩き方 今月の一品 瀧下和之「火の国風神雷神」	富澤 治子	美術の窓	343				
著者に会いたい 瀧波ユカリさん はるまき日記偏愛的育児エッセイ ぼこぼこ連なる面白い発見	鈴木 繁 朝 日	7.29		SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 010 竹内栖鳳 雨霽	加藤 弘子	美術手帖	967
お手本画&秀作集 其ノ十七 田口曉華《夕暮れの街並み—ヨーロッパの旅より》	田口 曉華	水墨画*	284	作家訪問433 九谷焼作家 竹内瑠璃さん	編集部	目の眼	435
作家通信 元気のヒミツ 千支を描く	詫間 夢鳳	〃	285	武腰敏昭 2010-2011年 作品の解説	武腰 敏昭	金沢学院大学紀要*	10
INFORMATION PRODUCT takram による新プロダクト takram が提案する 100年後の人工臓器群 第13回ドクメンタにて発表	猪飼 尚司	美術手帖	971	コミック 電氣ぶらんこ 武島波(作) 男も絡める親子の螺旋物語	南 信長 朝 日		3.18
特集 広島[ヒロシマ]・長崎[ナガサキ] 第1部 座談会 建築家は長崎にどう向き合ったか—長崎水族館と長崎市公会堂建設の試み[武英雄]	高津 昭生、実、満、文彦、香成 竹山 渡辺 砂本 初田 開き手	建築雑誌	1635	美術教育活動とアートセラピーの共同研究	竹田 光幸	多摩美術大学研究紀要	26
導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(1)—「美術リテラシー」に関するアンケート—	杉山 倫也 昇、滋、樹、文 長谷川 正 横濱大学教育紀要	美術教育研究	2	特集 武富健治『鈴木先生』が教えるマンガの豊饒		ユリイカ	606
江戸博蔵めぐり コドモノクニ 第五巻 第十二号童謡号 一流志向 幼児向け雑誌[武井武雄]	式 淳子	読 売	1.27	対談 鬱屈を引き受けるひと パッションとしての憂い顔	武富 健治 安彦 良和		
本よりうり堂 CO-CHAE 企画・著 「武井武雄のこけし」	(井)	〃	3.18	鈴木先生の白熱マンガ授業「演ずること」と“キャラ”の相克	斎藤 環		
				ひきつった笑いを忘れるな 今日僕たちはマンガを読み続ける	伊藤 剛		
				倫理=ことばを教えるということ 若きソクラテスとしての鈴木先生	伊藤 氏貴		
				鈴木先生にあだ名をつけてあげよう	千葉 聡		
				徹底討議 『鈴木先生』を饒舌に語ってしまう理由[わけ] 反時代的マンガの同時性	武富 健治 宮本 伊藤 大人 剛		



資料 武富健治作 品解題	想田 充 三輪健太郎			夢二作 未確認の茶 屋娘 大正初めころ 肉筆画 静岡旧家で 学芸員が発見	天田 優里	〃	2.6
特集 武富健治 『鈴木先生』が教える マンガの豊饒 (演 技)の真実を生きる		ユリイカ	606	美の美 竹久夢二— 叙情の革命 上、中、 下	内田 洋一	日 経	7.22、29、 8.5
『鈴木先生』と演劇 的リアリティ	吉田 大介			夢二の「美人画」発見 静岡市美術館「茶 屋の娘」と命名	平塚 雄太	毎 日	2.5
〈私〉を乗りこなす ための免許	松井 周			第43回日展 新入選 者寄稿—喜びと抱負 — 日展と私	武満俊一郎	日展ニユ ース	144
世界は舞台だ	篠儀 直子			図画教育者列伝(五) 竹村耕靄	金子 一夫	一 寸	49
特集 武富健治 『鈴木先生』が教える マンガの豊饒 武富 健治の世界		〃	〃	匠の技 可動自在菩薩 藏・走・投・座 [竹谷隆之]	佐々木紀明	読 売	11.11
『鈴木先生』の作り 方、あるいは成長 し続ける物語	宮本 大人			蔵出し 水墨画の逸 品6 田崎草雲「秋山 晚暉図」	大澤 伸啓	水 墨 画*	282
武富健治の中の「娯 楽」「文芸漫画家」 登場まで	ヤマダトモ コ			「工芸な人」に聞く 第十三回「竹紙作 家」 田崎博和さん	八橋 知美 聞き手	五風十雨	66
鈴木先生の不安な 日常	野田 謙介			パブリック・アート 散歩 (シリーズ No.1)熊本市/高橋 公園と千葉城公園の 彫刻[田島亀彦]	古家 良一	V i e w	142
『鈴木先生』と知的 エンターテインメ ント	蔓葉 信博			SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる ! 注目超絶技巧作家 たち04 田嶋徹「細密 画の大三角」の旅人	内田 伸一	美術手帖	974
『江露巢主人大全』 と鬼畜系の伏流水	永山 薫			一増殖装置— 銅版 画の制作2005—2011	田島 直樹	筑波大学 芸術研究 報告	58
きみはペットなん かじゃない	さやわか			特集 アートの力を 考える! PART 3 田代久美子 心象的 な街	高山 淳	美術の窓	348
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作について	竹永 亜矢	自由美術	2012	お手本画&秀作集 其ノ十四 多田早苗 《希望》	多田 早苗	水 墨 画*	279
鼎談・茶の湯と文房 具を中心に[竹中浩]	筒井 紘一 荒川 正明 竹中 浩	陶 説	715	街角アート 銀色の 輝きの魅力[多田美 波]	星野 清一	新美術新 聞	1287
2012年日本建築学会 作品選奨 大川の家 [竹原義二]		建築雑誌	1635	続・百年の手紙 20 世紀の日本を生きた 人々34 紙ナブキン に書いた便り[立原 道造]	梯 久美子	東京夕刊	8.31
(川西英コレクション) に見る、川西英と 竹久夢二	山野 英嗣	京都国立 近代美術 館研究論 集	4	INFORMATION PEOPLE 第37回木 村伊兵衛写真賞 受 賞・田附勝「写真家 ・田附勝—「東北」と いう被写体に何を見 るか	山内 泰宏	美術手帖	967
第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 竹久夢二の生涯 における人形制作活 動の位置づけ	王 文萱	美 学	241				
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 041 竹久夢二 十字 架(散らし絵)	森 仁史	美術手帖	967				
京都からの夢二	寺口 淳治	視 る	457				
夢二と彦乃の作品同 時寄贈 金沢へ肉筆 画など150点	田嶋 豊	東京夕刊	1.21				

木村伊兵衛賞に田附さん[田附勝]	朝	日	2.18	田中敦子《Spring 1966》—《電気服》はいかに平面へ変換されたか—	加藤 瑞穂	フィロカリア	29
ひと 第36回木村伊兵衛写真賞を受賞した 田附勝さん	西岡 一正	〃	〃	目は語る アート逍遥 2月 震幅と田中敦子 感覚呼び覚ました前衛芸術	高階 秀爾	毎日夕刊	2.23
「日常の真 写す力」木村伊兵衛賞「東北」受賞の評[田附勝]	〃	〃	3.6	東アジアの王権と宗教 「桃鳩」イメージの変容—王権の表象から平和の象徴へ[田中一光]	板倉 聖哲	アジア遊学	151
木村伊兵衛写真賞を受賞 田附勝さん 東北を見つめるきっかけに	篠原 知存	産 経	3.14	美の履歴書282 直線なのになぜ柔らか「Nihon Buyo」 田中一光	大西 若人	朝日夕刊	11.28
むきだしの「東北」語る 写真家、田附さんと民俗学者、赤坂さん[田附勝]	手塚さや香	毎日夕刊	5.1	アルファベットの冗舌 国や時代を映す書体[田中一光]	窪田 直子	日 経	2.9
次世代 人 濃密な東北 切り取る 田附勝さん	井上 晋治	読売夕刊	4.28	田中一村と海上派—呉昌碩に魅せられたものと《クワズイモとソテツ》	森下麻衣子	美学芸術学	27
特集 耽美な世界へようこそ 魅惑的な少女 龍口経太	龍口 経太	美術の窓	342	美の履歴書241 なぜ署名がないのか「アダンの海辺」 田中一村	新谷 祐一	朝日夕刊	2.15
佐賀文化考 辰野金吾の遺産 武雄温泉と旧唐津銀行		美術屋・百兵衛	23	入門講座 南島と文学5 日本人の意識文化・歴史膨らむ多様性[田中一村]	小野 正嗣	日経夕刊	8.30
決断の日本史 145 1872年10月 唐津藩士・辰野金吾の旅立ち「東京駅の建築家」への道	渡部 裕明	産 経	10.16	美・コレクション 動員のみで測れぬ展覧会成果 田中一村「アダンの海辺」	岸 桂子	毎 日	2.8
マイ・フェイバリッツ 私の好きな作品 辰野登恵子×柴田敏雄	南 雄介	国立新美術館ニュース	24	部品再生 廃車アート エンジンでテーブル 排気管のオブジェ 立川の自動車整備工場主「車は生き物」[田中梅夫]	北爪 三記	東 京	11.13
新人賞展 龍輪恵子さんの作品を観て	足立 龍男	自由美術	2012	Editor's Eye 『月映』と結核、あるいは「死に至る病」[田中恭吉]	松山 龍雄	版画芸術	157
特集 まるごと「具体[GUTAI]」！ 東京で生まれた前衛美術とは 田名網敬一の語る1950—1970と現在		美術の窓	347	特集 大正時代の版画誌『月映〔つくはえ〕』の青春 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎	〃	〃	〃
コミック ネオ・ボーダー1・2 ひじかた憂峰(作) たなか亜希夫(画) 平安末期舞台の「現代ドラマ」	ササキバラ・ゴウ	朝 日	10.14	『月映』前史—回覧雑誌『密室』から私輯『月映』まで			
「MOTコレクション」展開連シンポジウム「現代美術史をいかに語るか—クロニクル/アナクロニクル」採録 講演II 林道郎「アレゴリーとしての『人質』: アンフォルメルと『具体』についての話」[田中敦子]	藤井 亜紀	東京都現代美術館年報・研究紀要	14	公刊『月映』の木版画			
				『月映』その後			
				『月映』という宇宙	井上 芳子		

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150  
018 田中恭吉 生ふるもの 去るもの

井上 芳子 美術手帖 967

講演会「田中恭吉のひみつ」 坂本雅美  
(紙本保存修復家)

〃

和歌山県立近代美術館ニュース 73

## INFORMATION

NEWS 世界最大の国際美術展日本代表選出 第55回ヴェネチア・ビエンナーレ、日本館の作家は田中功起、キュレーターは蔵屋美香に決定

内田 伸一 美術手帖 969

WORLD NEWS ワルシャワ グローバルなマーケットに連動し成長中! ワルシャワのアートシーン [田中功起]

藤高 晃右 〃 971

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術2013年開催予定 ヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表作家・日本館キュレーター決定 [田中功起]

美術の窓 346

日本館出品作家は田中功起さん 来年のベネチア・ビエンナーレ国際美術展

産 経 7.5

出品者に田中功起さん 来年のベネチア・ビエンナーレ

岸 桂子 毎日夕刊 5.17

ベネチア・ビエンナーレ日本館出品の田中功起さん「震災にふれたい」

〃 〃 11.22

日々好日 時空散歩

田中 茂 新美術新聞 1292

新人賞展 及川裕介さんの作品について

田中シンタロウ 自由美術 2012

新美術時評 田中信太郎アトリエ訪問 逆光で「もの派」を再考する

光田 ゆり 新美術新聞 1278

キャラクターデザインとその展開(版画)

田中 新兵 多摩美術大学研究紀要 26

わたしの宝もの82 汚い花

田中 武 新美術新聞 1276

フェイス21世紀165 田中武 人間の欲望に潜む闇 美しく光を照らす

松崎 裕子 〃 1295

作家通信 画材と表現

田中 武 水墨画\* 285

路地写真家が撮る秘密の大都市の36年 田中長徳『屋根裏プラハ』

芸術新潮 747

洋画家・田中真砂子

美術屋・百兵衛 21

作家通信 スケッチは日々へのまなざしを深める

田中みぎわ 水墨画\* 283

愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(36) [田中光義]

岡田 修二 愛知県立芸術大学紀要 41

北川民次の絵画技法(2)一名古屋市美術館所蔵作品の自然科学的調査—

白河 宗利  
歌田 眞介  
森田 恒之  
木島 隆康  
森田 義之  
増田 直人  
山田 論  
田中 元偉  
鈴鴨 富士  
杉原 朱美

〃 〃

追悼特集 織田廣喜氏を偲ぶ 絵描きのあるべき姿を教えてくれた先生

田中 良 新美術新聞 1285

踏影会について 一田中良の舞台装置を中心に—

岡本 光代 文化継承学論集 8

棚田康司「年齢そして傷。木には人に近いところがあるんです」

芸術新潮 755

彫刻家・田辺光彰氏、オーストラリアで「種の保全」を提唱する長さ82メートルの石彫作品を制作中

窪田 元彦 新美術新聞 1295

照明器具デザイン—あかりの提案—

小井土 満  
谷 浩二  
角 文平 武蔵野美術大学研究紀要 42

アクリリックス・ワールド68 谷口真人

石井 芳征  
取材・文 美術手帖 964

建築家・谷口吉郎の記述にみる「材料」の言説について

柴田ちひろ  
河内 浩志 日本建築学会計画系論文集 682

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 064 谷中安規 街の本 シネマ銀座

滝沢 恭司 美術手帖 967

人生の贈りもの 写真家 田沼武能 1 ~5

大庭 牧子  
聞き手 朝日夕刊 2.13~17

時代の証言者 人間を写す 田沼武能 1 ~26

池田 正一 読 売 7.11、12、14、16~19、21、23~26、28、30~8.2、4、6~9、11、13~15

彩・美・風	種田	陽平	朝日夕刊	3.7、14、21、28	日々好日 我が人生に想うこと	田村 鎮男	新美術新聞	1283
特集 美女と幽霊 東芋と観る 大阪・謎の幽霊画	東	芋	芸術新潮	752	中特集 心の風景 田村鎮男 昼の夢	高山 淳	美術の窓	349
第五四回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館報告(二)[東芋]	植松	由佳	国立国際美術館ニュース	188	ぎやらりいモール 弥生美術館「田村セツコ展」から「ベストフレンド」 田村セツコ	内田 静枝	読売夕刊	10.23
特集 2012 年末回顧 日中美術展に寄せて	田淵	俊夫	新美術新聞	1299	視線 ソローニュの森 田村尚子著	保坂健二郎	朝 日	8.12
いのちの煌めき 田淵俊夫展			東京夕刊		仏精神医療の現場撮る	田村 尚子	日 経	8.22
上「ヨルバの花」 生命力への感動そのま	岩下	志麻		6.13	みんなのマンガ学 「青春の一冊」リクエスト編4 BASARA	倉持佳代子	朝日夕刊	1.26
中「泊」観る者の戸惑い意図か	草薙奈津子			6.14	普通の女の子が追いかめた 和 平 [田村由美]			
下 850年の歴史を集約「鶴岡八幡宮絵巻」(部分)	吉田	茂穂		6.15	丹下健三「広島計画」と原爆ドーム—旧産業奨励館が「焼け野原」から「平和の象徴」へ至った経緯について—	越前 俊也	文化学年報	61
戦後の巨匠16[田淵安一]	林 紀一郎	美術屋・百兵衛		20	群像としての丹下研究室 戦後日本建築・都市史のメインストリーム 豊川斎赫(著)[丹下健三]	山形 浩生	朝 日	7.1
新刊紹介 壺中の響きと 玉置保夫／久野治著	小野 公久	陶 説		715	オランダ人建築家レム・コールハースさん来日会見 戦後日本のメタボリズム 丹下健三の役割大きく	手塚さや香	毎日夕刊	7.4
玉那覇正吉『竜 浮彫』について一彫刻と絵画のはざままで—	小林 純子	沖縄県立芸術大学紀要		20				
〈報告書〉玉那覇正吉『竜 浮彫』型取り及び複製制作	濱元 朝和	〃	〃	〃				
沖縄近代彫刻の礎 玉那覇正吉 玉那覇彫刻の起源と絵画の変遷について	仲里 安広	沖縄県立博物館美術館 博物館紀要*		2				
神宮名品解説 染色「芭蕉布帯末広に沢瀉文様」[玉那覇有公]	本多 久子	瑞 垣		222		(チ)		
これからの田舎暮らし 手ぶらはダメ 何してるの 不審な視線	玉村 豊男	日経夕刊		4.4	アイヌ・アートの現在—その豊かさを共有するために[チカッ普美恵子]	池田 忍	美術運動史研究会 ニュース	129
〜ダムタイプ『S/N』と九〇年代京都『アーカイブ』〜	八巻 真哉	国立国際美術館ニュース		191	特集 耽美な世界へようこそ 和風耽美 智内兄助	智内 兄助	美術の窓	342
ぎやらりいモール 東京都写真美術館「田村彰英 夢の光」から「シリーズ『名もなき風景のために』より『座礁船、三重県津市』1994年」 田村彰英	関次 和子	読売夕刊		7.31	作家通信 子どもに伝える水墨画	千野 曜生	水墨画*	275
廃校になった中学活用 ギャラリーやアトリエ 地域に開放、身近にアート[タムラサトル]	大室 一也	朝 日		2.14	歳・月・人 千野曜生 伝えていきたいものづくりの楽しさ	〃	〃	280
					特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 千野曜生 樹間に光る湖面	〃	〃	282
					COMPETITION TARTO 賞決定! 第15回岡本太郎現代芸術賞[千葉和成]	石井 芳征	美術手帖	965

「良き明日への神話  
：福島第一原子力発  
電所」岡本太郎記  
念館で千葉和成さん  
特別展「自分が作  
品にしないでどうす  
る」

岡本太郎現代芸術賞  
受賞決定決まる 太  
郎賞には新座の関口  
さん 敏子賞には厚  
木の千葉さん[千葉  
和成]

わたしたちの教室へ  
ようこそ

特集 秋の制作シー  
ズに贈る18作家の  
水墨世界 千葉玄象  
湯田中雪景

上級者に贈る 創作  
への道7 自己表現  
のためなら画風の変  
化もいとわな

本よみうり堂 文・  
千葉惣次、写真・大  
屋孝雄「東北の伝  
承切り紙」

みんなのマンガ学  
「青春の一冊」リクエ  
スト編3 あしたの  
ジョー 衝撃のラス  
トに胸熱く「ちばて  
つや」

昭和史再訪 マンガ  
新文化のゴング 45  
年(1970年)3月24日  
力石徹告別式 証言  
「あしたのジョー」作  
者ちばてつやさん  
大男のイメージドラ  
マ生む

秋の叙勲 ちばてつ  
やさんから3940人 受  
章者喜びの声 漫画  
家ちばてつやさん  
人間賛歌を描きたい

風刺の精神永遠に  
一コマ漫画故千葉督  
太郎さん 新聞博28  
日〜後進の展示会  
遺作は原発テーマ

野見山暁治 絵とこ  
とば きょうも描い  
て、あしたも描いて、  
90年。 絵筆とペン  
画家と長生きー野見  
山暁治の絵を考えつ  
つ考えたこと

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
055 鳥海青児 うず  
ら(鳥)

産 経 9.24

山本 哲正 東 京 2.4

千葉 玄象 水 墨 画\* 274  
野方 翠芳

千葉 玄象 " 282

" " 283

湯本香樹実 読 売 10.14

吉村 和真 朝日夕刊 1.19

小原 篤 " 3.31

東 京 11.3

井上 幸一 " 4.10

千葉 正也 ユリイカ 613

原田 光 美術手帖 967

SPECIAL FEATURE  
Chim ↑ Pom プレゼ  
ンツ REAL TIMES

§ 前文 §

TEXT スーパーラ  
ット論 溶融する  
現代美術 増殖す  
る突然変異

SPECIAL FEATURE  
Chim ↑ Pom プレゼ  
ンツ REAL TIMES  
GALLERY & INTER-  
VIEWS 世界各国の  
22組が登場! スーパ  
ーラットな表現者た  
ち ARTIST INTER-  
VIEW

VOINA 今ロシア  
で何が起きている  
のか?

宇川直宏 ファイ  
ナルメディア  
DOMMUNE とは  
何か?

ゼウス ヴィジュ  
アル・キッドナッ  
ピングとは何だっ  
たのか

「Chim ↑ Pom 展」/  
西野達作品 無意識  
・無自覚暴き出す

3・11後の表現 5  
美術 歴史の記憶 作  
品に刻む 自省の念  
映像に 失った風景  
「再生」[Chim ↑ Pom]

Chim ↑ Pom  
聞き手  
アンドレイ  
・ボルド、  
編集 部  
構成

三田 格、  
エ リ イ、  
林 靖高  
聞き手  
阿部 謙一  
構成

Chim ↑ Pom  
聞き手  
松下 学  
構成

大西 若人 朝日夕刊 10.3

小川 敦生 日 経 3.10  
富田 律之

(ツ)

黒姫 司 修 " 12.30

3・11後の表現 2  
建築 「みんなで」集  
い作る[塚本由晴] 窪田 直子 " 3.7月岡芳年と「江戸」一  
大判二枚続作品と掛  
物絵判を中心に一 菅原 真弓 浮世絵研 3  
究資料紹介 水野年方  
旧蔵・月岡芳年下絵 日野原健司 " "月岡芳年 幕末・明  
治を生きた奇才浮世  
絵師 太陽(別冊) 196最後の浮世絵師  
月岡芳年 岩切友里子初期の諸相一國芳  
の継承・習作期 "

江戸から明治へー 激動の時代を写す	〃	インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェク ト 世界に発信する アーティストたち No.1 土田康彦	土田 康彦	ギャラ ー*	328
新たな様式の展開 ー芳年風の形成	〃				
明治浮世絵界の泰 斗としての晩年ー 円熟した作品群	〃	特集 秋の制作シー ズに贈る18作家の 水墨世界 土端羊石 貫ヶ岳	土端 羊石	水墨画*	282
近代を併呑し浮世 絵師を全うす	山口 晃	彫刻家の現場から 83 土屋勝	武田 厚	美術の窓	343
初公開! 幻の版下 絵「看虚百覧怪」	岩切友里子	本よみうり堂「聞 耳の森:土屋仁応」	(清)	読 売	12.9
芳年・血みどろ絵 に見る「救い」	横尾 忠則	ときの人34 土屋禮 一 水墨に再挑戦、 深遠なる墨の世界を 探る		新美術新 聞	1269
芳年の「目」、その 凄み	佐野 史郎				
芳年肉筆画の魅力 について	西井 正氣	土屋禮一の「鯉」を観 て	油井 一人	〃	1283
最先端のメディア に携わった芳年	庵原理絵子	水墨の最前線9 軟 水で摩り下ろした墨 にまかせる 土屋禮 一	野地耕一郎	水墨画*	279
美の履歴書280「江 戸」からにじむのは 「芳流閣両雄動」 月 岡芳年	増田 愛子	日本画壇の風雲児 中村正義 下 うし ろの人 穏やかさに じむ遺作	土屋 禮一	東京夕刊	2.22
作家通信 元気のヒ ミツ 笑顔で元気!	月居 和子	コミック 予告犯1 筒井哲也(作) 浮き 出すネット社会の怖 さ	山脇 麻生	朝 日	5.6
追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ 織田廣喜 先生の思い出	月舘 れい				1285
淡々と素材そのまま の凄み 貧困旅行記 つげ義春	柳沢きみお	館蔵品紹介 都筑幸 哉「流水桜漆絵十種 香道具」	久保木章一	遠山記念 館だより	44
てくてく 漫画家の 心を撃った奥摩 都心に近い「仙境」 [つげ義春]		お手本画&秀作集 其ノ十四 角田玉手 《雨の二月堂》	角田 玉手	水墨画*	279
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 065 津田青楓 犠牲 者	足立 元	追悼 福王寺法林先 生のご逝去を悼む	角田信四郎	連盟ニュ ース	442
津田直+石川直樹 「幸せ」だけじゃない ボタンを撮る		3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の 念映像に 失った風 景「再生」[椿昇]	小川 敦生 富田 律之	日 経	3.10
ローカル・ガイド 古代スコットランド 紀行 5000年前の遺 跡にふれる、もぐる	津田 直	全美フォーラム07 「地方」の光と影[坪 内晃幸]	平井 章一	ZENBI	2
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 035 土田麦僊 舞妓 林泉	加藤 弘子	特集 耽美な世界へ ようこそ 物語の中 の世界 鶴友那	鶴 友那	美術の窓	342
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 上[土田麦僊]	小川 敦生	戦中から戦後へ作家 をたどる 7 井上長 三郎、鶴岡政男、安 孫子真人	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	127
		SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 100 鶴岡政男 人間 気化	原田 光	美術手帖	967

作家通信 透明な白  
さを求めて 鶴巻 謙郎 水墨画\* 274

## (テ)

美の美 勅使河原若  
風 前衛の花 上、 富田 律之 日 経 10.28、  
下 11.4現代書における水墨  
表現の受容——一九五  
〇年代の思索[手塚  
右卿] 笠嶋 忠幸 出光美術  
館研究紀  
要 17第43回日展 新入選  
者寄稿—喜びと抱負  
— 日展と自身の表  
現について 手銭 吾郎 日展ニュ  
ース 144『ブッダ』における  
「捨身」とその作品内  
における意味—冒頭  
のエピソードをめぐ  
って[手塚治虫] 橋本 章彦 京都精華  
大学紀要 40手塚治虫先生と会津  
そして笹川ひろし先  
生のこと 白井 祥隆 ザ・ルー  
フ 40若き手塚治虫 未発  
表作? 闇市を活写  
「ヒゲオヤジ」も 岩本 哲生 朝 日 11.3手塚作品の魅力、次  
世代に[手塚治虫] 西岡 一正 朝日夕刊 6.13天才外科医 波乱の  
青春 ブラックジャ  
ック、来年で40周年  
医学生時代を描き「継  
承」[手塚治虫] 岩本 哲生 " 12.1『手塚治虫創作ノ  
ートと初期作品集 2』  
手塚治虫14歳 天才  
の原点 プロとして  
最初の1枚 復刻 溝上 健良 産 経 2.6広角 時代を投影  
眺めて楽しい 小  
さなアート 宝くじデ  
ザイン 手塚漫画の  
キャラクターも起用  
[手塚治虫] 伊藤 洋一 " 7.1910代後半手塚漫画  
未発表19ページ同級  
生60年保管 終戦  
描ける解放感[手塚  
治虫] 東京夕刊 11.2「大人漫画」試みようか  
がえる 手塚治虫さ  
ん未発表作品 " "入門講座 身体表現  
の革新者たち4 シ  
ェルカウイ あらゆ  
る所作 世界中から  
[手塚治虫] 三浦 雅士 日経夕刊 2.23手塚治虫さん未発表  
作品 終戦直後描く  
同級生が保管 毎日夕刊 11.2本よみうり堂 コミ  
ック館 新刊立ち読  
み『手塚治虫 創  
作ノートと初期作品  
集 2』 川村 寛 読売夕刊 2.27ぎやらりいモール  
世田谷文学館『地上  
最大の手塚治虫展』  
から『「スター名  
鑑」肉筆本」 手塚治  
虫 中垣 理子 " 5.29追悼特集 福王寺法  
林氏を偲ぶ 福王寺  
法林先生を悼む 手塚 雄二 新美術新  
聞 1277特集 模写から学ぶ  
絵画の技法 東京藝  
術大学日本画第三研  
究室—古典日本画の  
模写— " 美術の窓 349青春プレイバック  
洋画家寺井重三 師  
・木下孝則への想い 袴田 智彦 新美術新  
聞 1270特集 デッサン力を  
磨く 技法講座  
VOL.25 人気作家8  
名の制作プロセス公  
開 寺久保文宣 バ  
ステルと木炭、水彩  
で薔薇の花をスケッ  
チ 寺久保文宣  
談 美術の窓 340座談会「第四十四回  
日展審査を終えて一  
魅力ある日展に向け  
て」 中山 忠彦、  
寺坂 公雄、  
奥田 小由女、  
岩倉 寿、  
塗師 祥一郎、  
市村 緑郎、  
新井 光風、  
森脇 正人 日展ニュ  
ース 147特輯 岡倉天心生誕  
百五十周年記念 寺崎  
廣業 瀟湘八景 山本 丈志 国 華 1400シルヴァーホワイト  
の媒材研究2 寺田栄次郎 金沢美術  
工芸大学  
紀要 56テラダモケイと建築  
家・寺田尚樹 編 集 部  
谷口真佐子 A X I S 158美博なう 100分の1  
の世界を体感 ワタ  
リウム美術館[寺田  
尚樹] 朝日夕刊 9.12添景 心と和ます紙人  
形の世界 五輪競技  
や動物園いきいきと  
[寺田尚樹] 産 経 8.30山下裕二の今月の隠  
し球91、92 照沼敦  
朗 「自画・自刻・  
自擧」のアニメーシ  
ョン(上、下) 山下 裕二 美術の窓 346、347TOP NEWS 2012  
天明屋尚がギャラ  
リーを全面プロデュ  
ース 天明屋 尚 ギャラ  
リー\* 332

## INFORMATION

NEWS 東京・中目黒にギャラリーオープン 天明屋尚プロデュース! BASARAの息吹をつなぐギャラリー「TENGAJ」

福住 廉 美術手帖 971

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 BASARAスピリットで若手作家を育成 現代美術作家・天明屋尚がギャラリープロデュース開始

美術の窓 346

## (ト)

制作記録 “めぐる水”制作と展示

土井 宏二 金沢美術工芸大学紀要 56

第25回奨学者のレポート REAL

土井奈々恵 アクリレート(別冊) 2012

野菜の味な姿撮ったぞ 山形・庄内の在来種を写真に、けなげさ守りたい

東海林晴哉 日 経 9.24

東郷青児の本

山田 俊幸 一 寸 51

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 023 東郷青児 パラソルさせる女

山西 健夫 美術手帖 967

小津安二郎、東郷青児らの寄せ書き屏風映画「新しき土」上映にあわせ展示

山根 聡 産 経 4.5

自由席 小杉勇と芸術家の交遊屏風[東郷青児]

(古) 日経夕刊 4.18

思い出の井戸

東野 光生 日 経 11.18

対談録「東松照明と沖縄 太陽へのラブレター」展 関連シンポジウム 1

新里 義和 沖縄県立博物館美術館 博物館紀要\*

自作再見 東松照明「嘉手納1969」撮った瞬間ひっくり返った

西岡 一正 朝日夕刊 5.23

こころの玉手箱 写真家 東松照明 1 ~5

東松 照明 日経夕刊 7.23~27

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 114 堂本印象 風神

天野 一夫 美術手帖 967

近代美術の眼 Ka-nashi-11 哀と愛 柔らかな緊張[堂本右美]

保坂健二郎 読 売 2.10

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 026 徳岡神泉 狂女

中村 麗子 美術手帖 967

課外授業 美術のお時間 18時間目[徳岡光造]

安井 収蔵 美術屋・百兵衛 22

松楓蒔絵文台硯箱と戸島光宇

小松 大秀 学習院大学史料館紀要 18

「工芸な人」に聞く 第十五回 「ボーセリン・ペインティング作家」 戸田掛子さん

八橋 知美 聞き手 五風十雨 68

作家訪問424 陶芸家 戸田浩二さん

編集部 目の眼 426

コミック 音楽と漫画と人 戸田誠二〈作〉 夢追う葛藤、喜び 69編

山脇 麻生 朝 日 4.1

ときの人40 戸恒浩人さん 最新技術で江戸の情緒を表現

川島 保彦 新美術新聞 1285

カスビ海沿岸諸国の風土 写真集『対岸』を刊行 「混じり合えないもの」を撮る [百々新]

篠原 知存 産 経 4.19

カバーインタビュー トネリコ

谷口真佐子 A X I S 160

没後20年・殿敷侃

潮流 110

表紙の作品 殿敷侃《作業着》

(H) " 111

パレスホテルロビーに1000年の伝統誇る型染め[鳥羽美花]

産 経 5.9

型染めに映すベトナム 千年の伝統技法、変貌する社会や風景から新たな表現

鳥羽 美花 日 経 8.16

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 036 戸張孤雁 煌めく嫉妬

千田 敬一 美術手帖 967

収蔵品紹介一富岡永洗の肉筆画《雪月花美人図》(右幅)を同種の作品からみる

石井 絵美 長野県信濃美術館紀要 6

被災地に慈悲 わらべ地蔵 各地で彫像会、参加者全員の善意が形に

富田 睦海 日 経 7.23

展覧会スポットライト 富張広司近作木版画展

栗本 寛子 版画芸術 158



こども工芸館/おとな工芸館 植物図鑑 富本憲吉の植物モチーフについて

三上 美和 現代の眼 595

美の美 富本憲吉 モダンへのまなざし 上、下

松岡 資明 日 経 4.8、15

第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 自身の表現について

富元 秀俊 日展ニュース 144

京都の伝統 最後までわからないのが面白い 絞裏庵 創業者/工芸家 富山英樹さんへのインタビュー

築出瑛理子 瓜生通信 56

美術学部教員展図録 陶磁

友岡 秀秋 愛知県立芸術大学紀要 41

出石焼・籠目小鳥細工花瓶について[友田安清]

谷口 弘美 阡 陵 65

本だな 驚きに満ちた海底世界『すごいぞ!「しんかい6500」』[友永たろ]

読売夕刊 6.23

WORLD NEWS キエフ 東欧最大の公立美術館の設立を目指すウクライナ発、ビエンナーレが開幕! [戸谷成雄]

かないみき 美術手帖 971

そぎ落とされ残ったもの 戸谷成雄展

大西 若人 朝日夕刊 3.14

交遊抄 「型破り」な人生

戸谷 成雄 日 経 3.31

第25回奨学者のレポート みたことのない迷い方

戸谷 森 アクリラート(別冊) 2012

レビュー ツボ・ミソ・ヘソ取り合わせの妙— 押忍! 手芸部と豊嶋秀樹『自画大絶賛(仮)』

大橋 広子 R E A R 28

インタビュー 豊福知徳氏に聞く

建畠 大成 哲、浩、連盟ニュース 442

3・11後の創造力 上 漫画「あったことを描くしかない」[とり・みき]

森本 昌彦 産 経 3.9

# (ナ)

内なる炎、論理で律す 建築家・菊竹清訓さんをしのぶ

内藤 廣 東京夕刊 1.16

喪友記 石元泰博さんを悼む 許せぬ理不尽

日 経 2.10

「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[内藤廣]

高野 清見 読 売 12.20

観覧「写」 幸せの原風景 よみがえる幼心・昭和の香り…、日本各地訪ね撮影

直嶋 航 日 経 3.30

「版画アートコレクション」の作家 永井研治 リトグラフの輝き

松山 龍雄 版画芸術 156

「車の渋滞見て着想」マジンガーZ・永井豪

岩本 哲生 朝日夕刊 6.23

特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研究室座談会 古典の模写から学び取るもの

窪井 裕美 繭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高 美術の窓 349

瀬戸蔵ミュージアム「ルス(呂宋)とよばれたやさしもの—近世瀬戸の新たな試み」展に寄せて 瀬戸のルス

長江 惣吉 陶 説 707

国鳥の四季 中尾譲治著

日 経 4.8

特集 アートの力を考える! PART 3 中尾廣太郎 自分に出来ること

中尾廣太郎 美術の窓 348

特別レポート 「工芸」はどこへ向かうのか 後編 産業としての工芸 ナガオカケンメイ よりよい「暮らし」と「もの」をつなげる

橋本 麻里 芸術新潮 753

青春プレイバック 書家仲川恭司 世界に発信する「象書」の原点

宗像 克元 新美術新聞 1273

特集 茶の湯—スキの芸術 第2部 茶の湯の表現 茶の湯を撮る

中川 邦昭 美術フォーラム21 25

座談会 「唐津焼の未来」を語る

岡本 作礼、梶原 靖元、直樹、坂本 由紀夫、鈴木 自然坊、中川 太郎、中里 右衛門、森 孝一 司会 陶 説 706

視線 ドングリトプスとマックロサウルス カラージュとフロッタージュのおはなし 中川淳著

森村 泰昌 朝 日 6.17

本だな 愉快な恐竜 が生まれる『ドン グリトプスとマック ロサウルス』[中川 淳]			読売夕刊	6.23					核廃絶ゲンに託す 中沢啓治さん死去 73歳 漫画、18カ国 で翻訳 福島第一事 故でも訴え 人間、 制御できない			〃	12.25
姫路伝統の技12 驚 脚焼—永世舎のその 後、竹べら一本の魔 術師がいた—[中川 勇次郎]	岡	崎	五風十雨	65					「反核」描き語る 中 沢さん死去 思い次 世代に[中沢啓治]	中里	顕	毎 日	12.26
INFORMATION ME- MORIAL 追悼 中川 幸夫 孤高のいけ花 作家—中川幸夫	内田真由美		美術手帖	967					平和と怒りゲンに託 す 中沢さん死去 原爆に鋭い批判 核 のない世界空から願 っている[中沢啓治]	中里 松本	顕 博子	毎日夕刊	12.25
追悼 前衛生け花の 中川幸夫さん 多く の表現者と共振	大西	若人	朝日夕刊	4.11					中沢啓治さん死去 広島で被爆「はだし のゲン」			〃	〃
追想録 中川幸夫さん(生け花作家) 型 破りの美、貫いた孤 高			日経夕刊	6.8					ゲン通し平和伝える 中沢啓治さん 原爆 リアルに 筆曲げず			読 売	12.26
中川幸夫氏を悼む 花の生と死に寄り添 う	北川フラム		読 売	4.12					中沢啓治さんを悼む 満ちあふれた生気 まさに「ゲン」	吉村	和真	〃	12.27
eye 9年ぶりに訪れ たコンボ ザビット 一家のいま	長倉	洋海	毎日夕刊	11.29					中沢啓治さん死去 73歳 漫画「はだし のゲン」 原爆の悲 惨さ訴え			読売夕刊	12.25
特集 アートの力を 考える! PART 3 中畔千嘉 矢原先生	中畔	千嘉	美術の窓	348					21世紀のアーティスト 中沢研			ギャラリー 一*	322
コミック Ebony and Irony 長崎訓子(作) 名作を新たな輪郭で 鮮やかに	山脇	麻生	朝 日	11.4					視線 新装版デッサ ン・ド・モード 美 しい人を描く 長沢 節著	保坂健二郎	朝 日	4.22	
座談会 「唐津焼の 未来」を語る	岡本 梶原 坂本 鈴木由紀夫、 中川自然坊、 中里太郎右 衛門 孝一 森 司会	作礼、 靖元、 直樹、 坂本直樹、 中川自然坊、 中里太郎右 衛門 孝一 森 司会	陶 説	706					ながさわたかひろの 「に・褒められたく て」18~29	ながさわ たかひろ		美術手帖	962~967、 969、971、 973~976
作品 「記憶2011」 「gift」	長沢	圭	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16					10人目の選手 絵で フル出場 ヤクルト の全試合描く画家 夢は「監督の胴上げ」 [ながさわたかひろ]	山本	亮介	朝日夕刊	12.27
中沢啓治さん死去 広島で被爆「はだし のゲン」73歳 原爆 の証言活動に強い意 欲									收藏品解説 中ザワ ヒデキ《脳波ドロー イング》	神山	亮子	府中市美 術館研究 紀要	16
中沢啓治さん死去 「ゲン」は怒ってるぞ 戦争と原爆に、こん 畜生	二井	理江	東 京	12.26					「版画アートコレク ション」の作家 中 路規夫 版画という 純粋な「平面」	松山	龍雄	版画芸術	158
「はだしのゲン」作者 ・中沢啓治さん 帰 郷して語る被爆 絵 本版原画展始まる 原爆資料館			東京夕刊	7.19					中路融人 2010-2011 年 作品の解説	中路	融人	金沢学院 大学紀要*	10
									「米寿記念 古谷蒼 韻展」に寄せて 米 寿記念 古谷蒼韻展 を拝見して		〃	新美術新 聞	1292
									山口華楊展 「黒豹」 を見て		〃	〃	1295
									追悼・室井東志生氏 室井東志生さんの想 い出		〃	〃	1297

知られざる中野の偉人 特集 中島菊夫		しいのき	62	中西夏之の絵画場の研究 土方巽との協働からの影響を中心に	小田原のどか	芸術学研究(筑波)	17
美術学部教員展図録デザイン	中島 聡	愛知県立芸術大学紀要	41	アートの風 6月「背面」展と「フラワースケープ」展 発見されたもう一つの身体[中西夏之]	三田 晴夫	毎日夕刊	6.13
今秋10月都美術館で第1回展、若手作家の積極応募を期待 Artist Group 「風」が記者会見し趣旨説明[中島千波]		新美術新聞	1283	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 004 長沼守敬 老夫	田中 修二	美術手帖	967
退任記念展 中島千波 人物図鑑 に寄せて 絵画上での身体遊戯	天野 一夫	"	1296	インタビュー 中根寛氏に聞く 画家は70代80代が勝負	佐々木 豊 聞き手	連盟ニュース	444
人物表現にかけた想いの描跡 退任記念展 人物図鑑 中島千波 ライフワークの形而上的作品53作品を一堂に展示	油井 一人 中島 千波	"	"	導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(1)―「美術リテラシー」に関するアンケート―	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 滋 浅川 正樹 武井 文	横浜美術大学・研究紀要	2
日々好日 至福の刻	中島 敏明	"	1277	総特集 永野護 『ファイブスター物語(ストーリーズ)』の普遍、『花の詩女ゴティックメード』の衝撃		ユリイカ	619
特集 アートの力を考える! PART 3 中島敏明 蘇生	高山 淳	美術の窓	348	ロング・インタビュー まだまだスゴいのは見せてないよ 「踏み外す」ことからすべては始まる	永野 護 飯田 一史 聞き手		
座談会 現代陶芸の在り方を問う	乾 鈴木 由明、蔵、宏、森野 泰明 孝一 司会	陶 説	710	『GTM』見参! 荒地の歌 『花の詩女ゴティックメード』論	藤田 直哉		
お手本画&秀作集 其ノ十五 中島穂波 《茅花流し》	中島 穂波	水墨画*	280	「アモルマニア」へ至る道 神はデザインする 永野護をめぐるとラフィクス	武井 宏之 西島 大介 梅沢 和木		
誰か故郷を…飯館の未来描きたい[中島盛夫]	蒲 敏哉	東京	3.11	資料 永野護   FSS   GTM 年表	飯田 一史		
故郷・飯館の里山祈りのペンキ絵に 練馬の銭湯絵師・中島さん[中島盛夫]	佐藤 直子	東京夕刊	3.14	七七七七年の愉楽 生きている神話をどう読むか	新城カズマ 伊藤 盡		
お化け作りに魂奪われ 手がけて70年以上、表情に美しさ・おかしみも求める	中田 市男	日 経	8.10	七七七七年の愉楽 人形はどうして動いてしまうのか	中田健太郎		
マンガ書籍に深い愛情 内記稔夫さんを悼む	長谷 邦夫	東京夕刊	6.7	七七七七年の愉楽 年表を生きた者 永野護は何を表現しているのか?	さやわか		
収蔵品から 《母と子》中谷泰	橋本 善八	世田谷美術館だより	88	永野護へのオード 『ファイブスター物語』という謎	穂村 弘		
美術学部教員展図録デザイン	長谷 高史	愛知県立芸術大学紀要	41	永野護へのオード AMX-004 キュベレイ	古野まほろ		
美の履歴書281 何を見ているのか 「彫刻と女」 中西利雄	西岡 一正	朝日夕刊	11.21				
特集 画廊とアーティストの繋がり gallery 21 yo-j×中西夏之		ギャラリ一*	331				

『FSS』解析事始め 絵画的マンガ論の ほうへ『FSS』と キャラを描く快樂	伊藤 剛 中田健太郎	永野後の世界 ア ーカイブと戦争の 日本的性格『ファ イブスター物語』と 戦後日本サブカル チャー史	福嶋 亮太		
『FSS』解析事始め Schwingungen ブ ランドとしての永 野護『ファイブ スター物語』小論	飯田 一史	永野後の世界 永 野護の視点	小田切 博		
『FSS』解析事始め 構築される「歴史」 とフィクション 『ファイブスター 物語』を中心に	玉井 建也	永野後の世界 ラ イトノベルに息づ く『F.S.S.』の遺 伝子	山中 智省		
『FSS』解析事始め 神話と伝説のあい だ 古典文学の現 代的パラフレーズ としての『ファイ ブスター物語』	木村 朗子	今秋10月都美術館で 第1回展、若手作家 の積極応募を期待 Artist Group 一風— が記者会見し趣旨説 明[中野嘉之]		新美術新 聞	1283
『FSS』解析事始め 神はいないが、花 を着る	西川 サキ	上級者に贈る 創作 への道5 墨に魅せ られ、墨を魅せる 紙の違いによる墨色 の美	中野 嘉之	水墨画*	281
『FSS』解析事始め 永野護と奇想のエ ンターテインメン ト	蔓葉 信博	岐阜県美術館所蔵 ルドンとその周辺 中 神秘的で深奥な 黒	中林 忠良	東京夕刊	1.31
エフェメラルに、 エターナルに 肩、 袖、腰… ライン が語り出す物語	蘆田 裕史 小野 原誠	浅丘ルリ子を変えた 中原淳一 挿絵に似 た顔 運命的	浅丘ルリ子 談 山内 則史 聞き手	読売夕刊	9.21
エフェメラルに、 エターナルに『フ ァイブスター物語』 の服飾世界 服飾 的異教習合とボス トヒューマニズム	樋口ヒロユ キ	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 027 中原悌二郎 若 きカフカス人	千田 敬一	美術手帖	967
女たちの永野ワー ールド『FSS』はこ の男に萌えろ! 女子たちのための 『FSS』(再)入門	金田 淳子 岡田 育	明治期京都の工芸— 中原哲泉についての 覚書	畑 智子	朱雀	24
女たちの永野ワー ールド 神は表層に 宿る	金田 淳子	ばくの採点症 第13 ~24回	中原 昌也	芸術新潮	745~756
永野護とアニメ 星団歴2988年、西 暦2015年、昭和20 年 悔恨の記号と しての「年号」	宮 昌太朗	SPECIAL FEATURE 頂上バトル!日本近 代美術の傑作150 059 中原實 昼の星 雨	弘中 智子	美術手帖	967
永野護とアニメ ファティマの瞳は 何色なのか	高瀬 司	特集1 石子順造 「アルガママ」の交差 —石子順造・李禹煥 ・中原佑介・中平卓 馬	林 道郎	ART TRACE PRESS	2
永野後の世界 星 団史を改竄する想 像力 二次創作の 時代から読む 『FSS』	さやわか 村上 裕一	本よみうり堂 中平 卓馬写真集「サー キュレーション—日 付、場所、行為」	(前)	読 売	4.29
		中町力 2010—2011 年 作品の解説	中町 力	金沢学院 大学紀要*	10
		人生の贈りもの 水 中写真家 中村征夫 1~5	伊藤恵里奈 聞き手	朝日夕刊	7.2~6

写真家たちの世界遺産 水越武・中村征夫ほか著	日 経	5.6		中村彝・曾宮一念・小泉清 曾津八一と早稲田中学の画家たち—早稲田中学・高等学校所蔵作品を中心に—	大島 幸代 町田つかさ	早大曾津八一記念博紀要*	13
特集 アートの力を考える! PART 2 きずな—再生美術の力 中村英 時代の深部を照らす	高山 淳	美術の窓	348	インスピレーショングラフィック 数十画素で織りなす、豊かな表現—『どっとこどうぶつえん』[中村至男]	深沢 慶太	A X I S	158
研究ノート 《マインドセンス》—ふきだしによる「ことばにする」の可視化計画—	中村 恭子	大学院諸究	8・9	しごと図鑑 ビルや家提案する建築家 NAP建築設計事務所 中村拓志さん チームで作る理想の建物	坂田 保治	日 経	3.24
20世紀後半 現代陶芸の50年—ナラティブ/自分史/展望	中村 錦平	多摩美術大学研究紀要	26	戌も歩けば beau[ボ一]に当たる 第三十六回 神の字、天使の字[中村不折]	竹田 博志	美術の窓	349
平成22年度 開館5周年記念特別展トキイベント「小金井に来るまでの中村/はけの森での研一」		小金井市立はけの森美術館年報	H18—22年度	碌山忌記念講演会 中村不折の生涯と芸術	鍋島 稲子	碌山美術館報	32
「戦争と美術 中村研一を通して見る」	河田 明久			ぎやらりいモール 台東区立書道博物館「この人、どんな字?—近代日本の文豪たち」から「述志之詩[じゅつしのし]」森鷗外[中村不折]	中村 信宏	読売夕刊	7.24
「小金井に来てからの研一」	馬目世母子 荒木 和 聞き手			2012年日本建築学会作品選奨 七沢希望の丘初等学校[中村勉]		建築雑誌	1635
平成20年度 福岡県における中村研一作品についての調査記録	大野 玲 中村 ひの	〃	〃	受賞教員インタビュー 第6回「アーツ千代田3331」の開設と運営により 平成二十二年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)を受賞。	中村 政人	芸大通信	25
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 069 中村研一 瀬戸内海	喜寿 孝臣	美術手帖	967	3・11後の創造力 上 美術「作品になるか…ましていやいつ」[中村政人]	渋沢 和彦	産 経	3.9
わたしの宝もの90 九州にて	中村 賢次	新美術新聞	1298	中村正義作品に纏わるエピソード—佐木繁男著『中村正義の生涯』に寄せて	大野 俊治	美術運動史研究会 ニュース	125
「黄河」本場も称賛 北京で中村貞夫展	渡辺 亮一	毎日夕刊	6.5	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 122 中村正義 爽爽[風景]	山田 諭	美術手帖	967
雪の桜 中村龍生著		日 経	10.14	Loeil 美は語る11 中村正義 真実を追うものは美しい	野地耕一郎 談	美術の窓	342
Book 殺した女と殺させた女の限りなく純愛に近い逃亡劇 中村珍『羣青』		芸術新潮	752	日本画壇の風雲児 中村正義		東京夕刊	
コミック アヴァール戦記1 中村珍(作)「マンガとお金」に向き合う	山脇 麻生 朝	日	1.15				
中村彝作 1916年の《静物》と作風展開について	加藤 寛史	芸術学研究(筑波)	17				
資料紹介 中村彝(風景)	大森 潤也	市民と博物館	104				
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 014 中村彝 友の像	小泉 淳一	美術手帖	967				

上 町絵師の精神 貫く	武重 邦男	2.20	思うままに クライ スバークの芸術 自然 破壊を告発[流政 之]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
中 初個展唯一の 「人物」	中村 倫子	2.21				
下 うしろの人 穏やかさにじむ遺 作	土屋 禮一	2.22	3・11後の創造力 上 美術 「作品に なるか…ましていや いつ」 [流麻二果]	洪沢 和彦	産 経	3.9
東京スカイツリー® ×そりのあるかたち 澄川喜一彫刻展 日本 の美と技術を世界 に向けて情報発信	中村 光男	新美術新 聞	1279	花のレッスン帖4〜 6	南雲 稔也	水墨画* 274〜276
交遊抄 名匠の大声 [中村義明]	下山 雄司	日 経	1.13	特集 デッサン力を 磨く ⑧技法講座 VOL.25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 名古屋剛志 鉛 筆で、質感の違いを 表現する	名古屋剛志 談	美術の窓 340
おじさん図鑑 なか むらみ著		芸術新潮	748	美博なう 合唱団の 活動を映像作品に 東京都現代美術館 [ナデガタ・インス タント・パーティー]		朝日夕刊 9.19
インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェク ト 世界に発信する アーティストたち No.3 中本智絵	中本 智絵	ギャラリ ー*	330	コミック はるまげ 1 なにわ小吉(作) 笑い健在驚きと脱力 が交錯	南 信長	朝 日 7.8
第25回奨学者のレポ ート アトリエ	永山 真策	アクリラ ート(別 冊)	2012	綴じ込み カイカイ キキギャラリー 「A Nightmare Is A Dream Come True : Anime Expressi- onist Painting」展を 開催! 参加作家に よる座談会 カオス* ラウンジの後、僕ら はどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a お ぐ ち Mr.	美術手帖 967
追悼特集 現代書壇 の代表作家・かな書 の巨星 杉岡華郎氏 を偲ぶ 杉岡華郎先 生の遺産	中山 忠彦	新美術新 聞	1278	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 3 HISTORY 倉本美津 留さんと行く! 超絶 技巧の聖地巡礼 MUSEUM TOUR 2 並河靖之七宝記念館 世界中で愛された七 宝の制作工房	倉本美津留、 山下 裕二 談 集 部 編 文	" 974
追悼・片岡伸介氏 片岡伸介抄	"	"	1279	小特集 奈良美智、 “初挑戦”彫刻ととも に凱旋		芸術新潮 753
座談会「第四十四回 日展審査を終えて一 魅力ある日展に向け て」	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 奥田小由女、 岩倉 寿、 塗師 祥一郎、 市村 緑郎、 新井 光風 森協 正人 司会	日展ニユ ース	147	対談 奈良美智× 町田康 すべての 道は粘土に通ず	奈良 美智 町田 康	
特集 アートの力を 考える! PART 3 中山雅子 魂の故郷	高山 淳	美術の窓	348	作品論 奈良美智 一淋しい饒舌家	高階 秀爾	
中山正實とその壁面 制作について	西田 桐子	兵庫県立 美術館研 究紀要	6	SPECIAL FEATURE 奈良美智		美術手帖 973
Fieldworker【絵画】 「積み重なる『存在』 へのまなざし」	永山 優子 大島 直行 インタビュー	噴火湾文 化	6	SPECIAL PHOTO SESSION	川内 倫子	
特集 横尾忠則 アン ファンテリブルの みる夢 人の夢を食 べるバク	永山 祐子	ユリイカ	618	INTERVIEW ロン グ・インタビュー	加藤 珠枝 聞き手	
交遊抄 開いている 人	"	日 経	11.24			
自作再見 流政之 「雲の砦」永遠に変 わらぬ平和を表現	増田 愛子	朝日夕刊	6.20			

SPECIALTALK 対談：荒木経惟×奈良美智 少女から、闊達なパンクロック少年へ!?	宮村 周子	ティム・ブラム+ジェフ・ポー	奈良美智の10代の頃、僕はレコードジャケットで美術を学んだ。第1〜3回	奈良 美智	〃	974〜976
REPORT ブロンズ彫刻の創作現場レポート	内田 伸一	特集 岩井俊二『Love Letter』『スワロウテイル』『リリイ・シュシュのすべて』から『ヴァンパイア』へ、未知なる映像を求めて 創作の現場から、両極のあいだの浮遊感『ヴァンパイア』の根底にあるもの	岩井 俊二 奈良 美智	ユリイカ	616	
奈良美智のアトリエ風景						
レコード・ジャケットセレクション	奈良 美智					
LETTERS 草間彌生と奈良美智の往復書簡						
SPECIAL 温泉対談：村上隆×奈良美智 11年後のふたり旅	岩渕 貞哉 聞き手 岡澤浩太郎 構成	若者よ 美術部に集え 奈良美智さん「本気なら十和田に」	鶴沼 照都	朝日夕刊	9.26	
REVIEW 君や僕はちよつとしか似ていない だから一緒にここにいる	榎木 野衣	奈良美智さん「君や僕にちよつと似ている」展「震災で失った創作意欲 母校での制作で戻った」	(典)	東京夕刊	7.24	
世界に立ち向かうNO NUKES ガールたち	宮村 周子	文化往来 奈良美智、震災後に見せた作風の変化		日 経	8.30	
24時間テレビ 奈良美智×大野智コラボチャリティシャツ		読書日和 奈良美智さん NARA LIFE ナラ・ライフ 奈良美智の日々 ブログとツイッターまとめた初のエッセー集 苦悩を経て見つけた「連帯感」	岸 桂子	毎日夕刊	8.21	
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る!	岡澤浩太郎 構成	美術手帖 973				
檀田伸也		ぎやらりいモール 横浜美術館「奈良美智：君や僕にちよつと似ている」から「春少女」	木村絵理子	読売夕刊	8.21	
柴田元幸						
杉戸洋		手のなかの空 奈良原一高 1954—2004		日 経	12.16	
村瀬恭子						
福井篤						
川島秀明						
森北伸						
丸山もゝ子						
中島英樹						
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 2 奈良美智の魅力 海外キュレーター・ギャラリストが語る!	近藤 亮介 構成	〃 〃	イルコモンズ、成田 圭祐 編著	美術手帖	964	
アピナン・ポーサヤーナン						
ルーベン・キーハン						
アーニー・グリムシャー						
		NEWS コムデギャルソンの新展開[名和晃平]	新川 貴詩	〃	966	
		SPECIAL FEATURE 大友克洋 Genga 展 名和晃平が見る Genga 展	名和 晃平	〃	967	

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近代美術の傑作150  
110 難波田龍起 発生

堀 元彰 " "

神宮名品解説 「線のプレリユード I」  
「線のプレリユード II」[難波田龍起]

中村 潔 瑞 垣 221

美の履歴書239 空飛ぶ船に何を託した「宇宙船がくるよ」  
難波田史男

大西 若人 朝日夕刊 2.1

## (ニ)

特集 画廊とアーティストの繋がり  
Gallery HAM×新美泰史

ギャラリー 331

特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る

新村 稔 自由美術 2012

特輯 岡倉天心生誕百五十年記念 新納忠之介 百済観音

佐藤 道信 国 華 1400

作家訪問423 陶芸家二階堂明弘さん

編集部 目の眼 425

『甕海魚譜』について [二木直喜]

小濱亜由美 鹿児島大学総合研究博物館\* ニュース 31

魚類学的視点から見た『甕海魚譜』[二木直喜]

木村 浩之 " "

月岡芳年 幕末・明治を生きた奇才浮世絵師 芳年肉筆画の魅力について

西井 正氣 太陽(別冊) 196

SPECIAL FEATURE  
荒木飛呂彦 人間賛歌一謎めく美しき世界

美術手帖 975

REPORT 西尾康之さんと行く!!「ジョジョ展 in S市杜王町」展

編集部

Essay ジョジョと美術餓鬼

西尾 康之

文化往来 宮大工・西岡常一のドキュメンタリー映画

日 経 1.23

フォーカス・アイ 西岡文彦 純正合羽刷の復興

西岡 文彦 版画芸術 158

西川比呂夫先生の事

小沢 清人 現童通信 49

作家通信 河童

西川 芳孝 水墨画\* 281

お手本画&秀作集 其ノ十六 西里青穂 《まつりの夜》

西里 青穂 " "

特集1 所蔵品ギャラリーのリニューアルについて 整理と表面一所蔵品ギャラリーリニューアルで、建築家と美術館が考えたこと

西澤 徹夫 現代の眼 597

建築の視点×美術の視点 西澤徹夫・蔵屋美香

島貫 泰介 美術手帖 967

MOMAT コレクション リニューアルレポート 最終回 リニューアルを振り返る

蔵屋 美香、西澤 徹夫、島貫 泰介 " 976

なぜ私は建築を選んだか no.3 旅行の話

西沢 立衛 建築雑誌 1634

2012年日本建築学会各賞(作品) 豊島美術館[西沢立衛]

" 1635

WORLD NEWS イスタンプール「無題(第12回イスタンプールビエンナーレ)2011」展 南米のキュレーターチームが企画。西沢立衛の会場構成が映えるビエンナーレ

三木あき子 美術手帖 963

「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[西沢立衛]

大西 若人 朝 日 12.11

ループ分館お披露目 日本人が設計、来月開館[西沢立衛]

三井 美奈 読 売 11.1

「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[西沢立衛]

高野 清見 " 12.20

総特集 永野護『ファイブスター物語 [ストーリーズ]』の普遍、『花の詩女ゴティックメード』の衝撃 「アモルマニア」へ至る道 神はデザインする 永野護をめぐるトラフィクス

武井 宏之、西島 大介、梅沢 和木 ユリイカ 619

特集 耽美な世界へようこそ 西田俊英

西田 俊英 美術の窓 342

西田伸一 2010-2011年 作品の解説

西田 伸一 金沢学院大学紀要\* 10

特集 アートの力を考える! PART3 西田伸一 過去・現在・未来

磯部 靖 美術の窓 348

お手本画&秀作集 其ノ九 西田壽夫 《夢と幻》

西田 壽夫 水墨画\* 274



上級者に贈る 創作への道4 至福のときへ誘う	西田 壽夫	水墨画*	280	思うままに クライスパークの芸術 自然破壊を告発[西村公朝]	梅原 猛	東京夕刊	2.27
作家通信 アクリル絵具をうまく使ってみましょう	〃	〃	282	本だな いろいろ不思議な姿に『ようちえんがばけますよ』[西村繁男]		読売夕刊	4.14
一寸の虫にミクロの美 走査電子顕微鏡に熱中、千差万別な動植物の世界撮影	西永 奨	日 経	5.21	佳作賞展 自由美術 佳作賞展 平面作品を観て	西村 幸生	自由美術	2012
写真の飛躍 日本の新進作家展 VOL.10 上 都市のダイナミックな力[西野壮平]	丹羽 晴美	東京夕刊	1.16	第1回トーキョー・アート・ナビゲーション コンペティション 審査結果発表!![西村有未]	佐久間 恵	美術手帖	964
World News New York「西野達 コロンブス発見」展 特設リビングルームでコロンブスさん、こんにちは	鈴木 芳雄	芸術新潮	755	第1回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション受賞作品展開催[西村有未]	編 集 部	〃	966
「Chim ↑ Pom 展」/西野達作品 無意識・無自覚暴き出す	大西 若人	朝日夕刊	10.3	書家/水墨画家・西山麗雲		美術屋・百兵衛	23
NY 円形広場 囲まれたコロンブス像 西野達・作 注目集める空中の「居間」	朽木ゆり子	読 売	10.4	彫刻家の現場から 82 二田原英二	武田 厚	美術の窓	342
美術作家による 震災遺児支援 チャリティオークション「3・11きずな展」開催へ 3〜5月、東京・盛岡・京都3都市を巡回、入札方式で 次の行動起こることを期待	西野 陽一	新美術新聞	1271	特集 蛭川実花 映画『ヘルタースケルター』の世界		ユリイカ	612
日々好日 「すき」	〃	〃	1281	対談 美しき闘争 東京/芸術/批評	村上 隆 蛭川 実花		
視点 3・11きずな展	〃	美術の窓	343	インタビュー Blossoming of NinaMika 蛭川実花の〈成熟/開花〉	蛭川 実花 松井みどり 聞き手		
日々好日 ローマ人からの手紙	西房 浩二	新美術新聞	1285	〈女優〉の表象 下剋上[ヘルタースケルター] 岡崎京子と蛭川実花をめぐる、二つの「ヘルタースケルター」と五人の女優	榎木 野衣		
特集 デッサン力を磨く ⑧技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 西房浩二 現場の空気を感じさせるデッサン	西房 浩二	美術の窓	340	〈女優〉の表象 溶岩とバービー人形	斎藤 環		
第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 私と彫刻	西見 智之	日展ニュース	144	〈女優〉の表象 岡崎京子から蛭川実花へと受け継がれるもの 映画『ヘルタースケルター』にみる岡崎京子の世界	杉本 章吾		
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る 絵を描くことについて	西宮 寛人	自由美術	2012	虹色の、あるいはトランスペアレントな 周縁から永遠へ 蛭川実花とキャンプ、そして『ヘルタースケルター』への道	松井みどり		
一九四九年・神戸 [西村元三朗]	熊田 司	えむえむ	2				
日々好日 彫禅一如	西村 公泉	新美術新聞	1287				
彫刻家の現場から 86 西村公泉	武田 厚	美術の窓	346				

虹色の、あるいは  
トランスペアレン  
トな 蛭川実花の  
写真世界 ガーリ  
ー・フォト進化論

飯沢耕太郎

虹色の、あるいは  
トランスペアレン  
トな「キャンプ」  
の果て 蛭川実花  
の変容

清水 穰

エッセイ 残酷と  
哀しみと、少女性  
ではなくガーリー  
と

戸川 純

エッセイ ガーリ  
ーの孤島から、情  
熱の大陸へ

安全ちゃん

ニナミカさんとの  
お仕事 コレボレ  
ーション、デコレ  
ーション!

金子ありさ  
泊 貴洋  
聞き手・構  
成

ニナミカさんとの  
お仕事 監督とプ  
ロデューサーの二  
人三脚術 映画『ヘ  
ルタースケルター』  
の実現まで

宇田 充

ガーリー進化論  
九〇年代ガーリー  
文化の狂騒と不安

樋口ヒロユ  
キ

ガーリー進化論  
さよなら魔法少女  
の日

吉田 アミ

(ヌ)

座談会「第四十四回  
日展審査を終えて一  
魅力ある日展に向け  
て」

中山 忠彦、  
寺坂 公雄、  
奥田小由女、  
岩倉 寿、  
塗師 祥一郎、  
市村 緑郎、  
新井 光風  
森脇 正人  
司会

日展ニュー  
ース 147

広告特集 画材ガイ  
ド03 ターレンス  
アムステルダムアク  
リリックカラー×沼  
田月光

杉瀬 由希 美術手帖 976

(ネ)

お手本画&秀作集  
其ノ十 根岸嘉一郎  
《WALL 縄文》

根岸嘉一郎 水墨画\* 275

特集 アートの力を  
考える! PART 3  
根岸正 魂を迎え、  
送る

高山 淳 美術の窓 348

ヘルシンキの新たな  
交流の場に、「クル  
ットゥーリサウナ」  
プロジェクト[ネ  
ツボイ]

川上典李子 A X I S 160

(ノ)

わたしたちの教室へ  
ようこそ

千葉 玄象  
野方 翠芳 水墨画\* 274

作家通信 元気のヒ  
ミツ 墨友養晩一好  
奇心を貫く

野方 翠芳 " 282

作家訪問425 陶芸家  
野上薫さん

編集部 目の眼 427

この人 風刺漫画集  
を自費出版 野口志  
行さん 地方の話題  
も世界情勢とつなが  
っている

曾布川 剛 東京 7.20

特輯 女性画家

国 華 1397

図版八 野口小嶺  
筆 設色美人図

山盛 彌生

図版九 野口小嶺  
筆 平安長春図

伊藤 紫織

美博ピックアップ  
野口久光 シネマ・  
グラフィックス う  
らわ美術館

横田麻生子 朝日夕刊 5.23

レビュー 野口里佳  
「光は未来に届く」

中村 史子 R E A R 28

世界と向き合う視線  
野口里佳展/安田佐  
智種展

大西 若人 朝日夕刊 1.18

2012年日本建築学会  
作品選奨 立川市庁  
舎[野沢正光]

建築雑誌 1635

紙芝居「瀧口修造の  
少年時代」

野島 清治 橄 欖 2

青春プレイバック  
彫刻家能島征二 彫  
刻家の生きざま 小  
森邦夫との出会い

袴田 智彦 新美術新  
聞 1289

活動報告:野島康三  
展/ジュゼッペ・パ  
ニーニ写真美術館、  
モデナ(イタリア)

京都国立  
近代美術  
館研究論  
集 4

はじめに

池田 祐子

野島コレクション  
の位置

河本 信治

野島康三一光画

キアラ・ダ  
ッローリオ  
永田 絵里  
翻訳

ようこそ、新しい先  
生 01 野田涼美

野田 涼美 瓜生通信 55

特集 制作の現場か  
ら…「自作を語る」・  
II 自作を語る

野田勢津子 自由美術 2012

模倣からの創造 近世と近代の日本美術十選 1～10	野田 哲也	日 経	5.8、10、11、14、15、17、18、21、24、25
野田裕示 「WORK 1766」	神田 直子	WaveⅡ	1
野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿 1995年の野田裕示	安來 正博	国立新美術館ニュース	21
青春プレイバック 洋画家野田弘志 リアリズム絵画の精神―探求の道程	松崎 裕子	新美術新聞	1281
美術学部教員展図録 デザイン	野田 理吉	愛知県立芸術大学紀要	41
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫中〔野長瀬晩花〕	小川 敦生	日 経	4.29
調査研究ノート vol. 13 75年前の小林萬吾―野見山暁治氏(画家 国の文化功労者)にお話をうかがいました。	窪美西嘉子	香川県立ミュージアムニュース	19
大震災から1年を経て 瓦礫の風景が教えるもの	野見山暁治	新美術新聞	1276
大正から100年―我が心を語る 絵を描きはじめた頃	〃	〃	1299
戦中から戦後へ作家をたどる 9 高田博厚、木内克おおよび金山康喜、野見山暁治	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	129
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 130 野見山暁治 冷たい夏	原田 光	美術手帖	967
アトリエ日記 98～109	野見山暁治	美術の窓	340～351
戌も歩けば beau(ボー)に当たる 第三十五回 生きた言葉〔野見山暁治〕	竹田 博志	〃	348
読解絵画鑑賞講座17〔野見山暁治〕	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛	21
特集 セザンヌにはどう視えているか 感覚の氾濫 映るものと移ろうもの	野見山暁治 編集部 聞き手	ユリイカ	609
野見山暁治 絵とことば きょうも描いて、あしたも描いて、90年。		〃	613

— 250 —

欧州最大の書籍見本市に特別招待 萩尾望都さん、綿矢りささんら22人パリへ	産 経	3.8	SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! PART 1 GALLERY 技巧にま ずは驚く[橋本雅也]	山下 裕二	〃	974	
春の褒章674人に 漫画家・萩尾望都さん 根っから好きな 世界	東 京	4.28	作家通信 墨を得て 水を得て 和紙を得て	蓮村 泰子	水墨画*	282	
大波小波 少女マンガ VS アングラ文化[萩尾望都]	(望卿)	東京夕刊	3.23	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 066 長谷川潔 二つのアネモネ	水沢 勉	美術手帖	967
読書日記 4『マンガのあなた SF のわたし』錚々たる作家たちのパワー[萩尾望都]	日暮 雅道	日経夕刊	3.21	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 098 長谷川三郎 狂詩曲 漁村にて	敷前 知子	〃	〃
第25回奨学者のレポート 制作について	箱嶋 泰美	アクリラート(別冊)	2012	長谷川竹葉の錦絵— 高橋由一や山形・日光の名所風景をめぐって—	岩切信一郎	一寸	51
クリエイターズワーク&ソウル 箱瀬淳一		A X I S	155	日々好日 光と影の記憶	長谷川 功	新美術新聞	1286
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! !注目超絶技巧作家たち08 John Hathway 1枚の絵に縫合される、科学とマンガとアート	岡澤浩太郎	美術手帖	974	特集 アートの力を考える! PART 3 長谷川功 光と影	高山 淳	美術の窓	348
「髪梳ける女」(橋口五葉版画)考—故スティープ・ジョブズ氏に捧ぐ—	岩切信一郎	一寸	49	特集 立川談志 現代落語畸人傳 立川談志・落語的目ン玉	長谷川踏太	ユリイカ	607
若者と向き合う 橋口譲二さんに聞く 取り繕わず目をそらす 人間には人間が必要	小林 省太	日経夕刊	12.8	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 049 長谷川利行 赤い汽罐車庫	山梨絵美子	美術手帖	967
訳注 橋本閑雪旧蔵「倪元璐書贈黄道周詩軸」跋訳注	弓野 隆之	中国近現代文化研究	13	批評 1937年の長谷川利行 一人称絵画、光りてすべる水すまし	関 智生	R E A R	28
〈資料紹介〉野崎家コレクションより—王治春「四季山水図」・橋本青江「董法山水養蚕紡絲之図」—	古川 文子	岡山県立美術館紀要	4	東京美術学校西洋画科卒業制作作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 IX[長谷川昇]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右 恵里子 作間 美智子 金 鐘旭	東京芸術大学美術学部紀要	50
CG ARTIST・橋本利夫のCG 3 番勝負 vol. 3、4		美術屋・百兵衛	20、21	蹴轆轤をつくる	長谷川 昇	横浜美術大学・教育研究紀要	2
橋本平八の木彫作品に関する一考察 彫刻における精神・理論・実践の統合	小嶋 慧	芸術学研究(筑波)	17	導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(1)—「美術リテラシー」に関するアンケート—	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 滋 浅川 正樹 武井 文	〃	〃
北園克衛発橋本平八書簡2 1931年から1935年まで	野田 尚稔	世田谷美術館紀要	13	長谷川町子と桜新町商店街	橋本野乃子	SAZAE通信	26
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 048 橋本平八 石に就て	沓沢 耕介	美術手帖	967	辛口サザエさん 長谷川町子さん、自己採点表	増田 愛子	朝日夕刊	10.6

美の美 長谷川溝二 郎の静かな世界 上、 下	田村 広済 日 経	9.9、16			旅の途中で 青木九 仁博/服部美樹	美術屋・ 百兵衛	20	
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 下[秦テルヲ]	小川 敦生	"	5.6		展覧会時評 ex-cham- ber museum- off- line 第2回 「絵画 の庭」を今更ながら 振り返ってみる、の 巻[花澤武夫]	幕内 政治 ファウン テン	2	
被災地みんなの家 ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示 に評価[畠山直哉]	大西 若人 朝 日	8.30			収蔵品から 《『暮らし の手帖』表紙原画》花 森安治	矢野 進 世田谷美 術館だより	89	
被災者の心が帰る家 ベネチアで金獅子賞 の「みんなの家」 地 元の提案も取り入れ 展示とのバランス評 価[畠山直哉]	"	"	9.3		視線 花森安治のデ ザイン 暮らしの手 帖社編	森村 泰昌 朝 日	1.22	
視線 気仙川 畠山 直哉著	"	"	9.9		東日本大震災 被災 窯業地からの報告 後篇 被災報告 笠 間より	羽石 修二 陶 説	714	
被災した故郷撮り続 け 写真家 畠山直 哉さん	篠原 知存 産 経	3.8			被災者勇気づけたい ろうけつ染め南相馬 で展示へ 杉並の馬 場さん[馬場章子]	鈴木 学 東 京	5.29	
仮説住宅の集会所、 上棟式 陸前高田に 「みんなの家」[畠山 直哉]	"	8.23			2012年日本建築学会 作品選奨 3331 Arts Chiyoda[馬場兼伸]	建築雑誌	1635	
土曜訪問 被災の陸 前高田を撮る 畠山 直哉さん(写真家) 荘厳な悲しみの光景	三沢 典丈 東京夕刊	3.17			羽場文彦 2011年 作品の解説	羽場 文彦 金沢学院 大学紀要*	10	
気仙川 畠山直哉著	日 経	9.9			第五十九回日本伝統 工芸展受賞者に聞く	室伏 英治、 古川 拓郎、 浜岡 満明、 榎本 徹、 金子 賢治、 唐澤 昌孝、 森司会	陶 説	717
畠山直哉さん個展 「ナチュラル・スト ーリーズ」 国際巡 回始まる	読 売	1.5			アクリリックス・ワ ールド72 はまぐち さくらこ	池上 司 美術手帖	975	
本よみうり堂 畠山 直哉 「気仙川」 (井)	"	9.2			展覧会時評 ex-cham- ber museum- off- line 第2回 「絵画 の庭」を今更ながら 振り返ってみる、の 巻[はまぐちさくら こ]	幕内 政治 ファウン テン	2	
「みんなの家」被災地 に続々 復興語り合 う憩いの場 建築家 の思い広がる[畠山 直哉]	高野 清見	"	12.20		第5回東山魁夷記念 日経日本画大賞 壮 大な幻想 濃密な色 彩 濱田樹里「流・ 転・生 I」	宝玉 正彦 日 経	4.30	
今秋10月都美術館で 第1回展、若手作家 の積極応募を期待 Artist Group 一風— が記者会見し趣旨説 明[畠中光享]	新美術新 聞	1283			浜田知明の近作デッ サンについて	橋 秀文 神奈川県 立近代美 術館年報	2010年度	
「38年目のインドで の個展」報告記 絵 画は世界中また時代 も超える	畠中 光享	"	1296		浜田知明《聖馬》	林田 龍太 熊本県立 美術館研 究紀要	12	
マンガ家・畑中純氏 を悼む 一枚絵に光 る才能	呉 智英 東京夕刊	6.21			SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 099 浜田知明 初年 兵哀歌(風景)	橋 秀文 美術手帖	967	
追想録 畑中純さん (漫画家) 俗な人間、 いとおしく描く	日経夕刊	8.24						
2011年毎日デザイン 賞 受賞者の横顔 ルールを斜めに壊し 服部一成さん	永田 晶子 毎日夕刊	4.11						

作家通信 ふるさとの山口で山田大作先生と対談・席面会を開催	濱中 応彦	水墨画*	274	アートの力を考える！ PART2 きずな一再生美術の力 速水史朗 石が浮いた	〃	〃	348	
追悼・早川義孝氏	安井 堀川	收藏 素弘	新美術新聞	1289	原町山車人形「神武天皇」文化財指定される〔三代原舟月〕	塩 野	飯能文化財時報	140
課外授業 美術のお時間 19時間目〔早川義孝〕	安井 收藏	美術屋・百兵衛	23	環／Nature Spirit	原 すがね	明星大学研究紀要	20	
フェイス21世紀164 林晃司 「人」を表す 理性的に、効果的に	和田 圭介	新美術新聞	1292	日々好日 物理と美術	原 透	新美術新聞	1295	
フォーカス・アイ 林孝彦 「信念」のもの作り人	栗本 寛子	版画芸術	155	特集2 原弘と東京国立近代美術館		現代の眼		
思うままに クライスパークの芸術 自然破壊を告発〔林武史〕	梅原 猛	東京夕刊	2.27	近美専属のアートディレクター的役割を果たされた原弘先生	富山 秀男		592	
ぎやらりいモール たばこと塩の博物館「林忠彦写真展 紫煙と文士たち」から「太宰治」	岩崎 均史	読売夕刊	2.14	デザインワークを通して見えてくるもの 講演会「パウハウスとグラフィックデザイン」	原 弘 大谷 省吾 文字起こし		593	
本よみうり堂 林ナツミ 「本日の浮遊」	(井)	読 売	8.19	SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 008 原撫松 裸婦	児島 薫	美術手帖	967	
お手本画&秀作集 其ノ十一 林裕紀子《郷村にて》	林 裕紀子	水墨画*	276	特集 拡大・縮小美術館 絵画編 原雅幸 どこか懐かしい光溢れる風景		美術の窓	350	
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる！注目超絶技巧作家たち09 葉山有樹 青い器の舞台上で編まれた物語世界	岡田 勉	美術手帖	974	21世紀のアーティスト 原游		ギャラリー一*	332	
SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 028 速水御舟 舞妓	古田 亮	〃	967	この人 彫刻家・原裕治さんの遺作展を開く美術館館長 木本文平さん 各地の作家を全国に紹介し記録にとどめる	川崎 宏三	東京	8.20	
美の美 大正100年 京都日本画の浪漫 上〔速水御舟〕	小川 敦生	日 経	4.22	21世紀のアーティスト 原良介		ギャラリー一*	329	
視点 銀座の個展とその周辺	速水 史朗	美術の窓	340	特集 アートの力を考える！ PART3 原田規美恵 祈る	高山 淳	美術の窓	348	
新年の旅			342	「復活」へ決意の絵巻 パーキンソン病のCM 演出家 30日から浦安で個展 長さ21メートル、50日かけ完成〔原田徹〕	石川 修巳	東京夕刊	6.26	
猪熊さんとの思い出			343					
水の石庭(前・後編)			345、346					
シャガール展を見る			347	原田直次郎一新出書簡など五つのこと一	鍵岡 正謹	岡山県立美術館紀要	4	
豊かな大空間			348	森鷗外 近代文学界の傑人 生誕一五〇年記念 鷗外という鉅脈 『独逸日記』より 原田直次郎のこと	安野 光雅	太陽(別冊)	193	
大自然の中の教育			349					
下関の二つの彫刻			350					
相模への旅			351					

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近代美術の傑作150  
002 原田直次郎 靴屋の親爺

山梨絵美子 美術手帖 967

学生企画 芸術とか  
かわって暮らす 毎  
日のなかに「楽しい」  
を見つけていく

原田 祐馬 瓜生通信 55

パラモデル×豊中市

美術屋・  
百兵衛 20パラモデルと豊中パ  
ラレルエアライン  
現代美術と公募参加  
者による新しいアー  
トのカタチ

" 21

パラモデルと豊中パ  
ラレルエアライン

" 22

写真の飛躍 日本の  
新進作家展 VOL.10  
下 「見る」を再考す  
る機会[春木麻衣子]

丹羽 晴美 東京夕刊 1.18

INFORMATION EX-  
HIBITION 日本が世  
界に誇る特撮 館長  
庵野秀明による「特  
撮博物館」が開館!パルコキノ  
シタ 美術手帖 973毎日芸術賞53回 建  
築家 坂茂

産 経 1.12

3・11後の表現 2  
建築「みんな」集  
い作る[坂茂]

窪田 直子 日 経 3.7

第53回毎日芸術賞  
受賞者7人の業績  
建築家 坂茂さん  
大胆な発想で挑戦

高階 秀爾 毎 日 1.1

被災地支援広めたい  
毎日芸術賞 坂茂  
さんが抱負語る[坂茂]

鈴木 英生 " 1.26

特集 アートの力を  
考える! PART 3  
番洋 歌うように、  
奏でるように

磯部 靖 美術の窓 348

女子だって欲しくな  
る キュートなお尻  
写真集 伴田良輔  
HIPS 球体抄

芸術新潮 753

バリ「藤田派」に繊細  
な画家 帰国しなか  
った板東敏雄、作風  
に引かれ研究続けるヘレン・ザ  
ーディ 日 経 6.15

## (ヒ)

視線『crosspoint』  
P. M. Ken 著

大西 若人 朝 日 3.11

日々好日 麒麟

稗田 一穂 新美術新  
聞 1299ニューヨークのアー  
トシーン2 「ここよ  
り永遠に一ホイト  
ニー美術館の草間彌  
生展」日影 眩 連盟ニ  
ュース 444INFORMATION  
NEWS ツリーに込  
めた希望の光 2人  
のアーティストのコ  
ラボレーションツリ  
ーが登場! 「The  
Light of Happiness  
—ハビネスの光を灯  
そう」チャリティー  
プログラム[東恩納  
裕一]

中山 真理 美術手帖 962

京都の伝統 発想を  
豊かにしてつくる  
東端制作所 漆芸家  
東端唯さんへのイン  
タビュー

築出瑛理子 瓜生通信 57

研究ノート 東山魁  
夷の制作過程につい  
て—昭和三〇年代の  
写真撮影の問題から高田 紫帆 長野県信  
濃美術館 紀要 6SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
096 東山魁夷 道

天野 一夫 美術手帖 967

美的履歴書275 日本  
的な風景画なのか  
「花明り」 東山魁夷

西岡 一正 朝日夕刊 10.10

あとがきのあと  
「ヒキタさん! ご懐  
妊ですよ」 ヒキタ  
クニオ氏 不妊治療  
の現実を軽妙に

日 経 7.15

追悼抄 イラストレ  
ーター 日暮修一  
さん 「顔」描き続けた  
41年

山田 佳代 読売夕刊 8.25

学びのふるさと「絵  
は好きに描けばいい」  
中学の美術教師、自  
由な発想尊重 自分  
で考える大切さ教わ  
るヒサクニヒ  
コ 日経夕刊 7.27コミック ノブナガ  
ン1 久正人(作)  
戦う少女の右腕は、  
信長で銃

南 信長 朝 日 3.4

特集 アートの力を  
考える! PART 2  
きずな—再生美術の  
力 飛澤龍神 凡心  
論的な世界

高山 淳 美術の窓 348

論考 土方巽の実験  
精神はなぜうまれた  
のか森下 隆 慶応義塾  
大学アー  
ト・セン  
ター年報 19中西夏之の絵画場の  
研究 土方巽との協  
働からの影響を中心  
に小田原のど  
か 芸術学研  
究(筑波) 17

舞踏における「重力」 —土方巽と大野一雄 による身体表現の共 通点と差異—	藤田 明史	美学論究	27	展覧会記録2011(油 彩画)	日野 之彦	多摩美術 大学研究 紀要	26
アートの風 6月 「背面」展と「フラウ ースケープ」展 発 見されたもう一つの 身体[土方巽]	三田 晴夫	毎日夕刊	6.13	地域活性化における 街かど美術館の役割 と可能性(新生大田 原街かど美術館)	日原 公大	連盟ニュ ース	444
第I部 土方久功日 記IV 土方久功日記 第19~24冊	土方 久功	国立民族 学博物館 調査報告	108	ことば アーティス ト 日比野克彦	大西 若人	朝 日	11.20
第II部 附論『土 方久功日記』と、も う一つのフィールド 「ノート」	清水 久夫	" "	" "	真珠の耳飾りの少女 と私 日比野克彦さ ん アーティスト	日比野克彦	朝日夕刊	7.19
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 095 土方久功 瓶カ ラ飲み子供	後小路雅弘	美術手帖	967	論点スペシャル サ ッカーと日本人 いやりと強気で 比野克彦氏 アーテ ィスト	大塚 隆一 聞き手	読 売	10.10
菱田春草先祖の才能 と堀飯田藩仕官の歴 史的背景	鈴川 博	飯田市美 術博物館 研究紀要	22	終わりのない繰り返 しのプロセス(日本 画)	日比野拓史	多摩美術 大学研究 紀要	26
特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 菱田 春草 寡婦と孤児	古田 亮	国 華	1400	ドローイング	日比野ルミ	名古屋造 形大学紀 要	18
天心一大観・春草に おける西洋近代美術 史観(下)[菱田春草]	天野 一夫	豊田市美 術館紀要	5	新収蔵資料から 百 武兼行「裸婦」	岡 泰正	神戸市立 博物館だ より	101
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 011 菱田春草 落葉	古田 亮	美術手帖	967	造本有理	平出 隆	日 経	11.25
こころの玉手箱 日 本画家 上村淳之 4 菱田春草の「仏御 前」 描けない日々 脱出の光	上村 淳之	日経夕刊	5.17	青春プレイバック 洋画家平岡靖弘 納 得のゆく絵が描きた い—49歳、安井賞作 家になるまで	袴田 智彦	新美術新 聞	1279
本よみうり堂 コミ ック館 マイ・ヒー ロー 藤津亮太さん ロック 聖悠紀「超 人ロック」30年を超 えてなお「現役」	藤津 亮太	読売夕刊	1.30	特集 ギャラリスト とアーティストの関 係 米山馨(Bambi nart Gallery)・平川 恒太(アーティスト)	K・T	とつぶら いと	93
街角アート 鳥の歌 [日高頼子]	星野 清一	新美術新 聞	1295	アートの質問[平川 渚]	阿部 一直 聞き手	美術手帖	967
平成二十四年新作名 刀展 日本美術刀剣 保存協会会長賞 野 晒図譚 銘 模金家 左一光作 壬辰 春	飯田 俊久	刀剣美術	665	ARTIST INTERVIEW 平川典俊	柳沢 秀行	国 華	1400
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 檀田伸也	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 平櫛 田中 五浦釣人	関根 秀吉	陶 説	710
コミック 放課後カ ルテ1日生マユ(作) 病因を見抜く 尊大な 新校医	山脇 麻生	朝 日	2.19	「天心」—平櫛田中—	藤井 素彦	美術手帖	967
				SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 029 平櫛田中 転生	上山 陽子	美術運動 史研究会 ニュース	131
				画家・平澤熊一 1936~45年の日記で 読む	伊東 豊子	美術手帖	971
				SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files 平澤賢 治 生命を撮るサー モグラフィー写真			



社会を見つめる・画家の眼 平澤重信の視点第1〜3回	平澤 重信	ギャラリー一*	330~332	人生の贈りもの 漫画家 弘兼憲史 1~5	鈴木 繁 朝日夕刊	3.5~9
被災地みんなの家ベネチアで最高賞建築展設計過程展示に評価[平田晃久]	大西 若人	朝 日	8.30	研究発表(要約) 廣島晃甫の画業—大正期個性表現の行く末	森 芳功 近代画説	21
被災者の心が帰る家ベネチアで金獅子賞の「みんなの家」地元の提案も取り入れ展示とのバランス評価[平田晃久]	〃	〃	9.3	廣村正彰のJunglin'第3〜8回	廣村 正彰 A X I S	155~160
「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[平田晃久]	〃	〃	12.11	(フ)		
「みんなの家」被災地に続々復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[平田晃久]	高野 清見	読 売	12.20	現代美術の歩き方 今月の一品 「夜は遊ぶのに都合がいい」[風能奈々]	高橋 瑞木 美術の窓	347
平田郷陽《風船》	才藤あずさ	熊本県立美術館研究紀要	12	本づくし	深澤 直人 A X I S	
東京美術学校で学んだ平田善吉	瑞慶山 昇	沖縄県立博物館美術館博物館紀要*	2	「揺るぎない真理」『超訳 ニーチェの言葉』		155
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る	平田 寛子	自由美術	2012	「経験を通してしか生まれてこない名言」『森正洋の言葉。デザインという言葉。』森正洋を語り・伝える会著/ナガオカケンメイ企画		157
WORLD NEWS ワルシャワ グローバルなマーケットに連動し成長中! ワルシャワのアートシーン[平田実]	藤高 晃右	美術手帖	971	「組み合わせられた全体美」『表現者・堀口捨己 —総合芸術の探求』藤岡洋保著		158
六〇周年シンボルマークについて 東京国立近代美術館開館六〇周年シンボルマークのコンセプトと造形の根拠	平野 敬子	現代の眼	592	「考えない練習をしなければ」『考えない練習』小池龍之介著		159
表紙の作品 平野遼《重い白(シシフォス)》	(H)	潮 流	112	「彼の生き方そのものから生まれたデザイン」『Designing Interactions』ビル・モグリッジ著		160
美の履歴書247 なぜ目を閉じるのか「昼と夜と」 平野遼	西 正之	朝日夕刊	3.28	深澤直人の考える「Found MUJI」	深澤 直人	〃 156
特別展 平山郁夫シルクロードの軌跡—人類の遺産にかけた画家の人生— 三輪館長に聞く 画面から伝わる、静かな怒りと情熱	三輪 嘉六	Asiage	24	深澤直人、日本民藝館を語る	川上典李子 インタビュー・文	〃 159
平山親子 合作『いちりんの花』画伯の遺言から生まれた絵本[平山美知子]	洪沢 和彦	産 経	3.28	深澤直人の考える日本民藝館は、「じわじわと自分の力で感じる場」		芸術新潮 753
				INFORMATION NEWS 日本民藝館新館長就任 深澤直人が民藝とデザインをつなぐ	土田 貴宏 美術手帖	974
				4「読ん」で知るアート デザインの読み方	深澤 直人 朝日夕刊	6.27.7.4.11.18

追悼 工業デザイナー 柳宗理さん 手で作り込む「人間のかたち」	〃	産 経	2.1	印象時評 291 document 第2、3回	福居 伸宏	ファウンテン	2,3
文化往来 日本民芸館館長にデザイナー 深沢直人氏		日 経	7.27		加藤 貞雄 富山 秀男 福井 爽人 加藤 千明 吉村 美栄子 安部 三郎 清原 慶子 花田 美穂 郷倉 和子 鈴木 竹柏 後藤 純男 伊藤 彰耳 手塚 雄二 吹田 文明 大野 逸男 鎌倉 秀雄	新美術新聞	1277
こころの玉手箱 プロダクトデザイナー 深沢直人 1~5	深澤 直人	日経夕刊	12.3~7	追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ			
顔 日本民芸館の館長に就任した工業デザイナー 深沢直人さん	高野 清見	読 売	7.27				
「版画対談」深澤幸雄 米寿記念特別企画		版画芸術					
銅版画技法の革新者たち	深澤 幸雄 渡辺 達正		156	追悼 福王寺法林先生のご逝去を悼む	角田信四郎	連盟ニュース	442
「人間嫌い」の画家が「人間」を描く	深澤 幸雄 相笠 昌義		157	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150			
新人賞展 依田元明氏の世界	深澤 義人	自由美術	2012	094 福沢一郎 敗戦群像	速水 豊	美術手帖	967
美術家・深堀さん 立体金魚アート 生き写し[深堀隆介]	井上 幸一	東 京	9.26	世界の多様性と表現	福島さやか	女子美術大学研究紀要	42
そびえ立つすがた [深見陶治]	横山 俊夫	陶 説	714	特集 アートの力を考える! PART 3 福島隆壽 ステンドグラス的	高山 淳	美術の窓	348
焼かなければ生み出しえない美についてー深見陶治の陶芸ー	前崎 信也	〃	〃	幻のカラー漫画復刻「沙漠の魔王」 赤塚や藤子(A)らも愛読 [福島鉄次]	加来 由子	朝 日	9.26
深見東州の深奥の世界とは? 第1~7回		ギャラリー	325~331	『沙漠の魔王』完全復刻版 [福島鉄次]	内藤麻里子	毎日夕刊	6.7
新人賞展 深谷栄樹氏の作品について	嘉屋重順子	自由美術	2012	戦後漫画の原点 復刻へ「沙漠の魔王」宮崎アニメにも影響 [福島鉄次]		読 売	5.12
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 巨星への献花	吹田 文明	新美術新聞	1277	追悼・新藤兼人氏 新藤兼人先生との出会い	福島 瑞穂	新美術新聞	1284
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 福井篤	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	特集 制作の現場から...「自作を語る」・I 私だけの宇宙	福田 篤	自由美術	2012
平成二十三(二〇一一)年度日本及び東洋美術の調査研究報告 論文 福井月斎 縮図《容斎歴史畫譜》	中山 創太	関西大学博物館紀要	18	福田太華《孔雀図》	金子 岳史	熊本県立美術館研究紀要	12
わたしの宝もの79 竜と出会う	福井江太郎	新美術新聞	1268	顔 歌舞伎を撮って半世紀の重い写真家 福田尚武さん	越村 格	読 売	10.25
追悼特集 福王寺法林氏を偲ぶ 福王寺先生のご逝去を悼む	福井 爽人	〃	1277	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150	野地耕一郎	美術手帖	967
手十選 1~10	〃	日 経	1.9、10、13、16、17、19、20、23、24、26	101 福田平八郎 雨			
紀行の賦 福井爽人 画文集	〃	〃	7.8	美の履歴書258 何をいかにみたのか「漣」 福田平八郎	大西 若人	朝日夕刊	6.13

作品ひとつ[福田美蘭]	相良 浩	群馬の森美術館ニユース	147	水墨画入門講座 第10～12回	藤崎 千雲	水墨画*	274～276
美の美 マドンナの系譜3[福田美蘭]	窪田 直子	日 経	5.27	作家通信 連載を終えて	〃	〃	277
お手本画&秀作集 其ノ十八 福富永峰《水の響》	福富 永峰	水墨画*	285	香川文化考 風土が育んだ美術家たち 大蔵雅孝/木村素子/藤澤珠玉		美術屋・百兵衛	20
視線 ON THE CIRCLE 普後均著	森村 泰昌	朝 日	9.2	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 061 藤島武二 東海旭光	児島 薫	美術手帖	967
土曜訪問 廃棄おもちゃでアート 藤浩志さん(美術家) 捨てない思想を発展	三沢 典丈	東京夕刊	7.7	おやじのせなか 2・26事件の日も会社目指す 藤城清治さん	岡 雄一郎 聞き手	朝 日	2.23
青春ブレイバック 洋画家藤井多鶴子人と出会い切り拓いた 抽象絵画の道	松崎 裕子	新美術新聞	1298	思い出す本忘れない 本 心が洗われるロバへの語り プラテロとわたし J・R・ヒメネス(著)	藤城 清治 加来 構成	〃	12.2
水墨の最前線10 ルイボスティールとエンジンオイルで水墨表現 フジイフランソワ	立島 恵	水墨画*	280	土曜訪問 自選の代表作で米寿記念展 藤城清治さん(影絵作家) 今の現実を後世に	森村 陽子	東京夕刊	9.15
特集 新人発掘		日本美術新聞		本よみうり堂「藤城清治 光と影の世界」	湯本香樹実	読 売	5.13
藤井雅一(黄稚)ー中国と日本の美的昇華			3	日々好日 骨の折れる事	藤田 潤	新美術新聞	1271
藤井雅一(黄稚)ー一天に加護された美の創造			4	日々好日 セザンヌが描いたもの	藤田 新	〃	1288
藤井雅一(黄稚)の牡丹ー典雅なる花冠			5	特集:「近代日本工芸 1900ー1930 ー伝統と変革のはざまに」展記念国際シンポジウム「東西文化の磁場」レオナルド・フジタ(藤田嗣治)と日本	尾崎 正明	京都国立近代美術館研究論集	4
特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 藤笠砂都子	外館 和子	美術の窓	344	フジタをめぐる図像の継承と変容	村上 哲	熊本県立美術館研究紀要	12
スケッチブックから見える作品の背景へ 藤川栄子の調査より	稲葉麻里子	香川県立ミュージアムニユース	19	作品紹介 フジタ以前の藤田嗣治ー渡仏前・1910年代初頭の油彩画とその周辺ー	〃	〃	13
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 042 藤川勇造 詩人M	田中 修二	美術手帖	967	平成二十三年度西支部例会「藤田嗣治と戦争」研究序説ー未公開書簡をめぐってー	林 洋子	美術史	172
山下裕二の今月の隠し球89、90 伏黒歩すべては絵を描くための、孤独な持ち家(上、下)	山下 裕二	美術の窓	344、345	第六十五回全国大会研究発表要旨 藤田嗣治の舞台美術作品ー九五一年スカラ座『蝶々夫人』に関する一考察	佐野 勝也	〃	173
転機。話そう、話しましょう 87 漫画家 藤子不二雄(㊟)さん 日常楽しむ工夫が熱意生む 37年目「互いに好きにやろう」…独立を決断	戸谷 真実	産 経	12.1				

SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 085 藤田嗣治 猫	林 洋子	美術手帖	967							「みんなの家」5棟に宮城・岩手に相次ぎ完成[藤本壮介]	12.11
美の美 証言する絵画—戦争の時代3 [藤田嗣治]	宝玉 正彦	日 経	8.26							仮説住宅の集会所、上棟式 陸前高田に「みんなの家」[藤本壮介]	産 経 8.23
藤田嗣治の遺作 仏に寄贈 永眠するランス市に遺族 美術館で常設展示へ		毎日夕刊	10.24							3・11後の表現 2 建築 「みんなで」集い作る[藤本壮介]	窪田 直子 日 経 3.7
藤田嗣治の35作品寄贈 永眠の仏ランス市に		読売夕刊	10.23							「みんなの家」被災地に続々 復興語り合う憩いの場 建築家の思い広がる[藤本壮介]	高野 清見 読 売 12.20
特集3 所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」—工芸館の漆工コレクションから— 新たな漆芸「前衛」の流れ	藤田 敏彰	現代の眼	597							韓国民俗の粋を撮る 工芸あふれる日常テーマに42年、「五十年誌」夢見て	藤本 巧 日 経 9.14
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.26 現代美術の現状	藤浪理恵子、小川 英晴 談	ギャラリー一*	331							特集 大正時代の版画誌『月映[つくはえ]』の青春 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎	版画芸術 157
特集 デッサン力を磨く ⑥技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 藤沼多門 色でデッサンする：有色地による水彩、鉛筆表現	藤沼 多門 談	美術の窓	340							『月映』前史—回覧雑誌『密室』から私輯『月映』まで 公刊『月映』の木版画 『月映』その後 『月映』という宇宙	井上 芳子
表紙解説 束編花籃「気」 藤沼昇作	近藤都代子	文 化 財*	588							近代建築 ディテールの美 建築は“細部より入れ”	藤森 照信 アプローチ* 200
藤平伸さんを偲ぶ	林屋 晴三	陶 説	717							建築と美術館 「平屋」「白壁」「ガラス」建物の存在感を消す設計	” 美連協ニュース 113
SPECIAL FEATURE 頂上バトル！日本近代美術の傑作150 067 藤牧義夫 隅田川兩岸画卷	加藤 弘子	美術手帖	967							藤森照信の茶室学 藤森照信著	石山 修武 日 経 6.24
AKB 美術部 Vol.1～5 [藤村克裕]	山内 泰宏	”	966、967、969、971、973							学びのふるさと「お前のは南方的だな」 気質見抜いた高校の恩師 制度に頼らぬ姿勢支える 建築史家 藤森照信さん	江口 博文 日経夕刊 11.2
INFORMATION MEMORIAL 追悼・菊竹清訓	藤村 龍至	”	965							特集 制作の現場から…「自作を語る」・II「自作を語る」	藤山 深諦 自由美術 2012
再開発進む「渋谷」テーマに語り合う 建築家と社会学者[藤村龍至]	手塚さや香	毎日夕刊	5.8							私たちは国土と民を失った 水俣病、そして原発事故 政治生命かけるべきものは	藤原 新也 朝 日 7.4
被災地みんなの家ベネチアで最高賞 建築展設計過程展示に評価[藤本壮介]	大西 若人	朝 日	8.30							クリエイターズワーク&ソウル 藤原徹平	A X I S 157
被災者の心が帰る家ベネチアで金獅子賞の「みんなの家」 地元の提案も取り入れ 展示とのバランス評価[藤本壮介]	”	”	9.3							フェイス21世紀156 藤原伸之 丸に丸と丸 探求する己自身	和田 圭介 新美術新聞 1270

上級者に贈る 創作への道8 琴線に触れる画を生み出す	藤原六間堂	水墨画*	284						2012年日本建築学会作品選奨 3331 Arts Chiyoda[古澤大輔]	建築雑誌	1635	
こころの玉手箱 彫刻家 舟越桂 1〜5	舟越 桂	日経夕刊	11.5〜9						第25回奨学者のレポート 投げ返されてもなお	古畑 智気	アクリラート(別冊)	2012
佐藤忠良と舟越保武—2人の彫刻家に思う— 老友2人100歳	星野 清一	新美術新聞	1298						特集 横尾忠則 外延、あるいは描く、書くことの漏出 冥界と身体、冥界の身体『ゼーガペイン』と横尾忠則	古谷 利裕	ユリイカ	618
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 116 舟越保武 長崎26殉教者記念像	田中 修二	美術手帖	967						美術評	〃	東京夕刊	
あすへの話題 舟越保武の祈り	高橋 温	日経夕刊	5.22						ジャクソン・ポロック展 具象イメージを希求			2.24
こころの玉手箱 彫刻家 舟越桂 1 父の道具 手作り・加工、手になじむ工夫[舟越保武]	舟越 桂	〃	11.5						大エルミタージュ美術館展 「赤い部屋」 分離する三層が共存			6.1
講演会 「父・船田玉樹」解題	永井 明生	広島県立美術館研究紀要	15						浅見貴子展 反転のプロセスが生むリズム			8.31
美の履歴書266 何の花を描いたのか 「花の夕」 船田玉樹	大西 若人	朝日夕刊	8.8						小林耕平個展 死を疑似体験させる装置			12.7
はしの端まで宿る知恵 「ものづくり」の要素凝縮 集めて研究、自ら手づくり	船津 邦夫	日 経	10.22						2012年日本建築学会作品選奨 小布施町立図書館 まちとしよテラソ[古谷誠章]		建築雑誌	1635
横浜に舟橋さん作防風板 機関車などモチーフに[舟橋全二]	高橋 咲子	毎日夕刊	2.13						「版画アートコレクション」の作家 古谷博子 「沈黙の音」を聞け	松山 龍雄	版画芸術	155
コミック さきくさの咲く頃 ふみふみこ(作) 10代の3人の青春叙情的に	山脇 麻生 朝	日 経	12.9						(へ)			
コミック マスタード・チョコレート 冬川智子(作) 無愛想が少しずつ魅力的に	南 信長	〃	5.13						特集 アートの力を考える! PART3 逸見有 生命[いのち]の輝き	磯部 靖	美術の窓	348
特集 制作の現場から…「自作を語る」・II 自作を語る 技法について	古川 邦彦	自由美術	2012						(木)			
旭日小綬章 アニメーション作家 古川タクさん 無我夢中で面白さ探究		読 売	11.3						展覧会時評 ex-chamber museum-offline 第2回 「絵画の庭」を今更ながら振り返ってみる、の巻[法貴信也]	幕内 政治	ファウンテン	2
第五十九回日本伝統工芸展受賞者に聞く	室伏古川 榎本 金澤 森司会	英治、拓郎、満明、徹、賢治、昌孝一	陶 説	717					『四つの月の物語 EXHIBITION』『BOX 美術館展 10』『七夕の箱 EXHIBITION 2』巡回の記録	星野高志郎	大阪成蹊大学芸術学部紀要	8
									広角 時代を投影眺めて楽しい 小さなアート 宝くじデザイン 手塚漫画のキャラクターも起用[星野はるか]	伊藤 洋一	産 経	7.19
									本よみうり堂	星野 博美	読 売	

テキヤ稼業のフォー ークロア 厚香苗 著			4.29	神宮名品解説 染織 「綴織帯『晨』」 染織 「紗変織夏帯『渚の 月』」[細見華岳]	小山 朝子 瑞 垣	223
レ・ブルー黒書 ヴァンサン・デュ リュック著			7.1	第76回新制作展を迎 えて	細谷 泰茲 新美術新 聞	1290
評伝ナンシー関 横田増生著			7.29	コミック 式の前日 穂積(作) 何げない 感情を射抜く職人技	山脇 麻生 朝 日	9.23
探検家、36歳の憂 鬱 角幡唯介著			9.2			
岩瀬慎之著 岩瀬 慎之写真集 海女 の群像			9.9	次元を超えた光たち	穂積 穀重 筑波大学 芸術研究 報告	58
舟越保武全随筆集 巨岩と花びら ほ か 舟越保武著			9.23	光の造形表現とその 受容傾向に関する地 域比較研究―日韓中 台の芸術系学生を対 象に―	” ”	59
現代台湾鬼譚 伊 藤龍平/謝佳静著			9.30	所蔵品紹介225 高原 堀友三郎	石川県立 美術館だ より	344
東京満蒙開拓使 東京満蒙開拓団を 知る会(代表・今 井英男)著			10.28	特集 いわさきちひ ろ Love, Love, Love ちひろを語る 私た ちの時代	堀 文子 芸術新潮	751
ニッポン人・脈・記 日英新世紀3 大英 博に怪人あらわる[星 野之宣]	沢村 互 朝日夕刊		7.9	人生の贈りもの 日 本画家 堀文子 1 ～5	青山 祥子 朝日夕刊 聞き手	1.23～27
ようこそ、新しい先 生 03 細井雄二	細井 雄二 瓜生通信		55	自作再見 堀文子 「仮面と老婆」 異国 での衝撃迷い無く	西岡 一正 ”	11.21
写真家・細江英公を めぐる他土済々『細 江英公人間写真集 創世記 若き日の芸 術家たち』		芸術新潮	751	読書日和 堀文子さ ん 堀文子画文集 名もなきものの力 未発表絵画も収録し た画文集 衰えるこ とも興味津々	岸 桂子 毎日夕刊	5.29
創世記 若き日の芸 術家たち 細江英公 著		日 経	7.15			
写真家・細江英公 創作の源泉 自然で ない人 風景と相乗 効果	富田 律之	日経夕刊	2.14	INFORMATION COMPETITION AAC2011受賞者決定 学生時代に社会の現 場で鍛えられるコン ペ[堀康史]	編 集 部 美術手帖	964
本よみうり堂 細江 英公人間写真集「創 世記」	朝吹真理子	読 売	7.1	闇の奥の人間舞台 堀井英男 画家であ り続けた版画家	永松 左知 版画芸術	157
美術学部教員展図録 デザイン	細川 修	愛知県立 芸術大学 紀要	41			
彫刻家細川宗英の塑 造表現に関する一考 察 メキシコ研修以 後の具象作品を中心 に	樽井 美波	芸術学研 究(筑波)	17	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 123 堀内正和 箱は 空へかえってゆく No.5	長門 佐季 美術手帖	967
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No.23 名品に学び 名品に挑む	細川 護熙、 小川 英晴	ギャラリ ー*	328	ウルトラ怪獣審査会 金沢のデザイナー作 「ドグドンドン」に最 優秀賞[堀内美幸]	布施谷 航 東京夕刊	11.10
特別展細川家の至宝 一珠玉の永青文庫コ レクション―記念鼎 談	細川 亜衣 細川 護光 川畑 憲子	Asiage	23	特集 まるごと「具 体[GUTAI]」! In- terview 堀尾貞治 「あたりまえのこと」 を表現する	堀尾 貞治 美術の窓	347

インタビュー 新潟現代美術家集団GUNの夜明け	前山 忠 堀川 紀夫	雪椿通信	39
「最悪の修復」に前例キリスト画騒動に思う	堀越 千秋 朝 日		9.12
本よみうり堂 東京都写真美術館編「幻のモダニスト—写真家堀野正雄の世界」	(前)	読 売	4.1
特集 アートの力を考える! PART 3 本田久一郎 網想(復興)	本田久一郎	美術の窓	348
新・旧刊案内52 本多錦吉郎と陸軍の地図・画学・図学教科書	青木 茂 一 寸		52
視線 里山のきのこ 本田尚子著	北澤 憲昭 朝 日		11.4
おしゃれのレンビ 継ぎ当て 気に入ったもの同士、合体!	本田 葉子 東 京		2.6

## (マ)

前史雄 2011年 作品の解説	前 史雄	金沢学院大学紀要*	10
アントニン・レーモンド「カトリック新発田教会」[前川國男]	峰村 一彦	Wave II	5
コラム 前川國男を受け止めた弘前の自信	北原 啓司	建築雑誌	1626
戦中から戦後へ作家をたどる 8 戦前・戦後の渡航事情の変化および前田寛治	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	128
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 043 前田寛治 裸婦	原田 光	美術手帖	967
特集 アートの力を考える! PART 2 きずな—再生美術の力 前田省三 風土と祈り	磯部 靖	美術の窓	348
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 072 前田青邨 観画	野地耕一郎	美術手帖	967
現代美術の流れ	前田 岳究	国立国際美術館 ニュース	193
神宮名品解説 「縞紋花籃」[二代前田竹房斎]	長谷川明輝	瑞 垣	221

第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負—よろこびの初入選	前田 勉	日展ニュース	144
前田守一《遠近のものさし》に至る人的交流とその作品への影響	川谷 承子	アマリリス	107
美の随想 色の画家 前田千寸のこと	池内 紀 紫 明		30
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!!		美術手帖	974
PART 1 GALLERY 技巧にまずは驚く[前原冬樹]	山下 裕二 談		
PART 2 ATELIER 神技テクニックを徹底解剖 1 前原冬樹 一本の木に時間を留める	福住 廉		
インタビュー 新潟現代美術家集団GUNの夜明け	前山 忠 堀川 紀夫	雪椿通信	39
特集 アートの力を考える! PART 3 真壁輝男 南画的な力	高山 淳	美術の窓	348
特集 耽美な世界へようこそ 物語の中の世界 牧弘子	牧 弘子	〃	342
レビュー 牧ゆかり展	宮永 郁恵	REAR	28
制作ノート 反応すること	牧野 光一	武蔵野美術大学研究紀要	42
ミリ単位で刻む小宇宙 つまようじの木片で仏像など制作、全神経研ぎ澄ませ	牧野 良香	日 経	2.10
実在の核を残す原初の力	馬越 陽子	新美術新聞	1280
想像力の解放十選 1 ~10	〃	日 経	3.29、30、4.2、3、5、6、10、12、13、16
あすから「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」 立体作品部門 新作秀作賞 正田典子氏「ゆきくも」 青空を縦のスリットで	正田 典子	産 経	3.2
制作ノート Kinesis No. 316 hydrometeor	間島 秀徳	武蔵野美術大学研究紀要	42
特集 拡大・縮小美術館 絵画編 増子博子 成長し増殖していく絵画 細密画の描き方		美術の窓	350

現代童画会の作家を訪ねて 22 増田欣子「山岳画家」	糸井 邦夫	現童通信	49	黒い猫から白い犬へ 松井冬子 痛みを生 みなおす筆先	芸術新潮	747
北川民次の絵画技法 (2)一名古屋市美術 館所蔵作品の自然科 学的調査—	白河 宗利 歌田 真介 森田 恒之 木島 隆康 森田 義之 増田 直人 山田 論 田中 元偉 鈴嶋 富士 杉原 朱美	愛知県立 芸術大学 紀要	41	わたし一人の美術時 評 第20回 “松井 冬子現象”にみる日 本画のマニエリスム	藤田 一人	748
第43回日展 新入選 者寄稿—喜びと抱負— 日展と自身の表 現について	梶田 真美	日展ニユ ース	144	特集 美女と幽霊 いつかは、消えゆく もののために 松井 冬子 最新作を語る	松井 冬子 談	752
本よみうり堂 ビタ ミンBOOK	益田 ミリ	読 売		Book 自作解説で画 業を振り返る 松井 冬子の最新画集 松 井冬子 世界中の子 と友達になれる		753
日常の情景に胸熱 くなる			3. 11	小特集 松井冬子、 九州で九相図を観る 松井冬子×山本聡美 描かれた“死”に探る 中世絵画のテクニッ ク	松井 冬子 山本 聡美	754
「あしたがある」ド ールハウス			5. 13			
生きる気力湧く恋 愛物語			6. 10	石仏とファッション と松井冬子 KAZU'S 10th ANNIVERSARY COUTURE COLLE- CTION: An Elegant Cultural Bridge		756
高齢者から生きる 力をもらう			8. 12			
不完全だからこそ 損しない			10. 14	レポート墨 クロス ・トーク 松任谷由 実氏×松井冬子	水 墨 画*	276
「うふふ」静かな心 はいいもの			11. 11	SPECIAL FEATURE 松井冬子	美術手帖	963
柳澤桂子さん「い のち」の教え			12. 9			
増山長三郎《羅漢図 金銀象嵌大飾皿》の 図像について	高田 未羽	PATIO	29	GALLERY 松井冬 子の解説による新 作紹介	松井 冬子	
特集 デッサン力を 磨く 秘技法講座 VOL. 25 人気作家8 名の制作プロセス公 開 間瀬静江 和紙 に水彩・色鉛筆で野 ブドウをスケッチ	間瀬 静江	美術の窓	340	SPECIAL TALK 1 対談1 青柳正規 ×松井冬子	内田 伸一 聞き手・構 成	
展覧会時評 ex-cha- mber museum- off- line 第2回 「絵画 の庭」を今更ながら 振り返ってみる、の 巻[町田久美]	幕内 政治	ファウン テン	2	INTERVIEW ロン グ・インタビュー	松井みどり 聞き手・文	
視線 町田久美画集 町田久美著	大西 若人	朝 日	8. 5	REPORT 陸前高 田 一本松を訪れ る	編 集 部	
町田久美画集 町田 久美著		日 経	7. 22	CHRONOLOGY 松井冬子の軌跡 作品とポートレイ トでたどる	中島 水緒	
毎月着せ替えの小便 小僧写真展[町田忍]		読 売	11. 9	COLUMN“解剖図” を描く	”	
ニュースクール イ ラストレーター 町 山耕太郎さん 心に 響く絵、世界の人へ	柳下 朋子	日 経	9. 22	SPECIAL TALK 2 対談2 石黒浩× 松井冬子	内田 伸一 聞き手・構 成	
				COLUMN 創作を 支えるもの	編 集 部	
				諏訪敦インタビュー — 絵描きによる 絵描きの肖像画	福住 廉	



CRITIQUE ジェンダーアートの新しい回路	斎藤 環				フェイス21世紀162 松岡歩 院展に生きるその誇りと覚悟	和田 圭介	新美術新聞	1287
特集 デッサン力を磨く ⑩技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 松井冬子の写生の魅力 真実に向き合う切実な時間	八柳 サエ	美術の窓	340		松岡映丘の画稿紹介	平瀬 礼太	姫路市立美術館研究紀要	12
特集 耽美な世界へようこそ 松井冬子の痛み・狂気・ナルシズム	編集部	〃	342		東日本大震災 連続ルポ1 動き出す被災地 滋賀の森から舞根の海へ/舞根集会所	松岡拓公雄	建築雑誌	1632
ことば 松井冬子さん(画家)	大西 若人 朝 日	1.18			お手本画&秀作集 其ノ十三 松川いづみ《響き合う》	松川いづみ	水墨画*	278
「松井冬子展」身体から紡ぎだす「痛み」共有できたら	新谷 祐一	朝日夕刊	2.8		第25回奨学者のレポート 制作、around girlsシリーズによせて	松川 朋奈	アクリラート(別冊)	2012
美術評 松井冬子展おぞましさを美	児島やよい	東京夕刊	2.10		日々好日 陰影礼賛	松澤 茂雄	新美術新聞	1278
松井冬子さんが横浜で個展 絹本着色による作品など展示	岸 桂子	毎日夕刊	3.5		復興祈る百人百色 神奈川の女性 パリで撮影 フェイスブックで毎日1枚公開 [松沢真紀]	加藤 文	東京夕刊	7.5
ぎやらいいモール 横浜美術館「松井冬子展—世界中の子と友達になれる」から「盲犬図」 松井冬子	八柳 サエ	読売夕刊	1.24		作家通信 蓮とロウソク 2012	松下 黄沙	水墨画*	280
コツをおさえて描く 花の水墨画速習帖1、4、7	松井 陽水	水墨画*	277、280、283		特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研究室座談会 古典の模写から学び取るもの	窪井 裕美 繭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓	349
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 松井陽水 碧海静奏	〃	〃	282		コミック すみれファンファーレ1 松島直子(作) フェアですがすがしい世界	南 信長	朝 日	4.22
第43回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 新入選をうけて	松浦 藍	日展ニュース	144		特集 制作の現場から…「自作を語る」・II ささやきシリーズ(自作を語る)	松島 秀樹	自由美術	2012
特集 アートの力を考える! PART 3 松浦安弘 無音の稲妻	高山 淳	美術の窓	348		現代美術の歩き方 今月の一品 「Untitled」松田啓祐	清水 穰	美術の窓	350
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 1 Focus 3 松江泰治	楠本 亜紀	美術手帖	971		わたしの宝もの87 猿の惑星の島	松谷千夏子	新美術新聞	1289
時の余白に「形あるものは滅びます」 [松尾多英]	芥川 喜好	読 売	10.27		昭和ななかあさん 松永えりか(イラスト)	朝 日	12.16	
追悼特集 現代書壇の代表作家・かな書の巨星 杉岡華邨氏を偲ぶ 杉岡華邨先生追憶	松尾 敏男	新美術新聞	1278		真珠の耳飾りの少女と私 松永真さん グラフィックデザイナー	松永 真	朝日夕刊	7.13
大正から100年—我が心を語る 自らを皮剥き 新しい何かを探る	〃	〃	1299		本よみうり堂 松永高寛写真集「海を渡る蝶」	(前)	読 売	2.12
神宮名品解説 日本画「アッシジの聖堂」 [松尾敏男]	中村 潔 瑞 垣	222			なぜ私は建築を選んだか no.2 建築学の懐は深かった	松原 斎樹	建築雑誌	1632
					日々好日 四季のうつろい	松村 公嗣	新美術新聞	1296
					わたしの宝もの84 絵の栄養(もと)	松村 公太	〃	1281

新指定物件に関する 寄稿論文 八幡浜市 立日土小学校の保存 再生[松村正恒]	花田 佳明	文 化 財*	591				
建築季評 社会から 発想する設計[松村 正恒]	中川 理	読 売	6.28				
コレクション通信 町の空白 松本英一 郎	(K・T)	とつぷら いと	93				
コミック 謎のあの 店1 松本英子(作) 意を決し、突撃して みたら	山脇 麻生	朝 日	8.19				
作品 「感情列席— その2」	松本 研一	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16				
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 089 松本竣介 立て る像	水沢 勉	美術手帖	967				
視線 松本竣介 線 と言葉 コロナ・ブ ックス編集部編	北澤 憲昭	朝 日	8.19				
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 自作を語る	松本正一郎	自由美術	2012				
特集 アートの力を 考える! PART 3 松本信子 憂愁	高山 淳	美術の窓	348				
特集 秋の制作シー ズに贈る18作家の 水墨世界 松本深雪 秋の虫	松本 深雪	水 墨 画*	282				
文化の扉 はじめて の宮沢賢治 幸せ求 める純粋な魂の世界 少年の夢と希望の原 点	松本 零士	朝 日	7.23				
食の履歴書 創作の 旅 ビフテキが汽笛 松本零士さん 上京 決意、出発前に食べ た思い出の味 「食 わざれば力なし」父 の教え	河野 俊	日 経	12.29				
こころ 松本零士さ んに聞く 大きな夢 若者の特権 自分 の道は自分で決める	佐藤 光展	読売夕刊	11.8				
特集 アートの力を 考える! PART 3 的場繁子 ワヤン人 形幻想	磯部 靖	美術の窓	348				
お手本画&秀作集 其ノ十八 真鍋宣子 《コタンの堅琴》	真鍋 宣子	水 墨 画*	285				
特集 模写から学ぶ 絵画の技法 第三研 究室座談会 古典の 模写から学び取るも の	窪井 裕美 蘭山 桃子 永井 健志 松下 雅寿 上野 高	美術の窓	349				
アクリリックス・ワ ールド70 マリアー ネ	小吹 隆文 取材・文	美術手帖	969				
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 077 丸木位里 ラク ダ	天野 一夫	"	967				
美術館としての原爆 堂に関する覚え書— 丸木位里・俊夫妻と 白井晟一の交流につ いて—	石崎 尚	武蔵野美 術大学研 究紀要	42				
3・11後を生きる 非核×芸術案内 見 えない驚異あばく [丸木位里/丸木俊]	岡村 幸宣	東 京	7.19				
3・11後を生きる 非核×芸術案内 市 民が描く原爆への怒 り[丸木スマ]	"	"	7.26				
生誕100年 丸木俊 ・絵本原画展—いの ちへのまなざし—	中 村 潮	流	111				
本よみうり堂 丸々 とお/丸田あつし 著 「最新版 日本 夜景遺産」	(井)	読 売	11.11				
視線 眠る鉄道 SLEEPING BEAUTY 丸田祥三著	北澤 憲昭	朝 日	7.15				
棄てられたものへの 想像力を 無言の問 いかけを撮る 写真 家 丸田祥三さん	吉田 俊宏 聞き手	日経夕刊	7.4				
編集長対談 丸茂湛 祥	一井 建二 丸茂 湛祥	美術の窓	350				
作家通信 元気のヒ ミツ すべてが力	丸山 東子	水 墨 画*	278				
歳・月・人 丸山東 子 自由な造形表現 をめざして	"	"	281				
特集 アートの力を 考える! PART 3 丸山東子 逝った人、 在る人への贈り花	ワシオ・ト シヒコ	美術の窓	348				
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 丸山もゝ子	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973				
(ミ)							
思うままに クライ スバークの芸術 自 然破壊を告発[三浦 景生]	梅原 猛	東京夕刊	2.27				
広告特集 画材ガイ ド01 ホルベイン ヴェルネ×三浦高宏	杉瀬 由希	美術手帖	976				
中特集 心の風景 三浦智子 詩情	高山 淳	美術の窓	349				

上級者に贈る 創作への道1 生命の源、命の輝きを追究 感情の昇華	三浦ひろみ	水墨画*	277
特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 三浦裕子	三浦 裕子	美術の窓	348
お手本画&秀作集 其ノ九 三上登《麗日》	三上 登	水墨画*	274
作家通信 三上登先生を偲ぶ	翠 酒湖	〃	281
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 125 三上誠 作品	天野 一夫	美術手帖	967
建築 みかんぐみ 下条茅葺きの塔 柔軟な姿勢のシンボル	五十嵐太郎	毎日夕刊	8.28
アートの風 6月「背面」展と「フラスケーブ」展 発見されたもう一つの身体[三木富雄]	三田 晴夫	〃	6.13
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 068 三岸好太郎 海と射光	大谷 省吾	美術手帖	967
三岸好太郎の芸術思想—前衛画家の弁証法	速水 豊	兵庫県立美術館研究紀要	6
特集 画廊とアーティストの繋がり 高輪画廊×三岸好太郎・節子・黄太郎		ギャラリー*	331
特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 三岸節子		美術の窓	348
21世紀のアーティスト 三沢厚彦		ギャラリー*	331
街角アート[三島喜美代]	星野 清一	新美術新聞	
現代社会への批判精神			1281
屑籠も中身次第で			1284
SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼンツ REAL TIMES GALLERY & INTER-VIEWS 世界各国の22組が登場! スーパーラットな表現者たち COLUMN 中国現代美術の現在 北京在住のアーティストからの発言	Mz	美術手帖	964

一服の絵 隅田川の水で「あぶり出し」[水川千春]	東京	7.20
3・11後を生きる 非核×芸術案内 不気味な異形で描く「パイプの森の放浪者」 水木しげる 1979年「珊瑚礁の怪物」 ベン・シャーン 1957年	岡村 幸宣	〃 8.2
写真家たちの世界遺産 水越武・中村征夫ほか著	日 経	5.6
綴じ込み カイカイ キキギャラリー「A Nightmare Is A Dream Come True: Anime Expressionist Painting」展を開催! 参加作家による座談会 カオス*ラウンジの後、僕らはどこを目指すのか	S T A G J N T H E D N a B a B a おぐち Mr.	美術手帖 967
作家通信『洋子の田舎日記子育て日記』を自費出版しました	水野 洋子	水墨画* 275
レポート墨 第22回タカシマヤ美術賞に三瀬夏之介氏ら三氏		〃 276
被災地に力 美術家の試み「東北画」理解と励まし[三瀬夏之介]	小川 敦生	日経夕刊 1.23
特集 アートの力を考える! PART2 きずな—再生美術の力 一枚の思い出の絵 溝江勘二の「滞船」 存在という謎	高山 淳	美術の窓 348
お手本画&秀作集 其ノ十 溝口墨道《墨人》	溝口 墨道	水墨画* 275
特集 アートの力を考える! PART3 三谷青子 時間という謎	高山 淳	美術の窓 348
日々好日 藝術の力	三田村有純	新美術新聞 1274
SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち10 見附正康 伝統と現代性を融合させた赤絵の宇宙	秋元 雄史	美術手帖 974
「見る」超えたアート 語る・聞く 全盲の芸術家と学生、対話し製作 触る・かぐ 香りつき・大きき違う粒で「スナエ」[光島貴之]	小川 雪	朝日夕刊 1.30

『Qualiaへ至る、存在論・写真論ノート』	三橋 純	横浜美術大学・研究紀要	2	特集一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(四) 宮川香山の一九〇〇年パリ万博	岡本 隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要	17
人生の贈りもの 漫画家 みつはしちかこ 1~5	大庭 牧子 聞き手	朝日夕刊	11.5~9	『世界に愛されたやきもの 真葛焼 初代宮川香山作品集』	山下 裕二	紫 明	31
特集 アートの力を考える! PART 3 三森知恵子 想像力	高山 淳	美術の窓	348	光と影を生む彫刻としてのプロダクト「陰翳 IN-EI ISSEY MIYAKE」[三宅一生]	川上典李子	A X I S	158
特別展示「緑川洋一の写真」解説文集成	廣瀬 就久	岡山県立美術館紀要	4	「国立デザイン美術館をつくる会」設立次世代に可能性示す場に 三宅一生さんから「決起」実現ヘシンポジウム	黒沢 綾子	産 経	12.5
pop style vol. 324 石本藤雄 自然と想像の融合 デザイナーが語る作品の魅力	市原 尚士 皆川 元美 川上	読売夕刊	11.7	小説家 平野啓一郎が見た美術展「アーヴィング・ペンと三宅一生 Visual Dialogue」展	平野啓一郎	日 経	1.12
縄文の造形美の現代彫刻への展開・応用への研究—縄文の造形を「源流シリーズ:日本人のルーツを探る旅」への展開と実際	皆川 嘉博	秋田公立芸術短期大学紀要	16	デザイナーと写真家創造の過程を探る六本木で「ペンと一生」展	岸 桂子	毎日夕刊	3.5
掌の縄文 港千尋著		日 経	4.22	「国立デザイン美術館」設立を 三宅一生さんから「つくる会」結成	永田 晶子	〃	11.26
本よみうり堂 港千尋著 「掌の縄文」	三浦 佑之	読 売	5.20	国立デザイン美術館を造ろう 三宅一生さんから呼びかけ		読 売	11.3
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 IX[南薫造]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鐘旭	東京芸術大学美術学部紀要	50	モードUPDATE みんなのブリーツ 20年[三宅一生]	竹之内知宣	読売夕刊	1.11
視線 本人伝説 南伸坊著	森村 泰昌	朝 日	10.7	木彫刻のアニミズム	三宅 一樹	多摩美術研究	1
南川三治郎さん 写真集「推理作家の家」大好きな被写体 伝わる素顔	渋谷 和彦	産 経	9.24	三宅克己の画業と生涯(二) 御田小学校時代の一年	森 芳功	徳島県立近代美術館研究紀要	13
編集長対談 南口清二 生きている絵と画家の心	南口 清二	美術の窓	347	21世紀のアーティスト ミヤケマイ		ギャラリー一*	321
特集 アートの力を考える! PART 3 三原捷宏 希望の海	高山 淳	〃	348	特集 アートの力を考える! PART 3 宮崎曠代 時間もまた旅人	高山 淳	美術の窓	348
みんなのマンガ学「青春の一冊」リクエスト編2 はみだしっ子 愛に飢える少年像時代先取り[三原順]	表 智之	朝日夕刊	1.12	自作再見 宮崎進「壁(忘れえぬ人)」シベリア体験今につなげる	大西 若人 聞き手	朝日夕刊	7.25
特集 アートの力を考える! PART 3 三村浩二 生活と信仰	高山 淳	美術の窓	348	第25回奨学者のレポート 自分の立ち位置	宮崎 雄樹	アクリラート(別冊)	2012
イカの絵魅力やいかに	宮内 裕賀	日 経	8.2	所変われば台所変わる 70カ国の庶民の家を訪問、暮らしぶり垣間見る	宮崎 玲子	日 経	2.1
作家訪問432 花月窠志村睦彦さん・宮岡麻衣子さん	編 集 部	目の眼	434				

お手本画&秀作集  
其ノ十六 宮下外茂  
子《ハマダイコンの  
花咲く頃》

彫刻家の現場から  
85 宮瀬富之

作家通信 元気のヒ  
ミツ “歳”相応に暮  
らす

ワークショップの参  
加者の活動を支える  
デザインの検討ー  
「メル・ブラッツ  
ショーケース」の事  
例から

都市再生とうきよ  
うスカイツリー駅オ  
ープンと東京電機大  
学千住キャンパス開  
設 澄川喜一「TO  
THE SKY」墨田区と  
宮田亮平「飛躍」北千  
住 足立 4月20日、  
2地域で記念式典と  
彫刻作品除幕が同時  
披露

なかそらの話

本だな 森の静かな  
一日を描く『くま  
のごろりん あまや  
どり』[ミヤハラヨウ  
コ]

特集 残されしもの、  
生かされしもの 第  
2部 生かされし有  
象無象 取材「ゼ  
ンカイ」ハウスから  
「福島第一原発神社」  
へ跳躍する「生かさ  
れし」価値観ー宮本  
佳明氏インタビュー

2012年日本建築学会  
作品選奨 澄心寺庫  
裏[宮本佳明]

街角アート 空中の  
線描画[宮脇愛子]

宮脇晴・綾子夫妻の  
人と作品についてー  
福本まさ子氏へのイ  
ンタビューー

東京土木 LIFE 第2  
～7回

百兵衛インタビュー  
MireiHIROKI (現代  
美術アーティスト)

日々好日 樹々とと  
もに

宮下外茂子 水墨画\* 281

武田 厚 美術の窓 345

宮田 記朱 水墨画\* 277

宮田 雅子 札幌大谷  
大学紀要\* 42

新美術新  
聞 1280

宮永 愛子 国立国際  
美術館ニ  
ユース 192

読売夕刊 4.14

脇坂 圭一 建築雑誌 1631

” 1635

星野 清一 新美術新  
聞 1270

成瀬 美幸 豊田市美  
術館紀要 5

御代田和弘 A X I S 155～160

美術屋・  
百兵衛 21

三輪 晃久 新美術新  
聞 1289

(ム)

向井潤吉『模写に就  
いての手記』一翻刻  
II 1928年10月16日  
から1929年2月23日  
まで

向井良吉との縁 大  
作守る 建築とコラ  
ボの先駆け、解体免  
れ世田谷美術館が受  
贈

美・コレクション  
転居先探した企業の  
志 向井良吉「花と  
女性」

土曜訪問 「祈り」の  
陰影空間を写す 六  
田知弘さん(写真家)  
発する気配感じ取る

石と光ーシトーのロ  
マネスク聖堂 六田  
知弘著

本よみうり堂 六田  
知弘写真集「石と  
光 シトーのロマネ  
スク聖堂」

胸中花～棟方志功の  
眼～第19～30回

版画に摺り出す少年  
の心 棟方志功に共  
鳴、医療少年院で創  
作を半世紀指導

危機と日本人16 日  
本の「芸業」苛烈に追  
求 棟方志功の「師  
殺し」

ぎやらりいモール  
日本民芸館「東北の  
工芸と棟方志功」か  
ら「『東北経鬼門譜  
[きょうきもんぷ]』  
のうち『真黒童子[ま  
くくろうじ]』」  
棟方志功

視点 日本人の基層  
心理1～7

作品探訪 ムラカバ  
ユキのエッチングの  
世界第1～5回

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
078 村井正誠 CITE

人と作品 村井正誠  
一色とかたち心に心  
をたくしてー

橋本 善八 世田谷美  
術館紀要 13

” 日 経 2.14

岸 桂子 毎 日 4.11

黒谷 正人 東京夕刊 3.31

日 経 6.3

読 売 5.6

石井 頼子 目の眼 424～435

井上 勝江 日 経 6.13

山折 哲雄 ” 6.17

新井美香子 読売夕刊 4.17

宗雪 孝夫 美術の窓 345～351

ギャラリ  
ー\* 325～329

野田 尚稔 美術手帖 967

植野比佐見 紫 明 31

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150  
082 村上華岳 巖山松樹之図 野地耕一郎 美術手帖 967

日本美術のスズメ  
今月の逸品 村上華岳「太子樹下禪那」 内田真紀子 美術の窓 345

美の美 大正100年  
京都日本画の浪漫 下[村上華岳] 小川 敦生 日 経 5.6

まだ村上隆がお嫌い  
ですか? 芸術新潮 749

21世紀の乱世にカ  
ツ!《五百羅漢図》  
全部見せます

辻惟雄×村上隆  
「ニッポン絵合わせ」  
総集編? 《五百羅漢図》へと突  
き抜けた激闘21ラ  
ウンドの軌跡

I 砂漠の國に出現  
したアート遊園地  
「Murakami-Ego」  
展レポート

Interview ジャン  
＝ポール・エレン  
ゲン(QMA ディレ  
クター)「タカシ  
の作品はあらゆる  
レベルの人が楽し  
める」 ジャン＝ポ  
ール・エレン  
ゲン 談

Takashi's Chron-  
icle 1962 村上隆  
の半世紀 編集部

II ムラカミによ  
るムラカミ 代表  
作でたどる20年 村上 隆

III 茶のない茶会  
千宗屋、村上コ  
レクションを語る 村上 隆  
千 宗屋

IV After 3.11 ア  
ート憂国放談 対  
談 村上隆×榎木  
野衣 村上 隆  
榎木 野衣

特別レポート 「工  
芸」はどこへ向かう  
のか 前編 表現と  
しての工芸 村上隆  
さん、なぜいま「工  
芸」に注目している  
のですか? 橋本 麻里 〃 752

SPECIAL FEATURE  
チャリティオーク  
ション「New Day」  
[村上隆] 美術手帖 962

「New Day」の煌め  
き 歴史に刻まれ  
たチャリティオー  
クション、現地  
レポート 藤森 愛実

プレビュー記者会  
見レポート オー  
クション1週間前、藤高 晃右  
ガゴシアン・ギャ  
ラリーにて開催

エイミー・カペラ  
ツツオ 「New  
Day」を実現に導  
いたクリスティ  
ーズのチアマン 藤森 愛実

井上光司 クリス  
ティーズの窓口を  
担った日本生まれ  
のスペシャリスト 藤高 晃右

渡辺謙 世界に向  
けて宮澤賢治の「雨  
ニモマケズ」を朗  
読。オークション  
の場を整えた 〃

村上隆インタビュ  
ー 藤高 晃右  
聞き手

カタールでの村上隆  
個展 MURAKAMI—  
EGO 五百羅漢とは  
誰か 榎木 野衣 〃 965

綴じ込み カイカイ  
キキギャラリー「A  
Nightmare Is A Dre-  
am Come True: Ani-  
me Expressionist  
Painting」展を開催!  
キュレーター村上隆  
によるステートメン  
ト「A Nightmare  
Is A Dream Come  
True: Anime Exp-  
ressionist Painting」  
＝「AKA: 悪夢のど  
りかむ」 村上 隆 〃 967

SPECIAL FEATURE  
奈良美智 SPECIAL  
温泉対談: 村上隆×  
奈良美智 11年後の  
ふたり旅 岩渕 貞哉  
聞き手 岡澤浩太郎  
構成 〃 973

特集 蜷川実花 映  
画『ヘルタースケル  
ター』の世界 対談  
美しき闘争 東京/  
芸術/批評 村上 隆  
蜷川 実花 ユリイカ 612

世界でトップをとる  
3.11で社会変化 芸  
術家も動くとき 池田洋一郎 朝 日 1.17  
だえ苦しむ作る[村  
上隆]

村上隆 鎮魂画が開  
く地平 ドーハ  
「Ego」展 批評家榎  
木野衣が見る 榎木 野衣 朝日夕刊 4.11

おたく文化、現代の  
浮世絵 厄災下の芸  
術「方便」で真実伝え  
る 現代美術家 村  
上隆さん 白木 緑  
聞き手 日経夕刊 6.6

斉藤環の東北 5月 ドーナにて被災地を 祈る[村上隆]	斉藤 環	毎日夕刊	5.17	
災後の風景 4 美術 画一化の中 少数派 の視点 説得力のある 態度[村上隆]	高野 清見	読 売	3.8	
震災の衝撃 直球で 大作に ドーナで個 展 村上隆さん	前田 恭二	"	6.7	
pop style vol. 300 北野武 鑑賞者試す 仕掛け	村上 隆	読売夕刊	5.23	
復興に創造的プラス α 美術家・村上タ カシさんの実践	三沢 典丈	東京夕刊	4.4	
十代、こんな本に出 会った 村上もとか さん 漫画家『チ ップス先生』と梶井 基次郎 「いつか漫 画で」憧れた世界観	安里麻理子 ライター	朝 日	9.30	
秋の読書特集 マン ガ 時代も国も超え 江戸文化と庶民の文 化 「JIN-仁-」村 上もとかさん	鈴木 繁 構成	"	10.27	
わたし一人の美術時 評 第28回 高度経 済成長世代のノスタ ルジー[村上裕二]	藤田 一人	芸術新潮	756	
After 3.11	村越としや	産 経		
24 福島県須賀川 市 変わってしまった 故郷で			4.18	
30 福島県須賀川 市 「普通」が怖く なる			7.11	
35 福島県須賀川 市 いつかは消え てゆくことを			9.26	
40 福島県飯舘村 人の気配のない山 で			11.28	
SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る！ 村瀬恭子	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	973	
村田省蔵 2008-2010 年 作品の解説	村田 省蔵	金沢学院 大学紀要*	10	
グラデーションフィ ールド	村田 直哉	名古屋造 形大学紀 要	18	
特集 耽美な世界へ ようこそ 現代のフ ァム・ファタル[魔 性の女] 村田英子	村田 英子	美術の窓	342	
貼り抜き一貫による 素地造りの可能性	村谷 総志	金沢学院 大学紀要*	10	

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル！日本近  
代美術の傑作150  
022 村山槐多 尿す  
る裸僧

蔵屋 美香 美術手帖 967

特集 デッサン力を  
磨く 秘技法講座  
VOL. 25 人気作家8  
名の制作プロセス公  
開 村山槐多のデッ  
サン 「大正」という  
時代そのものの鮮烈  
な体臭を伝えるのは  
生の証

窪島誠一郎 美術の窓 340

槐多の作風決めた大  
作 「日曜の遊び」真  
の作者確定

窪田 直子 日経夕刊 1.16

「日曜の遊び」やはり  
槐多作 岡崎市での  
回顧展 定説覆す

岸 桂子 毎日夕刊 1.26

特集 秋の制作シー  
ズンに贈る18作家の  
水墨世界 村山峯鳳  
焼香

村山 峯鳳 水墨画\* 282

村山知義の内田昇三  
宛書簡

石井 幸彦 世田谷美  
術館紀要 13

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル！日本近  
代美術の傑作150  
033 村山知義 美し  
き少女等に捧ぐ

水沢 勉 美術手帖 967

「すべての僕が沸騰  
するー村山知義の宇  
宙」展開連イベント  
「やなぎみわ演劇プ  
ロジェクト 1924 人  
間機械」東京公演こ  
ぼれ話

石井 幸彦 美連協ニ  
ュース 116

村山知義の生の哲学

滝沢 恭司 視 る 459

村山知義の童画をめ  
ぐる断片的考察

牧野 裕二 " "

村山知義の変節に何  
をみるかーやなぎみ  
わ演劇プロジェクト  
『1924 人間機械』

正木 喜克 " 460

文化往来 再評価さ  
れる村山知義の多彩  
な活動

日 経 8.14

特集 拡大・縮小美  
術館 絵画編 村山  
春菜 温かい街に根  
付く生活

美術の窓 350

川ガキ 村山嘉昭著

日 経 8.5

本よみうり堂 村山  
嘉昭著 「川ガキ」

(佑) 読 売 9.23

## INFORMATION

NEWS ツリーに込めた希望の光 2人のアーティストのコラボレーションツリーが登場! 「The Light of Happiness—ハビネスの光を灯そう」チャリティプログラム[村山留里子]

中山 真理 美術手帖 962

あすから「第31回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」 平面作品部門 秀作賞 室井公美子氏「ドクサ」 見る人によって変わる抽象画

室井公美子 産 経 3.2

コミック 秋津1 室井大資(作) 捨て身の表現 奇妙な迫力に

ササキバラ・ゴウ 朝 日 11.18

追悼・室井東志生氏 室井東志生さんの思い出

中路 融人 新美術新聞 1297

日々好日 祐天桜

室瀬 和美 〃 1276

制約越えた漆 素材感を堪能「アール・デコ 光のエレガンス」展

〃 東京 7.2

第五十九回日本伝統工芸展受賞者に聞く

室伏古川 英治、拓郎、満明、徹、賢治、昌宏、孝一  
浜岡 榎本 陶 説 717  
金子 唐澤  
森司会

特集 未来のスターを探せ! 新人大図鑑2012 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト10 室町克代

中村 隆夫 美術の窓 344

## (モ)

SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 102 毛利武士郎 シーラカン

榎田 倫広 美術手帖 967

彫刻家の現場から 88 最上壽之

武田 厚 美術の窓 348

Go! Artists Go! 49 杵谷圭章

編集 部 美術手帖 965

彫刻家の現場から 90 望月菊磨

武田 厚 美術の窓 350

所蔵品から 元田久治《Kabukicho 2》

武居 利文 府中市美術館だより 36

## SPECIAL FEATURE

頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 111 元永定正 作品1

出原 均 美術手帖 967

人生の贈りもの 写真 見林もとみ  
真家・映画監督 橋成一 1~4 聞き手 朝日夕刊 3.19、21~23

第25回奨学者のレポート 絵画をめぐって 絵画・画布・フレーム

本村 誠 アクリラート(別冊) 2012

作品「roots #1」「roots #2」

森 香織 秋田公立美術工芸短期大学紀要 16

タカマチ商人の「顔」『最後の天幕』より一写真: 森浩二

門伝 仁志 見世物 5

SPECIAL FEATURE 超絶技巧!! ARTIST FILE まだまだいる! 注目超絶技巧作家たち06 森淳一 精緻を極めた造形で、個を超える地平をひらく

敷前 知子 美術手帖 974

特集 拡大・縮小美術館 立体編 森淳一 水流を木彫で彫り抜く

美術の窓 350

大漁旗、人の思いも大量「談れない」に粘り強く交渉、20年かけ200枚を収集

森 庄平 日 経 2.7

美術学部教員展図録 デザイン

森 真弓 愛知県立芸術大学紀要 41

INFORMATION 森万里子《ブライマルリズム》6 大陸を結ぶ、森万里子の壮大なプロジェクト

編集 部 美術手帖 964

異才列伝 森康二 穏やかで上品「アニメの神様」

福田 淳 読 売 2.5

戦後の巨匠17[森芳雄]

林 紀一郎 美術屋・百兵衛 21

中特集 心の風景 森相貫

高山 淳 美術の窓 349

SPECIAL FEATURE 奈良美智 MESSAGE 1 奈良美智の魅力 恩師・友人が語る! 森北伸

岡澤浩太郎 構成 美術手帖 973

特集 耽美な世界へようこそ 和風耽美 森口裕二

森口 裕二 美術の窓 342

顔 ホスピタルアートの普及を目指す美術家 森口ゆたかさ

高梨ゆき子 読 売 10.6



## 平成24年定期刊行物所載文献(近/作モ)

本よみうり堂 コミック館「となりの関くん」森重拓真さん 日常のシュールな笑い	佐藤 憲一	読売夕刊	8.27	真珠の耳飾りの少女と私 森村泰昌さん 美術家	朝日夕刊	7.10
森田慶一の「エウパリス」との邂逅	田路 貴浩	日本建築学会計画系論文集	680	美術家森村泰昌が見た映画	日 経	
わたしの宝もの83 入学	森野 彰人	新美術新聞	1279	「果てなき路」		1.12
座談会 現代陶芸の在り方を問う	乾 鈴木、由明、 中島 藏、 森野 宏、 森司 泰明、 会 孝一	陶 説	710	「ピラミッド 5000年の嘘」		2.9
第24回「京都美術文化賞」受賞者のことば	森村 泰昌	美術京都	43	「ピナ・バウシュ 夢の教室」		3.8
森村泰昌的 非比較文化論	〃	美術屋・百兵衛	21	「少年と自転車」		4.12
視線	〃	朝 日		「ル・アーヴルの靴みがき」		5.17
花森安治のデザイン 暮らしの手帖 社編			1.22	「ミッドナイト・イン・パリ」		6.14
深読み! 日本写真の超人作100 飯沢耕太郎著			3.4	「オロ」		7.5
これ、わたし さわだともこ著			4.8	「ジョルダニー家の人々」		8.9
俵屋相伝 受け継がれしもの 佐藤年著			5.13	「最強のふたり」		9.13
ドングリトブスとマックロサウルス コラージュとフロッタージュのおはなし 中川淳著			6.17	「ル・コルビュジエの家」		10.11
大阪新名所 新世界・通天閣写真帖 復刻版 橋爪紳也 監修・解説			7.22	「危険なメソッド」		11.8
ON THE CIRCLE 普後均著			9.2	「僕の中のオトコの娘[こ]」		12.13
本人伝説 南伸坊 著			10.7	3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の念映像に 失った風景「再生」[森村泰昌]	小川 敦生、 富田 律之	〃 3.10
LABYRINTH 森山大道著			11.11	災後の風景 4 美術画一化の中 少数派の視点 説得力のある態度[森村泰昌]	高野 清見	読 売 3.8
BOOKS ON JAPAN 1931-1972 日本の対外宣伝グラフィ誌 森岡督行著			12.16	画壇で活躍した工芸官(ミニ展『おれの美の背景—森本コレクションから—』から)[森本茂雄]	松村記代子	おれと切手の博物館ニュース 31
文化の扉 はじめての肖像画 別人説あっても教育の場で定着 人生の虚実も描き出す	〃	〃	8.13	特集 アートの力を考える! PART 3 森本紫雪 温もり	高山 淳	美術の窓 348
				ぎやらりいモール ホキ美術館「存在の美—まなざし・微笑み・愛い」から 「未来」 森本草介	保木 将夫	読売夕刊 2.28
				森山大道『写真よさうなら』における表象批判について—暗室作業を手がかりに—	松浦 葵	美学芸術学 27
				二〇一〇年度同志社大学大学院修士論文梗概 森山大道の写真における暗室作業の意義—「日付と場所」から「光と影」へ—	〃	〃 〃

視線 LABYRINTH 森山大道著	森村 泰昌	朝 日	11.11	特集 めくもりの表 現 触れたくなる絵 画 ④技法講座 VOL. 26 CASE 2 安田育代 現代の聖 母子像	安田 育代	美術の窓	345
questions 8 森山大 道		日 経	10.11	作品ひとつ[保田春 彦]	田中 龍也	群馬の森 美術館ニ ユース	150
日本の現代美術 海 外展から 下 東西 写真家の対話に焦点 「ウィリアム・クラ イン+森山大道」展	大竹 昭子	日経夕刊	12.28	評論の眼 玉川大学 芸術学部卒展「保田 万理加編集インタビ ュー本」卒業女子 が放つ勇気ある紙爆 弾	ワシオ・ト シヒコ	ギャラリ ー*	323
森山大道さん 高ま る国際評価 「スナ ック色」の現実進行 形	前田 恭二	読 売	5.31	館蔵品紹介 安田鞞 彦「風神雷神図」		遠山記念 館だより	43
「荒れ・ブレ・量け [ぼけ]」の劇薬化 60年代日本 森山大 道のモダニズム写真	清水 穰	〃	11.8	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 079 安田鞞彦 孫子 勒姫兵	川口 直宜	美術手帖	967
視点 ストアフロン ト、そして「森山太 郎 イメージの縁— ここにあり、ここで はないどこか」	山内 舞子	美術の窓	346	第六十五回全国大会 研究発表要旨 安田 老山の生涯と芸術	村田 隆志	美術史	173
不二子が主役!?「ル パン三世」27年ぶり 新シリーズ[モンキ ーパンチ]		産 経	4.3	特集 アートの力を 考える! PART 3 安富信也 信仰と救 済	磯部 靖	美術の窓	348
(ヤ)				コミック 赤パン先 生! 1・2 安永知 澄(作) 何げない日 常繊細に美しく	安永 知澄	朝 日	12.16
特集2「現代の座標 —工芸をめぐる11の 思考—」について 選路	八木 明	現代の眼	596	特集 武富健治 『鈴木先生』が教える マンガの豊饒 対談 鬱屈を引き受けるひと パッションとしての憂い顔	武富 健治 安彦 良和	ユリイカ	606
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 103 八木一夫 ザム ザ氏の散歩	富田 康子	美術手帖	967	コミック 天の血脈 1 安彦良和(作) スケールの大きな歴 史の渦に	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	9.9
2012年日本建築学会 作品選奨 小布施町 立図書館 まちとし ょテラス[八木佐千 子]		建築雑誌	1635	川を越えて、出会っ た「青デ」の同土た ちについて思い出す こと	矢田 卓	あいだ	196
特集展示 描かれた ダリア [安井曾太 郎]	保坂健二郎	現代の眼	592	作品 「銀蛇の余雪」	矢田目真希 子	秋田公立 美術工芸 短期大学 紀要	16
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 075 安井曾太郎 承 徳の喇嘛廟	山梨 俊夫	美術手帖	967	作家通信 フランス ・ナンシー 巡回展 の旅	谷頭 紅苑	水墨画*	282
謎解きは設計図と共 に ミステリー小説 の舞台、建物の形を 推測し図に	安井 俊夫	日 経	6.21	工業デザイナー・柳 宗理さんを悼む 柔 らか日本的モダニズ ム	柏木 博	朝 日	1.4
特別寄稿 安井仲治 研究 これからのた めに	光田 由里	ART RAMBLE	34	追悼 工業デザイナー — 柳宗理さん 手 で作り込む「人間の かたち」	深澤 直人	産 経	2.1

追想録 柳宗理さん (デザイナー) 体で 感じ、作品生み出す		日経夕刊	2.10							PROJECT 新時代を 切り拓く「ULTRA AWARD 2012」[ヤノ ベケンジ]	神田真巳子	瓜生通信	57
現代の名工 都内17 人 緻密な仏画世界 的に評価 腐しょく 彫刻工 柳富治さん		読 売	11.8							INFORMATION EVENT 茨木市にヤ ノベ作品《サン・チ ヤイルド》出現[ヤノ ベケンジ]	小吹 隆文	美術手帖	966
ようこそ、新しい先 生 02 やなぎみわ	やなぎみわ	瓜生通信	55							WORLD NEWS キエ フ 東欧最大の公立 美術館の設立を目指 すウクライナ発、ピ エンナーレが開幕! [ヤノベケンジ]	かないみき	〃	971
「すべての僕が沸騰 する—村山知義の宇 宙」展開連イベント 「やなぎみわ演劇プ ロジェクト 1924 人 間機械」東京公演こ ぼれ話	石井 幸彦	美連協ニ ュース	116							巨大子ども像で福島 を元気に ヤノベケ ンジさん計画	増田 愛子	朝日夕刊	6.20
1924/二〇〇一 同 期と暗号[やなぎみ わ]	尾崎信一郎	視 る	455							放射能汚染ない未来 子どもらに 高さ6.2 メートルの現代ア ート 来月1日まで江 東 第五福竜丸展示 館前に[ヤノベケン ジ]	小林 由比 東 京		6.23
村山知義の変節に何 をみるか—やなぎみ わ演劇プロジェクト 『1924 人間機械』	正木 喜克	〃	460							3・11後の表現 5 美術 歴史の記憶 作品に刻む 自省の 念映像に 失った風 景「再生」[ヤノベケ ンジ]	小川 敦生 日 経		3.10
文化往来 やなぎみ わや維新派、大阪で 「駅の劇場」		日 経	10.26							災後の風景 4 美術 画一化の中 少数派 の視点 説得力のある 態度[ヤノベケン ジ]	高野 清見	読 売	3.8
やなぎみわさんの演 劇「人間機械」来月上 演 東京・世田谷美 術館	岸 桂子	毎日夕刊	7.24							日々好日 一本松	簀内佐斗司	新美術新 聞	1268
世界をつづる劇場 美術作家やなぎみわ の「1924」3部作が完 結 関東大震災後の 前衛芸術家たちを見 詰め 美術館の展示 と照射し合う舞台	高橋 豊	〃	8.28							東大寺蔵伎楽面「酔 胡王」模刻研究報告	簀内佐斗司 仲 裕次郎 藤曲 隆哉 高林 弘実 松島 朝秀	東京芸術 大学美術 学部紀要	50
ブックマーク やっ かいな朗読	やなぎみわ	〃	12.18							日本木彫史概説	簀内佐斗司	東京芸大 保存修復 彫刻年報*	2011年度
淡々と素材そのまま の凄み 貧困旅行記 つげ義春	柳沢きみお	朝 日	4.8							セザンヌ展を見て	藪野 健	新美術新 聞	1280
2012年日本建築学会 作品選奨 えんぱー く(塩尻市市民交流 センター)[柳澤潤]		建築雑誌	1635							茶話マンガ 優しい 空気の読みあい[山 内泰延]	伊藤 剛	朝日夕刊	3.24
お茶は、流れるよう に 萩に「茶室」を作 ってみて...	柳原 睦夫 沢田眉香子 聞き手	陶 説	706							After 3.11	山内 悠	産 経	
この1点 柳原義達 《バルザックのモデル たりし男》	T.S.	Corridart	10							21 岩手県陸前高 田市 真つ白な静 寂の中で			3.7
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 128 柳原義達 風の 中の鴉	高橋 幸次	美術手帖	967							27 福島県南相馬 市 闇と向き合え ば			5.30
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 032 柳瀬正夢 底の 報復	足立 元	〃	〃							33 福島県楢葉町 呼吸と相反してい た「豊かさ」			8.22

[illegible]

視線 山下清の放浪  
地図 昭和の日本を  
ぶらりぶらり 山下  
浩監修 大西 若人 朝 日 5.20

ざらりいモール  
泉屋博古館分館「近  
代日本洋画の魅惑の  
女性像」から「読書  
の後」 山下新太郎 川口 直宜 読売夕刊 9.4

特集 BL[ボーイズ  
ラブ]オン・ザ・ラン!  
インタビュー  
恋愛を超える絆を求  
めて ヤマシタト  
モコ 横井 周子  
聞き手 ユリイカ 620

2012年日本建築学会  
作品選奨 長崎市子  
育ての駅「てくてく」  
+千秋が原南公園+  
信濃川桜づつみ遊歩  
道[山下秀之] 建築雑誌 1635

静岡ハリストス正教  
会 麗しのイコノス  
タス 最後の年の瀬  
[山下りん] 芸術新潮 745

信仰見守る日本のイ  
コン 震災・戦災越  
え 千葉の田園に[山  
下りん] 日 経 11.3

特集 未来のスター  
を探せ! 新人大図  
鑑2012 評論家・ジ  
ャーナリストが選ぶ  
注目の新人アーティ  
スト10 山城知佳子 小勝 禮子 美術の窓 344

特別展示『生きる形』  
『いのち』と『形』の物  
語 山田 昭順 Ouroboros 44

第278回水曜講演会  
三代山田常山、その  
作陶と人生—四代山  
田常山先生に聞く— 山田 常山 出光美術  
館館報 159

三代山田常山の急須  
制作における古典研  
究 柏木 麻里 出光美術  
館研究紀 17

常山さんの思い出 津村 節子 陶 説 706

名人ではなくて職人  
じゃ—三代常山さん  
を偲んで 村上 信夫 " "

山田常山さんのこと 弓場 紀知 " "

出光美術館「三代山  
田常山—人間国宝、  
その陶芸と心」展に  
寄せて 柏木 麻里 " "

作家通信 元気のヒ  
ミツ 元気のヒミツ  
? そんなのないよ 山田 大作 水墨画\* 275

水墨画入門講座 墨  
色の妙味を知ろう!  
1~8 " " 277~281、  
283~285

カンボジア初の全国  
的美術コンクール開  
く 山田隆量さん 黒谷 正人 東 京 2.2

特集 アートの力を  
考える! PART 2  
きずな—再生美術の  
力 山田展也 危機  
の中の詩情 高山 淳 美術の窓 348

横浜美術大学の校地  
と構内動線の変遷  
わかりやすいキャン  
パス内サインデザイ  
ンのための既存建築  
計画分析 山田 弘知 横浜美術  
大学 教育・研究  
紀要 2

お手本画&秀作集  
其ノ十八 山田博子 山田 博子 水墨画\* 285

特集 2 山田正亮 ART  
TRACE PRESS 2

山田光枝さん(山  
田正亮夫人)イン  
タビュー 神山 亮子  
聞き手  
杉田美奈子、  
松浦 寿夫  
出演者

山田正亮自筆文献  
抄 神山 亮子

山田正亮を括弧で  
くくってみません  
か 峯村 敏明

大地を紡ぎ、空気  
と光を織る 早見 堯

絵画の体系、ある  
いはアナクロニス  
ムについて 松浦 寿夫

山田貢の友禅小下図  
・原寸大図を読み解  
く 村山 由美 世田谷美  
術館紀要 13

視線 沖縄写真家シ  
リーズ 琉球烈像  
第1巻 山田實写真  
集 故郷は戦場だっ  
た 山田實著 大西 若人 朝 日 10.14

水墨画家・山田三耀 美術屋・  
百兵衛 23

クリエイターズワー  
ク&ソウル 山田良 A X I S 155

山中さとる 世田谷  
区立桜小学校 作品  
寄贈 ワシオ・ト  
シヒコ 美術の窓 350

お手本画&秀作集  
其ノ十 山根峰雲 山根 峰雲 水墨画\* 275

特集 拡大・縮小美  
術館 立体編 山野  
千里 皆が寄り添っ  
て暮らす小さな世界 美術の窓 350

インスピレーション  
グラフィック 禁止  
から推奨へ—Donny  
Grafiksによる愛犬マ  
ナーのサイン案[山  
本和久]

深沢 慶太 A X I S 155

新収蔵品紹介 山本  
鼎《デッキーの隅》

林田 龍太 V i e w 141

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
115 山本丘人 夕焼  
け山水

野地耕一郎 美術手帖 967

実況レポート不定期  
連載 内田樹 実践  
的すまいづくり論6  
能舞台をつくる[山  
本浩二]

内田 樹 芸術新潮 745

炭鉱の記録画家・山  
本作兵衛の絵が生れ  
る場所を探して

牧野伊三夫 " "

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル! 日本近  
代美術の傑作150  
127 山本作兵衛 明  
治筑豊 セナ

正木 基 美術手帖 967

作兵衛絵巻 突然の  
「記憶遺産」 上、中、  
下

朝日夕刊 1.10~12

記憶遺産の街に住ん  
でみる2 福岡県田  
川市 息子の戦死  
山本作兵衛の原点  
炭坑画描き寂しさの  
ぐ

須貝 道雄 日経夕刊 1.14

SPECIAL FEATURE  
超絶技巧!! ARTIST  
FILE まだまだいる  
! 注目超絶技巧作家  
たち05 山本タカト  
神秘主義的細密描写  
の解剖学

川合 健一 美術手帖 974

特集 耽美な世界へ  
ようこそ 和風耽美  
山本タカト

山本タカト 美術の窓 342

原爆の火守り平和祈  
る 広島から福岡に  
持ち帰った父の遺志  
を継ぐ

山本 拓道 日 経 8.1

窓を閉ざして窓が開  
いた

山本 貞 新美術新  
聞 1280

特集 制作の現場か  
ら…「自作を語る」・  
II 自作を語る

山本 哲生 自由美術 2012

読解絵画鑑賞講座19  
[山本東陽]

ワシオ・ト  
シヒコ 美術屋・  
百兵衛 23

所蔵品から 山本日  
子士良《青年像》

武居 利文 府中市美  
術館だより 34

見ること、描くこと  
の諸相 山本大貴と  
柏本龍太

芸術新潮 755

『なぞる』と云う「作  
品」に就いての考察

山本 浩生 多摩美術  
大学研究  
紀要 26

コミック Sunny  
Sunny Ann! 山本  
美希(作) 体形はド  
ー 腋毛ボーボー

南 信長 朝 日 8.12

素材の塩 閉幕後は  
海へ 山本基個展「し  
ろきもりへ」鑑賞者  
が持ち帰り

井上 晋治 読 売 3.1

ぎやらいモール  
彫刻の森美術館「山  
本基 しろきもりへ」  
から「常世の杜」  
山本基

黒河内卓郎 読売夕刊 2.21

第24回「京都美術文  
化賞」受賞者のこと  
ば

山本 容子 美術京都 43

美しいものを作るた  
めに、まず自分が強  
くなるということ

山本 耀司、  
佐野 めい、 女子美 172  
談

フォーカス 画家デ  
ビュー、美人画19点  
を東京・青山店に展  
示 山本耀司氏 幼  
いころの夢「体力が  
あるうちに」

小林 明 日経夕刊 6.25

時代の証言者 モー  
ドに挑む 山本耀司  
1~20

宮智 泉 読 売 6.12~14、  
16、18~  
21、23、25  
~28、30、  
7.2~5、7、  
10

受賞学生インタビュ  
ー第8回 第15回文  
化庁メディア芸術祭  
「アート部門」大賞受  
賞

山本 良浩 芸大通信 25

地域社会取り戻す復  
興を 建築家・山本  
理顕さんに聞く

高野 清見 読 売 4.5

「みんなの家」被災地  
に続々 復興語り合  
う憩いの場 建築家  
の思い広がる[山本  
理顕]

" " 12.20

2012年日本建築学会  
作品選奨 長楽寺納  
骨堂[山本良介]

建築雑誌 1635

# (ユ)

街角アート 焼きも  
のの街のユーモア陶  
彫[結城美栄子]

星野 清一 新美術新  
聞 1292

この人 放射能物質  
の汚染描いた「あか  
いつぶつぶの絵」作  
者 柚木ミサトさん  
より幸せな世界 作  
品契機に考えてくれ  
たら

谷口 大河 東 京 7.24

コミック 瞬きのソ  
ーニャ1 弓月光(作)  
氣迫伝わる骨太な逃  
走活劇

ササキバラ  
・ゴウ 朝 日 2.5

彫刻家の現場から  
80 湯村光

武田 厚 美術の窓 340

SPECIAL FEATURE  
女子アート☆文化祭  
01 夢眠ねむ

石井 芳征 美術手帖 975

## (ヨ)

資料紹介 楊洲周延  
「東錦昼夜鏡」

日野原健司 浮世絵研  
究 2

歴戦の浮世絵師 楊  
洲周延の合戦図

芸術新潮 755

今月の一冊 国立国  
会図書館の蔵書から  
世界第一チャリ子  
[ネ]大曲馬廻り寿語  
六[すごろく] 蘆原  
英了コレクションの  
サーカス関係資料か  
ら[楊洲周延]

邊見由起子 国立国会  
図書館月  
報 618

月岡芳年 幕末・明  
治を生きた奇才浮世  
絵師 芳年・血みど  
ろ絵に見る「救い」

横尾 忠則 太陽(別冊) 196

夢遊する読書12~17

ユリイカ 606~608、  
610、611、  
616

特集 横尾忠則 ミ  
シンとコウモリ傘

618

遅れてきた邂逅  
シンクロシティ  
の幸福と驚異につ  
いて

横尾 忠則  
山田 洋次

世界をコラージュ  
する横尾忠則

辻 惟雄

オペラティックス  
横尾忠則の「美し  
き手法」

高山 宏

宇宙・兵庫・西脇  
「へそ」の力と黄色  
魔術絵画

樋口ヒロユ  
キ

彼の愛した宝塚

川崎 賢子

特集 横尾忠則 ア  
ンファンテリブルの  
みる夢

618

天地縦横無辺のフ  
ィギュール

横尾 忠則  
大山エンリ  
コイサム  
聞き手

感性のベル・エポ  
ック

美輪 明宏

人の夢を食べるバ  
ク

永山 祐子

黒い武士、赤い頬

和合 亮一

特集 横尾忠則  
Operation ARTs

〃 〃

金で買える夢 覚  
書 丹生谷貴志

コラージュを切り  
開く 横尾忠則の  
《Operation》と解  
剖学 河本 真理

Y字路の経験 石岡 良治

データベースと死  
の絵画の意味 黒瀬 陽平

絵の意味を問うの  
はなにのためか 中田健太郎

特集 横尾忠則  
Discours, figure

〃 〃

「記載の場所」を巡  
って アーカイヴ  
と横尾忠則(印刷  
された問題) 上崎 千

昭和元禄のデッド  
ボール『新宿泥  
棒日記』の横尾忠  
則 成相 肇

YOKOO avec  
KUSAMA 松本 卓也

東野芳明と横尾忠  
則の一九六〇年代  
ポップ・アートの  
ディスクール 松井 茂

特集 横尾忠則 外  
延、あるいは描く、  
書くことの漏出

〃 〃

横尾忠則のエクリ  
チュール 加治屋健司

冥界とユートピア  
横尾忠則の小説作  
品をめぐって 石橋 正孝

冥界と身体、冥界  
の身体『ゼーガ  
ペイン』と横尾忠  
則 古谷 利裕

特集 横尾忠則  
endless waltz with Y  
+T 横尾忠則主要  
作品解題

〃 〃

朝日賞のみなさん  
美術家横尾忠則さん  
時代を映す「自画像」

大西 若人 朝 日 1.1

読書 横尾 忠則 〃

乱歩彷徨 なぜ読  
み継がれるのか  
紀田順一郎(著)  
創造と人生の闇  
謎鮮やかに 1.15

フクロウ その歴史・文化・生態 デズモンド・モリス(著) 知恵か邪悪か 魔術的象徴として	2. 5	高倉健インタビュー 野地秩嘉 (文・構成) 演技の核の「気」解明に挑戦			9. 30
芸術家の家 作品の生まれる場所 G. ルメール(文)J. アミエル(写真) 謎と秘密をバラしてほしい	2. 26	この一年に出会った本 書評委員お薦め「今年の3点」			12. 23
昭和の怪談実話 ヴィンテージ・コレクション 東雅夫(編) 幽霊、化け物…あゝ「怪」だらけ	3. 18	4賞 受賞者スピーチ 独自の世界切り開く 朝日賞 絵も人間と同じ未完でいい	〃	〃	1. 28
長寿と性格 なぜ、あの人は長生きなのか H. S. フリードマン、L. R. マーティン(著) ジョギングよりも勤勉性	3. 25	横尾忠則さんの個性、凝縮 美術館、神戸に11月開館	森本 俊司	〃	8. 8
黒澤明の遺言[いげん] 都築政昭(著) シンプルで一貫した創造哲学	4. 15	自作再見 横尾忠則「よだれ」少年時代の回想創造の源泉	大西 若人 聞き手	朝日夕刊	4. 18
魂にふれる 大震災と、生きている死者 若松英輔(著) 「生ける死者」と共生するとは?	4. 29	横尾忠則ワールド、故郷に島に 神戸と香川・豊島		〃	9. 26
仕事をつくる 私の履歴書 安藤忠雄(著) そのエネルギーの源泉は何?	5. 6	2011年度朝日賞 美術家 横尾忠則		産 経	1. 12
アートを生きる 南條史生(著) 熱い現代美術愛34年の回想	6. 3	コンパス 横尾さんの熱意[横尾忠則]	(岩)	東京夕刊	8. 18
レディー・ガガ メッセージ ブランドン・ハースト(著) 生肉ドレスも謎も 全部アート	6. 10	装丁に創る劇場的空間 横尾忠則 初のブックデザイン展	横尾 忠則 談 岩岡 構成 千景	〃	11. 19
続々アトリエ日記 野見山暁治(著) 「老人じゃない」90歳の自由	7. 8	横尾忠則 コラージュ 1972—2012 横尾忠則著		日 経	9. 16
魂の詩人パゾリーノ ニコ・ナルディーニ(著) 左翼で異端背徳的想像力の源	7. 29	交遊抄 開いている人[横尾忠則]	永山 祐子	〃	11. 24
寅さんとイエス 米田彰男(著) 実は意外と似ています	9. 2	横尾忠則 ラッピング電車 故郷を走る 横尾忠則ほか著		〃	12. 16
		特輯 岡倉天心生誕百五十年記念 横山大観 生々流転	藤本 陽子 国 華		1400
		横山大観筆「或る日の太平洋」研究	足立 千尋	哲学会誌	36
		天心一大観・春草における西洋近代美術史観(下)	天野 一夫	豊田市美術館紀要	5
		SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 016 横山大観 柳蔭図屏風	古田 亮	美術手帖	967
		ミュージアム・コレクション 大観の滞欧中制作	池田 博子 本 郷		100



明治・大正における パンカラ旅行の系譜 一大観・観山・紫紅 ・未醒の東海道五十 三次旅行(大正4年) の背景として	佐藤 志乃	横山大観 記念館報	28	インスピレーション インテリア オルセ ー美術館の絵画と響 き合う光のペンチ 吉岡徳仁の「ウオー ター・ブロック」	川上典李子	A X I S	155
横山大観記念館蔵 「依頼画控」一昭和10 年から14年まで一	池田 博子	〃	〃	from the World 衣食 住を包括的に扱うメ ゾン&オブジェの提 案[吉岡徳仁]	編集部 上條 昌宏	〃	156
美の履歴書273 サリ ーに隠されたもの 「流燈」横山大観	増田 愛子	朝日夕刊	9.26	日々好日 40年間の 夏	吉岡 正人	新美術新 聞	1297
「大観の富士」は真作 警視庁所蔵 孫の記 念館長断定		東 京	10.30	ようこそ、新しい先 生 04 ヨシカワゴ エモン	ヨシカワゴ エモン	瓜生通信	55
時代の証言者 人間 を写す 田沼武能12 荷風の私生活 凝縮 の1枚[横山大観]	池田 正一	読 売	7.26	第43回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 憧れの想い	吉川友里子	日展ニュ ース	144
ざらりいモール 講談社野間記念館 「横山大観と再興院 展の仲間たち展」か ら「大正大震災大 火災」横山大観	豊田 和平	読売夕刊	11.20	レビュー「娘たちの 居るところ 吉田秋 生「海街diary」」	永瀬 恭一	ART TRACE PRESS	2
古写真に見る春日大 社の風景(3) 東京 国立博物館所蔵壬申 検査関係写真にみる 明治五年の春日大社 1 建物[横山松三 郎]		春 日	87	みんなのマンガ学 吉祥天女 優しさと 冷徹さ 奇跡の女性 像[吉田秋生]	猪俣 紀子	朝日夕刊	3.15
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 105 横山操 溶鉦炉	野地耕一郎	美術手帖	967	21世紀のアーティスト 吉田夏奈		ギャラリ ー*	324
SPECIAL FEATURE 荒木飛呂彦 人間賛 歌一謎めく美しき世 界 MESSAGE アー ティストが語るジョ ジョ04 横山裕一	横山 裕一	〃	975	所蔵品紹介222「波」 吉田三郎		石川県立 美術館だ より	340
《連載》戦時下日本の 美術家たち 第50〜 53回 「吉井忠日記」 注解 1〜4	飯野 正仁	あいだ	191〜193、 195	「我を忘れて書を」 吉田菁風さんにサン スター国際賞	桐山 正寿	毎日夕刊	1.25
美・コレクション 苦境から開いた可能 性 吉井忠「麦の穂 を持つ女」	岸 桂子	毎 日	9.12	リレーおびにおん 漫画家吉田戦車さん 散歩中だってネタ探 し	太田 啓之 聞き手	朝 日	2.8
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 083 吉岡堅二 馬	野地耕一郎	美術手帖	967	おやじのせなか 初 めは激怒いまは応援 吉田戦車さん	岡 雄一郎 聞き手	〃	5.10
季を思い 季を染め る 彩りと暮らす 吉岡幸雄	吉岡 幸雄	東京夕刊	5.16	作品と場あるいは空 間との関係4 場が 作品に影響し作品が 場を刺激する。 作 品を設置すること により空間に異なる気 配を創る。	吉田 晃良	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	8
				吉田初三郎・金子常 光の鳥瞰図等につい て一平成23年度購入 資料の紹介一	佐藤 良宣	青森県立 郷土館研 究紀要	36
				資料紹介 吉田初三 郎《長野県之温泉と 名勝》	林 誠	長野県立 歴史館研 究紀要	18
				画家吉田博が写した 戦争 油彩、水彩画 など 埼玉で戦後初 公開	佐々木泰造	毎日夕刊	9.24

特集1 吉川霊華展 近代にうまれた線の 探求者 吉川霊華と 吉田包春	松尾 良樹	現代の眼	594	コミック リーチマ ン1 米田達郎(作) 家事能力抜群の主夫 の日常	南 信長 朝 日	10.21
追悼特集 織田廣喜 氏を偲ぶ 絵筆が一 本	吉野 毅	新美術新 聞	1285	WORLD NEWS キエ フ 東欧最大の公立 美術館の設立を目指 すウクライナ発、ピ エンナーレが開幕! [米田知子]	かないみき	美術手帖 971
生老病死の旅路 吉 野辰海さん 青空の 下 当たり前に表現	井上 晋治 聞き手	読売夕刊	3.12	特輯 岡倉天心生誕 百五十年記念 米原 雲海 清宵	田中 修二 国 華	1400
特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ I 私の戦争体験(満 州開拓団)	吉野 誠	自由美術	2012	特集 アートの力を 考える! PART 2 きずな—再生美術の 力 米山郁生 津波 と対むかう	高山 淳	美術の窓 348
SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 120 吉原治良 黒地 に赤い円	出原 均	美術手帖	967	特集 めくもりの表 現 触れたい絵 画 技法講座 VOL. 26 CASE 5 蓬田阿哉 夢の中の ような情景	蓬田 阿哉 //	345
吉原英雄再考 「吉 原英雄—画家のドラ マ」を契機に	奥村 泰彦	和歌山県 立近代美 術館ニュ ース	69	新人賞展 依田元明 氏の世界	深澤 義人 自由美術	2012
水の記憶 吉原悠博 映像プロジェクト 吉原悠博氏インタビ ュー	藤田 裕彦 聞き手	雪椿通信	38	特集 制作の現場か ら…「自作を語る」・ II 「自作を語る」	依田 元明 //	//
お手本画&秀作集 其ノ十 吉見公子 《薄雪化粧》	吉見 公子	水墨画*	275	日々好日 萬鉄五郎 の自画像	佐藤 一郎 新美術新 聞	1294
特集 拡大・縮小美 術館 立体編 吉見 普光 手のひらサイ ズの物語		美術の窓	350	日韓共同シンポジウ ム特輯 創作と評価 —萬鉄五郎《風船を 持つ女》を中心に—	田中 淳 美術研究	405
編集長対談 吉村誠 司 空間のクオリテ ィ	吉村 誠司、 一井 健司 対談	//	341	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近 代美術の傑作150 015 萬鉄五郎 無題	蔵屋 美香 美術手帖	967
調査報告 日本にお けるサウンド・アー トの展開—『Sound Garden』展(1987-94) と吉村弘の作品分類	中川 克志 金子智太郎	京都国立 近代美術 館研究論 集	4	カジュアル美術館 裸体美人 萬鉄五郎 東京国立近代美術館 日本洋画の転換期	三沢 典丈 東 京	10.21
漫画『さんてつ』9 日 刊行 吉本浩二さん 被災した岩手の鉄道 描く ドキュメント の新境地	鈴木 英生	毎日夕刊	3.8	(ラ)		
特集 淀井彩子に寄 せて	イワタルリ	Corridart	9	伝統の否定こそが伝 統 世間の価値観破 る「ちゃわんや」陶 芸作家 樂吉左衛門 さん	内田 洋一 日経夕刊	6.20
3・11後の創造力 上 美術「作品に なるか…ましていや いつ」[淀川テクニッ ク]	渋谷 和彦	産 経	3.9	第16回手塚治虫文化 賞 短編賞「酒の 細道」など ラズウ エル細木さん 飲ん だら止まらない	宮本 茂頼 朝 日	4.23
彫刻家の現場から 84 米坂ヒデノリ	武田 厚	美術の窓	344	一九四九年・神戸 (承前)[蘭繁之]	熊田 司 えむえむ	3
「工芸な人」に聞く 第十二回「草工芸 作家」 米田敬子さ ん	田 村 聞き手	五風十雨	65			

(ル)

作家訪問422 金属造  
形家 留守玲さん 編集部 目の眼 424

(ワ)

カバーインタビュー 上條 昌宏  
/WOW インタビュー・文 A X I S 156

ボイスの足型取り、  
あれこれ 若江 漢字 国立国際  
美術館ニ 190  
ユース

ART+ 美術家がひ  
たすら走る[若木く  
るみ] (清) 読売夕刊 1.16

お手本画&秀作集  
其ノ十七 若狭若州 若狭 若州 水墨画\* 284  
《世界文化遺産 飛  
騨の民家》

高山祭の「顔」守る職  
人魂 からくり人形  
修理・復元し38年、  
江戸の知恵に驚き 若林 繁夫 日 経 9.27

寺社の装飾彫刻 若  
林純著 〃 1.15

After 3.11 鷺尾 和彦 産 経

19 宮城県山元町  
たった「1枚」の中  
に 2.8

23 神奈川県逗子  
市 記憶は私を試  
している 4.4

29 宮城県気仙沼  
市 海を眺める人  
たちと 6.27

36 宮城県山元町  
眺めただけでは分  
からない 10.3

41 福島県福島市  
阿武隈川 未来へ  
パンをまく少年 12.12

中特集 心の風景  
早稲田郁子 刻まれ  
た時 編集部 美術の窓 349

わたしの宝もの80  
工房一ず! 和田 的 新美術新  
聞 1270

この夏秋、あるいは  
和田英作も装幀活動  
若干 岩切信一郎 一 寸 52

お手本画&秀作集  
其ノ九 和田光珀 和田 光珀 水墨画\* 274  
《黒いストロール》

源氏物語全編を書写  
2年半で100万字  
葛飾の仏画・書家  
和田さん[和田大諷] 丹治早智子 東 京 2.24

2012年日本建築学会  
作品選奨 立川市庁  
舎[和田直] 建築雑誌 1635

作家通信 墨と黒と 和田 宏子 水墨画\* 281  
麻布

特集 ベン・シャ  
ー「世直し画家」の  
真実 特別インタビ  
ュー 和田誠さん、  
ベン・シャーンの魅力  
を教えてください 芸術新潮 745

美人画と浮世絵: 渡  
辺幾春の場合 保崎 裕徳 アートペ  
ーパー 90

読解絵画鑑賞講座18  
[渡辺香菜] ワシオ・ト  
シヒコ 美術屋・  
百兵衛 22

特集 アートの力を  
考える! PART 3  
渡邊祥行 地域との  
つながりを重視して 渡邊 祥行 美術の窓 348

フェイス21世紀161  
渡部直 かたちのみ  
ずみずしさを大切に  
していきたい 松崎 裕子 新美術新  
聞 1284

特集 拡大・縮小  
美術館 絵画編 渡辺  
安翁子 一粒一粒描  
き込まれた宝石の輝  
き 美術の窓 350

「版画対談」深澤幸雄  
米寿記念特別企画  
銅版画技法の革新者  
たち 深澤 幸雄 版画芸術 156  
渡辺 達正

特集 制作の現場か  
ら…「自作を語る」・  
II 自作を語る 渡辺 知平 自由美術 2012

2012年日本建築学会  
各賞(作品) 真壁伝  
承館[渡邊眞理] 建築雑誌 1635

フェイス21世紀163  
渡抜亮 古典と向き  
合い模索する(絵画)  
の可能性 松崎 裕子 新美術新  
聞 1289

特集 模写から学ぶ  
絵画の技法 渡抜亮  
による鉛筆模写実践  
於・東京国立博物館 渡抜 亮 美術の窓 349

名作マンガ再始動  
映画化で「新アイデ  
ィアわいた」 るろ  
うに剣心 和月伸宏 岩本 哲生 朝日夕刊 5.19

## 海 外

## (ア)

21世紀のアーティスト  
ト 亜真里男 ギャラリ  
ー\* 323

PLAY IT AGAIN,  
AI WEI WEI—その  
後の艾未未 宮本真左美 あいだ 192

- 特集 画廊とアーティストの繋がり  
MISA SHIN GALLERY×艾未未  
331
- あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第84回 ハリーコ・アダッチオの夢世界 あるアマチュア日曜陶藝家の生活と意見  
稲賀 繁美 あ い だ 189
- 美・コレクション研究と支援の相乗効果 トーマス・アナソ 古い小路、ハイ・ストリートの裏通り  
岸 桂子 毎 日 1.11
- 夢とは何かを追いつめた記憶『夢の本』—マリーナ・アブラモヴィッチ《夢の家》約10年の軌跡  
吉田 宏子 美術手帖 973
- World News Cambridge 「写真と科学 本質的な調和」展 自然現象と格闘したベレニス・アボットのガチンコ科学写真  
前橋 重二 芸術新潮 750
- ぎやらりいモール森美術館「アラブ・エクスプレス展：アラブ美術の今を知る」から「シャドウ・サイト I」 ジャナアン・アル・アーニ  
近藤 健一 読売夕刊 8.14
- INFORMATION  
EVENT バヴェウ・アルトハメル来日フィクションとリアリティーが交差するパフォーマンス+ビデオ上映会「スター・シティ」+パフォーマンス  
岡村 恵子 美術手帖 962
- from the World 蘇る伝説の「ヨーゼフ・アルパースの窓」  
小町 英恵 A X I S 156
- アルベルティの建築理論における lineamentum の基本的性質について 絵画理論・彫刻理論における lineamentum とそれに関係するほかの概念に関する考えを参照して[レオン・バッティスタ・アルベルティ]  
三木 中川 勲 理 日本建築学会計画系論文集 674
- 1452年の『教皇ニコラウス五世によって新たに承認された都市施政管理官に関する法規』へのアルベルティの関与について  
岡北 一孝 679
- クリエイターズワーク&ソウル ダン・アレクサンダー  
A X I S 158
- 特集 アートの力を考える! PART 1 ジェームズ・アンソール 仮面劇 ジェームズ・アンソールとアンソールからはじまる「さかのぼり美術史」  
小林 晶子 美術の窓 348
- ジェームズ・アンソール—写真と幻想の系譜—  
東京夕刊
- 上 シニカルに笑う画家の精神 イーゼルに向かう自画像  
坂井 真紀 9.26
- 中 生の実相問い続ける瞳 絵を描く骸骨  
小池 寿子 9.27
- 下 絶妙なチープ陰謀  
辛酸なめ子 9.28
- 第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨 アントネッロ・ダ・メッシーナ作《受胎告知のマリア》の図像源泉をめぐって  
衣傘 弥生 美 学 241
- (イ)
- ARTIST INTERVIEW イ・ブル  
片岡 真実 美術手帖 965
- 現代美術の歩き方 今月の一品 イ・ブル ブルーノ・タウトに倣って(物事の甘さを自覚せよ)(部分)  
美術の窓 342
- 4 [読ん]で知るアート 食と現代アート 醜い姿、それもまた作品[イ・ブル]  
岡部あおみ 朝日夕刊 6.6
- 印刷文化のルーツを守る鋼鉄のプライド 金属活字匠 林仁鎬 [イム・イノ]  
朴 炫淑 金 明順 訳 コリアナ 19-2
- (ウ)
- INFORMATION MEMORIAL 追悼 ダヴィッド・ヴァイス 「長い間、僕の姿を見ていない人々は、僕が消えちゃったって思うかな?」(ヴァイスのノートより)  
北出智恵子 美術手帖 969

V・ヴァザルリの色 彩特性[ヴィクトル ・ヴァザルリ]	金 尾頸	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	43	アジアから世界へ 文化部門 シビル・ ウェッタシンハ氏 (スリランカの絵本 作家) 子ども心失 わず極上の物語描く	岩城 聡 日 経	5.4
海外通信 「中国に おけるアニエス・ヴ アルダの浜辺」展 世界を「見る」象徴	多田 麻美	朝日夕刊	3.28	美少女をつれ去る 「死の天使」—超新古 典主義的センチメン タリズム[オラース ・ヴェルネ]	森川もなみ	国立新美 術館ニュ ース 22
收藏品から 《無題》 クロード・ヴィアラ	野田 尚稔	世田谷美 術館だよ り	90	特集 美術と検閲 原典資料紹介 パオ ロ・ヴェロネーゼの 異端審問調書	水野 千依 解題・訳	西洋美術 研究 16
ブッサンとヴィーリ クス[ヒエロニムス ・ヴィーリクス]	木村 三郎	日本大学 芸術学部 紀要	56	論文要旨《修士》 パ オロ・ヴェロネーゼ 研究	鹿子島安希	美術史論 集 12
3・11後の創造力 上 美術 「作品に なるか…ましていや いつ」[ビル・ヴィオ ラ]	渋谷 和彦	産 経	3.9	SPECIAL FEATURE Chim ↑ Pom プレゼ ンツ REAL TIMES GALLERY & INTER- VIEWS 世界各国の 22組が登場! スーパ ーラットな表現者た ち		美術手帖 964
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケ ット PART 2 アー ト界を動かすキーパ ーソン COLUMN 1 ARTIST イーフラッ クス[アントン・ヴ イドクル]	藤森 愛実	美術手帖	962	ARTIST INTERVI- EW VOINA 今ロ シアで何が起こっ ているのか?	Chim ↑ Pom 聞き手 アンドレイ ・ボルド、 編集 部 構成	
例会発表要旨 第121 回例会:イタリアの 光 知的表象の試み としてのブッサン受 容—18世紀半ばのロ ーマにおける風景画 制作[リチャード・ ウィルソン]	金沢 文緒	日仏美術 学会会報	31	COLUMN 戦争の 幕開け ロシア社 会におけるヴォイ ナ	アニヤ・パ ントウエヴ ア	
from the World ワイ マール芸術祭「ペレ リナージュ」舞台 芸術の巨匠とデザイ ン学生の異色のコラ ボ[ロバート・ウィ ルソン]	小町 英恵	A X I S	160	アンディ・ウォーホ ルの研究ノート— 1966年の転機をめぐ って	安河内宏法	京都市美 術館年報 H22年度
World News Forli 「ヴィルト ミケラ ンジェロからクリム トにいたる魂とフォ オルム」展 アドルフ ・ヴィルト 古典 と反古典を止揚した 彫刻家	高橋 恵里 取材	芸術新潮	748	春爛漫アートスポッ ト開花宣言! 日牟 禮ヴィレージ たね や・クラブハリエ[ウ ィリアム・メレル・ ヴォーリス]		芸術新潮 749
World News Paris 「モイ・ウエール 見開き」展 知られ ざるパリの街角写真 家モイ・ウエールの 見開き構成術	羽生のり子 取材	〃	755	コラム 岩手・宮城 ・福島を訪れた3人 の外国人建築家[ウ ィリアム・メレル・ ヴォーリス]	大沼 正寛	建築雑誌 1626
INFORMATION ME- MORIAL 追悼フラン ツ・ヴェスト 伝統 の継承、幸福の希求 —フランツ・ヴェス ト追悼	ピエル・ル イジ・タッ ツイ 文 編集部 訳	美術手帖	974	レヒネル・エデンの 建築デザインにおけ るハンガリー性の表 象とベルリン体験— 郵便貯金局を中心に	足立 純子	建築史学 58

(エ)

2012夏・秋 名画に  
会に行く 一歩進  
んだ展覧会ガイド  
Case 6 エル・グレ  
コ マニエリスムの  
巨匠、このねじれを  
見よ

美術の窓 346

イリヤ・エレンブル  
グの写真集『私の  
パリ』におけるペル  
ヴィルの表象につ  
いて(1)

椎原 伸博 実践女子  
大学文学 部紀要 54

## (オ)

作家通信 郎世寧の  
肖像画

王 凱 水墨画\* 276

歳・月・人 王子江

王 子江 " 277

特集 秋の制作シー  
ズンに贈る18作家の  
水墨世界 王子江  
清水寺の冬

" " 282

現代美術の歩き方  
今月の一品「Dou-  
ble Bed (Two Cur-  
tains Together)」リ  
チャード・オードリ  
ッチ

梶田 倫広 美術の窓 346

半歩遅れの読書術  
砂を集める趣味 虚  
飾のない美しさに陶  
酔[ジョージ・オ  
キーフ]

稲葉 真弓 日 経 4.1

メトロポリタン美術  
館展から 夫婦それ  
ぞれの感性[ジョ  
ージ・オキーフ]

高野 清見 読売夕刊 10.16

特集 西洋美術とジ  
ェンダー—視ること  
の制度 現代美術に  
おける〈蒐集〉の技法  
とジェンダー—コレ  
クションの主観性／  
作家性[アンナ・オ  
ッパーマン]

香川 檀 言語文化 29

# SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3

Artist Files リサ・  
オッペンハイム デ  
ジタル・イメージと  
プリント要素の混合

藤森 愛実 美術手帖 971

ガラス玉で夢をつむ  
ぐ ジャン＝ミシェ  
ル・オートニエル

芸術新潮 747

現代美術の歩き方  
今月の一品「Kok-  
oro」ジャン＝ミシェ  
ル・オートニエル

あおのかず  
こ 美術の窓 345

クリエイターズワー  
ク&ソウル OSA[デ  
イック・オランゴ]

A X I S 160

ヴィクトール・オル  
タ作《オルタ邸》—食  
堂のデザインに関す  
る一考察—

小田 藍生 美術史研  
究 50

消費優先社会への警  
鐘 ミラノ[ルーシ  
・オルタ/ジョージ  
・オルタ]

矢島みゆき 読売夕刊 4.11

コンテンポラリー・  
ファインアート 第  
5回 ガブリエル・  
オロスコとメキシコ  
性

大森 俊克 美術手帖 962

## (カ)

Art Report in Asia  
中国・最新アーティ  
スト事情第5回 何  
家英

梶川 強 ギャラリ  
ー\* 327

表紙作品・作家解説  
(表) 何家英《秋冥》

原田 平作 美術フォ  
ーラム21 26

トマス・ガーティン  
《エクセター大聖堂》  
の創意をめぐって

富岡 進一 郡山市立  
美術館研  
究紀要 7

不思議な出会い。三  
つの作品をめぐって  
[フリーダ・カーロ]

深谷 克典 アートペ  
ーパー 89

ギュスターヴ・カイ  
ユボットのジャポニ  
スム

及川 茂 浮世絵芸  
術 164

研究報告 ギュスタ  
ーヴ・カイユボット  
《ピアノを弾く若い  
男》

新畑 泰秀 プリヂス  
トン・石  
橋美術館  
報\* 60

建築家アントニ・ガ  
ウディと美学者マス  
エル・ミラの諸思想  
の関係について建築  
家アントニ・ガウデ  
イの建築論的言説に  
関する研究(2)

山村 健  
入江 正之 日本建築  
学会計画  
系論文集 672

井上雄彦『pepita』  
刊行[アントニオ・  
ガウディ]

道丸 麻耶 産 経 3.1

お手本画&秀作集  
其ノ十一 郭朝勇  
《高山流水自成音》

郭 朝勇 水墨画\* 276

眼と脳がアートを創  
造[つく]る 第9、  
10回 メアリー・カ  
サットの場合(前・  
後編)

深作 秀春 美術の窓 348, 349

新収蔵作品 ヴィン  
チェンツォ・カテー  
ナ《聖母子と幼い洗  
礼者ヨハネ》

高梨 光正 国立西洋  
美術館報 46

World News New York 「マウリツィオ・カテランの全て」イタリア現代美術界のお騒がせ男 マウリツィオ・カテランの宙吊り回顧展	由本みどり 取材	芸術新潮	745	特集1 越境する日本人 東アジア圏のトランスナショナルデザイン史に向けて：顔水龍の工芸デザイン運動	菊池 裕子	現代の眼	593
現在通信 From NEW YORK カテランの「すべて」?	富井 玲子	新美術新聞	1268	お手本画&秀作集 其ノ九 関乃平《シヤングリラの人々—》	関 乃平	水墨画*	274
18世紀ロンドンの表象と都市景観画—カナレットを中心として—	保谷 朋子	日本女子大学大学院文学研究科紀要	18	お手本画&秀作集 其ノ十四 寒梅人《希望》	寒 梅人	〃	279
World News Hannover 「イリヤ・カバコフ 絵画への回帰」展 カバコフはやっぱり絵画がお好き?	かないみき 取材	芸術新潮	749	通信 J to A アジアへ42 不屈の「現代美術」—ミャンマーのガンゴ・ヴィレッジ[ガンゴ・ヴィレッジ・アート・グループ]	黒田 雷児	新美術新聞	1301
カラヴァッジョ・闇のなりたち	斎藤 國靖	武蔵野美術大学研究紀要	42	ジョセフ・ガンドーの幻想的建築画《伏魔殿》Pandemoniumにおける“ピクチャレスク”と崇高	日下 洋平	文化学年報	61
残照—ダニ・カラヴァン回顧展	酒井 忠康	世田谷美術館紀要	13	研究報告 芸大所蔵カンディンスキー《白樺(森の中の女たち)》の来歴と画面構造の多義性[ヴァシリー・カンディンスキー]	黒田 和士	東京芸術大学美術館年報	H22年度
宮城県美術館蔵 Dani Karavan 作「マアヤン」の保存修復 [ダニ・カラヴァン]	藤原 徹	東北芸工大保存修復センター年報*	3	from the World 衣食住を包括的に扱うメゾン&オブジェの提案[カンバーナ・ブラザーズ]	編集 部 上條 昌宏	A X I S	156
彫刻家 ダニ・カラヴァンさんの魅力 作品に込める土地の歴史 世田谷美術館館長 酒井忠康さん	渋谷 和彦	産 経	7.11	ロベール・カンパンの「聖三位一体/父なる神のピエタ/恩寵の御座」—初期ネーデルラント絵画におけるその位置づけ—	鈴木 伸子	鹿島美術財団年報・別冊	29
平成二十三年度東支部例会 アンニバレ・カラッチによる版画の利用—ファルネーゼ宮「カメリーノ」天井装飾をめぐって—	渡辺 晋輔	美術史	172				
作品調査報告—ルドヴィーコ・カラッチ《ダリウスの家族》	高梨 光正	国立西洋美術館研究紀要	17				
美の履歴書265 何を考えているのか「想い」 ウジェーヌ・カリエール	高橋 昌宏	朝日夕刊	8.1				
カルティエ=ブレッソンをめぐる言説—20世紀写真の受容研究—[アンリ・カルティエ=ブレッソン]	佐々木悠介	鹿島美術財団年報・別冊	29				
ガレのジャポニズム再考—着想源としての自然観察—[エミール・ガレ]	三谷 史	文化学年報	61				
修士論文概要 アンドレイ・カレーリンの写真—演劇と絵画のあいだ—	栗本 麻央	早稲田大学大学院文学研究科紀要	57				

(キ)

特集 アートの力を考える! PART 1 3C ニューペインティング・魂を描くフランチエスコ・クレメンテ エンツォ・クッキ サンドロ・キア

美術の窓 348

特集1 21世紀の無形文化遺産 胸を熱くする打楽五重奏 陶器匠：キム・イルマン[金一万]

朴坂野 訳  
炫淑 慎治

コリアナ 19-3

巨匠 木の家具を「宝石」で飾る豆錫匠 金克千

朴金 明順 訳  
炫淑 明順

〃 19-4

特集1 21世紀の無形文化遺産 宇宙の原理に沿った作業 輪図匠：キム・ジョンデ[金鍾堡]	朴坂野 炫淑 慎治	19-3	第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨 クラーナハ(父)の《メランコリー》連作に関する一考察—一五三〇年前後の「愛の教訓」との関連を中心—[ルーカス・クラナハ]	伊藤 麻衣 美 学	241
アート・レビュー 息を紡ぎ人生を縫う 金守子の「ツー・プレス展」[キム・スジャ]	高金 美錫 明順	19-4	収蔵作品から グラビュス《後期のピカソ1953—1973展》	片岸 昭二 ど お む	117
巨匠 保存と修復の芸術—梢貼匠・金杓永	朴金 炫淑 明順 訳	19-1	建築家ラルフ・アダムス・クラムの津田塾大学キャンパス計画に関する研究	横手 義洋 日本建築学会計画系論文集	671
ぎやらいいモール 多摩美術大学美術館「エリック・ギルのタイポグラフィから「キリストの埋葬」(「四福音書」より) エリック・ギル	吉田 公子	読売夕刊 1.17	4「読ん」で知るアート 挿絵 挿絵を超える独創性[グランヴィル]	鹿島 茂 朝日夕刊	10.10
連載 フレスコ八景 第四景[ドメニコ・ギルランダイオ]	宮下 孝晴	フレスコ壁画研究センター ニュース*	19世紀イタリアにおける美術品流通—カメリーノ由来のカルロ・クリヴェッリ作祭壇画をめぐって—	上原 真依 鹿島美術財団年報・別冊	29
作家通信 チベット旅行	金 醒石	水墨画*	平成二三年度哲学会春季大会 研究発表要旨 グスタフ・クリムトの《哲学》について	園田恵梨果 関西大学哲学	30
特集 秋の制作シーズンに贈る18作家の水墨世界 金醒石 窺	〃	〃	グスタフ・クリムトにおける素描の役割：1880年代後半から1890年頃にかけて	前田 朋美 美学美術史研究論集	26
荒川修作・M.ギンズ著『意味のメカニズム』を読む(1)—視覚言語体系の確立のために[マドリン・ギンズ]	森田 恒之 藤井 真希 須貝 旭	愛知県立芸術大学 紀要	特集 耽美的な世界へようこそ グスタフ・クリムト生誕150周年	松井 隆夫 美術の窓	342
(ク)					
特集 アートの力を考える! PART 1 3C ニューペインティング・魂を描く フランチェスコ・クレメンテ エンツォ・クッキ サンドロ・キア		美術の窓	欧人異聞 ふたりのグスタフ、世紀末の不満[グスタフ・クリムト]	樺山 紘一 日 経	7.29
特集 アートの力を考える! PART 1 アントニー・クラッペ 光とインスピレーション		〃	〈イーゼンハイム祭壇画〉《キリスト復活》に関する一考察—「オランス型」キリストの機能をめぐって— [マティアス・グリューネヴァルト]	大杉 千尋 美術史	173
思うままに クライスパークの芸術 自然破壊を告発[フランス・クライスパーク]	梅原 猛	東京夕刊	論文要旨《修士》 グリューネヴァルト研究—〈イーゼンハイム祭壇画〉《キリスト復活》におけるキリストの形態とその意義	〃 美術史論集	12
日本の現代美術 海外展から 下 東西写真家の対話に焦点「ウィリアム・クライン+森山大道」展	大竹 昭子	日経夕刊	美の履歴書286 男は何をしているのか「行為」(連作(手袋)より) マックス・クリンガー	大西 若人 朝日夕刊	12.26



SPECIAL FEATURE

写真2.0 PART 1

Focus 2 アンドレ 河合 純枝 美術手帖 971  
アス・グルスキー

パウル・クレール・セ 原沢 暁子 アートペ 88  
ンターを訪れて ーパー

絵画と音楽の絆『ク 林 紀一郎 Wave II 6  
レーの日記』から(そ  
の1)[パウル・クレ  
ー]

特別寄稿 船と都市、 池澤 夏樹 芸術新潮 745  
子供と夢 ーパウル  
・クレール小論 後編

中特集 心の風景 美術の窓 349  
パウル・クレール 背  
後にある現実

特集 アートの力を 考える! PART 1  
3C ニューペイン ティング・魂を描く フランチェスコ・ク レメンテ エンツォ ・クッキ サンドロ ・キア " 348

海外アーティストイ 美術屋・ 20  
ンタビュー イヴオ 百兵衛  
ンヌ・クレルジュリ

ポール・クロードル 浜本 隆志 関西大学 21  
と関大ゆかりの人び と ーパリ・東京・ 年史紀要  
千里山をつなぐ人脈 相関図ー[カミーユ ・クロードル]

この一点「ドビュ 馬淵 明子 日経夕刊 8.24  
ッシー 音楽と美術」 展 中 カミーユ・ クロードル「ワルツ」 悲劇的な男女の情愛

(ケ)

Cage→Today [ジョ 大友 良英 A A C 72  
ン・ケージ]

from the World 建築 吉田 実香 A X I S 156  
との親和性を体现す る新たなパフォー ミングアーツの殿堂[フ ランク・ゲーリー]

from the World ヴェ 小町 英恵 " 160  
ネチアからのイメー ジ カーテン・イン スタレーション「レ プリカ」[ゲアハルト ・ケラーマン]

WORLD NEWS ロサ 廣 里果 美術手帖 966  
ンジェルス アート ・モンスター、進撃 の後に死の虹のかな たへー追悼 マイク ・ケリー

視線 それ行け!!珍 大西 若人 朝 日 7.1  
バイク ハンス・ケ ンブ著

(コ)

上級者に贈る 創作 呉 一騏 水墨画\* 278  
への道2 自然と融 合し、新たな表現を 創り出す

丹青閑話 第十八話 島尾 新 美術の窓 348  
呉冠中「逍遙遊」

呉昌碩書画の長崎に 松村 茂樹 大妻女子 44  
おける受容について 大学紀要

日本における呉昌碩 中国近現 13  
の受容ー大正・昭和 代文化研 究  
編(四)

田中一村と海上派ー 森下麻衣子 美学芸術 27  
呉昌碩に魅せられた ものと《クワズイモ とソテツ》

ポール・ゴーガンと フランス人コレクタ 小泉 順也 実践女子 26  
ー作品の創造と蒐 集をめぐる政治学、 大学美学  
一八八〇ー一九一〇 美術史学  
年

展覧会評「ポール 西洋美術 16  
・ゴーガン、近代性 への突破」展「ポー ル・ゴーガン、神話 の創造者」展

ゴッギャンの《浅瀬 田中可手奈 美学論究 27  
(逃走)》における意 味の多重性について

箱に詰めた物語[ジ ョセフ・コーネル] 網島 雄太 日 経 4.12

ゴームリーの彫刻が 朝日夕刊 9.5  
葉山に[アントニー ・ゴームリー]

人々を映し支える天 西岡 一正 " 11.28  
使 彫刻家ゴームリ ー

メトロポリタン美術 千住 博 読 売 11.9  
館展ー私の1点 乱 開発 危機感伝わる [トマス・コール]

著者に会いたい レ 大西 若人 朝 日 4.29  
ム・コールハースさ ん プロジェクト・ ジャパン メタポリ ズムは語る 日本の 建築家から聞き取り

オランダ人建築家レ ム・コールハースさ ん来日会見 戦後日 本のメタポリズム 丹下健三の役割大き く

from the World ショ  
ップを立ち上げたボ  
ーンチェとコクセッ  
ジ[ポール・コクセ  
ッジ]

中島 恭子 A X I S 158

この人 トヨタ研究  
の仏人芸術家 ジェ  
ラルディン・コジア  
ックさん 織物から  
出発し、伝統とモダ  
ンを兼備

石屋 法道 東京 5.12

PARIS 発 ゴッホと  
広重

安部 雅延 新美術新聞 1299

視点 ファン・ゴッ  
ホ「農夫」の真相に迫  
る! 非破壊科学調  
査の内容について

重藤 嘉代 美術の窓 345

眼と脳がアートを創  
造[つく]る 第7、  
8回 ゴッホの場合  
(前・後編)

深作 秀春 " 346、347

彩・美・風 ゴッホ  
のすさまじい使命感

林 綾野 朝日夕刊 1.11

ゴッホ作でした 絵  
の具・筆遣い 最新  
X線調査で判明

野島 淳 " 3.21

ゴッホの作品だった  
X線での顔 顔料  
など一致 オランダ  
で約40年所蔵

東京夕刊 3.22

欧人異聞 セザンヌ  
とゴッホの岐路

樺山 紘一 日 経 5.13

記者ノート ゴッホ  
「農婦」の制作意図

木村 未来 読 売 4.5

「糸杉」ペール脱ぐ  
[フィンセント・フ  
アン・ゴッホ]

" 10.4

メトロポリタン美術  
館展から ゴッホ流  
賛美の模写

高野 清見 読売夕刊 10.13

ぎやらいいモール  
東京都美術館「メト  
ロポリタン美術館  
展」から「糸杉」フ  
ィンセント・ファン  
・ゴッホ

中原 淳行 " 10.30

コラム ゴヤは本当  
に恐ろしい—【ロマ  
ンの系譜 怪奇幻想  
玉手箱】に寄せて【フ  
ランシスコ・デ・ゴ  
ヤ]

雪山 行二 ど お む 119

美の履歴書235 本当  
に「下町の女」か  
「着衣のマハ」 フ  
ランシスコ・デ・ゴ  
ヤ

西岡 一正 朝日夕刊 1.4

欧人異聞 ゴドイが  
愛した「裸のマハ」  
【フランシスコ・デ  
・ゴヤ]

樺山 紘一 日 経 6.17

SPECIAL FEATURE  
デミアン・ハースト  
PART 2: INTER-  
VIEW マット・コリ  
ショー アーティス  
ト

マット・コ  
リショー  
談 伊東 豊子  
取材・文

美術手帖 969

SPECIAL FEATURE  
ライアン・マッギン  
レー ニューヨーク  
の若きスーパースタ  
ー 自由と躍動、生  
命の輝きあふれる理  
想郷 INTERVIEW 2  
ダン・コレン

藤森 愛実

" 976

フランソワ・ブーシ  
エによるタピスリー  
連作「オペラの断章」  
—シャルル・コワペ  
ルとの対抗関係をめ  
ぐって—

小林亜紀子

東京芸術  
大学美術  
学部論叢 8

作品 「Colorful DA-  
EGU」 「Beautiful  
DAEGU」

孔 鎮烈

秋田公立  
美術工芸  
短期大学  
紀要 16

4[読ん]で知るアー  
ト 食と現代アート  
一粒に込めた愛の形  
[フェリックス・ゴ  
ンザレス=トレス]

岡部あおみ

朝日夕刊 6.20

A La Meiji-mura 一  
丁倫敦の記憶[ジョ  
サイア・コンドル]

明治村だ  
より 69

# (サ)

作家通信 齊夢章先  
生をしのぶ

沈 和年

水墨画\* 276

ARTIST INTERVIEW  
アンリ・サラ

植松 由佳  
聞き手  
松浦 直美  
翻訳・構成

美術手帖 963

須磨コレクションの  
スペイン近代絵画三  
作品に関する調査報  
告[エミリオ・サラ]

川瀬 佑介

長崎県美  
術館研究  
紀要 5

from the World 実現  
可能なユートピアと  
しての空中都市 ト  
マス・サラセーノの  
「クラウド・シティ  
ーズ」

小町 英恵

A X I S 155

World News New  
York 「トマス・サラ  
セーノ クラウド・  
シティ」展 NY夏の  
風物詩、メトの屋上  
にトマス・サラセー  
ノのジャングルジム  
出現

由本みどり  
取材

芸術新潮 752

ARTIST INTERVIEW  
トマス・サラセーノ

難波 祐子  
聞き手

美術手帖 973

ぎやらりいモール  
ワタリウム美術館  
「歴史の天使 アイ  
・ラブ・アート」12  
写真展」から「失業  
中の水夫」アウグ  
スト・ザンダー

森 亜希子 読売夕刊 9.25

街角アート 彫刻に  
絵を描く彫刻家[ニ  
キ・ド・サンファル]

星野 清一 新美術新  
聞 1276

(シ)

World News New  
York「サラ・ジー  
無限の線」展 サラ  
・ジーの切り絵イン  
スタレーション山水

由本みどり  
取材 芸術新潮 747

SPECIAL FEATURE  
写真2.0 PART 3  
Artist Files クリス  
ティーナ・シーリー  
光が写し出す、ソー  
シャル・ランドスケ  
ープ

藤森 愛実 美術手帖 971

特集 アートの力を  
考える! PART 1  
エゴン・シーレ 死  
と対[むか]いあう青  
春

美術の窓 348

SPECIAL FEATURE  
Chim ↑ Pom プレゼ  
ンツ REAL TIMES  
GALLERY & INTER-  
VIEWS 世界各国の  
22組が登場! スーパ  
ーラットな表現者た  
ち ARTIST TALK  
JR スピーチ アー  
トを通して世界をひ  
っくり返す

編集部  
構成 美術手帖 964

エッセイ ジャン＝  
レオン・ジェローム  
の「仏陀」と「獅子」

稲賀 繁美 ジャポニ  
スム研究 32

ARTIST INTERVIEW  
沈崇道[シェン・チ  
ョンタオ]

手嶋 剛 美術手帖 975

特集 西洋美術とジ  
ェンダー—視ること  
の制度「偉大さ」と  
女性芸術家の神話  
[アルテミジア・ジ  
ェンティレスキ]

米村 典子 言語文化 29

研究報告 アルフレ  
ッド・シスレー《森  
へ行く女たち》

賀川 恭子 ブリヂス  
トン・石  
橋美術館  
報\* 60

大特集 永遠のイス  
タンブール 東西の  
美と出会う都 第V  
章 ドームとアーチ  
の巨匠 ミーマール  
・シナンの建てまく  
り一代記

ジラルデッ  
リ青木美由  
紀 芸術新潮 753

シニャックの水彩素  
描—茨城県近代美術  
館蔵の4点[ポール  
・シニャック]

舟木 力英 茨城県近  
代美術館  
だより 93

ゴットフリート・シ  
ャードウ作《マルク  
伯爵》に関する一考  
察—死と眠りの狭間  
で—

尾関 幸 東京学芸  
大学紀要 64

World News New  
York「シンディ・シ  
ャーマン」展 いろ  
んな人に化けてきた  
シャーマン総ざらい

由本みどり  
取材 芸術新潮 749

REVIEWS02 清水 穰  
月評第46回 可笑し  
くて、やがて哀しき  
マダムたち「シン  
ディ・シャーマン」  
新作展

清水 穰 美術手帖 969

特別展 ベン・シャ  
ーン クロスメディ  
ア・アーティスト—  
写真・絵画・グラフ  
ィックアート—

高嶋雄一郎 岡山県立  
美術館ニ  
ュース 96

特集 ベン・シャ  
ーン「世直し画家」の  
真実

芸術新潮 745

第一章 ベン・シ  
ャーンからのメッ  
セージ 3.11後福  
島で考える

荒木 康子

特別インタビュー  
和田誠さん、ベン  
・シャーンの魅力  
を教えてください

第二章 ヘタウマ  
写真家のまなざし

増田 玲  
答える人

第三章 ベン・シ  
ャーンの声が聴こ  
える たどり着い  
たグラフィック・  
ワーク

沼辺 信一

ローカル・ガイド  
1960年、京都にて

編集部

特集 世界をさわる  
手法を求めて ユニ  
バーサル・ミュー  
ジアムの可能性 ベン  
・シャーンをさわる  
見る、聞く—平面作  
品への重層的なアプ  
ローチ

真下 弥生 みんなく 418

3・11後を生きる  
非核×芸術案内 不  
気味な異形で描く  
「パイプの森の放浪  
者」水木しげる  
1979年「珊瑚礁の  
怪物」ベン・シャ  
ーン 1957年

岡村 幸宣 東京 8.2

@展覧会 ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト 思索の軌跡伝える写真	岸 桂子	毎日夕刊	1.10	
「ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト」難解な中に見える誠実	前田 恭二	読 売	1.12	
視点 シャガール展を見る[マルク・シャガール]	速水 史朗	美術の窓	347	
ジャコモッティと詩人たち(2) 空虚を抱く手(今、空虚)ーボスフォアとジャコモッティ(1)[アルベルト・ジャコモッティ]	桑田 光平	ART TRACE PRESS	2	
特集 セザンヌにはどう視えているか Etude ジャコモッティの林檎	〃	ユリイカ	609	
美の履歴書263 どこまでが作品なのか「無題 No. 306」 ドナルド・ジャッド	大西 若人	朝日夕刊	7.18	
現代美術の歩き方 今月の一品 ハッサン・シャリフ「Weaving」	清水 敏男	美術の窓	349	
短期集中連載 シャルダン 知られざる巨匠がやってくる 1〜4 [ジャン＝パティスト＝シメオン・シャルダン]		芸術新潮	751〜754	
静物と人物のあいだ シャルダンの「語らない風俗画」の魅力	大野 芳材	〃	755	
Loeil 美は語る14 シャルダン 静謐で奥深い世界	安井 裕緒	美術の窓	349	
戌も歩けば beau[ボー]に当たる 第三十七回 平凡のなかの非凡 [ジャン＝パティスト＝シメオン・シャルダン]	竹田 博志	〃	350	
目は語る アート逍遥 11月 シャルダンの絵画世界 感情で描かれた静謐な輝き	高階 秀爾	毎日夕刊	11.28	
アール・デコ 光のエレガンス 3 ビエール・シャロー 椅子 シンプルでも漂う贅沢さ	海野 弘	東京夕刊	7.19	
作家通信 日本と中国の芸術をつなぐ大連の「江屹芸術空間」[ジャン・イー]	江 屹	水墨画*	275	

19世紀における自然科学の作品化と「崇高」ーアーダルベルト・シュティフターの文学ー	中野 逸雄	芸術研究	25	
海外通信 @北京 沈遠「天梯」 程大鵬「可楽樂園」 急速な発展に冷めた視線	多田 麻美	朝日夕刊	8.29	
お手本画&秀作集 其ノ十 沈強《巖壑秋色図》	沈 強	水墨画*	275	
ダヤニータ・シン ある写真家の冒険	畠山 直哉	美術手帖	963	
水墨再見 技	沈 和年	水墨画*		
与謝蕪村《鳶鴉図》のうち《鴉図》			274	
酒井抱一《紅梅図》			275	
岡田半江《春鶯起鴉図》			276	
作家通信	〃	〃		
斉夢章先生をしのぶ			〃	
水墨画世界へ著者の参入に注目			285	
論考の主題にみるルドルフ・シンドラーの空間構成の方針と手法	末包 伸吾	日本建築学会計画系論文集	673	

## (ス)

ARTIST INTERVIEW ス・ドホ	飯田志保子	美術手帖	974	
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情	梶川 強	ギャラリー*		
第1回 薛松[スエ・ソン]			323	
第3回 中国、台湾、香港の主要オークション落札価格[薛松]			325	
海外通信 @ベルン ショーン・スカリー展 「窓」が生み出すエネルギー	里信 邦子	朝日夕刊	5.2	
World News Venezia 「カルロ・スカルパ ヴェネーニ 1932-1947」展 ヴェネツィアの新名所「ガラスの部屋」 柿(こけら)落としは建築家スカルパのヴェネツィアン・グラス	持丸 文恵	芸術新潮	756	

コミック 闇の国々  
B.ベーターズ(作)  
F.スクイテン(画)  
精緻な異世界が招く  
抽象性[フランソワ  
・スクイテン]

ササキバラ  
・ゴウ 朝 日 3.11

ブロック報告 中国  
ブロック 広島から  
発信する、オノ・ヨ  
ーコの新作メッセー  
ジ[サイモン・スタ  
ーリング]

神谷 幸江 ZENBI 1

特集1 開館六〇周年  
記念企画「夏の家」  
スタジオ・ムンバイ  
と越境する可能性

ケン・タダ  
シ・オオシ  
マ 現代の眼 595

実物で味わう建築展  
示 震災後の住まい、  
職人と探る インド  
の「スタジオ・ムン  
バイ」

大西 若人 朝日夕刊 9.12

メトロポリタン美術  
館展から 夫婦それ  
ぞれの感性[アルフ  
レッド・スティエー  
グリッツ]

高野 清見 読売夕刊 10.16

World News Paris  
「ルイ・ステール  
斬新さの揺さぶり」  
展 アール・ブリュ  
ットから解放された  
素描家ルイ・ステール  
再評価

羽生のり子  
取材 芸術新潮 753

ピークオド号、薔薇  
薔号に遭う フラン  
ク・ステラ

KENBI  
LETTER 77

World News Paris  
「マルセル・ストー  
ル 未来を見る建築  
者」展 マルセル・  
ストール 塔に魅せ  
られた森の掃除夫

羽生のり子  
取材 芸術新潮 747

美の履歴書250 この  
コマを選んだ理由  
「タイムズスクエア、  
ジェームス・ディン  
・1955」 デニス  
・ストック

西岡 一正 朝日夕刊 4.18

「フランチェスコ1  
世のストゥディオー  
ロ」におけるフラン  
ドル絵画の影響につ  
いて—ジョヴァンニ  
・ストラダノを中  
心に—

嶋本亜未子 鹿島美術  
財団年報 29

NAVI & navi テーマ  
「雨」 心に潤いを与  
えてくれる 逃げ込  
めば何かが始まる  
[ピーター・スピア  
ー]

飯田 有美  
塩野 米松 読売夕刊 6.23

水俣 時を超えて写  
す 悲劇伝えた写真  
家のび、三十数年  
越しの再訪[ユー  
ジン・スミス]

石川 武史 日 経 11.2

初期ロバート・スミ  
ッソン

小西 信之 愛知県立  
芸術大学  
紀要 41

ルイ・フィリップの  
スペイン・ギャラ  
リー—グルノーブル美  
術館所蔵のスルバラ  
ンの《受胎告知》、  
《羊飼いの礼拝》、  
《東方三博士の礼拝》、  
《割礼》に関する調査  
—[フランシスコ・  
スルバラン]

石井美佐子 鹿島美術  
財団年報  
・別冊 29

スルバラン研究—  
《ナザレトの家の聖  
母とキリスト》につ  
いて—

中込 恵 哲学会誌 36

スルバランの様式発  
展と「ラス・クエバ  
ス三部作」

坂本 龍太 美術史研  
究 50

不思議な出会い。三  
つの作品をめぐって  
[ジョン・スローン]

深谷 克典 アートペ  
ーパー 89

(セ)

SPECIAL FEATURE  
Chim ↑ Pom プレゼ  
ンツ REAL TIMES  
GALLERY & INTER-  
VIEWS 世界各国の  
22組が登場! スーパ  
ーラットな表現者た  
ち ARTIST INTER-  
VIEW ゼウス ヴィ  
ジュアル・キッドナ  
ッピングとは何だっ  
たのか

Chim ↑ Pom  
開き手  
松下  
構成 学 美術手帖 964

現代中国巧藝事情67  
長安画派三傑の一人  
・石魯1~4

仲 佑樹 書道界 266,268  
~270

リズモロジーの方へ  
2—セザンヌリズム  
上[ポール・セ  
ザンヌ]

佐藤 雄一 ART  
TRACE  
PRESS 2

特集 西洋美術とジ  
ェンダー—視ること  
の制度 オランピア、  
ナナ、そして永遠の  
女性—マネ、ゾラ、  
セザンヌにおける絵  
の中の女の眼差し

吉田 典子 言語文化 29

セザンヌのバリ滞在  
の意味

永井 隆則 国立新美  
術館ニ  
ュース 22

セザンヌ展特集 現代を代表する10名の洋画家による「セザンヌ観」	入江 遠藤 大津 奥谷 桜井 藤井 佐藤 野馬 越野 山本	観 彰子 英敏 博寛 泰生 ぬい 陽子 健貞	新美術新聞	1280	天使と闘うクロード 『制作』におけるゾラとセザンヌ	福田 美雪		
日々好日 セザンヌが描いたもの	藤田 新		〃	1288	特集 セザンヌにはどう視えているか 絶対の探求		〃	〃
美術への新視点 セザンヌと蒸気鉄道3～5	秋丸 知貴	日本美術新聞	3～5		思考するイメージ、イメージする思考 セザンヌと解釈者たち	岡田 温司		
特集 セザンヌにはどう視えているか Nature vivre! 絵筆の一振り セザンヌとともに考えるために	松浦 林 寿夫 道郎	ユリイカ	609		描かれた知覚論 メルロー＝ボンティのセザンヌ解釈	横山 奈那		
特集 セザンヌにはどう視えているか Eclogae			〃	〃	非－感覚の論理 ジョン・リウオルドの理性	星野 太		
セザンヌの絵の前で	與謝野文子				ジュールダンの小屋	荒川 徹		
庭師ヴァリエのいるテラス	末永 照和				特集 セザンヌにはどう視えているか Etude		〃	〃
セザンヌの描いた女性像	永井 隆則				セザンヌ・ヴァリアント 芸術はいかに鳴りうるか	山口 一郎 編集部 聞き手		
初期セザンヌの暴力とエロティシズム	荻野 厚志				記憶に依らずに見ること	鈴木 理策		
特集 セザンヌにはどう視えているか 感覚の氾濫			〃	〃	ジャコメッティの林檎	桑田 光平		
映るものと移ろうもの	野見山 暁治 編集部 聞き手				両手を組み合わせる仕草 ユイレとストローブの映画『セザンヌ』	持田 睦		
テーブル絵画論序説	松浦 寿夫				4〔読ん〕で知るアート 画家のパートナー 冷えきったセザンヌの夫婦仲	千足 伸行 朝日夕刊	5.23	
多重周期構造 セザンヌのクラスター・ストローク	平倉 圭				美の美 セザンヌ再発見 上、中、下	宝玉 正彦 日 経	3.18、25、4.1	
セザンヌの中間地帯	池田 剛介				文化往来 セザンヌの魅力読み解く雑誌・書籍続々		〃	4.27
具体的な抽象 セザンヌ主要作品解題	荒川 徹				欧人異聞 セザンヌとゴッホの岐路	樺山 紘一	〃	5.13
特集 セザンヌにはどう視えているか Correspondances			〃	〃	私の一点「セザンヌーパリとプロヴァンス」展		日経夕刊	
詩人リルケ渾身のセザンヌ接近 リルケ『セザンヌ書簡』	神品 芳夫				1 「大きな松の木と赤い大地」 みなぎる緊張感	荒川 詔四		5.8
自然が与えるモデルニテ セザンヌとマラルメ	熊谷 謙介				2 「トロネの道とサント＝ヴィクトワール山」 描いたのは「力」	野見山 暁治		5.9
					目は語る アート逍遙 4月 セザンヌと二つの土地 パリと南仏 風土のたまもの	高階 秀爾 毎日夕刊	4.18	

ぎやらりいモール  
ブリヂストン美術館  
「パリへ渡った『石橋  
コレクション』1962  
年、春」から「サン  
ト=ヴィクトワール  
山とシャトー・ノワ  
ール」 ポール・セ  
ザンヌ

田所 夏子 読売夕刊 2.7

平成二十三年度『美  
術史』論文賞選考結  
果及び選評 須網美  
由紀「セバスティア  
ーノ・ルチアーニ作  
《サン・ジョヴァン  
ニ・クリソストモ祭  
壇画》に関する一解  
釈—聖堂再建時にお  
ける図像プログラム  
を視座に入れて—」[セ  
バスティアアーノ・デ  
ル・ピオンボ]

中村 俊春 美術史 173

モーリス・センダッ  
クさんを悼む 絵本  
の新時代をリードし  
た巨人

神宮 輝夫 読売夕刊 5.12

## (ソ)

お手本画&秀作集  
其ノ十八 曾勳《敦  
煌夢シリーズ・観自  
在》

曾 勤 水墨画\* 285

お手本画&秀作集  
其ノ十八 曾黎  
《ALOHAの心》

曾 黎 " "

現在通信 From  
NEW YORK ソト  
[ヘスス・ソト]

富井 玲子 新美術新  
聞 1270

特集1 21世紀の無  
形文化遺産 木を植  
える大工 小木匠:  
ゾル・ソクチョル  
[薛石鉄]

朴 炫淑  
坂野 慎治 コリアナ 19-3

特集1 21世紀の無  
形文化遺産 記憶の  
中の父ソン・ジュア  
ン 螺鈿匠:ソン・  
バンウン[宋周安/  
宋芳雄]

" " "

## (タ)

特集 アートの力を  
考える! PART1  
ヘンリー・ダーガー  
清澄な組曲

美術の窓 348

JMW ターナーの風  
景画における主題と  
連想[ウィリアム・  
ターナー]

出羽 尚 鹿島美術  
財団年報・別冊 29

World News London  
「ターナー・インス  
パイアード クロー  
ドの光の中で」展  
ターナーが遺言で  
“お隣”を望んだクロ  
ード・ロランの光

前橋 重二 芸術新潮 749

J. M. W. ターナーの  
アルプス主題に関す  
る一考察—《サン・  
ゴタル峠の下り道》  
における描かれた場  
所と主題—

富岡 進一 郡山市立  
美術館研  
究紀要 7

ターナーの絵画制作  
における詩の役割

出羽 尚 国学院大  
学紀要 50

学会活動報告 第八  
五回大会 J. M. W.  
ターナーの“洪水”観  
—《光と色彩》《影と  
闇》—

岩永 亜季 デアルテ 28

第六十五回全国大会  
研究発表要旨 J. M.  
W. ターナーの《光と  
色彩》—J. W. v.ゲー  
テの『色彩論』受容と  
記録者モーゼの意義  
—

" 美術史 173

メトロポリタン美術  
館展から 水の都創  
意交え[ウィリアム  
・ターナー]

高野 清見 読売夕刊 10.11

作品紹介 旧ジョセ  
フ・ロビンソン所蔵  
のヴァン・ダイク作  
《改悛のマグダラの  
マリア》[アンソニー  
・ヴァン・ダイク]

中村 俊春 京都美学  
美術史学 11

第六十三回美学会全  
国大会報告 発表要  
旨 ヴァン・ダイク  
作《ペンブルック伯  
爵の家族肖像》再考  
—初期ステュアート  
朝宮廷仮面劇との関  
連を中心に—

二宮 洋輔 美学 241

第六十五回全国大会  
研究発表要旨 ヴァ  
ン・ダイク作《馬上  
のチャールズ一世と  
サン・アントワヌの  
領主》に関する一  
考察—同時代の英国  
宮廷におけるイタリ  
ア絵画コレクション  
との関連を中心に—

柏 智久 美術史 173

2012夏・秋 名画に  
会いに行く 一歩進  
んだ展覧会ガイド  
Case 5 ヴァン・ダ  
イク イングランド  
国王を魅了した外国  
人画家

美術の窓 346

カレル・タイゲの一連の論稿に見る建築思想とその変遷「カレル・タイゲ研究(1)」	岩澤 入江	錠児 正之	日本建築学会計画系論文集	680	INFORMATION MEMORIAL 追悼・ジョン・チェンバレン「軽さ」という帰結—追悼ジョン・チェンバレン	沢山 遼	〃	964
アーサー・ダウ(Arthur Wesley Dow)の滞在日記—横浜観光—	岡崎 昭夫		筑波大学芸術研究報告	59	REVIEWS01 榎木野衣 月評第46回「クラッシュする彫刻史」ジョン・チェンバレン「Choices」展	榎木 野衣	〃	967
コラム 岩手・宮城・福島を訪れた3人の外国人建築家「ブルーノ・タウト」	大沼 正寛		建築雑誌	1626	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART3 Artist Files アダム・ブルームバーク&オリバー・チャナリン ファウンド・フォトで対テロ戦争時代の報道写真に挑戦	伊東 豊子	〃	971
ドイツ田園都市の研究 その(13) スラヴ民族主義からみたブルーノ・タウトの田園都市の本質	長谷川 章		東京造形大学研究報	13	3・11後を生きる 壁画に復興の願い重ね 岩手・大槌 台湾の芸術家ら 河北新報から「張家銘」		東京	8.17
『宇宙建築師』に見るブルーノ・タウトのユートピア的建築形態の生成方法	赤木 杉本	良子 俊多	日本建築学会計画系論文集	672	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第5回 曲豊国「チュウ・フェングオ」	梶川 強	ギャラリー一*	328
『アルプス建築』第5章に見られるブルーノ・タウトのユートピア的アイデアと形態群の生成方法	〃	〃	〃	677	SPECIAL FEATURE 頂上バトル! 日本近代美術の傑作150 107 曹良奎「チョ・ヤンギョ」 マンホールB	光田 由里	美術手帖	967
『アルプス建築』第3章に見られるブルーノ・タウトのユートピア的風景のデザイン法	〃	〃	〃	679	お手本画&秀作集 其ノ十 張曉文《月夜》	張 曉文	水墨画*	275
現代美術の歩き方 今月の一品 イ・ブルブルーノ・タウトに倣って(物事の甘さを自覚せよ)(部分)			美術の窓	342	現代中国書法事情 250「張有清」	種谷 萬城	書道界	276
コンテンポラリー・ファインアート 第6回 スタン・ダグラスとナラトロジー	大森 俊克		美術手帖	965	お手本画&秀作集 其ノ十一 趙龍光《黄山》	趙 龍光	水墨画*	276
INFORMATION MEMORIAL 追悼 アン・トニ・タビエス	松田 健児		〃	966	特集1 21世紀の無形文化遺産 丹誠と根気で結って組んだ花 メドゥップ匠: チョン・ボンソプ「程鳳燮」	朴坂野 諷	炫淑 慎治	コリアナ 19-3
特別掲載 ショーン・タン、別世界の創りかたを語る	小野 耕世		ユリイカ	606	サンドイッチ+スキヤナー=スキヤンウィッチの誘惑 ジョン・チョンコ著/三角和代訳『LOVE♡サンドイッチ』		芸術新潮	752
(チ)					エドワード・チリーダへのセミナー・オマージュに参加して	吉本 由江	芸術研究	25
インタビュー「わたしが求めた芸術の究極は愛である」彫刻家・崔鍾泰「チェ・ジョンデ」	崔金 明順	泰晩 訳	コリアナ	19-1	植民地期台湾美術のアイデンティティ—陳澄波と劉錦堂を中心に—	羽田ジェシカ	鹿島美術財団年報・別冊	29
「芸術」の解体と新しい劇場 「荒川匠&サージ・チェレブニン」展	松井みどり		美術手帖	965				



二〇一〇年度同志社  
大学大学院修士論文  
梗概 台湾植民地時  
代の画家 陳澄波に  
関する一考察—《日  
本二重橋》と《私の家  
庭》を事例として—

許 詩瑩 美学芸術  
学 27

特集 中国と東アジ  
ア—近代のコレクシ  
ョン形成と研究の背  
景 第3部 中国美術  
と東アジア 陳澄  
波の画業に見る東ア  
ジア美術交流

山梨絵美子 美術フォー  
ラム21 26

## (ツ)

第24回「高松宮殿下  
記念世界文化賞」受  
賞者決まる 絵画:  
蔡國強氏、彫刻:チ  
ェッコ・ボナノッテ  
氏ら5部門5氏 日  
本人では演劇・映像  
部門で森下洋子氏が  
選ばれる[ツァイ・  
グオチャン]

新美術新  
聞 1292

ことば 蔡國強さん  
(美術家)

大西 若人 朝 日 12.19

蔡さん「本当に光栄」  
NYでも笑顔[蔡國強]

産 経 9.13

芸術表現を追求 文  
化発展に貢献 第24  
回「高松宮殿下記念  
世界文化賞」受賞者  
の素顔 絵画部門  
蔡國強

〃 9.13

話の肖像画 火薬と  
創造 上、中、下  
世界文化賞受賞 現  
代美術家 蔡國強

海老沢 類 〃 10.16～  
18

世界文化賞受賞の蔡  
國強さんら会見

毎日夕刊 10.25

「尖閣」克服できる  
[蔡國強]

読 売 11.1

広告特集 画材ガイ  
ド02 クサカベ ゼ  
ファ×蔡國華

杉瀬 由希 美術手帖 976

INFORMATION  
AUTHOR この本の  
著者に会いたい 一  
人旅で体感した「あ  
の国」の現代[パトリ  
ック・ツァイ]

内田 伸一 〃 971

視線 モダンタイム  
ス パトリック・ツ  
ァイ著

北澤 憲昭 朝 日 6.10

モダンタイムス パ  
トリック・ツァイ著

日 経 6.17

## (テ)

海外通信 @北京  
沈遠「天梯」 程大鵬  
「可楽樂園」 急速な  
発展に冷めた視線

多田 麻美 朝日夕刊 8.29

カバーインタビュー  
シュテファン・ディ  
ーツ

小町 英恵  
インタビュー  
ー・文 A X I S 159

震災復興支援展覧会  
「生誕110周年記念  
ウォルト・ディズニ  
ー展」より「蒸気船  
ウィリー」

大平 剛 茨城県近  
代美術館  
だより 92

ぎやらりいモール  
茨城県天心記念五浦  
美術館「生誕110周年  
記念 ウォルト・ディ  
ズニール展」から  
「『ピノキオ』ポスタ  
ー」

〃 読売夕刊 9.18

新収蔵作品 ティツ  
ィアーノ・ヴィチェ  
ッリオ 《洗礼者ヨ  
ハネの首を持つサロ  
メ》

渡辺 晋輔 国立西洋  
美術館報 46

報告 2011年度新収  
蔵作品について[ティ  
ツィアーノ・ヴェ  
チェリオ]

〃 ゼフュロ  
ス 52

4「読ん」で知るアート  
食と現代アート  
食が生み出す「関係  
性の美学」[リクリッ  
ト・ティラバーニヤ]

岡部あおみ 朝日夕刊 5.30

REVIEWS02 清水穰  
月評第49回 多重性  
の政治 ヴォルフガ  
ング・ティルマンス  
作品集『Neue Welt  
新しい世界』

清水 穰 美術手帖 974

メトロポリタン美術  
館展から 風景が自  
己主張[ティントレ  
ット]

高野 清見 読売夕刊 10.10

ローマにおけるジョ  
ルジョ・デ・キリコ  
とメタフィジカ絵画  
—1918年から1925年  
までを中心に—

市川 直子 鹿島美術  
財団年報  
・別冊 29

須磨コレクションの  
スペイン近代絵画三  
作品に関する調査報  
告[アントニオ・ム  
ニョス・デグライン]

川瀬 佑介 長崎県美  
術館研究  
紀要 5

クリエイターズワー  
ク&ソウル デパー  
トメント・オブ・ア  
ーキテクチャー

A X I S 158

トーマス・デマンド のバルブ・ノンフイ クション写真術	光嶋 裕介 聞き手	芸術新潮	751	規制の潮流を超越 「瀧口修造とマルセ ル・デュシャン」展	宝玉 正彦 日 経	1.12
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files トーマ ス・デマンド		美術手帖	971	制約越えた漆 素材 感を堪能 「アール ・デコ 光のエレガ ンス」展[ジャン・デ ュナン]	室瀬 和美 東 京	7.2
SPECIAL INTER- VIEW 虚実の風景 が示すイメージの ライブラリー	トーマス・ デマンド 談長谷川祐子 聞き手 河野 晴子 翻訳・構成			特集 アートの力を 考える! PART 1 ジャン・デュビュッ フェ アール・プリ ュット	美術の窓	348
COLUMN 《大統 領》より作品への アプローチに迫る	編 集 部			美の履歴書276 乙女 たちのいるのはどこ 「エペソスの集いII」 ポール・デルヴォー	増田 愛子 朝日夕刊	10.17
ぎやらりいモール 東京都現代美術館 「トーマス・デマ ンド」から 「踊り場」 トーマス・デマンド	吉崎 和彦	読売夕刊	6.5	ぎやらりいモール 府中市美術館「ポー ル・デルヴォー 夢 をめぐる旅」から 「会話」 ポール・デ ルヴォー	音 ゆみ子 読売夕刊	10.16
デューラー「築城論」 草稿の試訳(2)[ア ルブレヒト・デュー ラー]	下村 耕史	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	43	大特集 永遠のイス タンブール 東西の 美と出会う都 イン タヴュー 書 ウル ・ベイ 「私が20 歳で書を始めた時、 仲間はずれにされ ていました」	ムスタファ ・ウウル・ デルマン 談 ジラルデッ リ青木美由 紀 通訳	芸術新潮 753
アルブレヒト・デュー ラーの芸術様式— その内面における 二極性について	青山 愛香	国立西洋 美術館研 究紀要	16	作家通信 個展を開 いて	田 建平 水墨画*	278
平成二十三年度東支 部例会 書物芸術と してのデューラーの 『聖母伝』—その物語 構造と修道院人文主 義の影響をめぐって—	新藤 淳	美術史	172	(ト)		
美の履歴書260 眼力 の強さ、何伝える 「ヤーコプ・ムッフ ェルの肖像」 アル ブレヒト・デューラ ー	西田 健作	朝日夕刊	6.27	小特集 パリと生き た写真家 ロベール ・ドアノー	平松 洋子 芸術新潮	748
ガスパー・デュゲ 《サビーニの山羊飼 い》	南 美幸	アマリス	106	ロベール・ドアノー Rétrospective ロベ ール・ドアノー著	日 経	5.13
マルセル・デュシャ ンのレディメイド、 《泉》をどのように語 るか	河本 信治	京都国立 近代美術 館研究論 集	4	文化往来 ドアノー と緒形拳の交流捉え た映像	川上典李子 A X I S	160
瀧口修造とマルセル ・デュシャン	水沼 啓和	千葉市美 術館ニュ ース C'n	61	ヘルシンキの新たな 交流の場に、「クル ットウーリサウナ」 プロジェクト[トゥ オマス・トイヴォネ ン]	村上 博哉 国立西洋 美術館報	45
対照的な2人の交流 瀧口修造とマルセル ・デュシャン展	大西 若人	朝日夕刊	1.18	新収作品 オノレ・ ドーミエ《果物を取 り合う二人の童子》	齋藤 達也 日仏美術 学会会報	31
美術評 瀧口修造と マルセル・デュシャ ン レンズとしての レディメイド	古谷 利裕	東京夕刊	1.24	エドガー・ドガにお ける切断の技法—絵 画表現、同時代受容、 写真との関係をめぐ って		

例会発表要旨 第117  
回例会：近代美術史  
研究の諸相—生成か  
ら受容まで エドガ  
ー・ドガとモチーフ  
の切断

齋藤 達也 日仏美術  
学会会報 31

眼と脳がアートを創  
造【つく】る 第2、  
3回—ドガの場合  
(前・後編)

深作 秀春 美術の窓 341、342

フィリッポ・ドブリ  
ッラ、2011年—ヴ  
ェネツィア・ビエン  
ナーレを含む一連の  
展覧会—

瀬分 緑  
甲斐 教行 五浦論叢 19

美・博ピックアップ  
社会が動いた静かな  
訴え 東京都写真美  
術館「ストリート  
・ライフ」ジョン  
・トムソン「徘徊者  
たち」

河瀬 久美 朝日夕刊 1.11

ドラクロワ作『墓地  
のハムレット』とホレ  
ーシオ』諸作品をめ  
ぐって—演劇の豊饒  
さから絵画独自の効  
果へ—【ウジェーヌ  
・ドラクロワ】

西嶋 亜美 美術史 172

様式と自由：アンド  
レ・ドランの《木立》

阿部 真弓 国立新美  
術館ニュー  
ース 22

クリストファー・ド  
レッサー 色絵椿文  
龍花瓶(一対)

佐藤 秀彦 ザ・ルー  
フ 39

REVIEWS06 ダリル  
・ウィー 新人月評  
第8回 植民地アー  
カイブの解放 クリ  
スチャン・トンブソ  
ン「私たち自身の葬  
送」展

ダリル・ウ  
ィー 近藤 亮介 美術手帖 975

(二)

追悼 建築家 ニー  
マイヤー氏 新天地  
に築いた理想の造形  
美【オスカー・ニー  
マイヤー】

馬場 璋造 産 経 12.9

顔 第5回国際漫画  
賞最優秀賞を受賞し  
た日系スペイン人漫  
画家 JM ケン・ニ  
イムラさん

藤原 善晴 読 売 3.9

作品ひとつ【ベン・  
ニコルソン】

松下 由里 群馬の森  
美術館ニ  
ュース 149

バーネット・ニュー  
マン—形成期の作品  
に関して

塩津 青夏 愛知県美  
術館研究  
紀要 18

画面の深度—バーネ  
ット・ニューマンの  
絵画における空間認  
識の変容—

吉田 侑季 美術史 172

(ネ)

from the World ミッ  
ドセンチュリーの巨  
人、ジョージ・ネル  
ソンの回顧展

吉田 実花 A X I S 160

(ノ)

特集1 21世紀の無  
形文化遺産 20歳で  
嫁いで学んだ綿織物  
セッコールナイの人間  
文化財：ノ・ジンナ  
ム【魯珍男】

朴 炫淑  
坂野 慎治 コリアナ 19-3

SPECIAL FEATURE  
頂上バトル！日本近  
代美術の傑作150  
097 イサム・ノグチ  
かぶと

高橋 幸次 美術手帖 967

カジュアル美術館  
真夜中の太陽 イサ  
ム・ノグチ 横浜美  
術館 穴の奥 何かが  
潜む

三沢 典丈 東京 11.18

(ハ)

21世紀のアーティスト  
ハ・サンリム

ギャラリー  
ー\* 330

SPECIAL FEATURE  
デミアン・ハースト

美術手帖 969

PART 1 : EXHI-  
BITION テート・  
モダンでの大回顧  
展開幕

伊東 豊子

担当キュレーター  
アン・ギャラガー

〃

REVIEW 芸術家  
デミアン・ハース  
トの第一幕

〃

「コンプリート・  
スポット・ペイン  
ティング 1986—  
2011」展

藤森 愛実

DIALOGUE 最新  
インタビュー デ  
ミアン・ハースト  
×ニコラス・セロ  
ータ テート館長

デミアン・  
ハースト  
談 ニコラス・  
セロータ  
聞き手  
奥村 雄樹  
翻訳

PART 2 : INTER-  
VIEW マット・コ  
リショー アーテ  
ィスト

マット・コ  
リショー  
談 伊東 豊子  
取材・文

PART 2: INTERVIEW ティム・マローウ ギャラリー・ディレクター	ティム・マローウ 談 伊東 豊子 取材・文			2 ペレウスの饗宴 招かれざる客の訪れ	高橋 裕子	7.10
PART 2: INTERVIEW ランキン 写真家	ランキン 談 三宅 由希 取材・文			3 F.S.エリス 編集「チョーサー著作集」 空間埋め尽くす意匠	林 望	7.11
PART 3: CHRONOLOGY 年表 デミアン・ハーストの軌跡 1965—2012	伊東 豊子 監修 熊倉 晴子 編集・文			4 聖杯堂の前で見る騎士ランズロットの夢 美青年の疲れた寝顔	太田 治子	7.12
PART 4: ANALYSIS ハンス・ウルリッヒ・オプリスト × デミアン・ハースト	デミアン・ハースト 談 ハンス・ウルリッヒ・オプリスト 聞き手 奥村 雄樹 翻訳			5 眠り姫—連作「いばら姫」 美しい文明への予感	森下 洋子	7.13
PART 4: ANALYSIS スチュアート・モーガン 美術評論家	スチュアート・モーガン			お手本画&秀作集 其ノ十七 培霊《懐古》	培 霊 水墨画*	284
海外通信 @ロンドン ダミアン・ハースト展 生と死 四半世紀を回顧	菅 伸子	朝日夕刊	6.27	連載 1、2 James Lee Byars “Days in Kyoto” [ジェームス・リー・バイヤース]	坂上しのぶ あいだ	197、198
World News Berlin 「シークレット・ユニヴァース3 モートン・パートレット」展 もう一人のヘンリー・ダーガー? 少年少女人形との秘かな戯れ	かないみき 取材	芸術新潮	754	特集 デッサン力を磨く 秘技法講座 VOL.25 人気作家8名の制作プロセス公開 ロバート・ハインデルのデッサン わずか数本の線が肉体を捉える	米田 耕司 美術の窓	340
連載 再建への意志: 図面のなかの都市復興 no.12 サンフランシスコの震災復興計画 [ダニエル・バーナム]	阿部 祐子	建築雑誌	1639	ビッティ宮のベルギーノ作《哀悼》におけるフランドル絵画の影響—ディルク・パウツ作《フォスカリ家の祭壇画》との関係について	江藤 匠 日仏美術学会会報	31
第六十三回美学会全国大会報告 発表要旨 エドワード・バーン=ジョーンズ作《ペルセウス・シリーズ》にみるキリスト教世界	久保 美枝	美術学	241	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files バク・スンウ 写されたものの真偽を再考し超越する	中森 康文 美術手帖	971
2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 8 エドワード・バーン=ジョーンズ 夢の世界を描き続けた画家	加藤 明子	美術の窓	346	お手本画&秀作集 其ノ九 白浪《壺と果実》	白 浪 水墨画*	274
バーン=ジョーンズ展 装飾と象徴		東京夕刊		SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files トレヴォー・バグレン 見えるもの/見えないものを露にするポリディカルな風景	藤森 愛実 美術手帖	971
1 運命の車輪 奇妙に実体のない肉体	青柳いづみこ		7.9	特集 アートの力を考える! PART 1 ジャン=ミシェル・パスキア ジャズのように生命を歌う	美術の窓	348
				完璧なフォルムを目指すアルド・バッカのデザインプロセス	土田 貴宏 A X I S	157

2020年五輪の舞台に？ 新国立競技場デザイン決定[ザ・ハ・ハディド]	東京	11.16			二十世紀美術断想2 〜9 ビカソ I-VIII	栗津 則雄	美術の窓	344〜351
2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 3 フランス・ハルス 見るべきはその筆致！			美術の窓	346	ピカソ最大作品展示へ 大きすぎてやっ と収容		東京夕刊	4.27
特集 アール・デコのエレガンス ジョルジュ・バルビエとジャン＝エミール・ラブルール			版画芸術	155	ぎやらりいモール 小杉放菴記念日光美術館「ジョルジュ・ビゴと日光」から「三陸大津波 大船渡の惨状」 ジョルジュ・ビゴ	迫内 裕司	読売夕刊	1.10
ジョルジュ・バルビエのファッション・プレート					ピサネッロ作ブレンツォーニ家墓碑装飾をめぐる一考察	鈴木 幸野	美術史学	33
ジョルジュ・バルビエのいとも豪華な挿絵本					ショート・エッセイ カミーユ・ピサロと印象派—永遠の近代	鈴木 慈子	ART RAMBLE	36
グラフィック・アートの黄金時代	鹿島 茂				カミーユ・ピサロ作 《収穫》に見られる技法について	高嶋 美穂	国立西洋 美術館研究紀要	16
SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files ジュリアン・パロン 検閲の執行者を写真で逆センサーシップ	伊東 豊子	美術手帖	971		ピュリツァー賞 受賞写真 全記録 ハル・ビュエル著		日 経	1.22
ジェフリー・パワ研究 その3 パワの「ランドスケープ」における「人為の介在」の意味	高取 愛子	日本建築学会計画系論文集	674		九段下ビルの壁画保存へ 仏芸術家復興願い描く 解体業者も協力 最後の住人「美術館に」[ピラト]	小国 智宏	東京	2.1
街角アート まるで水島の親子のように [マルタ・パン]	星野 清一	新美術新聞	1279				(フ)	
ジャン・パオロ・パニーニの風景画に描かれた古代彫刻の同定	飯塚 隆	国立西洋美術館研究紀要	17		アルド・ファン・アイクの建築思想における時間概念について—「経験」の構造に関する分析を通して	朽木 順綱	日本建築学会計画系論文集	676
新収作品 ジョヴァンニ・パオロ・パニーニ《古代建築と彫刻のカプリッチョ》	高梨 光正	国立西洋美術館報	45		ぎやらりいモール ニューオータニ美術館「ヨーロッパ絵画に見る、永遠の女性美」から「愛しの小鳥」 アドルフ・ウィリアム・ブーグロ	太田美喜子	読売夕刊	3.27
		(ヒ)			フランソワ・ブーシェによるタピスリー連作《オペラの断章》—シャルル・コワペルとの対抗関係をめぐって—	小林亜紀子	東京芸術大学美術学部論叢	8
彫刻家シモーネ・ビアンコに関する研究—研究動向と今後の問題点	石井 元章	芸術文化研究	16		美の履歴書271 空が広いのはなぜ 「トルーヴィル近郊の浜」 ウジェーヌ・ブーダン	大西 若人	朝日夕刊	9.12
平成二十三年度東支部例会 アレッツォ・サン・フランチェスコ聖堂内陣装飾の考察—ピエロ・デッラ・フランチェスカとフランチェスコ会—	池上 公平	美術史	172		ガストン・フェビュスの『狩猟の書』—パリ、マザリーヌ図書館 ms. 3717の図像に関する一考察—	高木麻紀子	鹿島美術財団年報・別冊	29
所蔵作品調査レポート パブロ・ピカソの『流砂』(1966年刊)について	友井 伸一	徳島県立近代美術館研究紀要	13					

蘇るフェルメール・ブルー《手紙を読む青衣の女》修復物語[ヨハネス・フェルメール]	林 綾野	芸術新潮	745	フェルメール作品来日ラッシュ 謙虚な美 日本人魅了	小川 敦生	日経夕刊	1.10
わたし一人の美術時評 第25回 フェルメール・ブームの煽られ方	藤田 一人	〃	753	いま風 火曜日 名画礼賛のマナー 画家の旅路を旅する 福岡伸一 生物学者[ヨハネス・フェルメール]	福岡 伸一	読売夕刊	1.24
ヨハネス・フェルメールへの慕情—一九五三年、ブルー・スト著『失われた時を求めて』における最初の出会いから—	上原 和	成城文芸	221	「MOTコレクション」展開連シンポジウム「現代美術史をいかに語るか—クロニクル/アナクロニクル」採録 講演Ⅱ 林道郎「アレゴリーとしての『人質』: アンフォルメルと『具体』についての話」[ジャン・フォートリエ]	藤井 亜紀	東京都現代美術館年報・研究紀要	14
2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 1 フェルメール 光の輝きに魅せられる		美術の窓	346	特集 アートの力を考える! PART 1 ジャン・フォートリエ レジスタンスの芸術		美術の窓	348
文化の扉 はじめてのフェルメール 謎めく人生と作品に酔う	大西 若人	朝 日	2.27				
ののちゃんの自由研究 「マウリッツハイス美術館展」編[ヨハネス・フェルメール]	西岡 一正	〃	5.9	第六十五回全国大会研究発表要旨 ルーチョ・フォンターナのネオン作品と未来派の記憶—エンリコ・ブランボリーニによる展示装置との関係を中心に—	巖谷 睦月	美術史	173
ニュースを読み解く ウェブサイト WEB-RONZAから「耳飾りの少女」人気のわけ[ヨハネス・フェルメール]	矢田 義一	〃	8.21	日本におけるルチオ・フォンターナの受容とその影響	谷藤 史彦	ふくやま美術館・書道美術館紀要*	6
福岡伸一×田中三蔵 仮説を語る 想像ふくらむフェルメール顕微鏡の観察画を描く?スピノザと親交? ハイライトで問いかける 光の科学 知っていた ジャンル超え広く交遊	福岡 伸一 田中 三蔵	朝日夕刊	1.11	ARTIST INTERVIEW サイモン・フジワラ	長谷川祐子	美術手帖	962
フェルメールからのラブレター展 よみがえる光		〃	1.16	漫画「チェルノブイリ」著者来日 「福島」のストレス 似ている[ナターシャ・ブストス]		読 売	3.29
オランダ社会の成熟 41作品	ダニエル・ローキン 談			ニコラ・ブッサンにおける素描と彩色の問題—色彩論争と「モードの理論」を手がかりに—	望月 典子	鹿島美術財団年報・別冊	29
鮮やかな色と細部修復の成果	大西 若人			ブッサンの歴史風景画の意味構造に関する研究	栗田 秀法	〃	〃
彩・風・美 フェルメールとの対話	林 綾野	〃	1.25	ブッサンとヴィーリクス	木村 三郎	日本大学芸術学部紀要	56
4「読ん」で知るアート 映画に見る絵画 狙われるフェルメール	滝本 誠	〃	12.12	研究ノート ブッサン作《アルカディアの牧人たち》(ルーブル美術館蔵)—「知恵」と「恒心」のテーマをめぐって—	栗田 秀法	美学美術史研究論集	26
美の扉 フェルメールの名画 来日ラッシュ 真珠をめぐる謎		産 経	7.15				

ピサのカンポサントの《最後の審判と地獄》—教訓を垂れる審判図—[ブオナミーコ・ブッフアルマッコ]	絹川 陽子	美術史	172	淡い色彩と「手の知性」[モニック・フリードマン]		読 売	2.23
不在の建築／建築の不在—喪失へのまなざしと縁の設計[アルベルト・ブッリ]	澤田 航	ファウンテン	3	エクスペリメンタ・デザイン2011レポート「ユースレス」に込めた意図 ポルトガルのブルーノ・ムナリー、フェルナンド・ブリジオ	中島 恭子	A X I S	155
本だな 心ってよく分からない『この家』[イヴォナ・フミエレフスカ]		読売タ刊	4.14	特別寄稿 新発見! ブリュウゲルの超大作《聖マルティンのワイン祭り》が語るもの 前・後篇[ピーテル・ブリュゲル]	森 洋子	芸術新潮	747、748
第六十五回全国大会研究発表要旨 ヘンリー・フュスリの詩的模倣論と人体造形—視相学による身体デザインの化—	松下 哲也	美術史	173	民衆の叫び赤裸々 ブリュウゲル「聖マルティンのワイン祭り」 「発見された大作」画家の新たな一面	〃	朝日タ刊	1.18
北ホラント公文書館所蔵の製本手引書に関する考察: 画家デ・ブライの描いた『ビブリア』製本の手引き』について[デイルク・デ・ブライ]	野村 悠里	文化資源学	10	コンテンポラリー・ファインアート 第7回 リチャード・プリンス(アプロプリエーションと収集)	大森 俊克	美術手帖	974
寄付報告と購入作品 [フランク・ブラングイン]	大屋 美那	ゼフュロス	52	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files アダム・ブルーームバーク&オリバー・チャナリン ファウンド・フォトで対テロ戦争時代の報道写真に挑戦	伊東 豊子	〃	971
特集 美術と検閲		西洋美術研究	16	論考 ハミッシュ・フルトンの彫刻性について	渡部 葉子	慶応義塾大学アート・センター年報	19
研究ノート ブランクーシとアメリカ 1927-28年、《空間の鳥》をめぐる裁判[コンスタンティン・ブランクーシ]	野田 弥生			現代美術の歩き方 今月の一品 ルボッシュ・プルニー「無題」	松岡 剛	美術の窓	344
原典資料紹介 C・ブランクーシ対アメリカ合衆国《空間の鳥》をめぐる裁判の速記録抄訳	野田 弥生 解題・訳			現在通信 From NEW YORK フレイヴィンの素描[ダン・フレイヴィン]	富井 玲子	新美術新聞	1284
INFORMATION MEMORIAL 追悼 ヘレン・フランケンサラー	沢山 遼	美術手帖	965	特集 アートの力を考える! PART 1 ルシアン・フロイド 存在(肉体)の輝き		美術の窓	348
第六十五回全国大会研究発表要旨 ルーチョ・フォンターナのネオン作品と未来派の記憶—エンリコ・ブランボリーニによる展示装置との関係を中心に—	巖谷 睦月	美術史	173	不思議な出会い。三つの作品をめぐる [ルシエンヌ・プロック]	深谷 克典	アートペーパー	89
現代美術の歩き方 今月の一品 モニック・フリードマン カレイドスコープ	白坂 ゆり	美術の窓	340			(へ)	
				作品 「come to see akita【1】」 「come to see akita【2】」	斐 鎮夷	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16

史料紹介と研究 日本関係初期ベアト(Beato)写真の史料学的研究—在外写真コレクションを中心にして その一—[フェリーチェ・ベアト]	谷 昭佳	東大画像史料解析センター通信*	58	アントニオ・ベルッ チのイギリス時代の 下絵—旧松方コレク ション2作品の作者 の同定	河上 眞理	国立西洋 美術館研 究紀要	16
美の履歴書246 頭巾 の女性の正体は「冬 着姿の女性」 フェ リーチェ・ベアト	西岡 一正	朝日夕刊	3.21	World News Paris 「フェデリコ・ベル トラン＝マッセス」 展 忘れられた画家 マッセスのエロスよ、 再び	羽生のり子 取材	芸術新潮	750
生麦事件150年 横 浜で企画展 殺害英 国人の手紙初公開[フ ェリーチェ・ベアト]	早川 保夫	読 売	9.5	World News New York 「ベルニーニ スカルプティング・ イン・クレイ」展 粘土でこそ実力がわ かる 圧巻!ベルニ ーニの驚異テク[ジ ャン・ロレンツォ・ ベルニーニ]	前橋 重二	"	756
INFORMATION PEOPLE オリバー ・ペイン、世界初個 展を東京で開催	工藤 キキ	美術手帖	969	小説家 平野啓一郎 が見た美術展 「ア ーヴィング・ペンと 三宅一生 Visual Di alogue」展	平野啓一郎	日 経	1.12
特集 アートの力を 考える! PART 1 フランシス・ペー コン 実存	保坂健二郎	美術の窓	348	デザイナーと写真家 創造の過程を探る 六本木で「ペンと一 生」展	岸 桂子	毎日夕刊	3.5
ピカソと並ぶ美の巨 匠 フランシス・ペ ーコン展—没後アジ ア初の回顧展		日 経	12.16	眼と脳がアートを創 造[つく]る 第12回 ボール・ヘンリーの 場合	深作 秀春	美術の窓	351
須磨コレクションの スペイン近代絵画三 作品に関する調査報 告[マヌエル・ベネ ディート]	川瀬 佑介	長崎県美術 館研究 紀要	5	(ホ)			
World News New York 「カールステン ・ヘラー 体験」展 カールステン・ヘラ ー アートという名 の遊園地	由本みどり 取材	芸術新潮	746	ボイスの足型取り、 あれこれ[ヨーゼフ ・ボイス]	若江 漢字	国立国際 美術館ニ ュース	190
戌も歩けば beau[ボ ー]に当たる 第三 十八回 プラドの怪 [ディエゴ・ベラス ケス]	竹田 博志	美術の窓	351	現代中国巧藝事情76 〜78 緑緑堂主人・ 豊子愷1〜3	仲 佑樹	書 道 界	275〜277
展覧会評 シャルロ ット・ペリアンと日 本	藤原 貞朗	ジャポニ スム研究	32	『護生画集』解題(1) —豊子愷の仏教婦依 から第一集まで—	大野 公賀	東洋文化 研究所紀 要	162
ピッティ宮のベルジ ーノ作《哀悼》にお けるフランドル絵画 の影響—ディルク・バ ウツ作《フォスカリ 家の祭壇画》との関 係について	江藤 匠	日仏美術 学会会報	31	from the World ショ ップを立ち上げたボ ーンチェとコクセッ ジ[トード・ボーン チェ]	中島 恭子	A X I S	158
アードルフ・ヘルツ ェルの画面構成理論 について	青木 加苗	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	56	from the World ヴェ ネチアからのイメー ジ カーテン・イン スタレーション「レ プリカ」[アイジッ ト・ボスタン]	小町 英恵	"	160
例会・研究発表会要 旨 アードルフ・ヘ ルツェルの色彩理論 とその位置づけにつ いて	"	美 学	240	第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 デイヴィッド・ ホックニーの《劇中 劇》(一九三〇年)— 一九六〇年代に描か れたカーテンの連作 の文脈から—	田中 麻帆	美 学	241



デイヴィッド・ホックニーと《時》のパー スペクティブーマル セル・ブルースト 『失われた時を求め て』との関わりから —	田中 麻帆	美術史	172	ボナノッテさん、千 住博さんと対談 創 作を語る 表現した いのは「人の内面」	〃	10.31
海外通信 デービッ ト・ホックニー大個 展 風景画に新境地	菅 伸子	朝日夕刊	3.7	追悼 イタリア陶芸 界の奇才 フェデリ コ・ボナルティ	柴辻 政彦	陶 説 716
建築家ジュゼッペ・ ボッジによるミケラ ンジェロ広場の形態 と機能 フィレンツ ェの近代都市改造に 関する研究	會田 涼子	日本建築 学会計画 系論文集	678	マッテオ・ボネキの サンテジーディオ聖 堂装飾試論	甲斐 教行	五浦論叢 19
ボッティチェリ作 《柘榴の聖母》—公 注文としての円形画 の聖母子像—[サン ドロ・ボッティチェ リ]	江尻 育世	京都美学 美術史学	11	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケ ット PART 2 アー ト界を動かすキーパ ーソン COLMUN 3 ARTIST ウィリアム ・ボハイダ	藤森 愛実	美術手帖 962
美の履歴書278 灯台 が意味するのは「ト ウライツの灯台」 エドワード・ホッパ ー	西岡 一正	朝日夕刊	10.31	古着の山が暗示 人 間の運命 被災地歩 いた仏作家が新作[ク リスチャン・ボルタ ンスキー]	窪田 直子	日経夕刊 8.20
鏡をもつ女 フェル ナンド・ボテロ	奥野 克仁	KENBI LETTER	78	ジャクソン・ポロッ ク再考	岡崎乾二郎 松浦 寿夫	ART TRACE PRESS 2
ビエール・ボナール の《男と女》と世紀 転換期の室内空間を めぐって	永澤 桂	女子美術 大学研究 紀要	42	ジャクソン・ポロッ クと近代の伝統②③	ウィリアム ・ルービン 野田 吉郎 訳	〃 〃
例会発表要旨 第117 回例会：近代美術史 研究の諸相—生成か ら受容まで ビエール ・ボナールの風景 画の作品生成—バン ベルグ財団美術館所 蔵《松の森》(1924)を 中心に	吉田 映子	日仏美術 学会会報	31	ポロックの余白に (2)—ダンス、ドラ イブ、プリヴェンシ ョン	林 道郎	〃 〃
特集 画廊とアーテ ィストの繋がり ヒ ロ画廊×チェッコ・ ボナノッテ		ギャラリ ー*	331	展評 生誕100年 ジャクソン・ポロッ ク展	深谷 克典 山田 論	アートベ ーバー 88
第24回「高松宮殿下 記念世界文化賞」受 賞者決まる 絵画： 蔡國強氏、彫刻：チ ェッコ・ボナノッテ 氏ら5部門5氏 日 本人では演劇・映像 部門で森下洋子氏が 選ばれる		新美術新 聞	1292	特集 生誕100年 ピカソよりメチャク チャ? でも世界一 高い抽象画家ポロッ クの見方教えます。 Jackson Pollock		芸術新潮 747
芸術表現を追求 文 化発展に貢献 第24 回「高松宮殿下記念 世界文化賞」受賞者 の素顔 彫刻部門 チェッコ・ボナノッ テ 人間を主題に希 望の光を		産 経	9.13	手も目も偶然も裏 切る	朝吹真理子	
				Lesson 1 まずは 来日中の話題作で 鑑賞のツボをおさ えましょう。	大島 徹也	
				Lesson 2 西部に 生まれニューヨー クで格闘す	〃	
				Lesson 3 絵画の 歴史を変えたポロ ック「5つの革命」	〃	
				Lesson 4 開拓者 ポロックにつづけ ! 多彩なる後継 者たち	〃	
				Lesson 5 ポロッ クは国策で作られ たアメリカン・ヒ ーローか?	〃	

ポロック値上がり 史	編 集 部				前田ジョン インタ ビュー「クリエイ ティビティとはリス クを取ることに」	石橋 勝利	A X I S	159
特集1 生誕100年ジ ャクソン・ポロック 展		現代の眼	592		美の履歴書277 顔つ きより雄弁なのは 「徴税吏たち」 クエ ンティン・マセイス	大西 若人	朝日夕刊	10.24
Reading Jackson Pollock, Literally	尾崎信一郎							
日本初の回顧展と いう役割	中西 園子				戌も歩けば beau[ボ ー]に当たる 第三 十八回 プラドの怪 [ファン・パウティ スタ・マルティネス ・デル・マン]	竹田 博志	美術の窓	351
新美術時評 ポロッ クは潑墨の画家!!	島尾 新	新美術新聞	1283		INFORMATION ME- MORIAL 追悼ジョル ジュ・マチウ 仏蘭 西のサムライージョ ルジュ・マチウ追悼	芳賀 徹	美術手帖	974
全美フォーラム05 ポロック展を終えて	大島 徹也	ZENBI	2		ジョルジュ・マチウ を悼む「身ぶりの 絵画」日本にも影響	岸 桂子	毎日夕刊	7.12
特集 アートの力を 考える! PART 1 ジャクソン・ポロッ ク 混沌と秩序		美術の窓	348		仏漫画 マチュール さん新作『3秒』 高い 推理性 読み手を刺 激[マルク=アント ワース・マチュール]	森本 昌彦	産 経	4.5
美術評 ジャクソン ・ポロック展 具象 イメージを希求	古谷 利裕	東京夕刊	2.24		《FLUXUS Now》3 「補遺」 マチュール ナスによるマニフェ スト 1965	ジョージ・ マチュールナ ス 小野寺奈津 訳	あいだ	192
ジャクソン・ポロッ ク展 1 内なる不安 描く「無題 自画像 」1930〜33年頃 ポロック=クラズナ ー財団蔵	前田 恭二	読売夕刊	2.14		World News London 「ポール・マッカー シー 王、島、列車 家、船」展 ポール ・マッカーシー「裸 の王様」の祀り方	伊東 豊子	芸術新潮	746
不在の建築/建築の 不在一喪失へのまな ざしと縁の設計[レイ チェル・ホワイト リード]	澤田 航	ファウン テン	3		SPECIAL FEATURE ライアン・マッギン レー ニューヨーク の若きスーパースタ ー 自由と躍動、生 命の輝きあふれる理 想郷		美術手帖	976
新刊紹介 洪成潭 『光州「五月連作版画 一夜明け」ひとが ひとを呼ぶ』		あいだ	197		GALLERY NEW WORKS			
通信 J to A アジア へ39「新しい社会を 夢見て芸術で答えを 出すのが芸術家だ」 [洪成潭]	黒田 雷児	新美術新聞	1294		INTERVIEW ロン グ・インタビュー	ライアン・ マッギンレ ー 談 伊東 豊子 取材・文		
Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第2回 洪 凌[ホン・リン]	梶川 強	ギャラリ ー*	324		REVIEW ライアン ・マッギンレー その写真にみる 「絆」	大森 俊克		
	(マ)				マッギンレー、東 京での1週間			
お手本画&秀作集 其ノ十二 馬艶《千 年樹》	馬 艶	水墨画*	277		INTERVIEW 1 ホ セ・フレイレ	藤森 愛実		
作家通信 朗読ユニ ットと水墨画のコラ ボ	〃	〃	278		INTERVIEW 2 ダ ン・コレン	〃		
特集 秋の制作シー ズに贈る18作家の 水墨世界 馬驍 水 河の音	〃	〃	282					
Twelfth Nightにおけ る Viola のフィギュ レンポジション[ニ コラス・マース]	滝川 睦	名古屋大 学文学部 研究論集	172					

INTERVIEW 3 キ ャシー・ライアン	藤森 愛実			19世紀消費社会にお ける女性のイメージ —エドゥアール・マ ネの《フォリーニベ ルジュールのバー》 とカフェ・コンセー ル主題の作品—	井方真由子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29
HISTORY アーテ ィストの半生と作 品 1977—2012	伊東 豊子 文・構成			1879年のマネとゾラ —共和派政権の誕生 と市庁舎壁画プラン を中心に	吉田 典子	近代	107
写真集で迫るマッ ギンレーの世界	桐谷麗子			特集 西洋美術とジ ェンダー—視ること の制度 オランピア、 ナナ、そして永遠の 女性—マネ、ゾラ、 セザンヌにおける絵 の中の女の眼差し	〃	言語文化	29
GALLERY 音楽、 広告、雑誌の仕事	佐久間裕美 子			特集 美術と検閲		西洋美術 研究	16
ライアン・マッギ ンレーのお気に入り 写真集	藤森 愛実			マネ、政治、検閲 《皇帝マクシミリ アンの処刑》をめ ぐって	三浦 篤		
CONVERSATION 対談：ガス・ヴァ ン・サント×ライ アン・マッギンレ ー	ガス・ヴァ ン・サント、 ライアン・ マッギンレ ー 対談 奥村 雄樹 訳			原典資料紹介 マ ネ作《皇帝マクシ ミアンの処刑》 に関する資料	寺田 寅彦		
ESSAY クリス・ クラウス 偽フィ クション、神話、 偶発性	クリス・ク ラウス 梅宮 典子 訳			例会発表要旨		日仏美術 学会会報	31
World News Paris 「マティス 対 シ リーズ」展 同じモ ティーフ、でもちよ っと違う、一粒で二 度おいしいマティス [アンリ・マティス]	羽生のり子 取材	芸術新潮	749	第117回例会：近 代美術史研究の諸 相—生成から受容 まで エドゥアー ル・マネとエミール ・ゾラ—1868年 のサロン批評に見 る画家とモデル	井口 俊		
World News Caracas アンリ・マティス 《赤いパンタロン のオダリスク》の盗難 事件をめぐる 贋 作を拝み続けて幾年 月 マティスもびっ くりの最長記録	前橋 重二	〃	754	第120回例会：美 術批評の言語—エ ミール・ゾラと「タ シュ」の概念を中 心に マネの筆致 をどう記述するか —「タシュ tache」 とゾラの撞着語法	藤原 貞朗		
論文要旨《修士》 アンリ・マティスのモ ロッコ作品について	大久保 優	美術史論 集	12	研究報告 エドゥア ール・マネ《自画像》 (下)	島田 紀夫	ブリヂス トン・石 橋美術館 報*	60
美術評 大エルミ タージュ美術館展「赤 い部屋」 分離する 三層が共存[アンリ ・マティス]	古谷 利裕	東京タ刊	6.1	アルベール・マルケ 《ヴィレンヌのセー ヌ川、朝》		上原近代 美術館だ より	54
学会活動報告 第八 四回大会 マナンサ ラ作《最初の十字架 がたてられる》—フ ィリピン近代美術に おけるキュビズムと 歴史画—[ヴィンセ ンテ・マナンサラ]	古沢ゆりあ	デアルテ	28	失われたパリの復元 I マルシアル『いに しへのパリ』との出 会い[アドルフ・マル シアル=ボテモン]	鹿島 茂	芸術新潮	745
マネ《オランピア》に おける近代性と古典 性[エドゥアール・ マネ]	松田冬桜子	学習院大 学哲学会 会報	25	資料紹介 ウィリア ム・マurlリディ素描 複製画—東京国立博 物館蔵「石版画」より —	遠藤 楽子	MUSEUM	637

- イザベッラ・デステ  
による君主称揚—マン  
ンターニャ作《バル  
ナッソス》における  
特異な図像表現の再  
解釈[アンドレア・  
マンターニャ]
- 神谷久美子 芸 術 学 15
- マンターニャ作サン  
・ジョルジョ城内礼  
拝堂祭壇画再考
- 小松原 郁 美学芸術  
学 27
- 宗教都市マントヴァ  
—君主ルドヴィーゴ  
・ゴンザーガの野心  
とマンターニャによ  
るその視覚化—
- 〃 文化学年  
報 61
- (ミ)
- 収蔵作品から ルー  
トヴィヒ・ミース・  
ファン・デル・ロー  
エ
- 三木 敬介 ど お む 115
- ミース・ファン・デ  
ル・ローエの煉瓦造  
田園住宅案のバース  
と平面図の関係
- 佐野 潤一 日本建築  
学会計画  
系論文集 672
- ミケランジェロのピ  
エタ：そこに見るキ  
リスト教信仰の変容
- 篠原 治道 ART  
LIBRARY 13
- 翻訳 ミケランジェ  
ロの《二人の公爵》
- カルロ・デ  
ル・ブラ  
ヴォ  
甲斐 教行  
訳・注解 五浦論叢 19
- ミケランジェロ作サ  
ンタ・マリア・ソプ  
ラ・ミネルヴァ聖堂  
の《キリスト》再考—  
再発見されたバッサ  
ーノ作品との比較を  
通じた造形分析
- 新倉 慎右 美 学 240
- ミケランジェロ作  
《コロンナ・ピエタ》  
の図像学とそのコピ  
ーの問題
- 嶋谷 昭彦 文化学年  
報 61
- 学芸員コラム vol. 1  
《メデューサ》と『サン  
チアゴ—音楽と身振  
り—』[アルフォン  
ス・ミュシャ]
- 新谷 式子 ミュシャ  
・ミュー  
ジアム・  
ニュース\* 1
- 堺市所蔵アルフォン  
ス・ミュシャコレク  
ション概要と近年の  
調査報告
- 作花 麻帆 堺市博物  
館研究報  
告 31
- 土居君雄氏によるミ  
ュシャ・コレクション  
収集の経緯と目的
- 新谷 式子 〃 〃
- 欧人異聞 故郷チェ  
コで連作描いたミュ  
シャ
- 樺山 紘一 日 経 7.1
- 巨匠への挑戦 —ジ  
ョン・エヴァレット  
・ミレイの絵画技法  
と《あひるの子》の模  
写について—
- 羽鳥あゆみ 大学院諸  
究 8・9
- カジュアル美術館  
種をまく人 ジャン  
・フランソワ・ミレ  
ー 山梨県立美術館  
歴史を刻んだ農民画
- 三沢 典丈 東 京 9.16
- (ム)
- 思い出す本忘れない  
本 懐かしい「今」が  
見える 赤ずきん  
シャルル・ペロー  
〈原作〉サラ・ムー  
ン〈写真〉
- 市川実和子 朝 日 6.10
- エクスペリメンタ・  
デザイン2011レポー  
ト 「ユースレス」に  
込めた意図 ポルト  
ガルのブルーノ・ム  
ナリー、フェルナン  
ド・ブリジオ
- 中島 恭子 A X I S 155
- 作品ひとつ[エドワ  
ルド・ムンク]
- 徳江 康行 群馬の森  
美術館ニ  
ュース 148
- World News New  
York ムンク《叫び》、  
オークションで落札  
もはや美術館には“高  
値”の花!? 史上最高  
額で落札されたムン  
ク《叫び》をめぐる嘆  
き
- 前橋 重二 芸術新潮 751
- 眼と脳がアートを創  
造[つく]る 第4～  
6回 ムンクの場合  
(前・中・後編)
- 深作 秀春 美術の窓 343～345
- ムンク「叫び」96億  
円落札
- 柳沢 亨之 読 売 5.4
- 秘蔵の「叫び」5月  
競売へ[エドワルド  
・ムンク]
- 読売夕刊 2.22
- 多様な文化の翻訳/  
介入を行う芸術家、  
アントニ・ムンタダ  
ス
- 浅倉 協子 A X I S 158
- (メ)
- 特集 西洋美術とジ  
ェンダー—視ること  
の制度 現代美術に  
おける〈蒐集〉の技法  
とジェンダーコレク  
ションの主観性/  
作家性[アネット・  
メサジェ]
- 香川 檀 言語文化 29

本づくし「感性に  
直接訴えるメッセー  
ジ」『エデナの世  
界』メビウス著/原  
正人訳 安次富 隆 A X I S 155

マンガの地平広がっ  
た メビウスさんを  
悼む 大友 克洋 朝 日 4.4

大波小波 メビウス  
の影響の輪 オ ー ム 東京タ刊 4.13

文化往来 仏コミッ  
クの巨匠、メビウス  
しのぶ特集 日 経 9.3

メビウスさんを悼む  
常に新しかったその  
線 浦沢 直樹 毎日タ刊 4.5

眼と脳がアートを創  
造[つく]る 第11、  
12回 シャルル・メ  
リヨンの場合(前・  
後編) 深作 秀春 美術の窓 350、351

## (モ)

from the World イン  
タラクションデザイ  
ンの生みの親、ビル  
・モグリッジ逝く 瀧口 範子 A X I S 160

下田津波 ロシア人  
が描く 幕末来航  
偶然に遭遇 港の惨  
状 震災ほうふつ[ア  
レクサンドル・モジ  
ヤイスキー] 福田 大展 東京タ刊 7.25

ぎやらりいモール  
松岡美術館「情熱と  
憂愁」から「若い女  
の胸像(マーサ嬢)」  
アメデオ・モディリ  
アーニ 小林真由美 読売タ刊 6.19

モネと日本趣味 そ  
の側面—《ラ・ジ  
ャポネーズ》の衣裳  
から見えるもの—[ク  
ロード・モネ] 横山 昭 美術史論  
集 12

眼と脳がアートを創  
造[つく]る 第1回  
モネの場合 深作 秀春 美術の窓 340

4[読ん]で知るア  
ート 画家のパートナ  
ー 多難なモネを支  
えた女たち[クロード  
・モネ] 千足 伸行 朝日タ刊 5.16

カジュアル美術館  
睡蓮 クロード・モ  
ネ 国立西洋美術館  
日本の美学自ら解釈  
絵に包まれ感じる光  
や、水、空気 三沢 典丈 東 京 7.15

ぎやらりいモール  
ボーラ美術館「印象  
派の行方—モネ、ル  
ノワールと次世代の  
画家たち」から「国  
会議事堂、バラ色の  
シンフォニー」 ク  
ロード・モネ 島本 英明 読売タ刊 5.1

まなざしの変革—大  
戦間期のドイツにお  
ける写真の状況とモ  
ホイ＝ナジ—[モホ  
イ＝ナジ・ラースロ  
ー] 中田 耕市 視 る 455

震災によって潰えた  
幻の展覧会図録 岡  
田温司監修『ジョル  
ジョ・モランディ』 芸術新潮 745

ウィリアム・モリス  
—芸術と政治(3) 勝俣 好充 純心人文  
研究 18

本だな 愛用の楽器  
が語ります『はば  
たけ、レイ!』[フラ  
ンク・モリソン] 読売タ刊 4.14

作家通信 中国画と  
日本画を原典に表現  
を広げて 文 問 水墨画\* 277

## (ヤ)

美の扉 ヤコブセン  
生誕110年「セブンチ  
ェア」リニューアル  
無着色で豊かな色彩  
[アルネ・ヤコブセ  
ン] 篠原 知存 産 経 1.8

塑像家としてのヤコ  
ボ・デッラ・クエル  
チャールネサンス塑  
像研究再考— 松本 悠子 美術史 172

ジバング体感 余白  
が生み出す美[イラ  
ン・ヤニツキー] 中沢 穰 東 京 4.16

評論の眼 奥村雄樹  
「ジュン・ヤン 忘  
却と記憶についての  
短いレクチャー」  
(「東京藝術大学大学  
院美術研究科博士審  
査展2011」より) 小金沢 智 ギャラリ  
ー\* 321

世界の中の韓国人  
常にチャレンジする  
アーティスト、梁慧圭 高 趙 美錫 訳 コリアナ 19-3

## (ユ)

お手本画&秀作集  
其ノ九 游筆基《心  
静自然》 游 筆基 水墨画\* 274

## (ラ)

作家訪問430 陶芸家  
デレック・ラーセン  
さん 編集部 目の眼 432

第24回「高松宮殿下  
記念世界文化賞」受  
賞者決まる 絵画:  
蔡國強氏、彫刻:チ  
ェッコ・ボナノッテ  
氏ら5部門5氏 日  
本人では演劇・映像  
部門で森下洋子氏が  
選ばれる[ヘニング  
・ラーセン]

新美術新聞 1292

芸術表現を追求 文  
化発展に貢献 第24  
回「高松宮殿下記念  
世界文化賞」受賞  
者の素顔 建築部門  
ヘニング・ラーセン  
光と空間の効果 周  
到に計算

産 経 9.13

高松宮殿下記念世界  
文化賞 建築部門  
ヘニング・ラーセン  
さん「光のドラマ」  
に魅せられて

岸本 佳子 10.3

ピーテル・ファン・  
ラール(通称バンボ  
ッacho)の風景表現  
:その様式の源泉と  
人的交流

千葉麻衣子 成城美学  
美術史 17・18

美の履歴書257 二つ  
の光が意味するのは  
「外から見た鍛冶屋  
の光景」 ライト・  
オブ・ダービー[ジ  
ョゼフ・ライト]

増田 愛子 朝日夕刊 6.6

夢遊する読書13 ラ  
ウシェンバークの軽  
やかな芸術[ロバ  
ート・ラウシェンバ  
ーク]

横尾 忠則 ユリイカ 607

PARIS 発 「最晩年  
のラファエロ」展

安部 雅延 新美術新聞 1296

二〇一〇年度同志社  
大学大学院修士論文  
梗概 豪華王キージ  
の誉れとラファエッ  
ロ作《ガラテアの勝  
利》—ヴィッラ・ファ  
ルネジーナの装飾プ  
ログラムの図像解釈—

藤井あゆみ 美学芸術  
学 27

はみ出し歴史ファイ  
ル ラファエロ ル  
ネサンス巨匠、放蕩  
の果て

青木 裕司 朝日夕刊 2.2

欧人異聞 アリスト  
テレス、経験を知に  
[ラファエロ・サン  
ツィオ]

樺山 紘一 日 経 12.30

ラファエロ 輝く晩  
年 ルーブル美術館  
企画展 三井 美奈 読 売 12.20

アンリ・ラブルース  
トの青年期と師匠た  
ち—18世紀の革新性  
の継承— 白鳥 洋子 名古屋造  
形大学紀 要 18

特集 アール・デコ  
のエレガンス ジョ  
ルジュ・バルビエと  
ジャン=エミール・  
ラブルール 版画芸術 155

J=E・ラブルール  
の都市風景

グラフィック・ア  
ートの黄金時代 鹿島 茂

批評 レター・レイ  
サーズ—ラメルジー  
と武装文字の空気力  
学 大山エンリ  
コイサム R E A R 28

第六十五回全国大会  
研究発表要旨 ルネ  
・ラリックの宝飾作  
品に見る十九世紀末  
女性幻想—装身具か  
ら装飾芸術へ— 樋田 麻純 美術史 173

アール・デコ 光の  
エレガンス 東京夕刊

1 ルネ・ラリッ  
ク カーマスコッ  
ト 《勝利の女神》  
スピード感溢れる  
力強さ 天野 知香 7.17

5 ルネ・ラリッ  
ク テーブル・セ  
ンターピース 《三  
羽の孔雀》 ガラ  
スに浮く光と影 石井 幹子 7.21

ぎやらしいモール  
箱根ラリック美術館  
「ラリックの鳥の世  
界」から「櫛『孔雀』」  
ルネ・ラリック 大塚 梓 読売夕刊 6.26

SPECIAL FEATURE  
デミアン・ハースト  
PART 2: INTER-  
VIEW ランキン 写  
真家 ランキン  
談 三宅 由希 美術手帖 969  
取材・文

## (リ)

特集1 石子順造  
「アルガマ」の交差  
—石子順造・李禹煥  
・中原佑介・中平卓  
馬 林 道郎 ART  
TRACE  
PRESS 2

李禹煥の芸術論とメ  
ルロ=ポンティの哲  
学 川瀬 智之 カリスタ 19

特集2 現代陶芸と造形 レポート：対談「作家の見た小川待子」李禹煥×小川待子 『二つのはじめの一步』 安藤 雅信 R E A R 27

美・コレクション本というオブジェ 李禹煥「作品」 岸 桂子 毎 日 10.10

お手本画&秀作集 其ノ十一 里燕《神々の山》 里 燕 水墨画\* 276

現代中国巧藝事情72〜75 美の伝道師一弘一法師1〜4 [李叔同] 仲 佑樹 書道界 271〜274

お手本画&秀作集 其ノ十三 李鉄君《大地之陽》 李 鉄君 水墨画\* 278

表紙図版解説 楽焼 駆鬼文皿 [バーナード・リーチ] 月森 俊文 陶 説 712

土の「可能と不可能」性—バーナード・リーチの造形思考 金子 賢治 // //

バーナード・リーチの窯 鈴木 禎宏 // //

バーナード・リーチは正しく伝えられてきたか? —エマニュエル・クーバー著『バーナード・リーチ生涯と作品』に見る 西 マーヤ // //

日本民藝館「作陶100年記念 バーナード・リーチ展」に寄せて 月森 俊文 // //

新刊紹介 日本民芸館所蔵 バーナード・リーチ作品集 日本民芸館学芸部編 杉野孝典・撮影 水尾比呂志・監修 唐沢 昌宏 // 713

愉しみの骨董18 [バーナード・リーチ] 豊島 愛子 目の眼 429

ニッポン人・脈・記 日英新世紀10「実用之美」を受け継ぐ [バーナード・リーチ] 吉田美智子 朝日夕刊 7.19

修士論文概要 アンリ・リヴィエール《エッフェル塔三十六景》再考 古屋 梨奈 早稲田大学大学院文学研究科紀要 57

SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 3 Artist Files ダグ・リカード ストーリー・ビューが捉えたアメリカの格差社会 伊東 豊子 美術手帖 971

平成二十三年度西支部例会 フィリッポ・リッピの描いた岩山をめぐる一考察 [フィリッポ・リッピ] 剣持あずさ 美術史 172

World News Berlin 「ゲルハルト・リヒター パノラマ」展 現代アートを牽引し続けるリヒター傘寿の全貌展 かないみき 取材 芸術新潮 749

PARIS 発 リヒターの大回顧展 安部 雅延 新美術新聞 1285

ゲルハルト・リヒターの冷戦期のフォト・ペインティングと《一九七七年十月十八日》 福田 千秋 美術史論集 12

おやすみ、はたらくくるまたち シェリ・ダスキー・リンカー文、トム・リヒテンヘルド絵、福本友美子訳 ぼうやもすやすやと眠りに 加納 裕子 産 経 9.16

ダニエル・リベスキンドによるドイツ連邦軍軍事歴史博物館のリデザイン 小町 英恵 A X I S 155

不思議な出会い。三つの作品をめぐる [ディエゴ・リベラ] 深谷 克典 アートペーパー 89

植民地期台湾美術のアイデンティティー 陳澄波と劉錦堂を中心に 羽田ジェシカ 鹿島美術財団年報・別冊 29

World News New York 「リン・ティエンミャオ パウンド・アンパウンド」展 人工の髪で覆われたリン・ティエンミャオの表情なき女たち [林天苗] 由本みどり 取材 芸術新潮 756

(ル)

ルソーからセラフィースヘーヴィルヘルム・ウーデ研究ノート [セラフィース・レイ] 遠藤 望 世田谷美術館紀要 13

批評 THERMOMETERS SHOULD LAST FOREVER—エドワード・ルーシェイの液体語(後編) イヴ=アラシ・ボワ 近藤 学 訳 R E A R 27

交遊抄 自然体の芸術家 [ジョルジュ・ルース] 岡部あおみ 日 経 7.28

World News London 「ルーベンスと英国」 展 英国王も公爵も 籠絡する和平使節ル ーベンスのしたたか 絵画社交術[ピーテ ル・パウル・ルーベ ンス]	前橋 重二	芸術新潮	747	オディロン・ルドン 「蜘蛛」	木村 一貫	WaveII	2
特集 美術と検閲 対抗宗教改革期の裸 体表現批判とルーベ ンス 芸術的審判の あり方をめぐって	中村 俊春	西洋美術 研究	16	ルドンのオルフェウ ス作品	六人部昭典	実践女子 大学文学 部紀要	54
2012夏・秋 名画に 会いに行く 一歩進 んだ展覧会ガイド Case 4 ルーベンス ドラマティックな肉 感派		美術の窓	346	コレスボンダンスの 核—ルドンの《目を 閉じて》に見る象徴 主義—	喜多崎 親	成城文芸	219
美の履歴書267 下絵 が物語ることは「聖 母被昇天(下絵)」 ピーテル・パウル・ ルーベンス	西岡 一正	朝日夕刊	8.15	第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 オディロン・ル ドン作版画集《聖ア ントワヌの誘惑》 の隠喩的構成と換喩 的構成	中村 泰士	美 学	241
Bonjour! Georges 第 16～18話[ジョルジ ュ・ルオー]	(増子)	Shiodome Museum Revue	18～20	第六十五回全国大会 研究発表要旨 オデ ィロン・ルドン作 《仏陀》再考	堀切 春水	美 術 史	173
日本におけるジョル ジュ・ルオーの紹介、 あるいはその受容に ついて	金澤 清恵	成城美学 美術史	17・18	美の履歴書240 なぜ パステル画なのか 「グラン・ブーケ」 オディロン・ルドン	西岡 一正	朝日夕刊	2.8
ジョルジュ・ルオー サーカス 道化師		日 経	11.25	岐阜県美術館所蔵 ルドンとその周辺		東京夕刊	
渡英後のアルフォン ス・ルグロワロダン 作品のプロモーション とアイオニディス・ コレクションの形 成—	安藤 智子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	29	中 神秘的で深奥 な黒	中林 忠良		1.31
チャンディガール州 都計画におけるル・ コルビュジェの住宅 構想に関する研究— 土着的な要素を取り 入れた住宅設計—	大野 川向 隆司 正人	日本建築 学会計画 系論文集	671	下 定められない 解釈	喜多崎 親		2.1
コルビュジェの「小 さな家」 親への深 い愛情[ル・コルビ ュジェ]	綱島 雄太	日 経	1.12	平成二十三年度東支 部例会 ルノワール と印象派展とサロン [ビエール＝オーギ ュスト・ルノワール]	賀川 恭子	美 術 史	172
ルソーからセラフィ ースヘーヴィルヘル ム・ウーデ研究ノー ト[アンリ・ルソー]	遠藤 望	世田谷美 術館紀要	13	4 [読ん]で知るアー ト 画家のパートナ ー 古風と質素尊ぶ ルノワール	千足 伸行	朝日夕刊	5.9
美の履歴書242 「恋 敵」を描いた理由 「フリュマンヌ・ピ ッシュの肖像」 ア ンリ・ルソー	増田 愛子	朝日夕刊	2.22	SPECIAL FEATURE 写真2.0 PART 1 Focus 1 トーマス ・ルフ	トーマス・ ルフ 談 かないみき 聞き手 桐谷麗子 構成	美術手帖	971
第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 クロード＝ニコ ラ・ルドゥの理想的 都市構想における労 働、教育、性愛	小澤 京子	美 学	241	ルンゲの『一日の諸 時間(Die Zeiten)』 における〈天使〉と 〈子ども〉[フィリッ プ・オットー・ルン ゲ]	松友知香子	比較文化 論叢	27
				(レ)			
				第六十三回美学会全 国大会報告 発表要 旨 レンブラントと リューカス・ファン ・レイデン—「エッ ケ・ホモ」を中心に —	山田今日子	美 学	241



多様化する現代アートにおける写真と差異 シェリー・レヴィーンのシミュレーション画像	鉢呂 光恵	藤女子大学紀要	49-2	第六十五回全国大会研究発表要旨 大正期におけるレオナルド・ダ・ヴィンチの受容の一側面—甲斐庄楠音を中心に—	富田真理子	美術史	173
日本におけるイリヤ・レーピンの受容史	初山 昌夫	神奈川県立近代美術館年報	2010年度	視点 苦行の聖人とダンス!—「レオナルド・ダ・ヴィンチ展 in シアター」公開によせて	池上 英洋	美術の窓	344
2012夏・秋 名画に会いに行く 一歩進んだ展覧会ガイド Case 7 レーピン これぞロシア・リアリズム		美術の窓	346	模写によるヴェロッキオ工房作「キリストの洗礼」の研究—イタリアルネサンス絵画技法の変遷と空間構造の変化の考察—[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	塩谷 亮	武蔵野美術大学研究紀要	42
美の履歴書268 憤怒の形相なのは「皇女ソフィア」イリヤ・レーピン	西田 健作	朝日夕刊	8.22	ダビンチ幻の壁画 発見へ高まる期待 後の壁には何が…		産 経	3.21
ぎやらりいモール Bunkamuraザ・ミュージアム「国立トレチャコフ美術館所蔵レーピン展」から「作曲家モデスト・ムソルグスキーの肖像」	宮沢 政男	読売夕刊	9.11	「若きモナリザは本物」 専門家、今後論争も[レオナルド・ダ・ヴィンチ]		毎 日	9.28
アントニン・レーモンド「カトリック新発田教会」	峰村 一彦	Wave II	5	映画「ダ・ヴィンチ展 in シアター」公開 展覧会の舞台裏紹介	岸 桂子	毎日夕刊	5.7
World News London 「レオナルド・ダ・ヴィンチ ミラノの宮廷画家」展 空前規模のレオナルド展に行方不明となっていた《救世主》あらわる!	前橋 重二	芸術新潮	745	第2のモナリザ 真贋論争 「ダ・ビンチ作」至難の鑑定 工房で制作/多数の模写 歴史・科学的に作者調査	高野 井上 清見 晋治	読 売	10.4
Movie レオナルド揃い踏みスクリーンでどうぞ		〃	749	20代「第2のモナリザ」 スイスの財団発表 真贋論争も[レオナルド・ダ・ヴィンチ]		読売夕刊	9.28
World News Firenze ウルトラ修道院跡の発掘調査 イタリアのお騒がせ野郎、モナ・リザのモデルの遺体発掘! [レオナルド・ダ・ヴィンチ]	前橋 重二	〃	754	追悼 世界文化賞受賞 建築家 リカルド・レゴレッタ氏 「光の国」のルーツを表現	田野 陽子	産 経	1.22
PARIS 発 モナ・リザの話題性[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	安部 雅延	新美術新聞	1274	コラム 岩手・宮城・福島を訪れた3人の外国人建築家[ヤン・レッツェル]	大沼 正寛	建築雑誌	1626
新美術時評 肖像と時間 2点の《モナ・リザ》と篠山紀信[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	光田 ゆり	〃	1295	リチャード・レッドグレイヴの絵画とデザイン	竹内 有子	フィロカリア	29
フロイトにおける必然—レオナルド・ダ・ヴィンチ論をめぐって—	上尾 真道	人文学報	102	World News London 「ピーター・レリーリリカリ・ヴィジョン」展 英国宮廷画家ピーター・レリーの気になる裸身	前橋 重二	芸術新潮	756
				連載 Architect Politician 建築的政治家 ジャイメ・レルネル	南篠 洋雄	建築雑誌	1632

World News Amsterdam レンブラント・ファン・レイン  
《髭をはやした老人》  
真贋解決の切り札  
新出レンブラントを  
透視した元素マップ  
画像解析とは？

前橋 重二 芸術新潮 746

紙の万華鏡 Vol. 2  
レンブラントが使っ  
た紙

増田 勝彦 聚 美 2

第六十三回美学会全  
国大会報告 発表要  
旨 レンブラントと  
リューカス・ファン  
・レイデン—「エッ  
ケ・ホモ」を中心—

山田今日子 美 学 241

2012夏・秋 名画に  
会いに行く 一歩進  
んだ展覧会ガイド  
Case 2 レンブラン  
ト 肉迫する人物表  
現

美術の窓 346

(口)

アドルフ・ロースに  
おける素材と空間—  
ツァラ邸以降の家屋  
建築を中心に—

岸本 督司 美 学 241

マルチェロ・ローゼ  
ンバウムによるブラ  
ジルのスラム改善プ  
ロジェクト

中島 恭子 A X I S 156

特集 いわさきちひ  
ろ Love, Love, Love  
作品篇 美術史から  
読み直す いわさき  
ちひろ試論 「女」た  
ちの場所 ちひろと  
ローランサン[マリ  
ー・ローランサン]

天野 知香 芸術新潮 751

特集 アートの力を  
考える！ PART 1  
マーク・ロスロ 祈  
りの空間

美術の窓 348

研究ノート 蔵書か  
ら立ち現れるロダン  
[オーギュスト・ロ  
ダン]

南 美幸 アマリリス 104

渡英後のアルフォン  
ス・ルグローロダン  
作品のプロモーション  
とアイオニディス  
・コレクションの形  
成—

安藤 智子 鹿島美術財団年報・別冊 29

ロダン研究 VII—マ  
ルセル・ティレルの  
ロダン

高橋 幸次 日本大学芸術学部紀要 55

美の履歴書245 何を  
叫んでいるのか「書  
籍」(国立出版社レニ  
ングラード支部のた  
めの広告ポスター)  
アレクサンドル・ロ  
トチェンコ

大西 若人 朝日夕刊 3.14

美の履歴書249 なぜ  
かくも明るいのか  
「マルクス・アウレ  
リウス騎馬像、トラ  
ヤヌス記念柱、神殿  
の見える空想のロー  
マ景観」 ユベール  
・ロペール

4.11

ユベール・ロペール  
—時間の庭

東京夕刊

上 ヴェルサイユ  
のアポロンの水浴  
の木立 自然と人  
工調和の美

池田理代子 4.25

中 アルカディア  
の牧人たち 死ぬ  
運命こそ「今」

ドラ・トーザン 4.26

下 凱旋橋 絵の  
中を空想旅行

木村 泰司 4.27

目は語る アート道  
遥 3月 「廃墟の画  
家」ロペール「永遠  
の都」ローマへの郷  
愁

高階 秀爾 毎日夕刊 3.21

NY アンтониオ・ロ  
ベスの新鮮さ

森 光世 読売夕刊 10.3

美の美 フレスコに  
息づく夢4[アンブ  
ロジオ・ロレンツェ  
ッティ]

宝玉 正彦 日 経 1.29

(ワ)

研究ノート 「チャ  
ールズ・ワーグマン」  
という画家の位相  
—神奈川県立歴史博  
物館所蔵水彩画群と  
『イラストレイテッ  
ド・ロンドン・ニュー  
ーズ』の比較検証を  
中心として—

角田 拓朗 神奈川県立博物館研究報告 38

生麦事件150年 横  
浜で企画展 殺害英  
国人の手紙初公開[チ  
ャールズ・ワーグマ  
ン]

早川 保夫 読 売 9.5

NAVI & navi テーマ  
「雨」 心に潤いを与  
えてくれる 逃げ込  
めば何かが始まる[レ  
ナード・ワイスガー  
ド]

飯田 有美 読売夕刊 6.23  
塩野 米松

平成24年定期刊行物所載文献(近／外ワ)

益子の被災者照らす 光を ハンガリーの 彫刻家故ワグナー氏 代表作展示 妻 続 く災害 「勇気与え たい」[ワグナー・ナ ンドール]	石井紀代美	東京夕刊	5.17
アール・デコ 光の エレガンス 4 アマ ルリック・ワルター 花文パフューム・ラ ンプ 子守唄のよう な懐かしさ	岸田 夏子	〃	7.20
お手本画&秀作集 其ノ九 王俊宇瀟 《日記 2011.JUN.羽 化 - C》	王俊 宇瀟 [ワンジュ ン・ウシヨ ウ]	水墨画*	274
特集 秋の制作シー ズンに贈る18作家の 水墨世界 王俊宇瀟 深山鳴泉	〃	〃	282

そ の 他  
美術関係者

日 本

(ア行)

會津八一の様本	角田 勝久	早大會津八一記念博紀要*	13	全美フォーラム06 「的世界」で考えたこと[石子順造]	成相 肇	ZENBI	2
會津八一の様本の制作年と晩年の制作	〃	奈良美術研究	13	「石子順造的世界」展	加治屋健司	美術手帖	965
著者に会いたい 青木保さん「文化力」の時代 21世紀のアジアと日本 共通の現代文化圏が今や出現	四ノ原恒憲	朝 日	2.5	昭和40年代に切り込んだ目 評論家・石子順造の回顧展 キッチュから芸術再考	西岡 一正	朝日夕刊	1.25
KEY PERSON INTERVIEW 急接近 アジアに急増する文化施設、対抗策は? 日本への関心を生かせ 国立新美術館館長 青木保さん アートの社会性認識を	青木 保 談 岸 桂子 聞き手	毎 日	2.25	アートの風 1月 石子順造の世界展 評論家にちなんだ問題提起	三田 晴夫	毎日夕刊	1.10
こころの玉手箱 国立西洋美術館館長 青柳正規 1~5	青柳 正規	日経夕刊	2.6~10	美術 「石子順造的世界」展 芸術と非芸術 両にらみ	前田 恭二	読 売	2.2
あすへの話題	〃	〃	7.6、20、8.3、17、24、31、9.21、28、10.19、26、11.9、30、12.7、14、21、28	デザイン季評 関東大震災後の明るさ[石子順造]	生井 英考	〃	2.23
ときの人38 東北学は第2章へ 赤坂憲雄さん		新美術新聞	1280	「偉大な遺跡」見守り 50年 アンコールワット修復の研究者 石澤良昭さん 皇太子さまの案内役		読売夕刊	6.22
秋元洒汀と明治の日本画(二)	塩谷 純	美術研究	407	特集 コレクターの存在と役割 松原昌美(MA 2 gallery)・石鍋博子(ワンピース倶楽部)		ファウンテン	3
学生企画 芸術とかわって暮らす 地道なライフワークで社会を少し変える	蘆田 裕史 談	瓜生通信	55	伊勢彦信さん寸描	林屋 晴三	陶 説	709
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第63回 福島県立美術館学芸員 荒木康子	斉藤 博美	ギャラリー一*	325	關土あるいは風流人—伊勢彦信さんを文章でスケッチする	米原 範彦	〃	〃
〈小委員会活動報告〉戦後建築史家の軌跡(第八回)飯田喜四郎	戦後建築史学研究小委員会	建築史学	59	人生の贈りもの イセ文化基金理事長 伊勢彦信 1~5	米原 範彦 聞き手	朝日夕刊	8.20~24
父の心血 南蛮美術 大空襲乗り越えたコレクション、神戸に[池長孟]	池長 潤	日 経	4.17	特集 ニッポンの赤絵 鶏と赤絵を愛した父のお話[磯ヶ谷正道]	編 集 部	目の眼	435
				特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 万画廊 オーナー 伊藤愛		ギャラリー一*	326
				交遊抄 律義な悪友	伊藤 善章	日 経	10.17
				伊藤延男先生のガッソーラ賞受賞	矢野 和之	建築史学	59
				特集 ギャラリストとアーティストの関係 伊藤悠(island JAPAN)		ファウンテン	2
				特集1 近代数寄者のセンスにふれる “生涯小僧”が駆け抜けた戦前戦後の美の世界	井上 康弘 森田 武夫	目の眼	431
				特集 茶の湯—スキの芸術 第1部 茶の湯の系譜 今泉雄作の美術史と茶の湯	依田 徹	美術フォーラム21	25

## SPECIAL FEATURE

東京アートガイド

2012 INTERVIEW

私の東京アートめぐり02 植原亮輔、渡邊良重×クレマチスの丘

石井 芳征 美術手帖 966

幻の堅笛 息吹返せ  
大倉喜七郎考案の「オークラウロ」、70年ぶり復活へ尽力

田中知佐子 日 経 2.16

追悼太田幹二さんを悼む

浮世絵芸術 164

故太田幹二氏を偲んで

竹内 誠

太田さんお世話になりました

稲垣 進一

太田幹二館長の思い出

河野 元昭

館長太田幹二氏のこと

鈴木 浩平

太田幹二館長へ

市川 信也

山口さんと太田さんを悼む[太田幹二]

菊地 貞夫 〃 〃

アートディレクター：太田英茂の仕事—花王時代の新聞・雑誌広告を中心に—

渡辺 美保 長野県信濃美術館紀要 6

特別レポート「工芸」はどこへ向かうのか 前編 表現としての工芸 現代美術ギャラリーだって「工芸」を扱いたい

大田 秀則 芸術新潮 752  
小山登美夫新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第66回 葦崎大村美術館館長 大村智

斉藤 博美 ギャラリー 328

特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第2部 コレクション形成の背景 完顔景賢と大村西崖

下田 章平 美術フォーラム21 26

岡倉天心 The Book of Tea のコード—ルネサンス的伝統と画期的創造への挑戦—

東郷登志子 五浦論叢 19

特輯 岡倉天心生誕百五十年記念

国 華 1400

西洋主義者としての天心

高階 秀爾

岡倉天心の世界観と歴史観—近代日本の美術の定位—

佐藤 道信

明治仏像模刻論—岡倉天心の模造観の形成—

浅井 和春

特集 茶の湯—スキの芸術 第1部 茶の湯の系譜 美術による茶の湯の再発見—『茶の本』の歴史的役割と今日的意義 [岡倉天心]

田中 秀隆 美術フォーラム21 25

上野の杜の12の物語 第十一章[岡倉天心]

中野 中 美術屋・百兵衛 21

岡倉天心の生涯映画化へ 被災・茨城を日本を元気に 流失・六角堂「再建」も一コマ 松村克弥監督 資金寄付募る「復興シンボルにしたい」

吉岡 逸夫 東京夕刊 1.23

アートシーン時評  
MAGIC通信 第3回  
コレクターの憂鬱

岡田 聡 ファウンテン 3

エッセイ 美術史家の覚書(2)

小佐野重利 西洋美術研究 16

## (力行)

4 [読ん]で知るアート 挿絵

鹿島 茂 朝日夕刊

フランス挿絵本を日本へ

9.19

「転落」へと誘う美しさ

9.26

話題の人 巻頭インタビュー 金子啓明さん

金子 啓明 目 の 眼 435  
談 集 部

交遊抄 浅草の先輩

河合 正朝 日 経 8.31

川上貢先生のご逝去を悼む

高橋 康夫 建築史学 59

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第70回 東京都美術館専門調査員 川越仁恵

斉藤 博美 ギャラリー 332

追悼—川田哲也さんのこと—

瀧 梯三 美術の窓 351

交遊抄 火やけ長次郎

河田 昌之 日 経 11.1

大地をデザインする北川フラムさんに聞く 過疎の里山に人呼ぶ作品 手間かけ協働培う

嶋沢 裕志 日経夕刊 9.8

私のいる風景 駅前男性裸体像「陰」に光を 木下直之さん 文化資源学者

井上 晋治 読 売 12.15

ときの人44 串田光子さん 文化の薫りを放ち新人育成を続けて半世紀

新美術新聞 1296

新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第67回 青森県立美 術館学芸員 工藤健 志	斉藤 博美	ギャラリー 一*	329	小林忠先生最終講義 および古稀祝賀会 のご報告	藤澤 紫	浮世絵芸 術	164
戦没画学生の自己表 現に学ぶ 痛みに寄 り添う想像力を「無 言館」館主 窪島誠 一郎	富田 律之 聞き手	日経夕刊	8.15	江戸絵画の奇跡鮮や かに 小林忠教授、 最終講義「海外の影 響色濃く」	大西 若人	朝日夕刊	2.1
匏蝠書牢由来 井日 向ボッコ 披露の口 上	熊田 司	えむえむ	2	江戸絵画の魅力 最 終講義で語る[小林 忠]		日経夕刊	2.16
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第59回 東京国立近 代美術館学芸課長 蔵屋美香	斉藤 博美	ギャラリー 一*	321	鑑賞録 真贋	小林 秀雄	国華清話 会会報	19
VIEW〈阪神間モダニ スム〉 近代実業家 達の美術コレクション 〜黒川幸七と藤井 善助〜	仙海 義之	阪急文化	3	特集 いま、活躍し ている女性[なでし こ]ギャラリスト 番町画廊 オーナー 小林玲子、松宮郁子		ギャラリー 一*	326
特集 中国と東アジ ア—近代のコレクシ ョン形成と研究の背 景 第1部 関西に おける中国書画近代 コレクションの形成 二代黒川幸七の書画 蒐集—その来歴と人 物交流	竹浪 遠	美術フォ ーラム21	26	特別レポート 「工 芸」はどこへ向かう のか 前編 表現と しての工芸 現代美 術ギャラリーだって 「工芸」を扱いたい	大田 秀則 小山登美夫	芸術新潮	752
黒川節司の美術活動 —昭和戦前期の広島 における美術家支援 と美術館構想—	藤崎 綾	広島県立 美術館研 究紀要	15	特集 ギャラリスト とアーティストの関 係 小和田愛(AI KOWADA GALLERY)		ファウン テン	2
小島島水西洋版画コ レクション研究ノー ト1 輸入問題に関 わる資料を中心に	沼田 英子	横浜美術 館研究紀 要	13	乱反射を生み出す新 たな光—二〇一〇秋、 青森[今和次郎]	天内 大樹	大正イマ ジュリイ	7
美童如是我聞録[小 杉一雄]	丹尾 安典	一寸	49	芸術の力で地域活性 化に挑む 2期目の 近藤誠一・文化庁長 官	木村 尚貴	朝 日	10.11
特集 いま、活躍し ている女性[なでし こ]ギャラリスト ギャラリーゴトウ オーナー 後藤真理 子		ギャラリー 一*	326	(サ行)			
図解でたどる第23回 茶の湯あれこれ茶人 編 小林逸翁	八尾 嘉男	淡 交	823	この人 世界のたこ の博物館を運営 阪 井田茂さん 自宅を 増築し開館、72カ国 分を所蔵	高木 梨恵	東 京	2.22
VIEW〈茶道〉		阪急文化	2	特集 いま、活躍し ている女性[なでし こ]ギャラリスト ギャラリーアートも りもと ディレクタ ー 佐々井智子		ギャラリー 一*	326
小林一三(逸翁)と 生形貴一(自微斎)	生方 貴重			凄腕つとめにん 作 品の魅力 調査重ね て表現 シンワアート オークション オ ークション事業部マ ネージャー 佐藤江 梨子さん 解説を書 く美術品 年に600 点	石山 英明	朝 日	5.21
逸翁の茶会	中川 憲一			都美術館「生みの親」 佐藤慶太郎 美術愛 した「石炭の神様」 新装開館式典で講演 社会貢献に私財「日 本の恩人」	榎本 哲也	東 京	4.17
VIEW〈阪神間モダニ スム〉 近代実業家 達の美術コレクション 〜黒川幸七と藤井 善助〜[小林逸翁]	仙海 義之	〃	3				

作り手の技、着る人の心を想う 白洲正子の着物 皆川 明 芸術新潮 749

特集 コレクターの存在と役割 杉田鐵男 (GALLERY MoMo) ファウンテン 3

特集 中国と東アジア—近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成 もう一つの住友コレクション—住友春翠と中国画 実方 葉子 美術フォーラム21 26

特集 ギャラリストとアーティストの関係 染谷卓郎 (Takuro Someya Contemporary Art) ファウンテン 2

(タ行)

文化勲章 美術評論家 高階秀爾さん「作者の思いを伝えたい」 産 経 11.7

文化勲章・文化功労者 喜びの声 文化勲章 高階秀爾さん分野認められありがたい 岸 桂子 毎日夕刊 10.30

文化勲章 高階秀爾さん 美術史家 西洋美術研究で業績 読売夕刊 10.30

近代数寄者たちの客振り、亭主振り[高橋箒庵] 淡交社編集局 淡 交 822

図解でたどる第22回茶の湯あれこれ茶人編 高橋箒庵 八尾 嘉男 〃 821

終わらない宿題[瀧口修造] 島 敦彦 橄 欖 2

小論 「ふるさと」をめぐる瀧口修造と堀田善衛 向井 嘉之 〃 〃

瀧口修造と小樽 一詩「カヒガラ」をめぐる 土淵 信彦 〃 〃

特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 新宿眼科画廊 オーナー たなかちえこ ギャラリー 326

美しく豊かに住む 田中恒子さんに聞く「自分が主人公」自覚して まずは整理整頓から 宮内 禎一 日経夕刊 12.1

漁師の住む村 究めた男 40年にわたる漁村集落研究者の遺稿まとめる[地井昭夫] 重村 力 日 経 10.30

特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト B-gallery オーナー 長はるこ ギャラリー 326

追悼 辻佐保子先生 高階木俣天野 秀爾元一知香 日仏美術学会会報 31

悼む 辻佐保子さん 美術史家、作家辻邦生の妻 夫邦生の同志として 井上 卓弥 毎 日 2.5

連載 奇想の発見 ある美術史家の回想 第1～6回 辻 惟雄 芸術新潮 751～756

辻惟雄氏記念講演会「江戸絵画と現代アート」(抄録) 〃 美連協ニュース 113

交遊抄 いのちの電話[辻惟雄] 山下 裕二 日 経 5.19

ときの人39 鶴岡真弓さん ケルトと日本を結ぶ「美の文明交流史」を語る 新美術新聞 1282

顔 纏向学研究センター初代所長に就任した 寺沢薫さん 守川雄一郎 読 売 5.4

話題の人 巻頭インタビュー 富沢信明さん(東北民藝館館主・良寛研究者) 富沢 信明 目 の 眼 426

(ナ行)

特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 純画廊 オーナー 内藤純子 ギャラリー 326

交遊抄 北京 寅の会 内藤 規夫 日 経 6.14

思い出す本忘れない 本 極限の中、何十回も読んだ 人間の条件 五味川純平(著) 中島誠之助 大上 朝美 朝 日 8.12

話題の人 巻頭インタビュー 永田生慈さん 永田 生慈 目 の 眼 433

話題の人 巻頭インタビュー 中根千枝さん 中根 千枝 〃 429

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第68回 神奈川芸術  
文化財団・美術部門  
学芸員 中野仁詞

齊藤 博美 ギャラリー 330

幻の「古瓦類雑考  
(三)」と大正年間の  
金印論争[中山平次  
郎]

赤坂 亨 福岡市博  
物館研究  
紀要 22

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第60回 府中市美術  
館学芸員 成相肇

齊藤 博美 ギャラリー 322

キュレーターが語る  
本 南條さん 面白  
さ読者に伝えたい  
長谷川さん 作家入  
口に視点提示[南條  
史生]

増田 愛子 朝日夕刊 4.18

交遊抄 先生の予言

新関 公子 日 経 12.15

特集 染織コレクシ  
ョンの形成 野村正  
治郎衣裳コレクシ  
ョン—古美術商による  
コレクション

澤田 和人 歴 博 174

# (ハ行)

天職ですか 美術館  
学芸員 拝戸雅彦さん  
アートと街つな  
ぐ

境田 未緒 東 京 7.27

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第64回 宇都宮美術  
館主任学芸員 橋本  
優子

齊藤 博美 ギャラリー 326

キュレーターが語る  
本 南條さん 面白  
さ読者に伝えたい  
長谷川さん 作家入  
口に視点提示[長谷  
川祐子]

増田 愛子 朝日夕刊 4.18

HEADLINE 05 コレ  
クターが所有する作  
品群「コレクターズ  
アイ」展—KASHIWA  
ART DAYLIGHT[秦  
明生]

ファウン  
テン 3

次世代 人 フノリ  
が壁画守る 早川典  
子さん

辻本 芳孝 読売夕刊 4.14

彩・美・風 食が伝  
える画家の生き様

林 綾野 朝日夕刊 1.4

茶席で語る名碗への  
思い 陶磁史研究の  
重鎮 林屋晴三さん  
が出版

読 売 2.16

特集 中国と東アジ  
ア—近代のコレクシ  
ョン形成と研究の背  
景 第1部 関西に  
おける中国書画近代  
コレクションの形成  
観峰コレクションの  
収集と特徴[原田観  
峰]

瀬川 敬也 美術フォ  
ーラム21 26

ときの人41 原田マ  
ハさん ルソーを題  
材に満を持してのア  
ート・ミステリー

新美術新  
聞 1288

ひと 中国美術品の  
収集を通じて日中友  
好を図る 左明貴子  
さん

五十嵐倫義 朝 日 2.29

特別レポート 「工  
芸」はどこへ向かう  
のか 後編 産業と  
しての工芸 日野明  
子 産地と消費者を  
つなぐ「ひとり間屋」

橋本 麻里 芸術新潮 753

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第62回 国立新美術  
館情報資料室長主任  
研究員 平井章一

齊藤 博美 ギャラリー 324

研究者紹介58 平川  
南 出土文字資料を  
追う—古代国家の実  
像を求めて—

平川 南 歴 博 170

TOP NEWS 2012  
平野古陶軒三代目・  
平野龍一がサザビー  
ズに転身

平野 龍一 ギャラリー 332

特集 いま、活躍し  
ている女性[なでし  
こ]ギャラリスト  
ギャルリー志門 オ  
ーナー 深井美子

〃 326

VIEW(阪神間モダニ  
スム) 近代実業家  
達の美術コレクション  
〜黒川幸七と藤井  
善助〜

仙海 義之 阪急文化 3

近代数寄者たちの客  
振り、亭主振り[藤  
田平太郎]

淡交社編集局 淡 交 822

大特集 縄文の歩き  
方 エッセイ 縄文  
と私4 縄文建築団

藤森 照信 芸術新潮 755

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第65回 ひろしま美  
術館学芸部長 古谷  
可由

齊藤 博美 ギャラリー 327

忘れがたき文士たち  
複眼で「乱世」見つめ  
る 堀田善衛

浦田 憲治 日 経 1.29



眠れる美術作品大集合 個人コレクター連携、展覧会や画集で名画並べる

堀 良慶 日 経 7.30

## (マ行)

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第69回 埼玉県立近代美術館主席学芸主幹 前山裕司

斉藤 博美 ギャラリー 331

図解でたどる第21回茶の湯あれこれ茶人編 益田鈍翁

八尾 嘉男 淡 交 820

近代数寄者たちの客振り、亭主振り[益田鈍翁]

淡交社編集局 // 822

図解でたどる第24回茶の湯あれこれ茶人編 松下幸之助

八尾 嘉男 // 824

特集 コレクターの存在と役割 松原昌美(MA 2 gallery)・石鍋博子(ワンピース倶楽部)

ファウンテン 3

特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 番町画廊 オーナー 小林玲子、松宮郁子

ギャラリー 326

ときの人37 東京都美術館館長真室佳武さん 美術の未来へ、懸け橋となるために

新美術新聞 1277

特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト ユカリアート オーナー みつまゆかり

ギャラリー 326

南方熊楠と和歌山城保存運動

雲藤 等 地方史研究 355

ときの人36 峯村敏明さん 和服姿で颯爽と展覧会を駆け巡る

新美術新聞 1275

北緯43度 絵画の旅に幕 各国の作品集 めた私営美術館、15年で区切り

宮田 勝 日 経 12.5

村山龍平記念館についての一考察

塩田 昌弘 大手前大学論集 12

森鷗外 近代文学界の傑人 生誕一五〇年記念 鷗外という鉅脈 鷗外と美術芸術をめぐる交流と活動

川西 由里 太陽(別冊) 193

ときの人43 森英恵さん 野外美術館に新しい風を

新美術新聞 1293

追悼・森稔氏 森美術館創設者森稔氏の冥福を祈る

南條 史生 // 1278

視点 故森稔氏を偲んで

デヴィッド・エリオット 美術の窓 344

## (ヤ行)

新・学芸員の企画術  
キュレーションの壺  
第61回 横浜美術館主任学芸員 八柳サエ

斉藤 博美 ギャラリー 323

発表要旨 第八回全国大会・第二十二回研究会 柳宗悦の工藝理論における(個人作家)の位置付け——一九二〇年代を中心に——

入江 繁樹 大正イマジユリイ 7

足裏の記憶—思想家を旅する 第四回 柳宗悦×丹波 兵庫県

北川フラム 文永峰 美佳 美術手帖 962

追悼山口桂三郎先生を悼む

浮世絵芸術 164

追悼山口桂三郎先生

小林 忠

山口桂三郎先生を偲ぶ

本田 正明

故山口桂三郎会長を偲んで

小澤 弘

国立の「うなちゃん」の味

浅野 秀剛

山口先生との出会い

鈴木 浩平

「君ねえ。どうしてこんなこともわからないの〜。」

渡邊章一郎

山口桂三郎先生の思い出

セバスチャン・イザード

山口桂三郎先生との思い出

小池満紀子

「ウキヨエ」と「オノウ」—亡き父・山口桂三郎を想う。

山口 桂

山口さんと太田さんを悼む[山口桂三郎]

菊地 貞夫 // //

山口桂三郎先生を偲ぶ会報告

渡邊章一郎 // //

交遊抄 いのちの電話

山下 裕二 日 経 5.19

特集 中国と東アジア近代のコレクション形成と研究の背景 第1部 関西における中国書画近代コレクションの形成 山本二峯(梯二郎)と澄懷堂コレクション [山本梯二郎]	伊藤みのり	美術フォーラム21	26	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン イヴァン・ヴィルト 既存の常識へ果敢に挑戦する早熟の天才ギャラリスト	大森 俊克	美術手帖	962
特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト 山本現代 オーナー 山本裕子		ギャラリー*	326	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン ギャラリー・ウォーターストン ロンドン支店ディレクターに聞く“ガゴシアン帝国”の知られざる舞台裏	伊東 豊子 取材・文	”	”
特集 染織コレクションの形成 発信するコレクション—吉川観方コレクションの形成と活用状況から	飯島 礼子	歴 博	174	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン ラリー・ガゴシアン ガゴシアン・エフェクト	ケリー・クロウ 藤森 愛実、 編集部 訳	”	”
視点 残るもの 残らないもの—国一のギャラリストとして思うこと—	吉田 史崇	美術の窓	349	エミール・ギメの日本宗教への探究	フレデリック・ジラル	東 方 学	124
交遊抄 茶室の数寄な縁[吉村伶]	石田 智圓	日 経	1.7	グリーンバーグとシュルレアリスム[クレメント・グリーンバーグ]	筒井 宏樹	愛知県立芸術大学紀要	41
米内山庸夫の南宋官窯址探索の足跡を追って	関口 広次	陶 説	707	フォーカス ティファニー財団評議長、日本文化の保護活動を表彰 フェルナンダ・ケロック氏 デザインでの着想に恩返し		日経夕刊	11.19
なぜ私は建築を選んだか no.5 興味のかけらをつないで	笠 真希	建築雑誌	1639	PARIS 発 「ミシア、パリの女王」展他[マリア・ゴデブスカ]	安部 雅延	新美術新聞	1287
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 INTERVIEW 私の東京アートめぐり02 植原亮輔、渡邊良重×クレマチスの丘	石井 芳征	美術手帖	966	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン チャールズ・サーチ 英国の大衆をアートホリックにしたスーパー・コレクター	伊東 豊子	美術手帖	962
特集 いま、活躍している女性[なでしこ]ギャラリスト GALLERY APA オーナー 渡邊見美		ギャラリー*	326	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン アラン・シユワルツマン 大規模なコレクションを導く気鋭のアートアドバイザー	藤高 晃右	”	”
追悼 ワタリウム美術館館長 和多利志津子さん 現代美術家のお母さん	渋谷 和彦	産 経	12.5				
海 外 ウィリアム・アンダーソンと『仏像図彙』—〈日本美術史〉形成期における欧文日本研究書の位置—	村角 紀子	美術史	173				

渋沢・クロード賞  
受賞者 下 フラン  
ス側本賞 マチュ  
・セグラさん (「リ  
セ・フランコ・ジャ  
ボネ・ド・東京」教  
員) 「ジョルジュ・  
クレマンソーと極東」  
(博士論文) 神社の  
骨董市が発端

植田 滋 読 売 8.9

## SPECIAL FEATURE

世界のアートマーケ  
ット PART 3 沸騰  
するアジアマーケッ  
ト ブディ・テック  
アジアの伸長と成熟  
を象徴する大型コレ  
クターがついに出現  
!

編 集 部 美術手帖 962

## SPECIAL FEATURE

世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン COLUMN 2  
COLLECTOR ビータ  
ー・ノートン

藤森 愛実 " "

## SPECIAL FEATURE

世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン オリバー・  
バーガー デミアン  
・ハーストの大躍進  
を支えた敏腕のオー  
クシオニア

伊東 豊子 " "

「被災者の心を励ま  
したい」ブライス  
氏、若冲など東北で  
公開[ジョー・ブラ  
イス]

産 経 6.25

文化往来 江戸絵画  
収集家のブライス氏、  
東北で美術展

日 経 5.4

アンドレ・ブルトン  
『黒いユーモア選集』  
におけるイラストの  
役割—「神話」との関  
わりを中心に

進藤 久乃 学習院大  
学文学部  
研究年報 58

思想の言葉 ブルト  
ンとアンチ・ナルシ  
ス

松浦 寿輝 思 想 1062

アンドレ・ブルトン  
とアナキスム

永井 敦子 " "

「誰のものでもない  
都市」—ブルトン『ナ  
ジャ』と精神分析的  
都市論—

宇多 瞳 文化学年  
報 61

## SPECIAL FEATURE

世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン イーライ・  
ブロード 美術館設  
立から都市開発まで  
「現代のメディチ」

藤森 愛実 美術手帖 962

特集 ギャラリスト  
とアーティストの関  
係 レベッカ・メイ  
・マーストン(Limo-  
ncello)

大坂紘一郎 ファウン  
聞き手 テン 2

顔 ゴヤ展を監修し  
たスペイン国立ブラ  
ド美術館の研究者  
マヌエラ・メナ・マ  
ルケスさん

高野 清見 読 売 1.17

## SPECIAL FEATURE

世界のアートマーケ  
ット PART 2 アー  
ト界を動かすキーパ  
ーソン ムグラビ・  
ファミリー マーケ  
ットをも左右する  
世界最大級のウォー  
ホル・コレクター

藤森 愛実 美術手帖 962

ひと 自慢の美術品  
と来日するリヒテン  
シュタイン皇太子  
アロイスさん[アロ  
イス・フォン・リヒ  
テンシュタイン]

大西 若人 朝 日 10.1

エッセイ ルーモー  
ルと、その評価をめ  
ぐつて[カール・フ  
リードリヒ・フォン  
・ルーモール]

加藤 哲弘 西洋美術  
研究 16

例会・研究発表会要  
旨 ルーモールのイ  
タリア旅行(一八〇  
五—〇六年)一食文  
化哲学と美術史研究  
のあいだで—

" 美 学 241

顔 「シャルダン展」  
を監修したループ  
美術館名誉館長 ビ  
エール・ローザンベ  
ールさん

井上 晋治 読 売 10.5

## 書 評

## 和 書

『アートの起源』杉本  
博司著

朝 日 3.25

『アートを生きる』南  
條史生著

南條 史生  
インタビュー 美術の窓 348

"

横尾 忠則 朝 日 6.3

"

日 経 4.29

『艾未未読本』牧陽一  
編著

編 集 部 あ い だ 193

『愛と魂の美術館』立  
川昭二著

後藤 正治 朝 日 11.18

『飛鳥藤原木簡の研  
究』市大樹著

本庄 聡子 史 林 493

"

川崎 晃 歴史学研  
究 890

『アダムとイヴ』岡田 温司著	朝	日	11.18	『絵本作家という仕 事』講談社編	朝	日	6.17		
『あの日からの建築』 伊東豊雄著	日	経	10.28	『絵本作家のアトリ エ 1』福音館書店母 の友編集部編	湯本香樹実	読	売	9.16	
『アルフレッド・パ ーとニューヨーク近 代美術館誕生』大坪 健二著	暮沢 剛巳	〃	4.15	『絵本 地獄』宮次男 監修	(藤)	東	京	10.14	
『アルベルティ イ タリア・ルネサンス の構築者』アンソニ ー・グラフトン著	岡田 温司	読	売	10.21	『絵本の庭へ 児童 図書館基本蔵書目録 1』子ども図書館編	尾崎真理子	読	売	6.24
『安藤忠雄 仕事を 作る 私の履歴書』 安藤忠雄著	横尾 忠則	朝	日	5.6	『エロスとグロテス クの仏教美術』森雅 秀著		芸術新潮	745	
『イタリア文化事典』 イタリア文化事典編 集委員会編、日伊協 会監修	陣内 秀信	日伊文化 研究	50	『老いのくらしを変 えるたのしい切り紙』 井上由季子著	保坂健二郎	朝	日	2.12	
『イメージの前で 美術史の目的への問 い』ジョルジュ・デ イディニユベルマン 著、江澤健一郎訳	岡田 温司	読	売	3.18	『王朝のかたち 宮 廷文化を伝える風物 たち』猪熊兼樹著		産	経	2.26
『印象派という革命』 木村泰司著		美術の窓	342	『大阪新名所 新世 界・通天閣写真帖 復刻版』橋爪紳也監 修・解説	森村 泰昌	朝	日	7.22	
〃	岩岡 千景	東	京	3.25	『大野一雄・舞踏と 生命 大野一雄国際 シンポジウム2007』 岡本章編		日	経	9.16
『ビデオー再帰的 メディアの美学』イ ヴォンヌ・シュビー ルマン著、海老根剛 監訳、柳橋大輔・遠 藤浩介訳	岡田 温司	読	売	2.5	『岡田三郎助 1869— 1939』松本誠一著	松本 誠一	デアルテ	28	
『浮世絵に映える困 基文化』薬科満治著	千駄木 遊	産	経	11.25	『阿蘭陀が通る 人 間交流の江戸美術史』 タイモン・スクリー チ著、村山和裕訳		水墨画*	276	
『喪われたレーモン ド建築—東京女子大 学東寮・体育館』東 京女子大学レーモン ド建築 東寮・体育 館を活かす会編著		読	売	6.28	『恩地孝四郎 一つ の伝記』池内紀著	松永 美穂	朝	日	7.1
『模図かずおと怪奇 マンガ』細川涼一著	中条 省平	東	京	7.22	〃	ワシオ・ト シヒコ	産	経	6.3
『SF挿絵画家の時代』 大橋博之著		日	経	11.25	〃	長谷川郁夫	東	京	6.17
『江戸最盛期の神田 祭絵巻 文政六年御 雇祭と附祭』福原敏 男著	丹治早智子	東	京	5.9	〃	芳賀 徹	日	経	6.10
『江戸時代に描かれ た鳥たち 輸入され た鳥、身近な鳥』細 川博昭著		日	経	3.11	『絵画と私的世界の 表象』中村俊春編	高岸 輝	美術フォ ーラム21	26	
『江戸城大奥と立山 信仰』福江充著	原口志津子	仏教史学 研究	54-2	『海峡と古代蝦夷』小 口雅史編	中澤 寛将	法政史学	77		
『古城俊秀コレクシ ョンより 絵はがき の別府』古城俊秀監 修、松田法子著	三浦 佑之	読	売	7.1	『籠と竹のよもやま ばなし』池田瓢阿著	小野 公久	陶 説	707	
					『画室の中から』小倉 遊亀著	酒井 順子	東	京	10.14
					『勝川春章と天明期 の浮世絵美人画』内 藤正人著		芸術新潮	750	
					『葛藤する形態 第 一次世界大戦と美術』 河本真理著	小黒 昌文	人文学報	102	
					『「かぶき」の時代— 近世初期風俗画の世 界—』守屋毅著	和田 誠	毎	日	9.9

平成24年定期刊行物所載文献(他／書評)

『画文共鳴—『みだれ髪』から『月に吠える』へ』木股知史著	山田 俊幸	大正イマジユリイ	7	『ゲルニカーピカソ、故国への愛』アラン・セール著、松島京子訳	横尾 忠則	朝 日	2.26
『関東の仏像』副島弘道編		産 経	8.15	『遣隋使がみた風景』氣賀澤保規編	松山 巖 読 売		6.24
『気になるガウディ』磯崎新著	光嶋 裕介	芸術新潮	753	『建築意匠論』岸田省吾著	杉山 正明	〃	5.6
『きのこ絵』パイインターナショナル編		〃	756	『建築の大転換』伊東豊雄・中沢新一著	小林 克弘	学 燈	109-3
〃	湯本香樹実	読 売	11.18	『高句麗壁画古墳と東アジア』門田誠一著	多木 陽介	A X I S	158
『境界域からみる西洋世界』田中きく代、中井義明、朝治啓三、高橋秀寿編著	阿部西山 福元南雲	拓児喬貴之 泰輔	史 林	『企画展示 侯爵家のアルバム—孝允から幸一にいたる木戸家写真資料—』人間文化研究機構国立歴史民俗博物館編	篠原 啓方	古代文化	587
『京狩野三代 生き残りの物語 山楽・山雪・永納と九条幸家』五十嵐公一著		日 経	12.23	『興隆・発展する仏教 新アジア仏教史中国Ⅱ 隋唐』沖本克己編	革名 ふみ	国立国会図書館月報	611
『共同研究 ボルノグラフィー』京都大学人文科学研究所共同研究班・大浦康介編	小池 隆太	人文学報	102	『股間若衆 男の裸は芸術か』木下直之著	佐藤 裕亮	仏教史学研究	54-2
『近世の学校建築』箱崎和久著	山岸 常人	建築史学	58	〃		芸術新潮	749
『近世の芸能施設とその空間』上野勝久著	〃	〃	〃	〃	田中 優子	朝 日	6.19
『近世の寺社建築—庶民信仰とその建築—』熊本達哉著	〃	〃	〃	〃	高橋 咲子	毎日夕刊	5.15
『近世の住まいと屋敷構え』村田健一著	〃	〃	〃	『国宝 熊野御幸記』三井記念美術館・明月記研究会編	高木 徳郎	古文書研究	73
『近代広告の誕生 ポスターがメディアだった頃』竹内幸絵著	〃	〃	〃	『国宝神護寺三像とは何か』黒田日出男著		芸術新潮	753
『近代ニッポン「しおり」大図鑑』山田俊幸監修、羽鳥知之・竹内貴久雄編	鹿島 茂	毎日	3.18	〃	佐多 芳彦	立正史学	112
『近代ニッポン「しおり」大図鑑』山田俊幸監修、羽鳥知之・竹内貴久雄編	(前)	読 売	1.29	〃	柏木 博	日 経	8.5
『国指定 史跡事典』学生社編集部編、協力者代表磯村幸男・坂井秀弥		毎日夕刊	5.2	『古寺巡礼』和辻哲郎著	小橋 弘之	日経夕刊	3.31
『1971→1991 倉俣史朗を読む』鈴木紀慶編著	渋谷 和彦	産 経	3.31	『個人はみな絶滅危惧種という存在 彫刻家・舟越桂の創作メモ』舟越桂著	塩田 純一	産 経	1.8
『『黒いアテナ』批判に答える』マーティン・パナール著、金井和子訳	岡田 温司	読 売	11.4	『『国華余芳』写真帖』明治美術学会編		芸術新潮	746
『芸術家の家 作品の生まれる場所』ジェラルド＝ジョルジュ・ルメール著、ジャン＝クロード・アミエル写真、矢野陽子訳		芸術新潮	748	『ゴッホ契約の兄弟 フィンセントとテオ・ファン・ゴッホ』新関公子著	山口 泰二	美術運動史研究会 ニュース	127
				『後鳥羽院政の展開と儀礼』谷昇著	岩田 慎平	古代文化	587
				〃	長村 祥知	古文書研究	73
				『後鳥羽上皇』五味文彦著	村尾 誠一	東 京	7.22
				『古墳文化の成立と社会』今尾文昭著	小野里了一	歴史学研究	889

『コロンナリズムと文化財—近代日本と朝鮮から考える』荒井信一著	藤原 貞朗	日 経	8.12						『スクール・アート』中川素子著	日 経	8.12
『こんにちは美術』福永信著		芸術新潮	750						『墨の美に学ぶ水墨画 基礎から創作まで』根岸嘉一郎著	水墨画*	275
''	朝吹真理子	読 売	7.22						『西欧古代神話図像大鑑 全訳』古人たちの神々の姿について』ヴィンツェンツォ・カルタリ著、大橋喜之訳	荒俣 宏 朝 日	11.11
『今和次郎「日本の民家」再訪』瀝青会著	山形 浩生	朝 日	5.27						『惜櫟荘だより』佐伯泰英著	逢坂 剛	'' 8.12
『再発見 日本の民藝』なかやまあきこ	三浦 展	読 売	1.23						''	日 経	7.29
『寺社の装飾彫刻 宮彫り—壮麗なる超絶技巧を訪ねて』若林純著	北澤 憲昭	朝日夕刊	2.19						『前衛の遺伝子—アナキズムから戦後美術へ』足立元著	澤田 佳三 あ い だ	192
『市井展の全貌 戦前編(淡交会、珊々会、尚美展から東京会まで)』東京美術倶楽部編	浅木 正勝	新美術新聞	1296						『せんだいノート ミュージアムって何だろう?』仙台市教育委員会監修、仙台・宮城ミュージアムアライアンス編	芸術新潮	745
''		日 経	10.2						『続々アトリエ日記』野見山曉治著	横尾 忠則 朝 日	7.8
''	前田 恭二	読 売	10.18						『染付 てっさい堂』貴道裕子著	橋本 麻里 芸術新潮	748
『七代目小川治兵衛山紫水明の都にかへさねば』尾崎博正著	矢ヶ崎善太郎	史迹と美術	822						『ゾンビ日記』押井守著	松永 美穂 朝 日	7.22
『写真がもっと好きになる。写真を観る編。』菅原一剛著	竹内 薫	日経夕刊	5.23						『孫文の机』司修著	ワシオ・トシヒコ 産 経	11.11
『写真の裏の真実 硫黄島の暗号兵 サカイタイゾーの選択』岸本達也書	西木 正明	日 経	1.15						『高橋由一—日本洋画の父』古田亮著	松山 巖 読 売	5.27
『写真の読み方 初期から現代までの世界の大家写真家67人』イアン・ジェフリー著、内藤憲吾訳	石川 直樹	朝 日	3.11						『田能村竹田基本画譜 図版篇・解説篇』宗像健一編著	橋爪 節也 美術フォーラム21	25
『聚美 vol.5 Autumn 2012 特集古九谷珠玉の色絵磁器』	小野 公久	陶 説	716						『田村セツコ HAPPYをつむぐイラストレーター』内田静枝編	辛酸なめ子 読 売	12.9
『少数民族の染織文化図鑑』カトリヌ・ルグラン著、福井正子訳		日 経	6.10						『父 高山辰雄』高山由紀子著	水墨画*	274
『肖像画の時代 中世形成期における絵画の思想的深層』伊藤大輔著	津田 徹英	美術研究	407						『中国と茶碗と日本と』彭丹著	田中 優子 朝 日	9.30
''	宮島 新一	美術フォーラム21	25						''	中島誠之助 産 経	11.24
''	荒俣 弘	朝 日	2.19						『中世京都の空間構造と礼節体系』桃崎有一郎著	久水 俊和 歴史学研究	888
『生老病死の図像学 仏教説話を読む』加須屋誠著		芸術新潮	748						『中世興福寺の門跡』高山京子著	安田 次郎 古文書研究	73
''	田中 貴子	朝 日	3.18						『通観鍋島青磁 初期から末期まで』神村英二著	山本真由美 陶 説	716
『初期肉筆浮世絵』岸田劉生著	和田 誠	毎 日	9.9						『ディアギレフ 芸術に捧げた生涯』シェンク・スヘイエン著、鈴木晶訳	長野 由紀 日 経	3.18

平成24年定期刊行物所載文献(他／書評)

『デザインの教科書』 柏木博著	三浦 展	読 売	1.23	
『掌の縄文』港千尋著	北澤 憲昭	朝 日	5.6	
〃	(存)	産 経	4.21	
『天下の茶道具、鑑 定士・中島の眼』『へ うげものの名品名席』 実見記』中島誠之助 著	小野 公久	陶 説	714	
『東京スカイツリー 論』中川大地著	酒井 隆史	日 経	7.1	
『道具と人類史』戸沢 充則著	三浦 佑之	読 売	9.9	
『蕩尽王、パリをゆく 薩摩治郎八伝』 鹿島茂著	黒沢 綾子	産 経	1.15	
〃	井上 章一	日経夕刊	1.18	
『等伯 上・下』安部 龍太郎著		日 経	10.14	
〃	縄田 一男	日経夕刊	10.24	
『ドキュメント 時 代と刺し違えた画家 中村正義の生涯』笹 木繁男著	笹木 繁男	Wave II	3	
〃	三上 豊	jaic 会 報	24	
『土偶・コスモス』 MIHO MUSEUM 編	保坂健二朗	朝 日	10.21	
〃		日 経	9.23	
〃	(早)	読 売	9.30	
『都市と寺社境内一 江戸の三大寺院を中 心に』光井渉著	山岸 常人	建築史学	58	
『トリノー夢とカタ ストロフィーの彼方 へ』多木浩二著	岡田 温司	読 売	10.28	
『西村画廊35年+』		芸術新潮	751	
〃		日 経	11.11	
〃	岸 桂子	毎日夕刊	6.19	
『日本近代美術史論』 高階秀爾著		日本美術 新聞	3	
『日本古代出土木簡 の研究』八木充著	渡辺 晃宏	歴史学研 究	894	
『日本古代の外交儀 礼と渤海』浜田久美 子著	榎本 淳一	法政史学	77	
『日本古代の僧侶と 寺院』牧伸行著	佐藤 文子	古代文化	587	
『にほんの建築家 伊東豊雄・観察記』 瀧口範子著	(清)	読 売	10.14	
『日本のデザインー 美意識がつくる未来』 原研哉著	三浦 展	〃	1.23	

『日本の笑い 遊び、 洒落、風刺の日本美 術』コロナ・ブッ クス編集部編		水 墨 画*	276	
『ニューヨークの高 校生、マンガを描く 彼らの人生はどう変 わったか』マイケル ・ビッツ著、沼田知 加訳	竹内オサム	日 経	3.18	
『ネンドノカンド 脱力デザイン論』佐 藤オオキ著	北澤 憲昭	朝 日	12.9	
〃		日 経	11.4	
『脳は美をどう感じ るか』川畑秀明著		朝 日	11.18	
『能面の世界』西野春 雄監修、見市泰男解 説	多川 俊英	産 経	11.10	
『ノーマン・フォス ター 建築とともに 生きる』ディヤン・ スジック著、三輪直 美訳		芸術新潮	745	
『パーディタ メア リ・ロビンソンの生 涯』ポーラ・バーン 著、桑子利男・時実 早苗・正岡和恵訳	富山太佳夫	日 経	5.20	
『鹿島茂コレクション 2 バルビエムラ ブルール アール・デ コ、色彩と線描のイ ラストレーション』 鹿島茂著		芸術新潮	750	
『東アジアの日本人 建築家 世紀末から の日中戦争』西澤泰 彦著	鈴木 博之	東 京	1.8	
『ビゴーの150年 異 色フランス人画家と 日本』清水勲編著	酒井 忠康	産 経	1.15	
『被災地の博物館に 聞く 東日本大震災 と歴史・文化資料』 国立歴史民俗博物館 編	上野 純一	〃	4.21	
〃		日 経	6.24	
〃	五味 文彦	毎 日	4.8	
『美術「心」論 漱石 に学ぶ鑑賞入門』古 田亮著		芸術新潮	752	
〃	藤田 一人	東 京	7.1	
『100のモノが語る世 界の歴史 1・2・3』 ニール・マクレガー 著、東郷えりか訳		芸術新潮	754	
『表現者・堀口捨己 ー総合芸術の探求ー』 藤岡洋保著	深澤 直人	A X I S	158	

- 『評伝ナンシー関「心に一人のナンシーを」』横田増生著 中島 岳志 朝 日 7.15
- 〃 大月 隆寛 産 経 9.16
- 〃 難波 功士 日 経 7.8
- 〃 星野 博美 読 売 7.29
- 『「瓢鮎図」の謎—国宝再読ひょうたんなまずをめぐる—』芳澤勝弘著 芸術新潮 756
- 〃 井上 章一 日経夕刊 11.28
- 〃 木村 未来 読 売 11.25
- 『風俗画入門』辻惟雄著 和田 誠 毎 日 9.9
- 『フェルメール 静けさの謎を解く』藤田令伊著 杉山 正明 読 売 3.18
- 『フェルメールの仮面』小林英樹著 石屋 法道 東 京 10.14
- 『フェルメールの食卓 暮らしとレシピ』林綾野著 水墨画\* 274
- 『深読み! 日本写真の超名作100』飯沢耕太郎著 森村 泰昌 朝 日 3.4
- 『複数形のプラハ』阿部賢一著 岡田 温司 読 売 2.26
- 『富豪への道と美術コレクション—維新後の事業家・文化人の軌跡』志村和次郎著 水墨画\* 275
- 『富士幻影—近代日本と富士の病』小原真史監修・著 (前) 読 売 3.11
- 『BOOKS ON JAPAN 1931—1972 日本の対外宣伝グラフィック』森村 泰昌 朝 日 12.16
- 『仏像のかたちと心 白鳳から天平へ』金子啓明著 小滝ちひろ 〃 9.2
- 〃 日 経 9.23
- 『舟越保武全随筆集 巨岩と花びら ほか』舟越保武著 星野 博美 読 売 9.23
- 『ブリュッセルへの旅』中野孝次著 (井) 読売夕刊 1.30
- 『プロイセン・ドイツが観た幕末日本 オイレンブルク遠征団が残した版画、素描、写真』セバステイアン・ドブソン、スヴェン・サーラ編著 産 経 5.31
- 『プロジェクト・ジャパン メタボリズムは語る…』レム・コールハース、ハンス＝ウルリッヒ・オプリスト著、太田佳代子、ジェームス・ウェストコット、AMO 編 大西 若人 A X I S 156
- 〃 日 経 4.1
- 〃 井上 章一 日経夕刊 5.23
- 〃 永田 晶子 毎日夕刊 5.22
- 『紛争と文化外交 平和構築を支える文化の力』福島安紀子著 伊奈 久喜 日 経 6.10
- 『偏愛!! カルト・コミック100』 読売夕刊 10.29
- 『ヘンな日本美術史』山口晃著 渋谷 和彦 産 経 11.28
- 『望遠ニッポン見聞録』ヤマザキマリ著 楊 逸 朝 日 4.29
- 『HOMETOWN EXPRESS 「祝! 九州」写真集』HOMETOWN EXPRESS 製作委員会著 (前) 読 売 5.27
- 『ボクのつぶやき 自伝 @yojikuri』久里洋二著 日 経 4.1
- 『ぼくらの近代建築 デラックス!』万城目学・門井慶喜著 朝 日 12.2
- 『ホテル博物誌』富田昭次著 日 経 5.13
- 『マティス 知られざる生涯』ヒラリー・スパーリング著、野中邦子訳 小倉 孝誠 東 京 9.9
- 〃 宮下規久朗 日 経 7.1
- 『マンガ／キッチン 石子順造サブカルチャー論集成』石子順造著 新川 貴詩 産 経 2.19
- 『マンガのあなた SF のわたし 萩尾望都対談集 1970年代編』萩尾望都著 芸術新潮 748
- 『無限の網 草間彌生自伝』草間彌生著 酒井 順子 東 京 10.14
- 『村上隆完全読本 美術手帖全記事1992—2012』村上隆著 芸術新潮 752
- 『村山知義 劇的尖端』岩本憲児著 出久根達郎 朝 日 8.5
- 『群れない生き方』網谷幸二著 柚月 裕子 産 経 1.29



『明治初期日本政府蒐集舶載建築書の研究』池上重康著	石田潤一郎	日本歴史	774				
『明治版画史』岩切信一郎著	山田 俊幸	大正イマジユリイ	7				
『名碗を觀る』林屋晴三ほか著	保坂健二朗	朝 日	1.8				
『眼と風の記憶 写真をめぐるエッセイ』鬼海弘雄著	角田 光代	読 売	12.2				
『森正洋の言葉。デザインの言葉。』森正洋を語り・伝える会著、ナガオカケンメイ企画	深澤 直人	A X I S	157				
『薬師寺伽藍の研究』宮上茂隆著	藤井 恵介	建築史学	58				
『遊環構造 BOOK SENDA MAN 1000』仙田満・環境デザイン研究所著、藤塚光政写真		芸術新潮	747				
『夢さめみれば 日本近代洋画の父・浅井忠』太田治子著		産 経	2.26				
『夢二 異国への旅』袖井林二郎著	暮沢 剛巳	日 経	11.4				
『夢みる美術館計画 ワタリウム美術館の仕事術』和多利志津子・和多利恵津子・和多利浩一著		芸術新潮	754				
〃	岸 桂子	毎日夕刊	11.6				
『妖怪萬画 1・2』和田京子編	辛酸なめ子	読 売	6.24				
『夭折画家ノオト 20世紀日本の若き芸術家たち』窪島誠一郎著		産 経	6.3				
〃		東 京	7.22				
『常盤山文庫中国陶磁研究会 会報4 米内山陶片II』常盤山文庫中国陶磁研究会編	川島 公之	陶 説	707				
『琉球王国の自画像 一近世沖縄思想史』グレゴリー・スミッツ著、渡辺美季訳	屋良健一郎	非文字資料研究	28				
『琉球出土陶磁社会史研究』吉岡康暢・門上秀敬著	中澤富士雄	陶 説	708				
『ルネサンスの演出家 ヴァザーリ』野口昌夫編著、樺山紘一・石川清・稲川直樹・桑木野幸司・赤松加寿江著	渡辺マユミ	建築史学	58				

〃	黒田 泰介	日伊文化研究	50				
『冷泉家時雨亭叢書別巻一 翻刻明月記紙背文書』冷泉家時雨亭文庫編	大村 拓生	古文書研究	73				
『魯山人と星岡茶寮の料理』柴田書店編集		芸術新潮	746				
『倭国史の展開と東アジア』鈴木靖民著	杉山 正明	読 売	5.6				
『和紙の里 探訪記—全国三百カ所を歩く』菊池正浩著		日 経	11.11				

## 海外刊行書

Matthew Philip McKelway, <i>Capitalscapes : Folding Screens and Political Imagination in Late Medieval Kyoto</i> (Honolulu : University of Hawaii Press, 2006).	佐藤 康宏	美術史論叢	28				
Lars Erik Holmquist, <i>Grounded Innovation : Strategies for Creating Digital Products</i> (Massachusetts : Morgan Kaufmann Publishers, 2012).	稲蔭 正彦	A X I S	159				
『昭陵墓誌通釈』胡元超著	松浦 典弘	東アジア石刻研究	4				
『長安新出墓誌』西安市長安博物館編	江川 式部	〃	〃				

## 時 評

## 前年度分

ブロック報告 東京ブロック 善戦・苦戦・奮戦—2011年度前半の展覧会を振り返って	松本 透	ZENBI	1				
アートシーン時評 MAGIC 通信 第2回 東京アートイベント月間と F. E. S.	岡田 聡	ファウンテン	2				

## 当年度分

2012年 前半(1~6月)大型企画展の話題から「草間彌生展」21万人超(大阪・国立国際美)は一つの“事件”		新美術新聞	1284				
新美術時評 2012年と「中国書画展の流れ」	島尾 新	〃	1299				

|| ||

ZENBI 2

三上 満良

近藤 健一

西野 基久

美術手帖 963

清水 糞

965

太西 若人

朝日夕刊 12.19

池沢 和彦

産 経 12.26

三沢 典丈

東京夕刊 12.21

窪田 直子

日 經 12.17

每日夕刊

伊藤 和史

12.18

岸 桂子

12.19

讀 売

早川 保夫

12. 12

高野 清目

12 12

「佐」  
「藍」

読売夕刊 12.17

A X I S 155

新美術新聞 1268

劍持 邦弘 〃 1278

11 1297

竹見洋一郎 美術手帖 964

" 971

竹見洋一郎      //      975、976

湯浅 英雄 美術フォーラム21 25

ファウン  
テン

2

"

"

3

"

受賞者が個展・グループ展を開催—GEISAI#16開催、および GEISAI Galleryオープン				3		東京美術倶楽部のいま—浅木正勝氏聞き書き	小林 忠 国華清話 20 聞き手 会報
マンガの魅力 再確認 手塚治虫文化賞贈呈式	宮本 茂頼 朝 日	5.28				アートマーケット情報	桂木 紫穂 新美術新聞
あすから「第31回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」審査講評 本江邦夫審査員長 女性の受賞者多く作品に迫力	本江 邦夫 産 経	3.2				5 11月・ニューヨーク—躍進するコンテンポラリー・アートのセール—	1269
文化 日本写真協会賞に石川さんら決まる			東京夕刊	5.16		6 2月のロンドン市場—18年間で15倍になったムアの彫刻—	1273
第5回東山魁夷記念日経日本画大賞 選評 高階秀爾選考委員長 豊かな創造活動伝える	高階 秀爾 日 経	4.30				7 2011年2大オークション会社の業績—過去2番目の快挙	1276
毎日広告デザイン賞先を見つめ	冠木 雅夫 毎 日	3.19				8 ムンク「叫び」・フィーバー 5月のニューヨーク市場	1281
第4回絹谷幸二賞贈呈式 力強さと緻密さ、前途に期待	岸 桂子 永田 晶子 毎日夕刊	3.26				9 2大オークション会社の業績 1989—2011—ピークは07年	1284
講談社漫画賞に遠山えまさんら			〃	5.15		10 6月のロンドン市場—ミロ、イヴ・クライン、バスキアの世界最高価格—	1288
読売あをによし賞 本賞 手漉和紙の用具製作、修理 山本忠義さん 特別賞 財団法人美術院			読 売	5.2		11 独走するクリスティーヌ	1291
ポスタートリエンナーレ グランプリに福島治さん			〃	7.19		12 シュルレアリスム美術ブーム	1294
						13 11月のニューヨーク市場を席捲するコンテンポラリー・アート	1298
美術市場						美術作家による 震災遺児支援 チャリティオークション「3・11きずな展」開催へ 3～5月、東京・盛岡・京都3都市を巡回、入札方式で 西野陽一、森田りえ子、藤井勉氏ら日・洋・彫・工の121名	
報告 平成二十三年の浮世絵オークション	長井 裕子 浮世絵芸術	164				アートフェア東京 2012 直前特集 —日本美術の価値観をシャッフル—	1271
特集 2011—2012 国内アートフェアの動き			ギャラリー*	321			〃
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第7回 SH Contemporary 2012	梶川 強 〃	330					
わたし一人の美術時評 第17回 不況に漂う美術市場	藤田 一人 芸術新潮	745					山下 裕二 〃
年間成約額1368億円! 中国美術オークションを牽引する王雁南女史に訊く			〃	747		特集 2012 年末回顧 景気回復の道筋いまだ見えず	1299
現地特別レポート クリスティーヌ香港で知る 美術オークションのいま			〃	752		レポート墨 美術作家による震災遺児支援 3・11きずな展 チャリティオークション	水墨画* 278

時評	日本美術 新聞	3	WORLD NEWS クリスティーズ香港 安定した成長で2011年の落札総額は過去最高に	エリック・チャン レポート 編集部 構成	〃	963
ピカソが中国の画家に抜かれた!?						
劉生の幻の名作、51年ぶりに現る			アートステージ・シンガポール2012	ダリル・ウィー	〃	964
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 1 2000年以降のアートマーケットの動向	美術手帖	962	ART KYOTO 2012 京都から、世界水準の市場を創出	杉瀬 由希	〃	966
数字で知る、アートマーケットの規模	藤高 晃右 文 カイカイキ キ 特集協力		REVIEWS02 清水 穣 月評第51回 アートフェアの余白に「フリーズ・アートフェア・ロンドン」「フリーズ・マスターズ」	清水 穣	〃	976
年表でたどるアートマーケットの発展史	藤高 晃右、 藤森 愛実 文 カイカイキ キ 特集協力		現代美術の歩き方 異論反論・現代美術「超京都」:時空を超えるウルトラ性を魅了にしたアートフェア	太田 垣實	美術の窓	340
アートマーケット概論	伊東 豊子		視点 FIAC アートフェア	フィリップ・コドニエ 福永 博子	〃	341
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 2 アート界を動かすキーパーソン『アートレビュー』誌の「パワー100」解析	〃	〃	アートフェア東京 2012		美術屋・百兵衛	20
			六本木アートナイト 2012		〃	〃
			課外授業 美術のお時間 17時間目	安井 収蔵	〃	21
SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART 3 沸騰するアジアマーケット	〃	〃	HEADLINE		ファウンテン	
クリスティーズ香港 アジアアートマーケットを確立した立役者	エリック・チャン ダリル・ジ ングウエン ・ウィー 取材・文		街ぐるみで東京ブランドの再生を図る—「TOKYO SP-RING」記者会見、およびアートフェア東京2012			2
アート香港 世界最高峰のアートフェアへ虎視眈々	マグナス・レンフリユ ー ダリル・ジ ングウエン ・ウィー 取材・文		入場者数、出店数ともに減少—ブリュス・ジ・アートフェア2011			〃
ガゴシアン・ギャラリー香港 2011年1月、満を持してのアジア進出	ニック・シム ノヴィク 編集部 取材・文		会場規模を拡大し、入場者数、出展・協力ギャラリー数など過去最高—アートフェア東京 2012			3
『アート・アジア・パシフィック』誌 グローバル視点からアジア美術を発信	エレイン・ン ダリル・ジ ングウエン ・ウィー 取材・文		トップギャラリーによる見応えある展示—G-tokyo 2012			〃
			日本の現代アートギャラリーによるニューヨーク初、そして唯一の試みとしてのアートフェア—NEW CITY ART FAIR	戸塚憲太郎 他	〃	2

## ART KYOTO 2012

国立京都国際会館と  
ホテルモントレ京都  
の2会場を中心に京  
都市内各所で関連イ  
ヴェントも多数開催

レポート 2011 東美  
アートフェア開催報  
告

話題の人 巻頭イン  
タビュー 金島隆弘  
さん

特集1 春の骨董フ  
ェア完全ガイド

骨董市から注目の  
アートイベントま  
で春~初夏のお出  
かけ案内

主催者にきく1  
東京アート&アン  
ティーク

主催者にきく2  
目白コレクション

主催者にきく3  
TOKYO ANTIQUE  
FAIR

渋谷ヒカリエは古  
美術企画が目白押  
し

特別座談会 京都で  
美しいと出会う

レポート 東京アン  
ティークフェア2012

特集 これからの“骨  
董”を語ろう 10年先  
、20年先の古美術界を  
考える

市場と出会う美大生  
5 美大の卒業 ギャ  
ラリーオーナーと歩  
く

美術品売却 オーク  
ションで 東電「よ  
り高値で」透明性も  
向上

ヒトラーの「海」320  
万円 20代作品ネッ  
トで落札

美術市場 安定成長  
へ 中国、透明な取  
引環境を

石橋圭吾他

ファウン  
テン 3

編 集 部 目 の 眼 424

金島 隆弘  
談 編 集 部 // 428

// 429

西川 英治  
談沼野 国典、  
河野 齊光  
談藤城彰太郎、  
小西 基仁、  
前坂 規之  
談川嶋 涉  
小池 一範  
善 征  
三 正  
島 嗣  
松 喜  
本 信  
早 宏  
川 憲  
前 一川島 公之  
関 隆  
平 龍一

大西 若人 朝日夕刊 2.29

産 経 6.4

東京夕刊 1.30

菅原 教夫 読 売 1.24

## 美術館・博物館・画廊

## 一 般

大谷光瑞「国家の前  
途」を考える 第二  
部 大谷光瑞とアジ  
ア-帝国の拡がりど  
ともに

韓国〈大谷コレク  
ション〉の現代史

大谷探検隊入蔵者  
資料と最近の研究  
動向

館長の独り言 美術  
館の地震対策

デジタルデバイスを  
用いた展示の実践

研究発表(要約) 災  
害と美術館の役割

わたし一人の美術時  
評

第18回 いまこそ、  
官製美術館の本質  
を問う

第19回 日本人の  
美術観と美術館

第26回 高額「ツ  
タンカーメン展」  
の異例の盛況ぶり

研究報告 サウスケ  
ンジントン博物館と  
東京大博物館構想

平成22年度 公開シ  
ンポジウム「画家の  
アトリエと美術館」  
第III部 ディスカ  
ッション

記録 災害と博物館  
I 一東日本大震災に  
おける埼玉県内博物  
館施設の被災と対応  
状況一

博物館展示環境にお  
けるLED照明と排熱  
設計

特別講義報告 博物  
館・美術館における  
“和”の空間・光のデ  
ザイン

大震災を機に“歴史  
・文化が地域社会の  
基盤”明らかに 新  
たに「全国歴史民俗  
系博物館協議会」(歴  
民協)が発足 情報  
共有のネットワーク  
化めざす 全国から  
660館が会員参加

アジア遊  
学 156

山本 浄邦

高本 康子

竹内 順一 永青文庫 77

木野戸 直 大阪文化  
財研究 40

伊藤 由美 近代画説 21

藤田 一人 芸術新潮

746

747

754

藪 亨 芸術文化  
研究 16内田 青蔵 小金井市  
立はけの  
薩摩 登八 森美術館  
橋本 善万 年報  
村山 介 H18-22  
年度井上 尚明 埼玉県立  
歴史と民  
俗の博物  
館紀要 6和田 浩 女子美術  
大学研究  
紀要 42木下 史青 書道学論  
集 9新美術新  
聞 1289

学芸員や研究者の立ち位置についての素描—パブリック考古学と関連分野のモデルに注目して—	村野 正景 朱 雀	24	近畿ブロック 近畿圏、近年の動向から	奥村 泰彦		〃	
ブロック報告		ZENBI	中国ブロック 地域の文化資源と結びつく美術館	前田 淳子		〃	
北海道ブロック 街全体を舞台にした展覧会と作家の連携	吉崎 元章	1	四国ブロック 高松、丸亀、久万、そして徳島	吉川神津夫		〃	
東北ブロック 福島からの報告	荒木 康子	〃	全美フォーラム			〃	
美術館の存在意味を問われる—3・11以後、2011年春夏の美術館活動について	小勝 禮子	〃	「博物館倫理規定に関する調査研究報告書」についての報告	安田 篤生		2	
近畿ブロック 関西の美術(館)事情	菅谷 富夫	〃	日本美術を海外に紹介する—より良い英訳を作成するためのヒント—	白原由起子		3	
九州ブロック 面的な情報発信は可能か?—連携進む九州の美術館	山口 洋三	〃	アメリカの博物館における教育事情の調査	宇野 柿崎 慶孝	玉川大学教育博物館紀要	9	
北海道ブロック 北海道の美術館文化	岩崎 直人	2	歴史学と博物館のありかたを考える会8月例会 「2008年に行われた博物館法の改正を考える」参加記	桑原 功一	地方史研究	355	
関東ブロック 第二世代美術館の行方、など	前山 裕司	〃	動向 日本歴史学協会		〃	357	
東海ブロック コレクション展に見る時代の気分	川谷 承子	〃	博物館法制定60周年記念シンポジウムを聞いて	田辺 龍太			
中国ブロック 知恵を絞って	柳沢 秀行	〃	地域博物館は誰のものか? 「博物館法制定60周年記念シンポジウム 地域博物館の現状と今後の課題」に参加して	竹村 到			
四国ブロック 四国四県の美術館動向	松本 教仁	〃	ミュージアム・ミュージアム	ラワンチャイケン 寿子	デアルテ	28	
九州ブロック 美術館の原点へ/拡張する美術館へ—九州の活動から—	坂本 顕子	〃	研修報告 多文化国家の博物館政策 —シンガポールの国立博物館における取り組み—	竹内 有理	長崎歴史文化博物館研究紀要	6	
北海道ブロック 一小規模間から見た動静	菅 訓章	3	事例報告 美術館と学校教育の連携—子ども学芸員の取組—	野村 宏毅	新潟県立近代美術館研究紀要	11	
東北ブロック 被災地の美術館と美術館家、その後	大野 正勝	〃	公立歴史博物館における通史展示の展示シナリオと展示設計	増田 碓田 谷	亜樹 智子 直樹	日本建築学会計画系論文集	671
関東ブロック 美術館の初心 関東ブロックから	水沢 勉	〃	シリーズ 新自由主義時代の博物館と文化財 災害展示の方法を考える—災害展示の現状をふまえて—	兒玉 州平	日本史研究	604	
東京ブロック 再生・ボーダレス・初	保坂健二朗	〃					
東海ブロック 展覧会(特別展)の傾向から見えてくるもの	山田 論	〃					

展覧会評 北斎展 ホノルル美術館所蔵 葛飾北斎生誕二五〇 周年記念		日本美術 新聞	3	21世紀の民族学博物 館の行方 機関研究 「マテリアリティの 人間学」領域 民族 学資料の収集・保存 ・情報化に関する実 践的研究：ロシア民 俗学博物館との国際 共同研究	佐々木史郎	民博通信	138
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京を熱くす るオルタナティブス ペース	岡澤浩太郎	美術手帖	966				
特集 模写から学ぶ 絵画の技法 美術館 と模写	青柳 正規 談	美術の窓	349	場の政治学—アフリ カの同時代美術はど こに展示されてきた か	川口 幸也	ムゼイオ ン	58
視点 いじわるチェ ック…旅先で	武田 厚	〃	351	中国博物館最新事情	北里 晋	目の眼	427
東京文化考		美術屋・ 百兵衛		話題の人 巻頭イン タビュー 藤原工さ ん	藤原 工 談 編 集 部	〃	432
長谷川栄のミュー ゼオロジ—美術 館大学の無い日 本、文化国家なの になぜ?—	長谷川 栄		21	博物館における展示 形態の再検討—提示 型展示・説示型展示 ・教育型展示につい て—	山田 磯夫	早大津 八—記念 博紀要*	13
東京スカイツリー と周辺のアートの スポット			〃	愛蔵品持ち寄り展示 個人収集家が巡回	増田 愛子	朝 日	10.29
II 上野の杜は、 アートの森 上野 の美術館・博物館			22	西洋の名作見られる 機会 「美術館展」大 入りだけど 役割問 われる美術館 学芸 員の意義とは	近藤康太郎	〃	12.12
II 百兵衛セレク ション 銀座ギャ ラリーガイド			〃	歴史民俗系の博物館 が協議会	木村 尚貴	朝日夕刊	6.25
佐賀文化考 時代を 超えて… 歴史ロマ ンの地、佐賀。		〃	23	「出前」で伝える博物 館の魅力 土器づく り教室や移動展示	宮代 栄一	〃	8.27
リレーエッセイ		美連協ニ ュース		4「読ん」で知るア ート 映画に見る絵画 展示まで続く気苦労	滝本 誠	〃	12.19
44「アートの眼」 の普及 巷にいつ ぱい おもしろア ート	吉田 俊英		115	表現や鑑賞の喜び得 やすい美術館に 聴 覚障害者向け NPO 法人が初の取り組み	村島 有紀	産 経	2.21
45 美術館に影を 落とす「クラウド」 —「もの」とデータ、 流れる雲に寄せて	熊田 司		116	アートな街 六本木 相次ぎ話題の美術館 進む環境づくり	渋谷 和彦	〃	3.14
特集・日本の地域博 物館シンポジウム9		MUSE- OLOGIST	27	20年目の「画廊から の発言 新世代への 視点」 若手が羽ば たく 銀座 老舗の 心意気	〃	〃	7.18
第9回日本の地域 博物館シンポジウ ムについて	吉田 優			金曜討論 オピニ オン 美術館内での撮 影 酒井忠康氏静か な環境で鑑賞したい 美術活動の活性化に 有効 青柳正規氏 「許可」に61%が YES	渋谷 和彦 黒沢 綾子	〃	8.17
これまでの議論を ふりかえって	外山 徹						
これからの博物館 共同調査研究につ いて	吉田 優						
特集 世界をさわる 手法を求めて ユニ バーサル・ミュー ジアムの可能性	小山 修三、 広瀬浩二郎 対談	みんぱく	418	文化往来 歴史民俗 系博物館の全国組織 が発足		日 経	6.26

文化 文学館逆風  
軒並み経営難、集客  
へ苦心 作家招き朗  
読会・絶版を復刊  
千場 達矢 〃 11.24

美術のなぜ、ITで  
体感 創作過程を一目で  
金剛鈴の音再  
現  
窪田 直子 日経夕刊 5.1

あすへの話題  
小山 修三 〃  
博物館のこれから 10.18  
さわって楽しむ 12.13

らいふプラス 夜の  
美術館へ アート探  
訪 昼とは別の顔  
しっとり鑑賞  
古山 和弘 日経夕刊 10.27

教育ルネサンス リ  
ケジョを増やせ！  
4 博物館で「学芸  
員」体験  
金来ひろみ 読 売 3.21

記者ノート 古美術  
展示 スマートに  
前田 恭二 〃 4.20

「非正規」増加 学芸  
員シンボ 将来描け  
ず、企画に影響も  
木村 未来 〃 5.17

全国の歴史民俗系博  
物館が連携 協議会  
設立、危機管理など  
議論  
〃 7.18

遊ぶ、楽しむ 体験  
展示  
竹之内知宣 〃 8.22

「美術」見て 触れて  
感じて 作家の感動  
を子供たちに  
井上 晋治 〃 8.23

日 本

(ア行)

リレーエッセイ42  
「ジャクソン・ポロ  
ック展」開催におも  
うこと 日本初 生  
誕100年を期に実現  
[愛知県美術館]  
村田 眞宏 美連協ニ  
ュース 113

青森県立郷土館の小  
・中学校を対象とし  
た移動博物館につい  
て III  
佐藤 琢 青森県立  
郷土館研  
究紀要 36

museum 北から南80  
「美の再発見」の時代  
アサヒビール大山崎  
山荘美術館  
芦刈 歩 新美術新  
聞 1287

日本史のひろば 壱  
岐市立一支部博物館  
のこと  
須藤 正人 歴史と地  
理 655

VIEW 池田文庫 池  
田文庫はポスター宝  
庫～記憶の喚起装置  
としてのポスター～  
菅谷 富夫 阪急文化 2

香川文化考 香川が  
誇る世界一の銘石  
庵治石[イサム・ノ  
グチ庭園美術館]  
美術屋・  
百兵衛 20

ブロック報告 北信  
越ブロック 目の前  
を行き来する潜在的  
鑑賞者たち[石川県  
立美術館]  
二木伸一郎 ZENBI 2

香川文化考 香川が  
誇る世界一の銘石  
庵治石[石の美術館  
ストーンミュージア  
ム/石の民俗資料館]  
美術屋・  
百兵衛 20

復興の風景 下 ヒ  
ーローで 石ノ森萬  
画館 未来に向かっ  
て共に  
岩岡 千景 東京夕刊 3.8

復興レッツゴー!!  
石巻・石ノ森萬画館  
が再開 1年8ヵ月  
ぶり、ヒーロー集合  
日 経 11.18

特集 中国と東アジ  
ア近代のコレクシ  
ョン形成と研究の背  
景 第1部 関西に  
おける中国書画近代  
コレクションの形成  
久保惣コレクション  
と中国美術[和泉市  
久保惣記念美術館]  
河田 昌之 美術フォ  
ーラム21 26

新規会員館紹介  
no.1 一関市博物館  
地域の歴史と文化を  
取り上げる人文系博  
物館  
大衡 彩織 ZENBI 2

全美フォーラム04  
二年後。自然と芸術。  
そしてレクイエム。  
[茨城県近代美術館]  
市川 政憲 〃 3

ルーヴルーDNP ミ  
ュージアムラボワー  
クショップ「くらべ  
てみよう、見てみよ  
う」 東北三県巡回  
ルーヴルー美術館展  
出展作品鑑賞ワーク  
ショップ[岩手県立  
美術館]  
伊部 玉紀 美術手帖 969

視点 東北三都市巡  
回展「ルーヴルー美術  
館からのメッセージ  
：出会い」が開くま  
で[岩手県立美術館]  
吉田 敬子 美術の窓 345

美博なう 組んで刷  
って活版体験 印刷  
博物館  
朝日夕刊 12.5

香川文化考 伝統工  
芸品 丸亀うちわ[う  
ちわの港ミュージア  
ム]  
美術屋・  
百兵衛 20



museum 北から南82 開館15周年記念 横 山大観展[宇都宮美 術館]	前村 文博	新美術新 聞	1290	博物館活動 博・学 連携から教育普及活 動の可能性を探る[大 阪府立近つ飛鳥博物 館]	横山 幸子	大阪府立 近つ飛鳥 博物館報	15
新規会員館紹介 no.3 海の見える杜 美術館 自然との対 話ができる癒しの空 間	森 議弘	ZENBI	2	秋元康流アートのす すめ 第40回ゲスト 高松聡[オオタファ インアーツ]	山内 宏泰 構成	美術手帖	963
館長の独り言[永青 文庫]	竹内 順一	永青文庫		SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー ピラミデビル さまざまなジャンルの アートを満喫できる [オオタファイン アーツ]	中島 水緒	〃	966
モックアップ			78				
展示におけるハレ とケ			79				
コレスポンダンスー 私の永青文庫— ど んな切り口で企画を 立てても関連する作 品を永青文庫が所蔵 していなかったこと は皆無だ。	石田 佳也	〃	〃	museum 北から南79 名画で体験イタリア めぐり 大塚国際美 術館	岡村 修二	新美術新 聞	1285
大名家文庫、存在ア ビール 積極的公開、 空港展示や出版も 「生き残りへの発想 の転換必要」[永青文 庫]	小川 雪 宮代 栄一	朝日夕刊	6.11	探訪ミュージアム32 大友氏遺跡学習体験 館	矢田 宇紀	歴史地理 教育	788
SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 海外メゾンで 最先端のアートを見 る エスパス ルイ ・ヴィトン東京	永峰 美佳	美術手帖	966	画廊の本音 岡崎画 廊 偉大な作家と共 に歩み、育てられ	和田 圭介	新美術新 聞	1286
探訪ミュージアム33 エドウィン・ダン記 念館(旧北海道庁真 駒内種畜場事務所・ 北海道札幌市南区真 駒内)	佐藤 広也	歴史地理 教育	789	美術館紹介5 おか さき世界子ども美術 博物館	榊原 悟	連盟ニユ ース	444
美博なう 伝統の技 感じる職人体験 江 戸東京たてもの園		朝日夕刊	10.10	探訪ミュージアム28 岡まさはる記念・長 崎平和資料館(長崎 県長崎市)	末永 浩	歴史地理 教育	784
東京文化考Ⅱ 隅田 川花火大会と東京都 江戸東京博物館		美術屋・ 百兵衛	22	評論の眼 置戸ぼっ ぽ絵画館「選ばれた 寄贈作品展」北の 大地に寄贈受け入れ 施設オープン	ワシオ・ト シヒコ	ギャラリー 一*	332
画廊の本音 O ギャ ラリー 作家と分か つ悲喜交々 可能性 を育てる	和田 圭介	新美術新 聞	1272	画廊の本音 オンワ ードギャラリー日本 橋 アーツ事業40年 継続から生まれる信 頼	松崎 裕子	新美術新 聞	1269
清き一票、展示に一 石 東西の近代美術 館ファンの意思問い かけ[大阪市立近代 美術館]	西岡 一正	朝日夕刊	10.24	香川文化考 香川県 立東山魁夷せとうち 美術館		美術屋・ 百兵衛	20
時評 大阪人権博物 館のリニューアルを めぐって—学芸員 の思索—	吉村 智博	歴史学研 究	889	報告 史料館展示に おけるアンケート調 査の可能性—「明治 の視覚革命!」展と 「是!」展アンケート から考える—[学習 院大学史料館]	楠本 竜 戸矢 浩子	学習院大 学史料館 紀要	18
				museum 北から南81 山口華楊 生命の輝 きを描く 笠岡市立 竹喬美術館	上 蘭 四郎	新美術新 聞	1289

(力行)

公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館開館40周年インタビュー 長谷川徳七館長・智恵子副館長に聞く	〃	1292	展示批評 北区飛鳥山博物館企画展「天明以来ノ大惨事—明治43年水害と岩淵」を觀て	吉田 優	地方史研究	355
全美フォーラム06 空間芸術と時間芸術の横断 プロジェクト「アート・コンプレックス」[神奈川県民ホールギャラリー]	中野 仁詞	ZENBI 3	博物館・美術館新時代29 開館三十年とリニューアルを経て[岐阜県美術館]	正村 美里	紫 明	31
博物館展示のいま27 金沢能楽美術館 世界で唯一の能楽専門美術館	山内麻衣子	歴 博 174	探訪ミュージアム37 岐阜市平和資料室	魚次 龍雄	歴史地理教育	793
ミュージアム・ミュージアム ワークショップ わたしのたいせつなもの[嘉麻市立織田廣喜美術館]	大村 五月	デアアルテ 28	北欧デザイン家具と現代アート作品のコラボレーション—家具店とギャラリーによる共同展覧会の試み[Gallery 惺]	丸山 篤	ファウンテン	3
資料保存利用施設の紹介—鴨川市郷土資料館— 地域の歴史・文化を次代に引き継ぐために	石川 丈夫	千葉県の文書館 17	特別展 美のワンダーランド 十五人の京絵師 伝統を打ち破り、新しい“美”を創った15人の絵師[九州国立博物館]	畑 辻	靖紀 惟雄	Asiage 25
中特集 絵画のある旅を楽しもう 軽井沢千住博美術館と南軽井沢アートスポット 進化する美術館でありたい	品川 恵保	水墨画* 280	体験用資料を活用した視覚障害児童の展示観覧支援について[九州国立博物館]	池内 一誠	東風西声*	7
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術オープニング展は豪華な面々が勢ぞろい 軽井沢に新しい現代美術館がオープン [軽井沢ニューアートミュージアム]		美術の窓 345	平成二十三年海外展報告[九州国立博物館]		文化財*	584
ニューアートミュージアム 軽井沢 芸術文化の拠点に 最初の展覧会「具体美術」を発信[軽井沢ニューアートミュージアム]			平成二十三年アジア友好日本古美術展について	齊藤 孝正		
関西ギャラリー再発見 VOL. 16 画廊シャノワール		美術屋・百兵衛 22	滋賀県の文化財、海を渡る—文化庁「海外古美術展」での展示公開—	井上ひろ美		
特集・日本の地域博物館シンポジウム9 川越市立博物館の企画展作業を通じた事例報告	井口 信久	MUSEOLOGIST 27	美術館の展示と意図 II—「没後120年 ゴッホ展」から[九州国立博物館]	山田 磯夫	横浜美術教育・研究紀要	2
museum 北から南86 神田日勝記念美術館 友の会創立20周年協賛 神田日勝と新具象の画家たち 神田日勝記念美術館	菅 訓章	新美術新聞 1296	日本史のひろば 九州歴史資料館	松川 博一	歴史と地理	657
			人気集めるマンガミュージアム 観光施設リニューアルも相次ぐ[京都国際マンガミュージアム]		日経夕刊	2.28
			新規会員館紹介 no.6 清須市はるひ美術館 地域に親しまれる緑豊かな憩いの美術館	喜田早菜江	ZENBI 1	
			SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアートをめぐる、ベストツアー 清澄ギャラリーコンプレックス 有名ギャラリーが一挙に見られるスポット	中島 水緒	美術手帖	966

春爛漫アートのスポット 開花宣言！ 青春 芸術村			芸術新潮	749	上野の杜の12の物語 第十章 国立科学博 物館	中野	中	美術屋・ 百兵衛	20
画廊の本音 銀座柳 画廊「全ての家庭に 作品を」2人の理 想の未来をめざして	和田 圭介	新美術新 聞		1291	国立建築資料館を開 設 来月1月 著名 建築家の図面・模型 収集[国立近現代建 築資料館]	木村 大西	尚貴 若人	朝日夕刊	12.1
美術館における伝統 ・文化に関する教育 普及活動の取り組み —永青文庫たんけん 隊プログラム実践報 告—[熊本県立美術 館]	犬童 昭久	熊本県立 美術館研 究紀要		12	ブロック報告 近畿 ブロック 関西の美 術館の連携について [国立国際美術館]	島	敦彦	ZENBI	2
海外の若手 支援 文化交流の美術館完 成 千葉・茂原市[グ ローリアミュージア ム]	佐々木香理		東	京	10.16	青木	保	新美術新 聞	1269
群馬県立近代美術館 における学校連携に ついての報告	熊谷ゆう子 見城久美子	群馬県立 近代美術 館研究紀 要		7	視点 開館五周年を 迎えた国立新美術館		〃	美術の窓	343
常滑に、残った残っ た、テラコッタ「建 築陶器のはじまり館」 オープン		芸術新潮		751	美術館の展示と意図 II—「没後120年 ゴ ッホ展」から[国立新 美術館]	山田	磯夫	横浜美術 大学 教 育・研究 紀要	2
丸木美術館再び脱原 発 「原爆の図」太陽 光発電で照らせ 東 松山夏導入へ寄付募 る[原爆の図丸木美 術館]			東	京	4.21			産 経	4.23
新ギャラリーオープ ン KOKIARTS 国内 外の若手から超ベテ ランまで、幅広い世 代の作家を扱う[コ ウキアーツ]	石橋 高基	ファウン テン		2	国立西洋美術館に「橋 本コレクション」の指 輪類805点一括寄贈 へ 紀元前2000年〜 現代まで4千年にわた る貴重な文化遺産			新美術新 聞	1288
博物館展示のいま26 豪商の館田中本家博 物館 このすばらしい 文化を残したくて	田中 和仁	歴 博		173	あすへの話題 国立 デザイン美術館	青柳	正規	日経夕刊	12.14
museum 北から南84 開館20周年記念 生 誕100年 小磯良平 の世界 神戸市立小 磯良平記念美術館	辻 智美	新美術新 聞		1293	論点 国立デザイン 美術館構想 創造力 学び育む施設に		〃	読 売	12.28
開館30周年記念特別 展 あんな話こんな 話 観覧や学習の支 援となる復元品や模 型—特別展「国宝桜 ヶ丘銅鐸のなぞに迫 る」から—[神戸市立 博物館]	橋詰 清孝	神戸市立 博物館だ より		102	シリーズ歴博三〇周 年[国立歴史民俗博 物館]			歴 博	
研究発表(要約) FU- KUSHIMA のいま— 郡山市立美術館から —	中山 恵理	近代画説		21	1 歴博三〇周年 を迎えて	平川	南		172
美術館紹介3 郡山市 立美術館—開館20 周年を迎えます—	永山多貴子	連盟ニュ ース		443	2 遺跡から歴史 をひも解く—発掘 調査による土地の 変遷を求めて—	岡田	茂弘		173
					3 歴博創設当時 の思い出	白石太一郎			174
					4 小さな世界の 歴史から—歴博開 館前後から現況ま で	塚本	学		175
					美術館案内 五島美 術館—古経楼・五島 慶太の美の殿堂—	名児耶	明 聚	美	5
					新美術時評 五島美 術館のリニューアル オープンのこと	島尾	新	新美術新 聞	1296

五島美術館リニュー アルオープン 新装 開館記念名品展 時 代の美 五島美術館 ・大東急記念文庫の 精華 ゆとりある展 示空間へ	砂澤 祐子	水墨画*	284	サントリー美術館の 教育普及活動—本物 に触れる感動と「日 本美術って面白い!」 を伝えたい	常安 順子	サントリ ー美術館 研究紀要	1
画廊の本音 小林画 廊 国際舞台で活躍 できる作家の発掘と 育成を	松崎 裕子	新美術新 聞	1297	サントリー美術館の インターネット関連 活動報告	吉岡 泉	〃	〃
関西ギャラリー再発 見 VOL.15 小山登美 夫ギャラリー京都		美術屋・ 百兵衛	21	サントリー美術館・ 東京ミッドタウン5 周年記念「毛利家の 至宝 大名文化の精 粋」展 武家の格調 「三矢」の英知 雪舟 の最高傑作詩興誘う	石田 佳也 朝 日		4.13
(サ行)				国宝、ふれて感じて マルチメディアで変 わる「鑑賞」[サント リー美術館]	増田 愛子	〃	8.15
美博なう 家族の思 い出募集中 埼玉県 立近代美術館			朝日夕刊	7.25			
記録 埼玉県立歴史 と民俗の博物館のリ ノベーション—大規 模改修を終了して課 題と展望—	高橋 孝夫 濱 興治	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館紀要	6	「れい感博物館」雑考 〜博物館における「み る=視覚」情報につい ての覚書〜[滋賀県 立安土城考古博物館]	鈴木 康二	滋賀県立 安土城考 古博物館 紀要	20
らいふプラス 自然 美・人工美が若者魅 了、美術館で相談会 も 盆栽はクール 育てて実感[さいた ま市大宮盆栽美術館]	林 英樹	日経夕刊	4.21	特集 世界をさわる 手法を求めて ユニ バーサル・ミュージ アムの可能性 「時 間」の壁を越えられ るか!?—レプリカの 可能性[滋賀県立安 土城考古博物館]	〃	みんぱく	418
佐賀文化考 佐賀県 立美術館 郷土ゆか りの作品を中心に収 集・展示する		美術屋・ 百兵衛	23	探訪ミュージアム39 滋賀県立安土城考古 博物館(滋賀県近江 八幡市)	家長 隆	歴史地理 教育	795
新規会員館紹介 no.4 佐久市川村吾 蔵記念館 活力ある 社会の形成に寄与す る美術館	三石 敏政	ZENBI	1	文化財公開による海 外交流—文化庁海外 古美術展「日本 仏 教美術—琵琶湖周辺 の仏教信仰—」[滋賀 県立琵琶湖文化館]	井上ひろ美	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	28
museum 北から南78 彫刻作品に着目して —コレクションの魅 力を考える 佐久市 立近代美術館	土屋 信	新美術新 聞	1281	平成二十三年度海外 展報告[滋賀県立琵 琶湖文化館]		文化財*	584
新・収蔵品展—平成 23年度収蔵 視察報 告 佐久市立近代美 術館		新美術新 聞	1293	平成二十三年度ア ジア友好日本古美 術展について	齊藤 孝正		
関西ギャラリー再発 見 VOL.17 桜塚ギヤ ラリー		美術屋・ 百兵衛	23	滋賀県の文化財、 海を渡る—文化庁 「海外古美術展」で の展示公開—	井上ひろ美		
春爛漫アートのスポ ット開花宣言! 郷さ くら美術館東京		芸術新潮	749	式年遷宮記念せんぐ う館開館	石垣 仁久 瑞 垣		223
探訪ミュージアム34 佐野市郷土博物館 (栃木県佐野市)	飯田 進	歴史地理 教育	790	「せんぐう館」建設を 通して	山内 隆司	〃	〃
美博なう 「不思議」 実感するアート 佐 野美術館		朝日夕刊	6.20	静岡県立美術館の地 震防災体制について	新田 建史	静岡県立 美術館紀 要	27

museum 北から南83 初公開作品の数々、 まさに「楽園」 静岡 県立美術館	富士 雄也	新美術新 聞	1292	視覚障害者、その美 術鑑賞への提案— 「ミュージアム・セ ッション」とルーヴ ル美術館の触察本に ついて[世田谷美術 館]	渡辺 慎子	世田谷美 術館紀要	13
美博なう やぐらの 上からロダン 静岡 県立美術館		朝日夕刊	9.5				
探訪ミュージアム41 静岡平和資料センタ ー(静岡市)	浅見 幸也	歴史地理 教育	798	平成22年度 公開シ ンポジウム「画家の アトリエと美術館」 第Ⅱ部 事例紹介2 世田谷美術館分館向 井潤吉アトリエ館	橋本 善八	小金井市 立はけの 森美術館 年報	H18-22 年度
新規会員館紹介 no.1 七戸町立鷹山 宇一記念美術館 市 民に支えられるプチ ギャラリー	戸館 昭吉	ZENBI	1	視点 泉屋博古館分 館十周年を迎えて	川口 直宜	美術の窓	342
画廊の本音 至峰堂 画廊 いま、なぜ日 本近代洋画なのか?	松崎 裕子	新美術新 聞	1278	特集 文化による復 興 3.11後の東北 せんだいメディアテ ークの活動	佐藤 泰 高橋 信裕 齊藤 恵理 聞き手	Cultivate	39
リレーエッセイ43 大震災影響下の1年 マルセイユ展中止に 副産物[島根県立美 術館]	長谷川三郎	美連協ニ ュース	114	SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー ピラミデビル さまざまなジャンルの アートを満喫でき る「禪フォトギャラ リー」	中島 水緒	美術手帖	966
画廊の本音 秋華洞 高い技術と表現性の 融合。それがひとの 心を動かす。	和田 圭介	新美術新 聞	1280	日本電気硝子「見え ないガラス」[損保ジ ャパン東郷青児美術 館]	杉瀬 由希	〃	976
ぶら〜りキャンパス お宝編 女子美術大 染織コレクション 発想、構成力の勉強 に[女子美術大学]	鈴木 学	東京	4.23				
女子美術大学美術館 における染織コレク ションを中心とした ユニバーシティ・ミ ュージアムの実践	深津 裕子 石井 美恵 須藤 良子 阿部 みよ 小磯 かつ 佐藤 由佳 内藤 幸江 澤井 智実	女子美術 大学研究 紀要	42	(タ行)			
画廊探訪 新生堂		美術屋・ 百兵衛	23	平成22年度 公開シ ンポジウム「画家の アトリエと美術館」 第Ⅱ部 事例紹介1 台東区立朝倉彫塑館	村山 万介	小金井市 立はけの 森美術館 年報	H18-22 年度
特集 世界をさわる 手法を求めて ユニ バーサル・ミュージ アムの可能性 さわ る展示のあり方を求 めて一吹田市立博物 館のこころみ	五月女賢司	みんなく	418	上野の杜の12の物語 第十二章[台東区立 下町風俗資料館]	中野 中	美術屋・ 百兵衛	22
探訪ミュージアム38 西南学院大学博物館 (福岡市)	堀川 生哉	歴史地理 教育	794	ぶら〜りキャンパス お宝編 大東文化大 ピーターラビットコ レクション 世界随 一 150冊展示[大東 文化大学ピアトリク ス・ポター TM 資料 館]	山内悠記子	東京	6.4
特集 最新!ミュー ジウムグッズ案内 ナディップ店主・芦 野公昭に聞く ミュ ージウムショップと いう場所[セゾン美 術館]	芦野 公昭 インタビュー	美術の窓	351	秋元康流アートのす すめ 第40回ゲスト 高松聡[タカ・イシ イギャラリー フォ トグラフィー/フィ ルム]	山内 宏泰 構成	美術手帖	963

## SPECIAL FEATURE

東京アートガイド

2012 東京のアートをめぐる、ベストツ

アー ピラミデビル

さまざまなジャンルの

アートを満喫できる

[タカ・イシイギ

ャラリー フォトグ

ラフィア／フィルム]

中島 水緒 〃 966

香川文化考 一生に

一度は「こんびら参

り」[高橋由一館]

美術屋・  
百兵衛 20

香川文化考 高松市

美術館

〃 〃

「田川の子どもたち

による絵画展」に寄

せて 子どもたちに

親しみのある美術館

目指して20年[田川

市美術館]

佐土嶋洋佳 新美術新  
聞 1274

新ギャラリーオーブ

ン TALION GALLE-

RY 美術は世界の在

り方に介入するため

の、たったひとつの

筋道[タリオンギャ

ラリー]

上田 剛史 ファウン  
テン 2

過去から学ぶ未来へ

伝える 震災の記憶

展示は語る リアス

・アーク美術館 泥

まみれの日用品 復

興を映す地層・瓦

地底の森ミュージア

ム

小川 雪 朝日夕刊 11.26

彫刻の森美術館の館

長に就任 森英恵さ

ん 幼少の体験 ぜ

ひ親子で

渋谷 和彦 産 経 8.23

資料整理と展示活用

—土浦幼稚園資料を

事例として—[土浦

市立博物館]

野田 礼子 土浦市立  
博物館紀 22

教育普及グッズ「や

ちむんトランプ」、

「やちむんトランプ

かいせつカード」に

ついて[壺屋焼物博

物館]

金城有希乃 壺屋焼物  
博物館紀 13

関西ギャラリー再発

見 VOL. 14 DMO

ARTS

美術屋・  
百兵衛 20

英国博物館と提携

鉄道博物館 展示用

資料やりとり

日 経 11.28

鉄道博物館 英と提

携 世界最大級「ヨ

ーク」と 来月、模

型展示や記念講演

読売夕刊 11.24

キャンパスウオーク

これが評判! 博物

館で戦後写真展 東

京家政学院大 学生

がコメント[東京家

政学院生活文化博物

館]

平林 由梨 毎 日 9.12

東京国立近代美術館

開館六〇周年ご挨拶

還暦を迎えた東近美

の使命

加茂山幸夫 現代の眼 592

特集2 開館六〇周

年をふりかえる[東

京国立近代美術館]

〃 597

この六〇年に、何

が「名品」として選

ばれてきたか

大谷 省吾

二冊の六〇周年記

念刊行物—『60年

史』と『美術家たち

の証言—東京国立

近代美術館ニュー

ス『現代の眼』選集

について

水谷 長志

MOMAT コレクシ

ョン リニューアルレ

ポート[東京国立近

代美術館]

美術手帖

Vol.2 コレクシ

ョンの展示ができる

まで

保坂健二郎 973

Vol.3 新設! 所蔵

作品のハイライト

・コーナー

島貫 泰介 974

Vol.4 ついにオー

プン! 新生 MO-

MATコレクション

保坂健二郎  
談 975

東京文化考 開館60

周年 東京国立近代

美術館

美術屋・  
百兵衛 21

近代の傑作集め「還

暦」2館 東京国立

近代美術館 戦後の

先駆け／絵画から写

真、映画まで プリ

ズストーン美術館 ポ

ロックなど収集／ブ

ロガーに説明会

西岡 一正 朝日夕刊 5.30

国立近代美術館60周

年 記念手帳を無料

配布[東京国立近代

美術館]

(典) 東京夕刊 2.15

文化往来 東京国立

近代美術館60周年、

1950年代を回顧

日 経 7.23

建築家ら招いて「夏

の家」イベント 東

京国立近代美術館

毎夕刊 8.16

「政地」巡礼 終戦の  
日 惨劇の舞台 旧  
近衛師団司令部 東  
京国立近代美術館工  
芸館

清水 孝幸 東京 7.29

「東京国立博物館  
盲学校のためのスク  
ールプログラム」か  
ら始める博物館のア  
クセシビリティーみ  
んなが楽しむ博物館  
の第一歩—

鈴木みどり 東京国立  
博物館紀 47  
要

特集 模写から学ぶ  
絵画の技法 東京国  
立博物館で開催され  
た特別展「模写・模  
造と日本美術—うつ  
す・まなぶ・つたえ  
る—」を振り返る

井上 洋一 美術の窓 349

特集 東京国立博物  
館140周年・奈良文  
化財研究所60周年  
東京国立博物館

文化財\* 587

まだ、たった、140  
年

銭谷 眞美

学芸企画部の過去  
・現在・未来

松本 伸之

学芸研究部の過去  
・現在・未来

伊藤 嘉章

総務部関係の過去  
・現在・未来

樋口 理央  
菅原 康宏

東京国立博物館  
140周年記念事業  
—「ブンカのちから  
にありがとう！」  
キャンペーン

小林 牧

表紙解説 東京国立  
博物館140周年・奈  
良文化財研究所60周  
年

〃 〃

報告 東京国立博物  
館館内ガイドの newly  
いかたち—スマート  
フォンによる位置連  
動型ガイド「とーは  
くナビ」製作と貸出  
について—

藤田 千織 MUSEUM 636

報告 東京国立博物  
館本館展示室の  
改修プロセス—展示  
ケースの設計・監理  
を中心に—

矢野 賀一 〃 637

国立博物館140年の  
歴史 東京・上野で  
特集展示[東京国立  
博物館]

小川 雪 朝日夕刊 7.9

新装の東洋館、アジ  
アの陶磁器充実 東  
京国立博物館

大西 若人 〃 12.26

文化往来 東京国立  
博物館東洋館、体験  
する展示工夫

日 経 9.28

東京国立博物館 140  
年の歩み

前田 恭二 読 売 5.17

森鷗外 未完の論文  
発見 博物館総長の  
責務 誠実に[東京  
国立博物館]

〃 〃 7.4

ジュニア探検隊 東  
京国立博物館「国  
の宝」手作業で修理  
・保存 カルテを作  
って記録

ヨミウリ・  
ジュニア・  
プレス取材  
班 読売夕刊 5.26

おかえりなさい、東  
京ステーションギャ  
ラリー

芸術新潮 756

ときの人42 福田 章  
さん 煉瓦壁の美術  
館、装いを新たに再  
出発[東京ステーシ  
ョンギャラリー]

新美術新  
聞 1290

東京ステーションギ  
ャラリーが10月1日  
リニューアルオープ  
ン オープニングは  
現代作家展、来年2  
月まで開催

〃 1293

INFORMATION NE-  
WS 東京駅発！現代  
美術でリスタート  
6年半を経て、東京  
ステーションギャラ  
リー再始動

斉藤 博美 美術手帖 976

美術館めぐり 東京  
造形大学附属横山記  
念マンゾー美術館

ART  
LIBRARY 13

SPECIAL FEATURE  
東京アートガイド  
2012 東京のアート  
をめぐる、ベストツ  
アー 東京都現代美  
術館 国内最大級の  
現代美術館“MOT”を  
まず訪れよう

中島 水緒 美術手帖 966

SPECIAL FEATURE  
東京アートガイド  
2012 東京のアート  
をめぐる、ベストツ  
アー 東京都写真美  
術館 バリエーショ  
ンに富んだ写真・映  
像表現を見に行こう

〃 〃 〃

目は語る アート道  
遥 9月 東京都写  
真美術館 技術革新  
と創造力を映す

高階 秀爾 毎日夕刊 9.6

特集 広がる公募展  
part 2 東京都美術  
館リニューアル後の  
行方

ギャラリー  
一\* 323

特集1 東京都美術  
館リニューアル

山田 礼二 主体美術 92

東京都美術館 真室佳武館長インタビュー「アートへの入り口」に	榎本香奈子 聞き手	〃	〃		地域における現代美術考 十和田市現代美術館・Arts Towada 野外芸術文化ゾーンのこころみ	島屋 純晴	秋田公立美術工芸短期大学紀要	16
新生・東京都美術館と上野公園	真室 佳武	絲綢之路	69					
東京都美術館 4月1日リニューアルオープン フェルメール、レンブラント、ゴッホ…注目の大型展目白押し		新美術新聞	1275		珍獣?霊獣?ゾウが来た! [長崎歴史文化博物館]	有松 有希	長崎れきぶん	21
東京都美術館の新しい試み 都美セレクショングループ展の開催 将来性ある作家の創作活動を支援	小林 明子	〃	1291		春爛漫アートスポット開花宣言! 中山道広重美術館		芸術新潮	749
東京文化考 “アートへの入り口” 東京都美術館		美術屋・百兵衛	21		学校と美術館の継続的連携をはかる取り組み [長野県信濃美術館]	土屋 宏美	長野県信濃美術館紀要	6
美術館紹介2 東京都美術館 リニューアル後の東京都美術館—新たな出発に向けて	真室 佳武	連盟ニュース	442		平成22年度 公開シンポジウム「画家のアトリエと美術館」第II部 事例紹介3 中村研一記念小金井市立はけの森美術館	薩摩 雅登	小金井市立はけの森美術館年報	H18-22年度
「アートへの入り口」都美術館 4月リニューアルオープン [東京都美術館]	黒沢 綾子	産 経	1.16		新規会員館紹介 no.3 中村研一記念小金井市立はけの森美術館 地域に根ざした森のある美術館	荒木 和	ZENBI	1
美術館が伝統工芸に新風 職人とデザイナー 仲介 [東京都美術館]	窪田 直子	日経夕刊	11.26		美博なう シンボルマーク募集中 名古屋市美術館、市科学館		朝日夕刊	6.27
特別寄稿 東西文化の万華鏡 東洋文庫ミュージアム参観記	中村 愿	書 道 界	269		美術館の展示と意図 II—「没後120年 ゴッホ展」から [名古屋市美術館]	山田 磯夫	横浜美術大学・研究紀要	2
活字の海で 東洋文庫が「本の展示」併設のミュージアムで [東洋文庫ミュージアム]	瀬崎久見子	日 経	7.15		秋元康流アートのすすめ 第41回ゲスト片山陽加 [NADiff a/p/a/r/t]	山内 構成	宏泰 美術手帖	964
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術クリエイター・イン・レジデンスとは? トーキョーワンダーサイト「トーキョーストーリー2011」開催		美術の窓	345		探訪ミュージアム29 なまはげ館(秋田県男鹿市)	渡部 豊彦	歴史地理教育	785
美術館案内 徳川美術館	徳川 義崇 編集部 聞き書き	聚 美	4		文化財の時間性・重層性とアーカイヴズ—奈良国立博物館における「内なる連携」の試み—	宮崎 幹子	アート・ドキュメンテーション通信	93
museum 北から南77 古い皮袋に新しい酒 栃木県立美術館	杉村 浩哉	新美術新聞	1277		特集 東京国立博物館140周年・奈良文化財研究所60周年 奈良文化財研究所		文化財*	587
ブロック報告 北信越ブロック 常設展の魅力度アップ事業と近隣美術館との連携 [富山県立近代美術館]	杉野 秀樹	ZENBI	1		奈良文化財研究所60周年	松村 恵司		
					企画調整部の現状と展望	難波 洋三		
					文化遺産部の現状と展望	小野 健吉		



都城発掘調査部 (平城地区)の現状 と展望	深澤 芳樹				秋を愉しむアートの スポット特集 箱根美 術館	芸術新潮	755
都城発掘調査部 (飛鳥・藤原地区) の現状と展望	杉山 洋				ヒカリエではアートの 遊戯場「8ノ」へ GO!	"	750
埋蔵文化財センタ ーの現状と展望	埋蔵文化財 センター				SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー 渋谷ヒカリエ 8ノ(はち) 注目の アートのスポットが、 今春オープン	中島 水緒 美術手帖	966
奈良文化財研究所 の国際協力につい て	森本 晋				INFORMATION 渋谷 ヒカリエ「8ノ(は ち)」が、ついにオ ープン	岡澤浩太郎 美術手帖	967
探訪ミュージアム30 鳴門市ドイツ館(徳 島県鳴門市)	井内 哲也	歴史地理 教育	786		現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 新たな複合施設「渋 谷ヒカリエ」にギャ ラリースペースオー プン「8ノ」		
museum 北から南73 個性の競演新潟の画 家たち 新潟県立万 代島美術館	宮下 東子	新美術新 聞	1268		話題の人 巻頭イン タビュー 萩田尚人 さん「8ノ」	美術の窓	345
新規会員館紹介 no.2 新潟市新津美 術館 花と遺跡とア ートの丘	小林 巧	ZENBI	2		美術館紹介 4 浜田 市世界こども美術館	寺尾 堂 連盟ニュ ース	444
学芸員談話室8 教 育の場としての博物 館[新潟市歴史博物 館「みなとびあ」]	並木 晴香	同志社大 学博物館 学年報	43		メディア造形分野に おける地域文化施設 の貢献活動—浜松科 学館特別企画展「サイ エンスホラースク ール」の事例につい て—	萩田 尚人 談 集 部 編 集 部	目の眼 431
自分の目を信じて「発 掘」ワタリウム美術 館 西村画廊 40年 の活動記録刊行	高野 清見	読 売	10.25		本物そっくり 鉄道 模型 博物館オーブ ン[原鉄道模型博物 館]	ヨミウリ・ ジュニア・ プレス取材 班	読売夕刊 10.6
博物館展示のいま25 日本郷土玩具博物館	三谷 範子	歴 博	170		SPECIAL FEATURE 東京アートガイド 2012 東京のアート をめぐる、ベストツ アー 原美術館 モ ダンな洋館で、ゆっ たりとアートを鑑賞 できる	中島 水緒 美術手帖	966
美博なう 進化型「デ コ」塗り絵 めり え美術館		朝日夕刊	6.6		東京どんぶらこ 530 御殿山 邸宅の風情 アートの舞台に[原 美術館]	谷村 志穂 東京	6.23
美術館案内 II 根津 美術館・受け継がれ る文化発信への情熱	根津 公一 編 集 部 聞き書き	聚 美	2		変容し成長する美術 館—開館10周年を迎 えた「パラミタミ ュージアム」	田原由紀雄 美術フォ ーラム21	26
野田市郷土博物館に おける「政策連携」の 成果と展望	金山 喜昭	野田市郷 土博物館 市民会館 年報紀要*	4		特集・日本の地域博 物館シンポジウム9 東村山ふるさと歴史 館の市民講座につい て—地域学と学芸員	宮澤美和子 MUSE- OLOGIST	27
報告 博物館を拠点 とする市民団体の活 動意識と連携のあり 方について—「むら さきの里 野田ガイ ドの会」の事例から —[野田市郷土博物 館]	柏女 弘道	" "	" "				
美博なう 箱根ガラ スの森美術館	(ハ行)	朝日夕刊					
仮面が引き出す別 の顔			4.4				
箱根ガラスの森美 術館 太陽光で七 色に輝くツリー			12.19				

広島市まんが図書館 における来館者調査 —マンガを「図書館」 で扱うとは	伊藤 遊 村田麻里子 山中 千恵一 谷川 竜一	京都精華 大学紀要	41						
探訪ミュージアム40 福井県立一乗谷朝倉 氏遺跡資料館(福井 市)	清水 章孝	歴史地理 教育	796		(マ行)				
museum 北から南74 インドを蒐集した人 を、蒐集する 福岡 アジア美術館	五十嵐理奈	新美術新 聞	1270		世界の巨匠から学生 まで様々な版画を展 示 町田市立国際版 画美術館	佐川美智子 談	ギャラリ ー*	322	
通信J to A アジア へ31 キッチュを語 りて美術人を戦慄せ しめよ! [福岡アジ ア美術館]	黒田 雷児	〃	1272		日本史のひろば 松 江歴史館	西島 太郎	歴史と地 理	660	
学会活動報告 第八 四回大会 戦後アジ アにおけるコレクシ ョン形成—福岡アジ ア美術館の活動を手 がかりに—	岸 清香	デアルテ	28		新規会員館紹介 no. 5 松本市美術館 Think global, Act local	小原 直樹	Z E N B I	1	
春爛漫アートのスポ ット開花宣言! ブリ ヂストン美術館		芸術新潮	749		未来へつなげる教育 普及的コレクション 展示の事例と展開[松 本市美術館]	吉澤 裕子	松本市美 術館紀要 エクラン	3	
近代の傑作集め「還 暦」2館 東京国立 近代美術館 戦後の 先駆け／絵画から写 真、映画まで ブリ ヂストン美術館 ポ ロックなど収集／ブ ロガーに説明会	西岡 一正	朝日夕刊	5.30		マイセン展開催時の 地震対策について[松 本市美術館]	澁田見 彰	〃	〃	
文京ふるさと歴史館 特別展「坂道・ぶん きょう展」を開催し て	東條幸太郎	MUSE- OLOGIST	27		美術館におけるマナ ーと鑑賞教育[松本 市美術館]	武藤 美紀	〃	〃	
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 建築家・安藤忠雄氏 による基調講演 ベ ネッセアートサイト 直島20年「生成(SEI- SEI)」シンポジウム 開催		美術の窓	348		視点 みなさまに愛 され親しまれて二十 年[丸亀市猪熊弦一 郎現代美術館]	真鍋 順穂	美術の窓	340	
香川文化考 もうひ とつの四国巡礼 ベ ネッセアートサイト 直島		美術屋・ 百兵衛	20		香川文化考 「いの くまさん」美術館 丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館		美術屋・ 百兵衛	20	
競艇場内に美術館 アートツアー人気[ボ ートレース江戸川ア ートミュージアム]		毎日夕刊	9.20		卒業生による活動報 告 三重県立美術館	原 舞子	MUSE- OLOGY	31	
新規会員館紹介 no. 2 公益財団法人 ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 森に 溶け込む美術館	東海林 洋	Z E N B I	1		講演会 美術館の生 成—開館一周年を迎 えた三菱一号館美術 館	高橋 明也	日仏美術 学会会報	31	
ポーラ美術館10年 コレクター鈴木常司 の美意識 多方面の 秀作、体系的に	三沢 典丈	東京	8.27		全美フォーラム02 あの時の水戸芸術館、 いま、そしてこれか ら	高橋 瑞木	Z E N B I	1	
					「身近な自然につい ての不思議」を「展 示」する 2011年度 「おどろき はっけん みのかも自然展」を 振り返る[美濃加茂 市民ミュージアム]	西尾 円	美濃加茂 市民ミュ ージアム 紀要	11	
					ぶらへりキャンパス お宝編 武蔵野美術 大学 近代椅子コレ クション 350点、国 内唯一の品も[武蔵 野美術大学美術館]	北爪 三記 東 京		10.22	
					INFORMATION NEWS 財政難で「原 爆展」中止に 「原爆 を見る」展の開催中 止が決定 「原爆を 見る1945—1970」展 [目黒区美術館]	編 集 部	美術手帖	963	

社会派アート阻む財政難 目黒区美術館原爆展また中止 企画展予算7割カット

滝沢 学 東京 6.7

## SPECIAL FEATURE

東京アートガイド 2012 海外メゾンで最先端のアートを見る メゾンエルメス 8階フォーラム

永峰 美佳 美術手帖 966

日本史のひろば 開館しました! もり おか歴史文化館

遠藤祐太郎 歴史と地理 655

## SPECIAL FEATURE

東京アートガイド 2012 東京のアートをめぐる、ベストツアー 森美術館 最先端の現代アートを扱う企画展が人気

中島 水緒 美術手帖 966

街中にアート現る 森美術館 所蔵品を複写、展示 アークヒルズで第1弾 工事現場・空き店舗に展開

日 経 5.9

大震災から1年を経て 諸橋近代美術館—美術の力を信じて

諸橋 英二 新美術新聞 1277

## (ヤ行)

特集1 所蔵品ギャラリーのリニューアルについて “収蔵品展覧者不在体質”の克服に向けて[山口県立美術館]

河野 通孝 現代の眼 597

視点 作品の底力を引き出す「自然光」LED照明[山口県立美術館]

美術の窓 347

特集 ワークショップ進化論 メディアと身体を介した新たな創造性の発露 山口情報芸術センター(YCAM)の取り組み

上條 昌宏 A X I S 158

いま、僕が思うこと 坂本龍一 2050年のメディアアート 山口から世界に発信[山口情報芸術センター]

坂本 龍一 産 経 1.22

museum 北から南85 山口蓬春が辿った日本画の世界 山口蓬春記念館

笠 理砂 新美術新聞 1295

山種コレクションと画家たち—山種美術館館長山崎妙子氏聞き書き

小林 忠 国華清話会会報 19

museum 北から南76 桜・さくら・SAKURA 2012—美術館でお花見!—山種美術館

山崎 妙子 新美術新聞 1276

なるほど鑑賞室 ザ・ベスト・オブ・山種コレクション 激しく力強い日本画に圧倒[山種美術館]

小原 俊介 読売夕刊 1.14

美術館案内 III 大和文華館・自然に調和し、地域に生きる美術館

浅野 秀剛 編集部 聚 美 3

視点 ミレーとともに三十年—山梨県立美術館のミレー・コレクション

和田佐知子 美術の窓 343

新ギャラリーオープン Gallery YUKI-SIS 覚えやすい自分の名前と女神・イシスをつなげて、ギャラリー一名に

寺島 由起 ファウンテン 3

NEWS 横尾忠則の個人美術館兵庫にオープンへ 横尾忠則現代美術館(仮称)

編集部 美術手帖 965

「横尾美術館」オープン 神戸市 絵画など3千点 記念展も[横尾忠則現代美術館]

岩岡 千景 東京夕刊 11.7

文化往来 横尾忠則現代美術館、神戸に今秋開館

日 経 6.8

横尾忠則の軌跡美術館に 反復こそ挑戦[横尾忠則現代美術館]

窪田 直子 日経夕刊 11.19

横尾忠則現代美術館 神戸に11月オープン

渡辺 亮一 毎日夕刊 6.21

「横尾忠則現代美術館」誕生 「反復」が生む新表現

木村 未来 読 売 11.22

museum 北から南75 東京湾と「正岡子規と美術」 横須賀美術館

杓沢 耕介 新美術新聞 1271

美術館の「ラルクアンシエル」展 横須賀 過去最多の集客別の特別企画も[横須賀美術館]

高野 清見 読 売 7.19

探訪ミュージアム35 横浜開港資料館(神奈川県横浜市)

小宮まゆみ 歴史地理教育 791

横浜美術館における  
ヨコハマトリエンナ  
ーレ2011「キッズ・  
アートガイド」の実  
践—その成果と課題  
について

内山 淳子 横浜美術  
太田 雅子 館研究紀 13  
要

名古屋アートの“い  
ま”を紹介 銀座に  
進出の画廊で[万画  
廊]

川崎 宏三 東京 4.14

(ラ行)

全美フォーラム03  
「東日本大震災から、  
1年を振り返る」[リ  
アス・アーク美術館]

山内 宏泰 ZENBI 2

過去から学ぶ未来へ  
伝える 震災の記憶  
展示は語る リアス  
・アーク美術館 泥  
まみれの日用品 復  
興を映す地層・瓦  
地底の森ミュージア  
ム

小川 雪 朝日夕刊 11.26

気仙沼の美術館 が  
れきは「被災資料」  
来年再開へ収集作業  
中 津波の怖さを伝  
える[リアス・ア  
ーク美術館]

東京 3.15

3・11後を生きる  
被災地発 がれき展  
示 震災伝える[リ  
アス・アーク美術館]

〃 7.19

津波の記憶町に残す  
建築家ら、住民と模  
索 気仙沼「鎮魂  
の森」構想 女川  
災害遺構を保存[リ  
アス・アーク美術館]

窪田 直子 日 経 6.8

文化往来 気仙沼の  
美術館再開場、災害  
の記憶伝える[リ  
アス・アーク美術館]

〃 9.11

画廊の本音 LIXIL  
ギャラリー ものづ  
くりの風土—文化の  
多様性と共に

袴田 智彦 新美術新 1283  
聞

秋を愉しむアートの  
スポット特集 龍谷ミ  
ュージアム

芸術新潮 755

四季の移ろい 絵画  
で表現 白谷建設、  
足立に美術館 季節  
ごとに入れ替え[六  
町ミュージアム・フ  
ローラ]

日 経 5.17

SPECIAL FEATURE  
東京アートガイド  
2012 東京のアート  
をめぐる、ベストツ  
アー ピラミデビル  
さまざまなジャンルの  
アートを満喫でき  
る[ロンドンギャラ  
リー六本木]

中島 水緒 美術手帖 966

(ワ行)

秋元康流アートのす  
すめ 第40回ゲスト  
高松聡[ワコウ・ワ  
ークス・オブ・ア  
ート]

山内 宏泰 〃 963  
構成

SPECIAL FEATURE  
東京アートガイド  
2012 東京のアート  
をめぐる、ベストツ  
アー ピラミデビル  
さまざまなジャンルの  
アートを満喫でき  
る[ワコウ・ワー  
クス・オブ・ア  
ート]

中島 水緒 〃 966

會津八一記念博物館  
館長室から[早稲田  
大学會津八一記念博  
物館]

藪野 健 早大會津  
八一記念 13  
博紀要\*

ワタリウム美術館の  
歩み紹介 現代美術  
の先端疾走

渋谷 和彦 産 経 9.12

自分の目を信じて「発  
掘」ワタリウム美術  
館 西村画廊 40年  
の活動記録刊行

高野 清見 読 売 10.25

海 外

館長の独り言 他人  
事ではないリニュー  
アル[アムステルダ  
ム国立美術館]

竹内 順一 永青文庫 80

ステデリック・ミュ  
ージアムのアイデン  
ティティデザイン[ア  
ムステルダム市立美  
術館]

樋口 歩 A X I S 160

大リーグが大好き！  
ASAMAを訪ねて(番  
外編)[アメリカン・  
スポーツ美術館兼資  
料館]

向井万起男 朝日夕刊 7.11

現在通信 From  
NEW YORK アルド  
リッチ現代美術館

富井 玲子 新美術新 1279  
聞

大特集 永遠のイス  
タンブール 東西の  
美と出会う都 コラ  
ム2 おすすめミュ  
ージアム二つ トル  
コとイスラム美術博  
物館&イスタンブ  
ール考古博物館

編集部 芸術新潮 753

ドーハの海に浮かぶ イスラム美術の万華 鏡[イスラム美術館]		芸術新潮	749						中国美術の粋 故宮 台北市、新竹市(台 湾)[故宮博物院(台 北)]	南	恵太	毎	日	1.29
長期にわたる自発的 な関心を支援する学 びのデザイン考察— エクスポラトリウム という有機的組織 の考察	栗野 由美	東京造形 大学研究 報	13						戎も歩けば beau[ボ ー]に当たる 第二 十八回「清明上河 図」がやってくる! [故宮博物院(北京)]	竹田	博志	美術の窓		341
World News Paris オルセー美術館改装 オープン 開館25周 年! オルセー美術 館 新装印象派ギャ ラリーの評判は?	野口 裕子 取材	芸術新潮	745						故宮 3D映像公開 へ 北京の博物院と 凸版印刷協力 建築 物の形や色再現[故 宮博物院(北京)]	渡部	圭	東	京	5.30
ヨーロッパアート事 情 オルセー リニ ューアル 展示の大 胆な改革 時代が求 める美術館に	今津 京子	美連協ニ ュース	113						特集 コレクターの 存在と役割 エレン ・マラ・デ・ヴァヒ ター 受容器から効 果器へ—変わるコレ クションの役割(ザ ブルドウィック・コ レクション)	大坂統一郎 インタビュー	ファウン テン			3
オルセーを変える館 長 多義的展示世界 に問う 他館と協業 /組織を再編	窪田 直子	日 経	8.11						通信 J to A アジア へ34 サンフランシ スコでお目見えのア ジア現代美術[サン フランシスコアジア 美術館]	黒田	雷児	新美術新 聞		1280
絵とドレス並べて展 示 パリ[オルセー 美術館]	今津 京子	読売夕刊	10.17						from the World 地中 に広がる大展示空間 シュテューデル美術 館の「ガーデンホール」	小町	英恵	A X I S		157
美術館アーカイブズ が守るべき記録とは 何か カナダ国立美 術館の事例を中心に	川口 雅子	国文学研 究資料館 紀要(ア)*	8						ニッポン人・脈・記 日英新世紀3 大英 博に怪人あらわる[大 英博物館]	沢村	互	朝日夕刊		7.9
歴博けんきゅう便第 42回 カナダ文明博 物館の特別展示「伝 統と革新の国日本」 —外国で「日本」を展 示するということ—	久留島 浩	歴 博	171						平成二十三年度海外 展報告[大韓民国国 立中央博物館]			文化財*		584
現代中国書法事情 241[河南博物館]	種谷 萬城	書 道 界	267						平成二十三年度ア ジア友好日本古美術 展展について	齊藤	孝正			
特集 茶の湯—スキ の芸術 第2部 茶 の湯の表現 パリ、 ギメ美術館での茶の 湯[ギメ東洋美術館]	尾本 圭子	美術フォ ーラム21	25						滋賀県の文化財、 海を渡る—文化庁 「海外古美術展」で の展示公開—	井上	ひろ美			
WORLD NEWS シン ガポール 成長を続 けるシンガポールの アートシーンでギル マン・バラックスが ついに始動!	ダリル・ウ イー 近藤 亮介 訳	美術手帖	975						現代中国書法事情 240[中央研究院歴史 文物陳列館]	種谷	萬城	書 道 界		266
フォーカス 米グッ ゲンハイム美術館の 活動 世界に広げる 芸術の社会貢献に国 境なし アリ・ワイ ズマン氏		日経夕刊	2.20						World News Liver- pool「無垢と経験」 展 '60年代に「涙あ ふれて」 マリアン ヌ・フェイスフルが 選ぶ極私的アート傑 作選[テート・リヴ アプール]	前橋	重二	芸術新潮		751
PARIS 発 「モニュ メンタ」 グラン・ バレーの試み	安部 雅延	新美術新 聞	1282						Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第9回 天 津博物館と天津美術 館	梶川	強	ギャラリー —*		332
皇帝文化の象徴 台 湾故宮博物院[故宮 博物院(台北)]	高橋 智	みんぱく	414											

大特集 永遠のイスタンブール 東西の美と出会う都 コラム2 おすすめミュージアム二つ トルコとイスラム美術博物館&イスタンブール考古学博物館	編集部	芸術新潮	753	World News New York アメリカン・ウィング新装オープン 豪華すぎる額縁も再現 メトに返り咲いた司令官ワシントンの勇姿[メトロポリタン美術館]	前橋 重二	芸術新潮	747
勉強会報告 第2回勉強会 ナーブルステック博物館(プラハ)の日本コレクションー日本の伝統芸術に対する中央ヨーロッパの視点ー	鈴木 裕輔	The Newsletter I. J. S	17	メトロポリタン美術館 トマス・P・キヤンベル館長 研究を犠牲にせず財政危機を乗り切った、若きトップの定見と実践	"	"	756
ニューヨーク近代美術館による美術鑑賞法ーVisual Thinking Strategyの発祥とその背景	朴 鈴子	京都国立近代美術館研究論集	4	現在通信 From NEW YORK 美術館でステイケーション[メトロポリタン美術館]	富井 玲子	新美術新聞	1287
World News Philadelphia パーンズ財団新館オープン より開かれた展示施設へ パーンズ財団、街場に移転[パーンズ・コレクション]	由本みどり 取材	芸術新潮	751	特集 世界をさわる手法を求めて ユニバーサル・ミュージアムの可能性 エデュケーターの役割ーメトロポリタン美術館の事例から	大高 幸	みんなく	418
アメリカアート事情 パーンズ財団美術館新館5月オープン[パーンズ・コレクション]	後藤トキ子	美連協ニュース	114	全美フォーラム03 ケアの場としての美術館ー認知症の方のためのプログラムー[メトロポリタン美術館クロイスタース]	稲庭彩和子	ZENBI	1
パーンズ 寸分違わぬ展示 新館オープンで称賛の声[パーンズ・コレクション]	朽木ゆり子	読 売	6.21	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第8回 M-50莫干山(モーガンシャン)	梶川 強	ギャラリー*	331
from the World 芸術家の町に建つ、ヘルソーク&ド・ムロン設計の美術館[パリッシュ美術館]	吉田 実香	A X I S	155	SPECIAL FEATURE 世界のアートマーケット PART3 沸騰するアジアマーケット ジャカルタに設立、ユーズ美術館	牧 信太郎	美術手帖	962
浮世絵600点サイト無料公開 ロシア・プーシキン美術館		東 京	10.23	小特集 リヒテンシュタイン侯爵家 500年にわたる芸術への情熱[リヒテンシュタイン美術館]		芸術新潮	754
ヨーロッパアート事情 モバイル美術館の試み[ボンビドゥーセンター]	今津 京子	美連協ニュース	114	時評 ルーヴル美術館と東芝 LED 照明		日本美術新聞	5
ドイツ・マールブルク大学宗教学研究資料館(Religionskundliche Sammlung) 創立八十周年記念式典におけるマルティン・クラーツ博士の講演	新田 義之	生活文化研究所年報	25	ルーヴルー-DNP ミュージアムラボワーク ショップ「くらべてみよう、見てみよう」 東北三県巡回ルーヴル美術館展 出展作品鑑賞ワークショップ	伊部 玉紀	美術手帖	969
小特集 デン・ハーグの“宝石箱” マウリッツハイス美術館へ	編集部 文	芸術新潮	751	ルーヴル美術館館長、被災3県巡回展で来日 東北とつながりたい	日 経		4.30

Art Report in Asia  
中国・最新アーティ  
スト事情第6回 紅  
坊国際文化芸術社区  
[レッドタウン]

梶川 強 ギャラリー 329

(力行)

## 海外展

(ア行)

チームラボ「We are  
the Future」展 「懐  
かしい未来」という  
仮想 国立台湾美術  
館で開催! [国立台  
湾美術館 Digi Ark、  
5/23-8/12]

編集部 美術手帖 971

## INFORMATION

NEWS 日本館に金  
獅子賞 第13回ヴェ  
ネチア・ビエンナ  
ーレ国際建築展 日  
本館がバウヴィリオン  
賞(金獅子賞)を受賞  
[ジャルディーニ、  
アルセナーレほか、  
8/29-11/25]

五十嵐太郎 〃 975

ベネチア国際建築展  
を歩いて アイデア  
の源泉を探る 建築  
生む「場」問い直す

大西 若人 朝日夕刊 10.3

日本館の展示 金獅  
子賞 ベネチア国際  
建築展 被災地の集  
会所設計過程

日 経 8.30

ベネチア国際建築展  
で最高賞 日本館、  
社会との回路探る

五十嵐太郎 日経夕刊 9.18

第13回ベネチア・ビ  
エンナーレ国際建築  
展報告 金獅子賞の  
日本館「復興」を世界  
に問う 注目された  
「人間性」

根本 太一 毎日夕刊 9.11

ベネチア・ビエンナ  
ーレ建築展 29日開  
幕 復興の「形」世界  
に問う 被災住民と  
の対話 わき上がる  
イメージ

高野 清見 読 売 8.16

日本館展示 金獅子  
賞 ベネチア・ビエ  
ンナーレ建築展 震  
災復興テーマ

〃 〃 8.30

ベネチア・ビエンナ  
ーレ建築展で金獅子  
賞 「日本館」に人間  
性への賛辞 災害時  
の役割 力強く問う

〃 〃 9.20

大宮BONSAI ルーブ  
ルへ 展示会で職人  
剪定 「ブランド力  
高める」[カルーゼル  
・デュ・ルーブル展  
示会、ルーブル美術  
館別館、12/5-12  
/9]

〃 12.4

英国に里帰り 和の  
ロリータ ロンドン  
の美術館でストリー  
トファッション展  
パンクロック・不思  
議の国のアリスも「吸  
収」[キティ・アンド  
・ザ・ブルドッグ:  
ロリータファッショ  
ンとその英国文化の  
影響、ビクトリア&  
アルバート美術館、  
4/23-1/27]

増田 愛子 朝 日 6.20

WORLD NEWS ニュ  
ーヨーク ニューヨ  
ークにも芸術の秋到  
来! 映像への注目と  
日本戦後美術の再評  
価[具体を巡るひと  
つの試論、ハウザー  
&ヴィルト、9/12  
-10/27]

藤森 愛実 美術手帖 975

現代日本の書代表作  
家バリ展 世界に伝  
える精髓 響き合う  
線と音色 書家とバ  
リ警視庁音楽隊が共  
演[2012 現代日本の  
書代表作家バリ展、  
ギメ東洋美術館、3  
/14-5/14]

桐山 正寿 毎 日 3.26

SHO 1ーギメの挑戦  
上、下[2012 現代日  
本の書代表作家バリ  
展]

〃 毎日夕刊 4.3、4

通信 J to A アジア  
へ41 ネタ切れ?ー  
光州と釜山のビエン  
ナーレ[第9回光州  
ビエンナーレ、光州  
ビエンナーレ・ホー  
ル、光州市立美術館  
ほか、9/7-11/11]

黒田 雷児 新美術新  
聞 1299

WORLD NEWS クア  
ンジュ 6名のキュ  
レーターによる、第  
9回光州ビエンナー  
レ「ラウンド・テー  
ブル」

角 奈緒子 美術手帖 975

混とんに垣間見える  
草の根思想 アジア  
の多様な文化観体現  
光州ビエンナーレを  
観て

藤田 一人 東京夕刊 11.2

展覧会レポート 中国現代版画と杭州版画センター開設[湖上颯英、快意空間、5/26—6/10]

松山 龍雄 版画芸術 157

(サ行)

ワシントンに若冲の「動植綵絵」が渡った[色彩の世界：伊藤若冲 日本花鳥画展 1716—1800、ワシントン・ナショナルギャラリー、3/30—4/29]

河野 元昭 国華清話 20

「色彩の世界：伊藤若冲 日本花鳥画展 1716—1800」「動植綵絵」全30幅展示、海外発

日 経 1.3

「伊藤若冲 日本花鳥画」展 ワシントン桜祭り 日本の美術「色彩の世界：伊藤若冲 日本花鳥画展 1716—1800」

" 1.22

伊藤若冲 日本花鳥画展 ワシントンで開催「色彩の世界：伊藤若冲 日本花鳥画展 1716—1800」

" 3.18

桜寄贈100周年記念、若冲の花鳥画全30幅を海外初公開「色彩の世界：伊藤若冲 日本花鳥画展 1716—1800」

日経夕刊 2.2

日本の「戦争画」パネル 旧交戦国オランダで展示 痛み越え相互理解の一歩に[1942年のオランダ領東インドの陥落、オランダ、アーネム、国防省蘭印軍博物館ブロンベーク、3/8—12/8]

廣田 生馬 毎日夕刊 5.9

(タ行)

「太陽へのレクイエム：もの派の美術」展 in LA[ブラム&ポー、2/25—4/14]

廣 李果 美術手帖 967

「もの派」輪郭くつきり 世界美術史への定着に挑む 米の展覧会 富井玲子さんが見る「太陽へのレクイエム：もの派の美術」

富井 玲子 朝日夕刊 3.21

新美術時評 MoMAの「東京1955—1970」展[11/18—2013/2/25]

光田 ゆり 新美術新聞 1298

日本の現代美術 海外展から 上 前衛「モノ」回帰で脚光 MoMA「TOKYO 1955—1970」展

富井 玲子 日経夕刊 12.27

「ドクメンタ13」を見て[カッセル市内各所、6/9—9/16]

清永 修全 潮 流 112

SPECIAL ISSUE ドクメンタ13 欧州危機の時の国際展、その風向きはどちらだ?

かないみき 美術手帖 974

世界の今 映す想像力 震災、アラブの春…190組超す作家独・現代美術展「ドクメンタ」

西岡 一正 朝日夕刊 6.26

隕石の視点で見よう 独の現代美術展「ドクメンタ」 多文化主義的アプローチで戦後へ問い

" " 7.4

ドクメンタ13「不可視」を提示 精神の復興が起点 権威的な感性を断罪

南寫 宏 読 売 6.21

(ナ行)

建築「日台新鋭建築家交流展 自然系建築」展 日台の新たな潮流[府都 KIAN-TIOK、4/14—8/26]

五十嵐太郎 毎日夕刊 6.21

海外の展覧会 フィレンツェ 日本の美術と工芸展[日本のわざと美—日本近現代工芸の精華—、ピッティ宮殿パラティ—ナ美術館「白の間」、4/3—7/1]

諸山 正則 陶 説 711

平成二十四年度海外展報告 平成二十四年度日本古美術展について[日本のわざと美—日本近現代工芸の精華—]

齊藤 孝正 文化財\* 590

平成二十四年度海外展報告 フィレンツェ「近現代工芸の精華」展

諸山 正則 " "

和の精緻 イタリアうならず 伝統工芸の認知度向上へ企画展[日本のわざと美—日本近現代工芸の精華—]

井上 晋治 読 売 4.26



(ハ行)

通信 J to A アジア  
へ41 ネット切れ?—  
光州と釜山のビエン  
ナーレ[釜山ビエン  
ナーレ2012、釜山市  
美術館、釜山文化会  
館、釜山鎮駅舎、広  
安里のmeworld ほ  
か、9／22—11／24]

黒田 雷児 新美術新 1299  
聞

(マ行)

WORLD NEWS ポズ  
ナン 都市と歴史と  
芸術が会う 場所  
性が活きたビエンナ  
ーレ[メディエイシ  
ョンズ・ビエンナー  
レ2012：未知の世界、  
ポズナン市内6会場、  
9／14—10／14]

かないみき 美術手帖 976

(ラ行)

フリーア美術館の羅  
漢図と対面 五百羅  
漢展—米、ワシント  
ンで開催中[羅漢  
慈悲の御仏：驚くべ  
き釈迦の弟子たち、  
フリーア美術館、サ  
ックラーギャラリー、  
3／10—7／8]

日 経 4.15

# 美術展覧会図録所載文献

## 企画展

### (ア行)

アートと音楽 新たな共感覚をもとめて 東京アートミーティング3回 東京都現代美術館

インタビュー 坂本龍一 見ること／聴くことへの未来へー「感覚」に立ち返ったその先にあるもの

畠中 実  
聞き手

〈アートと音楽〉を  
考えるエッセンス  
1 宇宙の音一色

岡田 温司

〈アートと音楽〉を  
考えるエッセンス  
2 ノイズとサウンド・インスタレーション

池上 高志

〈アートと音楽〉を  
考えるエッセンス  
3 物語から離れて漂流する音たち

若尾 裕

§ 作家の言葉 §

カールステ  
ン・ニコラ  
イ

〃

クリスティ  
ーネ・エド  
ルンド

〃

フロリアン  
・ヘッカー

〃

池田 亮司

〃

オノ・セイ  
ゲン  
坂本 龍一  
高谷 史郎

〃

大友 良英  
青山 泰知  
Sachiko M  
堀尾 寛太  
毛利 悠子

〃

ステファン  
・ヴィティ  
エロ

〃

マノン・デ  
・ブール

〃

ザ・サイン  
・ウエーブ  
・オーケス  
トラ

〃

大西 景太

〃

バルトロメ  
ウス・トラ  
ウベック

〃

八木 良太

〃

坂本 龍一  
高谷 史郎

感覚の統合性をと  
りもどすために

長谷川祐子

「共感覚」はなぜ人  
を惹きつけてきた  
かーその研究と実  
践の歴史を概観す  
る

眞壁 宏幹

アートプログラム青梅2012 存在  
を超えて 青梅市立美術館／青梅織  
物工業協同組合施設／吉川英治記念  
館

自らを超える

大橋 紀生

アートプログラム  
青梅との10年

原田 丕

雑感ーアートプロ  
グラム青梅と私

畑中 茂雄

§ 作家の言葉 §

長谷川佐知  
子

〃

原 游

〃

末永 史尚

[Re:]

麻生 志保

「シェルター (FU-  
KUSUKE ver.) の  
為の712文字」

真部 知胤

§ 作家の言葉 §

水上 嘉久

〃

望月 厚介

〃

楠本 正明

〃

作間 敏宏

〃

原田 丕

〃

藤井 博

線はうまれる 面  
はつくられる

藤澤江里子

§ 作家の言葉 §

母袋 俊也

黒い泪、方舟光の  
樹、悪魔を喰らう、  
4 oil paintings

山口 啓介

「場の位相」につい  
て

池田 龍雄

§ 作家の言葉 §

神 彌佐子

〃

山岡 敏明

〃

千崎千恵夫

〈川の底から空を  
眺める〉〈それはす  
でに沈んでしまっ  
た〉

大川真実子

§ 作家の言葉 §

川崎 広平

〃

田島 史朗

〃

ミルク倉庫

「連句的」について

戸谷 成雄

§ 作家の言葉 §

間島 秀徳

歪みの構造ー新た  
な社会デザイン創  
出への手がかり

サクサベ・  
ウシオ

シンポジウム「存  
在を超えて」基  
調講演「存在を超  
えて」

谷川 渥

シンポジウム「存  
在を超えて」パ  
ネルディスカッ  
ション「存在を超  
えて」

内田あぐり、  
千崎千恵夫、  
長谷川佐知  
子、  
原 游  
パネリスト  
森 啓輔

Art Program Ome  
2012 4 大学学生  
展「地への一雫」  
学生代表コメント

阿久澤 舞  
大竹 優子  
西大條誠人  
梶 彰平  
遠藤 良亮  
山本 早織  
池上宗太郎  
本田 仁平  
藤樹 匠美

アートプログラム  
青梅の過去・未来

小山 政史

アートプログラム  
青梅2012

村井 旬

愛知の美術60年ー戦後洋画から現  
代美術へー 安城市民ギャラリー

解説 峯村 敏

AINU ART 風のかたりべ 松浦武  
四郎記念館他

序 AINU ARTー  
その創造の力

五十嵐聡美

COLUMN 1 松  
浦武四郎のアイヌ  
コレクション

山本 命

COLUMN 2 奥  
深いイクバスイの  
造形

五十嵐聡美

「木彫り熊」物語

〃

COLUMN 3 女 の手仕事	〃	モンゴルの女性アーティスト	ウランチメグ・ツルテム 花田 伸一 翻訳	足利尊氏の生涯—それぞれの決断—	峰岸 純夫
COLUMN 4 男 の手仕事	野本 正博			コラム 尊氏の肖像彫刻三例	
COLUMN 5 ア イヌ文様—時空をつなぐ紐帯	浅川 泰	沖縄の女性アーティスト—日本(復帰)を節目に	豊見山 愛	コラム 遊行寺伝来の二点の後醍醐天皇像	遠山 元浩
アイヌブリーアイヌの心をつなぐ—	秋野 茂樹	台湾における女性現代美術の発展	ライ・イン 岩切 滯 翻訳	コラム 尊氏の名が記されたもう一つの仏像	
蒼き海路を統べるもの—古墳時代前半の日向海岸部— 日向の古墳 1		主張する場—インドネシアの女性アーティスト	ウラン・デイルガントロ 花田 伸一 翻訳	コラム 等持院の地蔵菩薩立像と尊氏	
宮崎県立西都原考古博物館				足利直義と高師直	山田 邦明
蒼き海路を統べた日向の首長たち	甲斐 貴充			三宝院賢俊と尊氏	永村 眞
赤松円心・則祐 兵庫県立歴史博物館		平行する絵画	シリーン・ナジリー 花田 伸一 翻訳	尊氏を支えた東国武将たち	市村 高男
特別寄稿 鎌倉幕府滅亡から南北朝内乱期における赤松氏—その行動の特色について—	市沢 哲	真紅のバラを鉄のストッキングに誰がした?	ポー・ポー 花田 伸一 翻訳	足利氏の肖像画—宝篋院蔵足利義詮像を中心に—	米倉 迪夫
概説 南北朝内乱と赤松円心・則祐—展示資料の理解のために—	前田 徹	1970~80年代のフィリピン—踏み出す女性たち	フローデット・メイ・ダトゥウィン 花田 伸一 翻訳	足利尊氏と仏像	山本 勉
特論 赤松円心の花押	〃	生成の陰影—シンガポールの(女性アーティスト)考	アデル・タン 花田 伸一 翻訳	あなたに見せたい絵があります。 ブリヂストン美術館開館60周年記念 ブリヂストン美術館	
あさごアートコンペティション				「あなたに見せたい絵があります。—ブリヂストン美術館開館60周年記念」展に寄せて	島田 紀夫
2012 あさご芸術の森美術館		タイの現代女性アーティスト	ソンポー・ロドポー 花田 伸一 翻訳	ギュスターヴ・カイユボット作《ピアノを弾く若い男》について	新畑 泰秀
選考所感	酒井 忠康			岡鹿之助《セーヌ河畔》、1927年のパリ風景	貝塚 健
〃	牛尾 啓三	険しい道	チャン・ルオン 花田 伸一 翻訳		
〃	重松あゆみ				
アジアをつなぐ 境界を生きる女たち 1984~2012 福岡アジア美術館他		バングラデシュ美術における女性—1980年代から現在まで	ララ・ルック・セリム 五十嵐理奈 翻訳	阿武山古墳と牽牛子塚—飛鳥を生きた貴人たち—開館1周年記念特別展 今城塚古代歴史館	
アジアの、境界を生きる女たち展—女たちの多声合唱[ポリフォニー]	小勝 禮子	もし進歩というもの成しとげないといけないなら、今こそ女性の主体性にしっかり注目すべきだ	ナリニ・マラン 黒田 雷児 翻訳	律令国家形成過程における飛鳥の大王墓—牽牛子塚古墳・越塚御門古墳—	西光 慎治
女性たちのアジア美術—90年代を軸に	ラワンチャイクン寿子			秘匿された鎌足墓	森田 克行
境界を生きるジレンマを抱えて	中尾 智路	ネパールの現代女性アーティストたち	ディナ・バンデル 黒田 雷児 翻訳	アラブ・エクスプレス展: アラブ美術の今を知る 森美術館	
遮られた中のきらめき	ジャイ・ヨンミン 堀川 理沙 翻訳	物語を編む—パキスタンの女性アーティスト	サリマ・ハシミ 黒田 雷児 翻訳	アラブの現代美術展の開催にあたって	南條 史生
半分から全体へ、全体から多様な他者へ	ベク・ジスク 金 恵信 翻訳	足利尊氏 その生涯とゆかりの名宝 栃木県立博物館		アラブ現代美術を日本で初紹介すること	近藤 健一

アラブ現代美術再考	ナダ・シャ ブート 河野 晴子 翻訳	階段でつくる家	sky studio kikuchi yamamoto	建築、これまでと これから	平田 晃久
アラブ美術における インフラの現状	サルワ・ミ クダーディ メディア・コ ミュニケー ションズ 翻訳	吹き抜けのある共 同生活	竹田 和行	生きるための家について	藤本 壮介
阿波の名所と観光 徳島市立徳島城 博物館	小川 裕久	いえんとこ〜生き るための家〜	中西 昭太	私たちの「生きる ための家」のため に	河野 佑美
論考 阿波踊りを めぐる絵画と絵葉 書—米津直仙《阿 波踊図》をめぐっ て	小川 裕久	集合しようとする 住宅	秦 彩奈	石空間展 7 高島屋(日本橋)	
生の螺旋 松原遺跡発掘速報 とな み散居村ミュージアム民具館	野原 大輔	Unfolded Houses —for architectu- ral space	mariko abe	「石」と「彫刻」につ いて	武田 厚
生[いき]の螺旋	野原 大輔	loop	山田健太郎	「私と表現」	大成 浩
発掘の記憶1 だ んだん気合いが入 ってきて雪をかき 分けて発掘したこ とも	但馬 勇一	Forest × House	山本 悠介	§ 作家の言葉 §	緒方 良信
発掘の記憶2 土 器が出土したとき の嬉しさは大地を 踏み鳴らしたくな る程だった	横山 豊介	イエのようなニワ をもつニワのよう なイエ	赤堀 彰彦 安藤 一将 斎藤 啓佑	〃	田中康二郎
松原遺跡99年史	野原 大輔	KIRIN	五十嵐理人 南野 友子	〃	石井 尚志
COLUMN 松原 遺跡を発掘して	阿部 将樹	生活の距離一角の 不在と存在—	稲吉 匠哉	「存在の変形して いく事実を提示し ていく」	大成 哲
松原遺跡のあると ころ—縄文遺跡の 立地と分布—	町田 賢一	はがされた家	岩木 友佑 松本 晃一	§ 作家の言葉 §	菅 利光
松原遺跡の縄文土 器	酒井 重洋	家の中に丘を一時 間と空間の変容—	後野 将一	「石に刻まれた眼 は、永遠に開く」	菊地 伸治
五箇山の縄文遺跡 から見た松原遺跡 —矢張下島遺跡を 中心として—	岡田 一広	リトル・ニュータ ウン	内田 陽一	§ 作家の言葉 §	きくちまこ と
縄文人の神話的世界観	大島 直行	BIG TREE HOU- SE	呉 車 顕珍 昇益	〃	佐々木悦也
Arts & Life : 生きるための家 次世 代建築家による39の提案 東京都 美術館リニューアル記念展 東京都 美術館	山田 紗子	つみきの家〜積層 していく記憶〜	太田 絢子	〃	芝田 典子
家族の生きるため の家—大柱と屋根 のつくる、住むた めの濃度—	山田 紗子	一本の大きな木の中 に彫りながら棲 む	坂本 尚朗 村口 勇太 邊見 英俊	〃	柴山 京子
道が通り抜ける家	袁 碩	窪みに住まう〜天 井のピースがつく る居場所〜	佐々木 望	〃	鈴木 茂
遺る家	斧田 裕太	生きてるちから	穴戸 香織	〃	土屋 勝
		1 block, 1 site, 1 house	瀬戸 基聡	〃	西村 大喜
		大きな玄関のある 家	田中 和沙 工藤 浩平 小幡 友樹	〃	原 透
		十字柱の家	中園 昌志	〃	吉原 周
		自然と自然に棲む イエ	野村 恒司 岸野 亮吾	〃	渡辺 忍
		境界線上のイエと イエと	橋本 剛	〃	藁谷 収
		審査講評	小嶋 一浩	石山寺縁起絵巻の 五〇〇年	相澤 正彦
		若き建築家への期 待	真室 佳武	石山寺の創建—石 山寺縁起絵巻の伝 承から—	高梨 純次
		雑木林のような空 間	小嶋 一浩	模写のちから—石 山寺縁起絵巻とそ の模本について—	國賀由美子
		人間像について	西沢 立衛	出雲—聖地の至宝— 年 出雲大社大遷宮	古事記1300 東京国立博物 館
				古代出雲の魅力	上田 正昭

巨大柱の発見と建築史家の挑戦	森田喜久男	インタビュー 堀内紀子	〃	〃	瀬島 匠
出雲の大量青銅器の発見	足立 克己	インタビュー 松枝哲哉	〃	〃	藤下 覚
出雲の仏像彫刻謎の寺院 万福寺	的野 克之	いのちのうた 生命讃歌 箱根・芦ノ湖・成川美術館所蔵品による	唐	〃	呉 梨沙
出雲大社の歴史と文化	森田喜久男	津市近代図書館	〃	〃	中村 光夫
出雲における青銅器の大量埋納について	井上 洋一	私のコレクション 成川 實	〃	〃	長谷川 大
出雲の社寺と宝物	池田 宏	色めく彫刻 よみがえる美意識 群馬県立館林美術館	群	VOCA2012 現代美術の展望 新しい平面の作家たち 上野の森美術館	
出雲国の源流から 意宇の神仏の宝もの 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館		黒のモダン—フランソワ・ボンボンのブロンズ作品と鑄造所	神尾 玲子	選考所感	高階 秀爾
中近世の意宇と神仏	高屋 茂男	極彩色の伝統—江戸時代、寺社の装飾彫刻	〃	〃	酒井 忠康
出雲式狛犬の歴史と八重垣神社の参道石造狛犬について	広江 正幸	平櫛田中：彩色への挑戦	沓沢 耕介	模倣とクリティク	建畠 哲
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 2012 板橋区立美術館他		いわて創作版画の系譜 近現代木版画展 萬鉄五郎記念美術館		疎外について	本江 邦夫
『La Course』—ボローニャ発ボローニャ着の『レース』—	クリスティーン・モロ—	岩手の創作版画 100年	平澤 広	映像の記録性に向かう絵画の物語る力	神谷 幸江
ページ・チューにきく—2012年3月ボローニャ・ブックフェア会場にて	ページ・チュー 松岡希代子 聞き手	印象派の行方 モネ・ルノワールと次世代の画家たち ポーラ美術館		震災後に再見する、異界としての絵画	光田 由里
糸の先へ いのちを紡ぐ手、布に染まる世界 福岡県立美術館		印象派展以後の印象派とフランス絵画	三浦 篤	所感	南 寛 宏
糸の先から糸の先へ	竹口 浩司	「古典の画家」ルノワール—ルノワールの評価形成におけるテオドール・ド・ヴィゼヴァの批評の意義	島本 英明	浮世絵猫百景—国芳一門ネコづくし— 太田記念美術館	
糸が布が色彩が創るもの	宮原 香苗	上野の森美術館大賞展30回 上野の森美術館他		猫の絵の歴史	赤木 美智
裂[きれ]のささやき	中谷 至宏	作家の言葉	佐藤 英行	ニャンコラム 国芳の猫—動物行動学から楽しむ—	則武 広和
インタビュー 上原美智子	竹口 浩司 聞き手	〃	山崎 光雄	ニャンコラム 国芳の猫—動物行動学から楽しむ—	〃
インタビュー 鈴木 田滋人	〃	〃	荒木みどり	ニャンコラム 江戸っ子と犬	赤木 美智
インタビュー 関島寿子	〃	〃	吉田 幸紘	ニャンコラム 鼠という好敵手	〃
インタビュー 築城則子	〃	〃	桃田有加里	猫と国芳と五人の門弟	日野原健司
インタビュー スイ・プロジェクト	〃	〃	遠藤 彰子	歌川国芳の役者戯画について—動物を題材とした作例を中心に—	渡邊 晃
インタビュー 福本繁樹	〃	〃	小嶋 悠司	ウキヨエ盆栽園 盆栽デ、明治ヲアソブ 大宮盆栽美術館	
インタビュー 福本潮子	〃	〃	日野耕之祐	ウキヨエ盆栽園—盆栽デ、明治ヲアソブ	田口 文哉
		〃	平松 礼二	描かれた明治の植木屋の庭—江戸の継承—	平野 恵
		〃	福王寺一彦	美人画の道具見立て(盆栽)—その置かれた場から見る	田口 文哉
		〃	保科 豊巳		
		〃	馬越 陽子		

## 美しきフォルム 川口の匠 vol. 2

川口市立アートギャラリー・アトリ  
アパッケージデザイン、  
タイプデザイン、  
カリグラフィ  
ーの融合

高岡 昌生

美しき自転車との  
出会い

蓮見 孝

盆栽のあゆみと魅  
力

依田 徹

美しさの新機軸～日本画過去から未  
来へ～ 東京藝術大学正木記念館琉球絵画の技法材  
料に関する研究

鴈野佳世子

肌裏紙が絵画に与  
える影響に関する  
研究—古典絵画(絹  
本)修理時の肌裏  
紙の選定を中心と  
して—

佐々木 益

悉皆金色を中心と  
する彩色技法に関  
する研究～東京藝  
術大学大学美術館  
所蔵「阿弥陀三尊  
来迎図」の想定復  
元模写を通じて～

中村 祐子

技法書分析のため  
の基礎研究—技法  
書データベースβ  
版の作成—

染谷 香理

サスポール石窟第  
3窟壁画現状調査  
および模写研究

正垣 雅子

平成21年度『古典  
日本画における墨  
の研究』(国宝「地  
獄草紙」奈良国立  
博物館蔵(部分))  
の現状模写及び装  
潢)及び平成22年度  
末時点における『  
古典日本画における  
墨の研究』の成果

宇高健太郎

ゴールドサンドウ  
イッチガラス碗に  
おける截金技法研  
究～大英博物館蔵  
「金箔入りガラス  
碗」を中心として  
～

並木 秀俊

京都・松尾寺所蔵  
国宝「普賢延命菩  
薩像」における表  
現技法に関する研  
究—銀を中心とし  
た截金技法につい  
て—

古賀 海人

有志八幡講十八箇  
院所蔵国宝「阿弥  
陀聖衆来迎図」の  
彩色技法に関する  
研究—本尊におけ  
る「金色身」表現を  
中心として—

武田 裕子

真長寺本十二天像  
の図像比較及び復  
元研究

阪野 智啓

東京国立博物館所  
蔵国宝「孔雀明王  
像」の原図像の復  
元に関する研究

京都 絵美

湖(うみ)を見つめた王 継体大王と  
琵琶湖 滋賀県立安土城考古博物館継体大王と琵琶湖  
を考える 古墳と  
舟運

細川 修平

継体大王と琵琶湖  
を考える 継体期  
の近江の古墳—埴  
輪を中心にして—

辻川 哲朗

継体大王の年譜

大槻 暢子

漆—その歴史と文化— 千葉市立郷  
土博物館岩手県二戸市浄法  
寺町の漆生産と漆  
器製作について

中村 裕

縄文時代のウルシ  
の歴史—漆の考古  
植物学—

鈴木 三男

縄文時代の技術・  
生活・文化—出土  
漆の調査から見え  
てくるもの—

永嶋 正春

加曽利貝塚等出土  
赤彩資料の理化学  
的分析調査小澤 清男  
永嶋 正春出土資料から見た  
房総の縄文漆文化

小澤 清男

長野県内出土の漆  
資料

水沢 教子

東北日本の縄文漆  
文化

岡村 道雄

武器・武具におけ  
る漆の使用

室瀬 和美

近・現代の漆工品  
～千葉市立郷土博  
物館の資料を中心  
に

永田 智世

漆・うるわしの饗宴 世界の女性作  
家による漆表現の現在 山脇ギャラ  
リー他漆芸表現の特質と  
可能性

外館 和子

日本の漆表現と現  
在松島さくら  
子 笹井 史恵

中国漆工芸の現在

喬 加

韓国漆工芸の現在

イ・ヒョン  
スンベトナムの漆工芸  
について

安藤彩英子

タイの漆工芸につ  
いてチャンタナ  
・チャンテ  
イムミャンマーの漆工  
芸について松島さくら  
子ヨーロッパにおけ  
る漆表現カトリーヌ  
・ニコラアメリカの漆工芸  
の現在シャ・シャ  
・ヒグビー麗しき女性の美 松園・青邨・契月  
・麦優・不矩 姫路市立美術館他日本画と女性表現  
の近代 掌と等身  
大の間で—松園・  
多津の生きた時代

吉中 充代

秋野不矩《砂上》と  
京都画壇における  
「ヌード」の系譜

後藤結美子

雑感:「美人」を描  
くことについて

平瀬 礼太

日本画表現におけ  
る和・洋モチーフ  
のレイアウト—昭  
和戦前期における  
橋本明治の制作を  
例として—

直良 吉洋

麗しのマイセン人形 小早川コレク  
ション 岐阜県現代陶芸美術館マイセン磁器製作  
所と万国博覧会—  
ドレスデン芸術ア  
カデミーとの関係  
性を中心に—

山口 敦子

小早川春夫氏イン  
タビュー櫻井 裕介、  
立花 昭  
聞き手

マイセン関連年表

立花 昭  
山口 敦子雲州松平家の大名行列 お殿様の道  
中と街道 松江歴史館コラム 上京行列  
と参勤交代行列の  
違い

小山 祥子

エヴァンゲリオンと日本刀展 備前  
長船刀剣博物館他「エヴァンゲリ  
オンと日本刀展」に  
よせて

山下いくと

描き継ぐ日本美—円山派の伝統と発展 宮内庁三の丸尚蔵館

円山派、近世から近代へ 斉藤 全人

円山応挙から近代へ—新たな絵師の活動と継承 太田 彩

川端玉章と明治の皇室—作画御用の実態

栖鳳と春挙—大正、昭和の「悠紀主基屏風」を描いた二人

越境する日本人—工芸家が夢みたアジア 1910s—1945 東京国立近代美術館工芸館

工芸家が夢みたアジア 工芸の「アジア主義」 木田 拓也

梅原龍三郎の北京時代—様々なモチーフとの出会い 嶋田 華子

朝鮮に魅せられた兄弟 浅川伯教と巧 日本におけるコリアニスム 鄭 銀珍

小場恒吉と楽浪漆器文様 文様研究第一人者の「古今独歩」という評価 横溝 廣子

海を渡った美術商—山中定次郎と蘭山松太郎—「道具」から「鑑賞」へと変容した中国古陶磁 川島 公之

半泥子が愛用した朝鮮の土 名陶を生み出す土を求めて 龍泉寺由佳

小森忍の中国陶磁研究 現代日本陶芸に残した大きな足跡 服部 文孝

三和高麗焼 忘れられた復興高麗青磁 朝鮮古陶磁を蘇らせた日本人 岡本 隆志

中国における吉田璋也の新作民藝運動 中国工芸に見出した「用の美」 木谷 清人

満洲国宮殿の室内装飾 内藤 裕子

満洲風俗を描いた幻の画家 伊藤順三と満鉄ポスター 中村俊一郎

絵解きってなあに？ 語り継がれる 仏教絵画 龍谷大学 龍谷ミュージアム

コラム1 “絵解き”の源流 入澤 崇

コラム2 当麻曼茶羅とその“絵解き” 石川 知彦

コラム3 閻魔さま“絵解き”を語る 鷹巣 純

コラム4 曼茶羅サバイバル 阿部 美香

コラム5 わたしの村の蓮如さん—蓮如絵伝の地方展開— 村松加奈子

コラム6 霊場めぐりと“絵解き” 石川 知彦

コラム7 長命寺穀屋の尼僧たち 松岡久美子

コラム8 熊野観心十界曼茶羅の構造と機能 小栗栖健治

コラム9 能と参詣曼茶羅二題 大谷 節子

コラム10 “絵解き”再興—熊野三山の取り組み 山本 殖生

“絵解き”する人びと 根井 浄

“絵解き”される絵画—場の力・モノの力— 鷹巣 純

あらためて、“絵解き”ってなあに？—掛幅説話画の「場」をめぐる小考— 村松加奈子

江戸の粋、印籠 フィンランド・クルスコレクション 九州国立博物館

高円宮コレクションの根付—「江戸の粋、印籠」展に寄せて 西高辻信宏 三輪 嘉六 高円宮妃久子殿下

印籠—忘れられたものたち エルセ・クレス ハインズ・クレス

クレスご夫妻のこと 川畑 憲子

江戸の大名菩提寺 港区立港郷土資料館

論考1 大名家の江戸菩提所 岩渕 令治

論考2 福岡藩主黒田家と江戸の菩提所 宮野 弘樹

論考3 島津家施入の大圓寺の経典について 竹村 到

江戸の旅—たどる道、えがかれる風景 仙台市博物館

風景美への憧れ—記録と絵にみる山水癖— 内山 淳一

旅日記が語る江戸時代の仙台—風土、名所、旅事情— 坂田 美咲

江戸の風雅 旧きを知り新しきを創った絵師たち 群馬県立近代美術館

雅中の俗—又兵衛・大雅・容斎 佐藤 康宏

英一蝶の画業初期における風俗画について 野田 麻美

恵比寿映像祭4回 映像のフィジカル 東京都写真美術館／恵比寿ガーデンプレイスセンター広場他

第4回総合テーマ映像のフィジカル 岡村 恵子

映像のフィジカル—飼いなせない野生の映像のために 諏訪 敦彦 長谷 正人

光のなかの闇のなかの光 中村 秀之

カタストロフの映像は今？ 門林 岳史

MOA 岡田茂吉賞展18回 MOA美術館

座談会「日本の工芸を語る」 田中 信行 外館 和子 樋田 豊次郎 室瀬 和美 内田 篤典

大エルミタージュ美術館展 世紀の顔 西欧絵画の400年 国立新美術館他

世紀の肖像：16世紀から20世紀へ 千足 伸行

時代の顔としての 4点の名画	イリーナ・ アル・デー ミエワ、 ナターリア ・グリツエ イ、 エリザヴェ ータ・レン ネ、 ナターリア ・ジョーミ ナ 瀧井 直子 翻訳	陽明文庫の沿革 名和 修 「近衛家の一千年」 の一齣—陽明文庫 の古記録— 羽田 聡 「金毘羅」と呼ばれ た器 尾野 善裕 陽明文庫所蔵の近 世・近代絵画 水谷 亜希	大須観音展 古事記1300年 名古屋 市博物館 いま開かれる、奇 跡の文庫 鳥居 和之 真福寺の創建 稲葉 伸道 真福寺大須文庫の 成立 阿部 泰郎 境内から見る大須 観音 木村 慎平 大須文庫調査の現 在 三好 俊徳
	マティスとロシア —ロシア・アヴァ ンギャルドにおけ る「東方(オリエン ト)」	王と首長の神まつり—古墳時代の祭 祀と信仰— 大阪府立近つ飛鳥博物 館 王と首長の神まつ り—古墳時代の祭 祀と信仰— 白石 太一郎 コラム 古墳にお ける儀礼の変化 森本 徹 コラム 神社建築 関本優美子 コラム 律令的祭 祀 鈴 千夏 神まつりのかたち 廣瀬 時習 古墳祭祀からみた 神まつり—石製模 造品を中心に— 飯田 浩光	
黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐 渡の金銀山— 山梨県立博物館他	本橋 弥生	青梅アート・ジャム2012 アートが この地に出来ること 森から響く祈 りとくらし All Relationships 青梅 市立美術館／吉川英治記念館／ゆず の里勝仙閣 アーティストメッ セージ 青梅アート ジャム2012に寄 せて ドロシー・ フィールド アーティストメッ セージ 2012年 青 梅アートジャムを 終えて チュンボン ・タクサボ ンチャイ アーティストメッ セージ 垣間見え た変化の兆し 藤田 一人	第二章 中世日本 の「知」の拠点 column 1 空海 の神秘化はいつか らはじまったか 武内 孝善 第二章 中世日本 の「知」の拠点 column 2 度会 行忠自筆本の発見 岡田 荘司 第二章 中世日本 の「知」の拠点 column 3 『諸 道勘文』の失われ た書写奥書の発見 川崎 剛志 第二章 中世日本 の「知」の拠点 column 4 真福 寺の浄土教文献 落合 俊典 第三章 大須文庫 を調べる column 1 塙保己一 井上和歌子 第三章 大須文庫 を調べる column 2 真福寺本『古 事記』の出自 岡田 荘司 第三章 大須文庫 を調べる column 3 榮西自筆文書 稲葉 伸道 第三章 大須文庫 を調べる column 4 榮西著作の発 見と復元 末木文美士 第三章 大須文庫 を調べる column 5 人知れずのこ された文書・紙背 文書 福島 金治 第四章 街に生き る大須観音 colu mn 1 大須観音 の「鬼面」 木村 慎平 第四章 街に生き る大須観音 colu mn 2 昭和六年 の大開帳 〃
総論「黄金の国々 —甲斐の金山と越 後・佐渡の金銀山 —」	海老沼真治 渡辺 浩二	青梅信用金庫コレク ション 市制施 行60周年特別展 青梅市立美術館 青梅信用金庫コレ クションについて 石田 治郎	
史跡勝沼氏館跡の 金加工工房	室伏 徹	大倉集古館名品展 豪快なる大倉財 閥の美術コレクション 山梨県立美 術館 大倉集古館—「歴 史」としてのコレ クション 佐藤 道信 概説 豪快なる大 倉財閥の美術コレ クション 井澤英理子	
湯之奥金山遺跡の 発掘調査と博物館 活動	小松 美鈴		
佐渡金銀山遺跡調 査の最前線—鶴子 銀山関連遺跡の発 掘調査	宇佐美 亮		
金粒子付着遺物か らみた金生産技術	省名 貴彦		
佐渡金銀山の技術 書について	余湖 明彦		
佐渡金銀山世界遺 産登録に向けた調 査活動	小田由美子		
鉾山絵図資料に見 る鉾山技術—金を 中心として	鈴木 一義		
甲斐国(武田氏最 大版図)内の産金 遺跡	谷口 一夫		
選鉾技術について	萩原 三雄		
甲斐金山と佐渡金 銀山の鉾山の特徴 とその製錬法	井澤 英二		
佐渡奉行所跡発掘 で出土した焼金土 器の特徴	〃		
正徳後期(享保)佐 渡小判の製造工程	西脇 康		
王朝文化の華 陽明文庫名宝 宮廷 貴族近衛家の一千年 京都国立博物 館			



大原美術館展 北海道立近代美術館

今を生きる人々にとって意義あること。美術館は生きて成長してゆくもの。文化が汗をかく世紀。  
柳沢 秀行

お伽草子 この国は物語にあふれている サントリー美術館

お伽草子の本地 徳田 和夫

物語の新たな波動、メディアとしての絵 //

妖怪の群れー(化け物尽くし) //

現代語訳『調度歌合』 三浦 億人 草稿 徳田 和夫 監修・補訂

土佐光信と「地藏堂草紙絵巻」 高岸 輝

お伽草子と清水寺 上野 友愛

お伽草子の分類ー研究史概観ー 恋田 知子

おふどうと名乗った家 豪商大木家の350年 山梨県立博物館

甲府の豪商大木家の足跡 齋藤 康彦

大木家の民俗資料 丸尾 依子

大木家資料総目録

Olive 1982-2003 雑誌『オリープ』のクリエイティビティ 金沢21世紀美術館デザインギャラリー

雑誌『オリープ』をめぐって「かわいい」という生き方 高橋 律子

元『オリープ』編集長 淀川美代子トーク 淀川美代子 高橋 律子 進行

元『オリープ』編集長トーク 遠山こずえ+岡戸絹枝 遠山こずえ 岡戸 絹枝 高橋 律子 進行

スタイリスト大森 仔佑子トーク 大森 仔佑子 高橋 律子 進行

尾張氏 志段味古墳群をときあかす 名古屋博物館

特論1 前期志段味古墳群の盛衰 酒井 将史

特論2 東谷山古墳群の造営集団に迫る 深谷 淳

おん祭と春日信仰の美術 奈良国立博物館

おん祭と春日信仰の美術 清水 健

近世期春日社家の文芸的活動 川崎佐知子

描かれた春日若宮祭礼 清水 健

(カ行)

鶴林寺太子堂 聖徳太子と御法の花のみほとけ 兵庫県立歴史博物館

国宝鶴林寺太子堂内陣荘厳画私見 有賀 祥隆

鶴林寺と賀古荘 小林 基伸

風が吹けば桶屋が儲かる MOT ANNUAL2012 東京都現代美術館

もう一度その感覚を取り戻すためのノート 田中 功起

深い沼 田村友一郎

上京の制作、風景の編集ー風が吹けば桶屋が儲かる 西川美穂子

KATAGAMI Style 世界が恋した日本のデザイン 三菱一号館美術館他

日本の型染と型紙染の歴史 長崎 巖

型紙は語る 海を越えた型紙をたずねて 生田 ゆき

英国におけるジャポニスムと型紙 高木 陽子

アメリカにおけるジャポニスムと型紙 馬淵 明子

フランスの美術工芸における型紙の影響 //

ベルギーにおける型紙とジャポニスム 高木 陽子

パリ装飾美術館の型紙コレクション シャンタル・ブション 小泉 順也 翻訳

「型」を求めてードイツにおける型紙受容とその背景 池田 祐子

クレフェルトにおける芸術家による絹織物、型紙そしてジャポニスム クラウディア・デランク 池田 祐子 翻訳

世紀転換期ウィーンにおける日本の型紙の意味について ヨハネス・ヴィーニンガー 池田 祐子 翻訳

型紙とオランダのジャポニスム マリヤン・グロート 長谷川珠緒

受けつがれる“KATAGAMI”デザインー現代の欧米のプロダクトから 阿佐美淑子

楽器は語る 紀州藩主徳川治宝と君子の楽 国立歴史民俗博物館

紀州徳川家伝来楽器コレクションの概要とその価値 日高 薫

徳川治宝の時代の音楽についての一試論 遠藤 徹

音楽室の楽器のピッチをめぐって 加藤富美子

音色についてー音を見るー 内田 順子

音を展示する情報コンテンツ 鈴木 卓治

空間と楽器ーサウンドインストールに関連してー 伊達 伸明

律呂図板をめぐって 高瀬 澄子

絵画にみる徳川治宝の楽器演奏とその意味ー新出資料「赤坂御園積翠池試楽図并記」をめぐって 水野 僚子

楽器師神田大和掾ー「伝統」を売る男 岩淵 令治

伝来楽譜から探る紀州徳川家の雅楽実践 清水 淑子

勝坂縄文展 神奈川県立歴史博物館他

コラム 現代人からみた縄文 縄文土器の手ざわり 桐山 孝司

コラム 現代人からみた縄文 精神の道具 港 千尋

コラム 現代人からみた縄文 縄文の音×現代の音 望月 純

金澤八景いま昔 初公開 楠山永雄コレクション 神奈川県立金沢文庫

金澤八景の変遷 西岡 芳文

楠山永雄コレクション 山地 純	ラージプト絵画 高橋 尚子	紀伊弥生文化の至宝 和歌山県立紀伊風土記の丘
鎌倉期の宸筆と名筆—皇室の文庫 〔ふみくら〕から 宮内庁三の丸尚蔵館	染織文化：インド 梶谷 宣子	論考 和歌山県における銅鐸発見の歴史 萩野谷正宏
鎌倉時代の皇室と書流—出品作品をとおして 小森 正明	手描・木版捺染 印金・印銀／銅版捺染 畠中 光享	論考 和歌山県における弥生時代の石器生産と流通 仲原 知之
鎌倉密教—将軍護持の寺と僧— 神奈川県立金沢文庫	織 〃	論考 『埋蔵物録』から辿る和歌山県の銅鐸 藤森 寛志
鎌倉密教 永井 晋	絞 〃	
鎌倉めぐり「武家の古都 鎌倉」世界遺産登録推進 神奈川県立金沢文庫	刺繍 〃	
鎌倉めぐり 山地 純	インド染織の海外への伝播 〃	
「唐入り」の時代～秀吉の大陸出兵と大名たち 徳島市立徳島城博物館	ガンゴー・ヴィレッジと1980年代・ミャンマーの実験美術 福岡アジア美術館	北の土偶 縄文の祈りと心 北海道開拓記念館
帰結としての関ヶ原 森脇 崇文	ガンゴー・ヴィレッジの先輩たち開催にあたって チー・ミン・ソー	国宝「中空土偶」—生と死の表徴— 阿部 千春
軽井沢の風展 日本の現代アート1950—現在〔いま〕 軽井沢ニューアートミュージアム	§ 作家の言葉 § 〃	国宝「合掌土偶」—祈り 異彩を放つ造形の美— 小笠原善範
「軽井沢の風」展を見る 本江 邦夫	〃 ゼーヤ	国宝「縄文のビーナス」と国重文「仮面の女神」 山科 哲
カルペ・ディエム 花として今日を生きる 豊田市美術館	〃 ボウ・ボウ	北の土偶—縄文の祈りと心— 右代 啓視
カルペ・ディエム 花として今日を生きる 北川 智昭	〃 キン・スウェー・ウィン	土偶のなかまたち 鈴木 琢也
カルペ・コルプス (Carpe corpus)—観ることにおける遠さと近さをめぐって 木俣 元一	〃 フラ・トゥ	岐阜県ゆかりの人間国宝 美濃陶芸の系譜 岐阜県現代陶芸美術館
震災後のアサリ 福田 美蘭	ガンゴー・ヴィレッジ・アート・グループ略史 サン・ミン大野 和則 翻訳	岐阜県ゆかりの人間国宝 榎本 徹
供花 〃	33年の夢—美術家たちの終わりのない青春 五十嵐理奈	嬉遊会コレクション—江戸絵画を中心に— 千葉県美術館
涅槃図 〃	ガンゴー・ヴィレッジ実験美術の社会背景 伊野 憲治	嬉遊会コレクションについて 小林 忠
華麗なるインド—インドの細密画と染織の美— 畠中光享コレクション 新潟市新津美術館他	ガンダーラ美術とシルクロードの絵画 泉屋博古館	京都守護職拝命150年と新島重 若松城天守閣郷土博物館
インドの美術とそこ 畠中 光享	平山郁夫と樋口隆康—シルクロード・ガンダーラ美術への貢献—	手紙に見る新島襄・八重夫妻 小枝 弘和
インドミニアチュール絵画 〃	GUN 新潟に前衛〔アバンギャルド〕があった頃 新潟県立近代美術館	コラムⅠ：八重とスペンサー銃 コラムⅡ：看護婦の八重 コラムⅢ：八重と茶道
初期ミニアチュール 〃	〈GUN〉における国際的同時性—新潟、日本、グローバルに考える 富井 玲子	行列にみる近世 武士と異国と祭礼と 国立歴史民俗博物館
ムガール系絵画 〃	〈GUN〉の特殊性とその変質 藤田 裕彦	行列を読む1 大久保純一
ラージプト絵画—ラジャスタン 〃	グループ〈GUN〉がデビューするまで—日本地方都市の「前衛」 高 晟竣	行列を読む2 岩淵 令治
ラージプト絵画—パハリ 〃		行列を読む3 深井 甚三
		行列を読む4 ロナルド・トビ

行列を読む5	ロナルド・トビ	私的なものから公的なものへ	ヘザー・バーチャル 木下 哲夫 翻訳	金鈴塚古墳の金銀装飾大刀はどこで作られたか?	大谷 晃二
行列を読む6	久留島 浩			金鈴塚古墳出土の4組の馬具の検討	宮代 栄一
行列を読む7	横山 學	英国美術 生動—繊細—抑制	木島 俊介	金鈴塚古墳出土馬具の復元	〃
行列を読む8	日高 薫			<b>具体 ニッポンの前衛 18年の軌跡</b> 国立新美術館	
行列を読む9	松井 洋子	「ピクチャレスク」について	デイヴィッド・モリス 木下 哲夫 翻訳	「具体」—近代精神の理想郷	平井 章一
行列を読む10	八反裕太郎			大阪万博というフイナーレへ向かって	山田由佳子
行列を読む11	岩崎 均史			芦屋からアムステルダムへ「具体」の展示空間について	米田 尚輝
行列を読む12	福原 敏男	清盛と日宋貿易 兵庫県立考古博物館		<b>久米邦武と能楽展 岩倉具視の能楽再興を支えた人物〔ブレーン〕</b> 久米美術館	
行列を識る1 回顧される行列	木下 直之	文化財から見た、平清盛と源平合戦(「清盛と源平合戦関連文化財群調査検討会」の成果)		久米邦武と能楽—特別展(岩倉具視の能楽復興を支えた人物〔ブレーン〕—久米邦武と能楽展)を通して	三浦 裕子
行列を識る2 参勤交代の旅	深井 甚三	記録は可能か。映像をめぐる冒険 vol.5 東京都写真美術館		<b>くらべ馬 近代競馬150周年記念</b> 馬の博物館	
行列を識る3 大名行列人形の軌跡—雛形から「温古」の見世物へ—	岩淵 令治	テレビは異端を必要としている	松井 茂	古式競馬総論—古式競馬	末崎 真澄
行列を識る4 行列を迎え、見る作法	久留島 浩	記録は可能か。	田坂 博子	<b>群馬青年ビエンナーレ2012</b> 群馬県立近代美術館	
行列を識る5 東海道物の錦絵と大名行列	大久保純一	幻灯の映す戦後社会運動	紙屋 牧子 鷺谷 花	審査総評	梅津 元 木ノ下智恵子 伊庭 靖子 高橋 瑞木 豊嶋 秀樹
行列を識る6 武器から見た行列図	近藤 好和	近現代のブックデザイン考I 書物にとっての美 武蔵野美術大学美術館		§ 作家の言葉 §	吉田 和生
行列を識る7 天保の琉球ブーム	横山 學	近現代のブックデザイン考	新島 実	〃	八嶋 有司
行列を識る8 沖縄 八重山のミルク(弥勒)行列—海上彼方から「世」をもたらす来訪神—	松尾 恒一	美しい本を作るために	島本 脩二	〃	小沢 裕子
行列を識る9 国芳が描いた江戸山王祭駿河町踊台	福原 敏男	堀辰雄の純粋造本	大藤 敏行	〃	金 光男
行列を識る10 描かれた蝶々踊	八反裕太郎	一九二七年の壽岳文章と伊藤長蔵	寺山 祐策	〃	久保ガエタン
行列を識る11 朝比奈大人形興行差止め	岩崎 均史	あとがき 当館のコレクションから見る「近現代のブックデザイン考」	本庄美千代	〃	百瀬 文
行列を識る12 軍楽隊のいる行列	木下 直之	近代日本画の名作 描かれた日本画の美 豊橋市美術館		〃	吉田 理沙
<b>巨匠たちの英国水彩画展 マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵 岡崎市美術館他</b>		近代日本画の流れ—伝統と創造と	金原 宏行	〃	塚本 智也
序文 ウィットワース美術館の所蔵する水彩画	ヘザー・バーチャル 木下 哲夫 翻訳	近代日本画名品展 日本の美を愛した巨匠たち—横山大観から平山郁夫まで— 三越(日本橋)		<b>芸術家の肖像—写真で見る19世紀、20世紀フランスの芸術家たち—</b> 三鷹市美術ギャラリー	
水彩画—実在するものと心に思い描くもの	ヘザー・バーチャル、 デイヴィッド・モリス 木下 哲夫 翻訳	吉野石膏コレクションの日本画	草薙奈津子		
		金鈴塚古墳展 甦る東国古墳文化の至宝 木更津市郷土博物館金のすず			
		金鈴塚古墳の鈴について	田中 裕		

写真による芸術家の表象 ナダールからスタイケンまで	大日方欣一	アンケート回答 法貴信也	記念シンポジウム「現代に生きるKATAGAMI」	熊谷三好、出沢バネリ、生田進行	博人、拓夫、忠利、ストゥキ
解脱上人貞慶 鎌倉仏教の本流 御遠忌800年記念特別展 奈良国立博物館他	奈良国立博物館	アンケート回答 丸山直文	「語られる技・生きる伝統」伊勢型紙オーラルヒストリー	生田 ゆき	
貞慶と興福寺	永村 眞	アンケート回答 横内賢太郎	インタビュー 六谷泰英 錐彫り	生田 ゆき	
解脱上人貞慶の信仰と活動	西山 厚	アンケート回答 和田真由子	インタビュー 宮原敏明 錐彫り	聞き手	
海住山寺の十一面観音像—貞慶との接点を求めて舵手	岩田 茂樹	アンケート回答 渡辺聡	インタビュー 内田勲 突彫り	〃	
貞慶をめぐる二つの聖地図像	谷口 耕生	絵画たちはささやく 出原 均	インタビュー 木村正明 突彫り	〃	
海住山寺に伝来した一對の浄土図—貞慶の浄土観に関わる新発見—	北澤 菜月	現代の座標—工芸をめぐる11の思考— 東京国立近代美術館工芸館	インタビュー 兼子吉生 道具彫り/紗張り	〃	
解脱上人貞慶と興福寺北円堂再興造像をめぐる二、三の問題	瀬谷 貴之	現代工芸を担う11 諸山 正則	インタビュー 今坂千秋 道具彫り	〃	
貞慶の春日信仰—称名寺聖教を通して—	高橋 悠介	工芸未来派 金沢21世紀美術館	インタビュー 佐々木正明 縞彫り	〃	
源氏物語 遊興の世界	逸翁美術館	「工芸未来派」の背景となる考え方—今なぜ工芸の現代美術化が必要なのか? 秋元 雄史	インタビュー 坂哲雄 縞彫り	〃	
源氏物語の遊興の世界	伊井 春樹	交差する視点とカタチ vol.5 札幌芸術の森美術館他	インタビュー 松井俊子 糸入れ	〃	
特別展示「幻の写本 大沢本源氏物語」について	〃	かたちたちがあがるところへ交差する視点とカタチ vol.5に寄せて 佐藤 友哉	インタビュー 藍田正雄 江戸小紋	〃	
宝塚歌劇の源氏物語	酒井 利枝	高野山麓 祈りのカタチ 和歌山県立博物館	インタビュー 菊池宏美 江戸小紋	〃	
雅展Ⅳ 元 禅僧と文人 瀬津雅陶堂	瀬津雅陶堂	〈概説〉高野山麓 祈りのカタチ 大河内智之	古事記の歩んできた道 古事記撰録1300年 奈良国立博物館		
元—禅僧と文人—	村重 寧	KORIN 国宝「燕子花図」とメトロポリタン美術館所蔵「八橋図」 根津美術館	コラム1 太安萬侶の墓 吉澤 悟		
元時代絵画の美—文人と禅僧—	板倉 聖哲	尾形光琳—「燕子花図」と「八橋図」をめぐって 村瀬実恵子	コラム2 古事記の文章 毛利 正守、中川ゆかり		
現代絵画のいま 兵庫県立美術館	兵庫県立美術館	八橋図屏風に関する覚書 野口 剛	論説 古事記編纂とその時代 野尻 忠		
アンケート回答 石田尚志		小江戸川越 江戸絵画 職人尽絵と三十六歌仙額 川越市立美術館	論説 古事記の伝来とひろがり 嵐 義人		
アンケート回答 居城純子		又兵衛世界の基底 河野 元昭	古代ガラス シルクロードを彩る人工の華 天理大学附属天理参考館		
アンケート回答 大崎のぶゆき		岩佐又兵衛《三十六歌仙額》の謎—「小江戸川越江戸絵画」展の理解のために 折井 貴恵	Column1 もう一つのシルクロード—海を渡るイスラーム・ガラス— 真道 洋子		
アンケート回答 奈良美智		極小の宇宙 手わざの粋—伊勢型紙の歴史と展開— 三重県立美術館	Column2 海のシルクロード 巽 善信		
アンケート回答 二艘木洋行		型紙/KATAGAMI 人、モノ、文化の交差点 生田 ゆき	後藤家文書 刀装金工の鑑定と記録 東京藝術大学附属図書館		
アンケート回答 野村和弘			装剣金工後藤家 原田 一敏		
アンケート回答 彦坂敏昭			後藤家文書 極帳について 酒井 元樹		
アンケート回答 平町公					

この素晴らしき世界 アジアの現代美術から見る世界の今 広島市現代美術館

世界を映す鏡としての芸術 角 奈緒子

《セカンドハンド・シティー》 マイケル・リー

この世界とわたしのどこか 日本の新進作家 vol. 11 東京都写真美術館

この世界とわたしのどこか—日本の現代写真 笠原美智子

アーティスト・ステートメント 大塚 千野

” 田口 和奈

” 笹岡 啓子

” 蔵 真墨

” 菊地 智子

中国におけるセクシュアリティの変貌 ”

古萩 江戸の美意識 山口県立萩美術館・浦上記念館

茶の湯における萩焼の受容 谷 晃

徳山藩御用焼物を探る 吉積 久年

古萩を観るために—近世萩焼茶碗の造形性から 石崎 泰之

海外へ渡った古萩 徳留 大輔

出土状況から見た萩焼の流通と消費 ”

古筆手鑑 国宝『見努世友』と『藻塩草』 出光美術館

古筆手鑑—さまざまな手鑑の特徴と味わい方— 別府 節子

古筆手鑑の解体と再編 中村健太郎

湖北の観音—信仰文化の底流をさぐる— 長浜城歴史博物館

己高山寺の草創—湖北の観音像は、なぜ素晴らしいのかを考えるために— 高梨 純次

特別展「湖北の観音」によせて 桑田 潔

北近江観音像の魅力在全国に 太田 浩司

暦と怪異—不安な日々の平安貴族— 斎宮歴史博物館

あとがきにかえて 船越 重伸

コレクター鈴木常司 美へのまなざし ポーラ美術館開館10周年記念第1期ピカソとポーラ美術館の絵画 ポーラ美術館

鈴木常司の記憶、そして、ポーラ美術館のこれから 鈴木 郷史

鈴木常司の美術コレクション—その端緒、経緯と公開 荒屋鋪 透

コレクター鈴木常司—美へのまなざし コレクション、文化活動の背景をめぐって 岩崎余帆子

(サ行)

再発見 日本書画の美 田原市博物館他

長谷川家歴代とコレクション 長谷川吉茂

日本の書画の美を再発見する—暮らして息づく山形・長谷川コレクションの意義— 村田 隆志

小考 下條桂谷とそのコレクションについて 茨木 恵美

坂田和実の40年 古道具、その行き先 渋谷区立松涛美術館

古道具、その行き先 坂田 和実

古道具坂田というものさしと「日本の眼」 土田 真紀

展覧会ノート 光田 由里

佐田岬半島と西日本の裂織 愛媛県歴史文化博物館

木綿再生—丹後地方の裂き織り— 井之本 泰

21世紀の暮らしに拓く裂織 深堀 習

愛媛県佐田岬半島と西日本の裂織 付録 佐田岬半島の裂織に関する聞き書き 今村 賢司

ザ・タワー—都市と塔のものがたり— 江戸東京博物館他

塔にまつわるものものろの雄感 そしてわづかばかりの、試論 岩城 紀子

大阪における明治20年代の展望所を持つ施設について 船越 幹央

三国志の時代—2・3世紀の東アジア— 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

三国志の時代—2・3世紀の東アジア— 今尾 文昭

コラム1 土器からみた2～4世紀の朝鮮半島と日本列島の交易 坂 靖

コラム2 大田南5号墳出土の土器について 川崎 志乃

コラム3 備忘の呉鏡—夢野丸山古墳出土鏡の複製品— 今尾 文昭

コラム4 2・3世紀の金属器生産 北井 利幸

コラム5 ホケノ山古墳出土土器をめぐって 小池香津江

3.11とアーティスト：進行形の記録 水戸芸術館現代美術ギャラリー

作家インタビュー トーチカ

” 日比野克彦

” 藤井 光

” 椿 昇

” Chim ↑ Pom

” 遠藤 一郎

” 宮下 マキ

” wah document

” 村上タカシ

” 荒井 良二

” 開発 好明

” 北澤 潤

” 山川 冬樹

” 眞田 岳彦

” ヤノベケンジ

” ニ シ コ

〃	タノタイガ	自然がつくりだし た色と形	長谷川道明	第18回 JAALA 国 際交流展に参加し て	郭 東榮
〃	高山 明 (Port B)	漆芸 軌跡と未来	東京藝術大学創 立125周年記念事業	メッセージ	Jenny Fra- ser
〃	加藤 翼	東京美術学校から 東京藝術大学への 漆芸教育—資料と 証言の記録	横溝 廣子	ローカリティが生 む国際交流	中野 中
〃	中島 佑太 ビルド・フ ルーガス	実の会2回 美と存在	高島屋(日 本橋)	JAALAシンポジウ ム 表現を追う— 極東の子午線に沿 って	ワシオ・ト シヒコ、 郭 東榮、 陳 世憲、 稲垣 三郎 司会 允生 通訳
〃	小森はるか 瀬尾なつみ	〃 作家の言葉 〃	赤塚 一三		
〃	畠山 直哉	〃	井手尾摂子		
本展の企画につい ての記録と考察	竹久 侑	私の取材先	蛭子真理央		
あえてみずからを ヴァルネブルに— 震災とアーティ ストたち	鷺田 清一	〃 作家の言葉 〃	大村 光		郭 東榮、 陳 世憲、 Jenny Fra- ser、 朴 興淳、 朴 容彬、 Karwan Omar、 Avan Anwar、 稲垣 三郎、 山川 靖夫 ほか 芳雄、 小林 允生 白通訳
水戸芸術館での雛 形としての「9.30」	榎木 野衣	〃	谷神 健二		
「災害や大規模事 故を受けてアート のできることがあ るとすれば、それ はどのようなもの だと思いますか」 という問いへの応 答	畠山 直哉	〃	福井 洋一		
		〃	堀江 孝		
		〃	山内 滋夫	事務室で来日アー ティスト懇談会	
三都画家くらべ 京、大坂をみて江 戸を知る 府中市美術館		WAITING FOR THE FIRST TRAIN 始発電車を待ちながら 東京駅復元 工事完成記念 東京ステーションギ ャラリー			
「江戸」の絵画の特 質	安村 敏信	東京駅と鉄道をめ ぐる現代アート9 つの物語	富田 章	写真の現在 4 そのときの光、その さきの風 東京国立近代美術館	
「若沖」はなぜ江戸 で流行しなかった のか	金子 信久	〃 作家の言葉 〃	秋山さやか	世界に出会う持続 的な営為	増田 玲
イタリア三都画家 くらべ	音 ゆみ子	〃	大洲 大作	有元伸也	増田 玲 構成
シェル美術賞 2012 国立新美術 館		〃	クワクボリ ヨウタ	本山周平	〃
曖昧な現実	本江 邦夫	〃	柴川 敏之	中村綾緒	〃
これまでの絵、こ れからの絵	島 敦彦	〃	パラモデル	新井卓	〃
“絵画のエンター テイメント性”の 証明	木ノ下智恵 子	〃	廣瀬 通孝	村越としや	〃
四国へんろの旅 絵図・案内記と道 標 愛媛県歴史文化博物館		〃	廣村 正彰		
愛媛の遍路道標考	今村 賢司	〃	本城 直季		
自然と幻想の博物誌 あつめること、 みること、そうぞうすること 豊橋 市美術博物館		重要文化財指定記念—島内地下式横 穴墓郡出土品1029点— えびの市 歴史民俗資料館	ヤマガミユ キヒロ	十一屋コレクションの名品 野口柿 邸をめぐる文人たち 山梨県立美術 館	野口柿 邸
標本化された自然 —標本的美術×美 術的標本	丸地加奈子	解説	中野 和浩	甲府の誇り 十一 屋野口家の美術コ レクション	小林 忠
		JAALA 国際交流展18回 2012 東 京都美術館		十一屋コレクションの書蹟	笠嶋 忠幸
		さらに国境を超え よう！ JAALA美 術家会議	稲垣 三郎	十一屋と野口柿邸 をめぐる文人ネッ トワーク	平林 彰

首里城に魂を！ 国内唯一の赤い城  
〔ぐすく〕 20年のストーリーー 首  
里城公園管理センター

首里城に魂を！—  
海洋博覧会記念公  
園管理財団が行っ  
た復元製作事業に  
ついて— 上江洲安享

首里城・漆芸品模  
造制作事業—琉球  
漆芸の未来に向け  
て— 室瀬 和美

将軍家献上の鍋島・平戸・唐津—精  
巧なるやきもの— 佐賀県立九州陶  
磁文化館

将軍家献上の鍋島  
・平戸・唐津 大橋 康二

全国の遺跡から出  
土した鍋島焼きに  
みる献上と贈遺 山本 文子

正倉院展64回 奈良国立博物館

正倉院宝物とその  
公開(概説) 西山 厚

宝物寸描 正倉院  
の染織文様の世界  
性 尾形 充彦

宝物寸描 聖語蔵  
「神護景雲二年御  
願経」と今更一部  
経 飯田 剛彦

宝物寸描 金工か  
ら見た瑠璃杯 内藤 栄

宝物寸描 古代東  
アジアを結んだ開  
基文化 岩戸 晶子

象徴派 夢幻美の使徒たち—世紀末  
美術の巨匠たち 岐阜県美術館他

フランス象徴主義  
の時代 山本 敦子

モーリス・ドニの  
やわらかな風景—  
自然と抽象のあい  
だ 平石 昌子

ベルギーの象徴主  
義 山田真規子

蕭白ショック!! 曾我蕭白と京の画  
家たち 千葉市美術館他

曾我蕭白とその時  
代 小林 忠

「唐絵」としての曾  
我蕭白と蕭白前史 伊藤 紫織

蕭白と伊勢地方—  
旧永島家襖絵を中  
心に— 道田 美貴

縄文の世界像—八ヶ岳山麓の恵み—  
大阪府立弥生文化博物館

論考 縄文時代  
「堅穴住居」の住人 黒崎 直  
たち

特別論考 住居廃  
絶儀礼に供献され  
たパン状炭化物 中村 耕作

特別論考 縄文農  
耕論の今日的意義  
と中部高地におけ  
る縄文時代の植物  
利用 中沢 道彦

職人のわざ〔技〕とカタ〔型〕と—商品  
の誕生— 埼玉県立歴史と民俗の博  
物館

特別寄稿 伝承の  
共有一記憶装置と  
しての型— 三田村佳子

助手展2012 武蔵野美術大学助手  
研究発表 武蔵野美術大学美術館

Handout の活用法  
を探る／Handout  
を再びつかうとい  
うこと／Handout  
の役割を見直すこ  
と 内田阿紗子

君のアートを科学  
する—美大生のため  
の論文作成法—  
作品制作と研究論  
文の違いって何？ 御子柴ふゆ

§ 作家の言葉 § 二宮 陽香

” 坂本 龍幸

デザイン感覚のみ  
で書は成立するか 星野 曜

§ 作家の言葉 § 大野 洋平

” 菊池富美恵

” 橋口 博幸

” 丸岡 勇太

” 角田真祐子

” 深谷 美里

” 長嶋 誠

” 大原 崇嘉

” 小崎 慎介

” 土屋 由貴

” 牧野 光一

” 仲佐 史恵

” 関 ひとみ

” 齋藤大路朗

” 日吉 洋人

” 入山 南

” 臼田 桃子

” 藤森 研伍

宸翰 天皇の書—御手が織りなす至  
高の美— 京都国立博物館

宸翰 天皇の書—  
過去から未来へ— 羽田 聡

神社名宝展—参り・祈り・奉る—  
皇學館大學創立130周年記念・再興  
50周年記念 皇學館大学佐川記念  
神道博物館

総説 神々への技  
と美の精華伊勢に 岡田 芳幸  
集う

新世紀の顔・貌・KAO —30人の自  
画像— 最終章 高輪画廊他

生きにくい時代だ  
からこそ—第10回 中野 中  
展を迎えて

§ 作家の言葉 § 秋元由美子

” 伊藤 光悦

” 伊藤 弘之

” 市橋 哲夫

” 遠藤 力

” 笠原 久央

” 紀井 學

” 國友 博

” 小久保 裕

” 硯川 秀人

” 須藤 愛子

” 高橋留三郎

” 田中 紘子

” 塚本 文子

” 土田佳代子

” 戸谷由紀子

” 平岡 潤

” 藤田 俊哉

” 堀 一浩

” 堀岡 正子

” 前田 昌彦

” 増田 健一

” 松宮 直子

” 万代 進

” 三國 芳郎

” 屋敷 妙子



〃	柳瀬 雅夫	数寄屋小史一茶の湯の広がり数寄屋建築の展開一	桐浴 邦夫	特別寄稿 近江の対抗軸・出雲一尼子氏登場の背景一	西島 太郎
〃	山田 真二			特別寄稿 出雲国における尼子氏権力の拡大	長谷川博史
〃	山廣 葉子	数寄屋大工の世界一空間に景色を作り出す一	齋藤 光義 インタビュー		
〃	山本 雄三			コラム 石見銀山と毛利氏	伊藤 徳広
〃	山本 豊	近代における数寄屋の展開と大工	桐浴 邦夫	特別寄稿 戦国期尼子氏の守護職獲得と室町幕府	川岡 勉
〃	吉武 研司			鰐淵寺と清水寺の座次相論から	佐伯 徳哉
親鸞 真宗開顕 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念 大谷大学博物館		数寄屋大工と図面	松本 康隆	特別寄稿 富田落城後の尼子氏	藤岡 大拙
別冊 板東本『教行信証』について 真宗開顕	三木 彰円	近代数寄屋建築を次世代へ	今里 隆	コラム「鹿之助」像の変遷	中野 賢治
別冊 板東本『教行信証』について 板東本に使用された符号	宇都宮啓吾	墨と紙が生み出す美の世界展 徳島県立近代美術館		創作版画の宝石箱ーコレクター 長谷川勝三郎の絵 鹿沼市立川上澄生美術館	
別冊 板東本『教行信証』について 板東本のすがたとかたち	赤尾 栄慶	磨墨から生まれ出る美	北見 音丸	長谷川勝三郎と創作版画の仲間たち	長谷川勝朗
別冊 板東本『教行信証』について 板東本のすがたとかたち	赤尾 栄慶	墨と紙に関する中国の古典	渡辺 明義	長谷川勝三郎と川西英の交流ー川西英の長谷川勝三郎宛書簡を中心にー	臼井佐知子
別冊 板東本『教行信証』について 板東本のすがたとかたち	赤尾 栄慶	墨一魔法の発墨を求めて	中野 嘉之		
別冊 板東本『教行信証』について 板東本のすがたとかたち	赤尾 栄慶	墨の可能性	渡辺 明義		
別冊 板東本『教行信証』について 板東本のすがたとかたち	赤尾 栄慶	筆のあと	高橋 利郎		
別冊 板東本『教行信証』について 板東本のすがたとかたち	赤尾 栄慶	墨づくりと画家たちの制作をめぐる	森 芳功		
神話のこぼれ ブラジル現代写真展 資生堂ギャラリー		清雅なる仏画 白描図像が生み出す美の世界 大和文華館		ソニーエリュミエール 物質・移動・時間 金沢21世紀美術館	
神話ーブラジル現代写真	エーデル・シオデット 藤井 勇人 訳	清雅なる仏画ー白描図像の集積・解析・再構成に関する一試論一	古川 攝一	§ 作家の言葉 §	鈴木ヒラク
群島の写真の時代に：ブラジルの新しい写真への共感	後藤 繁雄	世界ポスタートリエンナーレトヤマ 10回 2012 富山県立近代美術館		「サンセットーサンライズ・アーク」光庭プロジェクト	パトリック・ブラン 日比野克彦
水彩画の現在[いま]ー日本水彩画会創立100周年を迎えてー開館30周年記念特別展 信州新町美術館		ポスターにできること	永井 一正	§ 作家の言葉 §	梅田 哲也
水彩画の特別展に寄せて	真壁 輝男	ポスターはグラフィックデザイナーの自画像	松永 真	時を経て生く創造者	北出智恵子
戦後の水彩画について 福島英子と小山田次郎を中心にして	瀬尾 典昭	ポスターは死に瀕している。ポスターは死んだ AAA AAHHHHHOOOU UUUUUUUUUU… (絶望の長い叫び)	アラン・ル・ケルネ	尊厳の芸術 東京藝術大学大学美術館他	
スーホの白い馬と草原の民 馬の博物館		溢れるイメージのなかで	カリ・ビッポ	メッセージ	デルフィン・ヒラスナ
ウマたちと子どもたち	小長谷有紀	戦国一乗谷の庭園 ー伝統と革新の庭園デザインー 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館		(タ行)	
数寄屋大工ー美を創造する匠ーギャラリー A他		企画展に寄せて 一乗谷の庭園と維持管理	藤井英二郎	大出雲展 古事記1300年・出雲大社大遷宮 京都国立博物館他	
数寄屋大工が歩んできた道	中村 昌生	戦国大名尼子氏の興亡 島根県立古代出雲歴史博物館		古代出雲の魅力	上田 正昭
数寄屋の空間デザインー茶室の構成要素を通してー	日向 進			古代出雲の山寺と社	久保 智康
				出雲神話のバリエーションースサノヲを中心にー	森田喜久男
				青木遺跡と出雲の神社	平石 充
				山陰地域の青銅器文化と大量埋納	増田 浩太



神々の国の仏たち 古代を中心に	的野 克之	「七夕の美術展」覚 書—イメージの連 鎖による本展の趣 旨	吉田 恵理	〃	万城目 純 ホワイトダ イス
岩屋寺旧蔵の十一 面観音坐像をめぐ って	浅湫 毅	谷川岳高山植物図鑑 原画展	東京	茶人井伊直弼と幕末のやきもの	彦 根城博物館
大浮世絵展 北斎、広重、そして春 画 軽井沢ニューアートミュージア ム		谷川岳高山植物図 鑑完成に際して	阿部 利夫	茶人・井伊直弼と 幕末のやきもの	奥田 晶子
江戸春画論一世に 艶の種は尽きまじ ー	伊東 順二	おわりに	佐藤 一郎	茶の湯の現代 用と形 公募展 1 回 菊池寛実記念智美術館	
日本のこころ 大本山相国寺・金閣 ・銀閣名宝 富山県水墨美術館		谷川岳高山植物図 鑑原画作者から	齋藤 芽生		赤沼 多佳 内田 繁 唐澤 昌宏 菊池 智 林屋 晴三
禅寺・相国寺の絵 画作品—肖像画か ら詩画軸まで	太田 昌子	〃	津田やよい	「茶の湯の現代— 用と形—」座談会	
コラム1 禅寺の 法堂に住みついた 「龍」	〃	〃	佐藤 央育		
コラム2 文人画 と禅画	宮崎 法子	〃	木下 拓也	Challenge Art in Japan 2012 韓国 人留学生による現代アート展 韓国 文化院	
コラム3 大典和 尚をめぐる画家た ち	星野 鈴	〃	後藤 温子	未来への架け橋	上田 雄三
コラム4 そもさ ん!せっぱ!	高嶋 昭英	〃	小塚 直斗	§ 作家の言葉 §	李 承禧
大名と藩—天下泰平の立役者たち— 埼玉県立歴史と民俗の博物館		〃	齋藤 睦	〃	孫 吁鎮
—総説—北武蔵の 大名と藩	根ヶ山泰史	〃	畑澤 瞳	〃	白 寅恵
コラム いくさの 音が聞こえる	〃	チャオ!縄文 先史飛ノ台と古代イ タリア 縄文国際コンテンポラリー アート in ふなばし2012 船橋市飛 ノ台史跡公園博物館	エミリオ・ パラッコ	〃	林 智慧
コラム 家紋	〃	〃	フランコ・ カルラッサ ーレ	〃	嚴 慧蘭
コラム 児玉南柯 と遷喬館	〃	〃	ガレアッツ オ・ヴィガ ーノ	〃	金 青林
平清盛 江戸東京博物館		〃	リビオ・チ ェシン	〃	金 宰弘
清盛の目ざしたも の	高橋 昌明	〃	ジュゼッペ ・ファンテ イナート	〃	朴 甫耕
物語の中の清盛— 化身の清盛像—	問屋 真一	〃	ブルニーボ ・ブッタレ イリ	〃	李 元淑
貴族政権から武家 政権へ—平氏政権 の特質—	石橋健太郎	〃	〃	〃	李 玟知
平氏の時代を遺跡 からみる	植山 茂	〃	青木 進	〃	裴 峻稷
対話する時間 世田谷美術館コレク ションによる現代美術展 世田谷美 術館		〃	池谷 佳恵	〃	金 昭希
あいさつにかえて、 一言	酒井 忠康	〃	石原 道知	〃	李 在光
七夕の美術 日本の近世・近代の美 術工芸にみる 静岡市美術館		〃	岡田 享子	中学生まるびいアートスクール 魔 法の書道展 金沢21世紀美術館	
		〃	酒井 清一	「魔法の書道展」ワ ークショップを終 えて	黒澤 浩美
		〃	高岡 典男	内田樹×椿昇「能 楽と美術」	内田 樹 椿 昇
		〃	藤樫 正	「魔法の書道」につ いて	椿 昇
		〃	丹菊 逸治 篠原 智花	Forever√	シロくま先 生
		〃	万 里	中国 王朝の至宝 東京国立博物館 他	
		〃	南治 隆一	千景万色一夏・殷 から宋までの中国 歴代王朝の出土文 物をめぐって—	松本 伸之
		〃	堀江 武史		

統一的多元的中国文明—『中国王朝の至宝』の考古学的観察記—	王 軍	コラム 屏風に描かれたチャイナタウン長崎	深瀬公一郎	当世具足 大名とその家臣団の備え(概説)	小西 雅徳
中国文明の起源に関するいくつかの問題	王 巍	コラム 黄檗絵画と唐絵目利	植松 有希	鉄炮の普及と当世具足の出現	宇田川武久
斉と楚の青銅器を比べる—器種構成を中心に—	川村 佳男	抽象と形態 何処までも顕れないもの 川村記念美術館		卯の花のをとしの絲に結はれて—徳川歴代將軍の甲冑と久能山東照宮—	小林 明
平城と建康 みえてきた南北朝時代の二大都市	市元 壘	アンダース・エドストローム	アンダース・エドストローム	上田藩松平氏所用具足の伝来経緯	北村 典子
中国近代絵画と日本館	京都国立博物館	五木田智央	五木田智央	どうぶつ集まれ—ぞうさんの描いた絵と表された動物たち	徳島県立近代美術館
高剣父の山水画に見る折衷主義と日本画影響—山元春挙との関係を中心に—	西上 実	フランシス真悟	フランシス真悟	ぞうさんの描いた絵と表された動物たちのこと—アートの動物園の歩き方	森 芳功
中国絵画の近代化と日本—筆墨と美術のあいだで—	呉 孟晋	抽象と形態：何処までも顕れないもの	鈴木 尊志	どうぶつが集まるとき	吉原美恵子
王冶梅と森琴石—近代文人画家と銅版出版事業の関わりについて—	西上 実	§ 作家の言葉 §	角田 純	東洋陶磁の美 悠久の光彩 大阪市立東洋陶磁美術館コレクション サントリー美術館	
嶺南画家・方人定の「日本画」—須磨弥吉郎収集の「後園図」をめぐる—	呉 孟晋	〃	野沢 二郎	東洋陶磁コレクションのモダニズム	出川 哲朗
須磨ノート解題	西上 実	〃	赤塚 祐二	大阪市立東洋陶磁美術館所蔵の中国陶磁コレクション—中国陶磁研究の現状とその成果から—	小林 仁
須磨ノート	須磨弥吉郎	〃	吉川 民仁	近年の高麗陶磁研究と大阪市立東洋陶磁美術館コレクション	鄭 銀珍
中国山水画の20世紀 中国美術館名品選 東京国立博物館		中世の安房と鎌倉—海で結ばれた信仰の道— “渚の駅”たてやまオープン記念特別企画 館山市立博物館		大阪市立東洋陶磁美術館所蔵・朝鮮時代の陶磁と近年の研究結果	樋口とも子
20世紀中国山水画 発展概説	王 雪峰	総説 鎌倉と安房のつながり	池田 英真	鑑賞のヒント—「色」から覗く、大阪市立東洋陶磁美術館コレクションとは	安河内幸絵
中国福建博物院～長崎文化の源流をたずねて～ 長崎歴史文化博物館		コラム 鎌倉・三浦半島のやぐらと房総半島のやぐら	杉江 敬	東洋の白いやきもの—純なる世界— 出光美術館	
コラム 墓石が語る国際交流の姿	大石 和久	コラム 里見義弘と太平寺・青岳尼	岡田 晃司	東洋の白いやきもの—純なる世界	金沢 陽
コラム 蒙古襲来と鷹島	中田 敦之	論考 鎌倉と安房の仏像	薄井 和男	東嶺園慈 禅画と墨蹟 龍澤寺・齡仙寺と近江の禅寺所蔵作品 花園大学歴史博物館(ZEN MUSEUM)	
コラム 小値賀島の海底で発見された中世期の貿易遺跡	塚原 博	珍品ものがたり 宮内庁三の丸尚蔵館		東嶺園慈と禅画・墨蹟	志水 一行
コラム 長崎出土の福建陶磁—考古学からみた長崎と福建—	川口 洋平	珍品ものがたり	五味 聖	十果会34回 高島屋(日本橋)他	
コラム 東シナ海を往来した船の姿	深瀬公一郎	硯箱の技法の違い—X線透過撮影でわかること		随想	相田 幸男
コラム 媽祖信仰	藤田 明良	手紙に見る実篤への思い—岸田劉生・長与善郎・千家元麿— 調布市武者小路実篤記念館			
コラム 港市・平戸	久家 孝史	手紙に見る実篤への思い—岸田劉生・長与善郎・千家元麿	伊藤 陽子		
		桃花の会 5回 高島屋(日本橋)他			
		八年雑録有終美 [さよならだけが じんせいだ]	瀧 悌三		
		当世具足 大名とその家臣団の備え 板橋区立郷土資料館			

随想	今井 信吾	第1章 縄文人の心の世界	八木 勝枝	鳥坂寺再興 柏原市立歴史資料館他
パリ風景画について	大津 英敏	第2章 土偶は何に使う?	〃	鳥坂寺をめぐる 山根 航
黒い太陽—八月六日—	奥谷 博	第3章 土偶のうつりかわり	〃	都市から郊外へ—1930年代の東京世田谷文学館
随想	木津 文哉	第4章 遺跡の中の土偶	〃	一九三〇年代とモダニズム文学 菅野 昭正
随想	絹谷 幸二	第5章 土偶へのまなざし	〃	一九三〇年代の美術の一隅—難波田龍起 酒井 忠康
こころ	齋藤 研	徳川家康の肖像[すがた] 江戸時代の人々の家康観 江戸東京博物館		少年探偵団が駆け抜けた世田谷—一九三〇年代、作品の中の郊外 小池 智子
めだま焼き考(2)	桜井 寛	“徳川曼茶羅”としての「家康家臣図(家康・信玄・謙信家臣図の内)」	松島 仁	古代への眼差し—難波田龍起と菊池一雄 野田 尚稔
星になる	瀬川富紀男	「征夷將軍源家康像」について	〃	街の肌合い—桑原甲子雄の一九三〇年代の東京 〃
貌々	林 敬二	知られざる家康の横顔—駿河臨濟寺僧との関わりから垣間見る—	小林 明	東京・版画・三〇年代—稲垣知雄が刻んだ東京[まち]の貌[かたち] 小池 智子
偶感	平岡 靖弘	家康と浄土信仰	中村 玲	サイレントからトーキーへ—東京郊外で誕生した映画と撮影所 矢野 進
2012年	松樹 路人	小野通女の筆跡	〃	流行歌にみる一九三〇年代—古賀政男・西條八十・宮田東峯 〃
DOKIDOKI 陶芸の魅力×アートのドキドキ	滋賀県立陶芸の森陶芸館他	小野通女の画業	〃	郊外住宅地の理想—田園調布と成城を中心に 大竹 嘉彦
「陶芸の魅力×アートのドキドキ」展 1950年代の新しい陶芸の幕開けとアート	三浦 弘子	浄土宗寺院西谷山観崇院大養寺	〃	都市と郊外の連結点に誕生した消費文化の殿堂—三越と伊勢丹 〃
刻の記憶 龍野アートプロジェクト 2012 龍野市		『徳川家康像』大養寺本をめぐる	〃	都美セレクション グループ展公募 1回 東京都美術館
§作家の言葉§	松谷 武判	増上寺中興・観智国師と家康	〃	審査員講評「都美セレクション グループ展公募」に期待する 南島 宏
昇華/記憶の種	山口 敏郎	来迎山峯月院宗仲寺	〃	審査員講評「都美セレクション グループ展公募 第1回」をふりかえって 大谷 省吾
§作家の言葉§	今村 遼佑	溝呂木家	〃	審査員講評「都美セレクション グループ展公募」に思う 大橋 修一
〃	角田 広輔	「東照大権現」の創生	松島 仁	審査員講評 新たな視座を求めてのエール 笠嶋 忠幸
〃	佐藤 文香	紅葉山稲荷額	〃	審査員講評「新しさ」の対岸で 高橋 利郎
〃	芝田 知佳	「東照大権現像(白描)」について	〃	
〃	ジェレミー・アンドレ	東照大権現にみる装束と御神宝装束	田中 潤	
〃	マリー・ヴァアルト	夢見る將軍徳川家光と東照大権現霊夢諸本	松島 仁	
〃	犬丸 暁	東照大権現の祭祀者慈眼大師(天海)とその画像	〃	
土偶・コスモス MIHO MUSEUM		祖父家康との一体化を夢想する家光一家康・家光対面の「東照大権現霊夢像」と「徳川家光像」	田中 潤	
土偶・コスモス	辻 惟雄	創られる家康像	小宮山敏和	
縄文土偶の誕生、そして大変身	小林 達雄			
縄文文化における数の観念	西田 泰民			
西アジアの土偶：シリアーパレスチナを中心に	泉 拓良			
現代の土偶現象	ニコル・クーリッジ・ルーマニエール			
土偶まんだら 岩手県立博物館				

審査員講評 新機軸の誕生	建 昌 哲		山口 牧子、 横澤 典、 塩谷 亮、 綿引 展子、 阿部 守、 児嶋 サコ、 津田 睦美、 元田 久治、 真住 貴子 聞き手	明治の美術染織	五味 聖
ドビュッシー、音楽と美術 印象派と象徴派のあいだで	ブリヂストン美術館	作家との対話		美術館という公共空間	岡本 隆志
なにか口火を切らねばならないでしょうから	ギ・コジュヴァル 長谷川光明、 谷川かおる 翻訳	§ 作家の言葉 §	山口 牧子	内国勸業博覧会にみる蒔絵	五味 聖
東京におけるドビュッシー展—印象派と象徴派のあいだで	島田 紀夫	〃	横澤 典	大阪であじわう異国気分	岡本 隆志
自分の音楽的夢想を書きたい…	ジャン＝ミシエル・ネクトゥー 梅宮 典子 翻訳	〃	塩谷 亮	「彫塑」という概念	〃
「影の側に」—象徴主義者ドビュッシー	ジャン＝ダヴィド・ジュモ＝ラフォン 長谷川光明、 谷川かおる 翻訳	〃	綿引 展子	宮川香山と内国勸業博覧会	〃
音楽は絵のごとく—ドビュッシーと美術／ドビュッシーと日本	新畑 泰秀	〃	阿部 守	長崎街道 世界とつながった道	九州歴史資料館
ペレアスを探して—ドビュッシーの傑作と舞台の危うさ	ギ・コジュヴァル ステファン・ゲガン インタビュー 長谷川光明、 谷川かおる 翻訳	〃	児嶋 サコ	総論 長崎街道	一瀬 智
独立芸術[アール・アンデパンダン] 書房をめぐる人々	ドウニ・エルラン 谷川かおる 翻訳	〃	津田 睦美	column 1 宿場の恵比寿さま	松川 博一
生の形式としての印象主義—1920年代にドイツ人はドビュッシーをどのように鑑賞したか	マルタン・カルテネッケル 梅宮 典子 翻訳	〃	元田 久治	column 2 江戸時代の長崎貿易	一瀬 智
彩色の極致	ユーク・デュフル 長谷川光明、 谷川かおる 翻訳	とよかわの美術家たち 豊川のみつとみ 豊川のみつとみ 史 豊川のみつとみ 豊川のみつとみ	星野真吾の背中 大野 俊治	column 3 牛津宿と「野田家日記」	〃
DOMANI・明日展14回 美術館	国立新美術館	星野真吾の背中 大野 俊治	忘れ得ぬ人々(豊川のみつとみ 豊川のみつとみ)	column 4 三国境と筑紫神社	松川 博一
		作家との出会い 岩原 良仁	国府から発信する絵画とは…私を含めての述懐	column 5 難所・冷水越	一瀬 智
		古郷豊川と画家への想い 中村 敏子	とよかわの美術家たち 森田 靖久	column 6 内野宿御茶屋跡の発掘調査	岡寺 良
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	column 7 街道の「起点」大里	一瀬 智
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	column 8 さいふ参詣道	松川 博一
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	那須の縄文社会が変わるころ 縄文時代中期から後期へ	栃木県立なす風土記の丘資料館
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	縄文社会の変質—関東・中部地方からみた縄文時代中期から後期へ—	山本 暉久
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	東北からみる那須地域の縄文中・後期文化	阿部 昭典
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	懐かしうつくし貝細工 土博物館	大田区立郷土博物館
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	I 縄文時代の貝製品	野口 舞
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	II 螺鈿・青貝・芝山細工	金子 皓彦
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	III 貝細工見世物	川添 裕
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	IV 貝で遊ぶ	藤塚 悦司
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	V 様々な貝細工	金子 皓彦
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	VI 貝屏風	藤塚 悦司
		とよかわの美術家たち 森田 靖久	とよかわの美術家たち 森田 靖久	VII 観光貝細工	〃

X 貝ボタン //	日本・オブジェ 1920—70年代 断章 うらわ美術館	映画ポスターの制作と印刷—1950—60年代のグラフィックデザインへの憧憬 寺本美奈子
鯨絵とボードレール展 コレクター 気谷誠の世界 神奈川県立近代美術館(鎌倉)	オブジェ考、点描風に 森田 一	
鯨絵とボードレール コレクター気谷誠の眼 橋 秀文	《詩人とオブジェ》住人たち、すこし固い部屋の 金澤 一志	「ATGのブランド・カラーは、黒です」 デザイナー・檜垣紀六氏インタビュー 岡田 秀則、寺本美奈子 聞き手
南都大安寺と観音さま 祈りと救いの美 パラミタミュージアム	関連年表 森田 一、滝口 明子 編	
南都大安寺の歴史 赤川 一博	日本画の巨匠たち 名作でたどる日本美術院のあゆみ 近代から現代へ 福岡市美術館	デザインと映画をめぐって—草月アートセンターから『季刊フィルム』へ奈良義巳氏インタビュー 寺本美奈子、岡田 秀則 聞き手
二条城展 江戸東京博物館開館20周年記念 江戸東京博物館	近代から現代へ 日本美術院の歩み 古田 亮	日本の70年代 1968—1982 埼玉県立近代美術館他 埼玉
京の江戸 村井 康彦	近代から現代へ 日本美術院の歩み 古田 亮	70年代の気分を読み解くために 前山 裕司
二条城の障壁画 松本 直子	溪仙の再興院展参加をめぐって—大観、麦僊との関係 古川 智次	1970年代の再検証のために 平沢 剛
二条城修築と徳川将軍家 齋藤 慎一	日本近代美術の名品展—森鷗外と米原雲海を中心に— 東京藝大美術館 所蔵 島根県立石見美術館	転換点としての70年代美術 建畠 哲
象徴の場、維新後の二条城 中谷 至宏	東京藝術大学大学美術館—ミュージアムとコレクション— 薩摩 雅登	実験映画と自主制作の時代 西村 智弘
二条城二の丸御殿と名古屋城本丸御殿 将軍の愛した障壁画 名古屋城天守閣	森鷗外と東京美術学校 川西 由里	ラディカリズムとコマーシャルイズムの行方—1970年代の日本写真 飯沢耕太郎
二条城と名古屋城における各御殿の障壁画について 朝日美砂子	米原雲海の人と芸術—木彫等身像(橋本雅邦像)制作にみる— 左近充直美	回想の西武美術館 前山 裕司
二世五姓田芳柳の世界—近代日本洋画の先駆け— 古河歴史博物館	『日本国』の誕生 古事記が出来たころ 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館	日本橋 描かれたランドマークの400年 江戸東京博物館開館20周年記念 江戸東京博物館
五姓田家の周辺 永井 路子	『日本国』の誕生—古事記が出来たころ— 古事記が出来たころ 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館	「熙代勝覧」と「隅田川風物図巻」 我妻 直美
日欧のサムライたち—オーストリアと日本の武器武具展— 大阪歴史博物館	太安萬侶墓誌に関する新知見 重見 泰	日本橋の特色 竹内 誠
16世紀のヨーロッパにおける甲冑と武器 ヨハネス・ラームホルター	三次元CGとレントゲンで見る太安萬侶墓誌 奥山 誠義	名所絵二題 日本橋と隅田川 我妻 直美
激動の時代の武装—グラーツの武器庫— ダニエラ・アセル	平城京左京四條四坊の宅地利用 重見 泰	日本ファッションの未来性 東京都現代美術館
日経日本画大賞 東山魁夷記念5回 上野の森美術館	新羅との交流からみた天武朝 〃	FUTURE BEAUTY 日本ファッションの未来性 深井 晃子
審査を終えて 高階 秀爾、島田 康寛、草薙奈津子、尾崎 正明、菊屋 吉生、加藤 弘子	『古事記』の“上古”・“今”と発掘された飛鳥(舒明朝) 今尾 文昭	書き換えられたファッションの帝国 パーバラ・ヴンケン、石関 亮 翻訳
日朝交流の軌跡 対馬宗家文書8万点の調査を終えて 重要文化財新指定記念 九州国立博物館	日本の映画ポスター芸術 東京国立近代美術館フィルムセンター他	脱構築 不可視のものを暴き、体系を揺るがすこと シェール・ボッター、蘆田 裕史 翻訳
対馬宗家と宗家文書 田代 和生	映画を射抜いた《眼》—日本の映画ポスター試論 岡田 秀則	INTERVIEW 玉井健太郎 KCI 聞き手
対馬宗家文庫史料について 山口 華代		

〃	長見 佳祐 KCI 聞き手	白隠展 HAKUIN 禅画に込めたメッ セージ Bunkamura ザ・ミュージ アム	I. 東アジアの都 城 1. 漢唐の都城	今井 晃樹
マンガ、アニメ、 コスプレ、フッ ション	ヘレン・マ ッカーシー 蘆田 裕史 翻訳	白隠禅画をよむ 芳澤 勝弘	I. 東アジアの都 城 2. 百済・新羅 の都城	庄田 慎矢
ネクスト・ジェネ レーション	栗野 宏文	白隠のいる美術史 山下 裕二	I. 東アジアの都 城 3. 日本の都城	成田 聖
日本油彩画二〇〇年—西欧への挑戦 黒田清輝、佐伯祐三、岸田劉生が求 めた日本の絵画— 五〇〇万人が感 動したコレクション 静岡県立美術 館		白隠の墨跡—形相 ヲ以テ莊嚴ス可カ ラズ 高橋 利郎	II. さきほこる都 城文化の華—苑池 と寺院— 1. 東ア ジアの都城と苑	高橋知奈津
日本人の油彩画 泰井 良		博物図譜とデジタルアーカイブ 5 武蔵野美術大学美術館	II. さきほこる都 城文化の華—苑池 と寺院— 2. 都城 寺院と巨大仏塔	箱崎 和久
日本六十余州図の世界 池田家文庫 絵図 岡山シティミュージアム		『博物図譜とデジ タルアーカイブ』 第IV期特別講演 視覚の冒険—美術 的水族館史の試み —19世紀末におけ る博物学と美術の 融合例としての水 族館建設—	II. さきほこる都 城文化の華—苑池 と寺院— 3. 造塔 の土木技術と東ア ジア	青木 敬
「日本六十余州図 の世界」解説 倉地 克直		幕末維新—近代世田谷の夜明け— 世田谷区立郷土資料館	III. 流花実生—流 転する文物・技術 ・文化— 1. 金属 工芸品	中川 あや
〈猫〉が気になる 北海道立三岸好太 郎美術館		彦根藩の海防と世 田谷領 清水 詩織	III. 流花実生—流 転する文物・技術 ・文化— 2. 都城 の土器と東アジア 世界	小田 裕樹
三岸好太郎の〈猫〉 が気になる。 苦名 直子		長州藩若林抱屋敷 から松陰神社へ 松本剣志郎	III. 流花実生—流 転する文物・技術 ・文化— 3. 石神 遺跡出土施釉陶器 をめぐって	〃
日本の画家による 猫 〃		『開国始末』序跋お よび豪徳寺碑文 重野 宏一	III. 流花実生—流 転する文物・技術 ・文化— 4. 唐三 彩と奈良三彩	丹羽 崇史
信長×信玄 戦国のうねりの中で 滋賀県立安土城考古博物館		はじまりは国芳 江戸スピリットの ゆくえ 横浜美術館	III. 流花実生—流 転する文物・技術 ・文化— 5. ガラ ス	田村 朋美
総論「織田信長と 武田信玄」 高木 叙子		はじまりは国芳 柏木 智雄	III. 流花実生—流 転する文物・技術 ・文化— 6. 唐・ 新羅・日本の墳墓	加藤 真二
織田信長の統治戦 略と武田氏 大沼 芳幸		静方と英朋—第10 回鳥合会の頃をめ ぐって 内山 淳子	原弘と東京国立近代美術館 デザイ ンワークを通して見えてくるもの 東京国立近代美術館	木田 拓也
(ハ行)		川瀬巴水の風景版 画—渡邊庄三郎、 小島島水との関係 から 片多 祐子	パラレルワールド冒険譚 札幌芸術 の森	
パール 海の宝石 兵庫県立美術館		芭蕉 広がる世界、深まる心 名古 屋市博物館	表現される世界と 現実 佐藤 康平	
1 真珠の本質と なりたち ユベール・ バリ 赤松 蔚 翻訳		芭蕉の転生 田中 善信	パリへ渡った「石橋コレクション」 1962年、春 プリズストン美術館	
2 真珠の歴史と 受容 ユベール・ バリ 木下 哲夫 翻訳		芭蕉遺愛の「笈」に ついて 小川 幹生		
3 カタールと真 珠採取の黄金期 1850~1940年 ユベール・ バリ 赤松 蔚 翻訳		名古屋で芭蕉に会 う 山本 祐子		
4 養殖真珠の誕 生と隆盛 〃		畠山重忠—横浜・二俣川に散った武 蔵武士— 横浜市歴史博物館		
5 貴婦人の髪飾 り ユベール・ バリ 木下 哲夫 翻訳		武蔵御嶽神社蔵の 赤糸威大鏡—その 構成部材から見え てくるもの— 豊田 勝彦		
6 天然真珠ジュ エリーの千年 〃		花開く都城文化 奈良文化財研究所 飛鳥資料館		

「パリへ渡った『石橋コレクション』1962年、春」展に寄せて	島田 紀夫	民博のアフリカビーズコレクション—フィールドでの資料収集と情報収集の実践	池谷 和信	飛騨・美濃の仏像—「一木造り」の巨像を考える	清水 眞澄
「石橋コレクション」とベルナール・ドリヴァル	田所 夏子	つくり手の仕事場から—ナイジェリア、イレ・イフのビーズ細工師たち	緒方しらべ	岐阜県の仏教絵画	有賀 祥隆
記録映画「石橋コレクション・パリ」		東日本の古墳と渡来文化 海を越える人とモノ 松戸市立博物館		ひな人形の世界 徳島市立徳島城博物館	
コレクターとしての酒井億尋		東日本の古墳と渡来文化	土生田純之	狩野時信と菊池容斎の「楠公図」	小川 裕久
ピカソ《女の顔》と石橋正二郎		土器から見た東日本の渡来人	酒井 清治	美の宴 東洋の古美術、印象派と古地図が織りなす珠玉の世界 和泉市久保惣記念美術館	
資料編 ジャック・マレシャルによる洗浄修復		渡来文化の到来と房総の古墳	白井久美子	観比べて、楽しむこと、発見すること…特別展に添えて	河田 昌之
資料編 輸送梱包作業、警備について		金工品からみた5、6世紀の日朝交渉—東日本地域の事例から—	高田 貫太	美のワンダーランド 十五人の京絵師 九州国立博物館	
資料編 パリにおける「石橋コレクション」展関連記事目録—1962(昭和37)年開催当時の記事を中心に—	田所 夏子 編	光あれ！—光と闇の表現者たち 栃木県立美術館		プロローグ 京都・十八世紀後半という時空—若冲・大雅・応挙ら躍動する京絵師たち—	山下 善也
資料編 ブリヂストン美術館と1962年パリの「石橋コレクション」展、およびベルナール・ドリヴァル関連略年譜	〃	光あれ！—光と闇に託すもの	島 一嘉	コラム 中国からやってきた十六人目の絵師・沈南蘋	鷺頭 桂
版画でしょ？ 境界を広げる4人のアーティスト カナダ大使館 高円宮ギャラリー		光と影の芸術—写真の表現と技法— [平成24年度東京都写真美術館コレクション展] 東京都写真美術館		コラム 死してもなお、師とともに—蕪村と呉春—	森實久美子
多義的な空間に明かされる深化と拡張	石川 健二	第I部 光の造形—操作された写真	藤村 里美	コラム 多彩なテクニックの水墨画	畑 靖紀
版画の冒険 ミレー、ドガ、そしてムンクへ 町田市立国際版画美術館		第II部 自然の鉛筆—技法と表現	鈴木 佳子	コラム 写生の画家、応挙が描く虚構	水谷 亜希
オリジナルはどこへ セゴレーヌ・ル・メン		第III部 機械の眼—カメラとレンズ	金子 隆一	コラム うわさの京絵師	畑 靖紀
版画の冒険 和南城愛理		光と風景 フランス絵画200年 ミレー、コロー、そしてモネ、ルノワールへ 香川県立ミュージアム		エピローグ 絵師たちの京都—美の宝庫の十八世紀—	〃
ビーズインアフリカ 国立民族学博物館コレクション 神奈川県立近代美術館(葉山)		「個」の際立ち	本江 邦夫	百椿図 椿をめぐる文雅の世界 根津美術館	根津 剛
いのち・かたちの・つらなり—「ビーズインアフリカ」展の開催にあたって	水沢 勉	ルノワールにみるロココ復興とフランス的イメージ	稲葉麻里子	解説	野口 剛
ビーズにみるアフリカの文化	吉田 憲司	西洋と日本の風景画	田口 慶太	百花繚乱 女性の情景 私 横須賀美術館	生きて行く
		美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年 東京国立近代美術館		百花繚乱 女性の情景—描かれた多彩な女性像	工藤 香澄
		時代はめぐる—東京国立近代美術館の60年	松本 透	女性が描く女性の情景—小倉遊亀と北澤映月をめぐって—	古屋 梨奈
		飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産— 岐阜県博物館		比羅夫がゆく 飛鳥時代の武器・武具・いくさ 奈良文化財研究所飛鳥資料館	



I 飛鳥時代の武器と武具	丹羽 崇史	紅型 琉球王朝のいろとかたち 沖縄縄復帰40周年記念 沖縄県立博物館・美術館他	高橋 真作 西岡 芳文 古川 元也
II 比羅夫がみた7世紀の武器とたたかい	加藤 真二	琉球国王尚家の紅型衣裳 志村絵里奈	展示主旨
コラム 古代の水の上戦?	丹羽 崇史	紅型の意匠と日本の染織 長崎 巖	仏教の来た道 シルクロード探検の旅 龍谷大学 龍谷ミュージアム
III 唐様大刀をめぐる	〃	紅型—多彩で華やかな夢のような世界 與那嶺一子	シルクロード探検の旅へ—大谷探検隊の軌跡奪取 入澤 崇
コラム 俑からみた唐の武人の装い	加藤 真二	琉球王国尚家の紅型衣裳 志村絵里奈	ガンダーラから西域、中国へ—仏教文化の伝播と発展— 宮治 昭
ヒロシマ・オー ヒロシマフクシマ 旧日本銀行広島支店		紅型のいろ 平田美奈子	大谷探検隊将来の仏教写本—最新の研究成果— 三谷 真澄
コンテンポラリー・アートと進歩	緑川雄太郎	紅型のかたち—型紙 〃	中国で信仰された西域の宗教—展示品を見るために— 吉田 豊
§ 作家の言葉 §	諫山 元貴	J・フロントリテイリング史料館所蔵松坂屋コレクションについて	ブラティスラヴァ世界絵本原画展
〃	石黒 健一	紅型を愛しむ—岡田三郎助と鎌倉芳太郎	広がる絵本のかたち うらわ美術館 他
〃	岡田 寿枝	フィンランドのくらしとデザイン ムーミンが住む森の生活 青森県立美術館他	第23回ブラティスラヴァ世界絵本原画展
〃	オマル・ロサレス	「森」と「社会」に根ざし、「社会」と「森」に還元されるデザイン	ヴィエラ・アノシキノヴァー 山根 佳奈 翻訳
〃	鹿田 義彦	「ムーミン」と「カレワラ」 エリナ・ボネリウス 古市真由美 翻訳	イラストレーションと絵本のかたち—BIB2011 (第23回ブラティスラヴァ世界絵本原画展)と国内展の構成について
〃	シャルロット・ボンジュール	フェアリー・テイル—妖精たちの物語— 三鷹市美術ギャラリー	遊びを演出するし—かけ絵本—国際児童文学館出展のし—かけ絵本を中心に
作品図解	神馬 啓佑	なぜ日本人は妖精が好きなのか 井村 君江	土居 安子
§ 作家の言葉 §	園田 昂史	シェイクスピアの妖精 〃	山根 佳奈
〃	友定 睦	コティングリー妖精事件 〃	山田志麻子
〃	中村 有丞	福岡市美術展46回 福岡市美術館	個人コレクションと児童文化 篠原 誠司
〃	濱 哲史 村田宗一郎	選評	身体で読む本—日本のし—かけ絵本の現在
〃	増田 純	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	PRINT Resonance 世界の美術学校の版画集 武蔵野美術大学美術館
〃	丸橋 光生	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	版画集のなかの未来 遠藤 竜太
〃	水口 鉄人	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	世界の中の版画 Sean Caulfield
〃	山本 辰典	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	デジタル社会の中の版画—武蔵野美術大学版画研究室の一つの挑戦
〃	ロメイン・ルザー	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	
〃	黒田 大祐	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	
〃	有賀 慎吾 加藤 翼 川田 淳 須賀 佑輔 村山 悟郎	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	
垣根を超える—当事者、分有、情態性		武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	
琵琶湖をめぐる近江路の神と仏 名宝 三井記念美術館		武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	
特別展『琵琶湖をめぐる近江路の神と仏名宝展』概説	清水 眞澄	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	
コラム 神体山と近江の神々—八王子山・三上山・竹生島—	清水 実	武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 神奈川県立歴史博物館／神奈川県立金沢文庫／鎌倉国宝館	



平成24年美術展覧会図録所載文献(企へ行)

ムサビの版画／伝統と現代を見据えた指導体制	高浜 利也	審査総評 常に、表現へのあくなきチャレンジを	斎藤由多加	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(青銅器・玉器)	川村 佳男
アルバータ大学版画プログラム	Sean Caulfield	審査総評「ライブ」と「共感」の新たな体験	寺井 弘典	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(陶磁器)	今井 淳
版画：視覚アートの「室内楽」	Hugo U. Besard	審査総評 世界を巻き込むアニメーション作品が生まれていくためには	古川 タク	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(琺瑯器)	松本 伸之
タイの版画の父	Yanawit kunchaethong	審査総評 人材を育成し、世界へ発信する芸術祭へ	伊藤 有壺	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(漆器)	西岡 康宏
テネシー大学ノックスビル校	Beauvais Lyons	審査総評 完璧な「コピー」の中で、高度な物語が際立つ	押井 守	故宮博物院 名品への誘い 二、中国の工芸(染織)	小山弓弦葉
文化財の保存・修復の半世紀 元興寺文化財研究所創立45周年 元興寺総合収蔵庫		審査総評 年々進化を遂げる表現技法	杉井キサブロー	コラム1「清明上河図巻」の魅力―「清明上河図巻」と宋代の視覚文化―	塚本 磨充
出土木製品	大国万希子	審査総評 現実を凌駕するパワーを生み出すアニメ	氷川 竜介	清朝の礼制文化―悠久の伝統―	猪熊 兼樹
出土金属製品	山岡奈美恵	審査総評 最新型のマンガ表現と、変化を続けるメディア芸術祭の未来	さいとうちほ	コラム2 乾隆帝小伝	塚本 磨充
土器・埴輪	江野 朋子	審査総評 他分野との境界を越える表現に	竹宮 恵子	清朝の文化事業―伝統の継承と再編―	川村 佳男
伝世資料	桃井 宏和	審査総評 人間の生きる方向を考えさせる作品が集結	細萱 敦	コラム3 三希堂と乾隆帝	富田 淳
彩色資料	植田 直見	審査総評 多様な作品群と今後が期待の海外作品	村上 知彦	清朝の宗教―チベット仏教がつなぐ世界―	松本 伸之
記録資料	金山 正子	平家物語画帖 根津美術館		清朝の国際交流―周辺国との交流―	塚本 磨充
開発・分析	川本 耕三	根津美術館所蔵「平家物語画帖」と同工作品		ペリーの顔・貌・カオ―「黒船」の使者の虚像と実像―	神奈川県立歴史博物館
文化庁メディア芸術祭受賞作品展 15回 国立新美術館		北京故宮博物院200選 常化40周年 東京国立博物館140周年 東京国立博物館	日中国交正常化40周年 東京国立博物館140周年 東京国立博物館	ペリー・イメージの成立と展開―画像資料を素材として	嶋村 元宏
審査総評 すべてのメディアアートになる現代と2011年という節目	岡崎乾二郎	総論 故宮博物院の歴史と現在	鄭 欣森	ヨーロッパの絵画と彫刻：ルネサンスからロココまで	シュテファン・ヴェッペルマン 川合真木子 翻訳
審査総評 喪失から生まれた社会へのテーゼ	神谷 幸江	一期一会―特別展「北京故宮博物院200選」の開催にあたって	西岡 康宏	珍品陳列室から王立美術館へ―ベルリンの絵画・彫刻コレクションをめぐる初期の歴史(1565-1830)	ルーベン・レーブマン 小林亜起子 翻訳
審査総評 あらゆる事象の本質を問う3.11以降のアート	後藤 繁雄	故宮博物院 名品への誘い 一、中国の書画	富田 淳	「サンドロの友」の憂鬱、《フローラ》の涙	高梨 光正
審査総評 技術に頼らず、表現の意味を問う深みを	関口 敦仁				
審査総評 テクノロジーの進歩によって新たな世界がひらかれる	原 研哉				
審査総評 支配的でもサロンのでもない、自由な表現の場から生まれるシーン	内山 光司				
審査総評 体験の共有をデザインするエンターテインメント	伊藤ガビン				
審査総評「ゲーム」と呼ばない時代が来る	岩谷 徹				

オランダ絵画のパ ラドックス—レン ブラントとフェル メール	尾崎 彰宏	コラム7 米国人 が見た刀剣という 文化	酒井 元樹	コラム1 京極氏 と関ヶ原の戦い・ 大阪の陣	〃
芸術的創意の宝庫 —ベルリン国立素 描版画館とイタリ ア素描コレクショ ン	ダグマー・ コルバッハ — 高梨 光正 翻訳	「本之美」装幀と挿絵 小路実篤記念館	調布市武者	コラム2 藩主の 肖像	松岡 明子
イタリア素描の技 法さまざま	高梨 光正	「本之美」—装幀と 挿絵—	福島さとみ	コラム3 丸亀城 跡の構造について	東 信男
ポッティチェッリ の『神曲』素描にお ける煉獄イメージ	石澤 靖典	(マ行)		コラム4 丸亀城 京極家道具帳	御厨 義道
法華経の世界 神奈川県立金沢文庫		マウリッツハイス美術館展 オラン ダ・フランドル絵画の至宝 東京都 美術館他		コラム5 四目結 紋をめぐる	〃
法華経の世界	道津 綾乃	マウリッツハイス 美術館の歴史とコ レクション	レア・ファ ン・デア・ フィンデ	コラム6 大名の 旅	〃
法華経の歴史	〃	日々の暮らしに眼 を向けて—17世紀 のオランダ絵画	エブコ・ル ニア	湖の船が結ぶ絆—天智天皇、信長の 大船—そして うみのこ— 滋賀県 立安土城考古博物館	
法華経の研究	〃	ヨハネス・フェル メール作『真珠の 耳飾りの少女』— オランダのモナ・ リザ	カンタン・ ビュヴェロ アリアーネ ・ファン・ スヒテレン	琵琶湖の湖上交通 —古代から近世ま での舟運史—	太田 浩司
法華経の供養	〃	17世紀オランダ絵 画にみる「笑い」	大橋菜都子	コラム 信長の水 城	大沼 芳幸
ボストン美術館 日本美術の至宝 東京国立博物館他		17世紀オランダ絵 画を見る作法—人 生を映す鏡として の世界	岡 泰正	コラム 琵琶湖と 海を接続せよ！— 琵琶湖運河計画と 琵琶湖疏水—	辻川 哲朗
ボストン美術館— 東と西の架け橋	アン・ニシ ムラ・モー ス	正岡子規と美術 横須賀美術館		琵琶湖に浮かんだ 大船—天智天皇の 大御船・塩津の船 そして信長の大船 —	横田 洋三
ボストン美術館の 日本絵画コレクシ ョン—西欧に示さ れた日本美術の教 科書—	田沢 裕賀	写生随想 松井 貴子		丸子船	用田 政晴
特別寄稿 ポスト ン美術館の曾我蕭 白コレクションに ついて	辻 惟雄	政宗見参！—仙台藩伊達家と宇和島 藩伊達家— 宇和島市立伊達博物館		蒸気船から現代船 へ	福井 智英
コラム1 フェノ ロサと狩野派の画 家たち	井上 瞳	特筆 伊達政宗の 数寄風流	木村 宗慎	塩津港遺跡から見 る湊の繁栄	濱 修
コラム2 名品絵 画がよみがえる「日 本美術の至宝」修 復作業	フィリップ ・メレディ ス ターニヤ・ ウエダ	特筆 宇和島伊達 家の諱にみる仙台 伊達家との関わり について—宇和島 伊達家4代藩主村 年の諱の変遷を中 心に—	志後野迫希 世	琵琶湖舟運の南の 起点・大津	和田 光生
コラム3「吉備大 臣入唐絵巻」を読 む	金井 裕子	祭 MATSURI—遊楽・祭礼・名所 日本の美・発見 VII 出光美術館		鉄道敷設と連絡船 の就航	太田 浩司
コラム4 祥啓筆 山水図と夏珪	救仁郷秀明	描かれた(祭)の盛 衰—聖地と悪所の 理想像	出光佐千子	琵琶湖観光と舟— 異世界への誘い—	大沼 芳幸
コラム5 大坂で 買いまくったアメリ カ人、世界に売 りまくった日本人 —フェノロサ、ピ ゲローと古美術商 ・山中—	知念 理	都市と祭礼図—祇 園祭礼図の場合	廣海 伸彦	うみのこ物語	阿刀 弘史
コラム6 ポスト ン美術館の二つの 山水図屏風	田沢 裕賀	丸亀京極家—名門大名の江戸時代— 香川県立ミュージアム		琵琶湖を駆けた伝 道船—ヴォーリス のガリヤ丸—	〃
		丸亀京極家 —名 門大名の江戸時代 —	御厨 義道	神仏を運ぶ船	山下 立
				琵琶湖の船は未来 への絆	大沼 芳幸
				船が運んだ石の文 化—近江における 笏谷石製造品—	山下 立

南九州とヤマト王権一日向・大隅の古墳— 大阪府立近つ飛鳥博物館

古墳からみた南九州とヤマト王権 白石 太一郎

もっと知りたい円筒埴輪と壺形埴輪 市村 慎太郎

もっと知りたい同範鏡と同型鏡 //

もっと知りたい埴輪製作技法の共通性 鈴 千夏

もっと知りたい前方後円墳の築造企画 飯田 浩光

もっと知りたい盾持人埴輪の意味 鈴 千夏

もっと知りたい鉄器と朝鮮半島との交流 森本 徹

もっと知りたい貝輪の来た道 関本 優美子

もっと知りたい初期須恵器の生産と流通 森本 徹

もっと知りたい五世紀の甲冑の広がり 関本 優美子

もっと知りたい蛇行剣と鉄鏃 鈴 千夏

もっと知りたい蒨屋北遺跡の馬の復元 森本 徹

もっと知りたい文献に記された隼人 市本 芳三

付論 南九州とヤマト王権とのかわりを考える 儀礼からみた横穴と地下式横穴 森本 徹

付論 南九州とヤマト王権とのかわりを考える 南九州と近畿における馬の生産と埋葬 鈴 千夏

特別論考 南九州の古墳時代研究最前線 埴輪からみた南九州と近畿—西都原古墳群を中心として 犬木 努

特別論考 南九州の古墳時代研究最前線 地下式横穴墓とはなにか 橋本 達也

特別論考 南九州の古墳時代研究最前線 地下式横穴における埋葬原理と女性への武器副葬 吉村 和昭

MIHO GRANDAMA II 母なる方へ MIHO MUSEUM

MIHO GRANDAMA II によせて 小山 弘子

慈母のなみだ 金子 直樹

聖なる女神たちの物語 東 容子

魅惑の白 天神萬古の世界 朝日町歴史博物館

天神萬古について—四日市萬古との視点を中心に— 竹内 弘光

魅惑の日本の客船ポスター 横浜みなと博物館

日本の客船ポスターの変遷と展開 志澤 政勝

民俗の宝庫 三遠南信の発見と発信 柳田国男・折口信夫らによる調査研究のあゆみ 飯田市美術博物館

三信遠国境地帯の民俗と民俗学 福田 アジオ

柳田国男・折口信夫の旅と民俗学 小川 直之

民俗雑誌『設楽』を作った人々 伊藤 正英

柳田国男と遠州 名倉 慎一郎

三遠南信の祭り・民俗芸能の発見—その特徴と若干の課題— 櫻井 弘人

ムサビのデザインII デザイナーカイブ50s—70s 武蔵野美術大学美術館・図書館

デザインの時代—武蔵美とデザイナーアーカイブ 柏木 博

日宣美とシルクスクリーン・ポスター 今井 良朗

デザイン界事始め—1960年、世界デザイン会議 松葉 一清

日宣美と若き日を想う 田名 網敬一

自分史のなかの「日宣美展」 小谷 育弘

近代椅子コレクションの三面図製作の授業の意図 島崎 信

50年代から70年代マガジンデザイン—黄金時代—エディトリアルデザインの成立 寺山 祐策

夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化 神奈川県立歴史博物館

夢窓疎石と鎌倉 山家 浩樹

光明寺と二つの宝積寺 川本 慎自

夢窓疎石の頂相について 梅沢 恵

メグロアドレス—都会に生きる作家目黒区美術館

メグロアドレスの考え方 石崎 尚

[Death Song][死の歌] 青山 悟

mental map studies 今井 智己

§ 作者の言葉 § 須藤由希子

えも言われぬ空間 長坂 常

今回の展示について 南川 史門

§ 作者の言葉 § 保井 智貴

制作と発表を切り分け、そのあと、もう一度ひとつにする 田中 功起

メトロポリタン美術館展 大地、海、空—4000年の美への旅 東京都美術館リニューアル記念 東京都美術館

序論 ビーター・バーネット 中原 淳行 翻訳

自然をみつめて—レンズが捉えた世界のかたち 中原 淳行

毛利家の至宝 大名文化の精粹 サントリー美術館

大名毛利家 歴史と文化 その 柴原 直樹

私の雪舟、私の山水長巻	山下 裕二	やまとの地宝—遺物が語る奈良の歴史— 中国陝西歴史博物館「日本考古展」帰国記念奈良県立美術館	ゆく河の流れ 美術と旅と物語 栃木県立美術館
毛利家旧蔵の豪吾山吹蒔絵調度〔つわやまぶきまきえちょうど〕について	小池 富雄	日本の古代文明の揺籃 菅谷 文則	芸術家の旅—「ゆく河の流れ」展に寄せて 木村理恵子
モダンデザインの精華館	松本市美術館	弥生青銅器に魅せられた人々—その製作技術と祭祀の世界— 開館5周年記念 島根県立古代出雲歴史博物館	国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術 井原市立田中美術館他
デザインとの「出会い」……二つの椅子の思い出	竹内 順一	トピック 木製祭器の世界(南方済生会遺跡)	松方幸次郎と国立西洋美術館の近代美術コレクション 村上 博哉
「デザインとは何か」を知るために	橋本 優子	トピック 高坏土製品による溶解実験	よみがえる古代の煌き 副葬品にみる今城塚古墳の時代 今城塚古代歴史館
“モダン・デザイン”とポスター	細萱 禮子	トピック 三次元形状計測を用いた加茂岩倉銅鐸の検討 北井 利幸	コラム 馬具の復元 塚本 敏夫
一日常の風景を変えたデザイン—	大島 浩	トピック 青銅器鑄造工房	コラム 甲冑の復元 “
紅葉山御養蚕所と正倉院裂復元のその後 皇后陛下喜寿記念 宮内庁三の丸尚蔵館		トピック 青銅器鑄造工房	コラム 大須二子山古墳出土甲冑 初村 武寛 小村 眞理
近代皇室と皇后さまのご養蚕	太田 彩	トピック 銅剣の研磨実験	コラム 丸山塚古墳出土甲冑 “
あらたな使命と共—一平成の御養蚕所と皇后さま—	藤枝 貴和	コラム 分布図と密度分布 増田 浩太	コラム 坊主山一号墳出土胡籙 福山 博章
正倉院の染織品と模造事業	杉本 一樹	悠久の美—唐物茶碗から青銅器まで— 出光美術館	コラム 寺口千塚三号墳出土胡籙 “
調純〔ちょうのあしぎぬ〕について	尾形 充彦	『君台観左右帳記』—唐物莊藏の手引き— 八波 浩一	コラム 峯ヶ塚古墳出土甲冑 初村 武寛 小村 眞理
正倉院染織品に用いられた染料とその調査	中村 力也	玉と青磁—青玉色へのあこがれ— “	III 解説・考察 6世紀前半の副葬品
紫地鳳唐草丸文錦の復元	尾形 充彦 田中 陽子	金銀象嵌饗餐文簋—清時代に生み出された復古青銅器— “	III 1. 今城塚古墳出土馬具の調査と復元 塚本 敏夫
「春日権現験記絵」の修理事業—表紙裂と巻緒の復元	太田 彩	古代中国の世界観—天地の象徴、璧と琮— “	III 2. 今城塚古墳出土小札の構造と復元 初村 武寛 小村 眞理
森と湖の国フィンランド・デザイン時代を超える生活の中的美 サントリー美術館他		古代の陶器と青銅器—完成された造形美— “	III 3. 今城塚古墳出土胡籙の調査と復元製作 福山 博章 小村 眞理 塚本 敏夫
フィンランド・ガラス・デザインの黄金時代	カイザ・コイヴィスト 佐藤 綾子 訳	龍と鳳凰の源流—饗餐から龍・鳳凰へ— “	III 4. 今城塚古墳出土鉄鏃の調査と復元製作 塚本 敏夫
フィンランドのガラス・デザインそれぞれの現場	土田ルリ子	悠久の美をめぐる—唐物茶陶から青銅器まで— “	III 5. 組紐の技術と復元 小村 眞理
(ヤ行)		幽霊・妖怪画大全集 美と恐怖とユーモア 福岡市博物館他	頼朝と重源 東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆 奈良国立博物館
柳宗悦と丹波の古陶館	兵庫陶芸美術館	幽霊画の成立と展開—応挙から観方まで— 中山喜一郎	総論 東大寺の鎌倉再興をめぐる信仰と美術 山口 隆介
柳宗悦と丹波焼の出会いから生まれたもの	松岡 千寿		源頼朝文書の自筆説を考える—平盛時の花押と筆跡を手掛かりとして— 林 譲

「大仏像寸法注文」と大仏蓮弁世界図の解釈をめぐる覚書	稲本 泰生
東大寺僧の伊勢神宮参詣と中世的神仏習合	斎木 涼子
大仏舎利のネットワークとしての三角五輪塔	内藤 栄
(ラ行)	
洛中洛外図屏風と風俗画 都市を描く—京都と江戸—第1部 国立歴史民俗博物館	
洛中洛外図屏風と風俗画	小島 道裕
歴博甲本に描かれた内裏	近藤 好和
舞踊に見る中世の黄昏、近世の曙光—洛中洛外図屏風 歴博甲本に描かれる舞いと踊り—	松尾 恒一
洛中洛外図と風俗画—近世初期風俗画の箱庭—	岩崎 均史
胸中の都市—江戸名所の心理学—	井田 太郎
人のいない都市図	大高 洋司
近世遺跡が語る江戸	岩淵 令治
リアル・ジャパネスク 世界の中の日本現代美術 国立国際美術館	
ユニークさを求めて	中西 博之
泉太郎	
大野智史	
貴志真生也	
佐藤克久	
五月女哲平	
竹川宣彰	
竹崎和征	
南川史門	
和田真由子	
立体力 仏像から人形、フィギュアまで 札幌芸術の森	
日本における人体像の諸相	岩崎 直人
リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝 国立新美術館他	

ある侯爵家の収集史	ヨハン・クレフトナー
バロック：時代・社会・美術	千足 伸行
ブリュゲルと一族の画家たち	森 洋子
リヒテンシュタイン侯爵家コレクションの2人の偉大な立役者—カール・オイゼビウス侯とヨハン・アダム・アンドレアス1世侯	〃
デキウス・ムス連作—ルーベンス芸術のマニフェステーション	宮島 綾子
龍泉窯青磁展 日本人の愛した中国陶磁 愛知県陶磁資料館他	
龍泉窯青磁の展開	森 達也
楓洞岩窯址の性格について	沈 岳明
「官器」考—明時代龍泉窯官器の位置づけ—	小林 仁
中国国内の龍泉窯青磁インパクト—福建地域の動向から—	徳留 大輔
Relation 継がれるもの—語りえぬもの 武蔵野美術大学美術館	
創造的解釈行為としての「リレーション」	田中 正之
ジャスパー・ジョーンズ—三十数年後の答	赤塚 祐二
鴨居玲	遠藤 彰子
\$作家の言葉\$	〃
制作ノートについて	〃
麻生三郎と武蔵美	樺山 祐和
彼方のまなざし	小林 孝亘
「かげとかげり」を巡って語り継ぐこと	斎藤 國靖
秋田蘭画(おくゆき)わたし	長沢 秀之
若林奮のこと	袴田京太郎
“クマガイモリカズ”について	丸山 直文
藤林叡三と私	水上 泰財

(ワ行)	
若狭を撮る 井田家所蔵古写真のまなざし 福井県立若狭歴史民俗資料館	
総説 井田家所蔵古写真のまなざし(上)	垣東 敏博
総説 井田家所蔵古写真のまなざし(下)	〃
井田米蔵氏の文化財へのまなざし—上田三平氏の日記『暁翁日記』から—	吉永 壮志
井田家所蔵古写真のデジタル化について	垣東 敏博
早稲田をめぐる画家たちの物語 早稲田大学會津八一記念博物館	
早稲田中学の文化的土壌	丹尾 安典
早稲田をめぐる画家たちの物語のあらすじ	大島 幸代
清の絵を愛蔵した安藤更生	
若き清と會津八一	
リーチさんの手紙	久保佐知恵 古俣 諒
遅咲きの画家	
清の油絵	
東洋の血 西洋の血	
生きるための絵 食べるための絵	
清の死	
トナリのオジちゃん小泉清のこと	石井 則孝
八雲の肖像	
八雲一家	
早稲田中学と巖	
半調子[ドミ・トーン]の画家内田巖と《止水》	喜夢 孝臣
落合の画室と津田左右吉	
一念と會津八一の油絵制作	
《増子喜一郎像》の行方	
彝と「村莊雜事」	

わたしの句読点2 食いろいろ 東京イラストレーターズ・ソサエティのメンバーが描く たばこと塩の博物館

わたしの句読点2 和田 誠  
について

我ら明清親衛隊 大江戸に潜む中国ファン達の群像 板橋区立美術館

江戸における中国 安村 敏信  
画の影響

武家と南蘋派 佐々木英理子

## 作家展

### (ア行)

蠶嘯 ふたたび虹のかなたに 東京都現代美術館他

誰かさんがファウストを揚げ物にした! エメット・ウィリアムス

72点のメモリー 蠶嘯

蠶嘯のエンヴァイラメントとフルクサス・インヴェント 由本みどり

虹のかなたに 前衛アーティスト、蠶嘯の仕事 西川美穂子

《田園》をめぐる 関 直子

会田誠 天才でごめんなさい 森美術館

いかにすれば世界で最も偉大な芸術家になれるか 会田 誠

混沌の日本の会田誠 片岡 真実

「戦争画 RETURNS」シリーズ 会田 誠

「大皇乃敵ル許曾死米」(戦争画 RETURNS) "

「一日一善!」(戦争画 RETURNS) "

「ミュウタント花子」(戦争画 RETURNS) "

「たまゆら」(戦争画 RETURNS) "

「巨大フジ隊員 VS キングギドラ」 "

「日本に潜伏中のビン・ラディンと名乗る男からのビデオ」 "

「オルタナティブ人形劇団「劇団☆死期」」 "

「犬」シリーズ "

「アイデア」 "

「ポスター(全18連作)」 "

「新宿御苑大改造計画」 "

「新宿城」 "

「ロンリーブランネット」 "

「エア・プロナンシエーション・イズ・ロング」 "

「一人デモマシーン」 "

「ゲームの国」 "

「ハート」 "

「美学と哲学」シリーズ "

「河口湖曼陀羅」 "

「会田誠+21st Century Gardboadr Guild モニュメント・フォー・ナッシング II」 "

「モニュメント・フォー・ナッシング III」 "

偽悪者・会田誠—日本美術史からの確信犯的引用について 山下 裕二

ものごとの表面—会田誠のドン・キホーテの世界 デヴィッド・エリオット

青木野枝 ふりそそぐものたち 豊田市美術館/名古屋美術館

§ 作家の言葉 § 青木 野枝

青木野枝インタビュー 北谷 正雄、角田美奈子聞き手

記憶に残るできごと 青木 野枝

作家のことば 青木 野枝、角田美奈子編

青木野枝の／への視座 北谷 正雄

ふりそそぐものたち—青木野枝の造形 角田美奈子

青山杉雨の眼と書 書の巨星と中国書画コレクション 東京国立博物館

中国文化への憧れと青山杉雨の書—中国書法の受容と展開 島谷 弘幸

青山杉雨の眼と書、そして素顔。 富田 淳、鍋島 稲子

朝井閑右衛門 横須賀美術館他

朝井閑右衛門の人と作品 石渡 尚

放浪者・朝井閑右衛門 杏沢 耕介

朝井閑右衛門の詩人・学者シリーズ 三谷 渉

吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現代郷土作家 姫路市立美術館

§ 作家の言葉 § 吉本 直子

" "

" "

" "

" "

" "

ワンダーランドと王様。 久保 健史

§ 作家の言葉 § "

" "

" "

" 浅田 暢夫

" "

内包の布 空間の石 存在の写真 本丸 生野

阿部典英のすべて 北海道立近代美術館

私の原風景 阿部 典英

阿部典英、その創造のヒミツ 佐藤 友哉

ただものではない典英様 秋山祐徳太子

鼎談「ネエ、ダンナサン!」、美術家・阿部典英を語る 阿部 典英、奥岡 茂雄、吉田 豪介、佐藤 友哉、司会

洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳 天童市美術館

突き詰めたマティ  
エール 尼谷良 池田 良平

肖像画から創像画  
へ 本間秀岳 //

荒谷直之介と水彩画 佐倉・房総ゆ  
かりの作家たち 佐倉市立美術館

昭和の水彩画家—  
荒谷直之介 木邨かおり

§作家の画業につ  
いて§ //

安藤正子—おへその庭 ハラドキュ  
メンツ9 原美術館

おへその庭—あち  
らとこちら 坪内 雅美

野に叫ぶ 飯野農夫也と奥久慈版画  
会 戦後復興と地方からの文化発信  
大子・街かど美術館

「野に叫ぶ 飯野  
農夫也と奥久慈版  
画会展」開催に寄  
せて 菊地 弘

地方からの文化発  
信、装置としての  
版画運動—飯野農  
夫也と奥久慈版画  
会 竹山 博彦

「西ノ内紙」につ  
いて 石井 聖子

新版画運動につ  
いて 飯野農夫也

飯野農夫也先生の  
めざしたもの 松崎 俊一

人間讃歌に行き着  
いた先生 志賀かう子

あとがきとして 飯野 道郎

石垣定哉 日動画廊他

夢なら正夢 石垣 定哉

深化する色彩世界 井上 隆邦

石元泰博写真展—桂離宮 1953,  
1954— 神奈川県立近代美術館(鎌  
倉)

「桂」誕生のとき 水沢 勉

石元泰博「桂離宮」  
1953—1954—自立  
する写真の力 是枝 開

伊勢崎淳・陶 大地の声を聴く 三  
越(日本橋)

備前陶芸史の王道  
をゆく造形の革新  
者 伊勢崎淳のプ  
リミティズムとモ  
ダニティ 外館 和子

磯野迪子展 LOOKING AT WINDO-  
WS LIXIL ギャラリー

§作家インタビュー 大橋 恵美  
—§ 聞き手

井田照一の版画 京都国立近代美術  
館

『京都国立近代美  
術館所蔵作品目録  
⑩ 井田照一の版  
画』への若干の脚  
註 河本 信治

私と版画制作との  
出会い 井田 照一

試論 井田照一の  
実践 木村 秀樹

落石計画 5期 銅版画試論—つく  
ること、ゆだねること—[井出創太  
郎/高浜利也] 旧落石無線送信所  
(現・池田良ニスタジオ)

社会へ介入し、版  
画を逸脱する思考  
と試行—「銅版画  
試論」をめぐる 石川 健次

「あざやか」の地平  
へ 井出創太郎

その先にある銅版  
画試論 高浜 利也

糸崎公朗作品展 盆栽×写真 VOL.  
2 大宮盆栽美術館

盆栽ツギラマ—糸  
崎公朗と盆栽— 依田 徹

稲員頼子展 北九州市立美術館

今までとこれから  
の永遠の想い 稲員 頼子

稲員頼子—気韻— 奥田亜希子

清親と安治—光線画の時代[小林清  
親/井上安治] 山口県立萩美術館  
・浦上記念館

光線画の時代 吉田 洋子

井上有—日々絶筆・書の前衛アー  
ト— 軽井沢ニューアートミュージ  
アム

「井上有—日々  
絶筆・書の前衛ア  
ート—」展への序 海上 雅臣

井上有—「美術」  
—相反から再びの  
邂逅へ 栗本 高行

猪熊佳子 日本画展—煌めきの森へ  
— 高島屋(京都)他

§作家の言葉§ 猪熊 佳子

イ・ブル展：私からあなたへ、私た  
ちだけに 森美術館

私と宇宙のあいだ  
の何ものかを求め  
て 片岡 真実

メランコリック・  
エコー：イ・ブル  
の体内化[インコ  
ーポレーション  
ズ] リピット水  
田堯

崩壊したユートピ  
アの記憶 ウー・ジョ  
ンア

イ・ブルへのイン  
タビュー ニコラス・  
シャフハウ  
ゼン  
聞き手

十三代・十四代今泉今右衛門 色鍋  
島の粋 菊池寛実記念智美術館

伝統から創造、そ  
して発展—十三  
・十四代今泉今右  
衛門— 三輪 嘉六

色鍋島・今右衛門  
の伝統 今泉今右衛  
門(十四代)

追悼 岩崎巴人 富山県水墨美術館

「おどけ」と「常識  
外れ」と「祈り」—  
破格の画人を偲ぶ 横田 喬

巴人さんと私 長崎 莫人

巴人先生と水墨美  
術館 鈴木 博喬

松本清張作新聞連  
載「清張通史」挿絵  
原画について //

植木蒼悦展 没後30年 孤高にし  
て洒脱…(河童三昧)の境地。 北海  
道立函館美術館

植木蒼悦「河童三  
昧」の境地を巡る 大下 智一

上島鳳山と大阪の日本画 笠岡市立  
竹喬美術館

鳳山絵画の魅力—  
官能表現の独自性  
をめぐる— 上蘭 四郎

Chiyu Uemae 卒寿を超えて「上前  
智祐の自画道」 BB プラザ美術館

島文と私 上前 智祐

「具体」を超えて  
上前智祐 坂上義太郎

上前智祐 年譜 笹木 繁男  
編



あとがきにかえて ：上前智祐の自画 道	宮本亜津子
上村松園と鎬木清方	平塚市美術館
美人絵、近代美人 画、そして現代へ	草薙奈津子
「美」を求めた画家 ・上村松園	勝山 滋
「情」を求めた画家 ・鎬木清方—その 上村松園評をと おして—	宮崎 徹
上村松篁展 生誕110年記念	茨城 県天心記念五浦美術館
茨城県天心記念五 浦美術館 松篁展 によせて	上村 淳之
上村松篁の世界— (万葉の春)と(燦 雨)をめぐる—	鬼頭美奈子
江口週—漂流と原形—彫刻／デッサ ン 神奈川県立近代美術館(鎌倉)	
原形のあらわれ 江口週の出発をめ ぐる—	水沢 勉
江口週—漂流と原 形「揺れ」を彫る ということ	是枝 開
榎本陽子 Project N 50 東京オペ ラシティアートギャラリー	
当事者になる鑑賞 者 榎本陽子の絵 画について	野村しのぶ
エル・グレコ展 国立国際美術館他	
詩学と宗教：エル ・グレコ、創意と 歴史のはざまに	フェルナン ド・マリー アス 川瀬 佑介 翻訳
日本とエル・グレ コ	孝岡 睦子
参考資料 エル・ グレコの書き込み	
クレタからイタリ ア、スペインへ— ある異邦人画家の 軌跡	ニコス・ハ ジニコラウ 大橋菜都子 翻訳
エル・グレコの肖 像画：いくつかの 新しい展望	リチャード ・L・ケー ガン 安来 正博 翻訳
エル・グレコと絵 画と集団記憶—《オ ルガス伯爵の埋葬》 —	フェリペ・ ペレーダ 久米 順子 翻訳

“奇人”[ピサーロ] エル・グレコ—ウ ィトルウィウスと ヴァザーリへの註 釈に見るその実像	ホセ・リエ ーリョ 典子 松原 翻訳
エル・グレコの絵 画様式をめぐる	レティシア ・ルイス・ ゴメス 唯 豊田 翻訳
エル・グレコの描 いた女性たち：そ れは不在の肖像か ？	マリア・ク ルス・デ・ カルロス・ パローナ 妙 諸星 翻訳
祭壇衝立”建築家” [アルキテクト]エル ・グレコ—その 尽きぬ魅力—	ホアキン・ ベルチエス 楠根 圭子 翻訳
マックス・エルンスト—フィギュア ×スケープ 横浜美術館他	
マックス・エルン ストの「フィギュ アスケープ」をめ ぐるノート	中村 尚明
偽史としてのフィ ギュア×スケープ	副田 一穂
Aloha Amigo! フェデリコ・エレ ロ×関口和之 金沢21世紀美術館	
〈対談〉フェデリコ ・エレロ×関口和 之	フェデリコ ・エレロ 関口 和之 聞き手 村田 大輔 構成
愛される楽器、ウ クレレとは—ウク レレのいくつかの 特徴—	関口 和之
Aloha Amigo の航 海を振り返る	藤本 美和
Aloha Amigo を彩 るものたち	川岸真由子
Aloha Amigo とい うコスモス—音と 色と優しさ—	村田 大輔
iwate コンテンポラリーアート[及 川修次／橋本尚彦／舞良雅子／山本 英二] 萬鉄五郎記念美術館	
日常のなかに在る もの	平沢 広
人間国宝大坂弘道展 正倉院から甦 った珠玉の木工芸 練馬区立美術館	
大坂弘道の木工芸	加藤 陽介

「ダイアグラム教育」展 武蔵野美術 大学のデザイン教育アーカイブ 太 田徹也の教育の軌跡—明日を予測す る情報のカタチとデザイン 武蔵野 美術大学美術館	
第三の記号「ダイ アグラム」	太田 徹也
アートディレクター太田英茂の仕事 長野県信濃美術館	
わが師太田英茂先 生	桜井 佐七
宣伝の本義—太田 英茂の思想と行動	森 仁史
花王時代あとさき	太田 英茂
広告の良心、デザ インの良心	渡辺 美保
大辻清司フォトアーカイブ 写真家 と同時代芸術の軌跡1940—1980 武蔵野美術大学美術館	
大辻清司アーカイ ブの実現	柏木 博
大辻清司フォトア ーカイブ宣言—本 展の構成について —	大日方欣一
モジもじ文字[大原大次郎／鳥海修 ／平野甲賀] 武蔵野市立吉祥寺美 術館	
はじめに 文字、 三者三様。	関 香澄
インタビュー 平 野甲賀 かつこよ くない文字	林 さやか インタビュー アー
インタビュー 鳥 海修 あるべきス タイルで書かれた 文字	”
嵯峨本フォントプ ロジェクト	永原 康史
インタビュー 大 原大二郎 名前の つけられていない 文字	林 さやか インタビュー アー
大巻伸嗣 存在の証明 彫刻の森美 術館	
インタビュー	大巻 伸嗣
大藪雅孝—氣韻生動—画業50周年 山陽百貨店他	
ごあいさつ	大藪 雅孝
大藪雅孝展に寄せ て	千足 伸行



## 記憶の島 岡本太郎と宮本常一が撮った日本 川崎市岡本太郎美術館

ふたつの「眼の体力」をめぐる：岡本太郎と宮本常一 戸田 昌子

普通の人々の創造力—岡本太郎と宮本常一の眼差しの先にあるもの 仲野 泰生

岡本太郎の撮影スタイル 安藤 孝裕

## 小川芋銭展—震災後の眼で、いま—茨城県近代美術館

自然の客人、小川芋銭 市川 政憲

芋銭愛好 小泉 淳一

小川芋銭の作品  
主題と画賛の一考察 舟木 力英

芋銭と『老子』 今瀬 佐和

## 小沢剛 あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き 豊田市美術館

「ふとん山」のふもとから、ひと夏の終わりに 都筑 正敏

## 小野佐世男—モガ・オン・パレード 川崎市岡本太郎美術館

マリリンが会えなかった男 村田慶之輔

時代を駆けぬけた父・小野佐世男 小野 耕世

小野佐世男 イメージの反覆について 足立 元

## 夭折の画家小野元衛 1919—1947 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)

貝の火 小野元衛という画家について 水沢 勉

小野元衛のこと 志村ふくみ

## オノサト・トシノブ 生誕100年 大川美術館

オノサト・トシノブと差異 本江 邦夫

オノサト・トシノブ 人と作品 小此木美代子

(カ行)

## 〈私〉の解体へ：柏原えつとむの場合 国立国際美術館

〈私〉の解体へ 柏原えつとむの場合 橋本 梓

《Mr.Xとは何か?》 [資料編] 柏原えつとむ

## 北斎—風景・美人・奇想—[葛飾北斎] 大阪市立美術館

大阪と北斎 秋田 達也

北斎の大阪の弟子たち 北川 博子

読本挿絵における北斎と上方絵師の交流 中野 志保

## 悠久の宙 金森良泰展 高島屋(日本橋)

ごあいさつ 金森 良泰

## 日本の印象派 金山平三 移りゆく時間の中で描く日本の風景 兵庫県立美術館他

金山平三の芸術—さらに、謎として 西田 桐子

画家・金山平三の土台形成に関わる3つのこと 少年期、東京美術学校、そして渡欧経験 萬木 康博

金山平三と印象派 水木 祥子

帝展時代の金山平三 相良 周作

## 金重有邦 生まれくるもの 菊池寛実記念智美術館

現代の備前焼—金重陶陽、素山そして有邦— 林屋 晴三

金重有邦私記 中野 徹

金重有邦陶概観—十年の創意 花里 麻理

## 加納光於展 Fuji Xerox Art Space

滴りと瞬き 加納光於の「版」についての断章 水沢 勉

## 上村松園と鍋木清方 平塚市美術館

## Rinko Kawauchi 川内倫子 照度

## あめつち 影を見る 東京都写真美術館

川内倫子インタビュー 時間と記憶へのオブセッション 石田 哲朗

対談 「中間」のなかで生まれてくるもの 川内倫子×イケムラレイコ 川内 倫子

対談 呼吸する写真 川内倫子×鶴岡真弓 川内 倫子

テキスト 天地の間—川内倫子論 石田 哲朗

りんこ日記 Rinko Diary 2012 川内 倫子

## 川上澄生と棟方志功 日本版ルソーとゴッホの対決 川上澄生美術館

川上澄生と棟方志功 原田 敏行

## 川島清 路傍ノート 3 ギャルリ—東京ユマニテ

§ 作者の言葉 § 川島 清

## 川瀬表完〈漆〉・堀尾泰彦〈陶〉二人展 高島屋(日本橋)

ごあいさつ 川瀬 表完

” 堀尾 泰彦

## 河鍋曉斎 生誕180年記念 權舟三郎コレクション 古美術 長野

權舟三郎コレクション「曉斎」展に寄せて 河鍋 楠美

現代に甦る『超絶技巧』と『江戸の心』 權 舟三郎

## 川俣正 Expand BankART BankART Studio NYK

発刊によせて 川俣 正

§ 作家のことば § ”

BankART での制作 ”

Kawamata school again 1 「80年代初期 part 1」 安斎 重男

Kawamata school again 2 「ボスを語る」 PH スタジオ 村田 真司

Kawamata school again 3 「80年代初期 part 2」 山野 真悟、章郎、基真、正木 村田 真司

Kawamata school again 4 「川俣正が語る」 川俣 正

Kawamata school again 5 「ルーズヴェルト・アイランド」 川俣 正、加藤 義夫

Kawamata school again 6 「コールマイン田川」 川俣 正、山野 真悟

Kawamata school again 7 「横浜トリエンナーレ2005」 川俣 正、横トリ2005、サポーター

Kawamata school again 8「美術館 での展開」	川俣 正 森 司	加島虎吉が経営す る〔至誠堂〕の出版 物	和田佐知子 編	「立像(ギリヤーク 尼崎)」	〃	
Kawamata school again 9「工事中」	川俣 正 北川フラム	木田安彦 祈りの道	池田20世紀美 術館	「待つ人II(I氏母 堂)」	〃	
Kawamata school again 10「東京芸 大同窓会」	川俣 正 東京芸大同 窓生	木田安彦「祈りの 道」をたどって	村田慶之輔	「追憶IV(和嶋せ い)」	〃	
Kawamata school again 11	川俣 正 ジル・クデ ール	北井一夫 いつか見た風景	東京都 写真美術館	「憧憬III(川端き ん)」	〃	
川村清雄 維新の洋画家	江戸東京 博物館他	道を横から撮る— 北井一夫の写真に ついて	増田 玲	\$ 作家の言葉 \$	〃	
特別寄稿 歴史の なかの川村清雄	高階 秀爾	普通的生活	藤村 里美	送る言葉	〃	
《ヴェニス図》と川 村清雄の油画技法	歌田 眞介	吉川霊華 近代にうまれた線の探求 者 東京国立近代美術館		「無意の姿」	〃	
慶応戊辰の川村家 —川村清雄 画家 の魂の原点—	落合 則子	吉川霊華について	鶴見 香織	「告発」	〃	
ヴェネツィア美術 学校学籍簿—川村 清雄のイタリア留 学時代(一八七六 —一八八八)の考 察—	ダニエレ・ ラウロ	祈りの心 木下晋	平塚市美術館他	「祈り」とはいった い何なのか	木下 晋 山折 哲雄 対談	
日比翁助と川村清 雄—土魂商才の経 営者と和魂洋才の 油絵師—	田中 裕二	\$ 作家の言葉 \$	木下 晋	見えない皺を描く	木下 晋 草薙奈津子 対談	
川村清雄作品にお ける「時」の表現に ついて	堀切 正人	〃	〃	笑う魚 金城次郎 生誕100年	那 覇市立壺屋焼物博物館	
聴く 歴史画—《建 国》《振天府》の聴 覚的モチーフにつ いて	村上 敬	〃	〃	金城次郎について	倉成 多郎	
文書釈文二(欧文)	田中 裕二 ダニエレ・ ラウロ	「天空之扉下絵(湯 殿山注連寺天井 画)」	〃	石に描かれた鳥たち	ジョン・グ ールドの鳥類図譜	玉川大学教育博物 館
もうひとつの川村清雄展—加島虎吉 と青木藤作・二つのコレクション—	目黒区美術館	木下晋 祈りの心	土方 明司	ジョン・グールド と鳥類図譜	黒田 清子	
目黒区美術館と川 村清雄の作品	山田 敦雄	「無心(桜井哲夫)」	木下 晋	図譜に描かれた鳥 たち—描写の工夫 と各図譜にみる絵 の変遷	〃	
青木藤作と川村清 雄	長井 裕子	\$ 作家の言葉 \$	〃	草間彌生 永遠の永遠の永遠	国立 国際美術館他	
装幀意匠家・川村 清雄『新小説』の 表紙絵を中心に	岩切信一郎	「102歳の胎内回帰」	〃	永遠の永遠の永遠	草間 彌生	
川村清雄が関わっ た装幀の仕事—書 籍装幀・雑誌表紙 絵	和田佐知子 編	「102年の闘争III」	〃	みんなのアヴァン ギャルド	建畠 哲	
「加島コレクショ ン」から見えてく るもの	降旗千賀子	「103年の闘争II」	〃	永遠の道程—草間 彌生のゼロ年代絵 画を巡って—	安来 正博	
		\$ 作家の言葉 \$	〃	花園に舞う永遠の 魂	澁田見 彰	
		「徘徊(母・木下セ キ)」	〃	吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現 代郷土作家 姫路市立美術館		
		「立像(母・木下セ キ)」	〃	スイスの絵本画家 クライドルフの 世界[エルンスト・クライドルフ]		
		「21歳の闇(娘・木 下麗子)」	〃	Bunkamura ザ・ミュージアム他		
		「トラの願望II」	〃			
		「鮭」	〃			
		「正眼(義姉・三 枝)」 「掌握(義姉 ・三枝)」	〃			
		「視る」	〃			
		\$ 作家の言葉 \$	〃			
		闇から光へ	江尻 潔			
		\$ 作家の言葉 \$	木下 晋			
		「S氏像(洲之内 徹)」	〃			
		「職人C」	〃			
				エルンスト・クラ イドルフと絵本	ローラント ・シュタル ク 高橋 文子 翻訳	

画家としてのエル ンスト・クライド ルフ	バルバラ・ シュタルク 高橋 文子 翻訳	空間から／空間へ —葉山のなかの桑 山忠明	水沢 勉	本プロジェクトの 性格と地域連携	李 美那
コラム 1	皆川 明	「桑山忠明展 HA- YAMA」プロジェク ト・ノート	三本松倫代	ゴッホ展	ハウスステンボス美術館他
コラム 2	武井 利喜	溪斎英泉 千葉市美術館		写実主義からモダ ニズムへ—ファン ・ゴッホとパリの アヴァンギャルド との出会い	ルイ・ファ ン・ティル ボルフ 有川 幾夫 訳
操上和美—時のポートレイト	ノス	溪斎英泉私感	小林 忠	何に描かれたのか ?	石川 哲子 訳
タルジックな存在になりかけた時間。		英泉における北斎 慕倣	大久保純一	どのように描き始 めたのか?	塩島 明美 訳
東京都写真美術館		英泉という絵師— 魅力の理由と実像	田辺 昌子	絵の下に何が?	尾崎 眞人 訳
歓喜と哀しみ—操 上和美の写真	椎名 誠	溪斎英泉が描いた 京町一丁目「姿海 老屋」の人事異動	日比谷孟俊	どんな色だったの か?	石川 哲子 訳
ノスタルジックな 存在になりかけた 時間。	丹羽 晴美	青色着色料「ペロ 藍」の導入に—役 買った溪斎英泉— 本藍からペロ藍の 時代へ—	下山 進	いつ描かれたのか ?	尾崎 眞人 訳
クリムト 黄金の騎士をめぐる物語		コラム 「浮世風 俗美女競 一双玉 手千人枕」	浅野 秀剛	描かれたパリの 屋根は?	塩島 明美 訳
生誕150年 愛知県美術館他		コラム 溪斎英泉 が活躍した頃の化 粧文化の流行を見 る	村田 孝子	誰を描いたのか?	有川 幾夫 訳
黄金の騎士をめぐ る物語	古田 浩俊	コラム 狂歌摺物 の絵と歌	小林ふみ子	どこを描いたのか ?	尾崎 眞人 訳
クリムトの《黄金 の騎士》と1903年 前後に描かれた寓 意画	マリアン・ ビザンツ= ブラッケン	コラム ゴッホと 英泉作「雲龍打掛 の花魁」	及川 茂	飛んでいる鳥は?	石川 哲子 訳
「かつて画家の絵 筆が描き出した最 も不快で嘔吐をも よぶフォルムと 事物」グスタフ・ クリムトのペー ーヴェン・フリー ズ	シュテファ ン・コーヤ	コラム 「美人東 海道」の版下絵	浅野 秀剛	フィンセント・フ ァン・ゴッホ 年 譜	ルイ・ファ ン・ティル ボルフ 村山 智子 訳
「日本」(ジャポン) —グスタフ・クリ ムトの「ジャポニ スム」	ヨハネス・ ヴィーニン ガー	コラム 馬琴と英 泉	服部 仁	ひそやかな眼差し	小林且典 静岡 市美術館
黒木国昭 ガラス作品展 高島屋 (日本橋)		小泉癸巳男 昭和震災復興記念 大 東京百図絵展 信州新町美術館30 周年記念企画展 信州新町美術館		「気配」と「たたず まい」—小林且典 への手紙	岡田 温司
ごあいさつ	黒木 国昭	復興の風景—小泉 癸巳男の《昭和 大東京百図絵》	山田 俊幸	ひそやかなものた ち	以倉 新
Venanzo Crocetti ヴェナンツォ・ クロチエッティ 彫刻の森美術館他		小泉癸巳男「昭和 大東京百図絵」	前澤 朋美	制作技法について	伊藤 鮎
巨匠(マエストロ) の工房にて	アンナ・イ ンポネンテ イ	Two Times ふたつの時間 アント ニー・ゴームリー彫刻プロジェクト in 葉山 神奈川県立近代美術館(葉 山)		清親と安治—光線画の時代[小林清 親/井上安治] 山口県立萩美術館 ・浦上記念館	ART TODAY2012 弁明の絵画と小 林正人 セゾン現代美術館
ヴェナンツォ・ク ロチエッティの芸 術—過去との対話、 未来へのまなざし —	上村 清雄	アントニー・ゴー ムリー: TWO TI- MES—ふたつの時 間	アントニー ・ゴームリ ー	弁明の絵画	難波 英夫
桑田三舟 躍動する線と空間の美		複数の時間 プロ ジェクトを振り返 って	水沢 勉	\$ 作家の言葉 \$	小林 正人
ふくやま書道美術館				小村雪岱 大正・昭和のグラフィッ クデザイン ニューオータニ美術館	
桑田三舟のかな芸 術—生活に即した かなを求めて—	西嶋 慎一			小村雪岱について の一考察	家田 奈穂
桑山忠明 HAYAMA 神奈川県立近 代美術館(葉山)				雪岱の「装幀」を考 える	平田 雅樹
				「雪岱装幀本リス ト」覚書	〃

## (サ行)

斎藤國靖 〈仮説〉としての絵画 武蔵野美術大学美術館

退任記念展の開催にあたり 斎藤 國靖

「絵画についての絵画」と「仮説としての現実」 田中 正之

油絵学科絵画組成室による模写展 斎藤 國靖

絵画制作と技法研究の40年をふりかえる //

斎藤芽生 野火賊、夜光族 ギャラリー・アートアンリミテッド

野火賊、夜光族 斎藤 芽生

火姫遊 //

修羅浜 //

奈落会 //

鶴来野 //

野篁駅 //

『自由』と『情炎』 //

『野火賊』と『夜光族』 //

斎藤義重 1980年代以降を中心に 千葉市美術館

1980年代以降の斎藤義重 藁科 英也

佐伯祐三とパリ ポスターのある街角 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室

1924/28年、パリの佐伯祐三—大通り「ブルヴァール」と横丁「パサージュ」 熊田 司

佐伯祐三が見たパリのポスター 富田 章

壁と線—佐伯祐三の「パリ」に見るもの 高柳有紀子

榊莫山展 詩書画が紡ぐ風雅の世界 受贈記念 三重県立美術館

生動する韻—書から詩・書・画—如 木村 重信

遺作展によせて—父のこと母のこと 榊 せい子

彫刻家佐藤忠良展 「人間」を探求し つづけた表現者の歩み 生誕100年 佐川美術館他

追悼 私の中的彫刻家 王 貞治

追悼 佐藤先生のあしあと 安野 光雅

追悼 アトリエの国語辞典 山根 基世

追悼 佐藤さんの「手」 澤地 久枝

佐藤忠良のリアリズムとヒューマニズム—「その時代に生きていることの表現」を求め続けて— 三上 満良

彫刻家の言葉と美術館の使命 井上 英明

佐藤忠良の精神を受け継ぐために 佐藤忠良記念子どもアトリエの試み 吉崎 元章

彫刻家・佐藤忠良と旭川市民実行委員会 井内佳津恵

佐藤翠 Project N 48 東京オペラシティアートギャラリー

クローゼットの至福—佐藤翠の世界 堀 元彰

沢宏朝 湖北の画人 没後30年 長浜城歴史博物館

沢宏朝の生涯 森岡 栄一

Lineament Hiraki Sawa[さわひらき] 資生堂ギャラリー

円を描く トム・モートン

椎名純子 大地の棲家 人はなぜこのように棲むのか 武蔵野美術大学美術館

展覧会によせて ヴァナキュラーからのまなざし 長谷川 堯

対談 快適性と安全性を求めて 自然と人間の関わり 椎名 純子 大山由美子

展覧会によせて 調査旅行同行記断簡 小石 新八

対談 フィールドワーク・「環境」で育まれること 椎名 純子 森 豪男

国際交流・ワークショップ アジア・アメリカにおける空間演出デザインの交流 自然と人間の関係性の検証

椎名ゼミ・学生作品『自然と人間』

椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「残像」 関 泰良

椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「卒業コレクション」 笹川 春之

椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「食卓」 小柴美美子

椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「良質なコミュニケーションとしての道具」 濱嶋 卓也

椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「One and Only」 田嶋 浩明

椎名ゼミ・学生作品 卒業制作作品「無題」 中西 泰代

共同研究・プロジェクト 国内外合同授業

2001年度 共同研究「狭小空間・HUT-1」と環境の関わり 社会対応性・機能性・技術・形の研究

2003年度 共同研究「狭小空間・HUT-2」の研究 空間の家具化/ノックダウンシステムの可能性

共同研究・プロジェクト 2006年度 ODCD (Oriental Domestic Culture & Design) テーマ「水空間」

2007年度 ODCD (Oriental Domestic Culture & Design) テーマ「生活に水を取り入れる蛇口とその空間の提案」

篠山紀信 写真力 熊本市現代美術館他

篠山紀信の写真の世界 桜井 武

駆動する永久機関 篠山紀信の戦い	福士 理	得体の知れないもの—インタビューを終えて	平野 到	鈴木淳 なにもない、ということもない 21世紀の作家—福岡10回	
「写真力」の凄み	桐原 浩			福岡市美術館	
篠山紀信インタビュー—写真力をめぐって	河尻 亨一 インタビュー—構成	清水由朗—風の道—	高島屋(大阪)	なにもない、ということもない	鈴木 淳
ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・		\$ 作家の言葉 \$	清水 由朗	\$ 作家の言葉 \$	
絵画 根津美術館		マルク・シャガール 愛をめぐる追		(「IE」一家・家屋・家族・家庭・家系・家制度)	〃
柴田是真—時代と文明の越境者	佐藤 道信	想 岡山県立美術館他		\$ 作家の言葉 \$	
二つの業平蒔絵硯箱—模造制作の歴史の一コマ	室瀬 和美	愛する魂の形について—シャガールの絵画世界	鍵岡 正謹	(侵入・介入・再構築)	〃
柴田是真の漆絵	多比羅菜美子	シャガール芸術におけるアイコンの影響について	橋村 直樹	\$ 作家の言葉 \$	
評伝 柴田是真—その生涯と芸術	高尾 曜	シャルダン—静寂の巨匠—	三菱一	(パフォーマンスとコラボレーション)	〃
与えられた形象 辰野登恵子/柴田敏雄	国立新美術館	号館美術館		\$ 作家の言葉 \$	
与えられた形象—序論	南 雄介	はじめに—東京における初のシャルダン回顧展に寄せて	高橋 明也	(「short short」—多様化する表現)	〃
偶然と必然、選択と創造—コスモス・ファクトリーから国立新美術館まで—	辰野登恵子 柴田 敏雄	シャルダン、制作と魅力の秘密	ピエール・ローザンベール 大野 芳材 翻訳	\$ 作家の言葉 \$	
辰野登恵子—その展開についての記述の試み	南 雄介	シャルダンとその時代—静物画を中心に	大野 芳材	(「ただけなんなん／so what?」とその展開)	〃
柴田敏雄の写真	宮島 綾子	日本におけるシャルダン受容史	安井 裕雄	\$ 作家の言葉 \$	
柴田昌一—版画 ヒロシマ資料より		YASUO JOH[城康夫] あるがままの彼方に		\$ 作家の言葉 \$	
ギャラリー志門		高島屋(難波)他		(複数のコンセプトによる複数の表現)	〃
ヒロシマがいま世界に語るもの—鎮魂と人間原罪と時代精神の新しい構図—	赤津 侃	城康夫の毬栗について	本江 邦夫	鈴木淳の表現—2012年までのあゆみと「なにもない、ということもない」	山本香瑞子
「版画工房“7”」から「版17」まで—神奈川の版画の動きと柴田昌一のかかわり—	藤嶋 俊會	寺尾勝広・新木友行・湯元光男 アトリエインカーブ3人展	東京オペラシティアートギャラリー	鈴木竹柏展—気・韻—	高島屋(横浜)他
二つのこと	柴田 昌一	一つの世界、もう一つの夢—寺尾勝広・新木友行・湯元光男	堀 元彰	\$ 作家の言葉 \$	鈴木 竹柏
渋谷栄一—陶 モノクローム モノ		10年目の展覧会	今中 博之	鈴木力 イタリアの詩	池田20世紀美術館
ローグ— LIXIL ギャラリー		杉本貞光陶展 喜寿記念	高島屋(日本橋)	\$ 作家の言葉 \$	鈴木 力
CERÁMICA INTERVIEW	渋谷 英一 大橋 恵美 インタビュー	ごあいさつ	杉本 貞光	須田国太郎展—光と影の生命[いのち]—没後50年に顧みる	神奈川県立近代美術館(葉山)他
清水晃 漆黒の彼方	埼玉県立近代美術館	ヘンリー杉本とその時代	和歌山市立博物館	追憶	須田 寛
降臨する原風景	建畠 哲	ヘンリー杉本とその時代	山下奈津子	画家の横顔	松居 直
清水晃インタビュー	平野 到 聞き手	ヘンリー杉本談・絵画について		須田国太郎 写真と理想を求めて	橋 秀文
				須田国太郎の京都	尾崎 眞人

須田国太郎の光輝 表現—動物は逆光 に息づくのか—	二木伸一郎
画で立つまでの須 田国太郎—深田康 算との関係から	井野 功一
山陰の風景—「隠 国」の世界観—	左近充直美
資料紹介「欧州で の都鳥英喜との交 流を中心に」	林野 雅人
スタジオ・ムンバイ 「夏の家」につ いての覚書 東京国立近代美術館	
そこにあるものか ら何を学ぶのか— 観察とつくること	柴原 聡子
「夏の家」によせて	ヒジョイ・ ジェイン
連続レクチャーシ リーズ「青空教室」 —考える、つくる、 動く、またつくる 連続レクチャーシ リーズ「青空教室」 について	柴原 聡子
連続レクチャーシ リーズ「青空教室」 —考える、つくる、 動く、またつくる 第1回 動く「動 く、仮の家」坂 口恭平+中谷礼二 +牧紀男	
連続レクチャーシ リーズ「青空教室」 —考える、つくる、 動く、またつくる 第2回 考える「家 の条件、人間の生 きる場所の条件」 塚本由晴+藤森照 信+後藤治	
連続レクチャーシ リーズ「青空教室」 —考える、つくる、 動く、またつくる 第3回 つくる 「建築に造り方」 内田祥哉+高橋桃 一+戸田穠	
須田悦弘展 千葉市美術館	
インタビュー：須 田悦弘—空間をと らえること	水沼 啓和 聞き手
Aloha Amigo! フェデリコ・エレ ロ×関口和之 金沢21世紀美術館	
関口正浩 Project N 49 東京オペ ラシティアートギャラリー	
関口正浩 絵画の 蘇生法	富士 理

ニョロの森 関野宏子の世界 横須 賀美術館	
関野宏子インタビ ュー	中村 貴絵
セザンヌ パリとプロヴァンス 国 立新美術館開館5周年 国立新美 術館	
セザンヌ—パリと プロヴァンス	ドニ・クタ ーニユ 小泉 順也 翻訳
セザンヌにとって の芸術のバリ	マリリース ・アサンテ ・ディ・パ ンツイッロ 石谷 治寛 翻訳
セザンヌからマテ イスへ—《3人の 水浴の女たち》を 手がかりに	長屋 光枝
セザンヌの岩石画 をめぐって	工藤 弘二
解剖と変容 アール・ブリュットの 極北へ チェコの鬼オルボシュ・ブ ルニーとアンナ・ゼマーンコヴァー 兵庫県立美術館他	
解剖学的変容	バルバラ・ シャファー ジョヴァー
ルボシュ・ブルニ ー—解剖学[アナ トミー]のレッス ン	〃
チェコのアール・ ブリュット	バルバラ・ シャファー ジョヴァー テレジェ・ ゼマーンコ ヴァー
アンナ・ゼマーン コヴァーの豊かな 開花	テレジェ・ ゼマーンコ ヴァー
アール・ブリュッ トの現在—チェコ から日本へ	服部 正
(タ行)	
高橋由一 近代洋画の開拓者 東京 藝術大学大学美術館他	
高橋由一の絵画世 界、あるいはリア リズムの射程	古田 亮

落石計画 5期 銅版画試論—つづ ること、ゆだねること—[井出創太 郎／高浜利也] 旧落石無線送信所 (現・池田良ニスタジオ)	
高嶺格のクールジャパン 水戸芸術 館現代美術ギャラリー	
クールダウン、ク ールジャパン	吉岡 洋
3.11からクールジ ャパンへ	高嶺 格
クールジャパンに 住むある外国人	イーデン・ コーキル
高嶺格のふたりの 娘とひとりの息子 への手紙	高木 瑞木
高山辰雄展 生誕100年記念 大分 市美術館他	
前半期 (1934— 1968)の高山芸術	大神 健二
後半期 (1970— 2007)の高山芸術	吉田浩太郎
高山辰雄 文藝春秋表紙絵 限りな き時の中に 大分県立芸術会館	
廻る四季	高山由紀子
絵画の先に在るも の	福島 昌子
限りなき時の中に	浅木 正勝
滝沢具幸—地—のうた— 飯田市美術 博物館	
顔料(物質)が生み 出す心地良さ	柏木 博
竹内栖鳳—京都画壇の画家たち 山 種美術館	
教科書に載らない 実力派、竹内栖鳳 について	山下 裕二
新しきもの、古い もの—竹内栖鳳の 造形的源泉—	三戸 信恵
竹久夢二と静岡ゆかりの美術 静岡 市美術館	
“志田コレクショ ン”竹久夢二—そ の成立過程を巡っ て	森谷 紗世
中川雄太郎の画業 —静岡の創作版画 の中で	吉田 恵理
平野富山の彩色木 彫	〃
与えられた形象 辰野登恵子／柴田 敏雄 国立新美術館	

**建畠大夢 没後70年** 和歌山県立近代美術館

大夢についての覚書

**田中敦子—アート・オブ・コネクティング** 東京都現代美術館

ネットワークの絵画—かくも予言的な

長谷川祐子

田中敦子の「絵」—《作品》(ペル)から透視する

加藤 瑞穂

田中敦子：魂のカリグラフィー

ロレンサ・バルボニー

より広い視野へ

ジョナサン・ワトキンス

**田中恭吉展 生誕120年記念** 和歌山県立近代美術館

序にかえて—世紀を隔てて見る田中恭吉の芸術

熊田 司

第一章 東京美術学校入学まで—一九〇九—一九一二

井上 芳子

第二章 夢二の周辺、回覧雑誌『密室』—一九一二—一九一三

〃

第三章 病める自画像—一九一三—一九一四

〃

第四章 『月映』という宇宙—自刻木版画と詩歌—一九一四—一九一五

〃

第五章 郷里で過ごした最後の一年

〃

田中恭吉—迷へる夢から覚めた人

寺口 淳治

田中恭吉の表現—底痛みのする革命

木股 知史

**田中太賀志** 丹沢美術館

踊る炭素系

伊藤 春樹

炭の茶室

田中太賀志

「水と空気の変容」展

藤嶋 俊會

「割り箸プロジェクト」

田中太賀志

**田中秀穂 VANISHING&EMERGING** 武蔵野美術大学美術館

忘れられない、ひとこと

田中 秀穂

田中秀穂さんとの30年

笹山 央

触覚のシャーマン—ファイバー・アーティスト、田中秀穂の思想と軌跡

新見 隆

教育〈造形の基礎〉テキストスタイルにおける触覚のビジュアル化

田中 秀穂

教育〈造形の基礎〉視覚と触覚—触ることから始めよう

榎本 寿紀

教育〈造形の基礎〉課題で応援

鈴木 純子

教育〈テキストスタイルの専門性〉技術を超えて—独自の創造性を育てる教育

下重 泰江

教育〈テキストスタイルの専門性〉人間・社会・環境—思想を持つテキストスタイルの為に

榎本 寿紀

社会 EN-VIRONMENT

田中 秀穂

社会 卒業生との草の根運動—TODAY'S ART TEXTILE—

鈴木 純子

教育と社会を繋ぐ青空塾—TEXNET—

中島 良弘

田中秀穂像 卒業生の寄稿 田中「力」に乾杯

須藤 玲子

田中秀穂像 卒業生の寄稿 エネルギッシュ・クリエイター

梅崎 健

田中秀穂像 卒業生の寄稿 「先生、次の会場はじゅうたんスナックですね！」

半谷 学

田中秀穂像 卒業生の寄稿 ぼくの先生は

榮 良太

田中秀穂像 卒業生の寄稿 真夏の太陽“田中先生”

伊東直隠枝

**棚田康司「たちのぼる。」** 練馬区立美術館

樹々の高さの想い—棚田康司のために

堀江 敏幸

棚田康司—分身の王国の偶像

ロラン・ヘギ

彫刻への「当惑」—棚田康司のひとつの回答

小野 寛子

《たちのぼる—少年の場合》のように

岡本 梓

**田淵俊夫展 いのちの煌めき** 名古屋市美術館他

画業をふりかえって

田淵 俊夫

「流転」、「刻」田淵俊夫の芸術世界

神谷 浩

「濃尾平野」作品解説

田淵 俊夫

「尾州八題之内岩屋堂」作品解説

〃

「尾州八題之内長久手」作品解説

〃

「輪中の村」作品解説

〃

「濃尾三川」作品解説

〃

「越中冬景」作品解説

〃

「八達嶺」作品解説

〃

「大和秋景」作品解説

〃

「飛鳥川」作品解説

〃

「映」作品解説

〃

「天山」作品解説

〃

「インド想 霧」作品解説

〃

「放水」作品解説

〃

「時の移ろい」作品解説

〃

「旅立ちの朝」作品解説

〃

「水上雪情」作品解説

〃

「鶴岡八幡宮絵巻」作品解説

〃

「煌」作品解説

〃

「煌 II」作品解説

〃

田淵俊夫の絵画—中国画を通しての

味岡 義人

黒部峡谷の風景、そして水墨画へ

桐井 昇子

田淵俊夫、その伝統へのまなざし

増淵 鏡子

**Light of Dreams 田村彰英 夢の光** 東京都写真美術館



音速の夢 上野 修  
「夢の光」に寄せて 田村 彰英  
展覧会ノート 田村彰英 夢の光 関次 和子  
月岡芳年 没後120年記念 太田記念美術館  
月岡芳年の画業—江戸の継承者・明治の開拓者 日野原健司  
月岡芳年と明治の媒体[メディア] 菅原 真弓  
月岡芳年が描いた悲惨な血の表現 下山 進  
人間国宝三人 岐阜、染と織の匠たち 山田貢、宗廣力三、土屋順紀 岐阜県博物館  
聞き書き1 父・山田貢の人と作品 萩原いづみ談  
聞き書き3 宗廣力三の制作と周辺 宗廣 波緒談  
聞き書き4 「色と織」この道を歩き続けて 土屋 順紀談  
解題  
土屋禮—行雲流水— 高島屋(日本橋)他  
§作家のこぼし§ 土屋 禮—トーマス・デマンド展—紙でできた世界[リアル]。 東京都現代美術館  
いわくつきのそっけなさ—デマンド作品について 長谷川祐子  
核エネルギーの太古の友人 アレクサンダー・クルーゲ  
深夜、キンコーズにて トーマス・デマンドと多和田葉子の対話  
寺尾勝広・新木友行・湯元光男 アトリエインカーブ3人展 東京オペラシティアートギャラリー  
寺田政明 生誕100年 北九州市立美術館分館他  
『生誕100年 寺田政明展』開催にあたって 西村 勇晴  
「デッサンが出来たらんぞ」 寺田 農  
寺田政明の画業について 山下 理恵

ポール・デルヴォー—夢をめぐる旅— 鹿児島市立美術館他  
「ポール・デルヴォー展—夢をめぐる旅—」序文 ジュリー・ヴァン・デューン  
デルヴォー、夢のオデッセイ 沈黙と不在の果ての理想 村松 和明  
「ベルギー」の画家、ポール・デルヴォー 音 ゆみ子  
マリー・ローランサンと東郷青児 山梨県立美術館  
ローランサンと東郷青児—時代にとり残された雅味[ファンタジー] 和田佐知子  
ローランサン、愛される理由 吉澤 公寿  
戸嶋靖昌 恩師と友人たち—画家はひとりでは生まれない— 清澄画廊  
記憶の風景 野村 久康  
戸嶋靖昌とスペインの残像 木下 亮  
麻生三郎さんと私 サイトオ・ビン  
師、森芳雄先生 渡辺 勝悦  
山口長男先生のこと 澤 雅久  
三雲先生とアネモネ 宮本 秀信  
むさ美の篝火 サイトオ・ビン  
辿る思い出からみえる 秋葉 信子  
戸嶋君の絵のことなど 渡辺 勝悦  
絵に興味をもった小さな私 佐藤 正雄  
靖昌と過ごした少年時代 佐藤 弘行  
毅然一途 森 健  
戸嶋さんの思い出 澤 雅久  
絵をかく悲しさ 黒澤 稔  
戸嶋さんと夫と私 島 文子  
ひとつのもの・考 岡 楯男  
私と絵画の繋がり 上野 在森  
わたしの絵と宇宙感 山根 康壮  
壱番館の個展を観て 宮本 秀信

## DO HO SUH PERFECT HOM[ス・ドホ] 金沢21世紀美術館

変容する家 黒田 浩美  
境界を編みなおす家 南後 由和  
異国の住処、忘れえぬ我が家 パーフェクト・ホーム：ブリッジ・プロジェクト フェリシティ・D・スコット

## 鉄斎—水墨神韻— 鉄斎美術館

鉄斎—水墨神韻— (墨癖あり/墨を選んで苦心 墨顔となる/墨彩と彩色) 柏木 知子

## モジもじ文字[大原大次郎/鳥海修/平野甲賀] 武蔵野市立吉祥寺美術館

## (ナ行)

## 中ザワヒデキ展 脳で視るアート 武蔵野市立吉祥寺美術館

脳で視るアート 中ザワヒデキ  
素人の、素人による、素人のための中ザワヒデキ 菅沼万里絵  
作品シリーズ解説

## 中島千波 人物図鑑 東京藝術大学 大学美術館

今、学生たちに伝えたいこと 中島 千波  
中島千波の人物画は面白い 宮下 真実  
中島千波の人間模様としての人物画 橋 秀文  
中島千波の人物画—identityからexistenceへ 草薙奈津子

## 仲條正義展 忘れちゃって EASY 思い出して CRAZY 資生堂ギャラリー

§解説§ 葛西 薫  
§作家の言葉§ 仲條 正義

## 水絵への情熱 中西利雄と蒼原会の水画家たち 茨城県つくば美術館

水絵への情熱—蒼原会 その忘れられた活動 山口 和子



中西夏之 韻 洗濯バサミは攪拌行  
動を主張する 擦れ違い／遠のく紫  
近づく白斑 川村記念美術館

中西夏之 初期作  
品と現在の作品の  
邂逅 谷 新

韻、洗濯バサミは  
攪拌行動を主張す  
る、擦れ違い／遠  
のく紫近づく白斑 赤松 祐樹

ふたつの制作日誌  
から見えてくるも  
の 鈴木 尊志

中村直人 彫刻の時代 小杉放菴記  
念日光美術館他

中村公子さんにき  
く、父・直人の思  
い出 中村 公子  
迫内 祐司  
聞き手・文  
責

中村直人と長野 土屋 信  
つかの間のモニユ  
メント―戦時下の  
中村直人 迫内 祐司

1953年の中村直人、  
渡仏直後の書簡か  
ら 山田 敦雄

中村正義の《顔》展 川崎市市民ミ  
ュージアム

中村正義の美術館  
を知っていますか？ 中村 倫子

『父をめぐる旅』の  
制作にあたり“に  
んげん”の言葉 武重 邦夫

中村正義の顔 佐藤 美子

エルネスト・ネト Madness is  
part of Life エスパス レイ・ヴィ  
トン東京

アーティスト・イ  
ンタビュー エルネスト  
・ネト  
ルイス・カ  
ミーロ・オ  
ソリオ

§ 作家の言葉 § エルネスト  
・ネト

Madness is part  
of Life(狂気は生  
の一部) //

われわれは生とい  
う体の一部 //

トルスマクロポー  
ルト //

Ferrolho エヴァンド  
ロ・マシャ  
ード

野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿  
国立新美術館

「絵画のかたち／  
絵画の姿」野田 福永 治  
裕示の歩み

絵画とその分身 米田 尚輝

皮膚としてのカン  
ヴァス、絵画の向  
こう側 本橋 弥生

図像の《かたち》 福永 治

切石組積術[ステ  
レオトミア]―野  
田裕示と岡本敦生  
のコラボレーショ  
ン作品群 米田 尚輝

(ハ行)

バーン＝ジョーンズ展[エドワード  
・コーリー・バーン＝ジョーンズ]  
三菱一号館美術館他

エドワード・バー  
ン＝ジョーンズ―  
生涯と芸術 スティーヴ  
ン・ワイル  
ドマン  
河村錠一郎  
訳

バーン＝ジョー  
ンズと装飾芸術 スティーヴ  
ン・ワイル  
ドマン  
堀川 麗子

バーン＝ジョー  
ンズ様式―すべては  
モリスとの友情か  
ら始まった 河村錠一郎

次世代からみたバ  
ーン＝ジョーンズ 加藤 明子

バーン＝ジョー  
ンズと近代日本 永山多貴子

iwate コンテンポラリーアート[及  
川修次／橋本尚恣／舞良雅子／山本  
英二] 萬鉄五郎記念美術館

長谷川誠 白い森の足跡 岩手町立  
石神の丘美術館

おわりのはじまり 長谷川 誠

個の風景を探しに 齋藤 桃子

花田和治の色と形 北海道立近代美  
術館

花田和治の絵画―  
わがこころの情景 光岡 幸治

きらり、ふわり―想いをのせて[林  
剛人丸／藤原洋次郎]― 川口市立  
アートギャラリー・アトリア

§ 作家の言葉 § 藤原洋次郎

// 林 剛人丸

やさしい想いが、  
集まるところ。 秋田 美緒

原裕治展―かたちとしての奔流と止  
水― 碧南市藤井達吉現代美術館

流体の諸相―彫刻  
家・原裕治が遺し  
たもの 馬場 駿吉

彫刻家・原裕治の  
歩み 木本 文平

バルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
レクション2[ジョルジュ・バルビ  
エ／ジャン＝エミール・ラブルール]  
練馬区立美術館

モダンの誕生 鹿島 茂

「ペル・エボック」  
から「レ・ザネ・  
フォル」へ―ラブ  
ルールが見た2つ  
の時代 小野 寛子

稗田一穂 春秋日月 高島屋(日本  
橋)他

麒麟 稗田 一穂

蜻蛉 //

東山魁夷展 北海道立近代美術館他

東山魁夷―人間の  
心の象徴としての  
風景を求めて 横山 勝彦

人間東山魁夷 川崎 鈴彦

カミーユ・ピサロと印象派―永遠の  
近代 宇都宮美術館他

カミーユ・ピサロ  
―「影」へのまなざ  
し― 有木 宏二

カミーユ・ピサロ  
と新印象主義 クリストフ  
・デュヴィ  
ヴィエ 豊  
速水 翻訳

クレア・デ  
ュラン＝リ  
ュエル・ス  
ノレルツ  
鈴木 慈子  
翻訳

平川典俊 木漏れ日の向こうに 群  
馬県立近代美術館

アブジェクション  
について―平川典  
俊の場合 谷内 克聡

《Beyond the Sunbeam through Trees—木漏れ日の向こうに》制作ノート	阿部 一直	平山郁夫と文化遺産保護	前田 耕作	ポール・クローデル著作のなかの藤田	瀬尾 典昭
対談 不／確定の目撃者	平川 典俊、アート・リンゼイ 熊谷 朋哉 翻訳	平山郁夫先生とフン・セン首相の会談—人類の遺産としてのアンコールワット—	石澤 良昭	『海龍』をめぐる—藤田とコクトー、記憶のなかの日本	石尾乃里子
平櫛田中展 ふくやま美術館他		手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとブールデルの彫刻と素描[アントワヌ・ブールデル／オーギュスト・ロダン] 国立西洋美術館		挿絵本の時代	佐藤 幸宏
生誕140年、特別展への思い	平櫛 弘子	序—ロダンとブールデル、彫刻に残る手の痕跡	大屋 美那	エルミース・ダヴィッドとジャン・ジロドゥー	間瀬 幸江
日本近代彫刻史上の平櫛田中	毛利伊知郎	松方幸次郎収集のロダンとブールデルの彫刻	〃	《ダフニスとクロエ》に見る古典への回帰	佐藤 幸宏
平櫛田中のリアリズム—昭和戦前期の肖像彫刻を中心に—	藤井 明	ロダンの《エヴァ》について	〃	愛書都市パリの変容『タブロー・ド・パリ』から『パリ1937』へ	柳沢 弥生
平櫛田中の作品と仏教—西山禾山の思想との関連を中心に—	濱田 恒志	ロダンの《泣く女》	アントワネット・ル・ノルマン＝ロマン 大谷 公美 翻訳	『タブロー・ド・パリ』(Tableaux de Paris)とエコール・ド・パリ／『パリ1937』(Paris 1937)と万博都市／タブロー・ド・パリの系譜と時代の変容	
モジもじ文字[大原次郎／鳥海修／平野甲賀] 武蔵野市立吉祥寺美術館		深井隆彫刻 気配 高島屋(日本橋)他		ラ・フォンテーヌ『寓話集』の系譜	石尾乃里子
平松礼二展—日本の美を求めて—箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵 新見美術館		作家の言葉 深井 隆		きらり、ふわり—想いをのせて—[林剛人丸／藤原洋次郎] 川口市立アートギャラリー・アトリア	
ごあいさつ	平松 礼二	藤井勉 愛する郷土・東北の自然を描く サトエ記念21世紀美術館		船田玉樹 生誕100年 練馬区立美術館他	
世界に発信する平松礼二の日本画	成川 実	郷里の自然と人々と共に生きる画家・藤井勉	江口 健	父「玉樹」	船田 奇岑
「師承伝承」から「爆発」へ—横山操と小野竹喬を(旗印)に	石川 健次	雑感	藤井 勉	孤高の画人生—船田玉樹	永井 明生
平山郁夫 シルクロードの軌跡—人類の遺産にかけた画家の人生— 九州国立博物館		昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち 川越市立美術館		同郷人、船田玉樹との奇縁	山下 裕二
九州国立博物館の平山郁夫展に思う事	平山美知子	藤島武二と新制作初期会員たち	廣田 生馬	斃れし後の水墨実験	野地耕一郎
ユネスコ親善大使平山郁夫先生の思い出	松浦晃一郎	第一回新制作派展について	折井 貴恵	僅かに、しかし強く発光して	北川フラム
平山郁夫シルクロードの軌跡—文化財保護にかけた画家の生涯—	基信 祐爾	藤田嗣治と愛書都市パリ—花ひらく挿絵本の世界— 渋谷区立松涛美術館他		船田玉樹回想	金田 晋
特別展「平山郁夫シルクロードの軌跡」に寄せて	樊 中田 錦詩 友美 訳	フジタとランス	アドリアン・アザン	解剖と変容 アール・ブリュットの極北へ チェコの鬼オルボシュ・ブルニーとアンナ・ゼマーンコヴァー 兵庫県立美術館他	
		本を読む、本を装う—「愛書都市」パリでの藤田嗣治	林 洋子	ホー・ツーニエン[何子彦] MAM PROJECT 016 森美術館	
				ホー・ツーニエンインタビュー	椿 玲子 聞き手

歴史という物語における想像力の役割	椿 玲子	間島の視界・及川の踊り・千野の音	中村 英樹	墓参記—松本竣介にふれて	酒井 忠康
松江藩士の息子画家になる。孫写真家になる。—ニューヨーク、野口英世の親友堀市郎とその父樺山—	松江歴史館	6日 山田せつ子 +YAS-KAZ	松崎 未来	書簡・原稿採録(図版掲載資料)	
総論 知られざる旧松江藩士の転身—堀良蔵、樺山、市郎		「叛乱の夏」	志賀 信夫	白昼夢 松本俊夫の世界	町立久万美術館
堀文子 命の不思議	長野県信濃美術館	Kinesis—時空の基軸：桂由貴子 + à qui avec Gabriel 公演評	小金沢 智	対談 松本俊夫のプロフィールをめぐる	松本 俊夫
ご挨拶	堀 文子	永遠へのうつろい—身体と絵画空間が会う次元 上杉満代 + 河合孝治 公演	塚崎 美歩	〈白昼夢〉の場所	神内 有理
展覧会に寄せて	星野 裕一	意味からの解放	徳山 隆	松本俊夫、その限りなき挑戦	江口 浩
堀文子と信州	石井 絵美	自己を吹き飛ばす	柳川 たみ	エディは映画を葬るのか—『薔薇の葬列』に並んで	吉田 拓
水から生まれる絵 堀井英男の版画と水彩	茨城県近代美術館他	KINESIS 478とKINESIS 479の間にあるもの 間島秀徳「KINESIS—時空の基軸」展	北里 義之	虚実皮膜論—松本俊夫と『修羅』	小林 昌廣
水を感じて—堀井英男の版画と水彩について	市川 政憲	目玉の冒険「時空の基軸」展ノート	篠原 聡	実験映像史のなかの松本俊夫	西村 智弘
人間存在の根源を問いつめる—堀井英男の色彩銅版画の世界	魚津 章夫	水平の問題	宮田 徹也	変革する主体 戦後アヴァンギャルド芸術と前衛記録映画	阪本 裕文
水の気質を宿した画家 堀井英男	永松 左知	増田誠 パリ—人生の哀歓	山梨県立美術館	松本俊夫の映画音楽	川崎 弘二
変奏するイメージ 堀井英男の銅版画	川俣 高人	パリを愛し、庶民を描いたアルティザン—増田誠—	小田原賢二	丸木俊 生誕100年記念	一宮市三岸節子記念美術館
川瀬表完(漆)・堀尾泰彦(陶)二人展	高島屋(日本橋)	増田誠 パリの人々を描き続けて	太田 智子	丸木俊—旅する女性画家	小沢 節子
幻のモダニスト 写真家堀野正雄の世界	東京都写真美術館	増村益城 人間国宝	漆を極める	〈南洋ノートおよびモスクワノートについて〉	
評伝・堀野正雄	金子 隆一	千葉県立美術館	増村益城の歩み	水彩画家 丸山晚霞	日本水彩画会
一九三〇年前後の前衛的芸術潮流における堀野正雄の位置	谷口 英理	増村先生との思い出	中松 満始	創立100周年記念 丸山晚霞記念館	
「女性美」から大陸への道程	戸田 昌子	松本竣介 生誕100年	竹内 幸司	〈寄稿〉水彩画家・丸山晚霞の芸術	林 誠
本田義夫展	北九州市立美術館	松本竣介の生涯と作品—素描作品を交えながら	岩手県立美術館	丸山晚霞：筆触と色彩の魔術	岸田 恵理
エッセイ	本田 義夫	自彊の画家・松本竣介	加藤 俊明	「MARUYAMA KENSAKU」とのめぐり合い	立岩 寿一
コスモスの庭から境界へ	重松 知美	廃墟に立っている。—松本竣介の1940年代	有川 幾夫	晚霞と風土	長岡 克衛
洋画家尼谷良と日本画家本間秀岳	天童市美術館	松本竣介のカルトン	水沢 勉	マン・レイの京都2012年	ギャラリーマロニエ(京都)
(マ行)		線の行方—松本竣介と「童画」	加野 恵子	展覧会まで……	石原 輝雄
間島秀徳展「KINESIS—時空の基軸」	キッドアイラックアートホール	ブッキッシュな竣介像—松本竣介の本・雑誌の仕事について	長門 佐季	石原輝雄・純子コレクション『マン・レイのパリ 1972年』	〃
時空の基軸に立ち会う“身体”を垣間見る	加納 星也	宮沢賢治は有り難い人だ	柳原 一徳	たったひとりの人	〃
			原田 光	撤収して……	〃

三岸黄太郎展 ふたりのミギシコウ  
タロウと節子と 北海道立三岸好太郎美術館他

三岸芸術の歩み 三岸 太郎  
一表現することの原点とは一 増田 幸雄  
黄太郎と好太郎二人の「描く詩人」 苦名 直子  
三岸黄太郎の覚醒一節子とともに制作した1968年からの滞欧期を中心に 堤 祐子

## 三嶋りつ恵 ドルチェヴィータ ギャラリーい思文閣

ドルチェヴィータ 三嶋りつ恵  
花を生ける //

## 三原研の炆器 心を映すやきもの

兵庫陶芸美術館

§作家の言葉§ 三原 研  
三原研の炆器が伝えるもの マルテル坂本牧子

## 宮迫千鶴 ワクワク描いた人生の午後 池田20世紀美術館

生きていることの「精神の風景」 柏木 博  
宮迫千鶴による映画評 ビクトル・エリセ『エル・スール』—かぎりなく美しい『南』の意味—

## 宮永愛子 なかそら 国立国際美術館

空中空(なかそら) 宮永 愛子  
景色のはじまり—金木犀— //

時間を彫琢すること 福岡 伸一

優しい手、強靱な意志—宮永愛子の世界— 建畠 哲

あなたには何も見えないだろう。 ジャン・ド＝ロワジー

始まりはあって終わりは無い—宮永愛子の芸術— 中井 康之

## 三輪良平回顧展 近江商人博物館

三輪良平回顧展に寄せて 中路 融人  
夫・三輪良平のこと 三輪美恵子

## 川上澄生と棟方志功 日本版ルソーとゴッホの対決 川上澄生美術館

## 人間国宝三人 岐阜、染と織の匠たち 山田貢、宗廣力三、土屋順紀

岐阜県博物館

## すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙 神奈川県立近代美術館(葉山)他

「すべての僕が沸騰する」という現象—村山知義の現在のために— 水沢 勉

「村山知義と建築、バウハウス」についての一断片 山野 英嗣

小英雄はスタイリッシュ—ファッションに見るマヴォイスト村山知義の近代性— 滝沢 恭司

童画家TOMの誕生をめぐって 牧野 裕二

芸術は空間のクリエイションである—童画家TOMと童話童話作家籌子— やまさきさとし

TOMの童画に関するノート—前衛との関係から— 山田志麻子

独断的スケッチ—村山籌子のほうへ— 岩崎 清

「村山知義関係資料—内田昇三コレクション」について 石井 幸彦

## 文承根 MOON SEUNG—KEUN— 終わりになき反復— 中長小西

ムン・スングン 河崎 晃一  
「終わりになき反復」

## iwate コンテンポラリーアート[及川修次/橋本尚恣/舞良雅子/山本英二] 萬鉄五郎記念美術館

## (ヤ行)

## 柳川貴司彫刻展 ギャラリー志門

§解説§ 森 千花

## 山内滋夫展 高島屋(日本橋)他

世界でたった一つの静物画様式—山内滋夫のなかの西洋と日本— ワシオ・トシヒコ

個展に寄せて 山内 滋夫

## 山口華楊 笠岡市立竹喬美術館他

義父・華楊の思い出 山口 和子

山口華楊先生と私 中路 融人

山口華楊一人と作品 小倉 実子

山口華楊と国画創作協会—国展落選作《向日葵》をめぐって— 上薗 四郎

## 山下了是 退任記念 染織作品展

報 東京藝術大学大学美術館陳列館

退任記念展に寄せて 宮田 亮平

## 山城知佳子 MAM PROJECT 018

森アーツセンターギャラリー

沖縄の素顔を探して：山城知佳子の世界 近藤 健一

脱自[エクスタシス]の倫理[エシックス] 山城知佳子論 新城 郁夫

## 三代山田常山—人間国宝、その陶芸と心 出光美術館

コラム1 急須の器形 柏木 麻里

コラム2 急須の技法 //

コラム3 三代山田常山の急須と登窯 //

三代山田常山の陶芸—初公開の出光コレクション— //

## 人間国宝三人 岐阜、染と織の匠たち 山田貢、宗廣力三、土屋順紀

岐阜県博物館

## iwate コンテンポラリーアート[及川修次/橋本尚恣/舞良雅子/山本英二] 萬鉄五郎記念美術館

## 山本糾 光・水・電気 豊田市美術館

—探求される「水」、写真家山本糾— 白川 昌生

ノート：山本糾の写真 北谷 正雄

## 柚木沙弥郎 村山亜土作『夜の絵』とともに 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)

作者のことば 柚木沙弥郎

夜をうべなう 柚木沙弥郎の、思索する布 水沢 勉

『夜の絵』をめぐって 断想 岩崎 清

亜土さんに… 村山 治江

寺尾勝広・新木友行・湯元光男 ア  
トリエインカーブ3人展 東京オ  
ペラシティアートギャラリー

横尾忠則 反反復復反復 開館記念  
展1 横尾忠則現代美術館

横尾忠則のスポン ジ 鷺田 清一

二度ある美は、三  
度ある。横尾忠則  
における「反復」に  
ついて

ツイッター

横山大観 開館15周年記念 宇都  
宮美術館

無窮の芸術を追い  
求めた一芸術家大  
観 横山 隆

横山大観の《流燈》  
について 佐藤 志乃

横山大観の画業に  
ついて 大正15年  
の記録から 池田 博子

大観と〈複製〉—「巧  
藝画」と「国民精神  
総動員ポスター」  
を中心に 前村 文博

吉野辰海 犬の行方 埼玉県立近代  
美術館

擬犬法の寓意 建畠 哲

人間犬と象少女 三田 晴夫

吉野辰海インタビ  
ュー 平野 到  
聞き手

水のイメージ／水  
の創造力—インタ  
ビューを終えて 平野 到

吉本直子・久保健史・浅田暢夫 現  
代郷土作家 姫路市立美術館

依田洋一朗展 記憶のドラマ 40歳  
の画家が描くニューヨーク40年の  
追憶 三鷹市美術ギャラリー

作家メッセージ 依田洋一朗

舞台からの退場 エリック・  
C・シャイ  
ナー

記憶のドラマ—依  
田洋一朗論のため  
に— 浅倉祐一郎

依田洋一朗による  
依田洋一朗の年譜  
(ドラマ) 依田洋一朗

(ラ行)

ダム・ダン・ライ Color Explo-  
sion—色彩爆発— 札幌芸術の森美  
術館

Essay 佐藤 康平

バルビエ×ラブルール展 鹿島茂コ  
レクション2[ジョルジュ・バルビ  
エ/ジャン=エミール・ラブル  
ール] 練馬区立美術館

リー・ミンウェイ[李明維] 澄・微  
資生堂ギャラリー

Interview to Lee  
Mingwei リー・  
ミンウェイへのイ  
ンタビュー

リー・ミンウェイ  
の実践にみる喪失  
と縁起の意識化に  
ついて 片岡 真実

母が作ったブロー  
チ リー・ミン  
ウェイ

祖母と一緒に作っ  
た浴衣 //

祖母が作った着物 //

母が作ったレース //

義父と、親しい知  
り合いのおばが作  
ったコート 今が  
一番好きなこのコ  
ート //

祖母が作った着物 //

祖母が作った人形 //

祖母が作った帯 //

母が作った子供服 //

母が作ったキルト //

母が着ていた着物 //

父がアップリケを  
つけたスモック //

祖母が作った人形 //

祖母と母が作った  
子供用着物 //

姉が作ったぬいぐ  
るみ //

母が作った着物 //

母が作ったドレス //

同じ地区のお母さ  
んが作ったポーチ //

母が作ったパッチ  
ワークキルト //

母が作った肌掛け //

祖母が作った襦袢 //

母が作った雑巾 //

母が作った布団カ  
バー //

祖母が作った小袋 //

母が作った水着 //

母が刺繍した袴 //

母が刺繍したナブ  
キン //

母が作ったクリス  
マスツリー //

祖母が作った反物 //

母が作ったクリス  
マスブーツ //

母が作ったパジャ  
マ入れ //

祖母が作ったワン  
ピース //

祖母が作った裂き  
織り //

母と私が作ったエ  
プロン //

母が作ったかばん //

祖母が作ったルー  
ムシューズ //

母が作ったお手玉 //

祖母が作った着物 //

母が作ったジャケ  
ット //

祖母が作った手提  
げ袋 //

母が作ったバッグ //

父が作ったぬいぐ  
るみ //

祖母が作ったバッ  
グ //

母が作ったドレス //

祖母が作った小豆  
袋 //

母が作った犬の介  
護用ベスト //

祖母が作ったマフ  
ラー //

母が作ったキルテ  
イングカバー //

レーピン ロシア近代絵画の頂点  
国立トレチャコフ美術館所蔵[イリ  
ヤ・レーピン] Bunkamura ザ・ミ  
ュージアム他

イリヤ・レーピン —「爆発する無限 のエネルギー」を 持った画家—	ガリーナ・ チュラク 鴻野わか菜 翻訳
1890年代から1920 年代のレーピンと 作品	〃
国立トレチャコフ 美術館のコレクシ ョンに見るイリヤ ・レーピンの素描 と水彩画	リーディヤ ・トルステ ンセン 初山 昌夫 翻訳
イリヤ・レーピン の留学：1873— 1876—交錯するア カデミズム、リア リズム、モダニズ ム—	初山 昌夫
ディーター・ロート Art Space	Fuji Xerox
ディーター・ロー ト—Die Ro Pe Pr Por(Containers)	山田志麻子
マリー・ローランサンと東郷青児 山梨県立美術館	
手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品 を中心としたロダンとブールデルの 彫刻と素描[アントワーン・ブール デル／オーギュスト・ロダン] 国 立西洋美術館	
ユベール・ロペール—時間の庭— 国立西洋美術館他	
ジュリアン＝ヴィ クトール・ヴェラ ンクとヴァランス 美術館のユベール ・ロペール作品	エレヌス・ スタニスラ ス＝ムーラ ン 陳岡めぐみ 翻訳
時間の庭の詩人— ユベール・ロペー ル	陳岡めぐみ
ユベール・ロペー ル、石の歎びと歴 史	ダニエル・ ラプロ 戸田 穰 翻訳
イタリアのユベール・ ロペール—ピ トレスクなものを 求めて	小針由紀隆
ユベール・ロペー ルとルーヴル	三谷 理華
団 体 展	
(カ行)	
現代童画展38回 東京都美術館	

長屋の花見	安井 収蔵
行動展67回 国立新美術館他	
伊藤聰さんの急逝 を惜しむ	三箇 三郎
敬愛やまない大谷 久子へ	もろさわよ うこ
田中勇次郎先生を 偲ぶ	矢野喜久男
小谷謙先生を偲ん で	岡村 正博
サナダサダヲ氏を 偲ぶ	馬場 美次

(サ行)

写実画壇 40周年記念作品集 上 野の森美術館	
写実画壇のレゾン ・デートル	ワシオ・ト シヒコ
里見勝蔵の芸術	土方 明司
女流画家協会展66回 東京都美術 館	
記憶の中の「あの 頃」のこと	吉江 麗子
新協展55回 東京都美術館	
想像力こそ“創造 の母”	ワシオ・ト シヒコ
新制作展76回 国立新美術館他	
追悼 蝉しぐれ [渡辺隆根]	渡辺 隆根
代76回新制作展新 作家賞賞牌 贈る ことば	麦倉 忠彦
創型展60回 東京都美術館	
創型会随想	斎藤 馨

(タ行)

東京展38回 東京都美術館	
鶴澤文次郎大兄を 偲ぶ	近藤 大理
特別企画 田所一 絃『水鏡シリーズ』	田所 一絃
色彩の海原を自由 にたゆたう 油野 誠一 画家・絵本 作家	武藤 順子 加賀美裕子 竹 佐知子
独立展80回 国立新美術館他	
片岡伸介氏をおく る詞	齋藤 研
土井俊泰先輩に捧 ぐ	江添栄一郎

三浦洋一氏を偲ん で	絹谷 幸二
創立80周年にあた って 昨日、そし て明日へ	相田 幸男
創立80周年にあた って 画業80年を 振り返って	赤星 信子
創立80周年にあた って えのぐの匂 い	安達 時彦
創立80周年にあた って 初出品	阿部 栄一
創立80周年にあた って カルダー	五十里雅子
創立80周年にあた って 未来のビジ ョン	池末 満
創立80周年にあた って 創立80周年 にあたって	井澤 幸三
創立80周年にあた って 創立80周年 にあたって	石井 武夫
創立80周年にあた って 80周年に思 う	石川 和男
創立80周年にあた って 初出品のこ ろ	伊藤 清和
創立80周年にあた って 80周年に想 う	伊藤 弘之
創立80周年にあた って 片岡伸介さ んのこと	今井 信吾
創立80周年にあた って 独立美術協 会創立当時の思い 出	入江 一子
創立80周年にあた って 創立80年か あー	梅野 顕司
創立80周年にあた って 夢の開花、 三岸好太郎	江添栄一郎
創立80周年にあた って ネクストス テージ	大久保宏美
創立80周年にあた って パリでバル リュスを知って	大津 英敏
創立80周年にあた って 独立展に思 う	大地 康雄
創立80周年にあた って 恩師との出 会い…そしてこれ からも	大塚 恵美

平成24年美術展覧会図録所載文献(団タ行)

創立80周年にあたって 今年の夏も暑かったです。	大塚 利典	創立80周年にあたって みえないもの	齋藤 将	創立80周年にあたって 初期の独立にあこがれて	田伏 勉
創立80周年にあたって 初出品のころ	大場 再生	創立80周年にあたって 青春回想—佐久市立近代美術館回顧展を終えて—	桜井 寛	創立80周年にあたって ワタシは權になりたい	多見谷恭子
創立80周年にあたって 初出品の頃	岡田 忠明	創立80周年にあたって 創立80周年によせて	佐々木里加	創立80周年にあたって 不思議な必然の縁	塚本 聰
創立80周年にあたって 80周年に思うこと	奥谷 博	創立80周年にあたって 初入選から25年	島崎 陽子	創立80周年にあたって 土井先生の横顔	津川めぐ美
創立80周年にあたって 80→90への道	乙丸 哲延	創立80周年にあたって 私の住んでいるところ	白鳥 三郎	創立80周年にあたって 恩師 土井先生のこと	佃 彰一郎
創立80周年にあたって 厳しかった講評の思い出	加藤 啓治	創立80周年にあたって 独立80周年を迎えて	白野 文敏	創立80周年にあたって 独立展の今	寺島 穰
創立80周年にあたって 独立の宝	金井 訓志	創立80周年にあたって 初出品の頃	須藤 美保	創立80周年にあたって 独立の「気」	鳥飼 寿徳
創立80周年にあたって これから…	金森 良泰	創立80周年にあたって 偶然と必然	瀬川富紀男	創立80周年にあたって 独立80回展と自分	中嶋 明
創立80周年にあたって 創立80周年記念展によせて	金子 亨	創立80周年にあたって 里見勝蔵先生の思い出	関口 聖子	創立80周年にあたって 今後の独立展	中村 光幸
創立80周年にあたって たかが絵、されど絵	喜多万紀子	創立80周年にあたって 80周年にあたって	瀬島 匠	創立80周年にあたって ニューヨークで独立を思う	西田 翔冠
創立80周年にあたって 創立80周年にあたって、思うこと	北島 治樹	創立80周年にあたって 不自由であること	高沢 哲明	創立80周年にあたって 80年下の地熱	額田 晃作
創立80周年にあたって 初出品のころ	木梨 修	創立80周年にあたって 次は100年記念展	高橋 伸	創立80周年にあたって 描き続ける事	花沢 洋太
創立80周年にあたって 今の独立に思うこと	木村 富秋	創立80周年にあたって 創立80周年と生誕110年	高橋 正敏	創立80周年にあたって 光る星あり	浜松 繁雄
創立80周年にあたって 50年前の思い出	久我 修	創立80周年にあたって ゴヤからピカソ	高橋 雅史	創立80周年にあたって 年輪	林 敬二
創立80周年にあたって 創立80周年にあたって—独立と私—	日下部淑子	創立80周年にあたって 亡き父、田口広美30回忌	田口 貴大	創立80周年にあたって 絵筆を持って！闘いの時だ！	早矢仕素子
創立80周年にあたって 老兵独白	久保田益央	創立80周年にあたって 夏の日・雑感	竹岡 羊子	創立80周年にあたって 絵と私	半那 裕子
創立80周年にあたって 私の応援詩	黒川 洋孝	創立80周年にあたって 美術の力を信じて	竹下 勝雄	創立80周年にあたって 若い頃…そして若い人たちへ	広田 政生
創立80周年にあたって 夢を描け、心に描け	小林 正	創立80周年にあたって 初出品	田子 英長	創立80周年にあたって 創立80周年にあたって	福岡 奉彦
創立80周年にあたって 創立80周年にあたって	権藤 信隆	創立80周年にあたって 祭り	田中 茂	創立80周年にあたって 生きた、描いた六十年	福島 瑞穂
創立80周年にあたって モナ・リザと独立展	齋藤 吾朗	創立80周年にあたって 独立80周年にあたって	田端 優	創立80周年にあたって Speed of Life	福満正志郎

創立80周年にあたって ことば 堀井 克代

創立80周年にあたって 80年に想う 本田 希枝

創立80周年にあたって 初出品の頃から 前田さなみ

創立80周年にあたって 創立80周年にあたって 前畑 省三

創立80周年にあたって 青春の日、心に刻まれた教え 馬越 陽子

創立80周年にあたって 独立・絵のこと 松井 通央

創立80周年にあたって 創立80周年への想い 松永 久

創立80周年にあたって 80周年 松原 潤

創立80周年にあたって 画を描くこと 松藤 真澄

創立80周年にあたって 創立80周年にあたって 松村 浩之

創立80周年にあたって 独立美術80周年記念展に思う 松山幾三郎

創立80周年にあたって 休むことの無い情熱 松山 敏彦

創立80周年にあたって 独立創立の頃は？ 向井 隆豊

創立80周年にあたって 感謝です 森田 康雄

創立80周年にあたって 独立展とオリンピック 山内 和則

創立80周年にあたって 私の独立展 山本 恵三

創立80周年にあたって 皆さん、長生きしましょう 山本 実

創立80周年にあたって 未来のビジョン—海外へ 山本 雄三

創立80周年にあたって 私たちの手で… 湯沢 宏

創立80周年にあたって 独立の80年と時代 吉田宏太郎

創立80周年にあたって 独立80回展を迎えて 吉武 研司

## (ナ行)

## 日象展39回[日本表象美術協会]

国立新美術館

§ 作家の言葉 § 赤石 久男

〃 坂井 和子





「物故者」 ページ (401～426 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.401-426)

Cut for protection of the personal information

~~~~~  
印 刷 平成27年 3 月11日

発 行 平成27年 3 月25日

---

日 本 美 術 年 鑑 ©

——平成 25 年 版——

編集者 東京文化財研究所企画情報部

発行者 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園 13-43  
電 話 (03) 3823-2241

製 作 中央公論美術出版  
東京都中央区京橋 2-8-7  
電 話 (03) 3561-5993

~~~~~  
出版助成 株式会社 東京美術倶楽部  
東京美術商協同組合

